

科目名	仏教(自己を見つめる)
担当教員	佐藤 裕之
授業方法	講義
科目の概要	<p>＜人間の心の本質を探究し、総合的視野で深く人間を理解できること。＞</p> <p>本学は、仏教精神を建学の精神とし、学祖・高楠順次郎先生によって設立されました。仏教は今から 2500 年ほど前にインドで成立し、それまでのバラモン教にはなかった「自己のあり方」を追求しました。そしてその仏教は、中国・朝鮮を経て日本に伝わり、日本の文化一般にも多くの影響を与えています。直接的に影響の跡を残す儀礼だけでなく、日常生活の中にもその影響が見られ、われわれの基本的なものの考え方、自然との接し方などにも仏教の影響が見られます。しかし、現代のわれわれはこのような仏教についてあまりよく知りません。</p> <p>以上の点から、「仏教」を学ぶにあたっての到達目標は以下の通りです。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 学祖の精神を受け継ぐ。 (2) 仏教を学ぶことで「自己のあり方」を考え、自己を見つめ直す手がかりを見つける。 (3) 日本文化を再確認する。 (4) 仏教についての基本的知識を身につける。 (5) 人間の心の本質を探究し、総合的視野で深く人間を理解できる。
	<p>テキストの概要</p> <p>テキストは、仏教について考え、自己について考えるために書かれたものですが、そのためには仏教を知る必要があることから、仏教の基本的な知識についても説明されています。第一章では、「仏教とは何か」という問題を取りあげ、時代と地域によって多様に展開してきた仏教に共通するものが説明されます。第二章では、仏教の開祖であるゴータマ・ブッダの生涯が詳しく説明されます。ゴータマ・ブッダは歴史的に実在した人間ですが、仏伝文学の中では、神話化されている部分もあり、それらの解釈も紹介されます。そして、第三章では、仏教を知るための基本的な思想である、縁起や四諦や苦しみや無我などの教えが説明されます。最後の第四章は、中国の禅宗で成立した『十牛図』という文献に沿って、「自己を見つめる」というテーマに直接取り組んでいます。</p>
授業計画	<p>スクーリング（2単位）とWBTによる学習（2単位）の計4単位の科目です。</p> <p>＜メディア授業＞</p> <ol style="list-style-type: none"> 第01講 イン트로ダクション 第02講 ブッダの生涯（仏伝）の問題点 第03講 ブッダの生涯①：誕生と結婚 第04講 ブッダの生涯②：出家と修行 第05講 ブッダの生涯③：悟り 第06講 ブッダの生涯④：説法 第07講 ブッダの生涯⑤：入滅

2022 武蔵野大学 通信教育部 シラバス

	<p>第 08 講 インドの仏跡 第 09 講 仏教の思想①：基本的思想と縁起 第 10 講 仏教の思想②：四諦・八正道 第 11 講 仏教の思想③：苦しみ 第 12 講 仏教の思想④：無常と無我 第 13 講 仏教の思想⑤：業と輪廻と解脱 第 14 講 特別講義①：仏教思想における人間形成－煩惱論の観点から－ 第 15 講 特別講義②：仏教と言語</p> <p><自宅学習></p> <p>第一章 仏教とは何か 第二章 ゴータマ・ブッダの生涯 第三章 仏教の思想 第四章 自己を見つめる－「十牛図」を手がかりに</p>	
成績評価の方法	単位認定試験	
実践的教育を行う 授業科目の種別	a：実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目	
	担当教員の 実務経験 (経歴・資格等)	
	授業内容との 関連性	
	b：企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目	
	学外講師の 経歴・資格等	
	授業内容	
	c：企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、 研修を行う授業科目	
	実習先・実習の 目的	
備考		

科目名		大学基礎	
担当教員		本多 勇	
授業方法		講義	
科目の概要	到達目標	<p>この「大学基礎」では、武蔵野大学通信教育部での学習に用いるWB T (Web-Based-Training) システムの使い方を理解し、大学生としての学びの姿勢とレポート作成を中心とした技術について理解します。まとめると次の2点に集約されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大学生としての学びとその姿勢が理解できている ・武蔵野大学通信教育部WB Tシステムの使用方法と学習方法が理解できている 	
	テキストの概要	<p>①武蔵野大学通信教育部「令和3(2021)年度 通信教育部ガイド」および参考資料1 ②資料1「通信教育部ガイド 確認資料」 資料2「大学生としての学び、武蔵野大学通信教育部学生としての学び」 資料3「大学生に期待されるレポートとはなにか」</p>	
授業計画		<p>スクーリングとWB Tによる学習の計1単位の科目です。STRすべて合格(単位修得)することで、1単位の単位修得となります。</p> <p>I. 武蔵野大学通信教育部「令和3(2021)年度通信教育部ガイド」「令和3(2021)年 武蔵野大学通信教育部 WB T操作マニュアル」</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 学習を始める前に 2. 学習支援について 3. 授業・単位・成績等について 4. 学年更新・履修登録について 5. WB T操作について <p>II. 大学生としての学び、武蔵野大学通信教育部学生としての学び</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 大学とは、大学生とは 2. 大学生としての学びのスタンス ―知と教養を伸ばす― 3. 通信教育による学生として確認しておくべきこと <p>III. 大学生に期待されるレポートとはなにか</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. レポート作成は学習成果を示す学習活動 2. 大学生に期待されるレポートの初歩 3. 大学生が提出する可能性のある論文・レポート 4. 引用・参照の形式 5. 論文・レポートの役割にそった表現のルールがある 6. 学習活動で使用してよい資料・使用しないほうがよい資料 7. 最後に 	
成績評価の方法		単位認定試験	
実践的教育を行う授業科目の種別	a: 実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目		
	担当教員の 実務経験 (経歴・資格等)		

2022 武蔵野大学 通信教育部 シラバス

	授業内容との関連性	
	b：企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目	
	学外講師の経歴・資格等	
	授業内容	
	c：企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、研修を行う授業科目	
	実習先・実習の目的	
備考		

科目名		人と社会の共生A（現代社会）
担当教員		北條 英勝
授業方法		講義
科目の概要	到達目標	<p>人と社会との共生を考えるにあたり、この科目では現代社会の諸現象・諸課題を素材に、社会学の観点から検討していく。</p> <p>人間は自らの選択を許されることなく、特定の日付をもった社会の中へ生まれ落ちる。社会は人間を取り囲み、他者とともに生きるために必要な言葉やルール、価値観、振る舞い方などを教え込み、さまざまな影響を与え、行動に制約を加える。しかし、また、同時に、社会の構成要素は他ならぬ個々の人々であり、社会を動かしているのはこの私たち自身である。社会学は、社会的世界に関する「常識的な見方・考え方」を超えて、このような人間と社会との関係を解明しようとする学問である。この科目では、身近で具体的な社会現象を素材としつつも、複雑な現代社会の錯綜した諸関係を丹念に読み解き、人間の社会生活に潜んでいる諸問題を検討していく。そうした分析作業を通じて、社会的な見方・考え方を身につけることで、現代社会と人間との関係（人と社会の共生）や、それが抱える諸問題に関する洞察力を鍛え、人と社会とに関する総合的な視野を養うことを目標とする。</p>
	テキストの概要	<p>この科目では次の文献をテキストとして使用します。</p> <p>友枝 敏雄 他『社会学のエッセンス（新版補訂版） 世の中のしくみを見ぬく』（有斐閣 2017）</p> <p>このテキストは、大学に入学した初学者を社会学の世界に誘う入門書であり、日常生活を営む読者と同じ視線から社会学の世界を全般的にとりあげている点に特色がある。「誰にでもわかる理論社会学」の入門書として執筆されているため、文章も平易で読み易いが、それでいて内容的にも充実しており、社会学の重要なテーマの多くが盛り込まれている。このテキストを丹念に読み込むことによって、現代社会の諸問題や社会と人間との関係を考えていく上で必要な社会的概念や社会的思考を学習することができるだろう。</p> <p>（※なお、2018 年度よりテキストが改訂され、上記の『社会学のエッセンス（新版補訂版）』にかわったので、2017 年度以前に入学した学生は注意すること。）</p>
授業計画		<p>スクーリング（2単位）とWBTによる学習（2単位）の計4単位の科目です。今年度この科目はスクーリングが開講されない予定ですので、スクーリングの代わりにメディア授業を受講してください。</p> <p>WBTで出題される所定の回数のエクササイズに合格の後、WBT上で行われる単位認定試験に合格することで2単位を認定します。</p> <p>メディア授業視聴後、WBT上から単位認定試験レポートを提出し、合格することで2単位（スクーリング単位）を認定します。</p> <p><スクーリング></p> <p>第01講 [社会学の対象と視点]</p>

- 第 02 講 [社会・集団のなかの人間]
- 第 03 講 [社会化とその担い手]
- 第 04 講 [社会化とアイデンティティ]
- 第 05 講 [失業率と自殺率の上昇①]
- 第 06 講 [失業率と自殺率の上昇②]
- 第 07 講 [自殺と社会変動①]
- 第 08 講 [自殺と社会変動②]
- 第 09 講 [現代社会における合理化]
- 第 10 講 [感情管理社会としての現代社会]
- 第 11 講 [グローバル化①]
- 第 12 講 [グローバル化②]
- 第 13 講 [まとめ①]
- 第 14 講 [まとめ②]

<メディア授業>

- 第 01 講 [社会学の対象と視点]
- 第 02 講 [社会・集団のなかの人間]
- 第 03 講 [社会化とその担い手]
- 第 04 講 [社会化とアイデンティティ]
- 第 05 講 [失業率と自殺率の上昇①]
- 第 06 講 [失業率と自殺率の上昇②]
- 第 07 講 [自殺と社会変動①]
- 第 08 講 [自殺と社会変動②]
- 第 09 講 [現代社会における合理化]
- 第 10 講 [感情管理社会としての現代社会]
- 第 11 講 [グローバル化①]
- 第 12 講 [グローバル化②]
- 第 13 講 [まとめ①]
- 第 14 講 [まとめ②]
- 第 15 講 [まとめ③ (社会学的想像力)]
- 補 講 [日本は幸せな社会なのだろうか]

<自宅学習>

- 第 1 章 意味と相互主観性
- 第 2 章 アイデンティティ
- 第 3 章 スティグマ
- 第 4 章 正常と異常
- 第 5 章 予言の自己成就
- 第 6 章 社会構築主義
- 第 7 章 ジェンダー
- 第 8 章 規範と制度
- 第 9 章 コミュニケーションの自己準拠
- 第 10 章 社会のなかの権力

2022 武蔵野大学 通信教育部 シラバス

	第11章 不平等と正義 第12章 共同体 第13章 国家と市民社会 第14章 移民と国民国家 第15章 グローバル化と公共圏 第16章 ユートピアと想像力
成績評価の方法	単位認定試験
実践的教育を行う 授業科目の種別	a: 実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目
	担当教員の実務経験 (経歴・資格等)
	授業内容との関連性
	b: 企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目
	学外講師の経歴・資格等
	授業内容
	c: 企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、 研修を行う授業科目
	実習先・実習の目的
備考	

科目名		人と社会の共生B（ジェンダー）
担当教員		西山 千恵子
授業方法		講義
科目の概要	到達目標	<p>ジェンダー（gender）とは、社会的・文化的につくられた性別、性差をさす。社会的性別・性差としてのジェンダーは、生物学的上での性別・性差を意味するセックス（sex）と区別されて用いられることがあった。しかし、近年では生物学的性別・性差（sex）という知識やカテゴリーもまた社会的に構築されたものにとらえ、ジェンダーとセックスを区別しない見方が主流とあってよい。ジェンダーは、人間を女性・男性として差異化し、区別するのみならず、社会システムとして権力関係を生み出しながら様々な社会秩序を構成している。社会の制度・慣習・道徳・政策・教育・メディア・歴史など人間生活のあらゆる領域はジェンダーと切り離しては考えられない。</p> <p>この「ジェンダー」を切り口にして、個人のライフコースを通してみられる男女の経験の違いを明らかにするという課題に挑戦していこう。個人のライフコースはその個人固有の特徴があると同時に、社会システムとしてのジェンダーの影響をなにかしら受けている。その課題に向き合う過程で、個人が、性別にかかわらず、豊かに生きられる社会の実現のためには何が必要なのかについて考えてみよう。そして学習の終わりには、一人一人が具体的な方法について提案できる実践的な力を獲得することを目標としたい。</p>
	テキストの概要	<p>学習内容は、上にあげた2冊のテキストいずれにも対応した内容です。それぞれの該当ページを示すので、それにそって学習を進めましょう。</p> <p>個人の誕生から成長の過程にそってそれぞれのライフ・ステージにみられる女性と男性の「典型的」と思われる社会的経験の違いを明らかにします。そして、女性の経験・男性の経験それぞれのもつ問題点および共生の社会を実現するために必要な視点について考えていきます。</p>
授業計画		<p>スクーリング（2単位）とWBTによる学習（2単位）の計4単位の科目です。</p> <p><スクーリング></p> <p>第01講 [ジェンダーとは何か]</p> <p>第02講 [ジェンダー統計]</p> <p>第03講 [国連のジェンダー政策]</p> <p>第04講 [日本のジェンダー政策]</p> <p>第05講 [女子差別撤廃条約]</p> <p>第06講 [男性差別・男性学]</p> <p>第07講 [多様な性のあり方]</p> <p>第08講 [ジェンダーの形成過程]</p> <p>第09講 [性的少数者の人権]</p> <p>第10講 [近代家族論]</p> <p>第11講 [暴力とジェンダー]</p>

	<p>第12講 [メディアとジェンダー] 第13講 [視覚表象とジェンダー] 第14講 [単位認定試験] <メディア授業> 第01講 [ジェンダーとは何か] 第02講 [国連のジェンダー政策] 第03講 [日本のジェンダー政策] 第04講 [女子差別撤廃条約] 第05講 [ジェンダーの周辺概念] 第06講 [性別違和と同性愛] 第07講 [多様な性のありかた] 第08講 [ジェンダーの形成過程] 第09講 [教育・労働とジェンダー] 第10講 [近代家族論] 第11講 [現代家族の男女] 第12講 [暴力とジェンダー] 第13講 [メディアとジェンダー] 第14講 [視覚表象とジェンダー] 第15講 [ジェンダー研究の現在] 第16項 [単位認定試験] <自宅学習> 第1章 ジェンダーの課題と考え方 第2章 誕生—幼児期—教育期 第3章 青年期—仕事・恋愛・結婚までの長い道のり 第4章 労働とジェンダー 第5章 家族の中の女と男 第6章 少子化・育児・親役割と就労 第7章 高齢期とジェンダー 第8章 新しいシェアリングのかたち</p>	
成績評価の方法	単位認定試験	
実践的教育を行う 授業科目の種別	a：実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目	
	担当教員の 実務経験 (経歴・資格等)	
	授業内容との 関連性	
	b：企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目	
	学外講師の 経歴・資格等	
	授業内容	

2022 武蔵野大学 通信教育部 シラバス

	c：企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、 研修を行う授業科目	
	実習先・実習の目的	
備考		

科目名		人と自然の共生（人間と自然環境）
担当教員		大倉 茂
授業方法		講義
科目の概要	到達目標	この科目では、人と自然の共生、ないし人間と自然環境（以下、環境）の適切な関係を考える思想の源泉を辿り、その背景や歴史に関心を広げて理解する態度を通じて、環境をより広い視野からとらえることができるようになることを目的とする。
	テキストの概要	このテキストでは、思想的課題として自然の危機と人間の危機を捉えた上で、近代の代表的な思想を踏まえて、どのようにその2つの危機を乗り越えるかという問いについて論じている。
授業計画		<p>スクーリング（2単位）とWBTによる学習（2単位）の計4単位の科目です。</p> <p><スクーリング></p> <p>第01講 オリエンテーション 第02講 公害から人新世へ 第03講 環境問題を倫理的に考える 第04講 環境思想史① 第05講 環境思想史② 第06講 功利主義と義務論 第07講 市場経済と官僚制 第08講 共同体と公共圏 第09講 環境正義 第10講 動物倫理 第11講 公害 第12講 グローバルな環境問題 第13講 南方熊楠 第14講 単位認定試験</p> <p><自宅学習></p> <p>第1章 批判的哲学のあり方 第2章 コギト原理と機械論的世界観 第3章 近代の規範理論 第4章 労働力商品と商品交換者 第5章 国民国家と官僚制 第6章 格差問題と環境問題 第7章 共同体と公共圏 第8章 正義とケア 第9章 グローバルな社会へ</p>
成績評価の方法		単位認定試験
		a：実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目

2022 武蔵野大学 通信教育部 シラバス

実践的教育を行う 授業科目の種別	担当教員の実務経験 (経歴・資格等)	
	授業内容との関連性	
	b: 企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目	
	学外講師の経歴・資格等	
	授業内容	
	c: 企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、 研修を行う授業科目	
	実習先・実習の目的	
備考		

科目名		人と社会の共生C（国際協力）
担当教員		浜野 隆
授業方法		講義
科目の概要	到達目標	国際社会で先進国と発展途上国が共生するためには、さまざまな形での国際協力活動が欠かせません。この科目では、まず、国際協力の意義、歴史、開発理論、NGO 活動、発展途上国の文化・社会・教育、日本の国際協力活動について理解を深めることを目的とします。特に、教育は国づくりの礎であり、国際協力においてもその重要性が強調されつつあります。その意味で、教育の国際協力についても理解を深めることも目的としたいと思えます。
	テキストの概要	このテキストでは、まず、国際協力の意義、歴史、開発理論、NGO 活動、日本の ODA について理解します（テキスト第 1 章～6 章）。そして、後半では、国づくりの基礎である教育を取り上げ、発展途上国の教育、教育分野における国際協力について理解を深めることを目的とします（テキスト第 7 章～12 章）。
授業計画		<p>スクーリング（2 単位）と WBT による学習（2 単位）の計 4 単位の科目です。</p> <p><スクーリング></p> <p>第 01 講 [地域と世界の共生とは、発展途上国と私たちの暮らし、消費のありかたを通じて私たちの生活を問い直す、食糧生産と食料自給率]</p> <p>第 02 講 [持続可能な開発について考える、経済的な豊かさと心の豊かさ・幸福感、日本の自殺率、国民総幸福量（GNH）]</p> <p>第 03 講 [国際協力の必要性和意義、日本とアフリカのつながり（携帯電話に使われる希少金属の事例を含む）、アフリカ援助の意義、南南協力と ODA 大綱]</p> <p>第 04 講 [世界の格差はどのように発生したか、銃・病原菌・鉄、植民地支配と途上国、南北問題の歴史と開発理論]</p> <p>第 05 講 [国際開発・協力におけるパートナーシップ、開発と女性、ジェンダーと開発、NGO、フェアトレードの意義と可能性]</p> <p>第 06 講 [持続可能な開発目標（SDGs）、世界経済と ODA、日本の ODA の歴史と特徴、ODA 評価、国際機関の役割]</p> <p>第 07 講 [発展途上国の子どもたちと教育：現状と課題]</p> <p>第 08 講 [教育と経済発展、教育と所得向上、教育と貧困削減、子どもの権利と「万人のための教育」運動、国際教育協力の事例]</p> <p>第 09 講 [小学校教育の普及と教育費の負担、教育の質と学力、学力調査のグローバル化、識字教育、日本の学力問題から考える：家庭環境と学力格差、日本の学力格差は大きい小さいか]</p> <p>第 10 講 [子どもの貧困と教育格差、非認知能力（我慢強さやねばり強さ、挫折から立ち直る力）はどのように育つか。非認知能力と遺伝（性格や能力はどの程度遺伝するのか）、非認知能力の向上プログラム]</p> <p>第 11 講 [女子教育とジェンダー、男女平等指数と日本の位置、なぜ日本ではジェンダーギャップが大きいのか、教育の力で変革は可能か]</p>

	<p>第12講 [幼児教育の効果と保育分野の協力、幼児期の発達支援と学力格差、幼児期と非認知能力、偏差値68以上の大学に合格させた親は子どもの幼児期に何をしたか?]</p> <p>第13講 [中等教育と高等教育、生涯教育、若者とスキル、紛争と教育、幸福感再訪 平和教育のあり方 日本のESD（持続可能な開発のための教育）]</p> <p>第14講 [貧しい人を助ける理由は?。日本は先進国でいられるか?。単位認定試験]</p> <p><メディア授業></p> <p>第01講 [開発途上国と私たちの生活、経済的な豊かさと心の豊かさ、豊かさと幸福感]</p> <p>第02講 [ODAの意義と必要性、ODA大綱]</p> <p>第03講 [アフリカへの協力、南南協力、南北問題の歴史と開発理論]</p> <p>第04講 [国際協力におけるパートナーシップ]</p> <p>第05講 [日本のODA、国際比較で見た日本のODA、国際機関の援助]</p> <p>第06講 [写真で途上国を理解しよう、ODAの評価、開発と教育①]</p> <p>第07講 [開発と教育②、教育分野の国際協力①]</p> <p>第08講 [教育分野の国際協力②]</p> <p>第09講 [発展途上国の教育と子ども：その現状と課題]</p> <p>第10講 [教育支援の国際的な取り組み、EFA（万人のための教育）の理念と現実]</p> <p>第11講 [金融危機と国際協力、幼児教育の効果と保育分野の国際協力、幼児期の発達支援]</p> <p>第12講 [発展と幸福度・GNH、企業の社会的責任]</p> <p>第13講 [女子教育とジェンダー、格差と周辺化]</p> <p>第14講 [教育と労働市場、若者とスキル]</p> <p>第15講 [学力のグローバル化、紛争の現状と「平和のための教育」、開発教育と国際理解教育]</p> <p><自宅学習></p> <p>第1章 国際協力はなぜ必要か -国際協力の意義-</p> <p>第2章 南北問題の歴史と開発理論</p> <p>第3章 国際協力におけるパートナーシップ</p> <p>第4章 日本のODA：その歴史と仕組み</p> <p>第5章 国際比較で見た日本のODA</p> <p>第6章 ODAは役に立っているのか -ODAの評価-</p> <p>第7章 開発と教育</p> <p>第8章 教育分野の国際協力：国際教育協力の現状</p> <p>第9章 政策支援の国際教育協力</p> <p>第10章 「すべての人に教育を」-その理念と現実-</p> <p>第11章 多文化の共生</p> <p>第12章 西欧的教育の途上国への「移植」の検討</p>
成績評価の方法	単位認定試験
	a：実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目

2022 武蔵野大学 通信教育部 シラバス

実践的教育を行う 授業科目の種別	担当教員の実務経験 (経歴・資格等)	
	授業内容との関連性	
	b: 企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目	
	学外講師の経歴・資格等	
	授業内容	
	c: 企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、 研修を行う授業科目	
	実習先・実習の目的	
備考		

科目名	共生の原理（仏教縁起論）	
担当教員	丸井 浩	
授業方法	講義	
科目の概要	到達目標	<p>科学・技術のめざましい進歩とともに、人類社会は未曾有の物質的、経済的繁栄を享受することが可能になりました。しかしその一方では、自然環境の破壊やエネルギーの枯渇の危機といった問題に直面し、私たちは改めて自然環境との共生に取り組みなくてはならなくなりました。また激化する競争原理や、進展する管理社会、情報化社会の裏では、新たな人間疎外の諸相が問題化し、人はさまざまな意味で孤立化していく危険性をはらんでいます。他者との共生、社会、共同体との共生など、「共生」はまさに現代の私たちが直面する最大の課題の一つとも言えるでしょう。いかに共生の仕組みを構築、再構築するか、それはいろいろなアプローチの仕方が可能であり、技術革新（イノベーション）によって解決可能な問題は沢山あるでしょう。しかしそれとは別に、私たち一人ひとりの考え方、価値観、思想の問題として考えなおしてゆくことも、非常に重要です。その際、人類が育んできた古来の思想、哲学、宗教から、学ぶべきものは少なくないと思われます。この「共生の原理」という授業は、そのような問題意識のもとで、仏教思想とインド思想に注目し、多様な要素、対立しあう要素を、いかに個々の多様性を尊重しつつ、調和させ、「一つ」にまとめていくか、そのための知恵を仏教思想やインド思想から学んでいくことが本授業の到達目標です。特に仏教では、すべてのもの・ひと・ことがらは、必ず別のさまざまなもの・ひと・ことがらとの関係性・依存性のもとで、生み出され、あるいは存在すると考えます。これが「縁起」の思想です。「共生」を考える上で、仏教の縁起思想は非常に重要ですので、「共生の原理（仏教縁起論）」というタイトルになっているのです。</p> <p>ただし仏教思想自体が非常に多様な側面を持っています。その仏教の多様性を生かすためにも、この授業はWBTによる学習と、スクーリングないしそれに代わるメディア授業は、多少異なった切り口となっています。テキスト・資料もそれぞれ異なります。具体的には、それぞれ以下に説明がありますのでご覧ください。</p>
	テキストの概要	なし
授業計画	<p>スクーリング（2単位）またはメディア授業（2単位）とWBTによる学習（2単位）の計4単位の科目です。</p> <p>〈メディア授業〉</p> <p>第01講（章） 「共生」という言葉について（その1）</p> <p>第02講（章） 「共生」という言葉について（その2）</p> <p>第03講（章） インド古来の「ダルマの宗教」と共生</p> <p>第04講（章） 仏教のダルマ観と「持続可能な開発」</p> <p>第05講（章） インド的共生思想の前提 ― 多様性</p> <p>第06講（章） インド的共生思想の特色（特にウパニシャッド哲学）</p>	

	<p>第 07 講 (章) 大乘仏教の共生思想 (包括思想)</p> <p>第 08 講 (章) インド的包括思想の今日的意義と仏教縁起論</p> <p>第 09 講 (章) 仏教と「無」－ 仏教独特の共生思想を探る</p> <p>第 10 講 (章) 「無我」の教え－ 対立を乗り越えるための知恵</p> <p>第 11 講 (章) 無の思想・空思想の真の意味</p> <p>第 12 講 (章) 仏教の自己観－ 自己愛と慈悲 (その 1)</p> <p>第 13 講 (章) 仏教の自己観－ 自己愛と慈悲 (その 2)</p> <p>第 14 講 (章) 「対話の哲学」と「二種の言語」から共生を考える (その 1)</p> <p>第 15 講 (章) 「対話の哲学」と「二種の言語」から共生を考える (その 2) /まとめ</p> <p>第 16 講 (章) 単位認定試験</p> <p><テスト></p> <p>序章 「海 (オーシャン) の喩え」</p> <p>第 1 章 「仏教の核心－ 木の根幹」</p> <p>第 2 章 「今日の仏教－ 個人的見解」</p> <p>第 3 章 「仏教の歴史－ 宗派の発展」</p> <p>第 1 1 章 「なぜ善人に不幸が起きるのか？」</p> <p>第 1 2 章 「行い－ 日常の行動と社会参加」</p> <p>結びの章 「自然なる生き方－ もう一つの仏教とモデル」</p>																
成績評価の方法	単位認定試験																
実践的教育を行う授業科目の種別	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="376 1149 1353 1227">a: 実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目</td> <td data-bbox="1353 1149 1544 1227"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="376 1227 722 1323">担当教員の实務経験 (経歴・資格等)</td> <td data-bbox="722 1227 1544 1323"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="376 1323 722 1402">授業内容との関連性</td> <td data-bbox="722 1323 1544 1402"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="376 1402 1353 1480">b: 企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目</td> <td data-bbox="1353 1402 1544 1480"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="376 1480 722 1559">学外講師の経歴・資格等</td> <td data-bbox="722 1480 1544 1559"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="376 1559 722 1637">授業内容</td> <td data-bbox="722 1559 1544 1637"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="376 1637 1353 1738">c: 企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、研修を行う授業科目</td> <td data-bbox="1353 1637 1544 1738"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="376 1738 722 1816">実習先・実習の目的</td> <td data-bbox="722 1738 1544 1816"></td> </tr> </table>	a: 実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目		担当教員の实務経験 (経歴・資格等)		授業内容との関連性		b: 企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目		学外講師の経歴・資格等		授業内容		c: 企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、研修を行う授業科目		実習先・実習の目的	
a: 実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目																	
担当教員の实務経験 (経歴・資格等)																	
授業内容との関連性																	
b: 企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目																	
学外講師の経歴・資格等																	
授業内容																	
c: 企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、研修を行う授業科目																	
実習先・実習の目的																	
備考																	

科目名		宗教と音楽	
担当教員		広中 舞	
授業方法		講義	
科目の概要	到達目標	この科目では、クラシック音楽を通して音楽が学術的・芸術的にどのように扱われているか、また、様々な分野においてどのような役割を果たしているかを考え、音楽に対する理解を深めていきます。	
	テキストの概要	このテキストは、学生礼拝で用いる『礼讃抄』に掲載されている仏教讃歌の数々と現在仏教界でよく歌われている讃歌を集めたものです。斉唱のみならず、同声合唱、混声合唱など、多様な形態で歌うことができるように編集してあります。	
授業計画		<p>スクーリング（2単位）とWBTによる学習（2単位）の計4単位の科目です。</p> <p><スクーリング></p> <p>第01講 イン트로ダクション</p> <p>第02講 西洋音楽史①：時代区分と中世・ルネサンス（8-15世紀）</p> <p>第03講 仏教讃歌</p> <p>第04講 オペラ</p> <p>第05講 西洋音楽史②：バロックの音楽</p> <p>第06講 西洋音楽史③：古典派の音楽</p> <p>第07講 西洋音楽史④：古典派の音楽</p> <p>第08講 【ビデオ】モーツァルト</p> <p>第09講 西洋音楽史⑤：ロマン派の音楽</p> <p>第10講 より楽しく音楽を聴くために知っておきたいこと、20世紀の音楽家たち</p> <p>第11講 西洋音楽史⑥：ロマン派の音楽</p> <p>第12講 西洋音楽史⑦：近現代、音楽の多様化</p> <p>第13講 まとめ</p> <p>第14講 単位認定試験</p> <p><自宅学習></p> <p>楽譜篇</p> <p>解説篇</p>	
成績評価の方法		単位認定試験	
実践的教育を行う授業科目の種別		a：実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目	
		担当教員の実務経験（経歴・資格等）	
		授業内容との関連性	
		b：企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目	
		学外講師の経歴・資格等	

2022 武蔵野大学 通信教育部 シラバス

	授業内容	
	c：企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、研修を行う授業科目	
	実習先・実習の目的	
備考		

科目名		市民と政治
担当教員		中村 孝文
授業方法		講義
科目の概要	到達目標	<p>全ての個人は私的世界の一員であると同時に公共世界（政治社会）の一員でもあります。「市民」とはこの公共世界（政治社会）の一員としての個人のあり方に関わる概念です。この授業の到達目標は、公共世界（政治社会）における「市民」としての自分の役割を理解することです。</p> <p>それでは「市民」とは何でしょうか？「市民」や「市民社会」ということばは、日本語として十分にこなれているとは言えません。そもそも、「市民」は英語の citizen、フランス語の citoyen の翻訳だと言われています。明治のはじめに輸入されたことばで、それ以前は存在しなかったことばです。ことばがない、ということは、概念がない、ということをも意味することになります。こなれた日本語になっていない理由のひとつはここにありません。しかも、それ以来150年ほどたつにもかかわらず、未だこなれた日本語になっていません。それどころか、依然高度にポレミックな概念ですらあります。それにもかかわらず、民主政治（デモクラシー）は、「市民」や「市民社会」抜きでは成立しません。その意味で、「市民」は政治的な概念なのです。この科目では、（1）「市民」、「市民社会」の概念を理解すること、（2）民主政治（デモクラシー）の理念、歴史、現状、展望についてテキストの内容を理解すること、（3）民主政治（デモクラシー）における「市民」の役割を理解すること、（4）昭和初期から現在までの日本の政治を理解すること、を目的とします。</p>
	テキストの概要	<p>このテキストは、「第1部デモクラシーの起源」、「第2部デモクラシーの理念」、「第3部デモクラシーの現実」、「第4部デモクラシーに有利な条件と不利な条件」からなっています。ダールは現代アメリカを代表する政治理論家ですが、かれのデモクラシー論の集大成が本書です。大家が自分の十八番を素人にもわかるように縦横無尽に論じたテキストです。読めば必ず得るところのある書物だといえます。</p>
授業計画	<p>スクーリング（2単位）とWBTによる学習（2単位）の計4単位の科目です。</p> <p><自宅学習> 第1部 デモクラシーの起源 第2部 デモクラシーの理念 第3部 デモクラシーの現実 第4部 デモクラシーに有利な条件と不利な条件</p> <p><スクーリング> 令和3年度隔年休講</p> <p><メディア授業> 第01講 ガイダンス（授業概要、到達目標、予定、評価方法など）なぜ「政治」を学ぶのだろうか？ 第02講 昭和期前半の日本の政治</p>	

	第 03 講 戦後政治学の問題関心 第 04 講 第一の戦後と戦後政治学の形成 第 05 講 第二の戦後の政治と社会学者たちの危機感 第 06 講 戦後日本の政党史と 55 年体制 第 07 講 55 年体制下での戦後政治の変質と「市民」の政治学 第 08 講 55 年体制下での戦後政治の変質と「市民」の政治学（2） 第 09 講 現代政治の課題を考える（1） 第 10 講 現代政治の課題を考える（2） 第 11 講 現代政治の課題を考える（3） 第 12 講 現代政治の課題を考える（4） 第 13 講 現代政治の課題を考える（5） 第 14 講 現代日本の選挙・国会・内閣 第 15 講 政治と「市民」 第 16 講 単位認定試験
成績評価の方法	単位認定試験
実践的教育を行う 授業科目の種別	a：実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目
	担当教員の实務経験 (経歴・資格等)
	授業内容との関連性
	b：企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目
	学外講師の経歴・資格等
	授業内容
	c：企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、 研修を行う授業科目
	実習先・実習の目的
備考	

科目名		女性と労働
担当教員		笹川 あゆみ
授業方法		講義
科目の概要	到達目標	この科目では、日本の女性と労働に関する社会的状況の流れを概観し、女性と働くこととの関係について考えていきます。女性のライフスタイルが多様化している現代社会における女性労働について、ジェンダーの視点から理解を深めます。また、女性労働に関しては多くの課題や問題が指摘されています。女性と労働についての知識を深めたうえで、どのような視点で課題や問題をとらえたら良いのか、どのようにして解決の糸口を探ったら良いのか等について考える力をつけていくことを目指します。
	テキストの概要	資料集（テキスト）は、日本の働く女性の現状及び課題について10章に分けてまとめられています。女性労働の非正規雇用化、男女の賃金や昇進昇格を含む待遇の格差、セクシュアル・ハラスメント、職種の性別分離、子育てと仕事の両立の難しさ、マタニティ・ハラスメントなど、働く女性が直面している様々な課題や問題を取り上げています。また、内閣府や厚生労働省などの資料から多くのデータを紹介しており、女性労働の現状について学ぶことができます。
授業計画		スクーリング（2単位）とWBTによる学習（2単位）の計4単位の科目です。 <自宅学習> 第1章 男女共同参画社会と女性の労働 第2章 日本の働く女たちの現状 第3章 パートタイムで働く女性たち 第4章 男女雇用機会均等法を使いこなそう 第5章 女性に企業の門戸は開かれたのか 第6章 雇用の男女差別・賃金格差を変えていく 第7章 セクシュアル・ハラスメントは労働問題である 第8章 女の仕事／男の仕事にとらわれない 第9章 ポジティブ・アクションを求める 第10章 仕事と子育ての両立を支援する <スクーリング・メディア> 第01講 [男女共同参画社会と女性の就労] 第02講 [女性と労働の現状] 第03講 [男女の雇用格差問題] 第04講 [非正規雇用労働] 第05講 [男女雇用機会均等法] 第06講 [セクシュアル・ハラスメント①] 第07講 [セクシュアル・ハラスメント②] 第08講 [女の仕事／男の仕事①] 第09講 [女の仕事／男の仕事②] 第10講 [ポジティブ・アクション]

2022 武蔵野大学 通信教育部 シラバス

	第 11 講 [育児休業制度]
	第 12 講 [育児休業取得の課題]
	第 13 講 [まとめ]
	第 14 講 [単位認定試験]
成績評価の方法	単位認定試験
実践的教育を行う 授業科目の種別	a : 実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目
	担当教員の实務経験 (経歴・資格等)
	授業内容との関連性
	b : 企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目
	学外講師の経歴・資格等
	授業内容
	c : 企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、 研修を行う授業科目
	実習先・実習の目的
備考	

科目名	環境デザイン論
担当教員	林田 和人
授業方法	講義
科目の概要	<p>「自分で問題を見つけて、自分で解決策を発想し提案する」ことを、この授業の目的とします。</p> <p>これまで皆さんは、大学に通われる前、そして大学で多くのことを学びインプットしてきました。</p> <p>この授業では、ぜひ、このインプットをもとにして、アウトプットをし、自分にしかできないオリジナリティのある発想をしてください。大学の意義は、この「自分のオリジナリティを発見し、発揮する」ことです。</p> <p>そこで、以下の皆さんの能力を引き出し、育成することを目標とします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自身が生活を送る中での問題を発見することで、洞察力を引き出します。 ・そして発見した問題に対する解決策を発想し提案することで、創造力を育成します。 ・さらに、発見した問題点、それに対する解決策についてプレゼンテーションを作成することで、表現力を身につけます。
	<p>人間は、環境（空間）の中で生活し行動しています。環境は人間に対して働きかけ、人間は環境から影響を受けて行動しています。しかし従来の環境デザインは、デザイナーの思い込みにより、使う側の人間（ユーザー）のことをあまり考えずにデザインされているのが現実です。たとえば、美的に美しくても、デザイナーの思い込みによる使い勝手の悪い家具、住宅、建築や都市空間など、皆さんの身近にも数多く見つかるのではないのでしょうか。</p> <p>テキストでは、人間の身体寸法、感覚、群集の流動や滞留の行動特性など、デザインをする上で知っておくべき環境と人間との関わりを紹介しています。</p> <p>テキストで取り上げている具体的項目の中でレポートに関係するのは、アフォーダンス、パーソナルスペースです。皆さんにとって聞き慣れない言葉かもしれませんが、環境デザインを行う上で知っておくべき重要なキーワードです。</p>
授業計画	<p>スクーリング（2単位）とWBTによる学習（2単位）の計4単位の科目です。</p> <p><自宅学習></p> <ul style="list-style-type: none"> ・旧テキスト <p>第2章第1節 身体と座（アフォーダンス）</p> <p>第2章第2節 人間のまわりの空間（パーソナルスペース）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新テキスト <p>課題41（アフォーダンス）</p> <p>課題37、38、39、40（パーソナルスペース）</p> <p><スクーリング></p> <p>第01講：講義「人体寸法とモノとの関係」</p> <p>第02講：講義「関係を測ることを知る」</p>

2022 武蔵野大学 通信教育部 シラバス

	第03講：グループワーク「仮説を立てて実験を行い計測する」 第04講：グループワーク「人体寸法との関係からモノのアイデアを発想する」 第05講：講義「アフォーダンス」、「パーソナルスペース」 第06講：講義「プレゼンテーション」 第07講：グループワーク「生活の観察」、個人ワーク「生活の観察からアイデアを発想する」 第08講：講義「群集流動と滞留の特性」 第09講：グループワーク「群集の観察」 第10講：グループワーク「行動特性の発見」 第11講：個人ワーク「行動特性からアイデアを発想する」 第12講：講義「未来の技術、行動シミュレーション、私の研究紹介」 第13講：個人ワーク「自分が思う問題をあげる」 第14講：個人ワーク「自分が思う問題を解決するアイデアを発想する」	
成績評価の方法	単位認定試験	
実践的教育を行う 授業科目の種別	a：実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目	
	担当教員の 実務経験 (経歴・資格等)	
	授業内容との 関連性	
	b：企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目	
	学外講師の 経歴・資格等	
	授業内容	
	c：企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、 研修を行う授業科目	
	実習先・実習の 目的	
備考		

科目名		異文化コミュニケーション
担当教員		岐部 慶子
授業方法		講義
科目の概要	到達目標	<p>21世紀になり、私たちにとって、異なった文化背景の人々と様々な形で接触し交流することが日常的になりました。政治経済においては、アメリカの一国至上主義に陰りが生じ、世界勢力が欧米から中国やインドなどのアジア興新国へと移行しています。そして、いつしか「グローバル化」という言葉が「国際化」という言葉を取って代わりました。この「到達目標」を読んでいる、今、この時でさえ、国家の意思とは別個に、複数の文化・文明の融合と衝突が地球規模で繰り返されています。その一方で、日々加速するグローバル化によって、伝統や自我（アイデンティティ）の喪失が懸念されています。本教科では、文化の異なる人々との相互理解と共存共栄を達成するため、異文化との接触に適応できる知識とスキルを修得し、異なった文化と価値観を理解尊重し受容することを可能とする基盤の形成を目指します。</p>
	テキストの概要	<p>八代京子 他『異文化トレーニング ― ボーダレス社会を生きる』 世界のグローバル化に伴い、社会はボーダレス化しています。単一民族・単一言語の日本は姿を消し、日本に住む外国人が増え、言語だけでなく、文化的な背景や価値観が異なる人たちが生活を共にする多文化社会が形成されています。しかし、だからと言って私たちの異文化に対する理解が向上したとは言い難いのが現状です。本書はこのようなボーダレス社会で文化背景の異なる人たちと有効かつ建設的共生共栄を成し遂げるためのコミュニケーションに必要な態度とスキルを養成することを目的としています。</p> <p>川勝平太（監修） ポール・スノードン他『イギリスの社会―「開かれた階級社会」をめざして』 このテキストでは、かつてジェントルマン（紳士）の理念であった「ノブレス・オブリージ（高貴な身分にともなう義務）」が社会構造の変化により崩れ、多様な価値観を共有する「開かれた階級社会」を目指す現代イギリス社会を取り上げて、国際化・グローバル化した現代人に求められている「異文化理解」の意義を学びます。その具体例として自然と生活環境、社会構造、宗教と行事、社会福祉、教育・科学・技術、マスメディア、文学・スポーツなどを切り口として異なる文化への理解を深めます。</p>
授業計画		<p>スクーリング（2単位）とWBTによる学習（2単位）の計4単位の科目です。</p> <p><スクーリング></p> <p>第01講 [(異)文化とは何か]</p> <p>第02講 [コミュニケーションの仕組み]</p> <p>第03講 [言語コミュニケーション]</p> <p>第04講 [非言語コミュニケーション]</p> <p>第05講 [価値観と価値志向]</p> <p>第06講 [異文化のとらえ方・接し方]</p> <p>第07講 [トロンペナルスの文化次元1]</p>

	<p>第 08 講 [カテゴリー化、ステレオタイプ]</p> <p>第 09 講 [カルチャーショック]</p> <p>第 10 講 [異文化感受性発展モデル]</p> <p>第 11 講 [アサーティブ・コミュニケーション]</p> <p>第 12 講 [発表準備]</p> <p>第 13 講 [グループ発表]</p> <p>第 14 講 [単位認定試験]</p> <p>第 15 講 [まとめ、振り返り]</p> <p><レポート></p> <p>八代京子他『異文化トレーニング ― ボーダレス社会を生きる』</p> <p>第 1 章 なぜ今、異文化コミュニケーションか</p> <p>第 2 章 コミュニケーションとは何か：コミュニケーションのメカニズム</p> <p>第 3 章 ことばによるコミュニケーション</p> <p>第 4 章 ことばのないメッセージ：非言語コミュニケーション</p> <p>第 5 章 見えない文化：価値観と文化的特徴</p> <p>第 6 章 異なる文化のとらえ方・接し方：異文化の理解</p> <p>第 7 章 異文化との出会い：カルチャー・ショックと異文化適応</p> <p>川勝平太（監修） ポール・スノードン他『イギリスの社会―「開かれた階級社会」をめざして』</p> <p>第 1 章 「地勢と自然・生活環境」</p> <p>第 2 章 社会構造</p> <p>第 3 章 宗教と行事</p> <p>第 4 章 社会福祉</p> <p>第 5 章 教育</p> <p>第 6 章 科学と技術</p> <p>第 7 章 マスメディア</p> <p>第 8 章 文学―演劇と詩</p> <p>第 9 章 スポーツ</p>	
成績評価の方法	単位認定試験	
実践的教育を行う 授業科目の種別	a：実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目	
	担当教員の 実務経験 (経歴・資格等)	
	授業内容との 関連性	
	b：企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目	
	学外講師の 経歴・資格等	
	授業内容	

2022 武蔵野大学 通信教育部 シラバス

	c：企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、 研修を行う授業科目	
	実習先・実習の目的	
備考		

2022 武蔵野大学 通信教育部 シラバス

科目名		SDG s 基礎	
担当教員		川島 哲・菊地 ひとみ・野口 普子・本多 勇・前廣 美保・前田 壽雄・松野 航大・渡辺 英雄	
授業方法		講義	
科目の概要	到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・SDG s の全体像を理解する。 ・SDG s の理念と目的を、心理学、社会福祉、教育学、看護学の専門性と結び付けて理解する。 ・武蔵野大学の大学ブランド「世界の幸せをカタチにする。」について理解を深める。 ・「四弘誓願」とSDG s の理念のつながり、ほとけのおしえとのつながりについて理解を深める。 	
	テキストの概要	なし	
授業計画		<p>WB Tで出題される所定の回数エクササイズに合格の後、WB T上で行われる単位認定試験に合格することで1単位を認定します。</p> <p><自宅学習></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. イントロダクション：SDGs 基礎 2. 「持続可能な開発目標（SDGs）」の17項目と各専門領域の学びとのつながりを考える 3. 各学問領域の専門性とSDG s 4. 武蔵野大学のブランド「世界の幸せをカタチにする。」 5. 仏教とSDGs 	
成績評価の方法		単位認定試験	
実践的教育を行う授業科目の種別	a：実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目		
	担当教員の実務経験（経歴・資格等）		
	授業内容との関連性		
	b：企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目		
	学外講師の経歴・資格等		
	授業内容		
	c：企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、研修を行う授業科目		
	実習先・実習の目的		
備考			

科目名		SDGs 発展
担当教員		野口 扶美子
授業方法		講義
科目の概要	到達目標	持続可能な開発課題の本質的な解決には、課題がどのようにいろいろな分野やセクターとつながり合っているのかを理解し、多様な関係者と対立を超えて協働しながら、本質的な解決策を探ることが必要である。この科目では、持続可能な開発目標(SDGs)をめぐる国際・国内政治に関する全般的な動向についての理解を深めるとともに、SDGs がどのように自分たちの地域レベルでの暮らしに関わるのかを理解し、自分の仕事や関心のある課題に引きつけて、分野や仕事の業種を超えて多様な関係者と議論し、より有効な解決策、行動に結びつけていくための基礎的・実践的な力を身につけることを目的とする。
	テキストの概要	なし
授業計画		<p>本校（東京都西東京市）で行われるスクーリング（2日間、全7コマ）に出席し、WBTで出題される単位認定レポート（1回）、グループ課題のプレゼンテーション、課題提出・合格の後、2単位を認定します。</p> <p><スクーリング></p> <p>1コマ目：持続可能な開発の概念、SDGs をめぐる国際・国内の動向</p> <p>2コマ目：SDGs 実践事例、ワークショップ</p> <p>3コマ目：課題についての説明、グループ分け、大学周辺でのフィールドワーク</p> <p>4コマ目：グループ課題計画作成、役割分担</p> <p>5コマ目：SDGs をめぐる国際・国内の動向（続き）</p> <p>6コマ目：グループプレゼンテーション</p> <p>7コマ目：ふりかえりワークショップ、総括講義</p> <p><自宅学習></p> <p>レポート課題《リフレクティブ・プラクティス（自分史ふりかえり実践：Reflective Practice）》</p> <p>自分自身の環境・社会観や生き方に大きな影響をあたえた、自分の家族・人間関係、社会、環境全般での大きな出来事などをシグニフィカント・ライフ・エクスペリエンス（SLE）と言う。自分の人生のなかでどんなSLEがあったのかをふりかえり、それが今の大学での勉強や仕事、自分の環境や社会課題への関心にどうつながり、今後の自分の進みたい方向性や、より持続可能な社会を実現する上でやってみたいこととどうつながっているのかについてのエッセイを書く。</p> <p>グループ課題</p> <p>武蔵野大学のある西東京のまち、あるいは、グループで選んだ地域を持続可能にするグループプロジェクト企画とプレゼンテーション。グループメンバーの多様な経験や知識を持ち合わせて、グループでプロジェクトを企画し、企画書を作成する。</p>
成績評価の方法		単位認定試験

2022 武蔵野大学 通信教育部 シラバス

実践的教育を行う 授業科目の種別	a：実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目		
	担当教員の実務経験 (経歴・資格等)		
	授業内容との関連性		
	b：企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目		
	学外講師の経歴・資格等		
	授業内容		
	c：企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、 研修を行う授業科目		
	実習先・実習の目的		
備考			

科目名		アカデミック・ライティング	
担当教員		黒河内 利臣	
授業方法		講義	
科目の概要	到達目標	<p>本科目の到達目標は、大学生に期待されるレベルの論文・レポート（本科目では「論文」と表記を統一します）を作成できるようになることです。具体的には、「〇〇について（自由に）論じなさい」などと簡潔に指示された場合に、その出題されたときから提出までの過程で、どのような作業をへて完成・提出する必要があるかを理解し、実際に作成・提出することが目標となります。</p> <p>なお、本科目でいう「論文」とは、学術論文や学位論文などのレベルのものではありません。与えられたテーマの中から自分でテーマを具体化し、そのテーマで論じる妥当性を論文・文献・データ等で裏づけて考察をおこなうもの、端的にまとめると「主観を排除して意見を述べるもの」を想定しています。「論文」という文言を用いるのは、単に調べてまとめて自分の考察（意見）を述べるだけのものや、主観をただ述べるような意見文、作文・感想文の類のものと区別するためです。</p>	
	テキストの概要	なし	
授業計画		<p>スクーリング（1単位）とWBTによる自宅学習（1単位）の計2単位の科目です。</p> <p><スクーリング></p> <p>第1回 大学生に期待されるレポートとは 第2回 データを読む 第3回 テーマ設定(1) テーマの具体化 第4回 テーマ設定(2) 考察 第5回 論理的読解 第6回 論文・データの出典表記 第7回 レポート作成</p> <p><自宅学習></p> <p>課題1. 大枠のテーマから具体化したテーマを設定する（論点設定第1段階） 課題2. 具体化したテーマからさらにテーマを特定する（論点設定第2段階） 課題3. なぜそのテーマについて議論する必要があるのか先行研究から引用して述べる 課題4. そのテーマの論点についての現状説明をする 課題5. どのようなことが考察できるか 課題6. 出典表記一覧</p> <p>単位認定レポート. 論文をしあげる</p>	
成績評価の方法		単位認定試験	
実践的教育を行う授業科目の種別		a: 実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目	
		担当教員の实務経験 (経歴・資格等)	

2022 武蔵野大学 通信教育部 シラバス

	授業内容との関連性	
	b：企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目	
	学外講師の経歴・資格等	
	授業内容	
	c：企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、研修を行う授業科目	
	実習先・実習の目的	
備考		

科目名		キャリアコミュニケーション	
担当教員		川島 哲・菊地 ひとみ・野口 普子・本多 勇・前廣 美保・松野 航大・渡辺 英雄	
授業方法		講義	
科目の概要	到達目標	<p>本科目の「達成課題（到達目標）」を、次の通り設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・キャリア形成の基本的理解を図る。学修者それぞれのライフステージにおける人生観を構築する。 ・実習やインターン時のマナー（社会人のマナー含む）について理解する。 ・心理学・カウンセリングの仕事、キャリアについて理解する。 ・看護・医療の領域の仕事、キャリアについて理解する。 ・教育・教員（教師）の仕事、キャリアについて理解する。 ・社会福祉・ソーシャルワークの仕事、キャリアについて理解する。 ・チームアプローチ・多職種連携の基本について理解する。 ・以上の学びを自身のキャリア形成、キャリア発達にいかすことができる。 	
	テキストの概要	なし	
授業計画		<p>スクーリング（1単位）とWBTによる学習（1単位）の計2単位の科目です。</p> <p><スクーリング></p> <p>第1講 キャリアデザインについて イン트로ダクション</p> <p>第2講 社会人マナー（実習・インターン等でのマナー含む）</p> <p>第3講 （心理学）カウンセリングの仕事</p> <p>第4講 （看護、医療）看護・医療の仕事</p> <p>第5講 （教育）教育、教員の仕事</p> <p>第6講 （社会福祉）社会福祉・ソーシャルワークの仕事、</p> <p>第7講 キャリアコミュニケーション（まとめ）、課題レポート提出</p> <p><自宅学習></p> <p>第1章 キャリアデザインについて イン트로ダクション</p> <p>第2章 実習やインターン時のマナー（社会人のマナー含む）</p> <p>第3章 心理学の仕事</p> <p>第4章 看護の仕事</p> <p>第5章 教育、教員の仕事</p> <p>第6章 社会福祉・ソーシャルワークの仕事、キャリア</p>	
成績評価の方法		単位認定試験	
実践的教育を行う授業科目の種別		a：実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目	○
		担当教員の実務経験 （経歴・資格等）	（菊地 ひとみ先生 職歴） ・国立がんセンター中央病院 脳外科・整形外科病棟 ・計画治療病棟看護師長

2022 武蔵野大学 通信教育部 シラバス

	<ul style="list-style-type: none"> ・独立行政法人国立病院横浜医療センター 副看護部長 (野口 普子先生 職歴) ・医療法人社団総合会武蔵野中央病院 看護部武蔵野大学心理臨床センター 相談員 ・財団法人精神医学研究所附属東京武蔵野病院 看護部 (本多 勇先生 職歴) ・社会福祉法人徳心会総合福祉施設いずみえん 介護事業部長 ・医療法人社団充会介護老人保健施設太郎 相談室長・支援相談員 (前廣 美保先生 職歴) ・社会福祉法人京福会 特別養護
授業内容との関連性	人間学・心理学・社会福祉学・教育学にて実務経験のある教員が学生のキャリア形成の基本的な理解を図る。
b: 企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目	
学外講師の経歴・資格等	
授業内容	
c: 企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、研修を行う授業科目	
実習先・実習の目的	
備考	

科目名		人間科学概論	
担当教員		川島 哲・菊地 ひとみ・野口 普子・本多 勇・前廣 美保・前田 壽雄・松野 航 大・渡辺 英雄	
授業方法		講義	
科目の概要	到達目標	<p>本科目の「達成課題（到達目標）」を、次の通り設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・仏教学からみる人間について理解し、人間科学について理解を深める。 ・心理学の学問体系、全体像、その視点・焦点を理解する。 ・社会福祉学の学問体系、全体像、その視点・焦点を理解する。 ・看護学の学問体系、全体像、その視点・視点を理解する。 ・教育学の学問体系、全体像、その視点・視点を理解する。 ・心理学、仏教学、社会福祉学、看護学、教育学の相互のつながりを把握する。 	
	テキストの概要	なし	
授業計画		<p>スクーリング（1単位）とWBTによる学習（1単位）の計2単位の科目です。</p> <p><スクーリング></p> <p>第1講 人間科学概論について（イントロダクション）</p> <p>第2講 共通テーマ、仏教学からみた人間科学</p> <p>第3講 心理学</p> <p>第4講 看護学</p> <p>第5講 教育学</p> <p>第6講 社会福祉学</p> <p>第7講 人間科学概論（まとめ）、課題レポート提出</p> <p><自宅学習></p> <p>第1回 : 人間科学総論、仏教学からみた人間科学、心理学</p> <p>第2回 : 教育学、社会福祉学、看護学</p> <p>単位認定試験：全範囲</p>	
成績評価の方法		単位認定試験	
実践的教育を行う授業科目の種別		a：実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目	○
		<p>担当教員の実務経験（経歴・資格等）</p> <p>(菊地 ひとみ先生 職歴)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 国立がんセンター中央病院 脳外科・整形外科病棟 ・ 計画治療病棟看護師長 ・ 独立行政法人国立病院横浜医療センター 副看護部長 <p>(野口 普子先生 職歴)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 医療法人社団総合会武蔵野中央病院 看護部武蔵野大学心理臨床センター 相談員 ・ 財団法人精神医学研究所附属東京武蔵野病院 看護部 <p>(本多 勇先生 職歴)</p>	

2022 武蔵野大学 通信教育部 シラバス

	<ul style="list-style-type: none"> ・ 社会福祉法人徳心会総合福祉施設いずみえん 介護事業部長 ・ 医療法人社団充会介護老人保健施設太郎 相談室長・支援相談員 <p>(前廣 美保先生 職歴)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 社会福祉法人京福会 特別養護
授業内容との関連性	人間学・心理学・社会福祉学・教育学にて実務経験のある教員が各々の分野の視点・焦点について学生の理解力向上を図る。
b: 企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目	
学外講師の経歴・資格等	
授業内容	
c: 企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、研修を行う授業科目	
実習先・実習の目的	
備考	

2022 武蔵野大学 通信教育部 シラバス

科目名		心と体の健康	
担当教員		野口 普子	
授業方法		講義	
科目の概要	到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・いくつかの「健康観」について理解し、自分が考える健康感について説明することができる。 ・国内外の「健康政策」について説明することができる。 ・心身の「健康」のメカニズムについて理解し、説明することができる。 ・生活における「健康」について概要を理解し、説明することができる。 	
	テキストの概要	この科目は、スタディガイドを用いて学びます。テキストはありません。	
授業計画		<p>WBTで出題される所定の回数のエクササイズに合格の後、WBT上で行われる単位認定試験に合格することで2単位を認定します。</p> <p><自宅学習></p> <ul style="list-style-type: none"> ・健康についての定義 ・健康を増進するための国内外の基本的な政策について ・心身の健康 	
成績評価の方法		単位認定試験	
実践的教育を行う授業科目の種別	a：実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目		
	担当教員の実務経験 (経歴・資格等)		
	授業内容との関連性		
	b：企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目		
	学外講師の経歴・資格等		
	授業内容		
	c：企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、研修を行う授業科目		
	実習先・実習の目的		
備考			

科目名		英語コミュニケーション1	
担当教員		藤岡 美香子	
授業方法		講義	
科目の概要	到達目標	本講座では、英語を話すために必要な基礎力を養成することを主眼とする。具体的には、会話に頻出する文法事項に焦点をあてて学習し、英文を作り上げる練習を行う。知的で内容のある会話を行うのに欠かせない「丁寧な表現」や日本語の概念にない関係詞、さらには日本人が苦手とする前置詞などを体系的に学び、また、テキストの内容を収録したCD（音声）を利用して音声面からの定着を図り、リスニング力を同時に身につけることも目標とする。これらの目標到達は、最終的には、人間の心の本質の探究、総合的視野からの人間の理解に役立つ力につながっていくと考えている。	
	テキストの概要	英文法は、「会話に文法は必要ない」と敬遠されがちである。しかし、日本人が外国語として英語をマスターするためには、ある程度の文法を意識的に理解するほうが効率がよい。この考えに基づき、会話に必要な文法だけに的を絞り、実際の会話ですぐに使える例文を使って説明がなされている。	
授業計画		<p>WB Tで出題される所定の回数 of エクササイズに合格の後、WB T上で行われる単位認定試験に合格することで2単位を認定します。</p> <p><自宅学習></p> <p>テキスト1節～26節：仮定法と関係詞</p> <p>テキスト27節～47節：前置詞（句）</p> <p>テキスト48節～64節：前置詞（句）</p> <p>テキスト65節～78節：接続詞、副詞、現在完了形、使役動詞</p> <p>テキスト79節～100節：数量を表す形容詞、不定代名詞、重要会話表現</p>	
成績評価の方法		単位認定試験	
実践的教育を行う授業科目の種別	a：実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目		
	担当教員の实務経験 (経歴・資格等)		
	授業内容との関連性		
	b：企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目		
	学外講師の経歴・資格等		
	授業内容		
	c：企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、研修を行う授業科目		
実習先・実習の目的			

備考

科目名		英語コミュニケーション2
担当教員		藤岡 美香子
授業方法		講義
科目の概要	到達目標	本講座では、日本の企業などで英語資格試験として急速な勢いで採用されている TOEIC (Test of English for International Communication) を受験するための基礎力をつけることを目標とする。具体的には、高校卒業程度の英語力を基に、実際の TOEIC の Part1 から Part7 までの形式に準じた問題を解きながら、ビジネス英語をベースとした TOEIC の問題に対応するために必要な重要ヴォキャブラリー、文法項目を定着させることを目指す。これらの目標到達は、最終的には、人間の心の本質の探究、総合的視野からの人間の理解に役立つ力につながっていくと考えている。
	テキストの概要	2016年5月から実施されている新形式の TOEIC LISTENING AND READING TEST (略称: TOEIC L&R TEST) に完全に対応し、TOEIC L&R TEST 全受験者の約7割が分布している350点から730点レベルの人を対象に書かれている。特に、大学生の TOEIC 受験者に特徴的なヴォキャブラリー不足を補うことに重点を置いている。(テキストの問題の正解は、当科目の「科目資料参照へ」ボタンをクリックにてアップロードされている)
授業計画		<p>WB Tで出題される所定の回数のエクササイズに合格の後、WB T上で行われる単位認定試験に合格することで2単位を認定します。</p> <p><自宅学習></p> <p>(1)テキスト4ページにある「TOEIC LISTENING AND READING TEST の基礎知識」を読み、TOEIC テストの各パートの問題形式を理解する。</p> <p>(2)レッスンごとに、習得すべき最重要ヴォキャブラリーが紹介されているので、まず Part1 から Part4 までのリスニング問題の最重要ヴォキャブラリーを声に出して読みながら、各単語や熟語の意味や使い方を確認する。</p> <p>(3)Part1 から Part4 までのリスニング問題を順に CD を使って解く。</p> <p>(4)必要であれば、このスタディガイドの「授業計画」の欄に説明されている該当部分の「トランスクリプト」を確認して、もう一度自分の解答やトランスクリプトなしでは解答が難しかった問題を確認する。</p> <p>(5) Part5 から Part7 までのリーディング問題の最重要ヴォキャブラリーを声に出して読みながら、各単語や熟語の意味や使い方を確認する。</p> <p>(6) Part5 から Part7 までのリーディング問題を順に解く。</p> <p>(7) 必要であれば、このスタディガイドの「授業計画」にある「正解へのカギ」の文法・語彙項目の説明を確認して、もう一度自分の解答を確認する。</p> <p>(8) 「科目資料参照へ」にアップロードされている正解、解説、和訳を用いて、正解を確認しながら、学習を進める。</p> <p>(9) 以上の手順でエクササイズ1回分の出題範囲の学習を終えたら、web 上に用意されたエクササイズ (小テスト) 20 問を受ける。毎回のエクササイズ 20 問には「リスニング問題」「文法語彙問題」「読解問題」のそれぞれが含まれているが、システムの制限上、実際の TOEIC テストの各パートの問題形式とは次のような変更点がある。</p>

	<p>(10) リスニング問題は、問題画面にスピーカーの形のアイコンがあるので、1問ごとにそれをクリックすると問題が聞こえるようになっている。この際、アイコンをクリックすると音声発信システム（Media Player など）の画面が大きく表示されるので、試験問題や選択肢の表示にかぶさらないように、各自、表示を小さくしたり、パソコン画面の端に移動させるなどの処理が必要である。</p> <p>(11) エクササイズ回数は、計4回である。試験結果は受験後、画面上の「採点」をクリックするとフィードバックされる。60点以上（12問以上正解）の場合、次の回に進むことができる。不合格の場合は、テキストの該当箇所を復習し、再度受験をする。</p> <p>(12) 4回のエクササイズにすべて合格すると、単位認定試験を受験することができる。単位認定試験の構成は、エクササイズと同様、「リスニング問題」「文法語彙問題」「読解問題」がそれぞれ含まれる。</p>	
成績評価の方法	単位認定試験	
実践的教育を行う 授業科目の種別	a：実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目	
	担当教員の 実務経験 (経歴・資格等)	
	授業内容との 関連性	
	b：企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目	
	学外講師の 経歴・資格等	
	授業内容	
	c：企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、 研修を行う授業科目	
	実習先・実習の 目的	
備考		

科目名		英語コミュニケーション3	
担当教員		藤岡 美香子	
授業方法		講義	
科目の概要	到達目標	本講座では、英語を話すために必要な基礎力を養成することを主眼とする。具体的には、会話に頻出する文法事項に焦点をあてて、リスニングと音読を繰り返しながら学習することで、実際の会話の場面で、言いたいことを表現するために応用できる基礎文法の習得を目標とする。これらの目標到達は、最終的には、人間の心の本質の探究、総合的視野からの人間の理解に役立つ力につながっていくと考えている。	
	テキストの概要	英会話においては、どれだけ適切な表現ができるか、つまり、いかに上手にアウトプットできるかが重要なポイントとなる。そのアウトプットのためには、きちんとしたインプットが必要不可欠である。この考えに基づき、会話に必要な50の文法事項、300の基本例文に焦点を絞り、それらのインプットと音読によるアウトプットの練習によって、実際の会話で使える基礎の習得がはかれるように構成されている。	
授業計画		WBTで出題される所定の回数のエクササイズに合格の後、WBT上で行われる単位認定試験に合格することで2単位を認定します。 <自宅学習> テキスト1～11：基本構文と助動詞 テキスト12～26：助動詞 テキスト27～38：関係詞と現在完了 テキスト39～50：使役動詞とその他の重要文法	
成績評価の方法		単位認定試験	
実践的教育を行う授業科目の種別	a：実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目		
	担当教員の実務経験 (経歴・資格等)		
	授業内容との関連性		
	b：企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目		
	学外講師の経歴・資格等		
	授業内容		
	c：企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、研修を行う授業科目		
	実習先・実習の目的		
備考			

科目名		英語コミュニケーション4
担当教員		藤岡 美香子
授業方法		講義
科目の概要	到達目標	本講座では、英語を読むために必要な基礎力を養成することを主眼とする。具体的には、異文化コミュニケーションを扱った文章を読みながら、「英語コミュニケーション③」までの講座で培ってきた基本文法を応用して、専門分野や自分の興味あることについて英語で読み進める力を習得することを目標とする。また、英語読解力に不可欠な語彙力の養成もあわせて行う。これらの目標到達は、最終的には、人間の心の本質の探究、総合的視野からの人間の理解に役立つ力につながっていくと考えている。
	テキストの概要	言語と文化の関係や異文化コミュニケーションのプロセスに影響を与える人間の心理上の重要な側面を考える手助けとなることを目的として書かれたテキスト。各ユニットの冒頭には、自分自身の考えや経験を振り返るきっかけとなる質問が提示されている。また、読後に本文の内容理解度を確認し、自分の考えを発展させることができるように、「選択式」と「記述式」の練習問題が準備されている。また、附属のCDは、アメリカ、イギリス、カナダ、オーストラリアの英語が用いられており、発音の違いに親しむことで異文化コミュニケーションの学習をすることも可能になっている。
授業計画		<p>WB Tで出題される所定の回数のエクササイズに合格の後、WB T上で行われる単位認定試験に合格することで2単位を認定します。</p> <p><自宅学習></p> <p>(1) スタディガイドの「授業計画」に、テキストのユニットごとに、習得すべき重要ヴォキャブラリーが紹介されているので、まず、各単語や熟語の意味が理解できているかを確認する。できていない場合は、辞書を用いて意味の把握をする。</p> <p>(2) テキストの各ユニットの冒頭には、Warm Upとして、自分自身の考えや経験を振り返るきっかけとなる質問がなされている。この部分を読み、英語の本文にどのようなことが書かれているのかについての予備知識を持つ。</p> <p>(3) 見開き2ページで構成されている本文を読む。この際、このスタディガイドの「授業計画」にある「試訳」を参考にする。</p> <p>(4) 本文の内容を理解できたら、各ユニットの後ろにある Vocabulary、Comprehension Questions を解き、内容の理解度を確認する。これらの正答例は、このスタディガイドの「授業計画」に掲載されているので、各自採点し、理解が不十分な場合は本文の該当箇所を再度読む。</p> <p>(5) また、各ユニットで取り上げたテーマに対する自分の考えをまとめ、英語で表現する力を養成するために、Developing Further Ideas through Writing に挑戦する。(ただし、この学習についてはオプションとし、エクササイズ、単位認定試験の範囲には含めない)</p> <p>(6) 以上の手順でエクササイズ1回分の出題範囲の学習を終えたら、web 上に用意されたエクササイズ(小テスト)30問を受ける。毎回のエクササイズ30問は「語彙問題」とテキストの本文に関する「内容把握問題」で構成されている。</p>

2022 武蔵野大学 通信教育部 シラバス

	<p>(7) エクササイズ回数は、計4回である。試験結果は受験後、画面上の「採点」をクリックするとフィードバックされる。60点以上(18問以上正解)の場合、次の回に進むことができる。不合格の場合は、テキストの該当箇所を復習し、再度受験をする。</p> <p>(8) 4回のエクササイズにすべて合格すると、単位認定試験を受験することができる。単位認定試験の構成は、エクササイズと同様、「語彙問題」と「内容把握問題」が含まれる。</p>	
成績評価の方法	単位認定試験	
実践的教育を行う 授業科目の種別	a: 実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目	
	担当教員の 実務経験 (経歴・資格等)	
	授業内容との 関連性	
	b: 企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目	
	学外講師の 経歴・資格等	
	授業内容	
	c: 企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、 研修を行う授業科目	
	実習先・実習の 目的	
備考		

科目名		メディアコミュニケーション1	
担当教員		大塚 啓太	
授業方法		講義	
科目の概要	到達目標	<p>インターネットに代表される情報技術の急速な発展により、誰でも、いつでも、地球規模で情報を受信・発信することが可能になりました。こうしたインターネットを流れる情報は、すべて横並びの全く管理されない自由をもって飛び交っています。一方で、この自由であるという特徴に起因したネットワーク上での犯罪や基本的な人権の侵害など多くの事態が毎日のように報道される中で、情報倫理を確立することが非常に重要になってきています。この情報倫理は情報技術者（ある種の情報専門家）に限定されて求められるものではなく、現代の情報社会で生活をしている全ての人にとって必要とされるものです。この科目では、ネットワーク社会に必要な情報倫理の常識を学習することを目的として、インターネットを中心とした情報倫理に関わる光と影（利便性と危険性）を学びます。</p>	
	テキストの概要	<p>この教材は、情報倫理のテキストとしては非常に定評があり、数多くの大学・専門学校で教科書として採用されています。専門学術書として異例の初版 1 万 3000 部販売という数字と、日本図書館協会選定図書に選定されていることがその社会的な評価を裏付けています。</p>	
授業計画		<p>WB Tで出題される所定の回数のレポートを提出・合格の後、WB T上で行われる単位認定試験に合格することで2単位を認定します。</p> <p><自宅学習></p> <p>序章 インターネットと情報社会</p> <p>第1章 インターネットと個人情報</p> <p>第2章 インターネットと知的財産権</p> <p>第3章 インターネットと生活</p> <p>第4章 インターネットとビジネス</p> <p>第5章 インターネットと教育</p> <p>第6章 インターネットとコミュニケーション</p> <p>第7章 インターネットと犯罪</p> <p>第8章 インターネットとセキュリティ</p> <p>終章 健全な情報社会をめざして</p>	
成績評価の方法		単位認定試験	
実践的教育を行う授業科目の種別		a：実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目	
		担当教員の実務経験 (経歴・資格等)	
		授業内容との関連性	

2022 武蔵野大学 通信教育部 シラバス

	b: 企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目	
	学外講師の経歴・資格等	
	授業内容	
	c: 企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、研修を行う授業科目	
	実習先・実習の目的	
備考		

科目名	メディアコミュニケーション2
担当教員	大塚 啓太
授業方法	講義
到達目標	<p>近年の情報技術の飛躍的な発展に伴い、『メディア(テレビ、ビデオ、テレビゲーム、携帯電話、ファックス、インターネット、パソコン、ロボットなど)が人間の発達に及ぼす影響』に関する社会的関心が世界規模で高まっています。このことから、最近の社会的状況としては、①メディアの技術的な発展、②メディアの利用の増加、③メディアの悪影響を懸念させる事件の発生・報道などによって多くの研究者が『メディアが人間に及ぼす影響』に関する研究に積極的に取り組むようになりました。</p> <p>このような状況において、『メディアは人間の発達にどのような影響を及ぼすか?』を明らかにするために、近年、急速に拡大している実証研究の動向を把握し、それらの研究成果について学習することは非常に重要です。</p> <p>本科目では、『メディアが人間の発達に及ぼす影響』に関する実証研究の動向と、それらの研究成果について学習し、総合的な視野から深く人間について理解していくために、人間の発達の視点からメディアのあり方を考える際の枠組みを培っていくことを目標とします。</p>
科目の概要	<p>このテキストは、達成目標に挙げた『メディアが人間の発達にどのような影響を及ぼすか?』という問題に答えるために、近年になって急速に拡大しているメディアの影響に関する実証研究の動向及びそれらの研究成果を網羅的かつ組織的に記述しています。</p> <p>第I部は、『テレビが人間へ及ぼす影響』を扱った第1章から第4章により構成されています。</p> <p>第1章では、乳幼児にとって最も馴染み深いメディアであるテレビを中心に、『子どもとメディアとの関わり』、『子どもの発達に及ぼすメディアの影響』、『親の果たす役割』などに関する研究動向を概説し、テレビなどのメディアが乳幼児に及ぼす影響について展望されています。第2章から第4章では、『テレビ視聴が人間の認知能力、暴力、性役割観に及ぼす影響』についてそれぞれ解説が述べられています。第2章では、『テレビ視聴と子どもの知能、学力、創造性との関連性』について、従来の研究による知見及び今後の研究課題が示されています。第3章では、まず、欧米における、暴力映像が攻撃性へ及ぼす影響に関する主要な研究を概観し、次いで、これまでに行なわれた日本独自の実証的証拠が紹介されています。第4章では、発達の観点から、性役割の形成とテレビの関係について記述されています。テレビがジェンダーをどのように描写しているかを把握するために、テレビの内容分析に関する国内外の研究(特に、日本のテレビとコマーシャルの研究)を取り上げています。さらに、テレビが子どもの性役割に及ぼす影響や、視聴する側の個人的要因について解説しています。また、コラム1では、教育番組と子どもの社会性に対する影響について、コラム2では、子どもとテレ</p>
テキストの概要	

ビの問題に対して取り組んでいる NPO や市民団体などの活動を取り上げ、テレビの悪影響に対して論じられています。

第Ⅱ部では、『テレビゲームの人間への影響』を扱った第 5 章から第 7 章により構成されています。

第 5 章では、『テレビゲーム遊びが認知能力に及ぼす影響』について解説されています。認知能力として、特に、視覚的知能、情報処理能力、創造性、論理性、学業成績について、これらの各要因にテレビゲームが及ぼす影響に関する研究が紹介されています。また、教育場面におけるテレビゲームの有効利用についても取り上げています。第 6 章及び第 7 章では、『テレビゲームが暴力や社会的適応に及ぼす影響』を展望しています。第 6 章では、青少年期において、暴力的なテレビゲームに熱中すると、空想的な世界での体験が誇大化し、暴力に肯定的な価値観が形成されてしまうのではないかという社会的背景を考慮し、まず、日本と米国のテレビゲームの暴力描写が問題となっている社会的背景の比較を行っています。さらに、テレビゲームと攻撃行動の関連性に関する調査や研究を概説し、テレビゲームとテレビの暴力描写の比較も行っています。また、テレビゲームの暴力描写の影響を抑制する可能性についても考察され、それぞれの研究成果の概要が記されています。第 7 章では、『テレビゲームと社会的適応の関係』について解説が述べられています。テレビゲーム批判として、①医療領域のもの(目が悪くなる、てんかんの発作を引き起こす)、②生理学的なもの(ゲーム脳など)、③認知能力に関するもの、④暴力に関するもの、⑤社会的適応に関するものを取り上げ、それぞれについて説明しています。また、コラム 3 では、近年、特に注目されている脳の活動や発達に及ぼすテレビゲームの影響が論じられています。

第Ⅲ部では、『インターネットが人間に及ぼす影響』を扱った第 8 章から第 11 章により構成されています。第 8 章及び第 9 章では、インターネットの教育的効果に焦点をあてており、それぞれの情報活用能力と国際理解に及ぼす影響について説明しています。第 8 章では、情報化社会を生きぬく上で必須である情報活用能力をどのようにすれば効率的に伸ばすことが可能かという問題を取り上げ、特に、情報活用能力の育成に影響が大きいインターネット使用の効果について説明しています。第 9 章では、『国際理解に対する教育的なメディア利用の実践や研究の知見』が示されており、メディアの教育的利用の影響について検討されています。さらに、国際理解に対するメディアの教育的利用の効果を高めるために、メディア利用において考慮すべき要因を整理しています。具体的には、一般的なメディア利用が国際理解に及ぼす潜在的影響力に着目し、国際理解に良い影響を及ぼし得る条件や悪影響を及ぼし得る条件が解説されています。第 10 章では、『インターネットが社会的対応に及ぼす影響』について解説しています。インターネットのコミュニケーションが、われわれの社会的適応(対人関係、精神的健康など)にどのような影響を及ぼしているかについて、いくつかの研究事例及びそれらの知見を紹介しています。まず、インターネットコミュニケーションが社会的適応を高めるという望ましい影響や、そのための利用について述べ、次いで、インターネットが社会的適応を低めるという悪影響に関する研究を取り上げています。第 11 章は、『インターネットを心理療法に利用しようとする研究動向の解説』です。インターネットを利用したところの問題に関する情報収集や治療手段として認識されつつある、セラピーやセルフヘルプ・グループについて、各々のツール別に、これまでに報告されている研究を概説しています。

		<p>第IV部では、ロボットを扱った第 12 章を収めています。第 12 章では、ロボットに関するいくつかの先進的、萌芽的研究を紹介し、今後のロボット研究における展開の方向性について論じています。具体的には、『対ロボット知覚に関する研究』や『教育場面やメンタル・ヘルスケアへのロボットの利用』，さらに、『ロボットの悪影響に関する研究』について概説しています。</p> <p>上記の第 I 部から第IV部では、『メディアが人間の発達に及ぼす影響』について、テレビ、テレビゲーム、インターネット、ロボットのそれぞれに関する研究の動向が取り上げられています。第V部では、第 I 部から第IV部で学習したメディアが人間の発達に及ぼす影響に関する研究を整理し、メディア研究を人間発達の視点から捉え、メディア人間発達学の構築のための枠組みに関して考察している第 13 章を収めています。第 13 章では、これまでのまとめとして、テレビ、テレビゲーム、インターネット、ロボットという 4 つのメディアが人間の発達に及ぼす影響に関する研究を整理し、今後のメディア研究の展開として、人間発達の視点からメディア研究を考える際の、ひとつの研究領域としての枠組みを提案しています。</p> <p>以上が本テキストの概要です。各章は単独でも完結するように書かれており、どのような順序で読んでも理解できるようになってはいますが、それぞれの関連性を念頭に本テキストを読み進めて頂くと、『メディアが人間に及ぼす影響』について考えることの重要性を認識することができます。</p>
<p>授業計画</p>		<p>WB Tで出題される所定の回数のエクササイズに合格の後、WB T上で行われる単位認定試験に合格することで2単位を認定します。</p> <p><自宅学習></p> <p>第I部 テレビゲームの影響</p> <p>第1章 メディアと乳幼児</p> <p>第2章 テレビと認知能力</p> <p>第3章 テレビと暴力</p> <p>第4章 テレビとジェンダー</p> <p>第II部 テレビゲームの影響</p> <p>第5章 テレビゲームと認知能力</p> <p>第6章 テレビゲームと暴力</p> <p>第7章 テレビゲームと社会的不適応暴力</p> <p>第III部 インターネットの影響</p> <p>第8章 インターネットと情報活用能力</p> <p>第9章 メディアと国際理解</p> <p>第10章 インターネットと社会的適応</p> <p>第11章 インターネット・セラピー</p> <p>第IV部 ロボットの影響</p> <p>第12章 ロボットの影響—対ロボット知覚と有効性、そして悪影響—</p> <p>第V部 メディア人間発達学の構築に向けて</p> <p>第13章 メディア研究を人間発達の視点から考える</p>

2022 武蔵野大学 通信教育部 シラバス

成績評価の方法	単位認定試験	
実践的教育を行う 授業科目の種別	a：実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目	
	担当教員の実務経験 (経歴・資格等)	
	授業内容との関連性	
	b：企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目	
	学外講師の経歴・資格等	
	授業内容	
	c：企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、 研修を行う授業科目	
	実習先・実習の目的	
備考		

科目名	メディアコミュニケーション3
担当教員	黒河内 利臣
授業方法	講義
科目の概要	<p>本科目では、HTML 文書作成技術のごく基礎的な知識を活用して、論文・レポート（長い文章）形式のコンテンツを HTML 文書形式にまとめられるようになることを目標とします。それにより、WWW (world wide web) を通じて、他者とのコミュニケーションを図るために、間違いの少ないウェブサイトを作成するための、ごく基礎的な技術と知識が確認できます。</p> <p>昨今、学習やビジネスの場面では、不特定多数のコミュニケーションの重要性が高まっています。その手段として、インターネットの利用が定着しています。インターネット上のウェブサイトを通じたコミュニケーションを図るためには、インターネットや WWW の仕組みや基本的知識をふまえた、適切なウェブサイトを立ち上げることが必要です。また、インターネットの原点は、アメリカの研究者たちが意見交換をするために技術開発したことにあります。このような観点から、インターネットでは双方向のコミュニケーションが当初より想定されています。</p> <p>その学習にあたり使用する本科目のテキストで示された内容は、近年の情報通信技術の発達により、古くなっていることは否めません。現在では、一般的に目にする HTML 文書（ウェブサイト）自体でも、さまざまな外部プログラムを取り入れつつ、文字や画像だけでなく、動画を利用した情報表現など、Web2.0 の機能を利用した多様な表現が可能になっています。しかし、本科目のテキストで示された知識や技術は、そのような近年の情報通信技術のベースになっているものです。いわば、情報通信技術の初歩的な知識や技術といえます。それらのごく初歩的な技術の活用だけでも、紙媒体ではなくコンピュータやタブレットなどの情報端末でも、構成が明確になるような文章表現が可能となります。</p> <p>ところで、どの学問領域にも、その分野を学ぶ人にとり共通に必要な知識（その領域での常識的な知識）があります。その多くは、最新の知識というよりは、その領域の古典に属するような知識です。そのような知識を土台とすることで、最新の知識を学ぶことも可能になります。本科目もそのような「HTML を学ぶ人に必要な、必要最低限の初歩的な知識」を学ぶものをご理解ください。</p> <p>これらのことをふまえ、本科目のレポートでも HTML 文書の原点に注目し、論文（レポート）形式の文章を紙媒体ではなく、ウェブで公開することを想定して作成します。つまり、上述の原点にしたがって、ごく初歩的な知識や原則を利用しながら、ウェブ特有の効果的な技法も活用した HTML 文書に整えることが目標となります。そのために、文書や画像などを表示できるようになるだけでなく、読みやすく、かつ、利用しやすい読み手に配慮したウェブサイトを作成するポイントについても学習します。</p> <p>なお、本科目の課題に取り組むことにより、専門科目での学習成果と本科目の学習内容とを結びつけることになり、自分が発信したい情報をルール（HTML 文書とレポート、それぞれのルール）にしたがって伝達する体験ができます。これにより、複数の科目での学習内容の連携が可能となります。</p>
到達目標	

<p>テキストの概要</p>	<p>このテキストは、デジタルコミュニケーションのための基礎的な事柄が書かれています。特に、情報発信の手段としての WWW や HTML の原理や特徴、必要最低限の約束事が解説されています。具体的には、正しい Web ページの作成方法や、その応用が学べます。あわせて、インターネットの歴史やブラウザの使い方から Web ページの公開の仕方などについてもていねいに触れられています。</p> <p>なお、上述のように、指定テキストの内容は近年の情報通信技術の発達と比べると古い内容であるため、必要最低限の情報を補足するための「補章」を本スタディガイドで作成しています。特に、指定テキストで示されているコンピュータ環境とは大きく異なると思われる部分については、その操作手順等も含めて補足してありますので、ご確認ください。</p>	
<p>授業計画</p>	<p>WBT で出題される所定の回数のレポートを提出・合格の後、WBT 上で行われる単位認定試験に合格することで 2 単位を認定します。</p> <p><自宅学習></p> <p>第 1 章 インターネットと WWW 第 2 章 Web ページ作成基礎 第 3 章 Web ページ作成 - 応用 - 第 4 章 Web ページの公開 第 5 章 インターネットの生活 補章 インターネット上の決まりごと</p>	
<p>成績評価の方法</p>	<p>単位認定試験</p>	
<p>実践的教育を行う授業科目の種別</p>	<p>a：実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目</p>	
	<p>担当教員の実務経験 (経歴・資格等)</p>	
	<p>授業内容との関連性</p>	
	<p>b：企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目</p>	
	<p>学外講師の経歴・資格等</p>	
	<p>授業内容</p>	
	<p>c：企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、研修を行う授業科目</p>	
<p>実習先・実習の目的</p>		
<p>備考</p>		

科目名		メディアコミュニケーション4	
担当教員		黒河内 利臣	
授業方法		講義	
科目の概要	到達目標	<p>伝える内容を言葉・文章ではなく図解で表現し、「見て理解させる」ことの重要性は、近年非常に認識されるようになってきています。この科目では、自分の考えやある概念を、訴求力のある図解として表現するための基本的な考えを確認し、パソコン上のアプリケーション・ソフトを用いた図解の作成法を習得することを目的としています。</p> <p>具体的には、受講者がレポートや企画書などの文書を作成するさいに、制約（制限領域、アプリケーション機能など）があるなかで臨機応変に図解表現を使いこなし、効果的なコミュニケーションが図れるようになることを目標とします。特に、特定のアプリケーションに特化した機能にたよらず、また特定のバージョンだけでなく他のバージョンでも意図したとおりに表示される図解作品にまとめる方法を体得します。</p> <p>なお、本科目の課題に取り組むことにより、与えられた情報を、作成者の主観や解釈を交えず、過不足なくまとめ、伝達する体験ができます。これにより、ゼミ等で指定された文献の内容を再構成するだけでなく、自分のレポートをレジュメや図解にまとめるための知識と技術を総合的に体得することにもつながります。</p>	
	テキストの概要	<p>このテキストは二部構成で、図解表現の有効な使い方を紹介しています。第一部では、図解に関する理論的な事柄として、図解によるコミュニケーションの特徴や図解を作成するためのノウハウについて触れています。第二部では、パソコンによる図解作成として、特に Microsoft Excel の作図機能を用いた作図方法を解説し、事例を紹介しています。</p>	
授業計画		<p>WB Tで出題される所定の回数のレポートを提出・合格の後、WB T上で行われる単位認定試験に合格することで2単位を認定します。</p> <p><自宅学習></p> <p>第1章 図解表現のススメ</p> <p>第2章 図解の作成</p> <p>第3章 Excel による作図の基本</p> <p>第4章 作図の実際(1)～概念図</p> <p>第5章 作図の実際(2)～フローチャート</p> <p>補章 Excel2019 (Excel2013以降)での作図の基本</p>	
成績評価の方法		単位認定試験	
実践的教育を行う授業科目の種別		a：実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目	
		担当教員の実務経験 (経歴・資格等)	
		授業内容との関連性	
		b：企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目	

2022 武蔵野大学 通信教育部 シラバス

	学外講師の経歴・資格等	
	授業内容	
	c：企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、 研修を行う授業科目	
	実習先・実習の目的	
備考		

2022 武蔵野大学 通信教育部 シラバス

科目名		ウェルネス演習 (SR)	
担当教員		安達 光樹	
授業方法		講義	
科目の概要	到達目標	身体の特徴や運動・スポーツのもつ意味を理解するとともに、心身共に健康な生活を営むための実践力を養う。	
	テキストの概要	テキストは、第1章：健康と身体、第2章：人体の仕組みと体の特徴、第3章：スポーツの楽しみ方の3章から構成されています。	
授業計画		<p>「スクーリング (0単位)」と「WBTによる学習 (2単位)」の計2単位の科目です。本校 (東京都西東京市) で行われる「スクーリング (全7コマ)」に出席し、「WBTで出題される所定の回数のレポート」および「単位認定試験レポート」を提出し・合格すること。</p> <p><スクーリング></p> <p>第01講 [ガイダンス・運動への動機づけ (講義)]</p> <p>第02講 [貧困問題と教育格差 (講義)]</p> <p>第03講 [多様な人々とスポーツを楽しむために① (実技)]</p> <p>第04講 [多様な人々とスポーツを楽しむために② (実技)]</p> <p>第05講 [体育はどのようにとらえられてきたか (講義)]</p> <p>第06講 [多様な人々とスポーツを楽しむために③ (実技)]</p> <p>第07講 [多様な人々とスポーツを楽しむために④ (実技)]</p>	
成績評価の方法		単位認定試験	
実践的教育を行う授業科目の種別	a：実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目		
	担当教員の实務経験 (経歴・資格等)		
	授業内容との関連性		
	b：企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目		
	学外講師の経歴・資格等		
	授業内容		
	c：企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、研修を行う授業科目		
	実習先・実習の目的		
備考			

科目名		人間論 (S)	
担当教員		下條 慎一	
授業方法		講義	
科目の概要	到達目標	人間科学科の学習の基礎となる「人間」について、そもそも人間とは何か、それを人間はどのようにとらえてきたか、また、人間はどのような特徴をもった存在か、など、歴史的・思想的にまた社会文化的な視点から学ぶ。そして、人間について多角的にとらえる幅の広さと根本をおさえる深さを身につけ、これから学ぶいろいろな専門科目に新しいものの見方や考え方を導入できるようにする。	
	テキストの概要	なし	
授業計画		<p>この科目ではスクーリングはメディア授業で受講するものであり、面接授業（スクーリング）は受講できません。メディア授業はメディア授業視聴後、WBT上から単位認定試験レポートを提出し、合格することで2単位（スクーリング単位）を認定します。</p> <p><スクーリング></p> <p>第 01 講 プラトン 第 02 講 アリストテレス 第 03 講 キケロ 第 04 講 アウグスティヌス 第 05 講 トマス・アキナス 第 06 講 ダンテ 第 07 講 マキアヴェリとモア 第 08 講 ルターとカルヴァン 第 09 講 ボダン 第 10 講 ホッブズ 第 11 講 ロック 第 12 講 モンテスキュー 第 13 講 ルソー 第 14 講 カント 第 15 講 ヘーゲル</p>	
成績評価の方法		単位認定試験	
実践的教育を行う授業科目の種別		a：実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目	
		担当教員の实務経験 (経歴・資格等)	
		授業内容との関連性	
		b：企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目	

2022 武蔵野大学 通信教育部 シラバス

	学外講師の経歴・資格等	
	授業内容	
	c：企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、 研修を行う授業科目	
	実習先・実習の目的	
備考		

科目名		人間論 (S T)
担当教員		下條 慎一
授業方法		講義
科目の概要	到達目標	人間科学学科の学習の基礎となる「人間」について、そもそも人間とは何か、それを人間はどのようにとらえてきたか、また、人間はどのような特徴をもった存在か、など、歴史的・思想的にまた社会文化的な視点から学ぶ。そして、人間について多角的にとらえる幅の広さと根本をおさえる深さを身につけ、これから学ぶいろいろな専門科目に新しいものの見方や考え方を導入できるようにし、総合的な視野を養う。
	テキストの概要	タイトル：『人間論』 ※市販名：金子 晴勇（編）『人間学 その歴史と射程』（創文社 1995）
授業計画		<p>スクーリング（2単位）とWBTによる学習（2単位）の計4単位の科目です。 WBTで出題される所定の回数エクササイズに合格の後、WBT上で行われる単位認定試験に合格することで2単位を認定します。 また、本校（東京都西東京市）で行われるスクーリング（全14コマ）に出席し、最終日に教員より課される単位認定試験に合格することで2単位を認定します。</p> <p><自宅学習> 第Ⅰ部 人間学の歴史的展開 第Ⅱ部 人間学の体系的展開</p> <p><スクーリング> 第01講 古代の人間論：プラトンとアリストテレス 第02講 中世の人間論：アウグスティヌスとアキナス 第03講 近世（16世紀）の人間論①ルター 第04講 近世（16世紀）の人間論②マキアヴェッリ 第05講 近世（16世紀）の人間論③モア 第06講 近世（17・18世紀）の人間論①ホッブズ 第07講 近世（17・18世紀）の人間論②ロック 第08講 近世（17・18世紀）の人間論③モンテスキュー 第09講 近世（17・18世紀）の人間論④ルソー 第10講 近代の人間論①マルクス 第11講 近代の人間論②トクヴィル 第12講 近代の人間論③ミル 第13講 まとめ 第14講 単位認定試験</p> <p><メディア授業> 第01講 プラトン 第02講 アリストテレス</p>

2022 武蔵野大学 通信教育部 シラバス

	第 03 講 キケロ 第 04 講 アウグスティヌス 第 05 講 トマス・アクィナス 第 06 講 ダンテ 第 07 講 マキアヴェリとモア 第 08 講 ルターとカルヴァン 第 09 講 ボダン 第 10 講 ホッブズ 第 11 講 ロック 第 12 講 モンテスキュー 第 13 講 ルソー 第 14 講 カント 第 15 講 ヘーゲル
成績評価の方法	単位認定試験
実践的教育を行う 授業科目の種別	a：実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目
	担当教員の実務経験 (経歴・資格等)
	授業内容との関連性
	b：企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目
	学外講師の経歴・資格等
	授業内容
	c：企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、 研修を行う授業科目
	実習先・実習の目的
備考	

科目名		人間論 (T)	
担当教員		下條 慎一	
授業方法		講義	
科目の概要	到達目標	人間科学科の学習の基礎となる「人間」について、そもそも人間とは何か、それを人間はどのようにとらえてきたか、また、人間はどのような特徴をもった存在か、など、歴史的・思想的にまた社会文化的な視点から学ぶ。そして、人間について多角的にとらえる幅の広さと根本をおさえる深さを身につけ、これから学ぶいろいろな専門科目に新しいものの見方や考え方を導入できるようにし、総合的な視野を養う。	
	テキストの概要	なし	
授業計画		WBTで出題される所定の回数のエクササイズに合格の後、WBT上で行われる単位認定試験に合格することで4単位を認定します。 <自宅学習> 第Ⅰ部 人間学の歴史的展開 第Ⅱ部 人間学の体系的展開	
成績評価の方法		単位認定試験	
実践的教育を行う授業科目の種別	a：実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目		
	担当教員の实務経験 (経歴・資格等)		
	授業内容との関連性		
	b：企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目		
	学外講師の経歴・資格等		
	授業内容		
	c：企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、研修を行う授業科目		
	実習先・実習の目的		
備考			

科目名	心理学概論
担当教員	小西 啓史
授業方法	講義
科目の概要	<p>心理学とはどのような学問でしょうか。巷ではさまざまな心理学があふれています。ところが残念なことに、日本の中学校や高校の授業では心理学を体系的に学ぶ機会がありません。そのためか、心理学に対する誤解も生じているように思います。しかし、学問としての心理学はこれら心理学とは必ずしも同じものではありません。雑誌やテレビなどで見られる心理学を「ポップな心理学」、学問としての心理学を「アカデミックな心理学」と区別して考える人もいます。</p> <p>もちろん、これからみなさんが学ぼうとしているのは学問としての心理学です。19世紀後半に誕生した比較的新しい学問である現代心理学では、「こころ」を解明するために科学的手法が用いられました。それによって今日までにさまざまな心理学的知見が蓄えられてきました。</p> <p>本講座では、これまでに行われてきた多くの研究の学習をとおして、心理学の基礎的知識を身につけ、同時に科学的心理学の考え方を理解することを目標とします。</p> <p>なお、この授業では、考えるよりもむしろ心理用語の理解や暗記が中心となります。これからさまざまな心理学を勉強していくためには、どうしても基礎的な知識を習得しておく必要があるからです。そのことを十分理解したうえで、根気強く学習を続けられることを期待します。</p>
	<p>この本は、心理学とは何かを解説するために書かれた入門書です。心理学の基礎を学ぶには十分な内容であり、またオーソドックスなテキストといえます。これを全部読むことで、現代心理学のアウトラインを理解できるものと思います。初版発行以来、版を重ねるごとに加筆修正がなされ新しい項目が加えられています。また、公務員試験などの諸試験での出題範囲にも対応しています。</p> <p>しかし、多くの入門書がそうであるように、理解をより深めるためにはテキストを読むだけでは不十分です。そこで、これを補うために、WEB上に心理学事典が用意され、またスタディガイドの各章毎に、参考文献が紹介されています。これらを手掛かりに、より一層の理解に努めて下さい。</p> <p>また、以下に単元毎の重要度を3段階で示しますので学習やテストの準備の参考にして下さい。この授業において、特にしっかりと理解してもらいたいものにAがつけてあります。もちろん、BやCになっているものは勉強しなくてよいという意味ではありません。今後他の授業において学習するものもありますし、一部はテストの問題にもなりますので、これらにも必ず目をとおして下さい。</p> <p>非常に重要：A 重要：B やや重要：C</p> <p>第1章 心理学とは何か</p> <p> 第1節 心理学の課題とその領域</p> <p> 1. 心理学の課題 C</p> <p> 2. 心理学の領域 C</p>

第2節 心理学の潮流

1. 行動主義心理学 A
2. ゲシュタルト心理学 A
3. 精神分析学 A
4. 現代の心理学 B

第3節 心理学の方法

1. 自然的観察法 A
2. 実験法 A
3. 調査法（質問紙法） A
4. 検査法（テスト法） A
5. 面接法 A
6. 因果関係と相関関係 A

第2章 環境の認知

第1節 刺激の受容

1. 刺激・受容器・感覚 A
2. 刺激と感覚の大きさに関する法則 A
3. 遠感覚と近感覚 C
4. 視野 C
5. 聴空間 B

第2節 色の認知

1. 物体の色 B
2. 対比と同化 B

第3節 形の認知

1. 知覚的体制化：心理学的アプローチ A
2. グレーティング：生理学的アプローチ C

第4節 パターン認識

1. サイン刺激 B
2. 鋳型照合 B
3. 特徴分析 B

第5節 知識と知覚

1. 知識 B
2. ボトムアップ (bottom-up) とトップダウン (top-down) A
3. さまざまな知識の効果 B
4. 文化および社会的要因 B

第3章 行動の変容

第1節 行動の階層

1. 生得的行動 C
2. 習得的行動 C

第2節 学習の過程

1. 学習の定義 B
2. 古典的条件づけ A

3. 道具的条件づけ A

第3節 感覚運動学習

1. 感覚運動学習とは B
2. 感覚運動学習に関わる要因 B

第4章 記憶と思考

第1節 記憶

1. 記憶研究の方法 A
2. 記憶のしくみ A
3. 忘却 A
4. 記憶の変容 B

第2節 思考

1. 問題解決 A
2. 概念過程 C

第5章 動機づけ

第1節 動機づけのメカニズム

1. 動機づけと欲求 B
2. ホメオスタシス A
3. 性的動機 A
4. 内発的動機 A

第2節 社会的動機

1. 欲求のリスト A
2. 欲求の階層 A
3. 達成動機 B

第3節 フラストレーション

1. 要求水準 B
2. フラストレーション A
3. 防衛機制 A

第4節 動機づけの改善

1. 動機づけ・衛生要因説 C
2. 目標設定とフィードバック C
3. 自己効力感と動機づけ C

第6章 性格と知能

第1節 性格とは何か

1. 性格を知る C
2. 独自性と一貫性 C
3. 性格と人格 C

第2節 性格の把握

1. 類型論的研究 A
2. 特性論的研究 A
3. 類型論と特性論 A

第3節 性格の形成

- 1. 遺伝と性格 A
- 2. 環境と性格 A
- 第4節 性格の測定
 - 1. 直接的診断法 C
 - 2. 間接的診断法 A
- 第5節 知能の概念と構造
 - 1. 知能とは何か C
 - 2. 知能の構造 A
- 第6節 知能の測定と知能指数
 - 1. 知能検査の発展 A
 - 2. 知能指数とその分布 B
 - 3. 知能の発達と学力 B
- 第7節 創造性
 - 1. 創造性とは何か B
 - 2. 創造性の測定 B
- 第7章 発達
 - 第1節 発達の規定因-遺伝か環境か- A
 - 第2節 認知の発達
 - 1. 感覚運動期 A
 - 2. 前操作期 A
 - 3. 具体的操作期 A
 - 4. 形式的操作期 A
 - 第3節 社会的行動の発達
 - 1. 対人関係の起源 B
 - 2. 母子関係の発達 A
 - 3. 表情認知の発達 C
 - 4. 交友関係の発達 A
- 第8章 社会的行動
 - 第1節 対人認知
 - 1. 表情の知覚 A
 - 2. 印象形成 A
 - 3. 原因帰属 A
 - 4. 対人魅力 A
 - 第2節 態度と態度変化
 - 1. 態度の概念とその形成 A
 - 2. 説得と態度変化 A
 - 3. 態度変化の理論 A
 - 第3節 同調と関与
 - 1. 他者からの影響 A
 - 2. 他者への関わり A
 - 第4節 集団

	<ul style="list-style-type: none"> 1. 集団の形成 B 2. 集団の凝集性 B 3. リーダーシップ A 4. 他者存在の効果 B
授業計画	<p>WBTで出題される所定の回数のエクササイズに合格の後、WBT上で行われる単位認定試験に合格することで4単位を認定します。</p> <p><自宅学習></p> <ul style="list-style-type: none"> 第1章 心理学とは何か 第2章 環境の認知 第3章 行動の変容 第4章 記憶と思考 第5章 動機づけ 第6章 性格と知能 第7章 発達 第8章 社会的行動
成績評価の方法	単位認定試験
実践的教育を行う 授業科目の種別	a: 実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目
	担当教員の実務経験 (経歴・資格等)
	授業内容との関連性
	b: 企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目
	学外講師の経歴・資格等
	授業内容
	c: 企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、 研修を行う授業科目
	実習先・実習の目的
備考	

科目名		心理アセスメント法	
担当教員		新明 一星	
授業方法		講義	
科目の概要	到達目標	この科目では、一般的な心理テストの概要を中心に、実施する上で留意すべき心理検査の歴史、また心理テストの質を評価する上での指標となる信頼性、妥当性) などの基礎知識を習得することを目的とします。	
	テキストの概要	本テキストは、一般的に用いられる心理テストの概要を網羅しており、各テストの性質、目的、内容などのイメージをつかむことに適しています。本テキストで習得した知識を元に、今後必要とされるテストの実施マニュアルを入手したり、経験ある検査者から指導を受けると、さらなる知識の習熟の助けとなるとと思います。 医療、教育、司法、研究など、所属する機関により求められる心理検査の知識は多様であるため、まずその概要を掴んでおくことが重要です。また、本書に記載されていないものでも、一般的に用いられているテストも多数存在し、時代に移り変わりとともに、また新たな心理テストが生まれていくのが現実です。開かれた視点を維持するとともに、変わらない核となる心理テストの性質を理解すると、今後の学習が円滑になるでしょう。	
授業計画		<p>WB Tで出題される所定の回数のエクササイズに合格の後、WB T上で行われる単位認定試験に合格することで4単位を認定します。</p> <p><自宅学習></p> <p>第1回目 心理検査とそのなりたち</p> <p>第2回目 第2章 心理検査利用上の問題</p> <p>第3回目 第3章 田中ビネー知能検査、WAIS、WISC、WPPSI、新版 S-M 社会生活能</p> <p>第4回目 YG 性格検査、MMPI</p> <p>第5回目 CMI、TEG</p> <p>第6回目 第3章 内田クレペリン精神検査、ベンダーゲシュタルト検査</p> <p>第7回目 第3章 ロールシャッハ、TAT、P-F スタディ</p> <p>第8回目 第3章 SCT、バウム検査</p>	
成績評価の方法		単位認定試験	
実践的教育を行う授業科目の種別	a：実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目		
	担当教員の实務経験 (経歴・資格等)		
	授業内容との関連性		
	b：企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目		
	学外講師の経歴・資格等		
	授業内容		

2022 武蔵野大学 通信教育部 シラバス

	c：企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、研修を行う授業科目	
	実習先・実習の目的	
備考		

2022 武蔵野大学 通信教育部 シラバス

科目名		心理学実験実習 1	
担当教員		川島 哲	
授業方法		講義	
科目の概要	到達目標	心理学の実験を実験者として実施し、計画の策定、材料（装置・調査用紙など）の使用、データの収集と分析、レポートの作成、倫理的配慮についての基本を習得することを目指す。	
	テキストの概要	タイトル：日本心理学会認定心理士資格認定委員会（編著）『実験・実習で学ぶ心理学の基礎』金子書房 2015	
授業計画		<p>実験データに基づくレポート（課題 1～5）を順次提出し全てに合格した後、単位認定申請レポートである課題 6 のレポートを提出することで、2 単位が認定される。</p> <p><自宅学習></p> <p>課題 1 ミュラー・リヤーの錯視 課題 2 社会的促進 課題 3 視覚探索 課題 4 SD法によるイメージ 課題 5 単語記憶の再生 課題 6 研究における倫理的問題</p>	
成績評価の方法		単位認定試験	
実践的教育を行う授業科目の種別	a：実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目		
	担当教員の实務経験（経歴・資格等）		
	授業内容との関連性		
	b：企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目		
	学外講師の経歴・資格等		
	授業内容		
	c：企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、研修を行う授業科目		
	実習先・実習の目的		
備考			

科目名		学習心理学	
担当教員		松野 航大	
授業方法		講義	
科目の概要	到達目標	<p>学習心理学は数ある心理学の分野の中でも最も重要なもののひとつです。本授業では、古典的条件づけやオペラント条件づけに代表されるような学習心理学の基礎的な諸理論を中心に、様々な学習について学んでいきます。</p> <p>学習心理学の基本的な枠組みを学び、学習心理学の観点から人の行動を理解し、分析できるようになることが到達目標となります。また、学習心理学の様々な知見を参照しながら、その研究データを読み取り、内容を理解する力を育みます。さらに、学習心理学の様々な理論を基に自分や他人の行動について考察し、日常生活の中で学習心理学を活かすことができるようになることを目指します。</p>	
	テキストの概要	<p>このテキストは、学習心理学の基本となる内容を取り上げています。学習心理学の基本となる古典的条件づけ、オペラント条件づけだけでなく、観察学習や記憶といった学習に関する広範な概念を扱っています。また、テキストで扱う内容はどれも日々行う私たちの行動と密接に関係しています。学習心理学が人間の日常生活の理解にどのように役立つかということに意識をはらいながら、テキストを読み進めていってください。</p>	
授業計画		<p>WB Tで出題される所定の回数のエクササイズに合格の後、WB T上で行われる単位認定試験に合格することで4単位を認定します。</p> <p><自宅学習></p> <p>第1章 「学習」について学ぶ</p> <p>第2章 馴化と鋭敏化</p> <p>第3章 古典的条件づけ1：基本的特徴</p> <p>第4章 古典的条件づけ2：信号機能</p> <p>第6章 オペラント条件づけ1：基礎</p> <p>第7章 オペラント条件づけ2：強化・消去と罰・強化スケジュール</p> <p>第9章 概念学習・観察学習・問題解決</p> <p>第10章 記憶と学習</p>	
成績評価の方法		単位認定試験	
実践的教育を行う授業科目の種別		a：実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目	○
		担当教員の実務経験 (経歴・資格等)	(松野 航大先生 職歴) 長谷川メンタルヘルス研究所 スキルアップグループ/家族スキルアップグループ スタッフ、研修講師 所沢市教育委員会 健やか輝き支援室 健やか相談員 松野カウンセリングルーム 代表、カウンセラー
		授業内容との関連性	専門機関でカウンセリング経験のある教員が、心理学の実践と関連させながら、心理学の基礎的分野を指導し、学習を日常生活に活かすことを目指す。

2022 武蔵野大学 通信教育部 シラバス

	b: 企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目	
	学外講師の経歴・資格等	
	授業内容	
	c: 企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、研修を行う授業科目	
	実習先・実習の目的	
備考		

科目名	発達心理学
担当教員	川島 哲
授業方法	講義
科目の概要	<p>発達心理学は、全ての人が避けて通れない、加齢にともなう変化について扱う領域である。</p> <p>生涯発達という視点の重視</p> <p>従前、児童心理学として発展してきた発達心理学は、乳幼児期から児童期の発達、せいぜい青年期までの変化に関する記述を中心としていた。が、高齢化社会への加速度が増すにつれ、成人期や老年期に関する知見の蓄積の重要性が指摘されるようになり、また、「加齢にともなう変化」という「発達」自体の捉え直しも相まって、発達心理学＝「生涯発達」心理学というスタンスが一般的になっている。</p> <p>よく生きることの追求</p> <p>生涯における発達の变化は、発達する存在（個体）と社会との関係のあり方の変化と密接に関係している。家庭から学校、さらに会社へ、そして自身が新たに家庭を築いていくというように社会的な環境は変化していく。一方で、個体の発達には、獲得だけでなく喪失も含まれる。変化する環境の中では、個体に必要な力や考え方は異なる。発達の段階のそれぞれを適応的にのびていくために、必要な周りからのサポートや本人の働きかけについて知ること、自ら幸せになり、人を幸せにすることの基礎となる知識を身につけることができるだろう。</p> <p>以上の2点から、生涯にわたる発達の諸相を学び、発達段階のその時々で人びとがどのような状態にあるかを理解することが到達目標となる。</p>
	<p>以上の到達目標を達成するために、テキストを選んだ。生涯発達心理学という視点で、発達心理学の基礎について書かれた全15章である。</p> <p>第1章は、テキスト全体の枠組みや視点が書かれている。</p> <p>第2～5章では、乳幼児期の発達について知覚・概念・メタ認知・発達と教育の関係の視点から書かれている。</p> <p>第6～10章では、児童期を中心に社会性の面から書かれている。心の理論、親子の愛着、友人関係、社会的認知、感情についてである。</p> <p>第11～15章では、思春期・青年期以降について書かれている。ジェンダーやアイデンティティの問題、結婚、中年期と高齢期の活動と廊下とその予防の問題が取り上げられている。</p> <p>テキストは、平易な日本語で書かれ、多くの実験・調査の内容が引用されている。ところどころ難解な文や語があるが、それについてはスタディガイドにヒントとして解説した。</p> <p>各章の最後に「まとめ」として、その章で理解すべき内容が短く要約されている。読解に不明が生じたときは、そちらを先に読むことも解決手段の一つである。</p>

<p>授業計画</p>	<p>WBTで出題される所定の回数のエクササイズに合格の後、WBT上で行われる単位認定試験に合格することで2単位を認定します。</p> <p><自宅学習></p> <p>第01章 生涯発達心理学とは 第02章 乳幼児の知覚発達と世界の把握 第03章 概念の発達 第04章 メタ認知の発達 第05章 発達と教育の間 第06章 心の理論の獲得と対人関係 第07章 愛着の成立と親子関係 第08章 子ども同士の相互作用と友人関係の成立 第09章 社会的認知の獲得 第10章 感情とその制御の発達 第11章 思春期・青年期におけるジェンダーの発達 第12章 自己概念の発達とアイデンティティ 第13章 結婚と子育てをめぐる成人の発達 第14章 中年期の危機と変容 第15章 高齢期における老化と適応</p>																									
<p>成績評価の方法</p>	<p>単位認定試験</p>																									
<p>実践的教育を行う 授業科目の種別</p>	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" data-bbox="368 1093 1353 1176"> <p>a：実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目</p> </td> <td data-bbox="1353 1093 1544 1176"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="368 1176 722 1272"> <p>担当教員の実務経験 (経歴・資格等)</p> </td> <td colspan="2" data-bbox="722 1176 1544 1272"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="368 1272 722 1355"> <p>授業内容との関連性</p> </td> <td colspan="2" data-bbox="722 1272 1544 1355"></td> </tr> <tr> <td colspan="2" data-bbox="368 1355 1353 1438"> <p>b：企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目</p> </td> <td data-bbox="1353 1355 1544 1438"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="368 1438 722 1520"> <p>学外講師の経歴・資格等</p> </td> <td colspan="2" data-bbox="722 1438 1544 1520"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="368 1520 722 1603"> <p>授業内容</p> </td> <td colspan="2" data-bbox="722 1520 1544 1603"></td> </tr> <tr> <td colspan="2" data-bbox="368 1603 1353 1686"> <p>c：企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、研修を行う授業科目</p> </td> <td data-bbox="1353 1603 1544 1686"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="368 1686 722 1776"> <p>実習先・実習の目的</p> </td> <td colspan="2" data-bbox="722 1686 1544 1776"></td> </tr> </table>		<p>a：実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目</p>			<p>担当教員の実務経験 (経歴・資格等)</p>			<p>授業内容との関連性</p>			<p>b：企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目</p>			<p>学外講師の経歴・資格等</p>			<p>授業内容</p>			<p>c：企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、研修を行う授業科目</p>			<p>実習先・実習の目的</p>		
<p>a：実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目</p>																										
<p>担当教員の実務経験 (経歴・資格等)</p>																										
<p>授業内容との関連性</p>																										
<p>b：企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目</p>																										
<p>学外講師の経歴・資格等</p>																										
<p>授業内容</p>																										
<p>c：企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、研修を行う授業科目</p>																										
<p>実習先・実習の目的</p>																										
<p>備考</p>																										

科目名		臨床心理学	
担当教員		野口 普子	
授業方法		講義	
科目の概要	到達目標	人間の心と行動を理論的に解明する学問が臨床心理学ですが、その理論は多様です。この科目では、心と行動の理解のための臨床心理学的理論の一つである認知行動アプローチを学びます。抑うつ、対人不安、妄想というテーマを認知行動アプローチで理解することを学びます。	
	テキストの概要	このテキストでは、抑うつ、対人不安、妄想という、比較的多くの人に見られる症状を通して、認知行動アプローチと呼ばれる新しい臨床心理学の流れについて学びます。	
授業計画		WBTで出題される所定の回数のエクササイズに合格の後、WBT上で行われる単位認定試験に合格することで4単位を認定します。 〈自宅学習〉 第1章 抑うつ 第2章 対人不安 第3章 妄想と自我障害 第4章 臨床の知の技法	
成績評価の方法		単位認定試験	
実践的教育を行う授業科目の種別	a：実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目		○
	担当教員の実務経験 (経歴・資格等)	(野口 普子先生 職歴) 医療法人社団総合会武蔵野中央病院 看護部 武蔵野大学心理臨床センター 相談員 財団法人精神医学研究所附属東京武蔵野病院 看護部	
	授業内容との関連性	病院にて臨床経験のある教員が、心理学の実践と関連させながら、心理学の基礎的分野を指導し、学習を日常生活に活かすことを目指す。	
	b：企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目		
	学外講師の経歴・資格等		
	授業内容		
	c：企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、研修を行う授業科目		
	実習先・実習の目的		
備考			

科目名		社会心理学	
担当教員		荒井 理帆	
授業方法		講義	
科目の概要	到達目標	社会心理学は、「個人と社会」のかかわりについて研究する学問であるということが出来ます。本講座では、社会心理学の諸研究を通して、人間や社会・集団に対する深い理解と洞察力を養うことを目的としています（ディプロマポリシーの1, 2に相当）。合理的・科学的な発想と思考力を身につけ、日常生活の中で、心理学的なものを見方や考え方を実践できるよう学習します。（ディプロマポリシーの3に相当）。	
	テキストの概要	このテキストでは、社会心理学の分野を「社会的認知」「自己」「他者・世界との関わり」の3つに分類してまとめています。基礎的研究成果だけでなく、新しい展開をしつつあるトピックを積極的にとりあげ、研究の進め方とその結果がわかるように図表を多用し、視覚的にも理解できるよう記述されている点が特徴です。	
授業計画		<p>WB Tで出題される所定の回数のエクササイズに合格の後、WB T上で行われる「単位認定試験」に合格することで4単位を認定します。</p> <p><自宅学習></p> <p>第1章 対人認知 第2章 社会的推論 第3章 態度 第4章 感情 第5章 自己認知 第6章 自己評価 第7章 自己と動機づけ 第8章 対人行動 第9章 人間関係 第10章 集団と個人 第11章 健康と幸福 第12章 文化と人間</p>	
成績評価の方法		単位認定試験	
実践的教育を行う授業科目の種別		a：実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目	
		担当教員の实務経験 (経歴・資格等)	
		授業内容との関連性	
		b：企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目	
		学外講師の経歴・資格等	

2022 武蔵野大学 通信教育部 シラバス

	授業内容	
	c : 企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、研修を行う授業科目	
	実習先・実習の目的	
備考		

科目名		認知心理学	
担当教員		望月 正哉	
授業方法		講義	
科目の概要	到達目標	人間はさまざまな場面で、実に巧妙なふるまいを見せる存在だといえます。そのような能力を支えているのは、現実世界をすばやく把握して適応的な行動を生起させようとする生理学的・心理学的なしくみや働きです。この科目では、外界からの情報や経験的に蓄えられた情報をたくみに利用する記憶、知識、思考などの認知システムについての知識を学び、人間の情報処理の統合的な理解を目指します。そのため、この科目は、通信教育部人間科学部の学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）のうち、心理学の専門知識を修得するための科目に該当します。	
	テキストの概要	認知心理学の広汎な領域について、ポイントをおさえた簡明な解説がなされています。次の「学習の進め方」に述べるように、自己学習に適したさまざまな工夫も加えられています。ながめているだけでも認知心理学のおもしろさが伝わってくる本です。	
授業計画		<p>WB Tで出題される所定の回数のレポートを提出・合格の後、WB T上で行われる単位認定試験に合格することで4単位を認定します。</p> <p><自宅学習></p> <p>序章 認知心理学とは</p> <p>第1章 記憶のしくみ</p> <p>第2章 情報の検索と忘却</p> <p>第3章 概念と言語</p> <p>第4章 知識と表象</p> <p>第5章 イメージと空間の情報処理</p> <p>第6章 認知の制御過程</p> <p>第7章 文章の理解</p> <p>第8章 文章の記憶</p> <p>第9章 推理</p> <p>第10章 問題解決</p> <p>第11章 意思決定</p> <p>第12章 日常世界と認知心理学</p>	
成績評価の方法		単位認定試験	
実践的教育を行う授業科目の種別		a：実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目	
		担当教員の実務経験 (経歴・資格等)	
		授業内容との関連性	
		b：企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目	

2022 武蔵野大学 通信教育部 シラバス

	学外講師の経歴・資格等	
	授業内容	
	c：企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、 研修を行う授業科目	
	実習先・実習の目的	
備考		

科目名		教育心理学（S T）
担当教員		川島 哲（スクーリング、テスト担当者）、出野 美那子（メディア授業担当者）
授業方法		講義
科目の概要	到達目標	この科目では、教育心理学の基礎理論を理解することによって、不登校や学力低下をはじめとする教育にかかわる様々な事象を考える理論的視座を獲得することを目的とします。
	テキストの概要	このテキストは、「発達と学びを理解すること」と「発達と学びを援助すること」の2つをテーマとして、3部構成で編まれています。
授業計画		<p>スクーリング（2単位）とWBTによる学習（2単位）の計4単位の科目です。WBTで出題される所定の回数のエクササイズに合格の後、WBT上で行われる単位認定試験に合格することで2単位を認定します。</p> <p><スクーリング(メディア)></p> <p>第01講 イン트로ダクション</p> <p>第02講 愛着①（第2章）</p> <p>第03講 愛着②（第2章）</p> <p>第04講 発達過程で生じる障害や心理的問題</p> <p>第05講 子どもが育つ場としての家族</p> <p>第06講 学習①（第8章）</p> <p>第07講 学習②（第8章）</p> <p>第08講 記憶①（第9章）</p> <p>第09講 記憶②（第9章）</p> <p>第10講 動機づけ①（第10章）</p> <p>第11講 動機づけ②（第10章）</p> <p>第12講 教育評価（第12章）</p> <p>第13講 アセスメントと情報の共有</p> <p>第14講 教育相談に役立つ諸理論①</p> <p>第15講 教育相談に役立つ諸理論②</p> <p><自宅学習></p> <p>序章 教え育む心理学とは</p> <p>第1章 発達とは何か</p> <p>第2章 アタッチメント理論と人間関係の発達</p> <p>第3章 認知の発達</p> <p>第4章 道徳性の発達と教育</p> <p>第5章 「自分らしさ」の模索：青年期の自我同一性の確立</p> <p>第6章 子どもの個人差をとらえる</p> <p>第7章 学級集団の理解</p> <p>第8章 学習の基礎理論</p>

	第9章 記憶のメカニズム 第10章 やる気のメカニズム：動機づけ理論 第11章 学びの援助：教授法の基礎 第12章 学びを評価する：教育評価 第13章 かかわりの援助 第14章 特別な教育的ニーズをもつ子どもへの援助 おわりに これからの教師に求められるもの	
成績評価の方法	単位認定試験	
実践的教育を行う 授業科目の種別	a：実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目	
	担当教員の 実務経験 (経歴・資格等)	
	授業内容との 関連性	
	b：企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目	
	学外講師の 経歴・資格等	
	授業内容	
	c：企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、 研修を行う授業科目	
	実習先・実習の 目的	
備考		

科目名		教育心理学 (T)	
担当教員		川島 哲	
授業方法		講義	
科目の概要	到達目標	この科目では、教育心理学の基礎理論を理解することによって、不登校や学力低下をはじめとする教育にかかわる様々な事象を考える理論的視座を獲得することを目的とします。	
	テキストの概要	このテキストは、「発達と学びを理解すること」と「発達と学びを援助すること」の2つをテーマとして、3部構成で編まれています。	
授業計画		<p>WB Tで出題される所定の回数のエクササイズに合格の後、WB T上で行われる単位認定試験に合格することで4単位を認定します。</p> <p><自宅学習></p> <p>序 章 教える心理学とは</p> <p>第1章 発達とは何か</p> <p>第2章 アタッチメント理論と人間関係の発達</p> <p>第3章 認知の発達</p> <p>第4章 道徳性の発達と教育</p> <p>第5章 「自分らしさ」の模索：青年期の自我同一性の確立</p> <p>第6章 子どもの個人差をとらえる</p> <p>第7章 学級集団の理解</p> <p>第8章 学習の基礎理論</p> <p>第9章 記憶のメカニズム</p> <p>第10章 やる気のメカニズム：動機づけ理論</p> <p>第11章 学びの援助：教授法の基礎</p> <p>第12章 学びを評価する：教育評価</p> <p>第13章 かかわりの援助</p> <p>第14章 特別な教育的ニーズをもつ子どもへの援助</p> <p>おわりに これからの教師に求められるもの</p>	
成績評価の方法		単位認定試験	
実践的教育を行う授業科目の種別	a：実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目		
	担当教員の实務経験 (経歴・資格等)		
	授業内容との関連性		
	b：企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目		
	学外講師の経歴・資格等		

2022 武蔵野大学 通信教育部 シラバス

	授業内容	
	c：企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、研修を行う授業科目	
	実習先・実習の目的	
備考		

科目名		心理学実験実習 2		
担当教員		阿部 朋典・金山 裕介・原 真太郎・松野 航大・児玉（渡邊） 茉奈美		
授業方法		講義		
科目の概要	到達目標	心理学実験実習 1 での実習・レポート作成は、簡易な実験材料を基に進められるが、心理学実験実習 2 では、より高度な実験材料（機器・装置・検査など）の扱い方を体験するとともに、実験計画、刺激呈示、データ収集、データのまとめ、データの分析、実験成果の発表、実験レポートの作成などについて学習を深める。また、心理学実験実習 1 では実験者としての体験が基本であるが、心理学実験実習 2 では実験・検査対象者（実験・検査参加者）も体験することにより、実験・検査・調査などを依頼する際の礼儀と倫理についても学ぶ。		
	テキストの概要	認定心理士の資格取得に関わる心理学実験・実習科目のために編纂されたテキストである。		
授業計画		スクーリングの参加状況・成果発表ならびに 4 課題のレポート、単位認定申請レポートが評価対象となり、合格することで 2 単位が認定される。 <スクーリング> 実験・検査の 4 課題を実習 4 課題の中から 1 課題を選択し、グループごとに成果を発表する。 <自宅学習> スクーリング終了後、実習を行った 4 つの課題について、レポートを作成し提出する。		
成績評価の方法		単位認定試験		
実践的教育を行う授業科目の種別		a：実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目	○	
		担当教員の実務経験（経歴・資格等）	（松野 航大先生 職歴）長谷川メンタルヘルス研究所 スキルアップグループ／家族スキルアップグループ スタッフ、研修講師 所沢市教育委員会 健やか輝き支援室 健やか相談員 松野カウンセリングルーム 代表、カウンセラー	
		授業内容との関連性	専門機関でカウンセリング経験のある教員が、心理学の実践と関連させながら、心理学の基礎的分野を指導し、学習を日常生活に活かすことを目指す。	
		b：企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目		
		学外講師の経歴・資格等		
		授業内容		
		c：企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、研修を行う授業科目		

2022 武蔵野大学 通信教育部 シラバス

	実習先・実習の目的	
備考		

科目名	心理測定法 (STR)	
担当教員	川島 哲・中山 友則	
授業方法	講義	
科目の概要	到達目標	<p>心理学は、直接観察することができないところを対象に、研究を行う。直接観察できないことから、調査方法や分析方法に工夫をして、科学的であるよう努めてきた。また「ひとのこころ」を対象にすることから、研究は協力者への負担を与え、時には心に傷を残すことになりかねない。その危険性を最小限にするためにも、倫理規定や研究の手続きなど積み重ねられてきた。心理学の研究を行うためには様々なことを身につけなければならない。</p> <p>心理測定法では、次にあげる3つの点を身につけること求める。</p> <p>第一に、「心を科学的に研究するための方法」のである。心を科学的に研究するためには、心を測るさまざまな方法を理解し使い分ける必要がある。また、方法を知っていく中で、自分の心理についての興味関心が喚起されたり、興味関心を深めるために相応しい方法を選んだりできるとよい。</p> <p>第二に「心を科学的に測定するための方法」である。主観的な独りよがりの研究をするのではなく、多くの人々が研究を理解し、確からしいと思えるように、研究計画に工夫をし、分析方法に適切な方法を選ばなければならない。</p> <p>第三に、「研究結果を発信するための振る舞い」である。心を科学的に研究した結果は、世に向けて発信されなければならない。そのためには、発信するための振る舞いを知らなければならない。なぜなら、研究結果の受け手は無数に存在しているのであり、それらの人々全てに了解可能な形式で発信されなければならないからである。</p> <p>以上、繰り返しになるが、「心を科学的に研究するための方法」「心を測定するための方法」「研究結果を発信するための振る舞い」の3つの点を身につけることが、本科目の到達目標となる。一点目で、問題意識と目的とだいたいの研究法を、2点目で詳細な調査・分析方法を、3点目で論文・レポートの書き方を学ぶことができ、心理学の研究法をおおよそつかむことができる予定である。</p> <p>本科目では、「心理学研究法」と「心理統計」の内容を含むので、心理学を研究する上で残った課題は、調査・実験の実施である。それについては、心理学実験実習1・2において、主に扱われる。それらの科目では実際にレポートを書くことになり、心理測定法で学んだことが土台となる。しっかりと身につけてくれるとうれしい。</p>
	テキストの概要	<p>「心理学研究法」と「心理統計」の両方が含まれたテキストとなっている。心理統計で扱う事ができる心理学研究手法に重きが置かれていて、著者の専門領域の関係で数字で処理できないデータについては攻撃的に書かれている。公平を期すためスタディガイドに注釈を入れているが、読むときにそういう研究者が書いたテキストであることに留意してほしい。</p> <p>テキストは8章構成となっている。</p> <p>第1章では、心理学における研究の基礎が書かれている。心理学で研究するにあたり、または心理学の論文を読むにあたり必要な点が解説されている。科学的な心理学をするための、最低限の心得が示されている。</p>

	<p>第2章は実験法について書かれている。第3章、第4章では、観察法、質問紙法、面接法、事例研究、精神物理学的測定法、評定法、検査法が書かれている。科学的な心理学が実験室から始まったことを踏まえ、実験法に重きを置いた構成となっている。何について、どのような手法で研究をするか、決めていくために、以上の4章分が参考になるだろう。「心を研究するための手法」に関わる。</p> <p>そして、以上の4章の中に、科学的な心理学をするために、研究計画において気をつけるべきことが書かれている。それぞれの方法に特有の注意点があれば、どのような手法で研究をしても気をつけねばならない点もある。第3回で扱うので参照されたい。</p> <p>第5章から第7章は、データ分析の方法について書かれている。「心を測定するための方法」である。心理統計について扱われ、数式やデータも示される。データをどのように分析するかを実際に見ることができ、理解の助けとなろう。心理統計の原理については、『心理統計の基礎』（南風原 2002）などを参照にして、より深い理解を図るのもよいかもしれない。</p> <p>第8章では、研究をまとめ、自身の主張を発信するために論文・レポートを書く上で概ね念頭に置いておくべき事柄について説明されている。ただ、論文を読むために気をつけるべきこととして書かれ、書く側に立った気をつけるべきことにはなっていない印象を受けた。スタディガイドにおいて、説明しているのでも、そちらとあわせて、かつ手元に一つ論文を用意して読んでもらえると、分かりやすいだろう。また、研究倫理について述べられている。研究倫理を学ばなければ、心理学研究をおこなう資格はない。誠実に心理学に向き合ってほしい。</p>
<p>授業計画</p>	<p>スクーリング（2単位）とWBTによる学習（2単位）の計4単位の科目である。WBTで出題される所定の回数のエクササイズに合格の後、同じくWBT上で出題されるレポート課題に合格した上で、WBT上で実施される単位認定試験に合格することで2単位を認定する。また、武蔵野キャンパスで開講されるスクーリング（全14コマ）に出席し、最終日（14コマ目）に教員より課せられる単位認定試験に合格することで2単位を認定する。</p> <p><自宅学習></p> <p>第1回 心理学研究の基礎（第1章心理学における研究の基礎 pp. 2-19） 第2回 研究方法を選ぶ（第2章の一部、第3章、第4章の一部） 第3回 研究デザインの詳細 第2章第1節2から第2節5まで、第4章第4節 第4回 第5章データ分析の基礎 pp. 89-126 第5回 第6章 変数間の差の検定 pp. 131-159 第6回 研究を発信するための振る舞いを知る 第8章第1節第2節 pp. 184-191 第7回 研究のための心構え「研究倫理」 第8章第3節 pp. 191-198 第8回 第7章 変数間の関係 pp. 164-182</p> <p><スクーリング></p> <p>第1講：科目の位置づけ、研究の基礎1（講師自己紹介～第1章の振り返り） 第2講：研究の基礎2（第3章の振り返り；独立変数・従属変数・信頼性・妥当性）</p>

2022 武蔵野大学 通信教育部 シラバス

	第3講：研究の基礎3（第5章の振り返り；尺度水準） 第4講：論文を読む1（論文の基本構造を読み取る） 第5講：データを分析する1（第5章の振り返り；代表値） 第6講：データを分析する2（第5章の振り返り；正規分布） 第7講：データを分析する3（第7章の振り返り；散布図と相関関係） 第8講：データを分析する4（第6章；検定とは何か、t検定について） 第9講：データを分析する5（第6章；1要因の分散分析） 第10講：データを分析する6（第6章； χ^2 検定） 第11講：論文を読む3（差の検定を行った論文を読む） 第12講：研究をおこなうために1（第1章、第8章の振り返り；研究倫理を含む） 第13講：研究をおこなうために2（研究計画を立てる） 第14講：単位認定試験	
成績評価の方法	単位認定試験	
実践的教育を行う 授業科目の種別	a：実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目	
	担当教員の 実務経験 (経歴・資格等)	
	授業内容との 関連性	
	b：企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目	
	学外講師の 経歴・資格等	
	授業内容	
	c：企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、 研修を行う授業科目	
	実習先・実習の 目的	
備考		

科目名	心理測定法 (TR)
担当教員	川島 哲・中山 友則
授業方法	講義
科目の概要	<p>心理学は、直接観察することができないところを対象に、研究を行う。直接観察できないことから、調査方法や分析方法に工夫をして、科学的であるよう努めてきた。また「ひとのこころ」を対象にすることから、研究は協力者への負担を与え、時には心に傷を残すことになりかねない。その危険性を最小限にするためにも、倫理規定や研究の手続きなど積み重ねられてきた。心理学の研究を行うためには様々なことを身につけなければならない。</p> <p>心理測定法では、次にあげる3つの点を身につけること求める。</p> <p>第一に、「心を科学的に研究するための方法」のである。心を科学的に研究するためには、心を測るさまざまな方法を理解し使い分ける必要がある。また、方法を知っていく中で、自分の心理についての興味関心が喚起されたり、興味関心を深めるために相応しい方法を選んだりできるとよい。</p> <p>第二に「心を科学的に測定するための方法」である。主観的な独りよがりの研究をするのではなく、多くの人々が研究を理解し、確からしいと思えるように、研究計画に工夫をし、分析方法に適切な方法を選ばなければならない。</p> <p>第三に、「研究結果を発信するための振る舞い」である。心を科学的に研究した結果は、世に向けて発信されなければならない。そのためには、発信するための振る舞いを知らなければならない。なぜなら、研究結果の受け手は無数に存在しているのであり、それらの人々全てに了解可能な形式で発信されなければならないからである。</p> <p>以上、繰り返しになるが、「心を科学的に研究するための方法」「心を測定するための方法」「研究結果を発信するための振る舞い」の3つの点を身につけることが、本科目の到達目標となる。一点目で、問題意識と目的とだいたいの研究法を、2点目で詳細な調査・分析方法を、3点目で論文・レポートの書き方を学ぶことができ、心理学の研究法をおおよそつかむことができる予定である。</p> <p>本科目では、「心理学研究法」と「心理統計」の内容を含むので、心理学を研究する上で残った課題は、調査・実験の実施である。それについては、心理学実験実習1・2において、主に扱われる。それらの科目では実際にレポートを書くことになり、心理測定法で学んだことが土台となる。しっかりと身につけてくれるとうれしい。</p>
	<p>「心理学研究法」と「心理統計」の両方が含まれたテキストとなっている。心理統計で扱う事ができる心理学研究手法に重きが置かれていて、著者の専門領域の関係で数字で処理できないデータについては攻撃的に書かれている。公平を期すためスタディガイドに注釈を入れているが、読むときにそういう研究者が書いたテキストであることに留意してほしい。テキストは8章構成となっている。</p> <p>第1章では、心理学における研究の基礎が書かれている。心理学で研究するにあたり、または心理学の論文を読むにあたり必要な点が解説されている。科学的な心理学をするための、最低限の心得が示されている。</p>

		<p>第2章は実験法について書かれている。第3章、第4章では、観察法、質問紙法、面接法、事例研究、精神物理学的測定法、評定法、検査法が書かれている。科学的な心理学が実験室から始まったことを踏まえ、実験法に重きを置いた構成となっている。何について、どのような手法で研究をするか、決めていくために、以上の4章分が参考になるだろう。「心を研究するための手法」に関わる。</p> <p>そして、以上の4章の中に、科学的な心理学をするために、研究計画において気をつけるべきことが書かれている。それぞれの方法に特有の注意点もあれば、どのような手法で研究をしていても気をつけねばならない点もある。第3回で扱うので参照されたい。</p> <p>第5章から第7章は、データ分析の方法について書かれている。「心を測定するための方法」である。心理統計について扱われ、数式やデータも示される。データをどのように分析するかを実際に見ることができ、理解の助けとなろう。心理統計の原理については、『心理統計の基礎』（南風原 2002）などを参照にして、より深い理解を図るのもよいかもしれない。</p> <p>第8章では、研究をまとめ、自身の主張を発信するために論文・レポートを書く上で概ね念頭に置いておくべき事柄について説明されている。ただ、論文を読むために気をつけるべきこととして書かれ、書く側に立った気をつけるべきことにはなっていない印象を受けた。スタディガイドにおいて、説明しているのでも、そちらとあわせて、かつ手元に一つ論文を用意して読んでもらえると、分かりやすいだろう。また、研究倫理について述べられている。研究倫理を学ばなければ、心理学研究をおこなう資格はない。誠実に心理学に向き合ってほしい。</p>						
授業計画		<p>WB Tで出題される所定の回数のエクササイズに合格の後、同じくWB Tで出題される所定の回数のレポートを提出・合格の後、WB T上で実施される単位認定試験に合格することで4単位を認定する。</p> <p><自宅学習></p> <p>第1回 心理学研究の基礎（第1章心理学における研究の基礎 pp. 2-19）</p> <p>第2回 研究方法を選ぶ（第2章の一部、第3章、第4章の一部）</p> <p>第3回 研究デザインの詳細 第2章第1節2から第2節5まで、第4章第4節</p> <p>第4回 第5章データ分析の基礎 pp. 89-126</p> <p>第5回 第6章 変数間の差の検定 pp. 131-159</p> <p>第6回 研究を発信するための振る舞いを知る 第8章第1節第2節 pp. 184-191</p> <p>第7回 研究のための心構え「研究倫理」 第8章第3節 pp. 191-198</p> <p>第8回 第7章 変数間の関係 pp. 164-182</p>						
成績評価の方法		単位認定試験						
実践的教育を行う授業科目の種別		<table border="1"> <tr> <td data-bbox="368 1861 722 1942">a：実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目</td> <td data-bbox="722 1861 1544 1942"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="368 1942 722 2040">担当教員の実務経験（経歴・資格等）</td> <td data-bbox="722 1942 1544 2040"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="368 2040 722 2123">授業内容との関連性</td> <td data-bbox="722 2040 1544 2123"></td> </tr> </table>	a：実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目		担当教員の実務経験（経歴・資格等）		授業内容との関連性	
a：実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目								
担当教員の実務経験（経歴・資格等）								
授業内容との関連性								

2022 武蔵野大学 通信教育部 シラバス

	b：企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目	
	学外講師の経歴・資格等	
	授業内容	
	c：企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、研修を行う授業科目	
	実習先・実習の目的	
備考		

科目名	パーソナリティ心理学
担当教員	松野 航大
授業方法	講義
科目の概要	<p>到達目標</p> <p>「パーソナリティ」は、「人格」や「性格」などと訳されますが、ラテン語の「ペルソナ（仮面）」に由来した言葉であるといわれています。したがって、パーソナリティを、人間が人前でかぶっている仮面のようなもの、とたとえることもできるでしょう。この仮面は人によって異なりますが、大勢の人の仮面を見比べていると、似たような仮面どうしを集めて、いくつかのグループをつくりたくなるものです。そして、その結果、できあがった個々のグループには、「～タイプ」とか「～キャラ」などという名称をあてがいたくなるものです。このように、私たちは、人間のパーソナリティを分かりやすい形で把握しようとする作業を日頃から行っているわけですが、このことは心理学においても大きなテーマになっています。</p> <p>さらに心理学においては、個々の人間のパーソナリティがどのように作られるのか、という点の解明も大きなテーマになっています。一般に、パーソナリティには経験を通して作られていく面がある、といわれています。それでは、何から影響を受けて作られていくのでしょうか。養育者でしょうか、学校でしょうか、生まれ育った土地の文化でしょうか、あるいは、自分自身の年齢や考え方といったものでしょうか。心理学では、このような疑問を解明するための研究が数多くなされています。</p> <p>本科目では、上記に述べた、パーソナリティの把握やパーソナリティの形成要因に関する心理学の基礎的な知見の習得を到達目標とします。</p>
	<p>テキストの概要</p> <p>パーソナリティ（性格）について、心理学の他の分野（臨床心理学や発達心理学や心理学史など）の観点を活かしつつ論じています。豊富な図表と2色刷が、視覚的な理解を助けています。</p>
授業計画	<p>WB Tで出題される所定の回数のエクササイズに合格の後、WB T上で行われる単位認定試験に合格することで4単位を認定します。</p> <p><自宅学習></p> <p>第1章 臨床心理学から見た性格</p> <p>第2章 今、学校現場で起こっている課題</p> <p>第3章 精神病理に現代を見る</p> <p>第4章 文化と性格</p> <p>第5章 子どもの「性格」とは</p> <p>第6章 人の輪の中で</p> <p>第7章 生涯発達の時代</p> <p>第8章 性格心理学の源流と成立</p> <p>第9章 性格心理学の展開</p> <p>第10章 性格心理学の新潮流</p>
成績評価の方法	単位認定試験

実践的教育を行う 授業科目の種別	a：実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目		○
	担当教員の実務経験 (経歴・資格等)	(松野 航大先生 職歴) 長谷川メンタルヘルス研究所 スキルアップグループ/家族スキルアップグループ スタッフ、研修講師 所沢市教育委員会 健やか輝き支援室 健やか相談員 松野カウンセリングルーム 代表、カウンセラー	
	授業内容との関連性	専門機関でカウンセリング経験のある教員が、心理学の実践と関連させながら、心理学の基礎的分野を指導し、学習を日常生活に活かすことを目指す。	
	b：企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目		
	学外講師の経歴・資格等		
	授業内容		
	c：企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、研修を行う授業科目		
	実習先・実習の目的		
備考			

科目名		日常学習の心理学	
担当教員		松野 航大	
授業方法		講義	
科目の概要	到達目標	<p>「学習」という言葉は、日常生活でもよく使われる言葉です。学習という言葉は、「英語を学習する」、「マナーを学習する」、「技能を学習する」など、様々な日常生活場面で使用されます。しかし、学習心理学において、「学習」とは「経験によって生じる比較的永続的な変化」と定義されており、より広範な意味を指すものになっています。したがって、何かを学ぶという意味だけでなく、日常生活の中でのあらゆる行動の変化とそのプロセスが学習心理学の対象となります。</p> <p>本科目では、学習心理学の重要なテーマである「オペラント条件づけ」を中心に、学習心理学の基礎的な知識を身につけると共に、それらを日常生活にどのように活かしていくかということ考察していきます。最終的には、日常生活のあらゆる行動を学習心理学とその応用である行動分析学の観点から捉えられるようになることを目標とします。</p>	
	テキストの概要	<p>このテキストは、学習心理学の基本となる内容を取り上げています。学習心理学の基本となる古典的条件づけ、オペラント条件づけだけでなく、観察学習や記憶といった学習に関する広範な概念を扱っています。また、テキストで扱う内容はどれも日々行う私たちの行動と密接に関係しています。学習心理学が人間の日常生活の理解にどのように役立つかということに意識をはらいながら、テキストを読み進めていってください。</p>	
授業計画		<p>本スタディガイド内にて出題されている所定の回数のレポートを提出・合格の後、単位認定申請レポートを提出することで2単位を認定します。</p> <p><自宅学習></p> <p>第01章 「学習」について学ぶ 第02章 馴化と鋭敏化 第03章 古典的条件づけ1：基本的特徴 第04章 古典的条件づけ2：信号機能 第06章 オペラント条件づけ1：基礎 第07章 オペラント条件づけ2：強化・消去と罰・強化スケジュール 第09章 概念学習・観察学習・問題解決 第10章 記憶と学習</p>	
成績評価の方法		単位認定試験	
実践的教育を行う授業科目の種別		a：実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目	○
		担当教員の実務経験 (経歴・資格等)	(松野 航大先生 職歴) 長谷川メンタルヘルス研究所 スキルアップグループ/家族スキルアップグループ スタッフ、研修講師 所沢市教育委員会 健やか輝き支援室 健やか相談員 松野カウンセリングルーム 代表、カウンセラー

2022 武蔵野大学 通信教育部 シラバス

	授業内容との関連性	専門機関でカウンセリング経験のある教員が、心理学の実践と 連関させながら、心理学の基礎的分野を指導し、学習を日常生 活に活かすことを目指す。
	b：企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目	
	学外講師の経歴・資格等	
	授業内容	
	c：企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、 研修を行う授業科目	
	実習先・実習の目的	
備考		

科目名		認知行動アプローチの心理学	
担当教員		野口 普子	
授業方法		講義	
科目の概要	到達目標	人間の心と行動を理論的に解明する学問が臨床心理学ですが、その理論は多様です。この科目では、心と行動の理解のための臨床心理学的理論の一つである認知行動アプローチを学びます。抑うつ、対人不安、妄想というテーマを認知行動アプローチで理解することを学びます。	
	テキストの概要	このテキストでは、抑うつ、対人不安、妄想という、比較的多くの人に見られる症状を通して、認知行動アプローチと呼ばれる新しい臨床心理学の流れについて学びます。	
授業計画		WBTで出題される所定の回数のレポートを提出・合格の後、単位認定申請レポートを提出することで2単位を認定します。 <自宅学習> 第1章 抑うつ 第2章 対人不安 第3章 妄想と自我障害 第4章 臨床の知の技法	
成績評価の方法		単位認定試験	
実践的教育を行う授業科目の種別	a：実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目		○
	担当教員の実務経験 (経歴・資格等)	(野口 普子先生 職歴) 医療法人社団総合会武蔵野中央病院 看護部 武蔵野大学心理臨床センター 相談員 財団法人精神医学研究所附属東京武蔵野病院 看護部	
	授業内容との関連性	病院にて臨床経験のある教員が、心理学の実践と関連させながら、心理学の基礎的分野を指導し、学習を日常生活に活かすことを目指す。	
	b：企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目		
	学外講師の経歴・資格等		
	授業内容		
	c：企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、研修を行う授業科目		
	実習先・実習の目的		
備考			

科目名		心理教育評価（S T）
担当教員		時津 倫子
授業方法		講義
科目の概要	到達目標	この科目での到達目標は、学校での心理臨床において、適切な支援の方策を考えるために行われる評価（アセスメント）に必要な専門知識や考え方を身に付けることです。将来、スクールカウンセラーなど学校での心理臨床に携わりたい方や、現在教職についておられ、今後の生徒指導に役立てるべく心理学を専門的に学びなおす方などの実践に役立つ内容を目指しています。
	テキストの概要	児童期に焦点を当てたテキストを柱にして、学習を進めます。標準的な小学生の学習や発達についての内容から、問題行動の理解、心理的支援の方法まで、幅広く扱われています。問題行動などについては、具体的な事例が挙げられています。事例を通じて、不適応や問題行動と呼ばれるような状態の背景を理解し、具体的な対応の仕方を考えるための知識を身に着けます。個々の事例についてその子どもがどのような精神状態にあり、どのような対応をすればよいのかを考えるためには、精神障害や発達障害、子どもの問題行動などについての専門的な知識を身に付けておく必要がありますが、テキストには詳しく書かれていませんので、スタディガイドの中に＜学習コーナー＞を設け、テキストと併せて学習していただきます。*
授業計画		<p>スクーリング（2単位）とWBTによる学習（2単位）の計4単位の科目です。</p> <p>＜自宅学習＞</p> <p>第1章【テキスト：1部 小学生という時期】及び【学習コーナー①】</p> <p>第2章【テキスト：2部 小学生の成長と環境および学習コーナー②】</p> <p>第3章【テキスト：3部 7 帰属集団としての同性友人集団、8 性的成熟の開始、9 甘えと独立のはざままで】及び【学習コーナー③】</p> <p>第4章【テキスト：3部 10 問題行動を通して子どもが訴えるもの I－反社会的行動 11 問題行動を通して子どもが訴えるもの II－非社会的行動】及び【学習コーナー④】</p> <p>第5章【テキスト：4部 12 モデルとしての教師、13 教師の働き掛けの特徴、14 学級集団づくり】</p> <p>第6章【テキスト：4部 15 学校内での支援体制、16 外部の関連機関との連携、17 発達を保障する補償・治療教育 学習コーナー⑤】</p> <p>第7章【テキスト：4部 18 成長・変容を支えるさまざまな心理療法Ⅰ、19 成長・変容を支えるさまざまな心理療法Ⅱ、20 子どもの成長・変容をうながす心理教育】</p> <p>第8章【心理検査の活用】</p> <p>＜スクーリング＞</p> <p>心理検査についてはスクーリングで学びます。</p> <p>子ども用の知能検査としては最も利用の多いWISC-IVについては、検査の一部を体験していただき、記録のとり方、採点、換算、解釈のおおまかなところまで、一通り学びます。また、</p>

	<p>性格検査の例として Y-G 性格検査を体験していただき、内容と効用、問題点について学びます。</p> <p>但し、このスクーリングでの体験だけでは、検査を使って子どもを評価できるようになれるわけではありません。体験を通して知能検査の目的を理解するとともに、検査を受ける子どもの気持ちを理解することを目標としています。また、実際の教育場面や臨床場面において、知能検査がどのように活用されるのかを事例についてのディスカッションを通して考えます。</p>	
成績評価の方法	単位認定試験	
実践的教育を行う 授業科目の種別	a：実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目	
	担当教員の 実務経験 (経歴・資格等)	
	授業内容との 関連性	
	b：企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目	
	学外講師の 経歴・資格等	
	授業内容	
	c：企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、 研修を行う授業科目	
	実習先・実習の 目的	
備考		

科目名		心理教育評価 (T)
担当教員		時津 倫子
授業方法		講義
科目の概要	到達目標	この科目での到達目標は、学校での心理臨床において、適切な支援の方策を考えるために行われる評価（アセスメント）に必要な専門知識や考え方を身に付けることです。将来、スクールカウンセラーなど学校での心理臨床に携わりたい方や、現在教職についておられ、今後の生徒指導に役立てるべく心理学を専門的に学びなおす方などの実践に役立つ内容を目指しています。
	テキストの概要	<p>児童期に焦点を当てたテキストを柱にして、学習を進めます。標準的な小学生の学習や発達についての内容から、問題行動の理解、心理的支援の方法まで、幅広く扱われています。問題行動などについては、具体的な事例が挙げられています。事例を通じて、不適応や問題行動と呼ばれるような状態の背景を理解し、具体的な対応の仕方を考えるための知識を身に着けます。個々の事例についてその子どもがどのような精神状態にあり、どのような対応をすればよいのかを考えるためには、精神障害や発達障害、子どもの問題行動などについての専門的な知識を身に付けておく必要がありますが、テキストには詳しく書かれていませんので、スタディガイドの中に〈学習コーナー〉を設け、テキストと併せて学習していただきます。</p> <p>心理学的な評価（アセスメント）の方法のひとつに心理検査があります。テキストには心理検査については詳しい記載がありませんので、第8章としてテキストとは別にダウンロード配布します。心理検査の概略を学んだ上で、学校教育と関連の深い知能検査について学習します。知能検査の目的を理解するとともに、学校臨床において知能検査がどのように活用されるのかを、事例を通して学びます。</p>
授業計画		<p>WB Tで出題される所定の回数エクササイズに合格の後、WB T上で行われる単位認定試験に合格することで4単位を認定します。</p> <p>〈自宅学習〉</p> <p>第1章【テキスト：1部 小学生という時期】及び【学習コーナー①】</p> <p>第2章【テキスト：2部 小学生の成長と環境および学習コーナー②】</p> <p>第3章【テキスト：3部 7 帰属集団としての同性友人集団、8 性的成熟の開始、9 甘えと独立のはざままで】及び【学習コーナー③】</p> <p>第4章【テキスト：3部 10 問題行動を通して子どもが訴えるもの I－反社会的行動 11 問題行動を通して子どもが訴えるもの II－非社会的行動】及び【学習コーナー④】</p> <p>第5章【テキスト：4部 12 モデルとしての教師、13 教師の働き掛けの特徴、14 学級集団づくり】</p> <p>第6章【テキスト：4部 15 学校内での支援体制、16 外部の関連機関との連携、17 発達を保障する補償・治療教育 学習コーナー⑤】</p> <p>第7章【テキスト：4部 18 成長・変容を支えるさまざまな心理療法 I、19 成長・変容を支えるさまざまな心理療法 II、20 子どもの成長・変容をうながす心理教育】</p> <p>第8章【心理検査の活用】</p>

2022 武蔵野大学 通信教育部 シラバス

成績評価の方法	単位認定試験	
実践的教育を行う 授業科目の種別	a：実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目	
	担当教員の実務経験 (経歴・資格等)	
	授業内容との関連性	
	b：企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目	
	学外講師の経歴・資格等	
	授業内容	
	c：企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、 研修を行う授業科目	
	実習先・実習の目的	
備考		

科目名		学校カウンセリング（SR）
担当教員		萩原 豪人
授業方法		講義
科目の概要	到達目標	この科目では、学校カウンセリングをめぐる学校心理臨床の実際について、その理論・方法を考察することを目的とします。
	テキストの概要	臨床心理士を目指す大学院生向けのテキストとされていますが、学校カウンセリングの入門書としても最適です。臨床心理士を目標にしている人に限らず、学校現場で仕事をする可能性がある方には読む価値があります。具体的な事例（ケースが特定できないようにフィクションを加えています）が提示されていますので、実際の学校現場で起こるさまざまな問題を知ることができ、実践されている学校カウンセリングを理解できると思います。そして、おのこの事例を通して学校カウンセリングの理論も学べるようになっていきます。
授業計画		<p>スクーリング（2単位）とWBTによる学習（2単位）の計4単位の科目です。</p> <p><スクーリング></p> <p>第01講 「スクールカウンセラー事業の歴史と概要」</p> <p>第02講 「スクールカウンセリングとコミュニティ心理学」</p> <p>第03講 「不登校」</p> <p>第04講 「教師とのコンサルテーション」</p> <p>第05講 「特別支援教育」</p> <p>第06講 「発達障害」</p> <p>第07講 「思春期の精神疾患」</p> <p>第08講 「いじめ」</p> <p>第09講 「児童虐待」</p> <p>第10講 「非行問題」</p> <p>第11講 「外部機関との連携」</p> <p>第12講 「学校危機と緊急支援」</p> <p>第13講 「グループワーク」</p> <p>第14講 「単位認定試験」</p> <p><メディア授業></p> <p>第01講 「スクールカウンセラー事業の歴史と概要」</p> <p>第02講 「スクールカウンセリングとコミュニティ心理学」</p> <p>第03講 「不登校」</p> <p>第04講 「グループワーク①」</p> <p>第05講 「教師とのコンサルテーション」</p> <p>第06講 「特別支援教育」</p> <p>第07講 「発達障害」</p> <p>第08講 「グループワーク②」</p> <p>第09講 「思春期の精神疾患」</p>

2022 武蔵野大学 通信教育部 シラバス

	第10講 「いじめ」 第11講 「児童虐待」 第12講 「グループワーク③」 第13講 「非行問題」「外部機関との連携」 第14講 「学校危機と緊急支援」 第15講 「東京都スクールカウンセラーによる震災支援」 <自宅学習> 第1章 総論 第2章 学校臨床心理学の課題と展望 第3章 学習に関する支援 第4章 適応に関する支援 第5章 教職員に関する支援 第6章 家族に関する支援	
成績評価の方法	単位認定試験	
実践的教育を行う 授業科目の種別	a: 実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目	○
	担当教員の実務経験 (経歴・資格等)	(萩原 豪人先生 資格) 臨床心理士 2002年4月～ 公認心理師 2019年5月～
	授業内容との関連性	長年、学校臨床(スクールカウンセラー等)の経験あり
	b: 企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目	
	学外講師の経歴・資格等	
	授業内容	
	c: 企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、 研修を行う授業科目	
	実習先・実習の目的	
備考		

科目名		学校カウンセリング（R）	
担当教員		萩原 豪人	
授業方法		講義	
科目の概要	到達目標	この科目では、学校カウンセリングをめぐる学校心理臨床の実際について、その理論・方法を考察することを目的とします。	
	テキストの概要	臨床心理士を目指す大学院生向けのテキストとされていますが、学校カウンセリングの入門書としても最適です。臨床心理士を目標にしている人に限らず、学校現場で仕事をする可能性がある方には読む価値があります。具体的な事例（ケースが特定できないようにフィクションを加えています）が提示されていますので、実際の学校現場で起こるさまざまな問題を知ることができ、実践されている学校カウンセリングを理解できると思います。そして、おのこの事例を通して学校カウンセリングの理論も学べるようになっていきます。	
授業計画		WBTで出題される所定の回数のレポートを提出・合格の後、WBT上で行われる単位認定試験に合格することで4単位を認定します。 <自宅学習> 第1章 総論 第2章 学校臨床心理学の課題と展望 第3章 学習に関する支援 第4章 適応に関する支援 第5章 教職員に関する支援 第6章 家族に関する支援	
成績評価の方法		単位認定試験	
実践的教育を行う授業科目の種別	a：実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目		○
	担当教員の实務経験（経歴・資格等）	（萩原 豪人先生 資格） 臨床心理士 2002年4月～ 公認心理師 2019年5月～	
	授業内容との関連性	長年、学校臨床（スクールカウンセラー等）の経験あり	
	b：企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目		
	学外講師の経歴・資格等		
	授業内容		
	c：企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、研修を行う授業科目		
実習先・実習の目的			

備考

科目名		精神医学	
担当教員		辻 恵介	
授業方法		講義	
科目の概要	到達目標	この科目では、精神医学に関する基礎的知識の習得をめざす。精神異常とはどのような概念であるかを考えることに始まり、精神障害の原因、精神症状の捉え方、代表的な精神障害などについて一通り理解することを目的とする。現代社会や現代人が抱える心の問題を、精神医学的な観点から捉えなおすことは、人間の心の本質を探究し、総合的視野で深く人間を理解するための一助となる。	
	テキストの概要	このテキストは、臨床心理士を始めとするパラメディカル・スタッフを目指す学生が精神医学を学ぶことを念頭に置いた編集がなされている。通読も可能な手ごろな分量であるが比較的詳しく、知識を確認するための再読にも耐える内容になっている。ただ、あくまで入門書であり、必要な知識のすべてを網羅しているわけではないので、より詳しい参考書を適宜参照する必要があることは覚悟しておいていただきたい。また、あらゆるテキストに当てはまることであるが、おおよそテキストとして使用される成書には、必ずと言ってもよいほど記述に誤りや不適切な点があるものである。『学生のための精神医学』も例外ではない。だからこそ、さまざまな資料を検討し、吟味、熟考する姿勢が重要になるのである。	
授業計画		<p>WB Tで出題される所定の回数のエクササイズに合格の後、WB T上で行われる単位認定試験に合格することで2単位を認定します。</p> <p><自宅学習></p> <p>第1章 精神障害の位置づけ 第2章 統合失調症 第3章 躁うつ病 第4章 神経症 第5章 心身症 第6章 症状・器質精神病 第7章 てんかん 第8章 中毒精神病 第9章 パーソナリティ障害 第10章 発達障害 第11章 ライフサイクル 第12章 精神科治療</p>	
成績評価の方法		単位認定試験	
実践的教育を行う授業科目の種別		a：実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目	
		担当教員の実務経験 (経歴・資格等)	

2022 武蔵野大学 通信教育部 シラバス

	授業内容との関連性	
	b：企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目	
	学外講師の経歴・資格等	
	授業内容	
	c：企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、研修を行う授業科目	
	実習先・実習の目的	
備考		

科目名	障害児教育（R）
担当教員	中屋 千絵美
授業方法	講義
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">科目の概要</p>	<p>この科目では、多様な障害のある子どもの特別な教育的ニーズと、特別な配慮をもって行われる教育とは何か、その基本的視点や方法を理解することを目的としています。</p> <p>教育において画一的な平等は、時に不公平を招く結果となることがあります。日本国憲法において、すべて国民はその能力に応じて等しく教育を受ける権利を有するとされますが、この“等しく”とは何を意味するのでしょうか。画一的な機会均等ではなく、どんな子どもにもそれぞれの状況に応じて必要な支援をこうじる必要がありますが、必ずしも障害のある子どもたちへの教育だけをさしているわけではありません。</p> <p>社会には、多様な場面で、さまざまな理由によって環境への適応しにくさ、不便や困難を感じている子どもたちがいます。これらの不便や困難さは子どもの中だけにあるわけではありません。周囲のかかわり方に目を向けると、それぞれに特別な教育的配慮、特別な教育的ニーズがあることが見えてきます。</p> <p>どの子どもも社会の中で豊かな個性を持つ一人の人間として大切にされる存在です。広く障害の有無やその他の個々の違いにかかわらず一人ひとりがもつ価値を高め、可能な限り豊かな生活を実現するために、それぞれに特別なニーズに応じた教育的配慮が必要であることを念頭におきましょう。</p> <p>そのうえで、特別な教育的配慮を有する子どもに対しては、どのような視点で子どもをとらえ、どう配慮することが必要でしょうか。一人ひとりの力を活かしながら、環境に適応し、自立的な生活を実現するためには何を指すことが必要でしょうか。</p> <p>障害児教育では、多様な障害の特性と基本的なニーズを理解し、教育的な視点から子どもを豊かにとらえる目を養うことを目標とします。</p>
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">授業計画</p>	<p>WB Tで出題される所定の回数のレポートを提出・合格の後、WB T上で行われる単位認定試験に合格することで2単位を認定します。</p> <p><自宅学習></p> <p>第1章 特別なニーズ教育</p> <p>第2章 知的障害</p> <p>第3章 自閉症</p> <p>第4章 学習障害</p> <p>第5章 視覚障害</p>
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">テキストの概要</p>	<p>教育とは、人間形成の働きを望ましい方向に計画的に導く一連の活動ととらえます。</p> <p>そのうえで、特別なニーズ教育の登場の背景とその概念に始まり、特別なニーズ教育の考え方について解説しながら、障害のある子ども達が人間行動に望ましい行動変容をもたらす、自己実現を可能にするための特別な教育的ニーズに対して行なわれる教育的配慮とはどのようなものであるかが述べられています。</p> <p>とくに、発達に障害のある子どもの特別な教育的ニーズに対する治療教育の考え方とその技法について詳しく解説しています。</p>

	第6章 聴覚障害 第7章 肢体不自由 第8章 病弱・身体虚弱 第9章 言語障害 第10章 情緒障害 第11章 その他の障害 第12章 発達に障害をもつ子どもの治療教育 第13章 治療教育の技法
成績評価の方法	単位認定試験
実践的教育を行う 授業科目の種別	a: 実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目
	担当教員の実務経験 (経歴・資格等)
	授業内容との関連性
	b: 企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目
	学外講師の経歴・資格等
	授業内容
	c: 企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、 研修を行う授業科目
	実習先・実習の目的
備考	

科目名		家族関係論 (S T)
担当教員		木村 絵里子
授業方法		講義
科目の概要	到達目標	<p>家族関係論は、文字どおり家族の関係について学ぶ学問です。ところが、「家族」は誰もが経験し、誰もが必ず語ることができるというイメージがあるために、どのような学問なのかかえってイメージがわきにくい、とうことあるかもしれません。</p> <p>誰もが語れるものであることは、家族についての学問が容易であることを意味しません。むしろそれゆえに、難しさを併せ持っているといえるでしょう。また、イメージしやすいものであるからこそ、私たちが知らず知らずのうちにもっている固定観念や偏見を取り除くのが難しいものであるといえます。</p> <p>家族関係論を学ぶことは、まず、家族についての固定観念を取り払うことから始まります。そして最終的には、「家族」をどのように考えたらよいのか、「家族」の見方そのものを学ぶことを目標とします。まず、家族関係論が積み重ねてきたいくつかの領域について、大まかに学んでいきます。そのうえで、子どもの虐待、ドメスティック・バイオレンス、ジェンダー、高齢者、障害者など、現代的な問題もあわせて考えいきます。</p> <p>これらの学習を通じて、心理学、仏教学、社会福祉学に関連する専門知識を修得するだけでなく、様々な変化変容を経験してきた現実の家族について学術的客観的に考察するための視座を養います。</p>
	テキストの概要	<p>このテキストでは、家族関係全般について、取り上げています。本書の特徴として、図や表、コラムなどがふんだんに取り入れられていることが挙げられます。家族に関する入門的な書として位置づけられるでしょう。</p>
授業計画		<p>スクーリング（2単位）とWBTによる学習（2単位）の計4単位の科目です。</p> <p>WBTで出題される所定の回数エクササイズに合格の後、WBT上で行われる単位認定試験に合格することで2単位を認定します。</p> <p><スクーリング></p> <p>第01講 [イントロダクション]</p> <p>第02講 [世帯と家族]</p> <p>第03講 [家族観の変化]</p> <p>第04講 [近代社会と性別役割分業]</p> <p>第05講 [近代社会の成立と近代家族]</p> <p>第06講 [ジェンダーと役割]</p> <p>第07講 [家族集団を分析するための視点]</p> <p>第08講 [戦前の家族と戦後の家族]</p> <p>第09講 [高度経済成長期における家族]</p> <p>第10講 [家族制度の変化と家族関係の変化]</p> <p>第11講 [現在の日本における母子密着]</p> <p>第12講 [結婚しやすい社会・結婚しにくい社会]</p>

	第13講 [まとめ] 第14講 [単位認定試験] <メディア授業> スクーリングと同様 ※全ての講を視聴した後に単位認定試験レポートを提出します。提出はWBTの履修テーマ一覧画面の [スクーリング] 単位認定試験画面から行います。 <自宅学習> 第1章 インTRODクシヨN 第2章 家族規範の成立と変容 第3章 ジェンダー論と家族関係 第4章 結婚の意味/離婚の意味 第5章 ドメスティック・バイオレンスと夫婦関係 第6章 親子という関係 第7章 母娘という関係 第8章 高齢者と家族 第9章 障害をもつ人と家族 第10章 さまざまな「家族」のかたち	
成績評価の方法	単位認定試験	
実践的教育を行う 授業科目の種別	a: 実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目	
	担当教員の 実務経験 (経歴・資格等)	
	授業内容との 関連性	
	b: 企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目	
	学外講師の 経歴・資格等	
	授業内容	
	c: 企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、 研修を行う授業科目	
	実習先・実習の 目的	
備考		

科目名	家族関係論 (T)	
担当教員	木村 絵里子	
授業方法	講義	
科目の概要	到達目標	<p>家族関係論は、文字どおり家族の関係について学ぶ学問です。ところが、「家族」は誰もが経験し、誰もが必ず語ることができるというイメージがあるために、どのような学問なのかかえってイメージがわきにくい、とうことあるかもしれません。</p> <p>誰もが語れるものであることは、家族についての学問が容易であることを意味しません。むしろそれゆえに、難しさを併せ持っているといえるでしょう。また、イメージしやすいものであるからこそ、私たちが知らず知らずのうちにもっている固定観念や偏見を取り除くのが難しいものであるといえます。</p> <p>家族関係論を学ぶことは、まず、家族についての固定観念を取り払うことから始まります。そして最終的には、「家族」をどのように考えたらよいのか、「家族」の見方そのものを学ぶことを目標とします。まず、家族関係論が積み重ねてきたいくつかの領域について、大まかに学んでいきます。そのうえで、子どもの虐待、ドメスティック・バイオレンス、ジェンダー、高齢者、障害者など、現代的な問題もあわせて考えいきます。</p> <p>これらの学習を通じて、心理学、仏教学、社会福祉学に関連する専門知識を修得するだけでなく、様々な変化変容を経験してきた現実の家族について学術的客観的に考察するための視座を養います。</p>
	テキストの概要	<p>このテキストでは、家族関係全般について、取り上げています。本書の特徴として、図や表、コラムなどがふんだんに取り入れられていることが挙げられます。家族に関する入門的な書として位置づけられるでしょう。</p>
授業計画	<p>WB Tで出題される所定の回数のエクササイズに合格の後、WB T上で行われる単位認定試験に合格することで4単位を認定します。</p> <p><自宅学習></p> <p>第1章 イントロダクション</p> <p>第2章 家族規範の成立と変容</p> <p>第3章 ジェンダー論と家族関係</p> <p>第4章 結婚の意味／離婚の意味</p> <p>第5章 ドメスティック・バイオレンスと夫婦関係</p> <p>第6章 親子という関係</p> <p>第7章 母娘という関係</p> <p>第8章 高齢者と家族</p> <p>第9章 障害をもつ人と家族</p> <p>第10章 さまざまな「家族」のかたち</p>	
成績評価の方法	単位認定試験	
	a：実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目	

2022 武蔵野大学 通信教育部 シラバス

実践的教育を行う 授業科目の種別	担当教員の実務経験 (経歴・資格等)	
	授業内容との関連性	
	b: 企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目	
	学外講師の経歴・資格等	
	授業内容	
	c: 企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、 研修を行う授業科目	
	実習先・実習の目的	
備考		

科目名	家族関係論 (S)
担当教員	木村 絵里子
授業方法	講義
科目の概要	<p>家族関係論は、文字どおり家族の関係について学ぶ学問です。ところが、「家族」は誰もが経験し、誰もが必ず語ることができるというイメージがあるために、どのような学問なのかかえってイメージがわきにくい、とうことあるかもしれません。</p> <p>誰もが語れるものであることは、家族についての学問が容易であることを意味しません。むしろそれゆえに、難しさをあわせもっているといえるでしょう。また、イメージしやすいものであるからこそ、私たちが知らず知らずのうちにもっている固定観念や偏見を取り除くのが難しいものであるといえます。</p> <p>家族関係論を学ぶことは、まず、家族についての固定観念を取り払うことから始まります。そして最終的には、「家族」をどのように考えたらよいのか、「家族」の見方そのものを学ぶことを目標とします。まず、家族関係論が積み重ねてきたいくつかの領域について、大まかに学んでいきます。そのうえで、子どもの虐待、ドメスティック・バイオレンス、ジェンダー、高齢者、障害者など、現代的な問題もあわせて考えていきます。</p>
	<p>このテキストでは、家族関係全般について、取り上げています。本書の特徴として、図や表、コラムなどがふんだんに取り入れられていることが挙げられます。家族に関する入門的な書として位置づけられるでしょう。</p>
授業計画	<p>この科目ではスクーリングはメディア授業で受講するものであり、面接授業（スクーリング）は受講できません。メディア授業はメディア授業視聴後、WBT上から単位認定試験レポートを提出し、合格することで2単位（スクーリング単位）を認定します。</p> <p><スクーリング></p> <p>第01講 [イントロダクション]</p> <p>第02講 [世帯と家族]</p> <p>第03講 [家族観の変化]</p> <p>第04講 [戸籍と住民票]</p> <p>第05講 [近代社会と性別役割分業]</p> <p>第06講 [近代社会の成立と近代家族]</p> <p>第07講 [ジェンダーと役割]</p> <p>第08講 [家族集団を分析するための視点]</p> <p>第09講 [女性の社会進出と家族]</p> <p>第10講 [戦前の家族と戦後の家族]</p> <p>第11講 [高度経済成長期における家族]</p> <p>第12講 [結婚しやすい社会・結婚しにくい社会]</p> <p>第13講 [家族制度の変化と家族関係の変化]</p> <p>第14講 [現在の日本における母子密着]</p> <p>第15講 [まとめ]</p>
成績評価の方法	単位認定試験

2022 武蔵野大学 通信教育部 シラバス

実践的教育を行う 授業科目の種別	a：実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目		
	担当教員の実務経験 (経歴・資格等)		
	授業内容との関連性		
	b：企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目		
	学外講師の経歴・資格等		
	授業内容		
	c：企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、 研修を行う授業科目		
	実習先・実習の目的		
備考			

科目名		臨床発達心理学	
担当教員		野口 普子	
授業方法		講義	
科目の概要	到達目標	<p>現代社会では、幼い子どものみならず児童や生徒のみならず、子育て世代の大人、高齢者も含めた幅広い世代において様々な発達に関する問題を抱えています。しかし、これらの問題を紐解く中で、各世代が抱える問題の独自性だけでなく、共通性や連続性についても明らかになってきました。ここでは臨床発達心理学について概観しながら、発達心理学と臨床発達心理学の異同について学び、臨床発達心理学とはどのような学問なのかを見ていきましょう。また、保育、教育、福祉、心理、司法などの現場で求められる臨床発達心理学の基礎知識と発達支援に関する基礎的な技術について学びます。</p>	
	テキストの概要	<p>このテキストは、臨床発達心理学とは何か、臨床発達心理学で学ぶことは何か、また実践に必要なことは何かについてまとめられた、臨床発達心理学の基本書として位置付けられています。構成は、2部・7章からなっており、「臨床」の意味と「発達」の捉え方について論じ、支援計画の実際を提示し、臨床発達心理学実習の進め方についても取り上げられています。臨床発達心理士の資格取得をめざす人にも基本テキストとして活用できる内容となっています。</p>	
授業計画		<p>WB Tで出題される所定の回数のエクササイズに合格の後、WB T上で行われる単位認定試験に合格することで4単位を認定します。</p> <p><自宅学習></p> <p>第1章 臨床発達心理学の基礎 第2章 発達とその障害の捉え方（発生、遺伝、家族） 第3章 臨床発達心理士としての倫理 第4章 臨床発達心理学のアセスメント 第5章 支援計画の立案 第6章 臨床発達心理学実習 第7章 臨床発達心理学における事例のまとめ方</p>	
成績評価の方法		単位認定試験	
実践的教育を行う授業科目の種別		a：実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目	○
		担当教員の実務経験（経歴・資格等）	（野口 普子先生 職歴）医療法人社団総合会武蔵野中央病院 看護部 武蔵野大学心理臨床センター 相談員 財団法人精神医学研究所附属東京武蔵野病院 看護部
		授業内容との関連性	病院にて臨床経験のある教員が、心理学の実践と関連させながら、心理学の基礎的分野を指導し、学習を日常生活に活かすことを目指す。

2022 武蔵野大学 通信教育部 シラバス

	b：企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目	
	学外講師の経歴・資格等	
	授業内容	
	c：企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、研修を行う授業科目	
	実習先・実習の目的	
備考		

科目名		カウンセリング論
担当教員		野口 普子
授業方法		講義
科目の概要	到達目標	<p>「カウンセラーの資格」を得たからと言って「よき援助者」になれる訳ではありません。「よき援助者」になるためには、コミュニケーションおよび対人援助の理論と技法を習熟し、それらを実践する必要があります。この科目では、テキストから、カウンセリングの特徴、カウンセリングの理論と方法について学び、スクーリングから、より具体的な援助の理論と方法、援助における倫理について学びます。</p> <p>ここで学んだ理論と技法を頭の中だけに留めておかず、自己理解、他者理解、コミュニケーションスキルの向上、ストレス対処スキルの向上に役立ててください。この科目の受講生が自らをエンパワメントする（自分で生きる力を身につける）ことが目標です。</p>
	テキストの概要	<p>このテキストでは、第一に臨床心理学の基礎を学ぶことができます。そして、第二に現役カウンセラーの体験を知ることができます。また、カウンセラーの機能・目的・特徴、カウンセリングの理論・方法、心理テストの種類・目的・意義について、網羅的に解説されています。カウンセリングの学びの第一歩として最適な入門書です。</p>
授業計画		<p>スクーリング（2単位）と WBT による学習（2単位）の計4単位の科目です。</p> <p><スクーリング>(野口)</p> <p>第01講 [イントロダクション]</p> <p>第02講 [様々なカウンセラー・心理職について]</p> <p>第03講 [カウンセリングにおける人間観]</p> <p>第04講 [対人コミュニケーションの特徴1]</p> <p>第05講 [心理アセスメントとは]</p> <p>第06講 [心理アセスメントの種類と特徴]</p> <p>第07講 [心理アセスメントについて：事例検討]</p> <p>第08講 [カウンセリングにおけるアセスメントの実際]</p> <p>第09講 [カウンセリングの理論と技法（1）受容と共感的理解]</p> <p>第10講 [カウンセリングの理論と技法（2）来談者中心カウンセリング]</p> <p>第11講 [カウンセリングの理論と技法（3）認知行動理論・リラクゼーション法]</p> <p>第12講 [カウンセリングの理論と技法（4）「グロリアと3人のセラピスト」]</p> <p>第13講 [カウンセリングの理論と技法（4）「グロリアと3人のセラピスト」]</p> <p>第14講 [単位認定試験]</p> <p><スクーリング>(高橋)</p> <p>第01講 [イントロダクション]</p> <p>第02講 [専門職としてのカウンセラー]</p> <p>第03講 [カウンセリングにおける人間観]</p> <p>第04講 [対人コミュニケーションの特徴]</p>

	<p>第05講 [心理アセスメントとは] 第06講 [各種アセスメント法] 第07講 [精神分析理論 (1) 人間観] 第08講 [自己理論 (来談者中心療法) (1) 人間観] 第09講 [自己理論 (来談者中心療法) (2) アセスメントと技法] 第10講 [認知・行動理論 (1) 人間観] 第11講 [認知・行動理論 (2) アセスメントと技法] 第12講 [援助対象と介入方法] 第13講 [カウンセリングの実際] 第14講 [単位認定試験] <メディア授業>(高橋) 第01講 [イントロダクション] 第02講 [様々なカウンセラーと臨床心理士] 第03講 [カウンセリングにおける人間観] 第04講 [対人コミュニケーションの特徴] 第05講 [心理アセスメントとは] 第06講 [各種発達検査と行動観察] 第07講 [質問紙によるアセスメントと投映法] 第08講 [カウンセリングにおけるアセスメントの実際] 第09講 [カウンセリングの理論と技法 (1) カウンセリングの基本的態度] 第10講 [カウンセリングの理論と技法 (2) 認知行動理論] 第11講 [カウンセリングの理論と技法 (3) リラクゼーション法] 第12講 [カウンセリングの理論と技法 (4) 事例検討] 第13講 [援助対象と介入方法] 第14講 [医療・教育現場におけるカウンセリングの実際] 第15講 [青年期に陥りやすい心理的問題とカウンセリングの実際] <自宅学習> 第I部 カウンセリングのプロセス 第一章 面接開始前の段階—さまざまな準備 第二章 インテーク面接 第三章 面接の初期段階—独特な援助関係の確立 第四章 面接中期の課題—自己探索 第五章 面接後期に於ける課題—具体的行動変容をめざす 第六章 カウンセリングの終結 第II部 第一章 カウンセリング界の動向 第二章 カウンセリング諸理論の共通点 第三章 統合の原理としてのシステム理論 第四章 カウンセリング技法の折衷の試み</p>
成績評価の方法	単位認定試験

2022 武蔵野大学 通信教育部 シラバス

実践的教育を行う 授業科目の種別	a：実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目		○
	担当教員の実務経験 (経歴・資格等)	(野口 普子先生 職歴) 医療法人社団総合会武蔵野中央病院 看護部 武蔵野大学心理臨床センター 相談員 財団法人精神医学研究所附属東京武蔵野病院 看護部	
	授業内容との関連性	病院にて臨床経験のある教員が、心理学の実践と関連させながら、心理学の基礎的分野を指導し、学習を日常生活に活かすことを目指す。	
	b：企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目		
	学外講師の経歴・資格等		
	授業内容		
	c：企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、研修を行う授業科目		
	実習先・実習の目的		
備考			

科目名	犯罪心理学（SR）	
担当教員	浅野 敬子・小島 秀吾・小西 聖子	
授業方法	講義	
科目の概要	到達目標	<p>この科目前半では、犯罪心理学（加害者）と題して加害者の心理についての臨床心理学的・精神医学的な理解方法について学ぶ。（担当：小島）。後半では、犯罪心理学（被害者）と題して犯罪の被害について、主として心理学的、精神医学的側面から学ぶ（担当：小西、浅野）。</p> <p>犯罪心理学（加害者）では、犯罪報道をどのように読み解くべきか、精神鑑定とはどのような手続きなのか、精神鑑定の結果、罪に問われなかった触法精神障害者はその後どのような処遇を受ける可能性があるのかなどの点について知識を得るとともに、各種精神障害と犯罪の関連性について事例をもとに理解する。さらに、触法精神障害者の人権を擁護しながら再犯を防止し、社会復帰を目指すために、現在どのような問題が生じてきているのかなどについて、考察する能力を獲得することを目的とする。</p> <p>犯罪心理学（被害者）では、犯罪心理学のうち、特に犯罪被害者にかかわる問題について、基本的な知識を得ることが目標である。法的、社会的、精神医学的側面も含め、犯罪被害者の現況を理解し、特に、心理学的な問題として犯罪被害のトラウマについて正しく知る。犯罪被害の事例を紹介し、遺族や性暴力被害者、家庭の中の暴力被害の問題について理解する。さらに被害者を支援するときに必要なことについてその基本となることを知ることを目的とする。</p>
	テキストの概要	<p>このテキストでは、前半を犯罪者の問題、後半を被害者の問題に当てている。伊藤の担当は前半（1章から6章）である。</p> <p>まず現代社会における犯罪報道のあり方を実際の事件報道をもとに考察し、犯罪心理に関する一般的な疑問点を整理する。次に犯罪心理の生物学的な側面と心理学的側面について解説し、実際の精神鑑定の手続きを紹介しながら、現代における犯罪心理の理解の方法について概観している。さらに触法精神障害者の処遇とそれを規定している法律について紹介し、各種精神障害と犯罪の関連性について解説している。このテキストでは、犯罪についての報道が毎日のように行われ、精神鑑定という言葉が耳にすることが珍しくない今日において、これらの報道を正しく理解するうえで必須な内容を盛り込んだつもりであるが、内容的には司法精神医学と呼ばれる学問領域に重点が置かれることになり、結果として臨床心理学、精神医学、法学などの多岐にわたる基礎的な知識を要求されることとなった。事前にこれらの領域についての基礎知識を得ていることが望ましい。</p> <p>小西・浅野の担当は後半部分である。後半6章は、犯罪被害者の問題をまず概観し、章を追って心理学的な領域へと歩みを進めるような構成にしてみた。教科書でも述べたように、犯罪心理学の記述の半分を被害者に充てるのは新しい試みだと思うが、その意図が学生に理解してもらえれば幸いである。後半は具体的な被害の後の心理や、ケアの問題について述べる。この問題については参考書がたくさんあるわけではないので、比較的わかりやすく、すなわち、これまで心理学を勉強したことのない人にもわかるように、また犯罪被害について興味のない方でもわかるように、と心がけたつもりである。それでも</p>

	<p>、多少、難しい専門用語が出て来ているし、議論も複雑になっているところもある。また紙面の関係から難しい概念の説明をごく簡単にせざるを得ないところもあった。このあたりは辞典類、参考図書で補ってほしい。</p> <p>平成 16 年 12 月に犯罪被害者等基本法（以下、基本法）が国会で成立し、平成 17 年から施行された。基本法に基づき、平成 17 年 12 月に犯罪被害者等基本計画（平成 17 年 12 月 27 日閣議決定。以下「第 1 次 基本計画」）、平成 23 年 3 月には第 2 次犯罪被害者等基本計画（平成 23 年 3 月 25 日閣議決定）がそれぞれ策定され、我が国の犯罪被害者等施策は大きく進展した。基本計画は犯罪被害者等基本法に基づく、政府が総合的かつ長期的に講ずべき犯罪被害者等のための施策の大綱などを定めている。</p> <p>https://www.npa.go.jp/hanzaihigai/kuwashiku/keikaku/keikaku.html</p> <p>これに基づき、犯罪被害者等給付金制度の拡充や被害者支援の充実などの施策が行われている。また刑事訴訟法の改定によって、裁判への被害者参加制度が実現した。裁判員制度と合わせて、裁判制度における大きな変化といえるだろう。第 2 次犯罪被害者等基本計画では、性暴力被害者を対象としたワンストップセンターの概念が登場し、実際に全国でセンターが稼働している。</p> <p>警察庁 性犯罪・性暴力被害者のためのワンストップ支援センター</p> <p>https://www.npa.go.jp/higaisya/renkei/onestop.html</p> <p>現在は、平成 28 年 4 月から令和 2 年度末を計画期間とする「第 2 次犯罪被害者等基本計画（平成 28 年 4 月 1 日閣議決定）」に基づき施策が行われている。</p> <p>基本法の内容については警察庁犯罪被害者等施策のホームページを参照のこと。警察庁 犯罪被害者等施策のホームページ</p> <p>https://www.npa.go.jp/hanzaihigai/index.html</p> <p>被害者支援の中で心理的な支援は被害者からのニーズもいつも高いが、その実践は決して簡単でないという実情は変わっていない。</p> <p>また教科書の内容についても、毎年変化している部分がある。被害を受けた人の心理は、昔から変わらないものだろうが、それをとりまく制度は急速に変わっているので注意が必要である。スクーリングではこのような点についても重点的に述べる予定である。</p>
<p>授業計画</p>	<p>スクーリング（2 単位）とWBTによる学習（2 単位）の計 4 単位の科目です。</p> <p><スクーリング></p> <p>第 01 講 [刑事精神鑑定の実際]</p> <p>第 02 講 [精神障害の人権と犯罪]</p> <p>第 03 講 [触法精神障害者の人権と精神保健福祉法]</p> <p>第 04 講 [精神障害と非行]</p> <p>第 05 講 [各種精神障害と犯罪（1）]</p> <p>第 06 講 [各種精神障害と犯罪（2）]</p> <p>第 07 講 [単位認定試験（前半）とその解説]</p> <p>第 08 講 [犯罪被害者の心理的苦痛とメンタルヘルス]</p> <p>第 09 講 [トラウマと PTSD]</p> <p>第 10 講 [性暴力被害者の心理、支援・ケア]</p>

	第11講 [ドメスティックバイオレンス被害者の心理、支援・ケア] 第12講 [犯罪被害者遺族の心理、支援・ケア] 第13講 [子どもの犯罪被害、児童虐待の心理、支援・ケア] 第14講 [単位認定試験（後半）と総括] <自宅学習> 第1章 現代社会と犯罪心理学 第2章 犯罪生物学と精神鑑定 第3章 精神鑑定とは何か 第7章 犯罪心理学における被害者の問題 第8章 被害者のトラウマ 第9章 被害者と PTSD	
成績評価の方法	単位認定試験	
実践的教育を行う 授業科目の種別	a：実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目	
	担当教員の 実務経験 (経歴・資格等)	
	授業内容との 関連性	
	b：企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目	
	学外講師の 経歴・資格等	
	授業内容	
	c：企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、 研修を行う授業科目	
	実習先・実習の 目的	
備考		

科目名	犯罪心理学 (R)
担当教員	浅野 敬子・小島 秀吾・小西 聖子
授業方法	講義
科目の概要	<p>この科目前半では、犯罪心理学（加害者）と題して加害者の心理についての臨床心理学的・精神医学的な理解方法について学ぶ。（担当：小島）。後半では、犯罪心理学（被害者）と題して犯罪の被害について、主として心理学的、精神医学的側面から学ぶ（担当：小西・浅野）。</p> <p>犯罪心理学（加害者）では、犯罪報道をどのように読み解くべきか、精神鑑定とはどのような手続きなのか、精神鑑定の結果、罪に問われなかった触法精神障害者はその後どのような処遇を受ける可能性があるのかなどの点について知識を得るとともに、各種精神障害と犯罪の関連性について事例をもとに理解する。さらに、触法精神障害者の人権を擁護しながら再犯を防止し、社会復帰を目指すために、現在どのような問題が生じてきているのかなどについて、考察する能力を獲得することを目的とする。</p> <p>犯罪心理学（被害者）では、犯罪心理学のうち、特に犯罪被害者にかかわる問題について、基本的な知識を得ることが目標である。法的、社会的、精神医学的側面も含め、犯罪被害者の現況を理解し、特に、心理学的な問題として犯罪被害のトラウマについて正しく知る。犯罪被害の事例を紹介し、遺族や性暴力被害者、家庭の中の暴力被害の問題について理解する。さらに被害者を支援するときに必要なことについてその基本となることを知ることを目的とする。</p>
	<p>このテキストでは、前半を犯罪者の問題、後半を被害者の問題に当てている。小島の担当は前半（1章から6章）である。</p> <p>まず現代社会における犯罪報道のあり方を実際の事件報道をもとに考察し、犯罪心理に関する一般的な疑問点を整理する。次に犯罪心理の生物学的側面と心理学的側面について解説し、実際の精神鑑定の手続きを紹介しながら、現代における犯罪心理の理解の方法について概観している。さらに触法精神障害者の処遇とそれを規定している法律について紹介し、各種精神障害と犯罪の関連性について解説している。このテキストでは、犯罪についての報道が毎日のように行われ、精神鑑定という言葉を目にするのが珍しくない今日において、これらの報道を正しく理解するうえで必須な内容を盛り込んだつもりであるが、内容的には司法精神医学と呼ばれる学問領域に重点が置かれることになり、結果として臨床心理学、精神医学、法学などの多岐にわたる基礎的な知識を要求されることとなった。事前にこれらの領域についての基礎知識を得ていることが望ましい。</p> <p>小西・浅野の担当は後半部分である。後半6章は、犯罪被害者の問題をまず概観し、章を追って心理学的な領域へと歩みを進めるような構成にしてみた。教科書でも述べたように、犯罪心理学の記述の半分を被害者に充てるのは新しい試みだと思うが、その意図が学生に理解してもらえれば幸いである。後半は具体的な被害の後の心理や、ケアの問題について述べる。この問題については参考書がたくさんあるわけではないので、比較的わかりやすく、すなわち、これまで心理学を勉強したことのない人にもわかるように、また犯罪被害について興味のない方でもわかるように、と心がけたつもりである。それでも</p>

		<p>、多少、難しい専門用語が出て来ているし、議論も複雑になっているところもある。また紙面の関係から難しい概念の説明をごく簡単にせざるを得ないところもあった。このあたりは辞典類、参考図書で補ってほしい。</p> <p>平成 16 年 12 月に犯罪被害者等基本法（以下、基本法）が国会で成立し、平成 17 年から施行された。基本法に基づき、平成 17 年 12 月に犯罪被害者等基本計画（平成 17 年 12 月 27 日閣議決定。以下「第 1 次 基本計画」）、平成 23 年 3 月には第 2 次犯罪被害者等基本計画（平成 23 年 3 月 25 日閣議決定）がそれぞれ策定され、我が国の犯罪被害者等施策は大きく進展した。基本計画は犯罪被害者等基本法に基づく、政府が総合的かつ長期的に講ずべき犯罪被害者等のための施策の大綱などを定めている。</p> <p>https://www.npa.go.jp/hanzaihigai/kuwashiku/keikaku/keikaku.html</p> <p>これに基づき、犯罪被害者等給付金制度の拡充や被害者支援の充実などの施策が行われている。また刑事訴訟法の改定によって、裁判への被害者参加制度が実現した。裁判員制度と合わせて、裁判制度における大きな変化といえるだろう。第 2 次犯罪被害者等基本計画では、性暴力被害者を対象としたワンストップセンターの概念が登場し、実際に全国でセンターが稼働している。</p> <p>警察庁 性犯罪・性暴力被害者のためのワンストップ支援センター</p> <p>https://www.npa.go.jp/higaisya/renkei/onestop.html</p> <p>現在は、平成 28 年 4 月から令和 2 年度末を計画期間とする「第 2 次犯罪被害者等基本計画（平成 28 年 4 月 1 日閣議決定）」に基づき施策が行われている。</p> <p>基本法の内容については警察庁犯罪被害者等施策のホームページを参照のこと。警察庁 犯罪被害者等施策のホームページ</p> <p>https://www.npa.go.jp/hanzaihigai/index.html</p> <p>被害者支援の中で心理的な支援は被害者からのニーズもいつも高いが、その実践は決して簡単でないという実情は変わっていない。</p> <p>また教科書の内容についても、毎年変化している部分がある。被害を受けた人の心理は、昔から変わらないものだろうが、それをとりまく制度は急速に変わっているので注意が必要である。スクーリングではこのような点についても重点的に述べる予定である。</p>
<p>授業計画</p>		<p>WBT で出題される所定の回数のレポートを提出・合格の後、WBT 上で行われる単位認定試験に合格することで 4 単位を認定します。</p> <p><自宅学習></p> <p>第 1 章 現代社会と犯罪心理学</p> <p>第 2 章 犯罪生物学と精神鑑定</p> <p>第 3 章 精神鑑定とは何か</p> <p>第 4 章 刑事精神鑑定の実際</p> <p>第 5 章 精神障害と犯罪－精神保健福祉法と精神障害者の人権－</p> <p>第 6 章 各種精神障害と犯罪</p> <p>第 7 章 犯罪心理学における被害者の問題</p> <p>第 8 章 被害者のトラウマ</p> <p>第 9 章 被害者と PTSD</p>

2022 武蔵野大学 通信教育部 シラバス

成績評価の方法	単位認定試験	
実践的教育を行う 授業科目の種別	a：実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目	
	担当教員の実務経験 (経歴・資格等)	
	授業内容との関連性	
	b：企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目	
	学外講師の経歴・資格等	
	授業内容	
	c：企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、 研修を行う授業科目	
	実習先・実習の目的	
備考		

科目名		心理療法	
担当教員		矢澤 美香子	
授業方法		講義	
科目の概要	到達目標	心理療法は、こころの専門家として欠くことができない心理的支援の方法です。本科目では、「心理療法概論」とも言うべきもので、心理療法の歴史的な背景や基本的な知識や概念を学ぶとともに、心理的支援を行う上で必要である倫理や心構えの重要性を理解することを目指します。この科目を受講すれば心理療法家となることができるというものではなく、この科目はあくまで心理療法の基礎的知識の整理をすることが目標となります。	
	テキストの概要	このテキストは、心理療法やカウンセリングに関心を持つ人やそれらを学び始めている人、心の専門家を目指している学生、心理臨床の仕事を始めばかりの心理士などを主な対象として書かれた書籍であり、初学者が最低限押さえておかなければならない事項が簡潔に整理されている入門書です。 本書は2部構成となっています。第1部は、「心理療法の意義と学び」として、心理療法の定義、意義、資格、専門性、職業倫理、学びの方法などについて概説されています。第2部では、各章において各心理療法の歴史、理論と技法、効用と限界、学び方について解説されています。第2部は、興味のある心理療法の章からページを開き、読み進めるのもよいでしょう。	
授業計画		WBTで出題される所定の回数のエクササイズに合格の後、WBT上で行われる単位認定試験に合格することで4単位を認定します。 〈自宅学習〉 第1章 心理療法の意義と学び 第2章 心理療法の理論と技法① 第3章 心理療法の理論と技法② 第4章 心理療法の理論と技法③ 第5章 心理療法の理論と技法④ 第6章 心理療法の理論と技法⑤	
成績評価の方法		単位認定試験	
実践的教育を行う授業科目の種別		a：実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目	○
		担当教員の実務経験 (経歴・資格等)	(矢澤 美香子先生 職歴) 都内心療内科・精神科クリニック 心理カウンセラー，千葉県中学校スクールカウンセラー， 企業・EAP 機関 カウンセラー (矢澤 美香子先生 資格) 公認心理師，臨床心理士，産業カウンセラー
		授業内容との関連性	医療・教育・産業領域でのカウンセリング業務に従事した教員が心理療法ならびに心理学的援助についての講義を担当する。

2022 武蔵野大学 通信教育部 シラバス

	b: 企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目	
	学外講師の経歴・資格等	
	授業内容	
	c: 企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、研修を行う授業科目	
	実習先・実習の目的	
備考		

科目名		心理診断法
担当教員		大山 みち子
授業方法		講義
科目の概要	到達目標	この科目では、臨床場面で用いられる心理テストの基礎的な知識と心構えを身につけることを目的とします。
	テキストの概要	<p>このテキストは、コンパクトでありながら、一般的に用いられている心理検査をある程度網羅しているのが特徴です。一通り目を通すことで、各々の検査が、いつだれが考案し、何を目的としたものであるのかなど、イメージをおおづかみに得ることができるでしょう。</p> <p>実施方法や結果の読み方も記されていますが、実際に施行できるようになるためには、個々の心理検査の現物を手元に置きながら、それとともに入手できるオリジナルの施行法をよく読みこなし、練習することが必要です。</p> <p>今後、他の論文や書籍を読んで、そこで述べられている検査がどのようなものかわからないときなどには、本書を参照することで、おおむねどのような目的で行った検査であるのか、理解できるようになるでしょう。なお、心理検査は多くのバリエーションがあり、当然ながら、本書に載っていないものもあります。たとえばTATは、テキストにあるものよりも、私の周辺ではマレー（ハーバード）版のほうがポピュラーです。このテキストの範囲は、心理診断法の豊かな世界への、あくまで第一歩であると考えてください。反対に、1年に通信の範囲で全てを覚えるのは困難であることから、スタディガイドでは解説を省いたものもあります。皆さんの活動の場によって、よく目にする検査は異なるでしょうから、各自でその先を進めていってください。</p>
授業計画		<p>WBTで出題される所定の回数のレポートを提出・合格の後、WBT上で行われる単位認定試験に合格することで4単位を認定します。</p> <p><自宅学習></p> <p>第1章 心理検査とそのなりたち</p> <p>第2章 心理検査利用上の問題</p> <p>第3章 知能検査その1</p> <p>第4章 知能検査その2</p> <p>第5章 YG性格検査</p> <p>第6章 MMP IおよびCMI</p> <p>第7章 内田クレペリン精神検査</p> <p>第8章 ベンダー・ゲシュタルト検査（BGT）</p> <p>第9章 ロールシャッハ検査</p> <p>第10章 TAT</p> <p>第11章 日本版P-Fスタディ</p> <p>第12章 精研式文章完成法検査（SCT）およびバウム検査</p>

成績評価の方法	単位認定試験	
実践的教育を行う 授業科目の種別	a：実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目	
	○	
	担当教員の実務経験 (経歴・資格等)	(大山 みち子先生 職歴) 山王教育研究所・神奈川県精神衛生センター・柴田クリニック・東京警察病院、広尾心理臨床相談室などで、心理士として心理検査を扱い、心理療法のための情報として使用。 市原刑務所・東京少年鑑別所・甲府少年鑑別所などで法務技官として心理検査を実施。検査結果と所見を、面接所見と合わせ、矯正処遇に使用。少年審判のための鑑別結果通知書を家庭裁判所に提出。このほか、東京医科歯科大学難治疾患研究所にて精神鑑定の心理検査を分担。警察学校の講義において、事例検討で使用。 (大山 みち子先生 資格) 資
	授業内容との関連性	心理検査の内容と実施、開発について、教育・医療・司法などの現場の経験に基づいて提示できる。多職種連携について提示できる。
	b：企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目	
	学外講師の経歴・資格等	
	授業内容	
	c：企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、研修を行う授業科目	
実習先・実習の目的		
備考		

科目名		カウンセリング演習
担当教員		野口 普子・松野 航大
授業方法		講義
科目の概要	到達目標	<p>カウンセリングとは心理学に基づいて行われる援助活動です。この科目では心理学をベースとしたカウンセリングの理論や知識、技法を学ぶことを目的とします。カウンセリングの理論については「カウンセリング論」で詳しく解説をしておりますので、この「カウンセリング演習」では、カウンセリングの技法を中心に学ぶことを目的とします。また、この科目では個々の技法を身に付けるというよりは、受講者が自分自身の「人間関係の築き方」および「コミュニケーションの取り方」に気づくこと、さらに、カウンセリングを客観的かつ主体的に考察することを目標とします。</p>
	テキストの概要	なし
授業計画		<p>スクーリング（1単位）とWBTによる学習（3単位）の計4単位の科目です。 <自宅学習> 第1章 アイスブレイク 第2章 カウンセリングとは 第3章 自己理解 第4章 コミュニケーションと傾聴 第5章 インテーク 第6章 芸術療法（アートセラピー） <スクーリング> 第01講：オリエンテーション・教員自己紹介・第1章 アイスブレイク 第02講：第2章 カウンセリングとは 第03講：第3章 自己理解 第04講：第4章 コミュニケーションと傾聴① 第05講：第4章 コミュニケーションと傾聴② 第06講：第4章 コミュニケーションと傾聴③ 第07講：第4章 コミュニケーションと傾聴④ 第08講：レポート課題の振り返り・ミニアイスブレイクなど 第09講：第5章 インテーク① 第10講：第5章 インテーク② 第11講：第5章 インテーク③ 第12講：第5章 ジェノグラム 第13講：第6章 アートセラピー 第14講：単位認定試験</p>
成績評価の方法		単位認定試験

実践的教育を行う 授業科目の種別	a：実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目		○
	担当教員の実務経験 (経歴・資格等)	(野口 普子先生 職歴) 医療法人社団総合会武蔵野中央病院 看護部 武蔵野大学心理臨床センター 相談員 財団法人精神医学研究所附属東京武蔵野病院 看護部 (松野 航大先生 職歴) 長谷川メンタルヘルス研究所 スキ ルアップグループ/家族スキルアップグループ スタッフ、研 修講師 所沢市教育委員会 健やか輝き支援室 健やか相談員 松野カウンセリングルーム 代表、カウンセラー	
	授業内容との関連性	専門機関でカウンセリング経験のある教員が、心理学の実践と 連関させながら、心理学の基礎的分野を指導し、学習を日常生 活に活かすことを目指す。	
	b：企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目		
	学外講師の経歴・資格等		
	授業内容		
	c：企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、 研修を行う授業科目		
	実習先・実習の目的		
備考			

科目名		行動療法（S T）
担当教員		松野 航大
授業方法		講義
科目の概要	到達目標	この科目では、心理療法の各論（考え方の違いなどに基づき分類した場合の各理論）の1つである行動療法について、心理療法の中での位置づけ、背景にある行動理論（学習理論）、および、問題になりやすい症例（事例）に対する技法（方法）、それぞれにおける基本を理解することを目的とします。また、認知療法、認知行動療法、マインドフルネスなどについてもそれらの基本を学びます。
	テキストの概要	このテキストは、行動療法の入門書として作成されたものです。3つの章に分かれており、第1章「行動療法の位置づけ」では、行動療法の背景、第2章「行動療法のすすめ方」では、行動療法の理論、第3章「行動療法の技法と適用例」では、行動療法の実践、が主なテーマになっています。
授業計画		<p>スクーリング（2単位）とWBTによる学習（2単位）の計4単位の科目です。</p> <p><スクーリング></p> <p>第01講 [オリエンテーション]</p> <p>第02講 [行動療法・認知療法・認知行動療法]</p> <p>第03講 [古典的条件づけと行動療法]</p> <p>第04講 [オペラント条件づけの基礎]</p> <p>第05講 [オペラント条件づけと行動療法（弱化子による制御の問題点①）]</p> <p>第06講 [オペラント条件づけと行動療法（弱化子による制御の問題点②）]</p> <p>第07講 [行動形成の基礎]</p> <p>第08講 [行動変容のポイント]</p> <p>第09講 [不安症と強迫症に対する行動療法]</p> <p>第10講 [うつ病に対する行動療法]</p> <p>第11講 [教育現場における行動療法]</p> <p>第12講 [認知療法]</p> <p>第13講 [新世代の認知行動療法（マインドフルネスなど）]</p> <p>第14講 単位認定試験</p> <p><自宅学習></p> <p>第1章 行動療法の位置づけ</p> <p>第2章 行動療法のすすめ方</p> <p>第3章 行動療法の技法と適用例</p>
成績評価の方法		単位認定試験
		a：実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目 ○

2022 武蔵野大学 通信教育部 シラバス

実践的教育を行う 授業科目の種別	担当教員の実務経験 (経歴・資格等)	(松野 航大先生 職歴) 長谷川メンタルヘルス研究所 スキルアップグループ/家族スキルアップグループ スタッフ、研修講師 所沢市教育委員会 健やか輝き支援室 健やか相談員 松野カウンセリングルーム 代表、カウンセラー	
	授業内容との関連性	専門機関でカウンセリング経験のある教員が、心理学の実践と関連させながら、心理学の基礎的分野を指導し、学習を日常生活に活かすことを目指す。	
	b: 企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目		
	学外講師の経歴・資格等		
	授業内容		
	c: 企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、研修を行う授業科目		
	実習先・実習の目的		
備考			

科目名		行動療法 (T)	
担当教員		松野 航大	
授業方法		講義	
科目の概要	到達目標	この科目では、心理療法の各論（考え方の違いなどに基づき分類した場合の各理論）の1つである行動療法について、心理療法の中での位置づけ、背景にある行動理論（学習理論）、および、問題になりやすい症例（事例）に対する技法（方法）、それぞれにおける基本を理解することを目的とします。	
	テキストの概要	このテキストは、行動療法の入門書として作成されたものです。3つの章に分かれており、第1章「行動療法の位置づけ」では、行動療法の背景、第2章「行動療法のすすめ方」では、行動療法の理論、第3章「行動療法の技法と適用例」では、行動療法の実践、が主なテーマになっています。	
授業計画		WB Tで出題される所定の回数のエクササイズに合格の後、WB T上で行われる単位認定試験に合格することで4単位を認定します。 〈自宅学習〉 第1章 行動療法の位置づけ 第2章 行動療法のすすめ方 第3章 行動療法の技法と適用例	
成績評価の方法		単位認定試験	
実践的教育を行う授業科目の種別	a：実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目		○
	担当教員の实務経験（経歴・資格等）	（松野 航大先生 職歴）長谷川メンタルヘルス研究所 スキルアップグループ／家族スキルアップグループ スタッフ、研修講師 所沢市教育委員会 健やか輝き支援室 健やか相談員 松野カウンセリングルーム 代表、カウンセラー	
	授業内容との関連性	専門機関でカウンセリング経験のある教員が、心理学の実践と関連させながら、心理学の基礎的分野を指導し、学習を日常生活に活かすことを目指す。	
	b：企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目		
	学外講師の経歴・資格等		
	授業内容		
	c：企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、研修を行う授業科目		
実習先・実習の目的			

備考

科目名	グリーフケア・トラウマケア	
担当教員	浅野 敬子・小西 聖子	
授業方法	講義	
科目の概要	到達目標	<p>人は人生においてどのような喪失に出会い、どのようにそれを体験していくのでしょうか。また、トラウマとなるような出来事に出会ったとき、人はどのようになるのでしょうか。</p> <p>喪失体験に対するグリーフについて、これまで行われてきた研究を概観したり様々な資料や文献から学んだりして、その知識をもとに遺族のケアを考えていきます。</p> <p>また、トラウマについては PTSD（心的外傷後ストレス障害：Posttraumatic stress disorder）を中心に知識を得て、そのケアについて考えます。</p> <p>まずはご自分の興味ある領域において、グリーフとトラウマに関するどのようなトピックスがあるか、考えてみてください。自分の考えをまとめる際に、書物を読み、関連の情報を集め、その知識をもとにしてまとめてみるという作業ができるようになること、さらに、グリーフやトラウマ、それらケアについて、実証的な研究がどのように行われ、そこからどのような知見が得られているか、学術的な内容を理解することも、この科目の到達目標です。</p>
	テキストの概要	<p>このテキストの 1～6 章までは「愛着対象」（テキスト p. 14）との死別を経験した人達に特有の心理や精神症状について知識を得ます。つぎに適切な支援や治療を行うにはどのような態度、技法が求められるかについての知見を含め解説しています。</p> <p>7～13 章までは、まず「トラウマ」や「PTSD」に関する知識や研究の歴史を概観します。次に PTSD や ASD（急性ストレス障害：Acute stress disorder）などの具体的症状などについて説明し、さらにトラウマのケアや PTSD の治療について理解を得るようにします。</p>
授業計画	<p>WB Tで出題される所定のエクササイズに合格の後、同じくWB Tで出題される所定の回数レポートを提出・合格の後、WB T上で行われる単位認定試験に合格することで2単位を認定します。</p> <p><自宅学習></p> <p>第1章「遺された人は何を体験するか—悲嘆とは—」</p> <p>第2章「何が悲しみを深くするのか—悲嘆の回復に影響を及ぼす要因—」</p> <p>第3章「悲しみが長引く遺族—悲嘆の複雑化とは—」</p> <p>第4章「暴力的な死別—犯罪・事故・自殺による死別—」</p> <p>第5章「子どもの悲嘆」</p> <p>第6章「遺族へのサポートをすすめるためには—グリーフケアの実践—」</p> <p>第7章「トラウマとは何か」</p> <p>第8章「トラウマ反応から PTSD へ」</p> <p>第9章「トラウマへの反応」</p> <p>第10章「トラウマ反応と解離」</p> <p>第11章「子どものトラウマ」</p> <p>第12章「トラウマのケア」</p>	

	第13章「PTSDの治療」	
成績評価の方法	単位認定試験	
実践的教育を行う 授業科目の種別	a：実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目	
	担当教員の実務経験 (経歴・資格等)	
	授業内容との関連性	
	b：企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目	
	学外講師の経歴・資格等	
	授業内容	
	c：企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、 研修を行う授業科目	
	実習先・実習の目的	
備考		

科目名		死生学
担当教員		前田 壽雄
授業方法		講義
科目の概要	到達目標	本科目は、「死生学」という学問についての基本的な理解を深め、今後「死生学」を自ら構築していくための基礎的な力を養うこと、また、心理学／仏教学／看護学特有の視座や思考方法を修得することを目的とする。
	テキストの概要	本テキストは放送大学で用いられている教科書であり、各章のはじめに＜目標&ポイント＞および＜キーワード＞が記され、各章末には＜学習のヒント＞が挙げられているなど、学習しやすいつくりとなっている。まずは、テキストの各章冒頭にある＜目標&ポイント＞を通読して当該章全体の内容を大まかに把握し、＜キーワード＞を念頭に本文を精読することをおすすめする。キーワードや自身が関心をもったテーマについては、テキスト章末に挙げられている参考文献などを参照して、積極的に理解を深めていくことを期待する。
授業計画		<p>WB Tで出題される所定の回数のエクササイズに合格の後、WB T上で行われる単位認定試験に合格することで4単位を認定します。</p> <p>＜自宅学習＞</p> <p>石丸昌彦・山崎浩司編『死生学のフィールド』（放送大学教育振興会、2018）：新テキスト</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 死生学のフィールド 2 死生・宗教・スピリチュアリティ 3 日本人の死生観 4 マスメディアで死生について考える 5 選択される命 6 流産・死産をめぐる胎児観 7 老いと病と死 ―フレイルの知見を臨床に活かす 8 いのちの臨床倫理 ―高齢者における人工的水分・栄養補給法の問題を題材に 9 エンドオブライフ・ケア ―尊厳ある最期とは 10 喪失と悲嘆 11 グリーフケア 12 デス・エデュケーション 13 自死遺族・遺児支援 14 戦争と死、喪失 15 死生学とコミュニティ <p>石丸昌彦編『死生学入門』（放送大学教育振興会、2014）：旧テキスト</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 死生学とは何か 2 死生観と宗教 3 日本人の死生観 4 喪と追悼：逝きし人＜死者＞と生者のつながり

2022 武蔵野大学 通信教育部 シラバス

	5 死生観：国と地域の視点から 6 マスメディアで死生について考える 7 「生と死」を生きる本人からの発信 8 老いと死 9 病い経験と「生」 10 遺族の喪失体験とグリーフワーク 11 自己決定権 12 ターミナルケア 13 自殺予防 14 尊厳死 15 死生学の理論と展望	
成績評価の方法	単位認定試験	
実践的教育を行う 授業科目の種別	a：実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目	
	担当教員の实務経験 (経歴・資格等)	(前田 壽雄先生 職歴) 築地本願寺新報編集委員 浄土真宗本願寺派総合研究所上級研究員
	授業内容との関連性	浄土真宗本願寺派の研究所にて活動していた教員が、仏教学の 専門知識を中心として、解説する。
	b：企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目	
	学外講師の経歴・資格等	
	授業内容	
	c：企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、 研修を行う授業科目	
実習先・実習の目的		
備考		

科目名		老年学
担当教員		小口 恵巳子
授業方法		講義
科目の概要	到達目標	この科目では、高齢化をキーワードにして、長寿化、あるいは人口の高齢化は人間の生活にどのような影響を及ぼすのか、高齢社会の提起する課題とその解決法などに関して学際的な立場から検討する。そして、すべての世代が共生できるような社会の実現を考えることを目的とする。
	テキストの概要	このテキストでは、大きく3つの視点から高齢化の課題に取り組む。 ①高齢化する社会をマクロに捉える視点—人口の高齢化とは、高齢化する社会とはどのような特徴をもつ社会であるかを理解する ②長くなった個人の人生をとらえるミクロな視点—だれもが経験する加齢の過程と心身に起こる変化、老人に対する偏見をはなれて高齢者の実像を正しく理解する ③高齢化する社会と長寿化する個人の人生をつなぐ視点—高齢化する社会において、誰もができるだけ充実した人生を送るためにどのような仕組みが必要か、今の生活に足りないものは何か、それをそうすれば充足できるか、伝統や文化を新しい社会にどのように位置づけるかなどの課題を考察する
授業計画		<p>WB Tで出題される所定の回数のエクササイズに合格の後、同じくWB Tで出題される所定の回数のレポートを提出・合格の後、WB T上で行われる単位認定試験に合格することで4単位を認定します。</p> <p><自宅学習></p> <p>第1章 高齢社会はどのような社会なのだろうか —高齢社会を構成する世代の特徴からみる</p> <p>第2章 人口構造の変化</p> <p>第3章 人口高齢化はなぜ起こるのか</p> <p>第4章 高齢社会のしくみ</p> <p>第5章 長寿化した人生 基本的概念の検討</p> <p>第6章 高齢者とはどういう人なのか</p> <p>第7章 高齢者の実像</p> <p>第8章 高齢者と家族・地域</p> <p>第9章 高齢者としごと— 男女の経験の違いに着目しながら</p> <p>第10章 世代をつなぐ — 新しいケアのかたち 高齢者と子ども統合ケア</p> <p>第11章 高齢社会の住まい — NORC という住まい方を事例に考える</p> <p>第12章 高齢社会における家族の新しい役割 — 家族介護者への電話相談を通して考える—</p> <p>第13章 高齢社会の世代間関係を考える—若者と高齢者 年金制度をめぐって</p>
成績評価の方法		単位認定試験

2022 武蔵野大学 通信教育部 シラバス

実践的教育を行う 授業科目の種別	a：実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目		
	担当教員の実務経験 (経歴・資格等)		
	授業内容との関連性		
	b：企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目		
	学外講師の経歴・資格等		
	授業内容		
	c：企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、 研修を行う授業科目		
	実習先・実習の目的		
備考			

科目名	生命倫理
担当教員	爪田 一寿
授業方法	講義
科目の概要	<p>到達目標</p> <p>生命倫理は生命に関する矛盾した状態の発生に対応する倫理です。母体と胎児の権利の衝突、医療と患者の意思との矛盾、医療者の技術的過誤、患者の権利、病名を知る権利と保護する権利等の問題、さらに、生殖技術、人工妊娠中絶、「脳死」、臓器移植、安楽死、尊厳死等の問題があります。</p> <p>本科目では、テキストの学びを通して、上記の問題群に関する基本的な知識を習得するとともに、自分はどうか考えるかということを中心に問い続けていくことが求められています。私たちの誰もが当事者になる可能性のある問題ですから、学ぶ人それぞれが主体的にこれらの問題について考えておくことが必要です。そして、たとえ不完全で、他人と考えが相違し、批判されたとしても、自分なりの答えを見つけ出して欲しいと思います。</p>
	<p>テキストの概要</p> <p>本書は生命倫理学の初学者向けに編まれた入門書で、通読することで「生命倫理学とはどのような学問なのか？」ということが少しずつ見えてくるような構成になっています。目次を参照されると分かるように、本書は生命倫理学の歴史を概観したうえで、生・老・病・死という各場面に於ける「いのち」を巡る具体的な問題を取り上げ、「答えの出ないことを考えて続ける」ことを私たちに求めます。</p>
授業計画	<p>WB Tで出題される3回のエクササイズ及び単位認定試験に合格することによって4単位を認定します。</p> <p><自宅学習></p> <p>序章 答えの出ないことを考え続けるために</p> <p>第1章 生命倫理はどこから来て、どこへ向かうのか？</p> <p>第2章 身体から切り離された精子・卵子・受精卵</p> <p>第3章 選ぶ技術・選ぶ人</p> <p>第4章 「夢の技術」を立ち止まって考える</p> <p>第5章 知りたいのはどんな情報ですか？</p> <p>第6章 患者主体の医療</p> <p>第7章 「老いて介護されること」とは</p> <p>第8章 最期まで生きるために</p> <p>第9章 「自分らしく、人間らしく」死にたい？</p> <p>第10章 人の死をめぐるジレンマ</p> <p>第11章 医は仁術？算術？</p> <p>第12章 強く・美しく・賢く・健康に？</p> <p>第13章 人間はどこまで機械なのか</p> <p>第14章 軍事医学研究はどこまで特殊か</p>
成績評価の方法	単位認定試験

2022 武蔵野大学 通信教育部 シラバス

実践的教育を行う 授業科目の種別	a：実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目		
	担当教員の実務経験 (経歴・資格等)		
	授業内容との関連性		
	b：企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目		
	学外講師の経歴・資格等		
	授業内容		
	c：企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、 研修を行う授業科目		
	実習先・実習の目的		
備考			

科目名		医療心理学	
担当教員		野口 普子	
授業方法		講義	
科目の概要	到達目標	医療心理学とは、医療の現場における臨床心理学の理論に基づく実践の知といえます。したがって、これまで臨床心理学の領域で蓄積されてきた知見を医療の領域での応用とその展開が期待されます。臨床心理学の実践は、専門家のみが患者に提供する高度なケアというイメージがあるかもしれませんが、実際には日常臨床で手軽に実践できるものも少なくありません。日々の臨床現場で役に立つ基礎知識や対処法などを学びましょう。	
	テキストの概要	このテキストでは、うつ、不安という、メンタルヘルスの問題で扱うことの多い感情について認知行動モデル（CBTモデル）から紐解きます。また、実際に医療の現場で扱うことの多い身体疾患やがん、犯罪被害や災害などによる心身の影響やその対応などを例に、医療者に知ってほしい臨床心理学的知識について説明していきます。	
授業計画		WB Tで出題される所定のエクササイズに合格の後、同じくWB Tで出題される所定の回数レポートを提出・合格の後、WB T上で行われる単位認定試験に合格することで4単位を認定します。 〈自宅学習〉 第1部 医療の現場で出会うこころの諸問題 第2部 医療現場の特性から考える	
成績評価の方法		単位認定試験	
実践的教育を行う授業科目の種別	a：実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目		○
	担当教員の実務経験 (経歴・資格等)	(野口 普子先生 職歴) 医療法人社団総合会武蔵野中央病院 看護部 武蔵野大学心理臨床センター 相談員 財団法人精神医学研究所附属東京武蔵野病院 看護部	
	授業内容との関連性	病院にて臨床経験のある教員が、心理学の実践と関連させながら、心理学の基礎的分野を指導し、学習を日常生活に活かすことを目指す。	
	b：企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目		
	学外講師の経歴・資格等		
	授業内容		
	c：企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、研修を行う授業科目		
	実習先・実習の目的		

備考

科目名		脳とからだの心理学	
担当教員		阿部 央	
授業方法		講義	
科目の概要	到達目標	<p>本科目では、人の心が複雑な構造や機能をもつ脳の働きによることを学びます。人の高次な脳機能のメカニズムを把握し、感覚、知覚、記憶、情動等に関わる生理および心理についての理解を深めます。具体的には、これまでに学んだ基礎知識をもとに、実生活との関連性や今後の展開を考察する課題への取り組みを通して、自ら問題を提起し、それに対する仮説が構築出来るようになることを目標とします。そして、より深い人間理解のために、これらの知見を他の学問においても活用できることを最終目標とします。なお、本科目は「生理心理学」の内容を含みます。</p>	
	テキストの概要	<p>このテキストは、生理心理学の領域を包括的にカバーした教科書であり、脳の構造や計測方法から精神疾患に関するトピックまで幅広く解説されているものです。部位や機構が図示されるなど、初学者でも学びやすい構成になっていますが、よく理解できていない用語などが出てきた場合には、テキスト内で紹介されている参考文献を確認しながら理解を深めてください。</p>	
授業計画		<p>スタディガイド内にて出題されている所定の回数のレポートを提出・合格の後、単位認定申請レポートを提出することで2単位を認定します。</p> <p><自宅学習></p> <p>第0章 生理心理学への招待 第1章 脳の構造 第2章 脳の信号 第3章 脳と知覚 第4章 脳と記憶 第5章 学習 第6章 情動 第7章 動機づけ 第8章 心の病気と脳 第9章 側性化：大脳半球の機能的非対称性 第10章 睡眠 第11章 意識 第12章 臨床心理学と脳科学</p>	
成績評価の方法		単位認定試験	
実践的教育を行う授業科目の種別	a：実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目		
	担当教員の実務経験 (経歴・資格等)		
	授業内容との関連性		

2022 武蔵野大学 通信教育部 シラバス

	b：企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目	
	学外講師の経歴・資格等	
	授業内容	
	c：企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、研修を行う授業科目	
	実習先・実習の目的	
備考		

科目名		生理心理学	
担当教員		阿部 央	
授業方法		講義	
科目の概要	到達目標	<p>本科目では、人の心が複雑な構造や機能をもつ脳の働きによるものであることを学びます。また、細胞・分子といったミクロなレベルから、精神疾患と脳との関係に至るまで、基礎的な生理心理学の視座を学ぶことを目標とします。さらに、脳の構造や、中枢神経系の機能など、ヒトにおける高次な脳機能のメカニズムについて学習を深め、知覚、記憶、学習、情動、言語、動機づけに深く関与する生理および心理を理解しましょう。より深い人間理解のために、これらの知見を他の学問においても活用できることを最終目標とします。</p>	
	テキストの概要	<p>このテキストは、生理心理学の領域を包括的にカバーした教科書であり、脳の構造や計測方法から精神疾患に関するトピックまで幅広く解説されているものです。部位や機構が図示されるなど、初学者でも学びやすい構成になっていますが、よく理解できていない用語などが出てきた場合には、テキスト内で紹介されている参考文献を確認しながら理解を深めてください。</p>	
授業計画		<p>WB Tで出題される所定の回数のエクササイズに合格の後、WB T上で行われる単位認定試験に合格することで4単位を認定します。</p> <p><自宅学習></p> <p>第0章 生理心理学への招待 第1章 脳の構造 第2章 脳の信号 第3章 脳と知覚 第4章 脳と記憶 第5章 学習 第6章 情動 第7章 動機づけ 第8章 心の病気と脳 第9章 側性化：大脳半球の機能的非対称性 第10章 睡眠 第11章 意識 第12章 臨床心理学と脳科学</p>	
成績評価の方法		単位認定試験	
実践的教育を行う授業科目の種別	a：実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目		
	担当教員の実務経験 (経歴・資格等)		
	授業内容との関連性		

2022 武蔵野大学 通信教育部 シラバス

	b: 企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目	
	学外講師の経歴・資格等	
	授業内容	
	c: 企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、研修を行う授業科目	
	実習先・実習の目的	
備考		

科目名	産業・組織心理学（SR）
担当教員	松野 航大
授業方法	講義
科目の概要	<p>到達目標</p> <p>産業・組織心理学とはどのような学問でしょうか。一般には、産業活動全般を対象としてそこに生じる諸問題を心理学の知識と方法を用いて解明していくもの、と考えられています。</p> <p>産業・組織心理学という名称は、アメリカ心理学会の部会 industrial and organizational psychology から来ています。それまでは industrial psychology の名称が使われてきましたが 1970 年に、industrial and organizational psychology と改められ以降この名称が一般的になりました。わが国では、1985 年に「産業・組織心理学会」が設立され今日に至っています。人事部門、組織行動部門、作業部門、市場部門の研究部門に分かれ、活発な活動が続けられています。</p> <p>高年齢化、高学歴化、女性の職場進出、国際化、情報化など現代の社会環境は大きく変貌してきています。応用心理学の一分野として発展してきた産業心理学は、こうした環境変化の中で研究領域も広がってきました。このような状況を充分把握した上で、この授業では産業・組織心理学の主要テーマおよび主要理論を理解し身につけることを目標とします。</p>
	<p>テキストの概要</p> <p>加速化する社会の変化、時代の流れとともに、産業・組織の在り方も日々刻々と急速な変貌を遂げてきています。移り変わりの激しい現代においては、雇用の問題や人材管理の問題、メンタルヘルスの問題など、次々と産業・組織に関わる新しい課題が生じているといえるでしょう。このような現代の産業・組織の中を生きる私たちに、その問題解決へのヒントを与えてくれるのが、産業・組織心理学です。</p> <p>テキストは、産業・組織心理学の歴史的な背景や基礎的な知識、種々の理論、さらにはそれらの応用について網羅的に学ぶことが可能です。産業・組織心理学の古典的な研究から最新の知見までを幅広くカバーしたうえで、人材マネジメントの方法や働く人への支援など実践的な内容についても詳細に解説したものとなっています。</p> <p>今年度は産業・組織心理学の主要テーマであるワークモチベーション、キャリア、リーダーシップを中心に、序章、第Ⅰ部、第Ⅱ部、第Ⅲ部を重点的に学習します。もちろん、第Ⅳ部が必要ないというわけではありません。興味のある方は是非読んで下さい。</p>
授業計画	<p>スクーリング（2単位）とWBTによる学習（2単位）の計4単位の科目です。</p> <p><スクーリング></p> <p>第01講 オリエンテーション</p> <p>第02講 動機づけとワークモチベーション①</p> <p>第03講 動機づけとワークモチベーション②</p> <p>第04講 ワークモチベーションに関する諸理論</p>

- 第05講 キャリア①
- 第06講 キャリア②
- 第07講 産業メンタルヘルス①
- 第08講 産業メンタルヘルス②
- 第09講 集団と組織
- 第10講 集団の心理
- 第11講 リーダーシップ①
- 第12講 リーダーシップ②
- 第13講 消費者行動と広告
- 第14講 単位認定試験

<メディア授業>

- 第01講 オリエンテーション
- 第02講 ワークモチベーション①
- 第03講 ワークモチベーション②
- 第04講 ワークモチベーションに関する諸理論
- 第05講 キャリア①
- 第06講 キャリア②
- 第07講 産業メンタルヘルス①
- 第08講 産業メンタルヘルス②
- 第09講 集団と組織
- 第10講 集団の心理
- 第11講 リーダーシップ①
- 第12講 リーダーシップ②
- 第13講 消費者行動①
- 第14講 消費者行動②
- 第15講 広告

<自宅学習>

- 序章 産業・組織心理学の歴史と領域
- 1 ワークモチベーション
- 2 組織におけるチームワーク
- 3 組織とコミュニケーション
- 4 リーダーシップ
- 5 人事評価・採用・適性
- 6 キャリア形成
- 7 産業・労働分野の制度・法律・倫理
- 8 作業改善・安全衛生
- 9 職業性ストレスとメンタルヘルス
- 10 産業・組織分野における心理学的援助
- 11 消費者行動

成績評価の方法

単位認定試験

2022 武蔵野大学 通信教育部 シラバス

実践的教育を行う 授業科目の種別	a：実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目		○
	担当教員の実務経験 (経歴・資格等)	(松野 航大先生 職歴) 長谷川メンタルヘルス研究所 スキルアップグループ/家族スキルアップグループ スタッフ、研修講師 所沢市教育委員会 健やか輝き支援室 健やか相談員 松野カウンセリングルーム 代表、カウンセラー	
	授業内容との関連性	専門機関でカウンセリング経験のある教員が、心理学の実践と関連させながら、心理学の基礎的分野を指導し、学習を日常生活に活かすことを目指す。	
	b：企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目		
	学外講師の経歴・資格等		
	授業内容		
	c：企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、研修を行う授業科目		
	実習先・実習の目的		
備考			

科目名	産業・組織心理学（R）
担当教員	松野 航大
授業方法	講義
科目の概要	<p>産業・組織心理学とはどのような学問でしょうか。一般には、産業活動全般を対象としてそこに生じる諸問題を心理学の知識と方法を用いて解明していくもの、と考えられています。</p> <p>産業・組織心理学という名称は、アメリカ心理学会の部会 industrial and organizational psychology から来ています。それまでは industrial psychology の名称が使われてきましたが 1970 年に、industrial and organizational psychology と改められ以降この名称が一般的になりました。わが国では、1985 年に「産業・組織心理学会」が設立され今日に至っています。人事部門、組織行動部門、作業部門、市場部門の研究部門に分かれ、活発な活動が続けられています。</p> <p>高年齢化、高学歴化、女性の職場進出、国際化、情報化など現代の社会環境は大きく変貌してきています。応用心理学の一分野として発展してきた産業心理学は、こうした環境変化の中で研究領域も広がってきました。このような状況を充分把握した上で、この授業では産業・組織心理学の主要テーマおよび主要理論を理解し身につけることを目標とします。</p>
	<p>加速化する社会の変化、時代の流れとともに、産業・組織の在り方も日々刻々と急速な変貌を遂げてきています。移り変わりの激しい現代においては、雇用の問題や人材管理の問題、メンタルヘルスの問題など、次々と産業・組織に関わる新しい課題が生じているといえるでしょう。このような現代の産業・組織の中を生きる私たちに、その問題解決へのヒントを与えてくれるのが、産業・組織心理学です。</p> <p>テキストは、産業・組織心理学の歴史的な背景や基礎的な知識、種々の理論、さらにはそれらの応用について網羅的に学ぶことが可能です。産業・組織心理学の古典的な研究から最新の知見までを幅広くカバーしたうえで、人材マネジメントの方法や働く人への支援など実践的な内容についても詳細に解説したものとなっています。</p> <p>今年度は産業・組織心理学の主要テーマであるワークモチベーション、キャリア、リーダーシップを中心に、序章、第Ⅰ部、第Ⅱ部、第Ⅲ部を重点的に学習します。もちろん、第Ⅳ部が必要ないというわけではありません。興味のある方は是非読んで下さい。</p>
授業計画	<p>WB Tで出題される所定の回数のレポートを提出・合格の後、WB T上で行われる単位認定試験に合格することで4単位を認定します。</p> <p><自宅学習></p> <p>序章 産業・組織心理学の歴史と領域</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 ワークモチベーション 2 組織におけるチームワーク 3 組織とコミュニケーション 4 リーダーシップ

2022 武蔵野大学 通信教育部 シラバス

	5 人事評価・採用・適性 6 キャリア形成 7 産業・労働分野の制度・法律・倫理 8 作業改善・安全衛生 9 職業性ストレスとメンタルヘルス 10 産業・組織分野における心理学的援助 11 消費者行動	
成績評価の方法	単位認定試験	
実践的教育を行う 授業科目の種別	a：実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目	○
	担当教員の実務経験 (経歴・資格等)	(松野 航大先生 職歴) 長谷川メンタルヘルス研究所 スキルアップグループ/家族スキルアップグループ スタッフ、研修講師 所沢市教育委員会 健やか輝き支援室 健やか相談員 松野カウンセリングルーム 代表、カウンセラー
	授業内容との関連性	専門機関でカウンセリング経験のある教員が、心理学の実践と関連させながら、心理学の基礎的分野を指導し、学習を日常生活に活かすことを目指す。
	b：企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目	
	学外講師の経歴・資格等	
	授業内容	
	c：企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、研修を行う授業科目	
	実習先・実習の目的	
備考		

科目名		環境心理学
担当教員		西本 和月
授業方法		講義
科目の概要	到達目標	環境心理学は、物理的な環境だけでなく、対人関係などの社会的環境も含めた総合的な環境と人との関係について探求する学問領域です。この科目では、環境心理学の基礎知識を学ぶことで人の行動と心理について理解を深めると共に、心理学的な視点で周囲の環境を観察する力を養います。環境心理学の知識に基づきながら環境の中の問題を発見し、その解決方法を提案する力を身につけることを目指します。また、その問題解決あるいは緩和するためには心理学だけでなく、建築学、環境社会学、人文地理学、環境教育学等を含んだ学際的なアプローチが不可欠であることを学びます。
	テキストの概要	本科目で使用するテキストは、欧米における環境心理学の教育プログラムを専攻する学生（主に大学院生）が必ず読むべき基本書として指定される文献として高く評価されており、現在の環境心理学の領域を包括的にカバーした教科書とよべるものです。ただし、環境心理学における必読書ではありますが初学者には難解な部分があるかもしれません。その場合は【参考資料】に記載されているテキストを用いて予習・復習を行うようにして下さい。また、本科目で使用するテキストは上巻であり、「実践」により重きを置いている下巻も出版されています。さらに学びを深めたい場合には『環境心理学-原理と実践（下）』を読んでみて下さい。 本科目で使用するテキストでは環境心理学に関する様々な研究事例とその多大な成果が紹介されていますが、心理学一般の基本的な概念や用語の説明などの基礎知識に関する説明については詳細に記述されていません。従いまして、よく理解できていない用語が出てきた場合には、心理学概論の教科書や心理学用語辞典など、他のテキストでその内容を確認しながら読み進めるようにして下さい。
授業計画		WB Tで出題される所定の回数のエクササイズに合格の後、WB T上で行われる単位認定試験に合格することで4単位を認定します。 〈自宅学習〉 第1章「環境心理学の本質と展望」 第2章「環境知覚と環境認知」 第3章「環境に対する態度、評価と査定」 第4章「パーソナリティと環境」 第5章「パーソナルスペース」 第6章「テリトリアリティ」 第7章「クラウドディング」 第8章「プライバシー」
成績評価の方法		単位認定試験
		a：実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目

2022 武蔵野大学 通信教育部 シラバス

実践的教育を行う 授業科目の種別	担当教員の実務経験 (経歴・資格等)	
	授業内容との関連性	
	b: 企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目	
	学外講師の経歴・資格等	
	授業内容	
	c: 企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、 研修を行う授業科目	
	実習先・実習の目的	
備考		

科目名		人間生活工学	
担当教員		松田 文子	
授業方法		講義	
科目の概要	到達目標	現代の人間の生活や労働の営みは、大部分が人工的環境の中で行われています。目的に適った行動を円滑かつ合理的に実現するためには、この人工的環境（道具、機械、設備、施設、文書、制度、社会・・・）と個々の人間との最適な関係を作り上げて維持しなければなりません。この場合、人間の幸福を第一に考える人間優先、人間中心の観点が重要です。そのような考え方や手法を磨き上げ提供するのが人間工学、ないし人間生活工学の役割です。この科目では、人間工学がどのような事情で成立し、それぞれの領域で発展してきたかを学び、現実の生活を見直す眼を養うことを目標とします。	
	テキストの概要	1989年出版の標準的テキストです。やや発行から時間が経っていますが、10名の研究者による分担執筆で、人間工学の到達した地点がバランスよく入門的に解説されています。文科系学生向けのテキストが少ない中、本通信教育にも十分適合するものです。	
授業計画		<p>WB Tで出題される所定の回数のレポートを提出・合格の後、WB T上で行われる単位認定試験に合格することで4単位を認定します。</p> <p><自宅学習></p> <p>1章 人間工学とは</p> <p>2章 人の感覚とそのしくみ</p> <p>3章 人の形態と運動機能</p> <p>4章 人の評価技法</p> <p>5章 人・時間・速度と作業能</p> <p>6章 人と作業環境</p> <p>7章 マン・マシンシステムの設計</p> <p>8章 人の適性・訓練と作業</p> <p>9章 人と作業安全</p> <p>10章 産業人間工学</p>	
成績評価の方法		単位認定試験	
実践的教育を行う授業科目の種別	a：実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目		
	担当教員の实務経験（経歴・資格等）		
	授業内容との関連性		
	b：企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目		
	学外講師の経歴・資格等		
	授業内容		

2022 武蔵野大学 通信教育部 シラバス

	c：企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、 研修を行う授業科目	
	実習先・実習の目的	
備考		

科目名		キャリア概論
担当教員		松野 航大
授業方法		講義
科目の概要	到達目標	<p>近年、キャリアという言葉を目にする機会が増えましたが、キャリアの本質とは何なのかを理解している人は多くはありません。キャリアの本質は「個人の幸福と組織活力の調和」にあります。「自分はどう生きるか」という個人的な問いも大切なキャリア形成の一つですが、自分だけを見つめていても、キャリアの理解にはなりません。</p> <p>本科目では、昨今のキャリア形成に関わる問題を広く概観し、理解を深めることを目的とします。組織（＝社会・地域・学校・会社）との関わり合いの中で、個人のキャリア形成が日本ではどのように進展してきたのかを確認します。日本的経営の中で育まれてきたキャリアとはどのようなものなのか、日本的経営の変化により、近年のキャリア形成はどのように変化してきたのか、そして、今後のキャリア開発やその支援には何が必要なのかについて理解を深めます。</p>
	テキストの概要	<p>日本においてキャリアがどのように取り扱われ、どのように支援・開発・マネジメントされるべきか、幅広い視点から総合的に論じられています。個人の視点に偏りがちなキャリア形成を、個人・企業・教育・社会の視点からも論じています。偏りのないキャリア論としては適切な入門書です。</p>
授業計画		<p>WB Tで出題される所定の回数のエクササイズに合格の後、WB T上で行われる単位認定試験に合格することで2単位を認定します。</p> <p><自宅学習></p> <p>第1章 従来の日本型キャリア形成 第2章 人的資源管理とキャリア形成 第3章 企業内ジョブローテーションとキャリア形成 第4章 行政組織におけるキャリア形成 第5章 自律的キャリア形成 第6章 大学におけるキャリア教育 第7章 キャリア・カウンセリング 第8章 女性のキャリア形成 第9章 キャリアと労働政策 第10章 NECにおけるキャリア支援 第11章 大日本印刷のキャリア開発と支援の現状</p>
成績評価の方法		単位認定試験
		a：実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目
		○

2022 武蔵野大学 通信教育部 シラバス

実践的教育を行う 授業科目の種別	担当教員の実務経験 (経歴・資格等)	(松野 航大先生 職歴) 長谷川メンタルヘルス研究所 スキルアップグループ/家族スキルアップグループ スタッフ、研修講師 所沢市教育委員会 健やか輝き支援室 健やか相談員 松野カウンセリングルーム 代表、カウンセラー	
	授業内容との関連性	専門機関でカウンセリング経験のある教員が、心理学の実践と関連させながら、心理学の基礎的分野を指導し、学習を日常生活に活かすことを目指す。	
	b: 企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目		
	学外講師の経歴・資格等		
	授業内容		
	c: 企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、研修を行う授業科目		
	実習先・実習の目的		
備考			

科目名	産業カウンセリング
担当教員	宮脇 優子
授業方法	講義
科目の概要	<p>到達目標</p> <p>社会経済・雇用環境の変化の激しい現代において、働く人が生き生きと自分らしく快適に働けることを支援する産業カウンセリング（ここでは、産業組織にて働く人を支援するカウンセリングを意味する）の必要性は高まりを見せている。特に働く人へのキャリア支援には近年国も積極的に乗り出し施策を打ち出してきており、支援者としての専門職「キャリアコンサルタント」は国家資格にもなっている。</p> <p>本講では、カウンセリングの独自性（特質）や起源・発展等の基礎的な事項を踏まえたうえで、産業組織で働く人を取り巻く環境の変化及び働く人が現在直面する問題について、心理学的な側面から理解し、産業組織で働く人への支援としてカウンセリングがどのような役割を果たせるのか、またその意義について学ぶことを目標とする。</p> <p>また、カウンセラーに必要な能力・技能、産業カウンセリングの具体的展開など実践面についての知識も習得することを目指す。なお、心理アセスメントの講では、産業カウンセリング（キャリアカウンセリング）で用いられる心理検査を実際に体験することで、産業カウンセリングにおける心理検査の活用法を理解する。ケース紹介・ケース検討の講では、産業カウンセリングの様々なケースを知り、見立て方を理解する。</p>
	<p>テキストの概要</p> <p>このテキストは二部構成になっており、第一部では、カウンセリングの定義（心理学的専門的援助過程であり、土台となる学問体系はカウンセリング心理学であること）や、隣接領域との違い（臨床心理学を土台とする心理療法とは異なる領域であること）等の学術的な基本事項やカウンセリングの起源や発展の経緯、カウンセリングが日本に輸入され、日本の産業組織において産業カウンセリングとして発展した経緯、そして、現在、組織で働く人が直面している社会経済的な環境の変化について解説している。また、カウンセリングの実践における知見、カウンセリングにおける心理検査の活用法、カウンセラーに必要とされる要件（能力・知識）等についても解説している。</p> <p>第二部は、産業組織で働く人が抱える様々な悩み・問題を年代ごとに27ケース取りあげ、各ケースに対するカウンセラーの援助の視点や知見を提示している。援助に活用している心理学理論やキャリア理論についても解説しており、カウンセリングの実践について具体的に学べる構成としている。</p>
授業計画	<p>本校（東京都西東京市）で行われるスクーリング（全14コマ）に出席し、最終日に教員より課される単位認定試験に合格することで2単位を認定します。</p> <p><スクーリング></p> <p>第01講 オリエンテーション カウンセリング、産業カウンセリングとは</p> <p>第02講 カウンセリングと隣接領域との比較</p> <p>第03講 カウンセリングの起源と発展</p> <p>第04講 産業カウンセリングの発達史（アメリカ、日本）</p> <p>第05講 働く人を取り巻く環境変化と産業カウンセリングの役割（1）</p>

2022 武蔵野大学 通信教育部 シラバス

	第06講 働く人のメンタルヘルスの現状と産業カウンセリングの役割（2） 第07講 カウンセラーの機能 第08講 カウンセラーに必要とされる能力（1） 第09講 カウンセラーに必要とされる能力（2） 第10講 カウンセラーの必要要件、産業カウンセリングの具体的展開 第11講 カウンセリングの人間観と理論、産業カウンセリングにおける心理アセスメント（1） 第12講 産業カウンセリングにおける心理アセスメント（2）＜実習＞ 第13講 産業カウンセリングのケース紹介・ケース検討 第14講 単位認定試験
成績評価の方法	単位認定試験
実践的教育を行う 授業科目の種別	a：実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目
	担当教員の実務経験 （経歴・資格等）
	授業内容との関連性
	b：企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目
	学外講師の経歴・資格等
	授業内容
	c：企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、研修を行う授業科目
	実習先・実習の目的
備考	

科目名	労働法
担当教員	原 俊之
授業方法	講義
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">科目の概要</p> <p style="text-align: center;">到達目標</p>	<p>労働問題のニュースに限ってみても、所得格差、貧困、失業、解雇、リストラ、過労死、ブラック企業、そして昨今のコロナ騒動等々、新聞やテレビは暗い話題であふれている。将来に希望を見出し難いご時世だが、全てに絶望する前にそのカラクリに目を向けて見るのも悪くはないはずだ。</p> <p>労働法は、何よりも「労働者」すなわち雇われて働く人々に「人たるに値する生活」を保障すべく、労働条件の維持・改善を目的として設計された法制度である。しかし、「労働者」という立場の人に、そのような境遇を保障することは口で言うほど簡単ではない。アルバイトであれ、正社員であれ、何らかの形で雇われて働いた経験のある人であれば、雇い主との力関係ゆえに給料や勤務時間について、言いたいことも言えなかったことがほとんどであろう。他方、雇い主（法律上「使用者」と呼ぶ）は、利潤を少しでも上げるために、人件費（＝従業員の給料）はできるだけ安く抑えたいというのが本音である。かくして労働条件は、放っておけばどんどん劣悪になってゆくのである。</p> <p>だから、法は「放っておかない」。では、どうしたら上述のような目的が達成できるかといえば、方法は2つある。一つは、労働条件の最低ラインや禁止事項を定め、使用者に有無を言わず守らせることだ。労働基準法や最低賃金法、あるいは男女雇用機会均等法などがそう。もう一つは、労使が対等な立場で労働条件等の交渉・取り決めができるよう、その舞台設定をしてやることだ。労働組合法がその代表である。前者を個別的労働関係法、後者を集団的労働関係法などと総称する（さっそくテキストの表紙裏、「労働法の全体MAP」を見てみよう！）。また、雇い雇われる関係にスムーズに入れるよう、職を求める人と人材を欲しがめる企業が上手く市場でマッチングするためのシステム、すなわち労働市場法も大切だ。こうした法律のほか、数多くの判例や行政通達などが積み重なって、労働法という一つの法分野を形作っているのである。</p> <p>そんなありがたい法制度があるのに、どうして働く者たちの現状はかくも悲惨なのか？ そんな素朴な疑問が出るのも無理はない。そう、労働法は残念ながら理想的な姿をしているわけではないのだ。所詮は生身の人間が作った制度、未だ不十分な点は多々あるし、欠点だって多い。今後の課題として残されているテーマがなんと多く、しかも複雑なことだろう。こは、そうした現行の労働法制のあり方を十分に理解した上で、必要とあればこれを批判的に検証できる視点を養成することをねらいとする。</p> <p>この科目は、そうした現行の労働法制のあり方を十分に理解した上で、必要とあればこれを批判的に検証できる視点を養成することをねらいとする。</p> <p>なお、近年メンタルヘルス、人間関係、パワハラ、休職など職場で生じる法的紛争に対して、労働法学だけでなく、産業医、看護師、カウンセラー、保健師、心理士、社労士や人事担当者など多様な分野の専門家により、学際的な視点から現場に即した問題解決を図るための学術活動が見受けられる（一例として、日本産業保健法学会 (https://jaohl.jp/) 参照)。労働法はこのような研究の基礎であると同時に、現場の問題解決は法理論を駆使するだけでは不十分な場合もあることの証左であるともいえよう。</p>

	<p>テキストの概要</p>	<p>本スタディガイドは、指定テキストである『ベーシック労働法』の第8版で学習することを前提としている。この本は初学者向けの入門テキストでありながら、相当に高度で専門的な内容を網羅している。また、各章ごとにその章で取り扱うテーマを「MAP」として図式化しているが、これによって現在自分が労働法の理論体系のどの部分を学ぼうとしているのか、その所在地が把握できる仕組みになっている。時には聞きなれない専門用語も出てくるため、戸惑うことも多いと思われるが、独学にはうってつけの1冊である。最後まであきらめずに熟読していただきたい。</p> <p>また、最新の法改正の詳細につき、厚生労働省ほか行政官庁が公開している資料（アドレスは本スタディガイド各章の説明参照）も各自プリントアウトして活用すること。エクササイズと単位認定試験は、これらの資料もあわせて熟読し理解していることを前提に出題する。</p>										
	<p>授業計画</p>	<p>WBTで出題される所定の回数のエクササイズに合格の後、WBT上で行われる単位認定試験に合格することで2単位を認定します。</p> <p><自宅学習></p> <p>第1章 労働法をスケッチしてみよう 第2章 労働法のパートナーと労働条件決定の仕組み 第3章 働き始める 第4章 働き方のルール 第5章 就業規則による集団的労働条件の決定と変更 第6章 働くことの対価 第7章 働く時間 第8章 休む時間 第9章 安全・快適に働く 第10章 働くことをやめる 第11章 男女がともに働く 第12章 いろいろな働き方 第13章 労使自治と労働者代表制 第14章 交渉と紛争、そして終息 第15章 労使トラブルを解決する仕組み</p>										
	<p>成績評価の方法</p>	<p>単位認定試験</p>										
	<p>実践的教育を行う授業科目の種別</p>	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="368 1715 722 1794"> <p>a：実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目</p> </td> <td data-bbox="722 1715 1544 1794"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="368 1794 722 1895"> <p>担当教員の实務経験 (経歴・資格等)</p> </td> <td data-bbox="722 1794 1544 1895"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="368 1895 722 1973"> <p>授業内容との関連性</p> </td> <td data-bbox="722 1895 1544 1973"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="368 1973 1350 2051"> <p>b：企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目</p> </td> <td data-bbox="1350 1973 1544 2051"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="368 2051 722 2132"> <p>学外講師の経歴・資格等</p> </td> <td data-bbox="722 2051 1544 2132"></td> </tr> </table>	<p>a：実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目</p>		<p>担当教員の实務経験 (経歴・資格等)</p>		<p>授業内容との関連性</p>		<p>b：企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目</p>		<p>学外講師の経歴・資格等</p>	
<p>a：実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目</p>												
<p>担当教員の实務経験 (経歴・資格等)</p>												
<p>授業内容との関連性</p>												
<p>b：企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目</p>												
<p>学外講師の経歴・資格等</p>												

2022 武蔵野大学 通信教育部 シラバス

	授業内容	
	c：企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、研修を行う授業科目	
	実習先・実習の目的	
備考		

科目名		キャリア・デザイン学	
担当教員		矢澤 美香子	
授業方法		講義	
科目の概要	到達目標	<p>近年、どのように働き、どのように生きるかといった「キャリア」への関心が高まっており、一人ひとりが自律的、主体的にキャリアをデザイン（設計）していくことが求められています。そうした流れの中で、自らの生き方を振り返りさらなるキャリア・アップを目指して、大学やさまざまな教育機関でもう一度学びたいと考える社会人も増加しています。</p> <p>本科目では、キャリアに関する理論や基礎知識を身につけながら、生涯発達の視点からキャリア・デザインについて学びます。また、本科目の学びを通して、自らの生き方、働き方を振り返り、社会人学生という学びのキャリアを通じて、自分自身のこれからのキャリア・デザインについても考えていくことを目標とします。</p>	
	テキストの概要	<p>また、最新の法改正の詳細につき、厚生労働省ほか行政官庁が公開している資料（アドレスは本スタディガイド各章の説明参照）も各自プリントアウトして活用すること。エクササイズと単位認定試験は、これらの資料もあわせて熟読し理解していることを前提に出題する。</p>	
授業計画		<p>WB Tで出題される所定の回数のエクササイズに合格の後、WB T上で行われる単位認定試験に合格することで2単位を認定します。</p> <p><自宅学習></p> <p>第1章 キャリアとアイデンティティ 第2章 生涯学習とキャリア・デザイン 第3章 社会人学生としての学び 第4章 キャリア理論へのアプローチ 第5章 ライフサイクルとキャリア・デザイン 第6章 多様性とキャリア 第7章 適性と専門性 第8章 社会人学生のよりよいキャリア・デザインをめざして 第9章 社会人学生としての学びを活かすキャリア・デザイン</p>	
成績評価の方法		単位認定試験	
実践的教育を行う授業科目の種別		a：実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目	○
		<p>担当教員の実務経験 (経歴・資格等)</p> <p>(矢澤 美香子先生 職歴) 都内心療内科・精神科クリニック 心理カウンセラー、千葉県中学校スクールカウンセラー、 企業・EAP 機関 カウンセラー</p> <p>(矢澤 美香子先生 資格)</p>	

2022 武蔵野大学 通信教育部 シラバス

	公認心理師，臨床心理士，産業カウンセラー
授業内容との関連性	企業従業員への心理相談やキャリア支援の対応ならびに管理監督者等へのコンサルテーション業務に従事した教員がキャリア形成やキャリア・デザインについての講義を担当する。
b：企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目	
学外講師の経歴・資格等	
授業内容	
c：企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、研修を行う授業科目	
実習先・実習の目的	
備考	

科目名	卒業研究	
担当教員	川島 哲・菊地 ひとみ・小西 啓史・佐藤 裕之・本多 勇・前廣 美保・松田 文子・前田 壽雄・松野 航大	
授業方法	講義	
科目の概要	到達目標	<p>卒業研究は、大学における学習の集大成として、自身の興味あるテーマについて深く掘り下げていく実践的活動である。では、「研究」とはどのような実践なのだろうか。ここで今一度確認しておこう。みなさんは何かを知りたいと思った時どうするだろうか？新しい人と出会い、その人のことをもっと知りたいと思ったら、その人のことをこっそり観察したり、話しかけてみたり、或いは友人にたずねてみたりしてその人についての情報を集めるのではないだろうか。そして集めた情報を取捨選択して、その人の「人となり」について、自分なりの結論を導き出すのではないだろうか。「研究」とは、実は上記のような日常的な営みとたくさんの共通点をもつ活動である。特定のテーマについて、これまで行われた研究を調べ、データを収集し、最終的には、自分なりの結論（＝研究知見）を生み出していくという営みである。ただ、データの扱い方や結論の導き方に、一定のルールや配慮すべき事項が決まっているのである。</p> <p>そして、卒業研究においては、テーマの選択・データ収集・分析、そして論文を書くという一連の作業に“自分自身で”主体的に取り組むことが重要である。もちろん、指導教員からのアドバイスは適宜受けるが、自分の研究である以上、自分自身の手で進めていくことが基本であることは再認識してほしい。</p>
	テキストの概要	なし
授業計画	<p>授業計画に記載の内容を行い、合格することで8単位を修得します。</p> <p><研究スケジュール></p> <p>■申し込みから履修登録まで</p> <p>2020年11月30日まで 「卒業研究計画書」（「倫理チェックリスト」を含む）WBTで提出</p> <p>2020年12月初旬～2021年1月下旬 「卒業研究計画書」WBT上にて返却</p> <p>2021年2月中旬 「卒業研究計画書」審査結果発表（WBT掲示板）</p> <p>2021年2月中旬 履修登録</p> <p>■面接指導から清書論文提出まで</p> <p>2021年4月中 第1回面接指導</p> <p>2021年7月10日まで 中間発表申請</p> <p>2021年8～9月頃 第2回面接指導</p> <p>2021年8月 中間発表</p> <p>2021年11月15日まで 草稿提出</p> <p>2021年10～11月頃 第3回面接指導</p> <p>2021年11月下旬頃 清書論文提出許可</p>	

2022 武蔵野大学 通信教育部 シラバス

	2022年1月15日まで 清書論文提出 ＊面接指導の日程は、指導教員により異なることもある。基本的には指導教員の指示に従うこと。 ■口頭試問から審査結果通知まで 2022年1月下旬～2月上旬頃 口頭試問 2022年2月中旬頃 審査結果通知 ＊正式な日程については、決定次第、すみやかに連絡する。	
成績評価の方法	単位認定試験	
実践的教育を行う 授業科目の種別	a：実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目	
	担当教員の 実務経験 (経歴・資格等)	
	授業内容との 関連性	
	b：企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目	
	学外講師の 経歴・資格等	
	授業内容	
	c：企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、 研修を行う授業科目	
	実習先・実習の 目的	
備考		

科目名		宗教学概論	
担当教員		杉木 恒彦	
授業方法		講義	
科目の概要	到達目標	仏教をより深く理解するためにも、世界各地の宗教の基礎的知識とその構造を比較宗教社会学的視点から学び理解する。	
	テキストの概要	なし	
授業計画		<p>WB Tで出題される所定の回数のエクササイズに合格の後、WB T上で行われる単位認定試験に合格することで4単位を認定します。</p> <p><自宅学習></p> <p>第1章 インTRODクシヨン</p> <p>第2章 ユダヤ教</p> <p>第3章 キリスト教</p> <p>第4章 イスラーム</p> <p>第5章 南アジアの宗教</p> <p>第6章 東アジアの宗教</p> <p>第7章 結び</p>	
成績評価の方法		単位認定試験	
実践的教育を行う授業科目の種別	a：実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目		
	担当教員の実務経験 (経歴・資格等)		
	授業内容との関連性		
	b：企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目		
	学外講師の経歴・資格等		
	授業内容		
	c：企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、研修を行う授業科目		
	実習先・実習の目的		
備考			

2022 武蔵野大学 通信教育部 シラバス

科目名		仏教史	
担当教員		佐藤 裕之	
授業方法		講義	
科目の概要	到達目標	学んでいく内容は仏教に関わってきた人たち、その人たちの行跡、出来事などになりますが、あくまでも歴史的視点から理解し、仏教の歴史の基礎的な知識を身につけることが到達目標になります。	
	テキストの概要	なし	
授業計画		WBTで出題される所定の回数のエクササイズに合格の後、WBT上で行われる単位認定試験に合格することで4単位を認定します。 <自宅学習> 第一章 インド仏教 第二章 チベット仏教 第三章 中国仏教 第四章 朝鮮の仏教 第五章 日本仏教	
成績評価の方法		単位認定試験	
実践的教育を行う授業科目の種別	a：実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目		
	担当教員の実務経験 (経歴・資格等)		
	授業内容との関連性		
	b：企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目		
	学外講師の経歴・資格等		
	授業内容		
	c：企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、研修を行う授業科目		
	実習先・実習の目的		
備考			

科目名		仏教経典概論	
担当教員		鈴木 健太	
授業方法		講義	
科目の概要	到達目標	この科目では、仏教の教えの源泉である「お経」について、それがどのように成立し、今日の形にまとめられてきたのか、という問題から始めて、その言語、形式、そして内容的な面にも踏み込んで、おおよその総体を把握することを目的としています。	
	テキストの概要	なし	
授業計画		<p>WBTで出題される所定の回数のレポートを提出・合格の後、WBT上で行われる単位認定試験に合格することで4単位を認定します。</p> <p><自宅学習></p> <p>第1章 お経の成立 第2章 現存の仏教聖典 第3章 お経の形式と実例 第4章 大乘経典の性格 第5章 般若経 第6章 華嚴経 第7章 維摩経 第8章 勝鬘経 第9章 法華経 第10章 浄土系経典 第11章 密教経典</p>	
成績評価の方法		単位認定試験	
実践的教育を行う授業科目の種別	a：実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目		
	担当教員の実務経験 (経歴・資格等)		
	授業内容との関連性		
	b：企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目		
	学外講師の経歴・資格等		
	授業内容		
	c：企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、研修を行う授業科目		
	実習先・実習の目的		

備考

科目名		西洋思想と仏教（T）	
担当教員		佐藤 裕之	
授業方法		講義	
科目の概要	到達目標	仏教に別なアプローチで取り組み、自己の「仏教観」をもち、仏教学特有の視座や思考方法を修得することにあります。	
	テキストの概要	中村元著、春日屋伸昌翻訳『比較思想から見た仏教』（東方出版 2012） 比較思想という視点から仏教を考えるために書かれたものです。まず、仏教を“普遍”宗教として捉える考え方が述べられ、仏教とキリスト教を比較しながら、仏教の「苦」「無常」「輪廻」「中道」「慈悲」などのさまざまな考え方について、分かりやすく説明されています。最後には、東洋思想の問題点について、筆者の見解が紹介されています。	
授業計画		<p>WB Tで出題される所定の回数のエクササイズに合格の後、WB T上で行われる単位認定試験に合格することで4単位を認定します。</p> <p><自宅学習></p> <p>第1章 “普遍”宗教 第2章 仏教の道とキリスト教の道 第3章 人間的状況の診断 第4章 仏教とキリスト教の治療法 第5章 教団 第6章 禅仏教 第7章 浄土仏教 第8章 東洋における近代思想の夜明け</p>	
成績評価の方法		単位認定試験	
実践的教育を行う授業科目の種別	a：実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目		
	担当教員の実務経験（経歴・資格等）		
	授業内容との関連性		
	b：企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目		
	学外講師の経歴・資格等		
	授業内容		
	c：企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、研修を行う授業科目		
	実習先・実習の目的		

備考

科目名		仏教基礎入門
担当教員		新作 慶明
授業方法		講義
科目の概要	到達目標	<p>この科目では、以下の三つのテーマを中心に仏教の基礎を学んでいきます。</p> <p>①（小乗）部派教団が伝えた諸文献に説かれる基本的な教義。</p> <p>②戒律文献によって窺うことの出来る、インドの仏教教団のあり方や出家者の生活。</p> <p>③大乘經典の中で枢要な地位を占める「般若經典」群の全体像と中心的教義（般若、空など）。</p> <p>ここでの学びを通して、様々な仏典を読み解くための基礎力を養うことが最終的な目標です。</p>
	テキストの概要	なし
授業計画		<p>スクーリング（2単位）とWBTによる学習（2単位）の計4単位の科目です。</p> <p>WBTで出題される所定の回数のエクササイズに合格の後、WBT上で行われる単位認定試験に合格することで2単位を認定します。</p> <p><自宅学習></p> <p>第1章 原始仏教</p> <p>第2章 部派仏教</p> <p>第3章 初期の大乘仏教</p> <p><スクーリング(メディア授業)></p> <p>第01講 [釈尊の生涯]]</p> <p>第02講 [三蔵聖典]]</p> <p>第03講 [阿含經典の教え①]]</p> <p>第04講 [阿含經典の教え②]]</p> <p>第05講 [初期仏教教団]]</p> <p>第06講 [阿毘達磨概説]]</p> <p>第07講 [部派仏教から大乘仏教へ]]</p> <p>第08講 [大乘仏教興起直前①]]</p> <p>第09講 [大乘仏教興起直前②]]</p> <p>第10講 [大乘仏教の始まり①]]</p> <p>第11講 [大乘仏教の始まり②]]</p> <p>第12講 [大乘仏教の經典①]]</p> <p>第13講 [大乘仏教の經典②]]</p> <p>第14講 [大乘仏教の思想]]</p> <p>第15講 [特別講義]]</p> <p>第16講 [単位認定試験]]</p>

2022 武蔵野大学 通信教育部 シラバス

成績評価の方法	単位認定試験	
実践的教育を行う 授業科目の種別	a：実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目	
	担当教員の実務経験 (経歴・資格等)	
	授業内容との関連性	
	b：企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目	
	学外講師の経歴・資格等	
	授業内容	
	c：企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、 研修を行う授業科目	
	実習先・実習の目的	
備考		

科目名	『阿含経典』を読む1	
担当教員	新作 慶明	
授業方法	講義	
科目の概要	到達目標	漢訳『阿含経典』のなかから、釈尊の伝記に相当する資料を10点ほど学びます。テキストの「語釈」と「解説」を手がかりに、また、自分で参考資料などを調べながら、漢訳『阿含経典』を独力で読解することを目標とします。各資料の読解を通して、釈尊の生涯の有名な出来事についても知識を増やし、理解を深めることができます。概説書・入門書等で学んだ内容を、さらに一歩進めることにもなり、仏教理解をより深いものにできるでしょう。
	テキストの概要	なし
授業計画	<p>スクーリング（2単位）とWBTによる学習（2単位）を合わせて4単位を認定します。</p> <p><スクーリング(メディア授業)></p> <p>第01講 釈尊の生涯と教え</p> <p>第02講 初期仏典（阿含経典・律蔵）の概要</p> <p>第03講 仏典の漢訳と漢訳仏典の読み方</p> <p>第04講 テキスト第一章の講読①</p> <p>第05講 テキスト第一章の講読②</p> <p>第06講 テキスト第一章の講読③</p> <p>第07講 テキスト第一章の講読④</p> <p>第08講 テキスト第一章の講読⑤</p> <p>第09講 テキスト第二章の講読①</p> <p>第10講 テキスト第二章の講読②</p> <p>第11講 テキスト第二章の講読③</p> <p>第12講 テキスト第二章の講読④</p> <p>第13講 テキスト第二章の講読⑤</p> <p>第14講 テキスト第二章の講読⑥</p> <p>第15講 まとめ</p> <p>第16講 単位認定試験</p> <p><自宅学習></p> <p>第一章 釈尊の生涯</p> <p>第二章 釈尊の生涯（二）</p> <p>第三章 仏弟子たちをめぐって</p> <p>第四章 戒律をめぐって</p> <p>第五章 釈尊の教え</p> <p>第六章 仏教的な生き方</p>	
成績評価の方法	単位認定試験	

2022 武蔵野大学 通信教育部 シラバス

実践的教育を行う 授業科目の種別	a：実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目		
	担当教員の実務経験 (経歴・資格等)		
	授業内容との関連性		
	b：企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目		
	学外講師の経歴・資格等		
	授業内容		
	c：企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、 研修を行う授業科目		
	実習先・実習の目的		
備考			

科目名		『阿含経典』を読む2	
担当教員		新作 慶明	
授業方法		講義	
科目の概要	到達目標	①で釈尊の伝記を学んだのに続いて、さらに漢訳仏典の読解力をつけることを目指します。②で扱う資料は、有名な仏弟子のエピソードに関するもの、戒律資料、そして、原始仏教の重要な教義を扱うものなどです。②では、『阿含経典』だけではなく、戒律文献などをも取り上げることになり、幅広い資料に当たることによって、漢訳仏典読解力の向上を目指します。	
	テキストの概要	なし	
授業計画		WBTで出題される所定の回数のレポートを提出・合格の後、WBT上から単位認定申請を行うことによって8単位を認定します。 <自宅学習> 第一章 釈尊の生涯 第二章 釈尊の生涯（二） 第三章 仏弟子たちをめぐって 第四章 戒律をめぐって 第五章 釈尊の教え 第六章 仏教的な生き方	
成績評価の方法		単位認定試験	
実践的教育を行う授業科目の種別	a：実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目		
	担当教員の实務経験 (経歴・資格等)		
	授業内容との関連性		
	b：企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目		
	学外講師の経歴・資格等		
	授業内容		
	c：企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、研修を行う授業科目		
	実習先・実習の目的		
備考			

科目名		『般若経典』を読む1
担当教員		鈴木 健太・藤丸 智雄
授業方法		講義
科目の概要	到達目標	『小品系般若経』と『金剛般若経』について学習します。両経典とも幾つかの漢文が引用されて説明しています。これらの漢文の中から、スタディガイドの指示に基づいて、現代語訳するものを選択し、テキストの「語注」と「解説」を手がかりに、また、テキストに紹介されている参考資料、辞典などを参照しながら、現代語訳し、そこに示されている経典の内容についての理解することを目標とします。
	テキストの概要	本科目は、テキストにしたがって基本的に学習を進めて下さい。テキストの構成は、＜漢訳仏典原文＞－＜書き下し文＞－＜語注＞－＜解説＞という順番になっています。始めから＜原文＞を読むことは難しいでしょうから、まずは、＜書き下し文＞で漢文の大意をつかみましょう。つづいて解説を読みつつ、＜語注＞を参考にしながら＜書き下し文＞を読み直して下さい。漢文を読むことに慣れてきたら、最初から漢文を読み、＜書き下し文＞と比較し、どこを読み間違えるかをチェックするようにすると、漢文読解の力が向上すると思います。各章によって、若干学習の仕方が異なります。注意してください。
授業計画		スクーリング（2単位）とWBTによる学習（2単位）を合わせて4単位を認定します。 ＜スクーリング＞ 第01講 [仏教漢文について①] 第02講 [仏教漢文について②] 第03講 [漢和辞典の使い方] 第04講 [大乘仏教の経典①] 第05講 [般若経典概説①] 第06講 [テキスト第一章を学ぶ①] 第07講 [テキスト第一章を学ぶ②] 第08講 [テキスト第一章を学ぶ③] 第09講 [テキスト第一章を学ぶ④] 第10講 [テキスト第一章を学ぶ⑤] 第11講 [テキスト第一章を学ぶ⑥] 第12講 [テキスト第一章を学ぶ⑦] 第13講 [テキスト第二章を学ぶ①] 第14講 [単位認定試験] ＜自宅学習＞ 第1章 小品般若経 第2章 金剛般若経 第3章 般若心経 第4章 仁王般若経 第5章 理趣経 終章

2022 武蔵野大学 通信教育部 シラバス

成績評価の方法	単位認定試験	
実践的教育を行う 授業科目の種別	a：実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目	
	担当教員の実務経験 (経歴・資格等)	
	授業内容との関連性	
	b：企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目	
	学外講師の経歴・資格等	
	授業内容	
	c：企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、 研修を行う授業科目	
	実習先・実習の目的	
備考		

科目名		『般若経典』を読む2	
担当教員		鈴木 健太・藤丸 智雄	
授業方法		講義	
科目の概要	到達目標	『仁王般若経』『般若心経』『理趣経』について学習します。①で「般若経」の基本的な性格について学びましたが、②では更に学習を進めて、特徴ある個別の「般若経」の持つ個性・独自性について、学習していきます。経典そのものだけでなく、関連する仏典など幅広い資料に当たることによって漢訳を読む技術を学び、漢文を読む力の向上をはかります。最終的には、本書で扱った「般若経」全体の理解をまとめる作業を行います。	
	テキストの概要	本科目は、テキストにしたがって基本的に学習を進めて下さい。テキストの構成は、＜漢訳仏典原文＞－＜書き下し文＞－＜語注＞－＜解説＞という順番になっています。始めから＜原文＞を読むことは難しいでしょうから、まずは、＜書き下し文＞で漢文の大意をつかみましょう。つづいて解説を読みつつ、＜語注＞を参考にしながら＜書き下し文＞を読み直して下さい。漢文を読むことに慣れてきたら、最初から漢文を読み、＜書き下し文＞と比較し、どこを読み間違えるかをチェックするようにすると、漢文読解の力が向上すると思います。各章によって、若干学習の仕方が異なります。注意してください。	
授業計画		WBTで出題される所定の回数のレポートを提出・合格の後、WBT上から単位認定申請を行うことによって8単位を認定します。 <自宅学習> 第1章 小品般若経 第2章 金剛般若経 第3章 般若心経 第4章 仁王般若経 第5章 理趣経 終章	
成績評価の方法		単位認定試験	
実践的教育を行う授業科目の種別	a：実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目		
	担当教員の实務経験 (経歴・資格等)		
	授業内容との関連性		
	b：企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目		
	学外講師の経歴・資格等		
	授業内容		
c：企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、研修を行う授業科目			

2022 武蔵野大学 通信教育部 シラバス

	実習先・実習の目的	
備考		

科目名		浄土教入門
担当教員		前田 壽雄
授業方法		講義
科目の概要	到達目標	この科目は、浄土教（浄土仏教）の基本を学び、主に日本における浄土教の展開について学修する。浄土教が日本に普及して日本の文化を形成していく過程を学修することを目的とする。仏教学の専門知識を修得するための科目である。
	テキストの概要	このテキストは「インド・中国・朝鮮・日本における浄土教の展開を、特に教理史の立場から概観」しているが、最終的に、親鸞浄土教に展開していく過程をたどって、それが人類のすばらしい思想的財産となっていることを認識しようとするものである。特に日本の文化に大きな影響を与えており、わたしたちがそのことを十分に認識しているとはいえないことを反省し、しっかりとそこを学んでいこうとするものである。
授業計画		<p>スクーリング（2単位）とWBTによる学習（2単位）の計4単位の科目です。 WBTで出題される所定の回数のレポートを提出・合格の後、WBT上から単位認定申請を行うことによって2単位を認定します。</p> <p><自宅学習></p> <p>第1章 浄土教経典の思想 第2章 インドの浄土教論書 第3章 中国における浄土教教理研究の開始 第4章 隋唐宋代の浄土教 第5章 新羅時代の浄土教 第6章 奈良時代の阿弥陀信仰 第7章 平安初・中期の阿弥陀仏信仰 第8章 叡山浄土教の展開 第9章 院政期の浄土教 第10章 法然とその門下</p> <p><スクーリング></p> <p>第01講 浄土教経典の思想① 第02講 浄土教経典の思想② 第03講 インドの浄土教論書 第04講 中国における浄土教教理研究の開始① 第05講 中国における浄土教教理研究の開始② 第06講 隋唐宋代の浄土教① 第07講 隋唐宋代の浄土教②、新羅時代の浄土教 第08講 奈良時代の阿弥陀仏信仰、平安初・中期の阿弥陀仏信仰① 第09講 平安初・中期の阿弥陀仏信仰②、叡山浄土教の展開① 第10講 叡山浄土教の展開②、院政期の浄土教①</p>

2022 武蔵野大学 通信教育部 シラバス

	第11講 院政期の浄土教②、法然とその門下① 第12講 法然とその門下② 第13講 法然とその門下③、まとめ、疑問点の確認（学生からの質問と教員の指導） 第14講 単位認定試験	
成績評価の方法	単位認定試験	
実践的教育を行う 授業科目の種別	a：実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目	
	担当教員の実務経験 (経歴・資格等)	(前田 壽雄先生 職歴) 築地本願寺新報編集委員 浄土真宗本願寺派総合研究所上級研究員
	授業内容との関連性	浄土真宗本願寺派の研究所にて活動していた教員が、仏教学の 専門知識を浄土教, 真宗学の観点を中心として、解説する。
	b：企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目	
	学外講師の経歴・資格等	
	授業内容	
	c：企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、 研修を行う授業科目	
	実習先・実習の目的	
備考		

科目名		『浄土三部経』を読む1	
担当教員		長尾 重輝	
授業方法		講義	
科目の概要	到達目標	菩薩や慈悲など大乘仏教の最も根本的な思想を理解することを目的とする	
	テキストの概要	なし	
授業計画		<p>スクーリング（2単位）とWBTによる学習（2単位）を合わせて4単位を認定します。</p> <p><スクーリング></p> <p>第01講 テキスト第一章(『浄土三部経』概観) ①大乘仏教の興起とその背景 第02講 テキスト第一章(『浄土三部経』概観) ②大乘菩薩の思想の成立 第03講 テキスト第一章(『浄土三部経』概観) ③大乘仏教における浄土教の意味 第04講 テキスト第一章(『浄土三部経』概観) ④『浄土三部経』の読み方 第05講 テキスト第二章(『無量寿経』上巻)『無量寿経』の構成と内容 第06講 テキスト第二章(『無量寿経』上巻)の解説① 序分：証信序 第07講 テキスト第二章(『無量寿経』上巻)の解説② 序分：發起序 第08講 テキスト第二章(『無量寿経』上巻)の解説③ 正宗分：五十三仏、讚仏偈 第09講 テキスト第二章(『無量寿経』上巻)の解説④ 正宗分：法蔵発願、四十八願 第10講 テキスト第二章(『無量寿経』上巻)の解説⑤ 正宗分：四十八願、重誓偈 第11講 テキスト第二章(『無量寿経』上巻)の解説⑥ 正宗分：法蔵菩薩の修行と願の成就 第12講 テキスト第二章(『無量寿経』上巻)の解説⑦ 正宗分：光寿無量～宝樹 第13講 テキスト第二章(『無量寿経』上巻)の解説⑧ 正宗分：道場樹の莊嚴～華光出仏 第14講 まとめ 上巻と下巻の関係 下巻の概要 単位認定試験</p> <p><自宅学習></p> <p>第一章 『浄土三部経』概観 第二章 仏説無量寿経上巻 第三章 仏説無量寿経下巻 第四章 仏説観無量寿経 第五章 仏説阿弥陀経 第六章 浄土思想の歴史概観</p>	
成績評価の方法		単位認定試験	
実践的教育を行う授業科目の種別		a：実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目	
		担当教員の実務経験 (経歴・資格等)	
		授業内容との関連性	

2022 武蔵野大学 通信教育部 シラバス

	b：企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目	
	学外講師の経歴・資格等	
	授業内容	
	c：企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、研修を行う授業科目	
	実習先・実習の目的	
備考		

科目名		『浄土三部経』を読む2	
担当教員		長尾 重輝	
授業方法		講義	
科目の概要	到達目標	『観無量寿経』『阿弥陀経』を読みます。『観無量寿経』では時代を超えて普遍的な人間の苦悩が描かれます。仏の慈悲がこの人間の苦悩のために説かれたこと、我々一人一人のために呼びかけられているということを理解したいと思います。特に日本では法然・親鸞という偉大な思想家によって浄土教は絶対他力思想としての最終的な完成を見ました。その意義も考えて見たいと思います。最後にまとめとして現在に生きる私たちに浄土三部経が何を問い掛けているのかを考えたいと思っています。	
	テキストの概要	なし	
授業計画		WBTで出題される所定の回数のレポートを提出・合格の後、WBT上から単位認定申請を行うことによって8単位を認定します。 <自宅学習> 第一章 『浄土三部経』概観 第二章 仏説無量寿経上巻 第三章 仏説無量寿経下巻 第四章 仏説観無量寿経 第五章 仏説阿弥陀経 第六章 浄土思想の歴史概観	
成績評価の方法		単位認定試験	
実践的教育を行う授業科目の種別	a：実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目		
	担当教員の実務経験 (経歴・資格等)		
	授業内容との関連性		
	b：企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目		
	学外講師の経歴・資格等		
	授業内容		
	c：企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、研修を行う授業科目		
実習先・実習の目的			
備考			

科目名		『教行信証』を読む1
担当教員		合群 信哉
授業方法		講義
科目の概要	到達目標	『教行信証』の成立時期やその撰述の動機等について検討し、続いて、「総序」・「教巻」・「行巻」、そして「信巻」の前半部分を学びます。テキストの「語釈」と「解説」を手がかりに、また、自分で参考資料などを調べながら、『教行信証』前半の内容を大まかに把握するとともに、そこに説かれた親鸞の重要な教義を理解することを目標とします。また、書き下し文に基づきながら、漢文の原典の読解を進めることにより、漢文でつづられた仏教書の読解力が高まる副次的な学習効果も期待できます。
	テキストの概要	なし
授業計画		<p>スクーリング（2単位）とWBTによる学習（2単位）を合わせて4単位を認定します。</p> <p><スクーリング></p> <p>第01講 『教行信証』の成立について</p> <p>第02講 『教行信証』の書誌等について</p> <p>第03講 テキスト全体の概要</p> <p>第04講 テキスト第二章・第三章の解説</p> <p>第05講 テキスト第四章の解説①</p> <p>第06講 テキスト第四章の解説②</p> <p>第07講 テキスト第五章の解説①</p> <p>第08講 テキスト第五章の解説②</p> <p>第09講 テキスト第五章の解説③</p> <p>第10講 テキスト第六章の解説①</p> <p>第11講 テキスト第六章の解説②</p> <p>第12講 テキスト第六章の解説③</p> <p>第13講 疑問点の確認（学生からの質問と教員の指導）</p> <p>第14講 単位認定試験</p> <p><自宅学習></p> <p>第01章 『教行信証』とは</p> <p>第02章 総序の文</p> <p>第03章 教巻</p> <p>第04章 行巻①</p> <p>第05章 行巻②</p> <p>第06章 信巻①</p> <p>第07章 信巻②</p> <p>第08章 信巻③</p> <p>第09章 証巻</p> <p>第10章 真仏土巻</p>

2022 武蔵野大学 通信教育部 シラバス

	第11章 化身土巻① 第12章 化身土巻②	
成績評価の方法	単位認定試験	
実践的教育を行う 授業科目の種別	a：実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目	
	担当教員の実務経験 (経歴・資格等)	
	授業内容との関連性	
	b：企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目	
	学外講師の経歴・資格等	
	授業内容	
	c：企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、 研修を行う授業科目	
	実習先・実習の目的	
備考		

科目名		『教行信証』を読む2	
担当教員		合群 信哉	
授業方法		講義	
科目の概要	到達目標	①に続いて、「信巻」後半部分・「証巻」・「真仏土巻」・「化身土巻」を読み進み、『教行信証』後半の内容を大まかに把握し、さらに親鸞の教義を深く理解することを目指します。①②をとおして学ぶことにより、『教行信証』の全体像を把握し、それに伴って、親鸞の根本的な立場やその思想的特質を理解することもできるでしょう。	
	テキストの概要	なし	
授業計画		<p>WBTで出題される所定の回数のレポートを提出・合格の後、WBT上から単位認定申請を行うことによって8単位を認定します。</p> <p><自宅学習></p> <p>第01章 『教行信証』とは</p> <p>第02章 総序の文</p> <p>第03章 教巻</p> <p>第04章 行巻①</p> <p>第05章 行巻②</p> <p>第06章 信巻①</p> <p>第07章 信巻②</p> <p>第08章 信巻③</p> <p>第09章 証巻</p> <p>第10章 真仏土巻</p> <p>第11章 化身土巻①</p> <p>第12章 化身土巻②</p>	
成績評価の方法		単位認定試験	
実践的教育を行う授業科目の種別	a：実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目		
	担当教員の実務経験 (経歴・資格等)		
	授業内容との関連性		
	b：企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目		
	学外講師の経歴・資格等		
	授業内容		
c：企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、研修を行う授業科目			

2022 武蔵野大学 通信教育部 シラバス

	実習先・実習の目的	
備考		

科目名	『歎異抄』を読む1	
担当教員	前田 壽雄	
授業方法	講義	
科目の概要	到達目標	『歎異抄』前序、第一条、第二条、第三条を学びます。テキストの【講読】を手がかりに、【本文】を独力で読解することを目標とします。『歎異抄』は題名からも知られるように、親鸞の教えと異なる主張（異義）がさまざまにあることを歎き、親鸞の正しい教えとは何かを明らかにした書です。したがって、『歎異抄』には親鸞の教えが簡潔に示され、その教えを基準として、誤った主張が明らかにされています。ここでは異義を歎くという姿勢や阿弥陀仏の本願のこころを学びます。その際、他力、本願、念仏、信心、往生、悪人正機などの用語の意味をしっかりと把握し、浄土真宗に関する基礎知識を身につけて下さい。仏教学（真宗学）の専門知識を修得するための科目です。
	テキストの概要	①の範囲：テキスト1～156ページ
授業計画	<p>スクーリング（2単位）とWBTによる学習（2単位）を合わせて4単位を認定します。WBTで出題される所定の回数のレポートを提出・合格の後、WBT上から単位認定申請を行うことによって2単位を認定します。</p> <p>また、本校（東京都西東京市）で行われるスクーリング（全14コマ）に出席し、最終日に教員より課される単位認定試験に合格することで2単位を認定します。</p> <p>スクーリングに代えてメディア授業を受講する場合は、メディア授業視聴後、WBT上から単位認定試験レポートを提出し、合格することで2単位（スクーリング単位）を認定し〈自宅学習〉</p> <p>前序 異義を歎く 第一条 本願のこころ 第二条 念仏に生きる 第三条 悪人正機の本願</p> <p>〈スクーリング〉</p> <p>メディア授業の学習範囲・学習内容（①のみ）</p> 第01講 前序 異義を歎く 第02講 第一条 本願のこころ① 第03講 第一条 本願のこころ② 第04講 第一条 本願のこころ③ 第05講 第一条 本願のこころ④ 第06講 第一条 本願のこころ⑤ 第07講 第二条 念仏に生きる① 第08講 第二条 念仏に生きる② 第09講 第二条 念仏に生きる③ 第10講 第二条 念仏に生きる④ 第11講 第三条 悪人正機の本願①	

2022 武蔵野大学 通信教育部 シラバス

	第12講 第三条 悪人正機の本願② 第13講 第三条 悪人正機の本願③ 第14講 第三条 悪人正機の本願④ 第15講 まとめ	
成績評価の方法	単位認定試験	
実践的教育を行う 授業科目の種別	a: 実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目	
	担当教員の 実務経験 (経歴・資格等)	(前田 壽雄先生 職歴) 築地本願寺新報編集委員 浄土真宗本願寺派総合研究所上級研究員
	授業内容との 関連性	浄土真宗本願寺派の研究所にて活動していた教員が、仏教学の 専門知識を真宗学の観点を中心として、解説する。
	b: 企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目	
	学外講師の 経歴・資格等	
	授業内容	
	c: 企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、 研修を行う授業科目	
	実習先・実習の 目的	
備考		

科目名		『歎異抄』を読む2	
担当教員		前田 壽雄	
授業方法		講義	
科目の概要	到達目標	<p>第三条まで学んだのに続いて、さらに『歎異抄』を読み進め、第四条、第五条、第六条、第七条、第八条、第九条、第十条、後序を学びます。①と同じくテキストの【講読】を手がかりに、【本文】を独力で読解することを目標とします。その際、①で培った浄土真宗に関する基礎知識をベースに、『歎異抄』の内容分析と理解を深めていきます。浄土の慈悲や他力の念仏、他力の悲願など親鸞の教えの特徴を把握するよう努めて下さい。親鸞の教えは『教行信証』に集大成されていますが、『歎異抄』はそれをより明快に驚くような大胆な表現を用いて述べられています。また、現代の私たちの生き方を問う珠玉の名言に満ちた書です。『歎異抄』を通して本願に救われる意味を学んで下さい。仏教学（真宗学）の特有の視座や思考方法を修得するための科目です。</p>	
	テキストの概要	②の範囲：テキスト157～365ページ	
授業計画		<p>WBTで出題される所定の回数のレポートを提出・合格の後、WBT上から単位認定申請を行うことによって8単位を認定します。</p> <p><自宅学習></p> <p>第四条 浄土の慈悲 第五条 追善回向を超えて 第六条 親鸞は弟子一人ももたず 第七条 無礙の一道 第八条 他力の念仏 第九条 他力の悲願 第十条 はからいの誠め 後序</p>	
成績評価の方法		単位認定試験	
実践的教育を行う授業科目の種別	a：実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目		○
	担当教員の实務経験（経歴・資格等）	（前田 壽雄先生 職歴）築地本願寺新報編集委員 浄土真宗本願寺派総合研究所上級研究員	
	授業内容との関連性	浄土真宗本願寺派の研究所にて活動していた教員が、仏教学の専門知識を真宗学の観点を中心として、解説する。	
	b：企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目		
	学外講師の経歴・資格等		
	授業内容		

2022 武蔵野大学 通信教育部 シラバス

	c：企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、 研修を行う授業科目	
	実習先・実習の目的	
備考		

科目名	真宗教義（SR）														
担当教員	前田 壽雄														
授業方法	講義														
科目の概要	<p>この科目では、真宗教義の基礎となる「浄土三部経」（『無量寿経』『観無量寿経』『阿弥陀経』）、「七祖聖教」、及び『顕浄土真実教行証文類』（『教行信証』）、「三帖和讃」（『浄土和讃』『高僧和讃』『正像末和讃』）、『歎異抄』等を通して、親鸞教義とその背景となる教えについて学習することを目的とする。仏教学（真宗学）の専門知識を修得するための科目である。</p> <p>親鸞が鎌倉時代に新たに開頭した浄土真宗とは一体如何なる仏教であるのか、その根本思想とは何か。それはインドで発祥し中央アジアさらに中国、朝鮮半島に伝播し日本に伝承された、大乘仏教の歴史において如何なる意義と影響を及ぼしてきたのかを学ぶことである。</p> <p>具体的には阿弥陀仏の本願と釈尊の『無量寿経』、龍樹・天親・曇鸞・道綽・善導・源信・法然の七高僧から、さらに親鸞へと展開する教義的關係を、如何に理解したらよいか。</p> <p>また、親鸞教義を最も体系的・組織的に書かれた『教行信証』を中心として、阿弥陀仏・本願・念仏・信心・利益・浄土などの重要な真宗教義の概念を、如何に理解したらよいか。</p> <p>さらに、親鸞以後の浄土真宗の展開について、覚如・存覚・蓮如の教学、さらには江戸時代の宗学、明治以後の近現代の教学の要点を、如何に把握したらよいか。</p> <p>以上の課題について取り組むこととなる。</p>														
	テキストの概要	<p>このテキストでは、「序章 親鸞聖人の生涯」「第一章 親鸞教義の背景」「第二章 親鸞聖人の教義」と構成されている通り、前半で親鸞教義の背景となる「浄土三部経」の教えと七祖の教えを、後半で親鸞教義が学べるようになっている。</p>													
授業計画	<p>スクーリング（2単位）とWBTによる学習（2単位）の計4単位の科目です。</p> <p><スクーリング></p> <table border="0"> <tr> <td>第01講 [真宗教義とは 大経の教え]</td> <td>第02講 [大経の教え]</td> </tr> <tr> <td>第03講 [観経の教え 小経の教え]</td> <td>第04講 [龍樹菩薩の教え]</td> </tr> <tr> <td>第05講 [天親菩薩の教え]</td> <td>第06講 [曇鸞大師の教え]</td> </tr> <tr> <td>第07講 [道綽禅師の教え]</td> <td>第08講 [善導大師の教え]</td> </tr> <tr> <td>第09講 [源信和尚の教え]</td> <td>第10講 [法然聖人の教え]</td> </tr> <tr> <td>第11講 [親鸞聖人の教義①]</td> <td>第12講 [親鸞聖人の教義②]</td> </tr> <tr> <td>第13講 [親鸞聖人の教義③]</td> <td>第14講 [単位認定試験]</td> </tr> </table> <p><自宅学習></p> <p>序章 親鸞聖人の生涯 第一章 親鸞教義の背景 第二章 親鸞聖人の教義</p>	第01講 [真宗教義とは 大経の教え]	第02講 [大経の教え]	第03講 [観経の教え 小経の教え]	第04講 [龍樹菩薩の教え]	第05講 [天親菩薩の教え]	第06講 [曇鸞大師の教え]	第07講 [道綽禅師の教え]	第08講 [善導大師の教え]	第09講 [源信和尚の教え]	第10講 [法然聖人の教え]	第11講 [親鸞聖人の教義①]	第12講 [親鸞聖人の教義②]	第13講 [親鸞聖人の教義③]	第14講 [単位認定試験]
第01講 [真宗教義とは 大経の教え]	第02講 [大経の教え]														
第03講 [観経の教え 小経の教え]	第04講 [龍樹菩薩の教え]														
第05講 [天親菩薩の教え]	第06講 [曇鸞大師の教え]														
第07講 [道綽禅師の教え]	第08講 [善導大師の教え]														
第09講 [源信和尚の教え]	第10講 [法然聖人の教え]														
第11講 [親鸞聖人の教義①]	第12講 [親鸞聖人の教義②]														
第13講 [親鸞聖人の教義③]	第14講 [単位認定試験]														
成績評価の方法	単位認定試験														

2022 武蔵野大学 通信教育部 シラバス

実践的教育を行う 授業科目の種別	a：実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目		○
	担当教員の実務経験 (経歴・資格等)	(前田 壽雄先生 職歴) 築地本願寺新報編集委員 浄土真宗本願寺派総合研究所上級研究員	
	授業内容との関連性	浄土真宗本願寺派の研究所にて活動していた教員が、仏教学の 専門知識を浄土真宗本願寺派の観点を中心として、解説する。	
	b：企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目		
	学外講師の経歴・資格等		
	授業内容		
	c：企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、 研修を行う授業科目		
	実習先・実習の目的		
備考			

科目名		真宗教義（R）	
担当教員		前田 壽雄	
授業方法		講義	
科目の概要	到達目標	<p>この科目では、真宗教義の基礎となる「浄土三部経」（『無量寿経』『観無量寿経』『阿弥陀経』）、「七祖聖教」、及び『顕浄土真実教行証文類』（『教行信証』）、「三帖和讃」（『浄土和讃』『高僧和讃』『正像末和讃』）、『歎異抄』等を通して、親鸞教義とその背景となる教えについて学習することを目的とする。仏教学（真宗学）の専門知識を修得するための科目である。</p> <p>親鸞が鎌倉時代に新たに開頭した浄土真宗とは一体如何なる仏教であるのか、その根本思想とは何か。それはインドで発祥し中央アジアさらに中国、朝鮮半島に伝播し日本に伝承された、大乘仏教の歴史において如何なる意義と影響を及ぼしてきたのかを学ぶことである。</p> <p>具体的には阿弥陀仏の本願と釈尊の『無量寿経』、龍樹・天親・曇鸞・道綽・善導・源信・法然の七高僧から、さらに親鸞へと展開する教義的關係を、如何に理解したらよいか。</p> <p>また、親鸞教義を最も体系的・組織的に書かれた『教行信証』を中心として、阿弥陀仏・本願・念仏・信心・利益・浄土などの重要な真宗教義の概念を、如何に理解したらよいか。</p> <p>さらに、親鸞以後の浄土真宗の展開について、覚如・存覚・蓮如の教学、さらには江戸時代の宗学、明治以後の近現代の教学の要点を、如何に把握したらよいか。</p> <p>以上の課題について取り組むこととなる。</p>	
	テキストの概要	<p>このテキストでは、「序章 親鸞聖人の生涯」「第一章 親鸞教義の背景」「第二章 親鸞聖人の教義」と構成されている通り、前半で親鸞教義の背景となる「浄土三部経」の教えと七祖の教えを、後半で親鸞教義が学べるようになっている。</p>	
授業計画	<p>WB Tで出題される所定の回数のレポートを提出・合格の後、WB T上で行われる単位認定試験に合格することで4単位を認定します。</p> <p><自宅学習></p> <p>序 章 親鸞聖人の生涯 第一章 親鸞教義の背景 第二章 親鸞聖人の教義</p>		
成績評価の方法	単位認定試験		
実践的教育を行う授業科目の種別	a：実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目		○
	担当教員の実務経験（経歴・資格等）	（前田 壽雄先生 職歴）築地本願寺新報編集委員 浄土真宗本願寺派総合研究所上級研究員	
	授業内容との関連性	浄土真宗本願寺派の研究所にて活動していた教員が、仏教学の専門知識を浄土真宗本願寺派の観点を中心として、解説する。	

2022 武蔵野大学 通信教育部 シラバス

	b: 企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目	
	学外講師の経歴・資格等	
	授業内容	
	c: 企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、研修を行う授業科目	
	実習先・実習の目的	
備考		

科目名		真宗史 (T)	
担当教員		岡村 喜史	
授業方法		講義	
科目の概要	到達目標	この科目では、浄土真宗の歴史と本願寺の歩みについて学び、日本の歴史の流れを踏まえつつ、各時代の社会の動きを考慮し、多角的な浄土真宗の歴史について理解することを目的とする。	
	テキストの概要	このテキストでは、浄土真宗を開いた親鸞の生涯から、親鸞の教えを受け継ぐ本願寺がどのように成立し、その後の社会のなかでどのように歩んできたのかについて、現代までの各時代を端的に記述されている。	
授業計画		<p>WB Tで出題される所定の回数のエクササイズに合格の後、WB T上で行われる単位認定試験に合格することで(4)単位を認定します。</p> <p><自宅学習></p> <p>A 親鸞聖人のご誕生</p> <p>A 比叡山でのご修行</p> <p>A 源空聖人のもとで本願に帰す</p> <p>A 非僧非俗の生活</p> <p>A 関東での伝道</p> <p>A 京都での著述</p> <p>A 親鸞聖人の往生と廟堂建立</p> <p>A 本願寺と覚如宗主</p> <p>A 蓮如宗主と教団</p> <p>A 顕如宗主から本願寺教団の発展</p> <p>B 真宗教団の形成と発展</p> <p>B 本願寺の東西分派</p> <p>B 江戸幕府による宗教政策</p> <p>B 幕藩体制下の本願寺</p> <p>B 明治期における国家と宗教</p> <p>B 第二次世界大戦後の宗門の歩み</p>	
成績評価の方法		単位認定試験	
実践的教育を行う授業科目の種別	a: 実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目		
	担当教員の实務経験 (経歴・資格等)		
	授業内容との関連性		
	b: 企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目		
	学外講師の経歴・資格等		

2022 武蔵野大学 通信教育部 シラバス

	授業内容	
	c : 企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、 研修を行う授業科目	
	実習先・実習の目的	
備考		

科目名	仏教思想入門
担当教員	高柳 さつき・日野 慧運
授業方法	講義
到達目標	<p>この科目は、大乘仏教のものの見方、考え方について基本的な理解を得ることを目的としています。</p> <p>(1) インドにおいて大乘仏教がどのように成立してきたか。 (2) 大乘仏教の基本的なものの見方、考え方とは、いったいどのようなものであるか。 (3) 大乘仏教の代表的な思想にはどのようなものがあるか。 (4) 大乘仏教運動を担う主体である「菩薩」とはいかなるものであるか。 (5) 大乘仏教の菩薩はどのような修行の階梯を経て仏道を完成させていくか。 (6) 大乘仏教における仏とはどのようなものであるか。</p> <p>以上の6点について十分な理解が得られ、自分の言葉でしっかりと説明できるようになることが、この科目の到達目標です。</p>
科目の概要	<p>1. テキスト① タイトル：『仏教思想入門』 ※市販名：竹村 牧男『大乘仏教入門』（佼成出版社 2003）</p> <p>2. テキスト② タイトル：『仏教思想入門』 ※市販名：大正大学仏教学科（編）『仏教とはなにか その思想を検証する』（大法輪閣 1999）</p> <p>3. テキスト③ タイトル：『仏教思想入門』 ※市販名：平川彰『インド仏教史』（上）（春秋社 1974）</p> <p>テキスト①の概要 このテキストは市販名の通り大乘仏教の入門書です。第1章「大乘仏教とは何か」、第2章「大乘仏教のこころ」、第3章「菩薩という人生」、第4章「本当の幸せ」という4章から構成されています。第1章では大乘仏教の成立の思想的・社会的背景、および大乘仏教運動を担う「菩薩」に関する説明がなされます。第2章では大乘仏教の基本思想について解説されています。第3章では、大乘仏教の菩薩の修行論、実践論が明らかにされ、第4章では、大乘仏教の仏陀観、仏身論について説明されています。</p> <p>テキスト②の概要 このテキストは仏教思想全体の入門書です。第一章「古代インドの思想」、第二章「大乘仏教の思想」、第三章「大乘経典の成立と展開」、第四章「大乘仏教思想の展開」、第五章「日本仏教を形作った思想家たち」、第六章「その他の国々の仏教思想」の六章から構成されています。今回のレポート課題の範囲は第二章だけに絞られていますが、大乘仏教について理解するためには、前提となる第一章の内容や、大乘仏教の経典や思想を詳しく紹介した第三章以下の内容も学ぶことが必要です。まず第二章を学ばれた上で、余裕があれば他の章も参照してください。</p> <p>テキスト③の概要 このテキストは詳細かつ信頼性の高いインド仏教史の概説書で、上下二巻の上巻にあたる本書は、第一章「原始仏教」、第二章「部派仏教」、第三章「初期の大乘仏教」より構成されま</p>
テキストの概要	

		<p>す。本科目で学んでいただくのはこのうち第三章第三節「大乘仏教の源流」、四節「初期の大乘經典の思想」、五節「初期大乘仏教の思想と実践」（326～398頁）ですが、テキスト②と同様、余裕があれば前後章についても学びを深めていただければと思います。なお、本テキストは著者である故平川彰博士の学説を反映して、大乘仏教の起原として「仏塔信仰を核とした在家者中心の集団」を最有力視していますが、今日ではこの説は批判的に捉える必要がありますので注意してください。</p>
授業計画		<p>WBTによる学習（2単位）とスクーリング（2単位）の計4単位の科目です。 <自宅学習> WBTによる学習：WBT上で出題される所定の回数のレポートを提出する。 【出題範囲】 テキスト①の場合 I、III、IV章 テキスト②の場合 第二章 大乘仏教の思想 テキスト③の場合 第三章 初期の大乘仏教 第三節～第五節 <スクーリング> 第1講 [スクーリング・ガイダンス／『法華経』とはどういう經典か—歴史と展開—] 第2講 [『法華経』基本思想1「二乗作仏」（法の開頭…あるもの一切の眞実相とは）] 第3講 [『法華経』基本思想2「久遠実成」（仏の開頭…本当のブツダとは）] 第4講 [法華思想の展開] 第5講 [唯識思想とは何か—歴史と展開—] 第6講 [唯識の基本思想 心の仕組みと働き／心の外に「存在」するものの存在性] 第7講 [唯識の展開] 第8講 [禪仏教とは何か] 第9講 [禪の基本思想] 第10講 [禪思想の展開] 第11講 [『華嚴経』とはどういう經典か—歴史と展開—] 第12講 [『華嚴経』の基本思想—法界縁起] 第13講 [華嚴思想の展開] 第14講 [単位認定試験]</p>
成績評価の方法		単位認定試験
実践的教育を行う授業科目の種別	a：実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目	
	担当教員の实務経験（経歴・資格等）	
	授業内容との関連性	
	b：企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目	
	学外講師の経歴・資格等	

2022 武蔵野大学 通信教育部 シラバス

	授業内容	
	c：企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、研修を行う授業科目	
	実習先・実習の目的	
備考		

科目名	『法華経』を読む1	
担当教員	岡田 文弘	
授業方法	講義	
科目の概要	到達目標	<p>テキスト「第一章『法華経』へのいとぐち一序品第一」、「第二章 宥和の思想一方便品第二」を学びます。第一章では、インド仏教における『法華経』の位置、中国・日本を中心とする東アジア仏教における同経の影響について概観します。次に経の内容として、一乗思想、久遠実成の釈尊、種々の菩薩行、観音菩薩信仰などのさまざまな信仰についてそのアウトラインを学びます。ついで、経の導入部分である序品の抜粋を良く読んで理解します。</p> <p>第二章では経の中心思想の一つである一乗思想が説かれます。これについて十分にテキストを読み込み、理解に努めます。具体的には、一乗思想について経文を読みながら理解に努めます。すなわち釈尊がこの世に出た一大事の目的は、全ての者たちを平等に救うことであると示します。そして、大小乗の全ての教えを統合する一乗真実の思想は『法華経』のみに完全に明かされると説きます。さらに、どんな小さな善行によってでもすべての人が救われる、とさえも述べます。これらの独自の・先進的な思想を理解します。</p>
	テキストの概要	なし
授業計画	<p>スクーリング（2単位）とWBTによる学習（2単位）を合わせて4単位を認定します。</p> <p><スクーリング></p> <p>第01講 『法華経』の成立 第02講 『法華経』の中心思想 第03講 『法華経』の受容 第04講 テキスト第一章解説 第05講 テキスト第二章解説 第06講 テキスト第二章解説 第07講 テキスト第三章解説 第08講 テキスト第三章解説 第09講 テキスト第四章解説 第10講 テキスト第四章解説 第11講 テキスト第五章解説 第12講 テキスト第五章解説 第13講 テキスト第六章解説 第14講 まとめ</p> <p><自宅学習></p> <p>第1章 『法華経』へのいとぐち一序品第一 第2章 宥和の思想一方便品第二 第3章 慈悲もて導く一信解品第四 第4章 久遠の本仏一如来寿量品第十六</p>	

	第5章 人を敬う―常不軽菩薩品第二十 第6章 願望をかなえる―観世音菩薩普門品第二十五（『観音経』）	
成績評価の方法	単位認定試験	
実践的教育を行う 授業科目の種別	a：実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目	
	担当教員の実務経験 (経歴・資格等)	
	授業内容との関連性	
	b：企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目	
	学外講師の経歴・資格等	
	授業内容	
	c：企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、 研修を行う授業科目	
	実習先・実習の目的	
備考		

科目名		『法華経』を読む2	
担当教員		岡田 文弘	
授業方法		講義	
科目の概要	到達目標	第三章「慈悲もて導く一信解品第四～従地涌出品第十五」、第四章「久遠の本仏一如来寿量品第十六～法師功德品第十九」、第五章「人を敬う一常不軽菩薩品第二十～妙音菩薩品第二十四」、第六章「願望をかなえる一観世音菩薩品第二十五～普賢菩薩勸発品第二十八」までを学びます。各章の肝要は、第三章では、法師品第十以下に菩薩が登場し、『法華経』の仏滅後の流布について説かれます。第四章では如来寿量品第十六で久遠の本師としての釈迦牟尼仏が説かれ、第五章では仏滅後の菩薩行のあり方が説かれ、第六章では観音菩薩や普賢菩薩などによる衆生救済の様相、現世利益信仰などが説かれています。これらについて、経文を読みながら理解を深めます。	
	テキストの概要	なし	
授業計画		<p>WBTで出題される所定の回数のレポートを提出・合格の後、WBT上から単位認定申請を行うことによって8単位を認定します。</p> <p><自宅学習></p> <p>第1章 『法華経』へのいとぐち一序品第一</p> <p>第2章 宥和の思想一方便品第二</p> <p>第3章 慈悲もて導く一信解品第四</p> <p>第4章 久遠の本仏一如来寿量品第十六</p> <p>第5章 人を敬う一常不軽菩薩品第二十</p> <p>第6章 願望をかなえる一観世音菩薩普門品第二十五（『観音経』）</p>	
成績評価の方法		単位認定試験	
実践的教育を行う授業科目の種別	a：実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目		
	担当教員の実務経験（経歴・資格等）		
	授業内容との関連性		
	b：企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目		
	学外講師の経歴・資格等		
	授業内容		
	c：企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、研修を行う授業科目		
	実習先・実習の目的		

備考

科目名		『華嚴経』を読む1
担当教員		西本 照真
授業方法		講義
科目の概要	到達目標	テキストの「第一章『華嚴経』概観」、「第二章 仏陀観」について学びます。まず、「第一章『華嚴経』概観」では、『華嚴経』とはどういう経典か、『華嚴経』の翻訳、構成、中心思想などについて概観します。第二章以下で、具体的に『華嚴経』を読み進んでいくための基礎的準備として、『華嚴経』の全体像を把握することが目標です。「第二章 仏陀観」は、『華嚴経』の仏である盧舎那仏のさとり場面、盧舎那仏の放つ光明によって照らし出される世界の様相などについて学びます。『華嚴経』に説かれる盧舎那仏には、いわゆる仏身だけでなく世界や衆生も含まれます。他の経典とは異なった壮大な仏陀観を学ぶことが第二章の目標です。
	テキストの概要	なし
授業計画		<p>スクーリング（2単位）とWBTによる学習（2単位）を合わせて4単位を認定します。WBTで出題される所定の回数のレポートを提出・合格の後、WBT上から単位認定申請を行うことによって2単位を認定します。</p> <p><スクーリング(メディア授業)></p> <p>第01講 テキスト第一章第一節、第二節、第三節の解説 第02講 テキスト第一章第四節、第五節、第六節の解説 第03講 テキスト第二章第一節読解演習 第04講 テキスト第二章第二節読解演習 第05講 テキスト第二章第三節、第四節読解演習 第06講 テキスト第二章第五節、第六節読解演習 第07講 テキスト第二章第七節、第八節読解演習 第08講 テキスト第二章第九節、第十節読解演習 第09講 テキスト第二章第十一節、第十二節の読解演習 第10講 テキスト第三章 概観 第11講 テキスト第四章 概観 第12講 テキスト第五章 概観 第13講 テキスト第六章 概観 第14講 まとめ 第15講 疑問点の確認（学生からの質問と教員の指導） 第16講 単位認定試験</p> <p><自宅学習></p> <p>第一章 『華嚴経』概観 第二章 仏陀観 第三章 菩薩の修行（一）</p>

	第四章 菩薩の修行（二） 第五章 善財童子の求法の物語 第六章 心と如来	
成績評価の方法	単位認定試験	
実践的教育を行う 授業科目の種別	a：実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目	
	担当教員の実務経験 (経歴・資格等)	
	授業内容との関連性	
	b：企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目	
	学外講師の経歴・資格等	
	授業内容	
	c：企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、 研修を行う授業科目	
	実習先・実習の目的	
備考		

科目名		『華嚴経』を読む2	
担当教員		西本 照真	
授業方法		講義	
科目の概要	到達目標	①で学んだ『華嚴経』の全体像、および仏陀観をふまえて、さらに「第三章 菩薩の修行（一）」、「第四章 菩薩の修行（二）」、「第五章 善財童子の求道の物語」、「第六章 心と如来」の各章を学んでいきます。『華嚴経』は全部で六十巻もある大部の経典ですが、これらの章を学ぶことによって、『華嚴経』の重要な思想について一通り学ぶことができます。テキストの「語釈」と「解説」を手がかりに、また、自分で参考資料などを調べながら、漢訳『華嚴経』を独力で読解する力を養って下さい。	
	テキストの概要	なし	
授業計画		WBTで出題される所定の回数のレポートを提出・合格の後、WBT上から単位認定申請を行うことによって8単位を認定します。 〈自宅学習〉 第一章 『華嚴経』概観 第二章 仏陀観 第三章 菩薩の修行（一） 第四章 菩薩の修行（二） 第五章 善財童子の求法の物語 第六章 心と如来	
成績評価の方法		単位認定試験	
実践的教育を行う授業科目の種別	a：実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目		
	担当教員の実務経験（経歴・資格等）		
	授業内容との関連性		
	b：企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目		
	学外講師の経歴・資格等		
	授業内容		
	c：企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、研修を行う授業科目		
実習先・実習の目的			
備考			

科目名		『唯識三十頌』を読む1
担当教員		加藤 弘二郎
授業方法		講義
科目の概要	到達目標	①では、全30偈から構成されている玄奘訳（漢訳）『唯識三十頌』のアーヤ識説について概観します。具体的には、まずその前段階として、唯識思想が芽生えたとされる時期から、唯識教学の集大成と言われる『唯識三十頌』が完成するまでの思想変遷について概観し、その歴史を踏まえた上で、『唯識三十頌』の第1偈から第7偈までの読解を通して、唯識説の基礎となる「アーヤ識」・「マナ識」という「心の働き」について理解を深めます。唯識思想のもっとも根幹に位置する「アーヤ識」説が、どのような理屈の上に成り立っているかについて学ぶことができます。
	テキストの概要	テキストの構成は、各偈について〈漢訳『唯識三十頌』原文〉―〈その読み下し文〉―〈漢訳『成唯識論』原文（抜粋）〉―〈その読み下し文〉―〈両者の解説〉という順番になっています。『唯識三十頌』もさることながら、その注釈書である『成唯識論』も非常に難解な文章となっております。『成唯識論』を完全に理解しようとするのではなく、あくまで補助的な文献と位置づけて、根本のテキストである『唯識三十頌』の頌文をゆっくり噛みしめるように味わっていただけたらと思います。
授業計画		<p>スクーリング（2単位）とWBTによる学習（2単位）を合わせて4単位を認定します。</p> <p>〈スクーリング〉</p> <p>第01講 仏教史における唯識思想の位置づけ 第02講 唯識思想における『唯識三十頌』の位置づけ 第03講 ダルマの定義 第04講 仏教史に見るダルマ理解の変遷 第05講 テキスト第一偈の解説 第06講 テキスト第二偈の解説 第07講 テキスト第三偈の解説 第08講 テキスト第四偈の解説およびアーヤ識の働きについて 第09講 テキスト第五偈の解説 第10講 テキスト第六偈および第七偈の解説 第11講 マナ識の働きについて 第12講 仏教史に見る空理解の変遷 第13講 三性説および修道論について 第14講 単位認定試験</p> <p>〈自宅学習〉</p> <p>第1章 唯識思想概観 第2章 識の働き（その1） 第3章 識の働き（その2） 第4章 識の働き（その3） 第5章 三性三無性説</p>

	第6章 修行論	
成績評価の方法	単位認定試験	
実践的教育を行う 授業科目の種別	a：実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目	
	担当教員の実務経験 (経歴・資格等)	
	授業内容との関連性	
	b：企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目	
	学外講師の経歴・資格等	
	授業内容	
	c：企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、 研修を行う授業科目	
	実習先・実習の目的	
備考		

科目名		『唯識三十頌』を読む2	
担当教員		加藤 弘二郎	
授業方法		講義	
科目の概要	到達目標	②では、①で学んだ基礎的な知識を一步進めて、実際に我々がこの世界で見たり聞いたりする事象に関して、唯識説ではどのように解釈しうるのかについて、「三性説」という理論を紐解きながら理解を深めます。さらに唯識思想において最終目標とされる「智の獲得」が、いかなる意味を持つのか、またその獲得に必要とされる修行の階梯にはどのようなものがあるのかについて理解を深めます。	
	テキストの概要	テキストの構成は、各偈について<漢訳『唯識三十頌』原文>-<その読み下し文>-<漢訳『成唯識論』原文(抜粋)>-<その読み下し文>-<両者の解説>という順番になっています。『唯識三十頌』もさることながら、その注釈書である『成唯識論』も非常に難解な文章となっております。『成唯識論』を完全に理解しようとするのではなく、あくまで補助的な文献と位置づけて、根本のテキストである『唯識三十頌』の頌文をゆっくり噛みしめるように味わっていただけたらと思います。	
授業計画		WBT で出題される所定の回数のレポートを提出・合格の後、WBT 上から単位認定申請を行うことによって8単位を認定します。 <自宅学習> 第1章 唯識思想概観 第2章 識の働き (その1) 第3章 識の働き (その2) 第4章 識の働き (その3) 第5章 三性三無性説 第6章 修行論	
成績評価の方法		単位認定試験	
実践的教育を行う授業科目の種別	a: 実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目		
	担当教員の実務経験 (経歴・資格等)		
	授業内容との関連性		
	b: 企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目		
	学外講師の経歴・資格等		
	授業内容		
	c: 企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、研修を行う授業科目		

2022 武蔵野大学 通信教育部 シラバス

	実習先・実習の目的	
備考		

科目名	『禅語録』を読む1	
担当教員	高柳 さつき	
授業方法	講義	
科目の概要	到達目標	<p>文献を正確に読む。</p> <p>禅文献は非常に難解なものです。その理由には、経論と違い文語と口語が混在していることや、禅特有の言い回しや俗語が頻出すること、その他、晦渋な文章や典拠にあたり、本来の意味を把握すべき言葉があることなどが挙げられます。そのため正確な禅語辞典はなかなか作られませんでした。今ある『禅語辞典』（入矢義高監修 古賀英彦編著）などもそれを打開するために作られたものですが、まだ語彙の数が少なく、禅文献を広く読むためにはまだまだ物足りません。</p> <p>こういう状況下で禅籍を紐解くにはどうしたらよいか。まずは、既にある訓読された文章（書き下し文）を読み、それを原文と照らし合わせていくことです。伝統的な訓読法も最近ではできるだけ中国語法を取り入れて読むようになりましたので、中国語で文意を取るとほとんど変わりがありません。また読み癖で人によっては訓読が異なることもありますが、あまり気にする必要はありません。ある程度訓読に慣れるまでは既成の書き下し文を多く読み込んでおくことです。いずれ原文に返り点をつけながら読めるようになれます。基礎編の目標はこのように原文を訓読（日本語）で読むということです。</p>
	テキストの概要	なし
授業計画	<p>スクーリング（2単位）とWBTによる学習（2単位）を合わせて4単位を認定します。 〈スクーリング〉</p> <p>第一日</p> <p>第01講 禅の歴史（インドから中国へ）</p> <p>第02講 テキストの内容、用語説明</p> <p>第03講 第一章・開悟の時---滄山靈祐</p> <p>第04講 第一章・開悟の時---臨済義玄</p> <p>第二日</p> <p>第01講 第一章・開悟の時---徳山宣鑑</p> <p>第02講 第一章・開悟の時---洞山良价</p> <p>第03講 第一章・開悟の時---雪峰義存</p> <p>第04講 第二章・禅の問答---六祖恵能</p> <p>第三日</p> <p>第01講 第二章・禅の問答---石頭希遷</p> <p>第02講 第二章・禅の問答---龐居士／趙州從諗</p> <p>第03講 第三章・法を説く---馬祖道一</p> <p>第04講 第三章・法を説く---黄檗希運／臨済義玄</p> <p>第四日</p> <p>第01講 第四章・禅の思想---二入四行論／信心銘</p>	

2022 武蔵野大学 通信教育部 シラバス

	第02講 第五章・偈頌文学---寒山詩／江湖風月集 第03講 第六章・坐禅の要---磨磚問答／普勸坐禅儀 第04講 単位認定試験 <自宅学習> 第一章 開悟の時 第二章 禅の問答 第三章 法を説く 第四章 禅の思想 第五章 偈頌文学 第六章 坐禅の要	
成績評価の方法	単位認定試験	
実践的教育を行う 授業科目の種別	a：実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目	
	担当教員の実務経験 (経歴・資格等)	
	授業内容との関連性	
	b：企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目	
	学外講師の経歴・資格等	
	授業内容	
	c：企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、 研修を行う授業科目	
	実習先・実習の目的	
備考		

科目名		『禅語録』を読む2	
担当教員		高柳 さつき	
授業方法		講義	
科目の概要	到達目標	<p>文献から思想を読み取る。</p> <p>禅は哲学でも何々主義の学問でもありません。純然たる仏教です。仏教がインドから中国に移入され中国人がその考えを納得してゆく過程で形成されたもの、それが禅仏教です。その形成の過程で、禅はチベットや朝鮮半島にもたらされ、やがて日本に大きく流れ込んできます。このように、漢民族を越えて他の民族に伝わり浸透していったのは禅の思想に普遍性があったからです。今日でも禅のブームが繰り返し興り、国際的にも注目されています。碧い眼の禅僧を時々見かけますが、彼らを虜にし、我々に真摯な生き方を求めさせる禅は、いったいどういうものなのか。それを考えるのが発展編の課題です。まずは自分の頭にある様々な思想と比べずに、じっくりと禅文献を読み味わうこと。それが禅文献から思想を読み取る近道です。</p>	
	テキストの概要	なし	
授業計画		<p>WBTで出題される所定の回数のレポートを提出・合格の後、WBT上から単位認定申請を行うことによって8単位を認定します。</p> <p><自宅学習></p> <p>第一章 開悟の時</p> <p>第二章 禅の問答</p> <p>第三章 法を説く</p> <p>第四章 禅の思想</p> <p>第五章 偈頌文学</p> <p>第六章 坐禅の要</p>	
成績評価の方法		単位認定試験	
実践的教育を行う授業科目の種別	a：実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目		
	担当教員の実務経験 (経歴・資格等)		
	授業内容との関連性		
	b：企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目		
	学外講師の経歴・資格等		
	授業内容		
c：企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、研修を行う授業科目			

2022 武蔵野大学 通信教育部 シラバス

	実習先・実習の目的	
備考		

科目名		仏教文化入門	
担当教員		種村 隆元	
授業方法		講義	
科目の概要	到達目標	この科目は、仏教の文化的側面のうち、文字文化の基盤となった仏典の形成と伝播、仏教文学、仏教美術、仏教儀礼の4項目に焦点をあて、その基礎的な知識を身につけ、仏教が文化として現代社会にどのように根付いているかを考えるための専門的知識を養うことを目的とします。	
	テキストの概要	なし	
授業計画		<p>スクーリング（2単位）とWBTによる学習（2単位）の計4単位の科目です。</p> <p><スクーリング(メディア授業)></p> <p>第01講 [仏教美術イントロダクション]</p> <p>第02講 [インド初期の仏教美術]</p> <p>第03講 [ガンダーラとマトゥラーの仏像]</p> <p>第04講 [中央アジアの仏教美術]</p> <p>第05講 [中国の仏教美術1]</p> <p>第06講 [中国の仏教美術2]</p> <p>第07講 [中国の仏教美術3]</p> <p>第08講 [日本の初期仏教美術]</p> <p>第09講 [イントロダクション：密教の儀礼とは何か]</p> <p>第10講 [密教儀礼の特徴：瞑想法と儀礼1]</p> <p>第11講 [密教儀礼の特徴：瞑想法と儀礼2]</p> <p>第12講 [密教の入門儀礼（灌頂）1]</p> <p>第13講 [密教の入門儀礼（灌頂）2]</p> <p>第14講 [仏像の開眼奉納儀礼1]</p> <p>第15講 [仏像の開眼奉納儀礼2]</p> <p><自宅学習></p> <p>第1章 テキストの成立・伝承・伝播</p> <p>第2章 仏教文学</p> <p>第3章 仏教美術</p> <p>第4章 仏教儀礼</p>	
成績評価の方法		単位認定試験	
実践的教育を行う授業科目の種別		a：実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目	
		担当教員の実務経験 (経歴・資格等)	
		授業内容との関連性	

2022 武蔵野大学 通信教育部 シラバス

	b：企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目	
	学外講師の経歴・資格等	
	授業内容	
	c：企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、研修を行う授業科目	
	実習先・実習の目的	
備考		

科目名	インド・チベット仏教文化	
担当教員	種村 隆元	
授業方法	講義	
科目の概要	到達目標	<p>歴史上の人物としてのブッダを開祖とする仏教は、その故国であるインド及びその周辺地域だけでなく、中央アジアなどを経由して、はるか中国・朝鮮半島・日本にまで伝播しました。このように仏教を受容した地域で、現在まで仏教の伝統を留める地域として、インドとヒマラヤの尾根を挟んで隣接するチベットがあります。</p> <p>インドにおいて一般に仏教が滅亡されたとされるヴィクラマシーラ寺院の崩壊までの約1600年のインド仏教の歴史において、最後の約600年は密教と呼ばれる神秘的・儀礼的傾向の強い仏教が隆盛を極めた時期です。日本が現在に伝える仏教が主として七世紀から八世紀の『大日経』『金剛頂経』を中心とする中期インド密教とそれ以前の大乗仏教に基づいているのに対し、チベットが自国に移入した仏教は『金剛頂経』以降の後期インド密教を中心としており、その様相は日本のそれと異なるものであります。</p> <p>このようにチベット仏教のバックボーンには後期インド密教があり、チベット仏教文化を理解するには、その前提となるインド仏教、なかんずく密教の理解が必須となってきます。したがって、本科目ではインドにおける密教の成立と展開の歴史から始め、密教を中心とする仏教文化がどのようにチベットに移入され、かの地に根付いていったのか理解することを目標とします。</p> <p>また、上述したように、密教は儀礼的傾向が強い仏教であります。儀礼を正しく実行するには、例えば儀礼執行の正しい日時 of 把握のための暦学、寺院を建築するに必要な建築学的知識など、あらゆる学問・学芸が要求されてきます。ここに密教が単に教義や宗教的実践に留まらない総合文化的側面を持つゆえんがあります。この点については主にスクーリングで触れつつ、学生の皆さんの専門的知識を養い、仏教を知るための新たな視点を提供したいと考えています。</p>
	テキストの概要	なし
授業計画	<p>スクーリング（2単位）とWBTによる学習（2単位）の計4単位の科目です。</p> <p><スクーリング></p> <p>第01講 [インド密教史概観1]</p> <p>第02講 [インド密教史概観2]</p> <p>第03講 [代表的密教経典1]</p> <p>第04講 [代表的密教経典2]</p> <p>第05講 [密教の実践・生起次第1]</p> <p>第06講 [密教の実践・生起次第2]</p> <p>第07講 [密教の実践・究竟次第1]</p> <p>第08講 [密教の実践・究竟次第2]</p> <p>第09講 [密教儀礼・灌頂1]</p>	

2022 武蔵野大学 通信教育部 シラバス

	第10講 [密教儀礼・灌頂2] 第11講 [密教儀礼・尊像奉納儀礼1] 第12講 [密教儀礼・尊像奉納儀礼2] 第13講 [密教の葬送儀礼] 第14講 [単位認定試験] <自宅学習> 第1章 歴史・人物篇 第2章 文献・教理篇 第3章 尊格・美術篇 第4章 儀礼・実践篇
成績評価の方法	単位認定試験
実践的教育を行う 授業科目の種別	a：実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目
	担当教員の実務経験 (経歴・資格等)
	授業内容との関連性
	b：企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目
	学外講師の経歴・資格等
	授業内容
	c：企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、 研修を行う授業科目
	実習先・実習の目的
備考	

科目名	中国仏教文化	
担当教員	林 鳴宇	
授業方法	講義	
科目の概要	到達目標	本科目は仏教の中国伝来以降、中国の思想、政治、経済、文学、美術と建築、及び中国人の生活へ与えた影響に重点を置いて、仏教の中国での展開と仏教の中国化という二つ側面を把握することを目的とします。
	テキストの概要	本テキストは仏教と中国の思想文化との関係を概観するものです。全体は六章で、第一章は「仏教と中国の思想」、第二章は「仏教と中国の政治」、第三章は「仏教と中国の経済」、第四章は「仏教と中国の文学」、第五章は「仏教と中国の芸術と建築」、第六章は「仏教と中国人の生活」から構成されています。まず、第一章は仏教と中国の固有思想の異同や衝突を明らかにします。第二章は仏教と国家との関係を解説します。第三章は仏教の寺院経済と国家の政治政策と経済政策との関係を説明します。第四章は詩文、小説、変文、劇などの中国文学の発展がどのように仏教からの影響を受けたかということを解明します。第五章は中国の美術と建築がどのように仏教の観念を反映し、その影響を受けたかを明らかにします。第六章は中国人の生活の中に息づく信仰形態、民間信仰との関係、祭り、儀礼、葬式、飲食などの諸方面から生きた仏教の姿を解明します。
授業計画	<p>スクーリング（2単位）とWBTによる学習（2単位）の計4単位の科目です。 WBTで出題される所定の回数のレポートを提出・合格の後、WBT上から単位認定申請を行うことによって2単位を認定します。</p> <p><自宅学習></p> <p>第一章では、まず儒教と道教という中国伝統思想の特徴の概要理解を進めます。 第二章では、現象の背後にある真理を追究する性質の強い仏教が、現象の場において具体的な目的の達成を目指すことを主眼とする政治に対してどのような働きかけをしたのか、そして逆にどのような影響を受けたのかについて考察します。特に儒教文化を柱とした中国政治を理解した上で、仏教との関係性を学習します。 第三章では、中国で展開された仏教経済倫理を寺院財産、営利行為、生産活動といった三つの側面から概観し、仏教寺院の経済諸形態を紹介します。その上で、寺院経済と国家財政、布施と救済の関係を明らかにします。仏教の教義、戒律はいかに解釈されることによって、経済的な営みが正当化されたかということを学習します。 第四章では、まず、中国文学創作の主体である文人が仏教に引き寄せられた理由と仏教認識を明らかにし、それから中国文学における仏教の影響を概観します。最後に、中国仏教の特質とされる禅と詩論の関係を考察します。仏教は世界観や人生観において中国の文人にいかなる影響を与えたか、また、詩、文、小説、戯曲などにおいていかに中国文学の内容や表現様式を豊かにしたかを具体的に学習します。 第五章では、芸術の分野での仏教と中国文化の融合の過程を概観します。現代でも歴史的仏像は美術的観点から高く評価されていますが、仏像はあくまで宗教的尊像であり、その</p>	

	<p>背景には熱烈な信仰があります。本章では、他にも音楽・建築にも言及しておりますが、それらの芸術的様式だけではなく、人々の信仰について考察してみましょう。</p> <p>第六章では、仏教と食文化の関係を概説します。人間は生きている限り、食事を摂ります。食事は人間存在にとって不可欠で、それだけ私たちの日常に深くかかわっています。個食や偏食など、食を巡る問題が叫ばれておりますが、食事は単純に摂取するだけの行為ではなく、伝統文化では、そこに宗教的な意味合いを見出しています。現代人の観点から、その意味を吟味してみましょう。</p> <p>〈スクーリング〉</p> <p>第01講 [異文化としての仏教]</p> <p>第02講 [孝の倫理と仏教]</p> <p>第03講 [因果応報と輪廻]</p> <p>第04講 [仏教の中国化]</p> <p>第05講 [中国仏教の実践1]</p> <p>第06講 [中国仏教の実践2]</p> <p>第07講 [中国仏教の人間論1]</p> <p>第08講 [中国仏教の人間論2]</p> <p>第09講 [中国仏教の宗派問題]</p> <p>第10講 [禅と浄土の融合形態]</p> <p>第11講 [中国仏教の霊山信仰]</p> <p>第12講 [民間仏教の信仰形態]</p> <p>第13講 [中国仏教の現在]</p> <p>第14講 [試験]</p>	
成績評価の方法	単位認定試験	
実践的教育を行う 授業科目の種別	a：実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目	
	担当教員の実務経験 (経歴・資格等)	
	授業内容との関連性	
	b：企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目	
	学外講師の経歴・資格等	
	授業内容	
	c：企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、研修を行う授業科目	
	実習先・実習の目的	
備考		

科目名	ヒンドゥーの文化と思想	
担当教員	佐藤 裕之	
授業方法	講義	
科目の概要	到達目標	<p>「ヒンドゥー」はインドを示しますが、「インドの文化と思想」という場合、インドで成立し、展開していったジャイナ教や仏教、そして、8世紀ころにインドにもたらされ、独自の展開をみせたイスラーム教などの文化や思想も含まれます。この科目名では、仏教でもジャイナ教でもイスラーム教でもないインドの文化と思想を学びますので、あえて「ヒンドゥーの文化と思想」としました。</p> <p>この科目の中心は、古代のバラモン教とそこから発展的に成立したヒンドゥー教になります。しかし、「バラモン教」や「ヒンドゥー教」という呼称は、単に宗教を示すのではなく、生活の様式や規範、社会の習慣や制度なども示しますので、それらも学びます。</p> <p>到達目標は、以下の通りです。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ヒンドゥーの文化と思想がどんなものであるかを知識として学び、それらについて批判的に検証する。 2. 日本に伝わった仏教にヒンドゥーの文化や思想の影響があることを学び、仏教と日本文化を再考する。 3. 異文化としてのヒンドゥーの文化と思想を学び、国際的な視野を身につけ、価値観の多様性を理解する。 4. ヒンドゥーの文化と思想に対して、主観的な視点から否定的な面を感じたとしても、現に長い歴史の中で存在してきた事実を踏まえ、客観的な視点から肯定的な面を考える。 (分かりやすく言い換えれば、自分には意味がないのもであっても、意味を見出してきた人がいる以上、その人たちにとって、どんな意味があったのかを考える。) 5. 現代が抱える多様な問題に対して、ヒンドゥーの文化や思想がどんなメッセージを発信できるかを考える。
	テキストの概要	なし
授業計画	<p>スクーリング（2単位）とWBTによる学習（2単位）の計4単位の科目です。</p> <p><スクーリング(メディア授業)></p> <p>第01講 インTRODクション（インド思想概観）</p> <p>第02講 三つのインド</p> <p>第03講 バラモン教の聖典</p> <p>第04講 バラモン教の神々</p> <p>第05講 ヴェーダの創世神話</p> <p>第06講 ウパニシャッドの思想</p> <p>第07講 ヒンドゥー教の聖典</p> <p>第08講 ヒンドゥー教の神々①</p> <p>第09講 ヒンドゥー教の神々②</p> <p>第10講 ヒンドゥー教の神々③</p>	

	<p>第11講 『バガヴァッド・ギーター』の教え 第12講 社会制度ーカーストー 第13講 人生観 第14講 正統哲学：ヨーガの哲学 第15講 ヒンドゥー教とイスラーム教</p> <p><自宅学習></p> <p>第1部 ヒンドゥー教への誘い</p> <p>第1章 「インド的なるもの」への旅立ちーヒンドゥー教を育んだ自然と大地 第2章 ヒンドゥー教とは何か？ーヒンドゥー教史入門 第3章 ヒンドゥー教徒の暮らしと宗教世界ー「食」に息づく生命への想い 第4章 ヒンドゥー教の時間論と宇宙論ー輪廻する時間、輪廻する宇宙 第5章 ヒンドゥー教の神々と祭り 第6章 ヒンドゥー叙事詩の世界 第7章 世界宗教としてのヒンドゥー教</p> <p>第2部 ヒンドゥー教の思想と歴史</p> <p>第1章 インダス文明と原ヒンドゥー教ーヒンドゥー文化の祖型をなすもの 第2章 ヴェーダ聖典とバラモン教 第3章 ウパニシャットの哲学と自由思想家の活躍 第4章 インド正統派思想の成立ー六派哲学の諸体系 第5章 不二一元論とヒンドゥー教有神論思想の確立ー「無属性のブラフマン」から主宰神へ 第6章 近代ヒンドゥー思想の展開 第7章 ヒンドゥー・ナショナリズムと現代インドーヒンドゥーとムスリムの融和と対立</p>	
成績評価の方法	単位認定試験	
実践的教育を行う 授業科目の種別	a：実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目	
	担当教員の実務経験 (経歴・資格等)	
	授業内容との関連性	
	b：企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目	
	学外講師の経歴・資格等	
	授業内容	
	c：企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、研修を行う授業科目	
実習先・実習の目的		
備考		

科目名	ヒンドゥーの文化と思想（S）	
担当教員	佐藤 裕之	
授業方法	講義	
科目の概要	到達目標	<p>「ヒンドゥー」はインドを示しますが、「インドの文化と思想」という場合、インドで成立し、展開していったジャイナ教や仏教、そして、8世紀ころにインドにもたらされ、独自の展開をみせたイスラーム教などの文化や思想も含まれます。この科目名では、仏教でもジャイナ教でもイスラーム教でもないインドの文化と思想を学びますので、あえて「ヒンドゥーの文化と思想」としました。</p> <p>この科目の中心は、古代のバラモン教とそこから発展的に成立したヒンドゥー教になります。しかし、「バラモン教」や「ヒンドゥー教」という呼称は、単に宗教を示すのではなく、生活の様式や規範、社会の習慣や制度なども示しますので、それらも学びます。</p> <p>到達目標は、以下の通りです。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ヒンドゥーの文化と思想がどんなものであるかを知識として学び、それらについて批判的に検証する。 2. 日本に伝わった仏教にヒンドゥーの文化や思想の影響があることを学び、仏教と日本文化を再考する。 3. 異文化としてのヒンドゥーの文化と思想を学び、国際的な視野を身につけ、価値観の多様性を理解する。 4. ヒンドゥーの文化と思想に対して、主観的な視点から否定的な面を感じたとしても、現に長い歴史の中で存在してきた事実を踏まえ、客観的な視点から肯定的な面を考える。 (分かりやすく言い換えれば、自分には意味がないのもであっても、意味を見出してきた人がいる以上、その人たちにとって、どんな意味があったのかを考える。) 5. 現代が抱える多様な問題に対して、ヒンドゥーの文化や思想がどんなメッセージを発信できるかを考える。
	テキストの概要	なし
授業計画	<p>メディア授業視聴後、WB T上から単位認定試験レポートを提出し、合格することで2単位（スクーリング単位）を認定します。</p> <p><スクーリング(メディア授業)></p> <p>第01講 インTRODクション（インド思想概観）</p> <p>第02講 三つのインド</p> <p>第03講 バラモン教の聖典</p> <p>第04講 バラモン教の神々</p> <p>第05講 ヴェーダの創世神話</p> <p>第06講 ウパニシャッドの思想</p> <p>第07講 ヒンドゥー教の聖典</p> <p>第08講 ヒンドゥー教の神々①</p> <p>第09講 ヒンドゥー教の神々②</p>	

2022 武蔵野大学 通信教育部 シラバス

	第10講 ヒンドゥー教の神々③ 第11講 『バガヴァッド・ギーター』の教え 第12講 社会制度－カースト－ 第13講 人生観 第14講 正統哲学：ヨーガの哲学 第15講 ヒンドゥー教とイスラーム教
成績評価の方法	単位認定試験
実践的教育を行う 授業科目の種別	a：実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目
	担当教員の実務経験 (経歴・資格等)
	授業内容との関連性
	b：企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目
	学外講師の経歴・資格等
	授業内容
	c：企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、 研修を行う授業科目
	実習先・実習の目的
備考	

科目名	仏教儀礼（仏教民俗学）	
担当教員	金子 奈央	
授業方法	講義	
科目の概要	到達目標	<p>「本教科は「心理学・仏教学・社会福祉学の専門的知識を身につけていること」という学位授与方針に基づき、仏教学の専門知識を修得するための科目である。具体的には、</p> <p>1. 仏教教義の枠組み、2. 民俗宗教的枠組み、という二つの視点からの学習を通して、日常生活と仏教との関係につき知識を習得する。」</p> <p>宗教儀礼は様々な定義が可能であるが、宗教思想・世界観や社会的慣行、一定の社会的秩序の維持と深く関わる宗教現象の一形態である。ここから仏教儀礼もその思想や世界観、教団や社会と深く関わってきたと言える。</p> <p>インドにおいて成立した仏教はアジア各地に広まり、日本においても古代以降受容されて政治・社会・文化面に大きな影響を与えてきた。ただし日本における仏教の受容と浸透とを考えると、日本固有の民俗宗教・信仰との融合といった現象が多く見受けられる。そのため、仏教儀礼についても仏教という枠組みの中だけで扱う訳にはいかないものも多い。つまり仏教儀礼の中には日本の民俗宗教・信仰と融合した形で、我々の日常生活に根付いているものが多いのである。</p> <p>そこで、本科目の学習範囲と目標を以下のように設定する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習範囲：日本の民俗宗教・信仰と融合した形で我々の身近に生き続けている仏教儀礼を中心に学ぶ。 ・目標：本科目では仏教儀礼について、①仏教的な枠組み ②民俗宗教的な枠組み という二つの視点から学習することを通して、仏教が我々の生活にどのように関わってきたのかについて理解を深める事を目標とする。
	テキストの概要	なし
授業計画	<p>WBTで出題される所定の回数のエクササイズに合格の後、WBT上で行われる単位認定試験に合格することで4単位を認定します。</p> <p><自宅学習></p> <p>第一 「正月の行事 一ツ火と修正会」</p> <p>第二（その一） 「二月の行事（その一） 節分の鬼一追儺と豆まき」</p> <p>第三 「二月の行事（その二） 針供養」</p> <p>第四 「三月の行事 彼岸会」</p> <p>第五 「四月の行事 花まつり—灌仏会と卯月八日」</p> <p>第六 「五月の行事 端午の節句と来迎会」</p> <p>第七 「六月の行事 御霊会と施餓鬼会」</p> <p>第八 「七月の行事 七夕と七日盆」</p> <p>第九 「八月の行事 盆と盆踊り」</p> <p>第十 「九月の行事 大光院開山忌と吞竜信仰」</p> <p>第十一 「十月の行事 十夜法要」</p>	

2022 武蔵野大学 通信教育部 シラバス

	第十二 「十一月の行事 冬至と太師講」 第十三 「十二月の行事 仏名会」
成績評価の方法	単位認定試験
実践的教育を行う 授業科目の種別	a：実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目
	担当教員の実務経験 (経歴・資格等)
	授業内容との関連性
	b：企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目
	学外講師の経歴・資格等
	授業内容
	c：企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、 研修を行う授業科目
	実習先・実習の目的
備考	

科目名		仏教美術	
担当教員		下野 玲子	
授業方法		講義	
科目の概要	到達目標	この科目は、日本の仏教美術に関する基礎的な専門知識を身につけ、仏像をただ漫然と鑑賞するのではなく、学術的な視点から観る眼を養うことを目標とします。 仏像の特徴が時代によってどのように変化しているか、また仏教や美術に使われる特殊な用語・表現の意味を理解してほしいと思います。	
	テキストの概要	なし	
授業計画		スクーリング（2単位）とWBTによる学習（2単位）の計4単位の科目です。 <スクーリング> 第01講 [仏像の種類と制作技法①] 第02講 [仏像の種類と制作技法②] 第03講 [飛鳥時代① 法隆寺金堂釈迦三尊像と止利派] 第04講 [飛鳥時代② 止利派以外の仏像様式] 第05講 [飛鳥時代③ 玉虫厨子に描かれた絵画] 第06講 [白鳳時代① 白鳳仏の諸相] 第07講 [白鳳時代② 山田寺の建立と仏頭] 第08講 [白鳳時代③ 法隆寺金堂壁画] 第09講 [天平時代① 法隆寺五重塔塔本塑像] 第10講 [天平時代② 興福寺旧西金堂の仏像 ～十大弟子と八部衆～] 第11講 [天平時代③ 東大寺法華堂の天平仏 ～不空羼索観音像～] 第12講 [平安時代① 前期と後期の仏像の比較] 第13講 [平安時代② 両界曼荼羅] 第14講 [単位認定試験] <自宅学習> 第1章 飛鳥時代 第2章 奈良時代 第3章 平安時代前期 第4章 平安時代後期 第5章 鎌倉時代 第6章 南北朝時代・室町時代・桃山時代	
成績評価の方法		単位認定試験	
実践的教育を行う授業科目の種別		a：実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目	
		担当教員の実務経験 (経歴・資格等)	

2022 武蔵野大学 通信教育部 シラバス

	授業内容との関連性	
	b：企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目	
	学外講師の経歴・資格等	
	授業内容	
	c：企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、 研修を行う授業科目	
	実習先・実習の目的	
備考		

科目名		現代と仏教	
担当教員		日野 慧運	
授業方法		講義	
科目の概要	到達目標	<p>本科目では、テキストを手がかりに現代の諸問題と仏教の接点を学び、さらに自身でテキスト中に紹介される参考資料や、最新の情報などを調べ、考察してゆきます。あわせて、仏教の教説を正しく理解し、その思考方法を身につけます。これらを踏まえて、現代問題に対する考察を、自らの言葉で論じていただきます。現代社会が生み出した問題や、現代人の心の問題について、仏教独自のものを含めた多角的な視座から考える力を身につけることが、到達目標です。</p>	
	テキストの概要	<p>テキストは、「仏教から見た現代の生と死」「オウム事件と宗教教育」「日本人の宗教観を問いなおす」「真宗門徒のたしなみ」「差別・女性論」「戦争・平和・靖国」などのテーマを取り上げ、仏教の視座から考察しています。</p>	
授業計画		<p>スクーリング（2単位）とWBTによる学習（2単位）の計4単位の科目です。</p> <p><スクーリング></p> <p>第01,02講 釈尊の生涯と教え・親鸞の生涯と教え 第03,04講 いのちをめぐる問題 生命の誕生／老いと死 第05,06講 戦争・貧困・差別 第07,08講 幸福を考える 第09,10講 日本人の宗教観 第11,12講 災害と利他主義・仏教の社会参加 第13,14講 質疑応答・単位認定試験</p> <p><自宅学習></p> <p>第1章 仏教から見た現代の生と死 第2章 オウム事件と宗教教育 第3章 日本人の宗教観を問いなおす 第4章 真宗門徒のたしなみ 第5章 差別・女性論 第6章 戦争・平和・靖国 第7章 浄土真宗の歴史に学ぶ</p>	
成績評価の方法		単位認定試験	
実践的教育を行う授業科目の種別		a：実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目	
		担当教員の実務経験 (経歴・資格等)	
		授業内容との関連性	
		b：企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目	

2022 武蔵野大学 通信教育部 シラバス

	学外講師の経歴・資格等	
	授業内容	
	c：企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、 研修を行う授業科目	
	実習先・実習の目的	
備考		

科目名		実践仏教
担当教員		前田 壽雄
授業方法		講義
科目の概要	到達目標	<p>この科目では、坐禅、写経、声明、仏事を実際に体験し、仏教を、身をもって学ぶことを目的としています。仏教は、経典や書物などを読む知的な面だけでは十分に理解できません。仏教の歴史を紐解けば、さまざまな行が行われてきました。仏教は知と行によって体得されるものです。</p> <p>坐禅は、古くからインドで行われていたヨーガを仏教が取り入れたもので、仏教の実践論である三学や六波羅蜜のひとつに含まれ、中国では禅宗が成立しました。写経は、経典を書写することによって功德があると考えられたところから生まれ、現在は信仰のひとつとして広く行われています。なお、浄土真宗では写経を功德とはとらえず、自身が教を味わうことと考えます。そして、声明（しょうみょう）は、儀礼において行われる仏教声楽で、実践的学問である五明（ごみょう）のひとつに数えられています。最後の仏事は、仏教における法要や儀礼に欠かせません。</p> <p>これら四つを体験し、仏教のあり方について深く学ぶきっかけにして欲しいと思います。</p>
	テキストの概要	テキストは使用しません。
授業計画		<p>本校（東京都西東京市）で行われるスクーリング（4日間）に出席し、単位認定試験に合格することで2単位を認定します。</p> <p><スクーリング></p> <p>第01講 ガイダンス・仏事①</p> <p>第02講 仏事②</p> <p>第03講 坐禅①</p> <p>第04講 坐禅②</p> <p>第05講 坐禅③</p> <p>第06講 坐禅④</p> <p>第07講 写経①</p> <p>第08講 写経②</p> <p>第09講 写経③</p> <p>第10講 写経④</p> <p>第11講 声明①</p> <p>第12講 声明②</p> <p>第13講 声明③</p> <p>第14講 単位認定試験</p>
成績評価の方法		単位認定試験
		a：実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目 ○

2022 武蔵野大学 通信教育部 シラバス

実践的教育を行う 授業科目の種別	担当教員の実務経験 (経歴・資格等)	(前田 壽雄先生 職歴) 築地本願寺新報編集委員 浄土真宗本願寺派総合研究所上級研究員	
	授業内容との関連性	浄土真宗本願寺派の研究所にて活動していた教員が、仏教学の 専門知識を浄土真宗本願寺派の観点を中心として、解説する。	
	b: 企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目		
	学外講師の経歴・資格等		
	授業内容		
	c: 企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、 研修を行う授業科目		
	実習先・実習の目的		
備考			

科目名		坐禅研修
担当教員		前田 壽雄
授業方法		講義
科目の概要	到達目標	<p>坐禅研修では、坐禅を実際に体験することを通して、インド以来の仏教の重要な流れの一つである「禅」について学ぶことを目的としています。日本の禅には臨済宗や黄檗宗といった重要な伝統もありますが、本研修では曹洞宗の坐禅を体験することになります。曹洞宗は、道元が中国から日本にもたらした宗派であり、「ただ坐る」という「只管打坐」をその教義の特色としています。また、「修証一等」と言い、坐禅（修）はさとり（証）を得るための手段ではなく、坐ることがそのままさとりであると教えています。一般の理解では、修行はさとりへ到る道程・手段と考えられがちですが、曹洞禅では、修行はさとりへの道程・手段ではなく、さとりそのものであるとされています。</p> <p>本研修を、道元の示した深遠な境地について学ぶきっかけにして欲しいと思います。</p>
	テキストの概要	なし
授業計画		<p>研修地で行われるスクーリング（總持寺と武蔵野大学を合わせて3日間）に参加し、最終日に行う単位認定試験に合格すること（60点以上）で2単位を認定します。</p> <p>【研修合宿スケジュール】</p> <p>あくまで「予定」ですので、変更されることもあります。</p> <p>※1日目・2日目は、大本山總持寺布教教化部参禅室の御指導によって行われます。</p> <p>1日目（曹洞宗大本山總持寺）</p> <p>13：30 上山・集合「總持寺 香積台 総受付」</p> <p>担当教員（前田壽雄）が出欠等を確認します。</p> <p>着替え（三松閣各部屋）</p> <p>14：00 挨拶・坐禅指導（三松閣四階大講堂）</p> <p>14：40 止静（しじょう・坐禅）（衆寮）</p> <p>15：20 経行（きんひん・ゆっくり歩行）（衆寮）</p> <p>15：30 止静（衆寮）</p> <p>16：10 抽解（ちゅうかい・休息）（衆寮）</p> <p>17：00 薬石（やくせき・夕食）（三松閣地下一階）</p> <p>18：00 法話（三松閣四階大講堂）</p> <p>講師 花和浩明老師（曹洞宗大本山總持寺布教教化部参禅室長）</p> <p>19：00 止静（衆寮）</p> <p>19：40 抽解（衆寮）</p> <p>引き続き、明朝説明（衆寮）</p> <p>20：00 入浴（三松閣浴場）</p> <p>布団作務（三松閣各部屋）</p> <p>21：00 開沈（消灯）（三松閣各部屋）</p>

	<p>2日目（曹洞宗大本山總持寺）</p> <p>3：30 振鈴（起床）・洗面（三松閣各部屋） シーツ・枕カバーは、廊下の所定場所へ出してください。 止静（衆寮） 抽解（衆寮） 朝課（ちょうか・勤行）（大祖堂）</p> <p>6：50 小食（朝食） 前日使用した箸を各自持参してください。</p> <p>8：30 写経（三松閣四階大講堂）</p> <p>10：00 止静（衆寮） 10：40 経行（衆寮） 10：50 止静（衆寮） 11：30 抽解（衆寮） 着替え（三松閣各部屋）</p> <p>12：00 点心（昼食）（三松閣地下一階） 使用した箸を各自持参してください。</p> <p>13：00 作務（さむ・掃除）（衆寮・長廊下） 13：40 拝観（諸堂拝観） 15：00 解散</p> <p>3日目（武蔵野大学 武蔵野キャンパス）</p> <p>9：50 集合</p> <p>10：00 まとめの講義、グループ学習</p> <p>11：30 休憩</p> <p>11：50 単位認定試験</p> <p>13：00 解散</p>	
成績評価の方法	単位認定試験	
実践的教育を行う 授業科目の種別	a：実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目 ○	
	担当教員の实務経験 (経歴・資格等)	(前田 壽雄先生 職歴) 築地本願寺新報編集委員 浄土真宗本願寺派総合研究所上級研究員
	授業内容との関連性	浄土真宗本願寺派の研究所にて活動していた教員が、仏教学の 専門知識を浄土真宗本願寺派の観点を中心として、解説する。
	b：企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目	
	学外講師の経歴・資格等	
	授業内容	
c：企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、 研修を行う授業科目		

2022 武蔵野大学 通信教育部 シラバス

	実習先・実習の目的	
備考		

科目名	念仏研修
担当教員	南條 了瑛・前田 壽雄
授業方法	講義
科目の概要	<p>「念仏研修」は、現代に生きる念仏の教えを体験するために、武蔵野大学と創立以来縁の深い浄土真宗本願寺派本山・本願寺を研修地とし、2泊3日のスクーリングにおいて学習と実践を行うものです。</p> <p>スクーリング期間中には、浄土真宗の念仏の教えを、親鸞聖人が著した「正信念仏偈」を中心に学びます。あわせて、宗門僧侶の指導の下、浄土真宗の念仏や読経、作法の習礼（練習）を行ったうえで、実際に本願寺での勤行に参加します。本研修は浄土真宗の信仰を強要するものではありませんが、真宗門徒の方々に混じっての参拝や、法話の聴聞（聞法）を通して、生きた念仏の教えを体感していただきたいと思います。</p> <p>本研修は、浄土真宗に関する基礎的な知識を身につけること、および、念仏の教えを通じて現代人が抱える心の問題を考える力を身につけることを、到達目標としています。</p>
	<p>テキスト</p> <p>山本慧<西本願寺浄書室>（書）/本願寺出版社東京支社企画委員会（企画）『書いて味わう正信偈』本願寺出版社（ISBN：978-4-89416-379-9）</p> <p>日常勤行聖典編纂委員会（編）『浄土真宗本願寺派 日常勤行聖典』本願寺出版社（ISBN：978-4-89416-691-2）</p> <p>前田壽雄『「ただ念仏」の教え—法然聖人から親鸞聖人へ—』探究社（ISBN：978-4-88483-990-1）</p>
授業計画	<p>合宿地で行われる2泊3日の合宿の全日程に参加し、単位認定試験に合格することで単位（2単位）を認定します。</p> <p>【講義概要】</p> <p>1日目</p> <p>実践1：本願寺散策（「お西さんを知ろう」参加） 本願寺派布教使による、法話を交えた30分程度の本願寺ツアー。国宝の阿弥陀堂、御影堂、唐門などを参拝します。</p> <p>講義1：「浄土真宗の教章」と親鸞聖人の生涯 浄土真宗とはどのような教えであるのかを理解するとともに、宗祖親鸞聖人の生涯について学びます。</p> <p>実践2：参拝（合掌・礼拝・焼香）の作法、正信偈・和讃の習礼 浄土真宗本願寺派特別法務員による指導を通して、参拝作法や読経方法を実践的に学びます。</p> <p>実践3：就寝勤行（正信偈・和讃）</p>

	<p>研修室にて、科目担当者調声のもと、2日目の晨朝に向けて正信偈・和讃をお勤めします。</p> <p>2日目</p> <p>実践4：西本願寺晨朝法要参拝</p> <p>西本願寺で勤まる晨朝に参拝し、他の参拝者とともに読経を経験します。</p> <p>講義1：浄土三部経（「正信偈」依経段）</p> <p>「正信偈」依経段に基づき、『仏説無量寿経』を中心に浄土三部経について学びます。</p> <p>実践5：写経体験「書いて味わう正信偈」</p> <p>「書いて味わう正信偈」を用いて、写経体験を行います。</p> <p>実践6：書院参拝</p> <p>普段入れない書院へ参拝し、本願寺建築空間の見聞を深めます。</p> <p>実践7：本願寺の法話「常例布教」聴聞</p> <p>浄土真宗本願寺派布教使による常例布教を聴聞し、法話の内容や布教の現場を感じます。</p> <p>実践8：グループディスカッション</p> <p>常例布教に参加してみて、自身が念仏をどう感じたか、あるいは法話の内容・工夫・配慮などについて感じたことを、互いに共有します。</p> <p>実践9：就寝勤行（正信偈・和讃）</p> <p>3日目の晨朝に向けて正信偈・和讃をお勤めします。</p> <p>3日目</p> <p>実践10：西本願寺晨朝法要参拝</p> <p>西本願寺で勤まる晨朝に参拝し、他の参拝者とともに読経を経験します。</p> <p>講義3：七高僧（「正信偈」依积段）</p> <p>「正信偈」依积段に基づき、七高僧について学びます。</p>	
成績評価の方法	単位認定試験	
実践的教育を行う 授業科目の種別	a：実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目	
	担当教員の実務経験 (経歴・資格等)	(前田 壽雄先生 職歴) 築地本願寺新報編集委員 浄土真宗本願寺派総合研究所上級研究員
	授業内容との関連性	浄土真宗本願寺派の研究所にて活動していた教員が、仏教学の 専門知識を浄土真宗本願寺派の観点を中心として、解説する。
	b：企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目	
	学外講師の経歴・資格等	
	授業内容	
	c：企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、 研修を行う授業科目	
実習先・実習の目的		
備考		

科目名		生活仏教（日本仏教の諸宗派）	
担当教員		有働 智瑩	
授業方法		講義	
科目の概要	到達目標	日本古代に伝来した仏教は、移り変わる社会と歴史の中で、その時々の人々の願いと祈りに応えて変容しながら、今まで日本人の魂を支えてきました。日本の仏教は、各時代を通じて宗派が細かく分かれることで発展してきたために、仏教全体としての流れと特徴が分かりにくいところがあります。この講義では、現在までの各宗の基本的な思想と特徴を解説しながら、古代から近代までを通史的に概観していきます。日本の仏教思想がどのように歴史的に展開してきたか、歴史と思想の両面から理解して、映像等を見ながら、最終的には、各時代と宗派の特徴について説明できることをめざします。	
	テキストの概要	なし	
授業計画		スクーリング（Zoom などによる同時双方向型授業、4日間。）に出席し、単位認定試験に合格することで2単位を認定します。 <スクーリング> 第01講 日本仏教の概観 第02講 仏教伝来 第03講 飛鳥仏教 ―聖徳太子― 第04講 国家仏教の確立 第05講 南都仏教1 第06講 南都仏教2 第07講 平安仏教1 ―天台宗― 第08講 平安仏教2 ―真言宗― 第09講 鎌倉仏教1 ―浄土系宗派― 第10講 鎌倉仏教2 ―禅宗派― 第11講 鎌倉仏教3 ―日蓮と旧仏教― 第12講 中世仏教 第13講 近世仏教 第14講 近代仏教	
成績評価の方法		単位認定試験	
実践的教育を行う授業科目の種別		a：実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目	
		担当教員の实務経験 (経歴・資格等)	
		授業内容との関連性	
		b：企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目	

2022 武蔵野大学 通信教育部 シラバス

	学外講師の経歴・資格等	
	授業内容	
	c：企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、 研修を行う授業科目	
	実習先・実習の目的	
備考		

科目名		宗門法規	
担当教員		宮本 義宣	
授業方法		講義	
科目の概要	到達目標	この科目では、第1部 浄土真宗本願寺派の基本法規、第2部 浄土真宗本願寺派の本山典令・『本願寺』寺法の概要、第3部 寺院規程 第4部 宗教法人法の概要、について学びます。	
	テキストの概要	『日本国憲法』ならびに国が制定した宗教関係法令としての『宗教法人法』、さらに、浄土真宗本願寺派の最高法規である「宗制」及び「宗法」ならびに宗教法人規則である「宗規」、本山本願寺の根本規則である「本山典令」及び宗教法人規則である「寺法」と、浄土真宗本願寺派の「寺院規程」が掲載されています。	
授業計画		WBTで出題される所定の回数のエクササイズに合格の後、WBT上で行われる単位認定試験に合格することで2単位を認定します。 <自宅学習> 第1部 浄土真宗本願寺派の基本法規（宗制・宗法・宗規について） 第2部 本山典令・宗教法人『本願寺』寺法 第3部 寺院規程 第4部 「宗教法人法」の概要	
成績評価の方法		単位認定試験	
実践的教育を行う授業科目の種別	a：実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目		
	担当教員の実務経験 (経歴・資格等)		
	授業内容との関連性		
	b：企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目		
	学外講師の経歴・資格等		
	授業内容		
	c：企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、研修を行う授業科目		
	実習先・実習の目的		
備考			

科目名		勤式作法
担当教員		白川 淳敬
授業方法		講義
科目の概要	到達目標	この科目では、得度習礼で学んだ勤式をベースに、教師教修を受けるにあたって入所時までに習得しておく事が必要な勤式作法を練習、予習し、合わせて日常寺院で使われる勤式作法を習得することを目的とする。
	テキストの概要	このテキストには、浄土真宗の寺院で日常および各年中行事で依用する勤式作法（経物、読物）が編集されています。 さらに、音階、博士等の解説があり、基本的な読み方の理解と練習ができるようになっていきます。よって、教師教修で必修の勤式作法のすべてとさらに四季の行事等で使用する勤式作法も学ぶことができます。
授業計画		<p>本校（東京都西東京市）で行われるスクーリング（全28コマ）に出席し、最終日に教員より課される単位認定試験に合格することで4単位を認定します。</p> <p><スクーリング></p> <p>第01講 インTRODクシヨN・基本作法 第02講 法要と儀式 第03講 讃仏偈・重誓偈 第04講 正信偈・和讃（草譜） 第05講 正信偈・和讃（行譜） 第06講 正信偈・和讃（行譜） 第07講 正信偈・和讃（行譜） 第08講 先請伽陀 第09講 仏事勤行・阿弥陀経 第10講 無量寿経作法 第11講 阿弥陀経作法 第12講 出棺勤行・葬場勤行 第13講 出棺勤行・葬場勤行 第14講 仏説阿弥陀経（巡讃行道依用） 第15講 内陣作法 第16講 荘厳法（本堂・内陣） 第17講 登礼盤・降礼盤 第18講 登礼盤・降礼盤 第19講 被着法① 第20講 被着法② 第21講 仏説阿弥陀経（巡讃行道依用） 第22講 御伝鈔 第23講 御文章 第24講 往生礼讃</p>

2022 武蔵野大学 通信教育部 シラバス

	第25講 往生礼讃 第26講 正信念仏偈作法・第二種 第27講 習熟度チェック 第28講 単位認定試験	
成績評価の方法	単位認定試験	
実践的教育を行う 授業科目の種別	a：実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目	
	担当教員の実務経験 (経歴・資格等)	
	授業内容との関連性	
	b：企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目	
	学外講師の経歴・資格等	
	授業内容	
	c：企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、 研修を行う授業科目	
	実習先・実習の目的	
備考		

科目名		布教法	
担当教員		南條 了瑛・横内 教順	
授業方法		講義	
科目の概要	到達目標	この科目では、布教の意義・方法・心得を学びます。布教は、仏徳讃嘆に尽きますが、「自信教人信（みづから信じ人を教へて信ぜしむること）」（『往生礼讃』、『浄土真宗聖典七祖篇』676頁）と言われた善導大師のお言葉を大切に、阿弥陀さまのお慈悲を如何にして伝えるかと言うことをテーマにしていきたいと思います。開講中には、布教原稿を作成していただき、実演を通し、法話原稿がより良きものとなるように意見交換を行いながら、実際に布教することができるようになることを目標といたします。浄土真宗の僧侶の心得に「終身僧侶の本分をまもり勉学布教を怠らないこと」とあります。今一度、親鸞聖人があきらかにされた浄土真宗のみ教えを見つめ直し、「布教」についての学びを深めていきたいと思います。	
	テキストの概要	このテキストは、浄土真宗本願寺派の教師教修必修テキストとして新たに定められたものです。本願寺派の教師をめざす方をはじめ僧侶に向けて、必要な知識・技能を習得するための教本となっています。浄土真宗の教義、歴史などに加え、勤式作法やご法話の実演について体系的にまとめられています。本文中には、必要に応じて学習した内容を記入できるよう十分な余白がとられており、『僧侶教本A』と併せて生涯学習に利用できるよう作成されています。	
授業計画		スクーリング（2単位）とWBTによる学習（2単位）の計4単位の科目です。 <スクーリング><自宅学習> 第01講 [布教の意義・方法・心得①] 第02講 [布教の意義・方法・心得②] 第03講 [布教の意義・方法・心得③] 第04講 [布教の意義・方法・心得④] 第05講 [布教実演①] 第06講 [布教実演②] 第07講 [布教実演③] 第08講 [布教実演④] 第09講 [築地本願寺常例布教①] 第10講 [話し合い討議①] 第11講 [築地本願寺常例布教②] 第12講 [話し合い討議②] 第13講 [布教実演⑤] 第14講 [布教実演⑥] 第15講 [総括] 第16講 [単位認定試験]	
成績評価の方法		単位認定試験	
実践的教育を行う授業科目の種別		a：実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目	
		担当教員の実務経験 (経歴・資格等)	
		授業内容との関連性	
		b：企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目	

2022 武蔵野大学 通信教育部 シラバス

	学外講師の経歴・資格等	
	授業内容	
	c：企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、 研修を行う授業科目	
	実習先・実習の目的	
備考		

2022 武蔵野大学 通信教育部 シラバス

科目名		仏教聖典を語る 「阿含経典」を読む	
担当教員		新作 慶明	
授業方法		講義	
科目の概要	到達目標	この科目は、読むシリーズ①と②で選択した仏教聖典の内容を踏まえ、履修者がその仏教聖典に関するテーマを自らが設定し、そのテーマについて深く考えることを目標とします。読むシリーズ①と②は主に知識を吸収することが目標でしたが、この科目はそこで吸収した知識に基づいて、自らの視点で仏教聖典を語り、解釈し、分析を加えることなどが目標になります。	
	テキストの概要	なし	
授業計画		この科目の単位認定は、3回のレポートを提出し、第3回レポート（単位認定申請レポート）に合格することで6単位を認定します。 <参考テーマ> 1. 阿含経典にみる縁起 2. 阿含経典にみる仏弟子の姿 3. 阿含経典にみる仏陀の女性観	
成績評価の方法		単位認定試験	
実践的教育を行う授業科目の種別	a：実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目		
	担当教員の实務経験（経歴・資格等）		
	授業内容との関連性		
	b：企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目		
	学外講師の経歴・資格等		
	授業内容		
	c：企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、研修を行う授業科目		
	実習先・実習の目的		
備考			

2022 武蔵野大学 通信教育部 シラバス

科目名		仏教聖典を語る 「般若経典」を読む	
担当教員		鈴木 健太・藤丸 智雄	
授業方法		講義	
科目の概要	到達目標	この科目は、読むシリーズ①と②で選択した仏教聖典の内容を踏まえ、履修者がその仏教聖典に関するテーマを自らが設定し、そのテーマについて深く考えることを目標とします。読むシリーズ①と②は主に知識を吸収することが目標でしたが、この科目はそこで吸収した知識に基づいて、自らの視点で仏教聖典を語り、解釈し、分析を加えることなどが目標になります。	
	テキストの概要	なし	
授業計画		この科目の単位認定は、3回のレポートを提出し、第3回レポート（単位認定申請レポート）に合格することで6単位を認定します。 <参考テーマ> 1. 大乘仏教の興起・展開と「般若経典」について 2. 「般若経典」に説かれる空思想について 3. 「般若経典」の「さとり」「すくい」について	
成績評価の方法		単位認定試験	
実践的教育を行う授業科目の種別	a：実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目		
	担当教員の实務経験（経歴・資格等）		
	授業内容との関連性		
	b：企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目		
	学外講師の経歴・資格等		
	授業内容		
	c：企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、研修を行う授業科目		
	実習先・実習の目的		
備考			

科目名		仏教聖典を語る 「浄土三部経」を読む	
担当教員		長尾 重輝	
授業方法		講義	
科目の概要	到達目標	この科目は、読むシリーズ①と②で選択した仏教聖典の内容を踏まえ、履修者がその仏教聖典に関するテーマを自らが設定し、そのテーマについて深く考えることを目標とします。読むシリーズ①と②は主に知識を吸収することが目標でしたが、この科目はそこで吸収した知識に基づいて、自らの視点で仏教聖典を語り、解釈し、分析を加えることなどが目標になります。	
	テキストの概要	なし	
授業計画		<p>この科目の単位認定は、3回のレポートを提出し、第3回レポート（単位認定申請レポート）に合格することで6単位を認定します。</p> <p><参考テーマ></p> <ol style="list-style-type: none"> 『無量寿経』における菩薩思想と四十八願について 『観無量寿経』における世尊の説示の真意について 『阿弥陀経』における諸仏称揚の意義について 『浄土三部経』理解における善導、法然、親鸞の意義について 	
成績評価の方法		単位認定試験	
実践的教育を行う授業科目の種別	a：実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目		
	担当教員の実務経験（経歴・資格等）		
	授業内容との関連性		
	b：企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目		
	学外講師の経歴・資格等		
	授業内容		
	c：企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、研修を行う授業科目		
	実習先・実習の目的		
備考			

2022 武蔵野大学 通信教育部 シラバス

科目名		仏教聖典を語る 「教行信証」を読む	
担当教員		合群 信哉	
授業方法		講義	
科目の概要	到達目標	この科目は、読むシリーズ①と②で選択した仏教聖典の内容を踏まえ、履修者がその仏教聖典に関するテーマを自らが設定し、そのテーマについて深く考えることを目標とします。読むシリーズ①と②は主に知識を吸収することが目標でしたが、この科目はそこで吸収した知識に基づいて、自らの視点で仏教聖典を語り、解釈し、分析を加えることなどが目標になります。	
	テキストの概要	なし	
授業計画		この科目の単位認定は、3回のレポートを提出し、第3回レポート（単位認定申請レポート）に合格することで6単位を認定します。 <参考テーマ> 1. 『教行信証』における念仏と信心 2. 親鸞の往生思想の特質について 3. 『教行信証』における「真」「仮」「偽」について	
成績評価の方法		単位認定試験	
実践的教育を行う授業科目の種別	a：実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目		
	担当教員の实務経験（経歴・資格等）		
	授業内容との関連性		
	b：企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目		
	学外講師の経歴・資格等		
	授業内容		
	c：企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、研修を行う授業科目		
	実習先・実習の目的		
備考			

科目名		仏教聖典を語る 「歎異抄」を読む	
担当教員		前田 壽雄	
授業方法		講義	
科目の概要	到達目標	この科目は、読むシリーズ①と②で選択した仏教聖典の内容を踏まえ、履修者がその仏教聖典に関するテーマを自らが設定し、そのテーマについて深く考えることを目標とします。読むシリーズ①と②は主に知識を吸収することが目標でしたが、この科目はそこで吸収した知識に基づいて、自らの視点で仏教聖典を語り、解釈し、分析を加えることなどが目標になります。	
	テキストの概要	なし	
授業計画		この科目の単位認定は、3回のレポートを提出し、第3回レポート（単位認定申請レポート）に合格することで6単位を認定します。 <参考テーマ> 1. 『歎異抄』における悪人正機説について 2. 『歎異抄』における行信思想について 3. 『歎異抄』にみられる異義について	
成績評価の方法		単位認定試験	
実践的教育を行う授業科目の種別	a：実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目		○
	担当教員の実務経験（経歴・資格等）	（前田 壽雄先生 職歴）築地本願寺新報編集委員 浄土真宗本願寺派総合研究所上級研究員	
	授業内容との関連性	浄土真宗本願寺派の研究所にて活動していた教員が、仏教学の専門知識を真宗学の観点を中心として、解説する。	
	b：企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目		
	学外講師の経歴・資格等		
	授業内容		
	c：企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、研修を行う授業科目		
実習先・実習の目的			
備考			

2022 武蔵野大学 通信教育部 シラバス

科目名		仏教聖典を語る 「法華経」を読む	
担当教員		岡田 文弘	
授業方法		講義	
科目の概要	到達目標	この科目は、読むシリーズ①と②で選択した仏教聖典の内容を踏まえ、履修者がその仏教聖典に関するテーマを自らが設定し、そのテーマについて深く考えることを目標とします。読むシリーズ①と②は主に知識を吸収することが目標でしたが、この科目はそこで吸収した知識に基づいて、自らの視点で仏教聖典を語り、解釈し、分析を加えることなどが目標になります。	
	テキストの概要	なし	
授業計画		この科目の単位認定は、3回のレポートを提出し、第3回レポート（単位認定申請レポート）に合格することで6単位を認定します。 <参考テーマ> 1. 『華厳経』における法界縁起の思想の特質とその現代的意義について 2. 『華厳経』における菩薩道からみた人格形成の課題について 3. 『華厳経』における仏陀観の普遍性と独自性について	
成績評価の方法		単位認定試験	
実践的教育を行う授業科目の種別	a：実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目		
	担当教員の实務経験（経歴・資格等）		
	授業内容との関連性		
	b：企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目		
	学外講師の経歴・資格等		
	授業内容		
	c：企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、研修を行う授業科目		
	実習先・実習の目的		
備考			

科目名		仏教聖典を語る 「華嚴経」を読む	
担当教員		西本 照真	
授業方法		講義	
科目の概要	到達目標	この科目は、読むシリーズ①と②で選択した仏教聖典の内容を踏まえ、履修者がその仏教聖典に関するテーマを自らが設定し、そのテーマについて深く考えることを目標とします。読むシリーズ①と②は主に知識を吸収することが目標でしたが、この科目はそこで吸収した知識に基づいて、自らの視点で仏教聖典を語り、解釈し、分析を加えることなどが目標になります。	
	テキストの概要	なし	
授業計画		この科目の単位認定は、3回のレポートを提出し、第3回レポート（単位認定申請レポート）に合格することで6単位を認定します。 <参考テーマ> 1. 『華嚴経』における法界縁起の思想の特質とその現代的意義について 2. 『華嚴経』における菩薩道からみた人格形成の課題について 3. 『華嚴経』における仏陀観の普遍性と独自性について	
成績評価の方法		単位認定試験	
実践的教育を行う授業科目の種別	a：実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目		
	担当教員の实務経験（経歴・資格等）		
	授業内容との関連性		
	b：企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目		
	学外講師の経歴・資格等		
	授業内容		
	c：企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、研修を行う授業科目		
	実習先・実習の目的		
備考			

2022 武蔵野大学 通信教育部 シラバス

科目名		仏教聖典を語る 「唯識三十頌」を読む	
担当教員		加藤 弘二郎	
授業方法		講義	
科目の概要	到達目標	この科目は、読むシリーズ①と②で選択した仏教聖典の内容を踏まえ、履修者がその仏教聖典に関するテーマを自らが設定し、そのテーマについて深く考えることを目標とします。読むシリーズ①と②は主に知識を吸収することが目標でしたが、この科目はそこで吸収した知識に基づいて、自らの視点で仏教聖典を語り、解釈し、分析を加えることなどが目標になります。	
	テキストの概要	なし	
授業計画		この科目の単位認定は、3回のレポートを提出し、第3回レポート（単位認定申請レポート）に合格することで6単位を認定します。 <参考テーマ> 1. 『唯識三十頌』にみられる「心・意・識」について 2. 『唯識三十頌』にみられる三性説の構造について 3. 『唯識三十頌』にみられる修行の階梯について	
成績評価の方法		単位認定試験	
実践的教育を行う授業科目の種別	a：実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目		
	担当教員の实務経験（経歴・資格等）		
	授業内容との関連性		
	b：企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目		
	学外講師の経歴・資格等		
	授業内容		
	c：企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、研修を行う授業科目		
	実習先・実習の目的		
備考			

2022 武蔵野大学 通信教育部 シラバス

科目名		仏教聖典を語る 「禅語録」を読む	
担当教員		高柳 さつき	
授業方法		講義	
科目の概要	到達目標	この科目は、読むシリーズ①と②で選択した仏教聖典の内容を踏まえ、履修者がその仏教聖典に関するテーマを自らが設定し、そのテーマについて深く考えることを目標とします。読むシリーズ①と②は主に知識を吸収することが目標でしたが、この科目はそこで吸収した知識に基づいて、自らの視点で仏教聖典を語り、解釈し、分析を加えることなどが目標になります。	
	テキストの概要	なし	
授業計画		この科目の単位認定は、3回のレポートを提出し、第3回レポート（単位認定申請レポート）に合格することで6単位を認定します。 <参考テーマ> 1. 馬祖道一の「修道」に関する説法について 2. 達磨の「二入四行論」の内容について 3. 仏教思想の中の禅宗の「坐禅」について	
成績評価の方法		単位認定試験	
実践的教育を行う授業科目の種別	a：実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目		
	担当教員の实務経験（経歴・資格等）		
	授業内容との関連性		
	b：企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目		
	学外講師の経歴・資格等		
	授業内容		
	c：企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、研修を行う授業科目		
	実習先・実習の目的		
備考			

科目名		生涯看護学概論	
担当教員		鈴木 聖子	
授業方法		講義	
科目の概要	到達目標	<p>「生涯看護学概論」では、「看護理論とは何か」（看護理論の概要）を学習した上で、ヴァージニア・ヘンダーソンの看護論と、ドロセア・E. オレム看護理論の2つを学習します。本科目では、以下の①～④を到達目標とします。また、⑤に関しては本科目を学習した上で、その後の看護師としての経験の中で成熟させてほしい「長期的到達目標」です。</p> <p>① 看護理論とは何か（看護理論の概要、看護理論の機能、看護理論の構成要素）について理解することができる。</p> <p>② ヘンダーソンの看護論とオレムの看護理論の鍵概念や内容、本質について理解できる。</p> <p>③ 2つの理論を、看護実践と結びつけて理解することができる。</p> <p>④ 看護実践の基盤となる看護理論を学習することで、自身の看護専門職としてのアイデンティティ（看護観）をさらに深めることができる。</p> <p>⑤ これら理論的知識と（自身の）経験的知識を、看護実践に統合することができる。</p>	
	テキストの概要	<p>『オレム看護論入門』は、Dorothea E. Orem（オレム）の著書である『オレム看護論』をコニー・M・デニスが、学生向けに理解しやすく解説した内容になっています。オリジナルとは若干異なる部分もありますが、基本的にはオレムの看護理論を忠実に解説しています。テキストは、1章から7章に区分されていますが、この中心は第2章オレムのセルフケア不足看護理論の概観、第4章主要概念：セルフケア／依存的ケアとセルフケア不足です。これらの内容を踏まえ第5章・第6章は、看護システムと看護過程について述べられていて、より実践的な内容になっています。</p>	
授業計画		<p>WB Tで出題される所定の回数のレポートを提出・合格の後、WB T上で行われる単位認定試験に合格することで2単位を認定します。</p> <p><自宅学習></p> <p>第Ⅰ部 看護理論とは何か</p> <p>第Ⅱ部 ヴァージニア・ヘンダーソン看護論</p> <p>第Ⅲ部 オレム看護論『オレム看護論入門』</p>	
成績評価の方法		単位認定試験	
実践的教育を行う授業科目の種別	a：実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目		
	担当教員の实務経験（経歴・資格等）		
	授業内容との関連性		
	b：企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目		
	学外講師の経歴・資格等		

2022 武蔵野大学 通信教育部 シラバス

	授業内容	
	c : 企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、研修を行う授業科目	
	実習先・実習の目的	
備考		

科目名		看護教育論
担当教員		大井 千鶴
授業方法		講義
科目の概要	到達目標	<p>1 わが国の看護教育制度を支える法的基盤を学習し、看護専門職者育成に向けた教育のあり方を考察する。</p> <p>2 看護学の授業展開や看護実践における教育展開を支える理論的知識を学習し、看護と教育の関連性を意味づける。</p> <p>3 教育評価について学習し、自己の看護教育活動もしくは看護実践に対し評価方法を用いて分析し、評価活動を価値づける。</p> <p>4 新人看護師をはじめとする看護職者が抱える問題を理解し、看護継続教育において看護専門職者育成に向けた課題および解決策を検討する。</p>
	テキストの概要	<p>指定したテキストは、主に看護職者を育成する視点で看護学教育について記述された書である。看護学教育の中心となる看護実践能力育成過程に焦点をあてて、「看護実践の過程」、「看護学教育の過程」「看護学教育と教育方法」「看護学教育と教育評価」という4つの章で著者の考えを述べている。</p>
授業計画		<p>オンラインで行われるスクーリングに出席し、各授業で教員より提示される個人まとめ、中間まとめ、全体まとめの内容を一定水準に満たすことで2単位を認定します。</p> <p><スクーリング></p> <p>第01講 看護教育制度を支える関連法規</p> <p>第02講 看護教育制度の歴史的変遷と特徴1（グループワーク）</p> <p>第03講 看護教育制度の歴史的変遷と特徴2（発表・共有）</p> <p>第04講 看護専門職者育成に向けた教育の質保証／個人まとめ</p> <p>第05講 教育・学習を支える理論（講義・小ワーク・発表・共有）</p> <p>第06講 教授学習過程、授業設計、授業展開の基本</p> <p>第07講 看護学実習における授業展開の特徴／個人まとめ</p> <p>第08講 教育評価の分類と活用方法</p> <p>第09講 教育評価の実際（グループワーク・発表・共有）</p> <p>第10講 教育上の評価用具</p> <p>第11講 中間まとめ</p> <p>第12講 看護継続教育の変遷</p> <p>第13講 新人看護師の理解と支援</p> <p>第14講 全体まとめ／振り返り</p>
成績評価の方法		単位認定試験
		a：実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目

2022 武蔵野大学 通信教育部 シラバス

実践的教育を行う 授業科目の種別	担当教員の実務経験 (経歴・資格等)	
	授業内容との関連性	
	b: 企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目	
	学外講師の経歴・資格等	
	授業内容	
	c: 企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、 研修を行う授業科目	
	実習先・実習の目的	
備考		

科目名		国際看護論
担当教員		マガフ 範子
授業方法		講義
科目の概要	到達目標	目標； ① 世界の国々、特に開発途上国の人々の健康を様々な健康指標を用いて説明できる。 ② 開発途上国の健康改善のために国・国連機関・NGO が行う活動を理解する。 ③ 開発 途上国における看護の現状について理解を深める。 ④ 国境、文化、言語、宗教を越えて世界の人々の健康に貢献するため必要な知識や能力について理解を深める。
	テキストの概要	なし
授業計画		WBTで出題される所定の回数のレポートを提出・合格の後、WBT上で行われる単位認定試験に合格することで2単位を認定します。 <自宅学習> 第1章 開発途上国の抱える問題と母子保健 第2章 感染症 第3章 栄養 第4章 プライマリ・ヘルスケアとミレニアム開発目標 第5章 文化的アプローチの重要性 第6章 開発途上国の看護職 第7章 国際保健・看護の担い手 第8章 災害にあった国への医療支援
成績評価の方法		単位認定試験
実践的教育を行う授業科目の種別	a：実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目	
	担当教員の実務経験 (経歴・資格等)	
	授業内容との関連性	
	b：企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目	
	学外講師の経歴・資格等	
	授業内容	
	c：企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、研修を行う授業科目	
	実習先・実習の目的	

備考

科目名		看護管理論 (S)	
担当教員		酒井 美絵子	
授業方法		講義	
科目の概要	到達目標	<p>この科目では、医療に関連する法制度を踏まえ、安全で安心な医療を提供するための看護の方策について考察することを目的とする。</p> <p>1. 保健医療福祉に関する法制度について学習し、看護職の法的位置づけ、社会的な役割について考察することができる。</p> <p>2. 安全の確保・教育の方策・コミュニケーションのあり方について考察することができる。</p> <p>3. チームとしての医療、医療の質・看護の質の確保について自身の考えをまとめることができる。</p>	
	テキストの概要	なし	
授業計画		<p>本校（東京都西東京市）で行われるスクーリング（全14コマ）に出席し、最終日に教員より課される単位認定試験に合格することで2単位を認定します。</p> <p><スクーリング></p> <p>第01講 オリエンテーション 看護を取り巻く社会の変化：制度政策とその背景</p> <p>第02講 看護関連法令 保健師助産師看護師法、看護等の人材確保の促進に関する法律等</p> <p>第03講 看護関連制度 診療報酬および介護報酬制度と看護の評価</p> <p>第04講 制度の活用とその必要性：特定行為研修と実践, ICTによる死亡診断等</p> <p>第05講 看護サービス管理に必要な知識と技術(リーダーシップ, 動機づけ等)</p> <p>第06講 医療の質・看護の質とは</p> <p>第07講 看護の質確保のための方策</p> <p>第08講 安全確保の方策：インシデント・アクシデントの内容と対応</p> <p>第09講 安全確保の方策：インシデント事例の分析・グループワーク</p> <p>第10講 危険予知トレーニング① グループワーク</p> <p>第11講 危険予知トレーニング② グループワーク発表</p> <p>第12講 チーム医療の実施に必要なコミュニケーションのあり方</p> <p>第13講 多職種連携のために必要なコミュニケーション能力とは：グループワーク</p> <p>第14講 まとめ・単位認定試験</p>	
成績評価の方法		単位認定試験	
実践的教育を行う授業科目の種別		a：実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目	
		担当教員の実務経験 (経歴・資格等)	
		授業内容との関連性	

2022 武蔵野大学 通信教育部 シラバス

	b: 企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目	
	学外講師の経歴・資格等	
	授業内容	
	c: 企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、研修を行う授業科目	
	実習先・実習の目的	
備考		

科目名		看護研究法	
担当教員		池口 佳子・菊地 ひとみ・野口 普子・山本 由子	
授業方法		講義	
科目の概要	到達目標	臨床で行う看護研究では臨床判断の質を高め、患者ケアを進歩させるという、直接に日々の実践に役立つ学習となることを目指している。本講座では、看護研究の基本的な特徴を理解するとともに、有用な文献を検索し選択・精読し活用し、グループワークによってまとめていく過程を学習する。よって、提示した事例課題をグループで話し合い、症例報告を作成していく過程をふまえて、リサーチクエスト、文献検索、研究方法の検討、結果へのアセスメント、考察、まとめに至る研究の流れを理解する。これにより、看護特有の視座や思考方法を修得することを目標とする。	
	テキストの概要	なし。 講義の際に資料を配布します。手元に参考となるテキストを必要とする場合は下記を薦めます。 タイトル：早坂和夫編. JJN Special No.94 看護研究の進め方論文の書き方第2版. 医学書院.	
授業計画		<p>本校（東京都西東京市）で行われるスクーリング（全14コマ）に出席し、最終日に教員より課せられる単位認定試験に合格することで2単位を認定します。</p> <p><スクーリング></p> <p>第01講 オリエンテーション、自己紹介</p> <p>第02講 看護研究イントロダクション・看護研究の基本「PICO/PECO」</p> <p>第03講 文献検索</p> <p>第04講 文献検索</p> <p>第05講 量的研究の基本</p> <p>第06講 グループワーク① 「量的研究」</p> <p>第07講 グループワーク① まとめ</p> <p>第08講 質的研究の基本</p> <p>第09講 グループワーク②</p> <p>第10講 グループワーク②</p> <p>第11講 グループワーク② 「質的研究」</p> <p>第12講 看護研究と倫理</p> <p>第13講 グループワーク③</p> <p>第14講 単位認定試験</p>	
成績評価の方法		単位認定試験	
実践的教育を行う授業科目の種別		a：実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目	
		担当教員の実務経験 (経歴・資格等)	

2022 武蔵野大学 通信教育部 シラバス

	授業内容との関連性	
	b：企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目	
	学外講師の経歴・資格等	
	授業内容	
	c：企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、研修を行う授業科目	
	実習先・実習の目的	
備考		

科目名		高齢者看護論	
担当教員		菊地 悦子	
授業方法		講義	
科目の概要	到達目標	<p>高齢者看護論では、今後の社会の急速な変化に応じられる看護の専門知識習得を目標に以下のことを到達目標とします。</p> <p>【看護の専門知識習得の到達目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の加齢にともなう身体的・社会的・心理的特徴を理解する。 ・高齢者とその家族に関わる保健・医療・福祉制度について理解する。 ・高齢者看護の倫理的な課題と対応方法に関する基本的考え方を理解する。 ・高齢者に特有な健康障害と看護について理解する。 ・高齢者の加齢にともなう生活障害に視点をあてた看護のあり方を理解する。 ・認知症の症状や生活障害、認知症高齢者の長期療養を支えるアプローチについて理解する。 	
	テキストの概要	<p>老年期を生きる人の理解から、老年看護の成り立ちや定義、倫理的課題をふまえながら、高齢者看護の実践に求められる知識、技術へと学んでいける基本的事項を網羅しているテキストです。</p>	
授業計画		<p>WB Tで出題される所定の回数のエクササイズに合格の後、WB T上で行われる単位認定試験に合格することで2単位を認定します。</p> <p><自宅学習></p> <p>第1章 老年期を生きる人の理解 第2章 世界における日本の老年看護 第3章 老年看護の倫理的課題と対応 第4章 心身の加齢変化と健康アセスメント 第5章 老年期に特有な健康障害と看護 第6章 高齢者とその家族への看護 第7章 認知症高齢者の看護 第8章 高齢者の人生の最終段階における看護 第9章 高齢者の暮らしを支えるヘルスケアシステム</p>	
成績評価の方法		単位認定試験	
実践的教育を行う授業科目の種別		a：実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目	
		担当教員の实務経験 (経歴・資格等)	
		授業内容との関連性	
		b：企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目	
		学外講師の経歴・資格等	

2022 武蔵野大学 通信教育部 シラバス

	授業内容	
	c : 企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、研修を行う授業科目	
	実習先・実習の目的	
備考		

科目名	エンド・オブ・ライフケア	
担当教員	山本 由子	
授業方法	講義	
科目の概要	到達目標	この科目では、医療機関や高齢者施設、在宅等において、さまざまな疾患をもつ人、および高齢者が最後までその人らしく生きる力を育む支援、すなわち、終末期ケアやホスピス・緩和ケアを含めたエンド・オブ・ライフケアに関する看護の概念を考え培うことを目的とする。
	テキストの概要	<p>超高齢化社会に突入しているわが国では、世界に先駆けて多死社会を迎えようとしている。このテキストでは、終末期ケアや緩和ケアといった死にゆく人のケアのみならず、その人らしく生きるとは、その人らしい生き方を問い、家族へのケアを含めながら最善の在り方やその課題について、看護者がさまざまな課題やシステムを通じて考えるよう構成されている。</p> <p>本書の構成は、第1部「基礎編」、第2部「実践編」に大きく分かれている。「基礎編」第1、2章では、わが国でエンド・オブ・ライフケアが求められる社会的背景としての医療制度の変遷と、地域包括ケアシステム構築の経緯、エンド・オブ・ライフケアの考え方や実践について解説している。第3章ではアドバンス・ケア・プランニングの意味と解説、諸外国の実情を紹介して日本における課題が挙げられている。第4章では、エンド・オブ・ライフケアにおける専門職の倫理、第5章では実践で必要とされるケアの倫理を考察している。第6章ではまとめとして、質の高いエンド・オブ・ライフケアを推進するうえでの現状と課題が示されている。</p> <p>「実践編」では、エンド・オブ・ライフケアの定義から、人のあり様を4つの軸でとらえている。まず第1章は、病の軌跡という症状経過を意識しながら、がん・慢性呼吸不全・慢性腎不全・認知症・神経難病といったさまざまな疾患について各々のプロセスにおける支援のタイミングと留意点を示した。第2章は成長発達やライフスタイルに応じたエンド・オブ・ライフケアとチームアプローチ、第3章はエンド・オブ・ライフケアを支える地域包括支援センターの機能、病院と地域の連携、在宅看取りの実践例を紹介している。第4章では、エンド・オブ・ライフケアを担う人材育成と現状の課題を整理している。多様な臨床現場における生と死、そして、子どもから高齢者に至るあらゆる発達段階にある人の人生の終末期・晩年期を包括的にとらえるあり方から、心理学・看護学・仏教学／人間学における視点を追求していくうえで、本書にまとめられている内容からそれぞれの実践への示唆を得られることを期待する。</p>
授業計画	<p>WB Tで出題される所定の回数のレポートを提出・合格の後、WB T上で行われる単位認定試験に合格することで2単位を認定します。</p> <p><自宅学習></p> <p>第1部 基礎編</p> <p>第1章 エンド・オブ・ライフケアを必要とする社会的背景 —医療制度の変遷と地域包括ケアまで—</p> <p>第2章 エンド・オブ・ライフケアとは</p>	

	第3章 アドバンス・ケア・プランニング, その意義と効用, わが国での活用 第4章 エンド・オブ・ライフケアと倫理的問題 第5章 生活文化に即したエンド・オブ・ライフケアのチームアプローチ ー意向の尊重と尊厳を保つケア 第6章 質の高いエンド・オブ・ライフケアと今後の課題 ーケアの質評価と専門職の責務, 人材育成ー 第2部 実践編 第1章 病の軌跡とエンド・オブ・ライフケア ー症状経過のプロセスにおける支援のタイミングと留意点ー 第2章 成長発達やライフスタイルに応じたエンド・オブ・ライフケアとチームアプローチ 第3章 エンド・オブ・ライフケアを支える地域包括ケアシステム ー基本的考え方と実践編ー 第4章 エンド・オブ・ライフケアを担う人材育成と啓発普及	
成績評価の方法	単位認定試験	
実践的教育を行う 授業科目の種別	a: 実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目	
	担当教員の 実務経験 (経歴・資格等)	
	授業内容との 関連性	
	b: 企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目	
	学外講師の 経歴・資格等	
	授業内容	
	c: 企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、研修を行う授業科目	
実習先・実習の 目的		
備考		

科目名	精神保健看護学
担当教員	小竹 理紗
授業方法	講義
科目の概要	<p>看護学校時代の精神看護学実習を思い出してみてください。実習で担当させていただいた方の中には、精神科病棟が「生活の場」となっている方もいらっしゃるのではないでしょうか。現在、精神科ではそのような長期入院をされている方の高齢化が進む一方で、新規入院患者の約9割は1年以内に退院しています。精神保健医療福祉を取り巻く状況は、精神保健福祉法の度重なる改正、障害者自立支援法の成立から障害者総合支援法への改正、2年おきに改定される診療報酬制度など、毎年のようにめまぐるしく変化しています。そのため、本講座を受講している皆さんが基礎教育を受けた頃に取り入れた知識の更新が求められます。</p> <p>また、法律や制度の変化と同様に、精神科看護に対する基本的なスタンスや、そのケアのあり方についても大きくパラダイムシフトが起きています。急性期の入院治療から地域生活への移行支援、リカバリーの概念やストレングスモデルなどに基づいた「当事者の主体性」の支援、総合病院におけるリエゾン精神看護の普及、ピアサポートなど、看護を取り巻く状況も大きく変わってきており、私たちは新しい精神看護のあり方を探求しなくてはなりません。</p> <p>本科目は、昨今の精神保健医療福祉の状況を念頭に置き、皆さんが基礎教育で学んだ精神科看護および精神保健医療福祉の知識をアップデートし、現在の実践に応用できるようになることを主な目標としています。</p>
	<p>本テキストは2010年初版されたものの2022年改訂版です。精神保健医療福祉の領域ではこの5年間に、障害者に関わる制度、精神科医療に関する法律、診療報酬制度などいくつかの大きな変化がみられています。このような時代における精神保健医療の状況や法律、制度を整理し、正確に学習していくため、改訂版では2冊の構成となりました。まず、必要な最新の知識を学ぶ「精神看護学Ⅰ」、そして実践の場での患者理解とケア実践に具体的につなげていくための「精神看護学Ⅱ」です。</p> <p>本科目では「精神看護学Ⅰ」をテキストとして用い、正確な知識の習得と理解を目指しますが、必要に応じて「精神看護学Ⅱ」も参考にして、実践への応用も理解していくことが望ましいです。テキストの内容はオールカラーで読みやすく配慮されています。多くの知識を身に付けることで、患者や相手の話をそのままに聞ける余裕が生まれ、臨床でじっくりと話を聞き、多職種間で話し合い、どのような資源が使えるか患者と一緒に考えられるようになることが期待されます。</p> <p>本書は、第Ⅰ章 精神看護はどんな活動か、第Ⅱ章 精神保健医療福祉と制度、第Ⅲ章 こころの発達と精神保健、第Ⅳ章 一般病床における精神看護で編纂されています。執筆者は、長らく精神保健看護に携わってきた経験豊富な臨床実践者、精神看護学教員で構成されています。</p>
授業計画	WB Tで出題される所定の回数のエクササイズに合格の後、WB T上で行われる単位認定試験に合格することで2単位を認定します。

2022 武蔵野大学 通信教育部 シラバス

	<自宅学習> 第Ⅰ章 精神看護はどんな活動か 第Ⅱ章 精神保健医療福祉と制度 第Ⅲ章 こころの発達と精神保健 第Ⅳ章 一般病床における精神看護	
成績評価の方法	単位認定試験	
実践的教育を行う 授業科目の種別	a：実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目	
	担当教員の実務経験 (経歴・資格等)	
	授業内容との関連性	
	b：企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目	
	学外講師の経歴・資格等	
	授業内容	
	c：企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、 研修を行う授業科目	
	実習先・実習の目的	
備考		

科目名	家族相談援助論 (R)
担当教員	菊地 ひとみ
授業方法	講義
科目の概要	<p>到達目標</p> <p>臨床看護の対象は、急性期から慢性期、病気と障害を併せ持つ患者やターミナル期等全ての病期、発達段階にある患者である。また、社会の超高齢化多死社会への移行に伴い、少子高齢化や核家族化など、家族の在り方も著しく変化している。さらに、医学の進歩や在院日数の短縮に伴い、重症疾患、慢性疾患やターミナル患者などの治療の場を病院から在宅へ移行し、それに伴う在宅看護の必要性が重要視されている。このように、看護の視点および対象は「個人」から社会における「家族」へと変化してきている。</p> <p>本科目は、看護学における専門知識を習得するための科目である。よって、家族を単位とした家族看護の概念と看護アセスメント・援助の必要性について理解し実際の看護提供に役立つことを目的とする。また、家族看護の諸理論、家族看護過程、家族の保健機能を学び、さまざまな健康レベル、さまざまな健康障害を抱える家族の相談援助を行える基礎能力を培う。以上を到達目標とする。</p>
	<p>テキストの概要</p> <p>本書は家族看護学を学ぶにおいて最も基本的なテキストである。多くの大学や大学院での教科書としても活用されている。また、看護の実践者を対象とし事例も掲載されていることから、基礎から応用、理論から実践と幅広い学習が可能である。</p> <p>本書の構成は、第1部家族看護の理論、第2部家族看護の実践に大きく分けられる。第1部では、第1章において、家族看護学とは何かという基本的なことを説明し、第2章では、看護学における家族の理解とその理論的背景を示している。第3章においては、家族看護過程に沿って、家族看護アセスメント、家族看護診断、家族看護計画、渡辺式家族アセスメントモデルの解説、家族看護方法、家族看護評価について事例を引用しながら家族援助論を展開している。第4章は、家族看護における看護職の役割と姿勢について述べている。第2部では、実践編として、第5章、乳児を持つ家族への援助、第6章、重度心身障がい児を持つ家族への看護、第7章、救急医療・集中治療の場における家族看護、第8章、精神障害者を持つ家族への看護、第9章、高齢者介護を行っている家族への援助、第10章、終末期患者の家族援助と各論となっており、実際の看護の現場で役に立つ内容となっている。</p> <p>家族看護の考え方は、あらゆる領域の看護実践活動にまたがっており、小児、母性、成人、終末期といった看護の各領域に横断的に位置づけられている。また、看護の場としても在宅ケアの場である家庭、病院をはじめ、予防からリハビリに至る様々な保健医療施設に及んでいる。領域を超えて、家族を1ユニットとしてとらえた家族看護学が重要視されている。</p>
授業計画	<p>WB Tで出題される所定の回数のレポートを提出・合格の後、WB T上で行われる単位認定試験に合格することで2単位を認定します。</p> <p><自宅学習></p> <p>第1部 家族看護の理論</p> <p>第1章 家族看護学とは何か</p>

	第2章 看護学における家族の理解 第3章 家族看護過程 第4章 家族看護における看護者の役割と援助姿勢 第2部 家族看護の実践 第5章 乳児を持つ家族への援助 第6章 重度心身障がい児を持つ家族への看護 第7章 救急医療・集中治療の場における家族への看護 第8章 精神障害者を持つ患者の家族への看護 第9章 高齢者介護を行っている家族への看護 第10章 終末期患者の家族への看護	
成績評価の方法	単位認定試験	
実践的教育を行う 授業科目の種別	a：実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目	
	担当教員の実務経験 (経歴・資格等)	
	授業内容との関連性	
	b：企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目	
	学外講師の経歴・資格等	
	授業内容	
	c：企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、研修を行う授業科目	
	実習先・実習の目的	
備考		

科目名	家族相談援助論 (S)
担当教員	菊地 ひとみ
授業方法	講義
到達目標	<p>臨床看護の対象は急性期から慢性期、病気と障害を併せ持つ患者やターミナル期等全ての病期の患者を受け持ように変化してきた。また、社会の多様化に伴い、人口の少子高齢化や核家族化など、著しい社会形態の変化が進行している。さらに、科学技術の進歩や在院日数の短縮に伴い、重症疾患、慢性疾患やターミナル患者などの治療の場を病院から在宅へ移行し、それに伴う、在宅看護の必要性が重要視されている。母性看護領域においても、子どもの誕生期にある家族のより良い健康状態や新たな家族の編成を支援することは重要である。このように、看護の視点および対象は「個人」から「家族」へと変化してきている。</p> <p>本科目は、看護学における専門知識を習得するための科目である。よって、家族を単位とした家族看護の概念と看護アセスメント・援助の必要性について理解し実際の看護提供に役立つことを目的とする。また、家族看護の諸理論、家族看護過程、家族の保健機能を学び、さまざまな健康レベル、さまざまな健康障害を抱える家族の相談援助を行える基礎能力を培う。以上を到達目標とする。</p>
科目の概要	<p>本書は家族看護学を学ぶにおいて最も基本的なテキストである。多くの大学や大学院での教科書としても活用されている。また、看護の実践者を対象とし事例も掲載されていることから、基礎から応用、理論から実践と幅広い学習が可能である。</p> <p>本書の構成は、第1部家族看護の理論、第2部家族看護の実践に大きく分けられる。第1部では、第1章において、家族看護学とは何かという基本的なことを説明し、第2章では、看護学における家族の理解とその理論的背景を示している。第3章では家族看護における研究について述べている。さらに第4章において、家族看護過程に沿って、家族看護アセスメント、家族看護診断、家族看護計画、主な国内外の家族アセスメントモデルの概要、家族看護方法、家族看護評価について事例を引用しながら家族援助論を展開している。第5章は、家族看護における看護職の役割と姿勢について述べている。第2部では、実践編として、第6章、乳児を持つ家族への援助、第7章、入院治療を受ける病児を持つ家族への看護、第8章、救急医療・集中治療の場における家族看護、第9章、精神障害者を持つ家族への看護、第10章、高齢者介護を行っている家族への援助、第11章、終末期患者の家族援助と各論となっており、実際の看護の現場で役に立つ内容となっている。</p> <p>家族看護の考え方は、あらゆる領域の看護実践活動にまたがっており、家族看護学は小児、母性、成人、終末期といった看護の各領域に横断的に位置づけられている。また、看護の場としても在宅ケアの場である家庭、病院をはじめ、予防からリハビリに至る様々な保健医療施設に及んでいる。今後は領域を超えて、家族を1ユニットとしてとらえた家族看護学が改めて重要視されてくるであろう。</p> <p>家族相談援助理論はそんな家族看護学を基盤とした理論である。</p>

<p>授業計画</p>	<p>Zoom などによる同時双方向型授業（全 14 コマ）に出席し、最終日に教員より課される単位認定試験に合格することで 2 単位を認定します。</p> <p><スクーリング></p> <p>第 01 講 [家族看護の歴史：第 1 章] 第 02 講 [社会的背景：第 1-2 章] 第 03 講 [家族の理解・概念：第 2 章] 第 04 講 [家族の理解・諸理論 1：第 2 章] 第 05 講 [家族の理解・諸理論 2：第 2 章] 第 06 講 [家族アセスメント 1：第 3 章] 第 07 講 [家族アセスメント 2：第 3 章] 第 08 講 [家族看護方法：第 3 章] 第 09 講 [家族看護評価：第 3 章] 第 10 講 [看護者の役割と援助：第 4 章] 第 11 講 [家族看護の実際：第 5-6 章] 第 12 講 [家族看護の実際：第 7-8 章] 第 13 講 [家族看護の実際：第 9-10 章] 第 14 講 [単位認定試験]</p> <p><自宅学習></p> <p>第 1 部 家族看護の理論 第 1 章 家族看護学とは何か 第 2 章 看護学における家族の理解 第 3 章 家族看護過程 第 4 章 家族看護における看護者の役割と援助姿勢</p> <p>第 2 部 家族看護の実践 第 5 章 乳児を持つ家族への援助 第 6 章 重度心身障がい児を持つ家族への看護 第 7 章 救急医療・集中治療の場における家族への看護 第 8 章 精神障害者を持つ患者の家族への看護 第 9 章 高齢者介護を行っている家族への看護 第 10 章 終末期患者の家族への看護</p>											
<p>成績評価の方法</p>	<p>単位認定試験</p>											
<p>実践的教育を行う授業科目の種別</p>	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="368 1666 722 1747"> <p>a：実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目</p> </td> <td data-bbox="722 1666 1544 1747"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="368 1747 722 1843"> <p>担当教員の実務経験 (経歴・資格等)</p> </td> <td data-bbox="722 1747 1544 1843"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="368 1843 722 1926"> <p>授業内容との関連性</p> </td> <td data-bbox="722 1843 1544 1926"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="368 1926 1350 2007"> <p>b：企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目</p> </td> <td data-bbox="1350 1926 1544 2007"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="368 2007 722 2083"> <p>学外講師の経歴・資格等</p> </td> <td data-bbox="722 2007 1544 2083"></td> </tr> </table>		<p>a：実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目</p>		<p>担当教員の実務経験 (経歴・資格等)</p>		<p>授業内容との関連性</p>		<p>b：企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目</p>		<p>学外講師の経歴・資格等</p>	
<p>a：実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目</p>												
<p>担当教員の実務経験 (経歴・資格等)</p>												
<p>授業内容との関連性</p>												
<p>b：企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目</p>												
<p>学外講師の経歴・資格等</p>												

2022 武蔵野大学 通信教育部 シラバス

	授業内容	
	c：企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、研修を行う授業科目	
	実習先・実習の目的	
備考		

科目名	健康教育論
担当教員	大久保 菜穂子
授業方法	講義
科目の概要	<p>到達目標</p> <p>技術化、情報化が著しく進歩した反面、環境問題やライフスタイルの変容、高齢化など種々の問題を抱える現代社会において、身体的・精神的・社会的な面での不適応から様々な健康問題が生じてきている。特に、生活習慣病など複雑多様化する健康問題に関し、子供から高齢者まで様々な健康レベルの個人、家族、集団に対する各種健康教育の必要性が高まってきている。これら人間の健康に関わる諸問題を科学的・実践的に解明するとともに「生涯を通じての健康」を目指した健康教育の理念や方法論を確立していくことが求められている。</p> <p>本科目は、学校保健、産業保健、地域保健および健康に関わる教育、研究など、健康に関わる諸事項について学際的知識と実践技術を体系的に習得し、現場での健康教育の基盤とすることができることを到達目標とする。</p>
	<p>テキストの概要</p> <p>本書は健康教育論を学ぶにおいて最も基本的なテキストである。多くの大学や大学院での教科書としても活用されている。内容としては、健康教育の理念や理論、研究や国際動向について、基礎から応用、理論から実践と幅広い学習が可能である。</p> <p>本書の構成は、第1章 健康教育の理念、第2章 保健・医療と健康教育、第3章 健康教育と保健行動、第4章 健康教育の方法と媒体、第5章 コミュニティ・オーガニゼーション、自主グループ、ネットワーキングと健康教育、第6章 住民参加と健康教育、第7章 健康教育計画の企画、実施と評価、第8章 各種保健・医療従事者と健康教育、第9章 健康教育に関する調査・研究、第10章 健康教育の国際的動向 となっており、実際の看護の現場で役に立つ内容となっている。</p>
授業計画	<p>WB Tで出題される所定の回数のレポートを提出・合格の後、WB T上で行われる単位認定試験に合格することで2単位を認定します。</p> <p><自宅学習></p> <p>第1章 健康教育の理念</p> <p>第2章 保健・医療と健康教育</p> <p>第3章 健康教育と保健行動</p> <p>第4章 健康教育の方法と媒体</p> <p>第5章 コミュニティ・オーガニゼーション、自主グループ、ネットワーキングと健康教育</p> <p>第6章 住民参加と健康教育</p> <p>第7章 健康教育計画の企画、実施と評価</p> <p>第8章 各種保健・医療従事者と健康教育</p> <p>第9章 健康教育に関する調査・研究</p> <p>第10章 健康教育の国際的動向</p>
成績評価の方法	単位認定試験

2022 武蔵野大学 通信教育部 シラバス

実践的教育を行う 授業科目の種別	a：実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目		
	担当教員の実務経験 (経歴・資格等)		
	授業内容との関連性		
	b：企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目		
	学外講師の経歴・資格等		
	授業内容		
	c：企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、 研修を行う授業科目		
	実習先・実習の目的		
備考			

科目名		健康政策論	
担当教員		菊地 ひとみ	
授業方法		講義	
科目の概要	到達目標	<p>本科目は以下の専門的知識を段階的に習得することを目標とします。</p> <p>① 看護の対象である住民の多様な健康ニーズについて理解する。</p> <p>② 現在の住民の健康ニーズに対応した保健・医療・福祉関係法律、諸制度について知る。</p> <p>③ これらの法律制度成立の歴史的経緯と社会背景を知る。</p> <p>④ これらの法制度を実現化する国、地方自治体の組織、体制を理解し、看護職の果たしている役割を理解する。</p> <p>⑤ 自分の果たす業務における事業の計画的・施策的な方法論を修得する。</p> <p>⑥ 世界における保健戦略について、理解を深め、我が国との関連を知る。</p>	
	テキストの概要	<p>本テキストは看護系大学における保健師教育のうち、保健師が習得しておくべき基本的知識としての「保健医療福祉行政」に関して、国家試験出題基準に示された大項目（1. 保健医療福祉行政との理念としくみ、2. 社会情勢の変化と保健医療福祉行政の考え方の変遷、3. 地域保健医療福祉行政と保健師活動、4. 保健医療福祉の計画と評価）に従って編纂されたものであり、執筆者は長らく公衆衛生行政に携わってきた保健所長（公衆衛生医）や地域保健活動の実践経験豊富な現場保健師、地域看護学教員で構成されています。</p> <p>本科目名は「健康政策論」ですが、本テキスト「保健医療福祉行政論」に書かれている内容は、健康政策を考えるにあたり、最近の大きな制度改革も踏まえての最新の知識・技術が盛り込まれており、本科目の教科書として最適と考えて採用しました。ここでは「保健師」を「看護職」と読み替えて学修をしてください。</p>	
授業計画		<p>WB Tで出題される所定の回数のエクササイズに合格の後、WB T上で行われる単位認定試験に合格することで2単位を認定します。</p> <p><自宅学習></p> <p>1章 わが国の保健医療福祉制度の変遷</p> <p>2章 保健医療福祉行政の仕組み</p> <p>3章 社会保障制度</p> <p>4章 地域保健行政と保健師活動</p> <p>5章 保健医療福祉の計画と評価</p>	
成績評価の方法		単位認定試験	
実践的教育を行う授業科目の種別		a：実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目	
		担当教員の実務経験（経歴・資格等）	

2022 武蔵野大学 通信教育部 シラバス

	授業内容との関連性	
	b：企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目	
	学外講師の経歴・資格等	
	授業内容	
	c：企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、研修を行う授業科目	
	実習先・実習の目的	
備考		

科目名	在宅看護マネジメント論
担当教員	難波 貴代
授業方法	講義
科目の概要	<p>現在、わが国では高齢社会および少子化社会へと変換しつつある。そのような社会状況の中で看護職は専門職であるということが少しずつ認識されてきていると思われる。特に介護保険制度が開始されてから看護職は、利用者が在宅療養をするうえでは欠かせない専門職のひとつとなっている。看護職は、いわゆる病気をもって療養する療養者を対象にケアをしているが、本来、看護というものは新生児から高齢者まですべての年齢層を対象にケアを行い、健康な人から健康問題をもった人たちまでの人が看護の対象であることはいまでもないことである。だからこそ継続看護という事が重要となるわけである。ゆえに看護とは、生活者に働きかけることによって、患者（利用者）が安心して在宅で生活することにつながり、しいてはQOLの向上へとつながるのである。</p> <p>生活者に働きかけるということは、病院、訪問看護ステーションなど働く場は違ったとしても断片的なケア、いわゆる生活の延長線上の1点としてかかわるのでなく、生活の延長線上でかかわっているということを認識しなければならない。個別のケアだけでなく、個別の問題を集団的にみる視点、そして地域問題として発展させ、地域に住む利用者の問題を解決できる施策として発展させるなど地域ケアシステムを構築していく能力が看護職にも必要なのである。それには、看護職としてのマネジメント能力が大変重要であるのはいうまでもない。</p> <p>これからの看護職は、単なるその場だけの看護ケアに特化するだけでなく、地域を見る視点をもった看護職が必要となってくる。そのような地域を見る視点ができている看護職の働きによって、入院患者さんが退院後、地域での生活が円滑に過ごすことを可能にするのである。介護保険法の「自立」という理念のもと、入院時からどのように在宅を見据えていくのか、難しい課題にぶつかるかもしれないが、地域を見る視点がある看護職と出会った患者さんは、幸福である。入院患者が在宅に戻ったとき、どのような疾患であったとしても、安心して生活し、さらに生きがいをもつことを可能にし、最終的に患者さんのQOL（Quality of life）の向上へとつながっていくのである。</p> <p>上記のことを踏まえ、 <今回の改定>については、2022年度にカリキュラム改正が実施されることになり、対象者療養の場の多様化に対応できるよう「在宅看護論」を「地域・在宅看護論（6単位+2）」に名称変更し、内容を充実がはかられたわけです。</p> <p>在宅看護に長年係る山田氏は「なぜ在宅看護論の位置づけが変わったのか、なぜ在宅看護論に『地域』が付くのか考えてみてほしい」と医学書院主催の看護教員「実力養成」講座（2019）の会場に投げかけた。地域包括ケアの中では看護師が働く場も対象も多様になる。将来的に実習施設の要件がさらに緩和されれば、何を学習するためにどの実習の場を選ぶかの自由度がさらに上がると指摘した上で、「自校の周囲にある関係機関や住民と出会い、共に学ぶ場を作ってほしい」と期待を示した。このように「地域」ということを焦点に、看護を展開していくことが重要視されるようになってきたわけです。</p> <p>看護職は断片的な支援だけでなく、継続した支援が必要なのである。そこで「在宅看護マネジメント論」の到達目標として、</p>

		<p>わが国の在宅看護の歴史や必要とされる社会背景を踏まえ、</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 地域看護学の一領域としての在宅看護におけるケアマネジメントの意義、特徴および看護職としての役割と課題について学ぶ。 2. 在宅看護マネジメントは個別アプローチだけでなく、地域システムへの発展・形成過程についても働きかけていく必要性と方法論について学ぶ。 3. 在宅看護論の科目担当者から高齢者虐待の問題、がん末期の在宅療養者の問題について、研究内容から現在の在宅看護論の課題について考察する。
	<p>テキストの概要</p>	<p>この本は、看護職における在宅看護マネジメントについて書かれている図書です。本来、看護職は個別のケアに特化しがちですが、個別だけではなく、個別から集団へ、そして地域へと、地域システム全体あるいはそのもの自体に働きかけていくということが必要です。またテキスト自体が絵入りとなっており、読みやすくなっているため、学習がはかどると思います。</p>
	<p>授業計画</p>	<p>WBTで出題される所定の回数のエクササイズに合格の後、WBT上で行われる単位認定試験に合格することで2単位を認定します。</p> <p><自宅学習></p> <p>第1章 地域・在宅看護の概念 第2章 在宅療養者と家族の支援 第3章 地域包括ケアシステムと多様な生活の場における看護(第7版) 第4章 地域療養を支える制度 第5章 在宅療養を支える訪問看護 第6章 在宅看護における安全と健康危機管理 第7章 在宅における援助技術 第8章 地域・在宅看護の動向と今後の発展</p>
	<p>成績評価の方法</p>	<p>単位認定試験</p>
<p>実践的教育を行う授業科目の種別</p>	<p>a: 実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目</p>	
	<p>担当教員の实務経験 (経歴・資格等)</p>	
	<p>授業内容との関連性</p>	
	<p>b: 企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目</p>	
	<p>学外講師の経歴・資格等</p>	
	<p>授業内容</p>	
		<p>c: 企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、研修を行う授業科目</p>

2022 武蔵野大学 通信教育部 シラバス

	実習先・実習の目的	
備考		

科目名	地域看護学
担当教員	濱谷 雅子
授業方法	講義
科目の概要	<p>わが国では、超高齢社会に伴う疾病構造の変化や要介護者数の増加に対応するため、地域包括ケアシステムの構築が進められている。そのキーコンセプトの1つは「時々入院、ほぼ在宅」であり、その実現には在宅医療・介護の充実が不可欠である。看護職は、医療および介護の両方を提供できる専門職として、在宅医療・介護の中核的な役割を担っている。そしてその役割は今後ますます多様化・複雑化し、活動の場は広がっていくことが予測される。</p> <p>本科目の到達目標は以下の4つである。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域包括ケアシステム構想の社会的背景および、その関連制度について理解する。 ・地域における多機関・多職種連携について学習する。 ・在宅看護の対象者について理解する。 ・上記3点を踏まえ、地域（包括ケアシステム）において看護職が果たすべき役割について考える。 <p>本科目では、特に「地域における多機関・多職種連携」および、「在宅看護での対象者理解」に重点を置いて学習する。その学習を通して、地域で暮らす療養者の生活を支えるために、看護職としてどのような支援ができるのか、自らの実践も振り返りながら、考察することを目的としている。なお、本科目の学習内容は、在宅看護マネジメント論と一部重複する。</p>
	<p>本書は、在宅看護論の最も基本的なテキストの1つである。10章から構成されている。第1章から第3章では、在宅看護をめぐる社会文化的背景や制度について説明されている。第4章では、在宅看護における多機関・多職種との連携、第5章では、在宅看護の姿勢や考え方、第6章では、在宅看護における対象の特徴が述べられている。そして、第7章から第9章では、具体的なアセスメント・看護技術、さらに第10章では、諸外国の在宅看護について説明されている。</p> <p>地域で暮らす療養者の生活を支えるために、看護職としてできる支援を考えるうえで、在宅看護の背景およびその特徴について理解することが重要である。したがって、本科目では、第1～6章および第10章を中心的に扱う。なお、具体的なアセスメント・看護技術（第7～9章）については、自身のフィールドにおいて必要な内容を適宜参照してもらいたい。</p> <p>※スタディガイドでは、内容の関連性を考慮し、少し順番を入れ替え、第3章の後に第10章を学習する。</p>
授業計画	<p>WB Tで出題される所定のエクササイズに合格の後、同じくWB Tで出題される所定の回数レポートを提出・合格の後、WB T上で行われる単位認定試験に合格することで2単位を認定します。</p> <p><自宅学習></p> <p>第1章 日本の在宅看護の成立</p>

	第2章 日本の在宅看護をめぐる社会文化的背景 第3章 在宅看護の法的基盤とシステム 第10章 諸外国の在宅看護 第4章 在宅看護における連携 第5章 在宅看護の姿勢・考え方と看護過程の展開 第6章 さまざまな対象者への在宅看護	
成績評価の方法	単位認定試験	
実践的教育を行う 授業科目の種別	a：実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目	
	担当教員の実務経験 (経歴・資格等)	
	授業内容との関連性	
	b：企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目	
	学外講師の経歴・資格等	
	授業内容	
	c：企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、 研修を行う授業科目	
	実習先・実習の目的	
備考		

科目名		文献研究法 1	
担当教員		菊地 ひとみ	
授業方法		講義	
科目の概要	到達目標	<p>この科目では、文献の種類や文献検索の方法などを具体的に学習し、看護文献の検討を通して、看護のエビデンスを探求し、論理的に意見が述べられることをめざしています。さらに、単位積み上げ型の学士（看護学）の取得を目指し、独立行政法人大学改革支援・学位授与機構（以後、学位授与機構）に学位申請するとき提出する、学修成果レポートの執筆のために必要な知識とスキルを学習していきます。学習を進めることで、看護専門職として、自分の意見を論理的に述べるができる学士（看護学）としての看護実践能力を身につけることを目指しています。</p>	
	テキストの概要	<p>このテキストは、単位積み上げ型の学士の学位取得のために、学位授与機構に学位申請する時に提出する、学修成果レポートの執筆をサポートする目的でつくられています。しかし、その内容は、レポート執筆を通して学士力を身につけて、看護専門職として、しっかりと自分の意見を述べるができる看護実践能力を有する学士（看護学）となることを目指しています。</p> <p>最初にみなさんが学ぶのは、学士（看護学）を得ることの意義と看護専門職として持つべき学士力とは何かです。それは、このテキストを単にレポートを執筆するための参考書として捉えるのではなく、みなさんの看護職としてのキャリアアップにつながることをめざしているからです。</p> <p>次に、その学士力を磨くために、みなさんが必要とする文献を入手し、検討するためのアカデミックスキルを身につけていきます。ここでは、文献の種類や文献検索の方法などを具体的に紹介しています。看護文献の検討を通して、看護のエビデンスを探求し、論理的に意見を述べるために必要なスキルを身につけましょう。</p> <p>最後に、実際にレポートを執筆する過程を学習していきます。みなさんが持っている課題や疑問をテーマとして、学修成果レポートとして完成させていくまでを体験しながらサポートしていく構成になっています。</p>	
授業計画		<p>WB Tで出題される所定の回数のエクササイズに合格の後、WB T上で行われる単位認定試験に合格することで1単位を認定します。</p> <p><自宅学習></p> <p>第1章 学士力を身につけよう！（P5-14）</p> <p>第2章 学士力を磨くーアカデミックスキルを身につける（P19-34）</p>	
成績評価の方法		単位認定試験	
実践的教育を行う授業科目の種別		a：実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目	
		担当教員の実務経験（経歴・資格等）	

2022 武蔵野大学 通信教育部 シラバス

	授業内容との関連性	
	b：企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目	
	学外講師の経歴・資格等	
	授業内容	
	c：企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、研修を行う授業科目	
	実習先・実習の目的	
備考		

科目名	文献研究法 2	
担当教員	菊地 ひとみ・野口 普子	
授業方法	講義	
科目の概要	到達目標	この科目は、文献研究法 1 で学んだ知識とアカデミックスキルを活用し、学修成果レポート作成の過程を実践しながら学習を進めていきます。看護文献の検討を通して、自己の課題について、根拠をもち論述できる能力を養うことを目標としています。また、単位積み上げ型の学士（看護学）の取得を目指し、独立行政法人大学改革支援・学位授与機構（以後、学位授与機構）に提出する学修成果レポートの執筆の流れを理解し、学位申請ができることを目指しています。
	テキストの概要	このテキストは、単位積み上げ型の学士の学位取得のために、学位授与機構に学位申請する時に提出する、学修成果レポートの執筆をサポートする目的でつくられています。しかし、その内容は、レポート執筆を通して学士力を身につけて、看護専門職として、しっかりと自分の意見を述べるができる看護実践能力を有する学士（看護学）となることを目指しています。 最初にみなさんが学ぶのは、学士（看護学）を得ることの意義と看護専門職として持つべき学士力とは何かです。それは、このテキストを単にレポートを執筆するための参考書として捉えるのではなく、みなさんの看護職としてのキャリアアップにつながることをめざしているからです。 次に、その学士力を磨くために、みなさんが必要とする文献を入手し、検討するためのアカデミックスキルを身につけていきます。ここでは、文献の種類や文献検索の方法などを具体的に紹介しています。看護文献の検討を通して、看護のエビデンスを探求し、論理的に意見を述べるために必要なスキルを身につけましょう。 最後に、実際にレポートを執筆する過程を学習していきます。みなさんが持っている課題や疑問をテーマとして、学修成果レポートとして完成させていくまでを体験しながらサポートしていく構成になっています。
授業計画	メディア授業視聴後、WBTで出題される所定の回数のエクササイズを受けていただきます。その後、WBT上で行われる単位認定試験に合格することで1単位を認定します。 〈スクーリング(メディア授業)〉 第 01 講 レポートのテーマを決めよう！ 第 02 講 テーマについて調べよう！ 第 03 講 レポートのアウトラインをイメージしよう！ 第 04 講 実際に書いてみよう！ 〈自宅学習〉 第 3 章：学習成果レポートを書こう！ (p36-56)	
成績評価の方法	単位認定試験	

2022 武蔵野大学 通信教育部 シラバス

実践的教育を行う 授業科目の種別	a：実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目		
	担当教員の実務経験 (経歴・資格等)		
	授業内容との関連性		
	b：企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目		
	学外講師の経歴・資格等		
	授業内容		
	c：企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、 研修を行う授業科目		
	実習先・実習の目的		
備考			

科目名		医学知識	
担当教員		菊地 ひとみ	
授業方法		講義	
科目の概要	到達目標	<p>本科目では、何らかの理由により日常生活で援助を必要とする人を多職種と連携して支援するために、人の成長と発達、心身の構造と機能、主な疾病や障害の概要、リハビリテーションや国際生活機能分類（ICF）、健康の概念など、社会福祉士として必要な医学知識を身につけることを目的とします。</p>	
	テキストの概要	<p>この科目で使用する『新・社会福祉士養成講座〈1〉人体の構造と機能及び疾病—医学一般』（中央法規出版）は、人体の解剖・生理学に関する基本的な知識や、社会福祉士として関わることの多い疾患や障害について、分かりやすくまとめられたテキストです。また、平成21年度より導入された新カリキュラムにも対応しています。</p>	
授業計画		<p>WB Tで出題される所定の回数のエクササイズに合格の後、WB T上で行われる単位認定試験に合格することで2単位を認定します。</p> <p><自宅学習></p> <p>第1章 人の成長・発達と老化</p> <p>第2章 身体構造と心身の機能</p> <p>第3章 疾病の概要</p> <p>第4章 障害の概要</p> <p style="padding-left: 2em;">（視覚障害、聴覚障害、平衡機能障害、肢体不自由、内部障害、知的障害、発達障害、</p> <p style="padding-left: 2em;">認知症、高次機能障害、精神障害）</p> <p>第5章 リハビリテーションの概要</p> <p style="padding-left: 2em;">（リハビリテーションの概念や対象、リハビリテーションの諸段階、リハビリテーションに関わる職業など）</p> <p>第6章 国際生活機能分類（ICF）の基本的考え方と概要</p> <p>第7章 健康のとらえ方</p> <p style="padding-left: 2em;">（健康の概念、プライマリヘルスケア、日本の人口統計、国民健康づくり対策、感染症対策、産業保健など）</p>	
成績評価の方法		単位認定試験	
実践的教育を行う授業科目の種別		a：実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目	○
		担当教員の实務経験（経歴・資格等）	（菊地 ひとみ先生 職歴）国立がんセンター中央病院 脳外科・整形外科病棟、計画治療病棟看護師長 独立行政法人国立病院横浜医療センター 副看護部長
		授業内容との関連性	病院にて臨床経験のある教員が、現場の実践と連関させながら、医学・看護学・社会福祉の基礎的分野を指導し、日常生活に活かすことを目指す。

2022 武蔵野大学 通信教育部 シラバス

	b: 企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目	
	学外講師の経歴・資格等	
	授業内容	
	c: 企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、研修を行う授業科目	
	実習先・実習の目的	
備考		

科目名		医学概論	
担当教員		菊地 ひとみ	
授業方法		講義	
科目の概要	到達目標	<p>社会福祉専門職が対象とする支援対象者を保健医療の視点から理解し、対処するための基礎的知識を学ぶ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人のライフステージにおける心身の変化と健康課題について理解する。 ・健康と疾病、障害の捉え方について理解する。 ・人体の構造と機能を理解する。 ・疾病と障害の成り立ち及び回復過程について理解する。 ・公衆衛生の観点から、人々の健康に影響を及ぼす要因や健康問題を解決するための対策を理解する。 	
	テキストの概要	<p>この科目で使用する『最新 社会福祉士養成講座 精神保健福祉士養成講座 医学概論』（中央法規出版）は、新カリキュラムに対応した社会福祉士と精神保健福祉士養成の教科書シリーズとして刊行されました。</p> <p>人体の解剖・生理学に関する基本的な知識や、社会福祉士や精神保健福祉士として関わる支援対象者を理解するために必要な疾患や障害について、分かりやすくまとめられたテキストです。</p>	
授業計画		<p>WB Tで出題される所定の回数のエクササイズに合格の後、WB T上で行われる単位認定試験に合格することで2単位を認定します。</p> <p><自宅学習></p> <p>第1章 ライフステージにおける心身の変化と健康問題</p> <p>第2章 健康および疾病の捉え方</p> <p>第3章 身体構造と心身機能</p> <p>第4章 疾病と障害の成り立ちおよび回復過程</p> <p>第5章 リハビリテーションの概要と範囲</p> <p>第6章 疾病と障害およびその予防・治療・予後・リハビリテーション</p> <p>第7章 公衆衛生</p>	
成績評価の方法		単位認定試験	
実践的教育を行う授業科目の種別	a：実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目		
	担当教員の実務経験（経歴・資格等）		
	授業内容との関連性		

2022 武蔵野大学 通信教育部 シラバス

	b: 企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目	
	学外講師の経歴・資格等	
	授業内容	
	c: 企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、研修を行う授業科目	
	実習先・実習の目的	
備考		

科目名		心理学
担当教員		小西 啓史
授業方法		講義
科目の概要	到達目標	<p>心理学とはどのような学問でしょうか。巷ではさまざまな心理学があふれています。ところが残念なことに、日本の中学校や高校の授業では心理学を体系的に学ぶ機会がありません。そのためか、心理学に対する誤解も生じているように思います。しかし、学問としての心理学はこれら心理学とは必ずしも同じものではありません。雑誌やテレビなどで見られる心理学を「ポップな心理学」、学問としての心理学を「アカデミックな心理学」と区別して考える人もいます。もちろん、これからみなさんが学ぼうとしているのは学問としての心理学です。19世紀後半に誕生した比較的新しい学問である現代心理学では、「こころ」を解明するために科学的手法が用いられました。それによって今日までにさまざまな心理学的知見が蓄えられてきました。</p> <p>本講座では、これまでに行われてきた多くの研究の学習をとおして、心理学の基礎的知識を身につけ、同時に科学的心理学の考え方を理解することを目標とします。</p>
	テキストの概要	<p>このテキストは、「社会福祉士養成講座」というシリーズ名にもあるように、社会福祉士の資格取得を目指す人のために必要な心理学的知識を習得するために書かれたものです。同時に、実際に社会福祉実践をする上で経験することになると思われるさまざまな問題（職場の人間関係、働く上でのストレスマネジメントなど）についても言及されています。しかし、多くの入門書がそうであるように、理解をより深めるためにはテキストを読むだけでは不十分です。そこで、これを補うために、WEB上に心理学事典が用意され、またスタディガイドの各章毎に、参考文献が紹介されています。これらを手掛かりに、より一層の理解に努めて下さい。</p>
授業計画		<p>WB Tで出題される所定の回数エクササイズに合格の後、WB T上で行われる単位認定試験に合格することで2単位を認定します。</p> <p><自宅学習></p> <p>序章 心理学とは</p> <p>第1章 性格</p> <p>第2章 感情</p> <p>第3章 欲求と動機づけ</p> <p>第4章 感覚・知覚・認知</p> <p>第5章 学習・記憶</p> <p>第6章 知能・創造性・思考</p> <p>第7章 人間環境と集団</p> <p>第8章 対人交流とコミュニケーション</p> <p>第9章 発達概念</p> <p>第10章 適応とストレス</p> <p>第11章 面接・見立て・心理療法</p> <p>第12章 脳と心</p>

	第13章 現場に活かす心理学	
成績評価の方法	単位認定試験	
実践的教育を行う 授業科目の種別	a：実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目	
	担当教員の実務経験 (経歴・資格等)	
	授業内容との関連性	
	b：企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目	
	学外講師の経歴・資格等	
	授業内容	
	c：企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、 研修を行う授業科目	
	実習先・実習の目的	
備考		

科目名		心理学と心理的支援
担当教員		小西 啓史
授業方法		講義
科目の概要	到達目標	<p>①人の心の基本的な仕組みと機能を理解し、環境との相互作用の中で生じる心理的反応を理解する。</p> <p>②人の成長・発達段階の各期に特有な心理的課題を理解する。</p> <p>③日常生活と心の健康との関係について理解する。</p> <p>④心理学の理論を基礎としたアセスメントの方法と支援について理解できる。</p>
	テキストの概要	<p>このテキストは、「社会福祉士養成講座」「精神保健福祉士養成講座」というシリーズ名にもあるように、社会福祉士と精神保健福祉士の資格取得を目指す人のために必要な心理学的知識を習得するために書かれたものです。同時に、実際に社会福祉を実践をする上で経験することになると思われるさまざまな問題についても言及されています（第6章では事例をもとに考える工夫がなされています）。</p> <p>しかし、多くの入門書がそうであるように、理解をより深めるためにはテキストを読むだけでは不十分です。以下にあげた心理学辞典・心理学用語集や、テキストの各章にある参考文献を手掛かりに、より一層の理解に努めて下さい。</p>
授業計画		<p>WB Tで出題される所定の回数のエクササイズに合格の後、WB T上で行われる単位認定試験に合格することで2単位を認定します。</p> <p><自宅学習></p> <p>第1章 心理学の視点</p> <p>第2章 人の心の基本的な仕組みと機能</p> <p>第3章 人の心の発達過程</p> <p>第4章 日常生活と心の健康</p> <p>第5章 心理学の理論を基礎としたアセスメントと支援の基本</p> <p>第6章 ソーシャルワークと心理学</p>
成績評価の方法		単位認定試験
実践的教育を行う授業科目の種別	a：実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目	
	担当教員の实務経験（経歴・資格等）	
	授業内容との関連性	
	b：企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目	
	学外講師の経歴・資格等	
	授業内容	

2022 武蔵野大学 通信教育部 シラバス

	c：企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、 研修を行う授業科目	
	実習先・実習の目的	
備考		

科目名	社会学
担当教員	北條 英勝
授業方法	講義
科目の概要	<p>到達目標</p> <p>社会学は、人間が社会の中で生き、成長することを教えてくれるとともに、社会の仕組みが一人一人の生活に大きな影響を与えていることを教えてくれる。社会福祉の実践は、そうした生きた人間に関わるものだからこそ、社会学的な知見に裏打ちされている必要がある。もちろん、社会福祉実践には、さまざまな援助技術も必要である。しかし、社会のなかで生きる個々の人間に関わる以上、人間とその社会生活に関する深い学問的知見、人間と社会との関わりに関する深い知見が大切なのである。その意味で、社会福祉士には、現代社会を生きる個々人の関係性への介入や支援のために、人びとの社会的行為やその集合体についての理解が求められる。言い換えれば、ソーシャルワークという営みには、社会システムに関するマクロ、ミクロ、そして地域、家族などのメゾレベルを射程に入れた「社会を見る眼」を養うことが必要なのである。</p> <p>この科目では、社会福祉学特有の視座や思考方法の一つの基盤として、人びとの暮らしや生活を評価し、社会の状態を評価し、社会問題の改善に向けた処方箋を模索するために必要な「社会を見る眼」の修得を目的とする。</p>
	<p>テキストの概要</p> <p>このテキスト（社会福祉士養成講座編集委員会（編）、『新・社会福祉士養成講座〈3〉社会理論と社会システム—社会学 第3版』、中央法規出版、2014年）は、2009（平成21）年度より導入された社会福祉士養成課程の新カリキュラムと出題基準とに対応した「社会理論と社会システム」（社会学）の教科書の最新版である。主要な内容は、現代社会の理解、生活の理解、人と社会の関係、社会問題の理解という4つの柱から構成されている。このテキストを丹念に読み込むことによって、社会福祉士に必要な社会学的概念や理論、社会学的認識と思考、現代社会の動向などを学習し、十分に身に着けることができるだろう。</p> <p>（※なお、2014年度よりテキストが改訂され、テキストが上記の『新・社会福祉士養成講座〈3〉社会理論と社会システム—社会学 第3版』にかわっているので、2013年度以前に入学した学生は注意すること。）</p>
授業計画	<p>WB Tで出題される所定の回数のエクササイズに合格の後、WB T上で行われる単位認定試験に合格することで2単位を認定します。</p> <p><自宅学習></p> <p>序章 社会学とは</p> <p>第1章 現代社会の理解</p> <p>第2章 生活の理解</p> <p>第3章 人と社会の関係</p> <p>第4章 社会問題の理解</p>
成績評価の方法	単位認定試験

2022 武蔵野大学 通信教育部 シラバス

実践的教育を行う 授業科目の種別	a：実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目		
	担当教員の実務経験 (経歴・資格等)		
	授業内容との関連性		
	b：企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目		
	学外講師の経歴・資格等		
	授業内容		
	c：企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、 研修を行う授業科目		
	実習先・実習の目的		
備考			

科目名		社会学と社会システム	
担当教員		北條 英勝	
授業方法		講義	
科目の概要	到達目標	①現代社会の特性を理解する。 ②生活の多様性について理解する。 ③人と社会の関係について理解する。 ④社会問題とその背景について理解する。	
	テキストの概要	このテキスト（一般社団法人 日本ソーシャルワーク教育学校連盟（編）『最新・社会福祉士養成講座・精神保健福祉士養成講座〈3〉社会学と社会システム』中央法規出版，2021年）は，2021（令和3）年度より導入された社会福祉士養成課程の最新カリキュラムと出題基準とに対応した「社会学と社会システム」の教科書の最新版である。主要な内容は，社会学の視点，社会構造と変動，市民社会と公共性，生活と人生，自己と他者という5つの柱から構成されている。このテキストを丹念に読み込むことによって，社会福祉士に必要な社会的概念や理論，社会的認識と思考，現代社会の動向などを学習し，十分に身に着けることができるだろう。	
授業計画		WBTで出題される所定の回数のエクササイズに合格の後，WBT上で行われる単位認定試験に合格することで2単位を認定します。 <自宅学習> 第1章 社会学の視点 第2章 社会構造と社会変動 第3章 市民社会と公共性 第4章 生活と人生 第5章 自己と他者 終章 社会学と社会福祉学の連携・協働	
成績評価の方法		単位認定試験	
実践的教育を行う授業科目の種別	a：実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目		
	担当教員の実務経験（経歴・資格等）		
	授業内容との関連性		
	b：企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目		
	学外講師の経歴・資格等		
	授業内容		
c：企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、研修を行う授業科目			

2022 武蔵野大学 通信教育部 シラバス

	実習先・実習の目的	
備考		

科目名		現代社会と福祉
担当教員		本多 勇
授業方法		講義
科目の概要	到達目標	この科目では、現代社会における社会福祉の理念・理論・歴史・思想・政策・制度について学習する。社会福祉の基本構造をとらえながら、全般的な理解を深めていく。国家試験の対応と実践分野の応用にその目標を置く。
	テキストの概要	社会福祉を学ぶためのいわば原論・概論的な内容が含まれている。その内容は多岐にわたっている。社会福祉を学ぶための基礎的な知識、ソーシャルワーカーとして必要な基礎的な知識が盛り込まれている。 各章のタイトルを概観すれば、①社会福祉を学ぶ視点と枠組み、②社会の変化と福祉、③福祉と福祉政策、④福祉の思想と哲学、⑤社会政策と福祉政策、⑥福祉政策の発展過程（歴史）、⑦少子高齢化時代の福祉政策、⑧福祉政策における必要と資源、⑨福祉政策の理念・主体・手法、⑩福祉政策の関連領域、⑪社会福祉制度の体系、⑫福祉サービスの提供、⑬福祉サービスと援助活動、⑭福祉政策の国際比較、⑮福祉政策の課題と展望、から構成されている。
授業計画		<p>WB Tで出題される所定の回数のエクササイズに合格の後、WB T上で行われる単位認定試験に合格することで4単位を認定します。</p> <p><自宅学習></p> <p>序章 視点と枠組み</p> <p>第1章 社会の変化と福祉</p> <p>第2章 福祉と福祉政策</p> <p>第3章 福祉の思想と哲学</p> <p>第4章 社会政策と福祉政策</p> <p>第5章 福祉政策の発展過程</p> <p>第6章 少子高齢化時代の福祉政策</p> <p>第7章 福祉政策における必要と資源</p> <p>第8章 福祉政策の理念・主体・手法</p> <p>第9章 福祉政策の関連領域</p> <p>第10章 社会福祉制度の体系</p> <p>第11章 福祉サービスの提供</p> <p>第12章 福祉サービス援助活動</p> <p>第13章 福祉政策の国際比較</p> <p>第14章 福祉政策の課題と展望</p>
成績評価の方法		単位認定試験
		a：実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目 ○

2022 武蔵野大学 通信教育部 シラバス

実践的教育を行う 授業科目の種別	担当教員の実務経験 (経歴・資格等)	(本多 勇先生 職歴) 社会福祉法人徳心会総合福祉施設いずみえん 介護事業部長 医療法人社団充会介護老人保健施設太郎 相談室長・支援相談員	
	授業内容との関連性	社会福祉法人にて臨床経験のある教員が、現場での実践経験から得た知見を基に、社会福祉士として活動するにあたり必要な事項を指導する。	
	b: 企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目		
	学外講師の経歴・資格等		
	授業内容		
	c: 企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、研修を行う授業科目		
	実習先・実習の目的		
備考			

科目名	社会福祉の原理と政策
担当教員	本多 勇
授業方法	講義
科目の概要	<p>本科目の「達成課題（到達目標）」は、次の通り設定します。</p> <p>①社会福祉の原理をめぐる思想・哲学と理論を理解する。</p> <p>②社会福祉の歴史的展開の過程と社会福祉の理論を踏まえ、欧米との比較によって日本の社会福祉の特性を理解する。</p> <p>③社会問題と社会構造の関係の視点から、現代の社会問題について理解する。</p> <p>④福祉政策を捉える基本的な視点として、概念や理念を理解するとともに、人々の生活上のニーズと福祉政策の過程を結びつけて理解する。</p> <p>⑤福祉政策の動向と課題を踏まえた上で、関連施策や包括的支援について理解する。</p> <p>⑥福祉サービスの供給と利用の過程について理解する。</p> <p>⑦福祉政策の国際比較の視点から、日本の福祉政策の特性について理解する。</p> <p>到達目標は、ソーシャルワーカー（社会福祉士）として必要な社会福祉学の基本的な視座を持ち、社会構造およびそこから生じる社会問題についての知識として修得することです。</p>
	<p>テキストの概要</p> <p>社会福祉を学ぶためのいわば原論・概論的な内容が含まれています。その内容は多岐にわたっています。社会福祉を学ぶための基礎的な知識、ソーシャルワーカーとして必要な基礎的な知識が盛り込まれています。</p>
授業計画	<p>WB Tで出題される所定の回数のエクササイズに合格の後、WB T上で行われる単位認定試験に合格することで4単位を認定します。</p> <p><自宅学習></p> <p>序章 社会福祉の原理 ―その意味と展開―</p> <p>第1章 社会福祉の歴史</p> <p>(1) 社会福祉の歴史を学ぶ支店</p> <p>(2) 欧米の社会福祉の歴史的展開</p> <p>(3) 日本の社会福祉の歴史的展開</p> <p>第2章 社会福祉の思想・哲学・理論</p> <p>(1) 社会福祉の思想・哲学</p> <p>(2) 社会福祉の理論</p> <p>(3) 社会福祉の論点</p> <p>(4) 社会福祉の対象とニーズ</p> <p>第3章 社会問題と社会構造</p> <p>(1) 現代における社会問題</p> <p>(2) 社会問題の構造的背景</p> <p>第4章 福祉政策の基本的な視点</p>

	<p>(1) 福祉政策とは何か</p> <p>(2) 福祉政策において重要な概念・理念</p> <p>第5章 福祉政策におけるニーズと資源</p> <p>(1) ニーズ (必要)</p> <p>(2) 資源 (リソース)</p> <p>第6章 福祉政策の構成要素と過程</p> <p>(1) 福祉政策の構成要素</p> <p>(2) 福祉政策の過程と評価</p> <p>第7章 福祉政策の動向と過程</p> <p>(1) 福祉政策と包括的支援の現状</p> <p>(2) 福祉政策と包括的支援の課題</p> <p>第8章 福祉政策と関連施策</p> <p>(1) 保健医療政策</p> <p>(2) 教育政策</p> <p>(3) 住宅政策</p> <p>(4) 労働政策</p> <p>(5) 災害政策</p> <p>第9章 福祉サービスの供給と利用の過程</p> <p>(1) 福祉供給部門</p> <p>(2) 福祉供給過程</p> <p>第10章 福祉政策の国際比較</p> <p>(1) 国際比較の視点と方法</p> <p>(2) 福祉政策の動向：欧米</p> <p>(3) 福祉政策の動向：東アジア</p> <p>(4) 福祉政策の新しい潮流と国際比較の新しい課題</p> <p>終章 これからの社会福祉 一出発点・到達点・展望一</p>	
成績評価の方法	単位認定試験	
実践的教育を行う 授業科目の種別	a：実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目	
	担当教員の実務経験 (経歴・資格等)	
	授業内容との関連性	
	b：企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目	
	学外講師の経歴・資格等	
	授業内容	
	c：企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、研修を行う授業科目	

2022 武蔵野大学 通信教育部 シラバス

	実習先・実習の目的	
備考		

科目名		社会調査の基礎	
担当教員		渡辺 成彦	
授業方法		講義	
科目の概要	到達目標	社会調査の基礎は、社会福祉実践において、政策・施策と制度運用の基準を量的調査結果から得られる統計数値から読み解く側面と日常生活のケア実践から把握される個別ケース中心の社会福祉ニーズ記録という質的調査の側面の両輪をつなぐ軸の形成を理解することが目標となります	
	テキストの概要	このテキストは、7章立て、6章までの節、項と第7章の項で構成されています。戦後の日本国憲法の制定・発布による民主主義国家として再出発した現代日本社会が市民社会として再出発するにあたり、様々な民主主義法制度の制定・施行を推進してきました。焼け野が原からの再出発として国民の生活を担保する社会保障制度の策定がなされました。	
授業計画		<p>WB Tで出題される所定の回数のエクササイズに合格の後、WB T上で行われる単位認定試験に合格することで2単位を認定します。</p> <p><自宅学習></p> <p>はじめに 社会調査の基礎が独立科目として採用された意義の認識</p> <p>第1章 社会福祉と社会調査</p> <p>第2章 社会調査の概要</p> <p>第3章 量的調査の方法</p> <p>第4章 質的調査の方法</p> <p>第5章 社会調査における倫理と個人情報保護</p> <p>第6章 社会調査の実施にあたっての IT の活用法</p> <p>第7章 社会科学としての社会福祉</p>	
成績評価の方法		単位認定試験	
実践的教育を行う授業科目の種別	a：実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目		
	担当教員の実務経験 (経歴・資格等)		
	授業内容との関連性		
	b：企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目		
	学外講師の経歴・資格等		
	授業内容		
	c：企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、研修を行う授業科目		
実習先・実習の目的			

備考

科目名	社会福祉調査の基礎
担当教員	牧野 修也
授業方法	講義
科目の概要	<p>1. はじめにの地域特性、マクロ、メゾレベルの実践基礎としての量的調査と複数の利害関係者が絡む複雑な事例に対応する質的な調査の手法を理解し、社会調査を福祉実践現場で活用し、福祉活動からの地域共生社会の実現に向かうソーシャルワーク活動に資するプロセスを社会調査の企画立案=調査テーマの設定～調査対象者の選定サンプリング～調査項目、調査票作成～予備調査実施～調査票内容修正～実査(調査実施方法の選定～調査協力依頼状作成送付, 直接渡し, 伝言等)～調査票の回収～有効票確定～データ点検～入力～分析/検定(信頼度)～報告書作成のプロセスを福祉専門職の活動関心から学習理解し、ソーシャルワークにおける評価の内容から社会調査全般への理解をしてもらいます。</p> <p>専門職の活動する地域社会(含, 施設)でふれあう直接の要支援者との職務上の役割を遂行するためには、CSW, PSW 自身が専門職で在ると同時に被支援者と同じ日常生活者としての共同生活を職務を介して過ごすという認識を持つことの大切さを学ぶことが求められていると捉えて下さい。</p> <p>テキスト学習を進めるにあたって、テキストにマークをして、そこを覚えるという学習方法ではなく、テキストを読みながら、内容を、自分自身の言葉に置き換えて、記述することをお勧めします。読む・考えまとめる・記述するという作業が、記憶の定着を図るだけではなく、理解が曖昧なところを浮き彫りします。うまくまとめられないということは、どこかに「理解しきれていない」箇所があることとなります。「理解する」とは覚えることではなく、自分の言葉で説明し、現実の生活の事例に適応させることができることを意味します。そして、それは記述することで明瞭になります。</p> <p>1つの手がかりとして、テキストの巻末にあるキーワードを説明するだけではなく、それぞれの用語の関連性を図示することができることも目指して下さい。</p>
	テキストの概要

	<p>④情報の公開と個人情報の関係</p> <p>⑤社会調査協会が提示する社会調査の倫理規定</p> <p>4. 3章は「社会福祉調査のデザイン」となります。ここでのポイントは、次の通りになります。</p> <p>①社会調査の目的と方法の関係。目的の設定と調査方法の関係</p> <p>②調査の目的と分析単位の設定</p> <p>③全数調査(悉皆調査)と標本調査の関係、および、標本抽出の方法</p> <p>④量的データと質的データの違い</p> <p>⑤1次分析と2次分析の違い</p> <p>5. 4章は「量的調査の方法」となります。ここでのポイントは、次の通りになります。</p> <p>①量的調査の認識論。演繹的思考とは何かを押さえることが重要です。</p> <p>②量的調査の方法。母集団・標本・標本誤差・非標本誤差・横断調査・縦断調査という用語を押さえてください</p> <p>③調査票の作成。調査票作成で行ってはいけないことを押さえてください。</p> <p>④③とも関連しますが、ワーディングについて押さえてください</p> <p>⑤回答の仕方と尺度の関係を押さえてください。</p> <p>⑥調査票の配票方法とそれぞれの方法の長所短所を押さえてください。</p> <p>⑦集計方法と分析方法についてまとめる。単純集計・クロス集計</p> <p>⑧分析手法と検定</p> <p>⑨統計用語の意味の確認</p> <p>6. 5章は「質的調査の概要と方法」となります。ここでのポイントは、次の通りになります。</p> <p>①質的調査の認識論。帰納的思考とは何かを押さえることが重要です。</p> <p>②質的調査の方法。それぞれの方法の特徴と限界。</p> <p>③量的調査と質的調査の方法的連携のあり方。</p> <p>④観察の方法</p> <p>⑤インタビューの方法。インタビューと面接の差異を意識してください。</p> <p>⑥エスノグラフィーの方法と多様性。</p> <p>⑦記録の取り方</p> <p>⑧質的調査の分析方法。ナラティブアプローチ・グランデッドセオリーアプローチ。</p> <p>7. 7章は「ソーシャルワークにおける評価の意義」です。この点は、「社会調査の基礎」では、あまり取り上げられなかった領域です。ここでのポイントは、次の通りになります。</p> <p>①ミクロ・メゾ・マクロレベルの実践評価の意義</p> <p>②実践のあり方の分類</p> <p>③評価の方法</p>
<p>授業計画</p>	<p>WB Tで出題される所定の回数のエクササイズに合格の後、WB T上で行われる単位認定試験に合格することで2単位を認定します。</p> <p><自宅学習></p>

	<ol style="list-style-type: none"> 1. 社会福祉と社会調査 2. 社会調査の基本的認識 3. 認識としての社会調査 4. 社会調査の概要 5. 既存統計資料の利用と社会調査の倫理 6. 量的調査 7. 標本抽出 (サンプリング) 8. 調査票 (質問紙) 9. 欠損値 10. 文献のリサーチ 11. 質的調査 12. 厚い記述 13. ドキュメント分析 14. フィールドノート 15. ドキュメント分析 17. KJ法とグラウンデッド・セオリー
成績評価の方法	単位認定試験
実践的教育を行う 授業科目の種別	a: 実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目
	担当教員の 実務経験 (経歴・資格等)
	授業内容との 関連性
	b: 企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目
	学外講師の 経歴・資格等
	授業内容
	c: 企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、 研修を行う授業科目
	実習先・実習の 目的
備考	

科目名		相談援助の基盤と専門職	
担当教員		本多 勇・前廣 美保	
授業方法		講義	
科目の概要	到達目標	この科目は、社会福祉士の業務である相談援助の基礎を学ぶいわば入門的な要素を含む科目である。社会福祉士の役割、社会福祉の目的や概念、相談援助の理念などの基礎的な知識を幅広く身につけることを目的とする。	
	テキストの概要	このテキストは、第1章 社会福祉士・精神保健福祉士の役割と意義、第2章 相談援助の理念と範囲、第3章 ソーシャルワークの歴史、第4章 相談援助の理念、第5章 相談援助の位置づけと構造、第6章 相談援助における権利擁護、第7章 相談援助専門職の概念と範囲、第8章 相談援助専門職の倫理、第9章 ホリスティック（包括的）な援助活動、第10章 医療における相談援助、第11章 精神保健福祉における相談援助、第12章 教育における相談援助、第13章 司法における相談援助、第14章 臨床的なソーシャルワーカーになること、と全14章から構成されています。	
授業計画		<p>WB Tで出題される所定の回数のエクササイズに合格の後、WB T上で行われる単位認定試験に合格することで4単位を認定します。</p> <p><自宅学習></p> <p>序章 相談援助と臨床</p> <p>第1章 社会福祉士・精神保健福祉士の役割と意義</p> <p>第2章 相談援助の概念と範囲</p> <p>第3章 ソーシャルワークの歴史</p> <p>第4章 相談援助の理念</p> <p>第5章 相談援助の位置づけと構造</p> <p>第6章 相談援助における権利擁護</p> <p>第7章 相談援助専門職の概念と範囲</p> <p>第8章 相談援助専門職の倫理</p> <p>第9章 ホリスティック（包括的）な援助活動</p> <p>第10章 医療における相談援助</p> <p>第11章 精神保健福祉における相談援助</p> <p>第12章 教育における相談援助</p> <p>第13章 司法福祉における相談援助</p>	
成績評価の方法		単位認定試験	
実践的教育を行う授業科目の種別		a：実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目	○
		担当教員の実務経験（経歴・資格等） （本多 勇先生 職歴）社会福祉法人徳心会総合福祉施設いずみえん 介護事業部長 医療法人社団充会介護老人保健施設太郎 相談室長・支援相談員	

	(前廣 美保先生 職歴) 社会福祉法人京福会 特別養護老人ホームほのぼの園在宅介護支援センター ソーシャルワーカー 医療法人社団曙光会コンフォガーデンクリニック ソーシャルワーカー NPO 法人自然育児友の会事務局・子育てひろば担当スタッフ 調布市福祉健康部障害福祉課 障害福祉相談員
授業内容との関連性	社会福祉法人にて臨床経験のある教員が、現場での実践経験から得た知見を基に、社会福祉士として活動するにあたり必要な事項を指導する。
b: 企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目	
学外講師の経歴・資格等	
授業内容	
c: 企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、研修を行う授業科目	
実習先・実習の目的	
備考	

科目名		ソーシャルワークの基盤と専門職 1	
担当教員		前廣 美保	
授業方法		講義	
科目の概要	到達目標	<p>本科目の「達成課題（到達目標）」は、次の通り設定します。</p> <p>①社会福祉士（ソーシャルワーカー）の職域と求められる役割について理解する。</p> <p>②ソーシャルワークに係る専門職の概念と範囲について理解する。</p> <p>③ミクロ・メゾ・マクロレベルにおけるソーシャルワークの対象と関連性について理解する。</p> <p>④総合的かつ包括的な支援と多職種連携の意義と内容について理解する。</p>	
	テキストの概要	<p>本科目「ソーシャルワークの基盤と専門職 1」のテキストは、「ソーシャルワークの基盤と専門職 2」のテキストと共通です。〔社会福祉士・精神保健福祉士共通科目、社会福祉士専門科目〕の『ソーシャルワークの基盤と専門職』です（※テキストにある〔共通〕は、通信教育部の「共通科目」とは異なりますのでご注意ください）。</p> <p>ソーシャルワーク初学者が身に付けておく必要がある基本的な知識や考え方を学びます。日本のソーシャルワーカーの国家資格の位置づけ、ソーシャルワークの概念、基盤となる考え方を理解したうえで、歴史的な形成過程、倫理を確実に自分のものにして、より専門的な学びへ進む準備をしましょう。</p>	
授業計画		<p>WB Tで出題される所定の回数のエクササイズに合格の後、WB T上で行われる単位認定試験に合格することで2単位を認定します。</p> <p><自宅学習></p> <p>第1章 ソーシャルワーク専門職である社会福祉士および精神保健福祉士の法的な位置づけ</p> <p>第2章 ソーシャルワークの概念</p> <p>第3章 ソーシャルワークの基盤となる考え方</p> <p>第4章 ソーシャルワークの形成過程</p> <p>第5章 ソーシャルワークの倫理</p> <p>第6章 ソーシャルワークにかかる専門職の概念と範囲</p> <p>第7章 ミクロ・メゾ・マクロレベルにおけるソーシャルワーク</p> <p>第8章 総合的かつ包括的な支援と多職種連携の意義と内容</p>	
成績評価の方法		単位認定試験	
実践的教育を行う授業科目の種別		a：実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目	○
		担当教員の実務経験 （経歴・資格等）	（前廣 美保先生 職歴）社会福祉法人京福会 特別養護老人ホームほのぼの園在宅介護支援センター ソーシャルワーカー 医療法人社団曙光会コンフォガーデンクリニック ソーシャルワーカー NPO 法人自然育児友の会事務局・子育てひろば担当スタッフ

2022 武蔵野大学 通信教育部 シラバス

	調布市福祉健康部障害福祉課 障害福祉相談員
授業内容との関連性	社会福祉法人にて臨床経験のある教員が、現場での実践経験から得た知見を基に、社会福祉士として活動するにあたり必要な事項を指導する。
b：企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目	
学外講師の経歴・資格等	
授業内容	
c：企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、研修を行う授業科目	
実習先・実習の目的	
備考	

科目名		ソーシャルワークの基盤と専門職 2
担当教員		本多 勇
授業方法		講義
科目の概要	到達目標	<p>本科目の「達成課題（到達目標）」は、次の通り設定します。</p> <p>①社会福祉士（ソーシャルワーカー）の職域と求められる役割について理解する。</p> <p>②ソーシャルワークに係る専門職の概念と範囲について理解する。</p> <p>③ミクロ・メゾ・マクロレベルにおけるソーシャルワークの対象と関連性について理解する。</p> <p>④総合的かつ包括的な支援と多職種連携の意義と内容について理解する。</p>
	テキストの概要	<p>本科目「ソーシャルワークの基盤と専門職 2」のテキストは、「ソーシャルワークの基盤と専門職 1」のテキストと共通です。〔社会福祉士・精神保健福祉士共通科目、社会福祉士専門科目〕の『ソーシャルワークの基盤と専門職』です（※テキストにある〔共通〕は、通信教育部の「共通科目」とは異なりますのでご注意ください）。おもに社会福祉士を中心としたソーシャルワーク専門職の概念・範囲・職域、諸外国の動向、ミクロ・メゾ・マクロレベルにおけるソーシャルワーク、ジェネラリストソーシャルワークの視点等について学んでいきます。</p>
授業計画		<p>WB Tで出題される所定の回数のエクササイズに合格の後、WB T上で行われる単位認定試験に合格することで2単位を認定します。</p> <p><自宅学習></p> <p>第6章 ソーシャルワークにかかる専門職の概念と範囲</p> <p>(1) ソーシャルワーク専門職の概念と範囲</p> <p>(2) 社会福祉士の職域と役割</p> <p>(3) 多様な組織・機関・団体における専門職</p> <p>(4) 諸外国の動向</p> <p>第7章 ミクロ・メゾ・マクロレベルにおけるソーシャルワーク</p> <p>(1) ミクロ・メゾ・マクロレベルにおけるソーシャルワークの対象</p> <p>(2) ミクロ・メゾ・マクロレベルにおけるソーシャルワークの展開</p> <p>第8章 総合的かつ包括的な支援と多職種連携の意義と内容</p> <p>(1) 総合的かつ包括的な支援におけるジェネラリストの視点</p> <p>(2) ジェネラリストの視点に基づく総合的かつ包括的な支援の意義と内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多機関・多職種連携 ・ソーシャルサポートネットワーク <p>(3) 多職種連携およびチームアプローチの意義と内容</p>
成績評価の方法		単位認定試験
		a：実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目 ○

2022 武蔵野大学 通信教育部 シラバス

実践的教育を行う 授業科目の種別	担当教員の実務経験 (経歴・資格等)	(本多 勇先生 職歴) 社会福祉法人徳心会総合福祉施設いずみえん 介護事業部長 医療法人社団充会介護老人保健施設太郎 相談室長・支援相談員	
	授業内容との関連性	社会福祉法人にて臨床経験のある教員が、現場での実践経験から得た知見を基に、社会福祉士として活動するにあたり必要な事項を指導する。	
	b: 企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目		
	学外講師の経歴・資格等		
	授業内容		
	c: 企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、研修を行う授業科目		
	実習先・実習の目的		
備考			

科目名		相談援助の理論と方法 1	
担当教員		本多 勇	
授業方法		講義	
科目の概要	到達目標	ソーシャルワーカー（社会福祉士）の相談援助は、社会福祉サービス利用者（クライアント）の相談に応じ、助言、指導、連絡、調整、その他の援助を行うこととされています。この科目では、ソーシャルワーカーの行う業務内容つまり相談援助についての理論およびその具体的な方法について学びます。到達目標は、社会福祉士として必要な相談援助の理論と方法を知識として修得することとなります。	
	テキストの概要	このテキスト『相談援助の理論と方法 I』では、まず相談援助とは何か、その構造と機能、特にソーシャルワーク援助では重要な人と環境の相互作用について学びます。その上で、ソーシャルワーク援助のプロセスについて丁寧に学びます。後半は、アウトリーチ、契約、アセスメント、モニタリング、そして面接や記録、交渉についての技術を学んでいきます。	
授業計画		<p>WB Tで出題される所定の回数のエクササイズに合格の後、WB T上で行われる単位認定試験に合格することで4単位を認定します。</p> <p><自宅学習></p> <p>第1章 相談援助とは</p> <p>第2章 相談援助の機能と構造</p> <p>第3章 人と環境の相互作用</p> <p>第4章 相談援助における援助関係</p> <p>第5章 相談援助の展開過程 I</p> <p>第6章 相談援助の展開過程 II</p> <p>第7章 相談援助のためのアウトリーチの技術</p> <p>第8章 相談援助のための契約の技術</p> <p>第9章 相談援助のためのアセスメントの技術</p> <p>第10章 相談援助のための介入の技術</p> <p>第11章 相談援助のための経過観察（モニタリング）、再アセスメント、効果測定、評価の技術</p> <p>第12章 相談援助のための面接の技術</p> <p>第13章 相談援助のための記録の技術</p> <p>第14章 相談援助のための交渉の技術</p>	
成績評価の方法		単位認定試験	
実践的教育を行う授業科目の種別		a：実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目	○
		担当教員の実務経験 （経歴・資格等）	（本多 勇先生 職歴）社会福祉法人徳心会総合福祉施設いずみえん 介護事業部長 医療法人社団充会介護老人保健施設太郎 相談室長・支援相談員

2022 武蔵野大学 通信教育部 シラバス

	授業内容との関連性	社会福祉法人にて臨床経験のある教員が、現場での実践経験から得た知見を基に、社会福祉士として活動するにあたり必要な事項を指導する。	
	b：企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目		
	学外講師の経歴・資格等		
	授業内容		
	c：企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、研修を行う授業科目		
	実習先・実習の目的		
備考			

科目名	ソーシャルワークの理論と方法 1	
担当教員	本多 勇	
授業方法	講義	
科目の概要	到達目標	<p>本科目の「達成課題（到達目標）」は、次の通り設定します。</p> <p>①人と環境との相互作用に関する理論とマイクロ・メゾ・マクロレベルにおけるソーシャルワークについて理解する。</p> <p>②ソーシャルワークの様々な実践モデルとアプローチについて理解する。</p> <p>③ソーシャルワークの過程とそれに係る知識と技術について理解する。</p> <p>④コミュニティワークの概念とその展開について理解する。</p> <p>⑤ソーシャルワークにおけるスーパービジョンについて理解する。</p>
	テキストの概要	<p>本科目「ソーシャルワークの理論と方法 1」のテキストは、[社会福祉士・精神保健福祉士共通科目]の『ソーシャルワークの理論と方法』です（※テキストにある[共通科目]は、通信教育部の「共通科目」とは異なりますのでご注意ください）。</p> <p>「人と環境の相互作用」、ソーシャルワーク支援の一連のプロセス（過程）、実践モデルとアプローチ、ソーシャルワーク面接、記録、ケアマネジメント、グループワークおよびコミュニティワーク、社会福祉運営（ソーシャルアドミニストレーション）、ソーシャルアクション、スーパービジョン、などソーシャルワーク実践の技術にかんする基本的な知識を概観していきます。</p>
授業計画	<p>WB Tで出題される所定の回数のエクササイズに合格の後、WB T上で行われる単位認定試験に合格することで4単位を認定します。</p> <p><自宅学習></p> <p>第1章 人と環境の相互作用に関する理論とソーシャルワーク</p> <p>第2章 ソーシャルワークの過程①：ケースの発見とエンゲージメント（インテーク）</p> <p>第3章 ソーシャルワークの過程②：アセスメント</p> <p>第4章 ソーシャルワークの過程③：プランニング</p> <p>第5章 ソーシャルワークの過程③：支援の実施とモニタリング</p> <p>第6章 ソーシャルワークの過程④：支援の終結と結果評価、アフターケア</p> <p>第7章 ソーシャルワークの実践モデルとアプローチ</p> <p>第8章 ソーシャルワークの面接</p> <p>第9章 ソーシャルワークの記録</p> <p>第10章 ケアマネジメント（ケースマネジメント）</p> <p>第11章 グループを活用した支援</p> <p>第12章 コミュニティワーク</p> <p>第13章 ソーシャルアドミニストレーション</p> <p>第14章 ソーシャルアクション</p> <p>第15章 スーパービジョンとコンサルテーション</p>	
成績評価の方法	単位認定試験	

実践的教育を行う 授業科目の種別	a：実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目		○
	担当教員の実務経験 (経歴・資格等)	(本多 勇先生 職歴) 社会福祉法人徳心会総合福祉施設いずみえん 介護事業部長 医療法人社団充会介護老人保健施設太郎 相談室長・支援相談員	
	授業内容との関連性	社会福祉法人にて臨床経験のある教員が、現場での実践経験から得た知見を基に、社会福祉士として活動するにあたり必要な事項を指導する。	
	b：企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目		
	学外講師の経歴・資格等		
	授業内容		
	c：企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、研修を行う授業科目		
	実習先・実習の目的		
備考			

科目名		相談援助の理論と方法 2	
担当教員		前廣 美保	
授業方法		講義	
科目の概要	到達目標	<p>ソーシャルワーカー（社会福祉士）による相談援助は、社会福祉サービス利用者（クライアント）の相談に応じ、助言、指導、連絡、調整、その他の援助を行うこととされています。この科目では、ソーシャルワーカーの行う仕事の一つである相談援助についての理論およびその具体的な方法について学びます。到達目標は、社会福祉士として必要な相談援助の理論と方法を知識として修得することとなります。この科目内容はボリュームが多いため、「相談援助の理論と方法 1」での学習とあわせてすすめます。</p>	
	テキストの概要	<p>このテキスト『相談援助の理論と方法Ⅱ』では、『相談援助の理論と方法Ⅰ』に続き、まず相談援助の対象つまりクライアントについての理解を深めます。そして、ケアマネジメントやグループを活用した援助、コーディネーションとネットワークング、社会資源の活用・調整・開発を学びます。また、様々な実践モデルやアプローチについて学びます。これらは、単なる暗記では理解が深まりませんが、現場の実践と結びつけて考えるとわかりやすくなります。後半では、スーパービジョン、ケースカンファレンスの方法、個人情報保護、事例検討・分析等について学んでいきます。</p>	
授業計画		<p>WB Tで出題される所定の回数のエクササイズに合格の後、WB T上で行われる単位認定試験に合格することで4単位を認定します。</p> <p>自宅学習</p> <p>第1章 相談援助における対象の理解 第2章 ケアマネジメント（ケアマネジメント） 第3章 グループを活用した相談援助 第4章 コーディネーションとネットワークング 第5章 相談援助における社会資源の活用・調整・開発 第6章 様々な実践モデルとアプローチⅠ 第7章 様々な実践モデルとアプローチⅡ 第8章 様々な実践モデルとアプローチⅢ 第9章 スーパービジョンとコンサルテーションの技術 第10章 ケースカンファレンスの技術 第11章 相談援助における個人情報の保護 第12章 相談援助における情報通信技術（ICT）の活用 第13章 事例研究・事例分析 第14章 相談援助の実際</p>	
成績評価の方法		単位認定試験	
実践的教育を行う授業科目の種別		a：実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目	○
		担当教員の実務経験（経歴・資格等）	（前廣 美保先生 職歴）社会福祉法人京福会 特別養護老人ホームほのぼの園在宅介護支援センター ソーシャルワーカー

2022 武蔵野大学 通信教育部 シラバス

	医療法人社団曙光会コンフォガーデンクリニック ソーシャル ワーカー NPO 法人自然育児友の会事務局・子育てひろば担当スタッフ 調布市福祉健康部障害福祉課 障害福祉相談員
授業内容との関連性	社会福祉法人にて臨床経験のある教員が、現場での実践経験か ら得た知見を基に、社会福祉士として活動するにあたり必要な 事項を指導する。
b：企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目	
学外講師の経歴・資格等	
授業内容	
c：企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、 研修を行う授業科目	
実習先・実習の目的	
備考	

科目名		ソーシャルワークの理論と方法 2
担当教員		前廣 美保
授業方法		講義
科目の概要	到達目標	<p>本科目の「達成課題（到達目標）」は、次の通り設定します。</p> <p>①人と環境との相互作用に関する理論とミクロ・メゾ・マクロレベルにおけるソーシャルワークについて理解する。</p> <p>②ソーシャルワークの様々な実践モデルとアプローチについて理解する。</p> <p>③ソーシャルワークの過程とそれに係る知識と技術について理解する。</p> <p>④コミュニティワークの概念とその展開について理解する。</p> <p>⑤ソーシャルワークにおけるスーパービジョンについて理解する。</p>
	テキストの概要	<p>本科目「ソーシャルワークの理論と方法 2」のテキストは、[社会専門]の『ソーシャルワークの理論と方法』です（※テキストにある[共通科目]は、通信教育部の「共通科目」とは異なり、精神保健福祉士の受験科目との「共通」という意味です。ご注意ください）。</p> <p>「人と環境の相互作用」、ソーシャルワーク支援の一連のプロセス（過程）、実践モデルとアプローチ、ソーシャルワーク面接、記録、ケアマネジメント、グループワークおよびコミュニティワーク、社会福祉運営（ソーシャルアドミニストレーション）、ソーシャルアクション、スーパービジョン、などソーシャルワーク実践の技術にかんする基本的な知識を概観していきます。</p>
授業計画		<p>WB Tで出題される所定の回数のエクササイズに合格の後、WB T上で行われる単位認定試験に合格することで4単位を認定します。</p> <p><自宅学習></p> <p>第1章 総合的かつ包括的な支援におけるソーシャルワークの実際</p> <p>第1節 総合的かつ包括的な支援の考え方</p> <p>第2節 家族支援の実際</p> <p>第3節 地域支援の実際</p> <p>第4節 非常時や災害時支援の実際</p> <p>第2章 ソーシャルワークにおける援助関係の形成</p> <p>第1節 援助関係形成の意義と概念</p> <p>第2節 援助関係の形成方法と留意点</p> <p>第3章 ネットワークの形成</p> <p>第1節 ネットワーキング</p> <p>第2節 コーディネーション</p> <p>第4章 ソーシャルワークにおける社会資源の活用・調整・開発</p> <p>第1節 社会資源の活用・調整</p>

	第2節 ソーシャルワーク実践と社会資源 第3節 社会資源開発のさまざまな方法 第5章 カンファレンス 第1節 会議の種類と方法 第2節 ミクロ・メゾ・マクロの会議 第6章 事例分析、事例検討、事例研究 第1節 事例分析 第2節 事例検討 第3節 事例研究 第7章 ソーシャルワークに関連する技法 第1節 ネゴシエーション 第2節 コンフリクト・レゾリューション 第3節 ファシリテーション 第4節 プレゼンテーション 第5節 ソーシャル・マーケティング	
成績評価の方法	単位認定試験	
実践的教育を行う 授業科目の種別	a：実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目	
	担当教員の実務経験 (経歴・資格等)	
	授業内容との関連性	
	b：企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目	
	学外講師の経歴・資格等	
	授業内容	
	c：企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、 研修を行う授業科目	
	実習先・実習の目的	
備考		

科目名		地域福祉	
担当教員		熊田 博喜	
授業方法		講義	
科目の概要	到達目標	この科目では、地域福祉に関する基本的知識（基本的考え方、主体と対象、組織団体及び地域住民）の習得はもとより、地域社会及び地域福祉を支える様々な諸制度を理解することによって、地域社会から社会福祉を発想する視点と思考する力を養うことを目的とする。	
	テキストの概要	このテキストでは、新しい養成カリキュラムに立脚して13章から構成されている。このうち本科目では、第1・2・3・4・6・12・13章の内容を中心に主として「地域福祉の理論」部分について取り扱うことにする。第1章では地域福祉の発達過程とその今日的意義、第2章では地域福祉の諸概念とその分野特有のターム、第3章では地域福祉の中核的主体である住民とその主体形成、第4章では地域福祉の諸担い手とその概要、第6章では地方分権と住民参加、第12章では災害支援と地域福祉、第13章では地域福祉における海外動向、についてそれぞれ解説されている。なおテキストで扱わない他章については、主として「地域福祉の方法」に関する内容が解説されている。	
授業計画		<p>WB Tで出題される所定の回数のエクササイズに合格の後、WB T上で行われる単位認定試験に合格することで2単位を認定します。</p> <p><自宅学習></p> <p>第1章 新しい社会福祉システム 第2章 地域福祉の基本的考え方 第3章 地域福祉の主体と福祉教育 第4章 行政組織と民間組織の役割と実際 第6章 住民の参加と方法 第12章 災害支援と地域福祉 第13章 日本の地域福祉に影響を与えた海外の考え方</p>	
成績評価の方法		単位認定試験	
実践的教育を行う授業科目の種別	a：実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目		
	担当教員の実務経験 (経歴・資格等)		
	授業内容との関連性		
	b：企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目		
	学外講師の経歴・資格等		
	授業内容		

2022 武蔵野大学 通信教育部 シラバス

	c：企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、 研修を行う授業科目	
	実習先・実習の目的	
備考		

科目名		地域福祉と包括支援体制 1	
担当教員		西田 ちゆき	
授業方法		講義	
科目の概要	到達目標	①地域福祉の基本的な考え方、展開、動向について理解する。 ②地域福祉における主体と対象を理解し、住民の主体形成の概念を理解する。 ③地域福祉を推進するための、福祉行財政の実施体制と果たす役割について理解する。 ④地域福祉計画をはじめとした福祉計画の意義・目的及び展開を理解する。	
	テキストの概要	市販名：一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟（編）『地域福祉と包括支援体制』（中央法規出版 2021）	
授業計画		W B T で出題される所定の回数のエクササイズに合格の後、W B T 上で行われる単位認定試験に合格することで2単位を認定します。 <自宅学習> 第1章 新しい社会福祉システム 第2章 地域福祉の基本的考え方 第3章 地域福祉の主体と福祉教育 第4章 行政組織と民間組織の役割と実際 第6章 住民の参加と方法 第12章 災害支援と地域福祉 第13章 日本の地域福祉に影響を与えた海外の考え方	
成績評価の方法		単位認定試験	
実践的教育を行う授業科目の種別	a：実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目		
	担当教員の実務経験（経歴・資格等）		
	授業内容との関連性		
	b：企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目		
	学外講師の経歴・資格等		
	授業内容		
	c：企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、研修を行う授業科目		
	実習先・実習の目的		

備考

科目名	コミュニティーワーク	
担当教員	竹内 もみ	
授業方法	講義	
科目の概要	到達目標	この科目では、地域福祉の実践方法であるコミュニティーワーク（コミュニティーソーシャルワーク）として、地域に暮らす人々の支援理論と、福祉ニーズの把握、社会資源の捉え方と活用法など、地域包括的支援を展開するソーシャルワーカーの働きを理解して、社会福祉の専門知識を身につけることを目標とします。
	テキストの概要	<p>このテキストは、地域福祉全般について扱っています。科目として地域福祉とコミュニティーワークの2つに分けて学習します。</p> <p>第5章「コミュニティーソーシャルワークと専門職の役割」では、コミュニティーワークとコミュニティーソーシャルワークの相違とその考え方、ソーシャルワーカーと住民の役割について。</p> <p>第7章「ソーシャルサポートネットワーク」では、フォーマルサポート・インフォーマルサポートとサポートネットワークについて、それらを支援の手段とするエコロジカルアプローチについて。</p> <p>第8章「地域における社会資源の活用・調整・開発」では社会資源とはなにか、社会資源活用の方法、財源としての資源である税制度、福祉におけるまちづくりについて。</p> <p>第9章「地域における福祉ニーズの把握方法と実際」では、アウトリーチの意義と方法、福祉ニーズの把握方法について。</p> <p>第10章「地域トータルケアシステムの構築と実際」は、支援者の連携とジェネラルソーシャルワークの視点による地域トータルケアシステム（地域包括ケアシステム）の実践について。</p> <p>第11章「地域における福祉サービスの評価方法と実際」近年の福祉サービスの評価を必要とする背景について。評価される社会福祉事業の経営について。福祉サービスの評価の考え方、仕組み、実際の手順についてとなっています。</p>
授業計画	<p>WB Tで出題される所定の回数のエクササイズに合格の後、WB T上で行われる単位認定試験に合格することで2単位を認定します。</p> <p><自宅学習></p> <p>第5章 コミュニティーソーシャルワークと専門職の役割</p> <p>第7章 ソーシャルサポートネットワーク</p> <p>第8章 地域における社会資源の活用・調整・開発</p> <p>第9章 地域における福祉ニーズの把握方法と実際</p> <p>第10章 地域トータルケアシステムの構築と実際</p> <p>第11章 地域における福祉サービスの評価方法と実際</p>	
成績評価の方法	単位認定試験	
	a：実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目	

2022 武蔵野大学 通信教育部 シラバス

実践的教育を行う 授業科目の種別	担当教員の実務経験 (経歴・資格等)	
	授業内容との関連性	
	b: 企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目	
	学外講師の経歴・資格等	
	授業内容	
	c: 企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、 研修を行う授業科目	
	実習先・実習の目的	
備考		

科目名		福祉行財政と福祉計画	
担当教員		西田 ちゆき	
授業方法		講義	
科目の概要	到達目標	この科目では、福祉行財政と福祉計画という社会福祉実践を支える制度的な基盤と住民生活に最も身近な基礎的自治体である市町村を核とした福祉計画の意義や技法を中心に学習し、社会福祉援助者が福祉サービス提供体制に関して理解を深めることを目的とする。	
	テキストの概要	このテキストでは、福祉行政、福祉財政、福祉に携わる各種の専門職の役割、そして福祉計画について学ぶ。その社会の福祉の体制は歴史の進展とともにその時々の社会経済情勢等に強い影響を受けながら発展し、あるいは後退しつつ変化していくことを前提に、福祉専門職が制度的な仕組みや制度を変えていく力を持つ福祉計画の意義について大きな関心をもつことが期待される。第一線の福祉実践の多くは、直接的援助技術をもって展開されることから、福祉行財政および福祉計画については関心が薄くなりがちである。しかし、サービスが継続的に提供されるためには、公的な財源を必要としており、福祉行政や福祉計画について無関心ではいられない。テキストを学習することにより、福祉行財政および福祉計画の全体像が把握できる。	
授業計画		<p>WB Tで出題される所定の回数のエクササイズに合格の後、WB T上で行われる単位認定試験に合格することで2単位を認定します。</p> <p><自宅学習></p> <p>第1章 福祉行財政と福祉計画</p> <p>第2章 福祉行政</p> <p>第3章 福祉財政</p> <p>第4章 福祉行政の組織・団体と専門職の役割</p> <p>第5章 福祉計画の目的と意義</p> <p>第6章 福祉計画の理論と技法</p> <p>第7章 福祉計画の実際</p>	
成績評価の方法		単位認定試験	
実践的教育を行う授業科目の種別	a：実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目		
	担当教員の実務経験 (経歴・資格等)		
	授業内容との関連性		
	b：企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目		
	学外講師の経歴・資格等		
	授業内容		

2022 武蔵野大学 通信教育部 シラバス

	c：企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、 研修を行う授業科目	
	実習先・実習の目的	
備考		

科目名		社会福祉運営管理	
担当教員		齋藤 正	
授業方法		講義	
科目の概要	到達目標	この科目では、大きく次の3点の目標がある。すなわち、 (1) 福祉サービスに係る組織や団体（社会福祉法人、医療法人、特定非営利活動法人、営利法人、市民団体、自治会など）について理解すること、 (2) 福祉サービスの組織と経営に係る基礎理論について理解すること、 (3) 福祉サービスの経営と管理運営について理解すること、である。	
	テキストの概要	このテキストでは、福祉サービスにおける組織と経営をどのように捉えるかを概観したのち、組織・団体の種類、また、これらの組織と経営に係る基礎理論、経営と方法、管理運営の方法と実際を学ぶよう構成されている。	
授業計画		WBTで出題される所定の回数のエクササイズに合格の後、WBT上で行われる単位認定試験に合格することで2単位を認定します。 <自宅学習> 第1章 福祉サービスにおける組織と経営 第2章 福祉サービスにかかわる組織や団体 第3章 福祉サービスの組織と経営の基礎理論 第4章 福祉サービスの管理運営の方法① サービス管理 第5章 福祉サービスの管理運営の方法② 人事管理と労務管理 第6章 福祉サービスの管理運営の方法③ 会計管理と財務管理 第7章 福祉サービスの管理運営の方法④ 情報管理と戦略的広報	
成績評価の方法		単位認定試験	
実践的教育を行う授業科目の種別	a：実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目		
	担当教員の実務経験 (経歴・資格等)		
	授業内容との関連性		
	b：企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目		
	学外講師の経歴・資格等		
	授業内容		
	c：企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、研修を行う授業科目		
	実習先・実習の目的		
備考			

科目名		社会保障	
担当教員		奥西 允	
授業方法		講義	
科目の概要	到達目標	<p>この科目では、大きく次の6点の目標がある。すなわち、</p> <p>(1) 現代社会における社会保障制度の課題（少子高齢化と社会保障制度の関係を含む。）について理解すること、</p> <p>(2) 社会保障の概念や対象及びその理念等について、その発達過程も含めて理解すること、</p> <p>(3) 公的保険制度と民間保険制度の関係について理解すること、</p> <p>(4) 社会保障制度の体系と概要について理解すること、</p> <p>(5) 年金保険制度及び医療保険制度の具体的内容について理解すること</p> <p>(6) 諸外国における社会保障制度の概要について理解すること、である。</p>	
	テキストの概要	<p>このテキストでは、わが国の人口動態の変化や労働・雇用環境、政治・経済的な問題を背景に、社会保障の概念やその対象、理念、これまでの歴史、およびその財源や費用、公的保険制度と民間保険制度との関係、社会保障の体系、さらには年金保険および医療保険制度、諸外国の社会保障の概要から構成されている。</p>	
授業計画		<p>WB Tで出題される所定の回数エクササイズに合格の後、WB T上で行われる単位認定試験に合格することで4単位を認定します。</p> <p><自宅学習></p> <p>第1章 現代社会と社会保障</p> <p>第2章 社会保障の歴史</p> <p>第3章 社会保障の構造</p> <p>第4章 社会保障の財源と費用</p> <p>第5章 年金保険制度</p> <p>第6章 医療保険制度</p> <p>第7章 介護保険制度</p> <p>第8章 労働保険制度</p> <p>第9章 社会福祉制度</p> <p>第10章 社会保障と民間保険</p> <p>第11章 社会保障が当面する課題</p> <p>第12章 諸外国における社会保障制度</p>	
成績評価の方法		単位認定試験	
実践的教育を行う授業科目の種別	a：実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目		
	担当教員の実務経験（経歴・資格等）		
	授業内容との関連性		

2022 武蔵野大学 通信教育部 シラバス

	b: 企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目	
	学外講師の経歴・資格等	
	授業内容	
	c: 企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、研修を行う授業科目	
	実習先・実習の目的	
備考		

科目名		高齢者福祉と介護保険制度	
担当教員		菊地 ひとみ	
授業方法		講義	
科目の概要	到達目標	この科目は、社会福祉領域における専門知識を習得するための科目である。超高齢社会を迎え、高齢者を支援する制度は激しく変化している中で、現行制度と歴史的な変遷を理解するとともに、そこに通じる普遍的な要素を学び取ることにより、今後の高齢者福祉を柔軟に展望できるように学問することを目的とする。	
	テキストの概要	このテキストでは、まず基本的な高齢者の特性を知り、現今の少子高齢社会における諸問題を理解した上で、高齢者保健福祉施策の史変遷を主に制度面から学ぶ。更に、今日の高齢者福祉施策を①中心的にサービスを担っている介護保険制度とその実際、②施策に関わっている各種専門職の役割を詳細に理解し、加えて、介護の理論と具体的な手法を学ぶように構成されている。	
授業計画		<p>WB Tで出題される所定の回数エクササイズに合格の後、WB T上で行われる単位認定試験に合格することで4単位を認定します。</p> <p><自宅学習></p> <p>第1章 高齢者の特性 第2章 少子高齢社会と高齢者 第3章 高齢者保健福祉の発展 第4章 高齢者支援の関係法規 第5章 介護保険制度の基本的枠組み 第6章 介護保険制度の仕組み 第7章 介護保険サービスの体系 第8章 高齢者を支援する組織と役割 第9章 高齢者支援の方法と実際 第10章 高齢者を支援する専門職の役割と実際 第11章 介護の概念や対象 第12章 介護過程 第13章 介護各論① 第14章 介護各論② 終章 近未来の高齢者福祉課題</p>	
成績評価の方法		単位認定試験	
実践的教育を行う授業科目の種別		a：実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目	○
		担当教員の実務経験 (経歴・資格等)	(菊地 ひとみ先生 職歴) 国立がんセンター中央病院 脳外科・整形外科病棟、計画治療病棟看護師長 独立行政法人国立病院横浜医療センター 副看護部長

2022 武蔵野大学 通信教育部 シラバス

	授業内容との関連性	病院にて臨床経験のある教員が、現場の実践と関連させながら、医学・看護学・社会福祉の基礎的分野を指導し、日常生活に活かすことを目指す。
	b：企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目	
	学外講師の経歴・資格等	
	授業内容	
	c：企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、研修を行う授業科目	
	実習先・実習の目的	
備考		

科目名		高齢者福祉	
担当教員		菊地 ひとみ・米澤 直美	
授業方法		講義	
科目の概要	到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の定義と特性を踏まえ、高齢者とその家族の生活とこれを取り巻く社会環境について理解する。 ・高齢者福祉の歴史と高齢者観の変遷、制度の発展過程について理解する。 ・高齢者に対する法制度と支援の仕組みについて理解する。 ・高齢者における生活課題を踏まえて、社会福祉士としての適切な支援のあり方を理解する。 	
	テキストの概要	<p>この科目で使用する一般社団法人 日本ソーシャルワーク教育学校連盟（編）『最新 社会福祉養成講座2 高齢者福祉』（中央法規出版 2021）は、新カリキュラムに対応した社会福祉士と精神保健福祉士養成の教科書シリーズとして刊行された。</p> <p>このテキストでは、最初に、高齢者の特性、高齢社会についての基本的知識を学ぶ。また、高齢者を取り巻く社会環境における諸問題を理解した上で、高齢者保健福祉施策の歴史の変遷を主に制度面から学ぶ。次いで、現行の高齢者に関連する諸制度を概観する。今日の高齢者福祉施策において中心的にサービスを担っている介護保険制度や施策に関わっている各種専門職の役割をについて学ぶ。最後に、高齢者と家族の支援におけるソーシャルワーカーの役割を学び、事例を通してソーシャルワーカーの援助の実際について考察できるようになっている。</p>	
授業計画		<p>WB Tで出題される所定の回数のエクササイズに合格の後、WB T上で行われる単位認定試験に合格することで2単位を認定します。</p> <p><自宅学習></p> <p>第1章 高齢者と少子高齢社会</p> <p>第2章 高齢者の生活実態とこれを取り巻く社会環境</p> <p>第3章 高齢者福祉の歴史と理念</p> <p>第4章 介護保険制度</p> <p>第5章 高齢者に関する関連諸制度</p> <p>第6章 高齢者と家族等の支援における関係機関と専門職の役割</p> <p>第7章 高齢者と家族等に対する支援の実際</p>	
成績評価の方法		単位認定試験	
実践的教育を行う授業科目の種別	a：実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目		
	担当教員の実務経験（経歴・資格等）		
	授業内容との関連性		

2022 武蔵野大学 通信教育部 シラバス

	b：企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目	
	学外講師の経歴・資格等	
	授業内容	
	c：企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、研修を行う授業科目	
	実習先・実習の目的	
備考		

科目名		障害者福祉	
担当教員		大井 純	
授業方法		講義	
科目の概要	到達目標	この科目では、障害者福祉に関する基本的な事柄について理解するとともに、相談援助活動において必要となる障害者自立支援制度や障害者の福祉・介護等にかかわる法制度について理解することを目的としている。障害による生活課題を踏まえ、ソーシャルワーカーとしての適切な支援のあり方を理解する。障害者福祉の実践を通してソーシャルワークについて考える。	
	テキストの概要	テキストは社会福祉士養成カリキュラムに立脚して7章から構成され、詳細については各章のはじめに記述されている。テキストの内容は、障害者福祉に係わる法体系、障害者自立支援制度の仕組み、組織・機関の役割および専門職の役割についてなどが解説されている。社会福祉士養成の全体像をイメージし、また障害者福祉の科目の全体像をイメージしながら学習を進める。	
授業計画		<p>WB Tで出題される所定の回数のエクササイズに合格の後、WB T上で行われる単位認定試験に合格することで2単位を認定します。</p> <p><自宅学習></p> <p>第1章 障害者を取り巻く社会情勢と生活実態</p> <p>第2章 障害者にかかわる法体系</p> <p>第3章 障害者自立支援制度①</p> <p>第4章 障害者自立支援制度②</p> <p>第5章 組織・機関の役割</p> <p>第6章 専門職の役割と実際</p> <p>第7章 他職種連携・ネットワーキング</p>	
成績評価の方法		単位認定試験	
実践的教育を行う授業科目の種別	a：実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目		
	担当教員の实務経験 (経歴・資格等)		
	授業内容との関連性		
	b：企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目		
	学外講師の経歴・資格等		
	授業内容		
	c：企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、研修を行う授業科目		

2022 武蔵野大学 通信教育部 シラバス

	実習先・実習の目的	
備考		

科目名		障害者福祉（令和6年以降試験対応）	
担当教員		大井 純	
授業方法		講義	
科目の概要	到達目標	この科目では以下の5点を到達目標とする。①障害の概念と特性を踏まえ、障害者とその家族の生活とこれを取り巻く社会環境について理解する。②障害者福祉の歴史と障害観の変遷、制度の発展過程について理解する。③障害者に対する法制度と支援の仕組みについて理解する。④障害による生活課題を踏まえ、ソーシャルワーカーとしての適切な支援のあり方を理解する。⑤障害者福祉の実践を通してソーシャルワークについて考える。	
	テキストの概要	テキストは社会福祉士カリキュラムに立脚して7章から構成され、詳細については各章のはじめに記述されている。テキストの内容は、障害概念と特性、障害者福祉の理念、障害者福祉の歴史、障害者の生活実態とこれを取り巻く社会環境と課題、障害者に対する法制度、障害者と家族等の支援における関係機関と専門職の役割、障害者と家族等に対する支援の実際などが解説されている。 テキスト冒頭にも記載されているが、社会福祉士養成の全体像をイメージし、また障害者福祉の科目の全体像をイメージしながら学習を進める。	
授業計画		<p>WB Tで出題される所定の回数のエクササイズに合格の後、WB T上で行われる単位認定試験に合格することで2単位を認定します。</p> <p><自宅学習></p> <p>第1章 障害概念と特性 第2章 障害者福祉の理念 第3章 障害者福祉の歴史 第4章 障害者の生活実態とこれを取り巻く社会環境と課題 第5章 障害者に対する法制度 第6章 障害者と家族等の支援における関係機関と専門職の役割 第7章 障害者と家族等に対する支援の実際</p>	
成績評価の方法		単位認定試験	
実践的教育を行う授業科目の種別	a：実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目		
	担当教員の実務経験（経歴・資格等）		
	授業内容との関連性		
	b：企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目		
	学外講師の経歴・資格等		
	授業内容		

2022 武蔵野大学 通信教育部 シラバス

	c：企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、 研修を行う授業科目	
	実習先・実習の目的	
備考		

科目名		児童・家庭福祉	
担当教員		山田 勝美	
授業方法		講義	
科目の概要	到達目標	<p>この科目では、児童・家庭福祉に関する以下の内容を理解することを目的とします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 児童・家庭を取り巻く社会情勢、子育て一人親家庭、児童虐待及び家庭内暴力（DV）等の実態とそれに対するニーズについて理解する。 ・ 児童・家庭福祉制度の発展過程、児童の権利について理解する。 ・ 相談援助活動において必要となる児童・家庭福祉制度や関連する他の法制度について理解する。 	
	テキストの概要	<p>このテキストは5章から構成され、「子ども家庭福祉とは何か」「現代社会と子ども・家庭」、「子ども家庭福祉にかかわる法制度」、「子ども家庭にかかわる福祉・保健」「子ども家庭への援助活動」について解説しています。各章ごとの概要はくこの章のねらい>に記載してありますのでよく読んでください。なお、近年、児童・家庭福祉にかかわる法律や制度がめまぐるしく改正されています。制度改正の背景にある福祉ニーズとの関連で理解することが大切になります。</p>	
授業計画		<p>WB Tで出題される所定の回数のエクササイズに合格の後、WB T上で行われる単位認定試験に合格することで2単位を認定します。</p> <p><自宅学習></p> <p>第1章 子ども家庭福祉とは何か 第2章 現代社会と子ども・家庭 第3章 子ども家庭福祉にかかわる法制度 第4章 子ども家庭にかかわる福祉・保健 第5章 子ども家庭への援助活動</p>	
成績評価の方法		単位認定試験	
実践的教育を行う授業科目の種別	a：実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目		
	担当教員の実務経験（経歴・資格等）		
	授業内容との関連性		
	b：企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目		
	学外講師の経歴・資格等		
	授業内容		
c：企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、研修を行う授業科目			

2022 武蔵野大学 通信教育部 シラバス

	実習先・実習の目的	
備考		

科目名		児童・家庭福祉（令和6年以降試験対応）	
担当教員		山田 勝美	
授業方法		講義	
科目の概要	到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもや家庭を取り巻く社会情勢、ひとり親家庭、子ども虐待及び家庭内暴力（DV）等の実態とそれに対するニーズについて理解する。 ・子ども家庭福祉の発展過程、特に子どもの権利について理解する。 ・相談援助活動において必要となる子ども家庭福祉制度や関連する他の法制度について理解する。 	
	テキストの概要	一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟（編）『児童・家庭福祉（最新・社会福祉士養成講座 3 ）』（中央法規 2021）	
授業計画		<p>WB Tで出題される所定の回数のエクササイズに合格の後、WB T上で行われる単位認定試験に合格することで2単位を認定します。</p> <p><自宅学習></p> <p>第1章 子ども家庭福祉とは何か</p> <p>第2章 子ども家庭福祉の歴史</p> <p>第3章 子ども家庭を取り巻く現代社会</p> <p>第4章 子ども家庭福祉の支援の基盤</p> <p>第5章 子どもの福祉課題と支援</p> <p>第6章 子ども家庭福祉のソーシャルワーク実践</p>	
成績評価の方法		単位認定試験	
実践的教育を行う授業科目の種別	a：実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目		
	担当教員の実務経験（経歴・資格等）		
	授業内容との関連性		
	b：企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目		
	学外講師の経歴・資格等		
	授業内容		
	c：企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、研修を行う授業科目		
実習先・実習の目的			
備考			

科目名		公的扶助	
担当教員		加藤 歩	
授業方法		講義	
科目の概要	到達目標	<p>貧困・低所得問題は、現代社会の大きな課題であると広く認識されている。それは、現実には起こっている様々な問題が、貧困等の問題と一見無関係であるように見えても、根底には貧困問題が横たわっている場合が少なからずあること、また、その多くは社会のあり方が生み出しているという点からである。</p> <p>この科目では、現代社会における貧困・低所得問題の構造的な現状を理解し、それらに対処する制度・施策、中でも大きな役割を持つ生活保護制度について学び考えることになる。また、公的扶助の歴史的経緯や思想の変遷を把握し、今後に向けての課題を明確にすることを旨とする。</p> <p>これらの到達目標に向かって学習を進めるプロセスは、自らの考え方、社会福祉を専門的に実践していく上で大切にすべきことを確認する機会になると思われる。そして、社会のセーフティネットである公的扶助が適切に機能していくことは、一人ひとりが大切にされる社会の実現と大きくつながっているということを深く理解したい。</p>	
	テキストの概要	<p>このテキストは10章で構成されており、公的扶助の概念、貧困・低所得者問題と社会的排除、制度の歴史から始まり、生活保護制度について多角的に、詳しく学ぶことができるようになっている。さらに、相談援助活動および生活保護における自立支援の取り組みについてまとめられている。</p> <p>各章の末尾に、参考文献が紹介されているので、参考にされたい。</p>	
授業計画		<p>WB Tで出題される所定の回数 of エクササイズに合格の後、WB T上で行われる単位認定試験に合格することで2単位を認定します。</p> <p><自宅学習></p> <p>第1章 公的扶助の概念 第2章 貧困・低所得者問題と社会的排除 第3章 公的扶助制度の歴史 第4章 生活保護制度の仕組み 第5章 最低生活保障水準と生活保護基準 第6章 生活保護の動向 第7章 低所得者対策の概要 第8章 生活保護の運営実施体制と関係機関・団体 第9章 貧困・低所得者に対する相談援助活動 第10章 生活保護における自立支援</p>	
成績評価の方法		単位認定試験	
実践的教育を行う授業科目の種別		a：実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目	
		担当教員の実務経験 (経歴・資格等)	

2022 武蔵野大学 通信教育部 シラバス

	授業内容との関連性	
	b：企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目	
	学外講師の経歴・資格等	
	授業内容	
	c：企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、研修を行う授業科目	
	実習先・実習の目的	
備考		

科目名		保健医療サービス	
担当教員		清水 茂徳	
授業方法		講義	
科目の概要	到達目標	この科目では、保健医療サービスの分野や特徴、歴史的な発展など基本的なことから理解するとともに、相談援助において必要となる医療保険制度、診療報酬に関する内容など保健医療サービス全般にわたって理解し、保健医療サービスにおける専門職の役割と実際、多職種協働について理解することを目的とする。	
	テキストの概要	このテキストは、2007年に改正された社会福祉士及び介護福祉士法による教育カリキュラムに沿って構成されている。7章に分かれており、1章は「保健医療サービスの変化と社会福祉専門職の役割」として総論的にすべての章につながる内容のエッセンスがまとめられている。2章以下は保健医療サービスを提供する施設とシステム、保健医療サービスにおける医療ソーシャルワーカーの役割、保健医療サービスの専門職の役割、保健医療サービスの提供と経済的保障、保健医療サービスにおける専門職や地域の社会資源との連携と実践などが盛り込まれている。	
授業計画		<p>WB Tで出題される所定の回数のエクササイズに合格の後、WB T上で行われる単位認定試験に合格することで2単位を認定します。</p> <p><自宅学習></p> <p>第1章 保健医療サービスの変化と社会福祉専門職の役割</p> <p>第2章 保健医療サービスを提供する施設とシステム</p> <p>第3章 保健医療サービスにおける医療ソーシャルワーカーの役割</p> <p>第4章 保健医療サービスの専門職の役割</p> <p>第5章 保健医療サービスの提供と経済的保障</p> <p>第6章 保健医療サービスにおける専門職の連携と実践</p> <p>第7章 保健医療サービスにおける地域の社会資源との連携実践</p>	
成績評価の方法		単位認定試験	
実践的教育を行う授業科目の種別	a：実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目		
	担当教員の实務経験 (経歴・資格等)		
	授業内容との関連性		
	b：企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目		
	学外講師の経歴・資格等		
	授業内容		
c：企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、研修を行う授業科目			

2022 武蔵野大学 通信教育部 シラバス

	実習先・実習の目的	
備考		

科目名		就労支援サービス
担当教員		渡辺 芳
授業方法		講義
科目の概要	到達目標	<p>働くことは、人々の社会における権利であり、また義務でもある。日本国憲法第 27 条にも、国民の勤労の権利と義務についての定めがある。</p> <p>社会的排除を防止するための社会的包摂策には、①働くことと社会福祉サービス受給を一体にした「ワークフェア」（「福祉から雇用へ」）、②労働者に職業訓練や職業紹介、雇用主には労働者雇用を促進する助成金支出などの労働市場に対する積極的な働きかけを行う「積極的労働市場政策」、③働くことと貨幣獲得の結びつきを切り離して、政府が国民の最低所得保障を行う「ベーシック・インカム」（基本所得）がある。このように、働くことと社会福祉サービスを関連付けをさせようという試みは、社会福祉制度のなかに取り入れられている。</p> <p>また、働くことは、生活に必要な貨幣獲得と同時に、社会での何らかの役割を果たす方法の一つであって、働くことを通じて社会での役割や居場所を獲得しやすくなる。つまり、働くことは社会参加の一種である。</p> <p>しかし、働く意欲や希望をもちながらも、就労することや就労の継続に何らかの問題を抱えている人々がいる。そうした人々を支援する専門職に必要な知識や考え方について、次の到達目標に沿って学ぶ。</p> <p>① 働くことの意味と社会福祉士の役割について再考する。 ② 雇用・就労問題に関する動向と法律・制度を理解する。 ③ 障害者の就労支援について理解する。 ④ 低所得者の就労支援について理解する。 ⑤ 就労支援を担う専門職の役割と専門職間の連携を理解する。 ⑥ 就労支援の連携の意義を理解する</p>
	テキストの概要	<p>社会福祉士の養成カリキュラムに、平成 21 年度から「就労支援サービス」が新たに加えられた。就労と福祉の動向について、到達目標に沿った内容が理解把握しやすい章立てで構成されている。</p>
授業計画		<p>WB Tで出題される所定の回数のエクササイズに合格の後、WB T上で行われる単位認定試験に合格することで1単位を認定します。</p> <p><自宅学習></p> <p>序章 働くことの意味と社会福祉士の役割</p> <p>第1章 雇用・就労の動向と施策</p> <p>第2章 障害者と就労支援</p> <p>第3章 低所得者と就労支援</p> <p>第4章 専門職の役割と実際</p> <p>第5章 就労支援の連携と実際</p> <p>終章 さまざまな働き方の支援</p>
成績評価の方法		単位認定試験

2022 武蔵野大学 通信教育部 シラバス

実践的教育を行う 授業科目の種別	a：実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目		
	担当教員の実務経験 (経歴・資格等)		
	授業内容との関連性		
	b：企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目		
	学外講師の経歴・資格等		
	授業内容		
	c：企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、 研修を行う授業科目		
	実習先・実習の目的		
備考			

科目名		権利擁護と成年後見制度
担当教員		鈴木 四季
授業方法		講義
科目の概要	到達目標	<p>近年の社会福祉士の活動状況の実際を鑑みると、権利擁護及び成年後見制度に関する相談援助活動においても、福祉の専門職としてその社会的ニーズや期待は年々増加し重要な役割を果たしている。</p> <p>社会福祉士は、テキストで示されたいくつかの事例のように、乳幼児から高齢者、身体、知的、精神などの障害をもつ人々など、社会生活の中で日常的に何らの支援を必要としている人々に深く接することが多い仕事といえる。また、社会福祉士が実際に対応する具体的なケースも、児童虐待や高齢者虐待、ホームレス、アルコール依存症、非行少年、家庭内の多問題重複ケースなど多様である。</p> <p>社会福祉士として、これらのさまざまなケースの相談援助をおこなうにあたり、権利擁護や成年後見制度の根拠となる日本国憲法、民法、行政法等や関連諸制度について総合的に理解する。</p> <p>さらに、権利擁護や成年後見等の相談援助活動にあつては、これらの諸制度と密接にかかわる家庭裁判所や法務局、児童相談所、市町村などの組織や団体などについて、テキストの事例のおかれているそれぞれの課題においてその経過やポイントを踏まえて考察する。各事例の中に、どのような課題がありアプローチしていくか、各々が社会福祉士の立場で、対象者への対応、諸制度の実際を理解し、また、弁護士、司法書士、医師などの専門職の役割や連携の実際についても学習する。</p> <p>最後に成年後見活動と権利擁護活動において、専門職や組織、団体等関係機関との連携やネットワークなどについて社会福祉士として必要な職務上の視点について学習することで、社会福祉士として鋭い権利擁護の感覚を培うことを目標とする。</p>
	テキストの概要	<p>① 相談援助および日本国憲法の基本原理、民法、行政法等との関連について理解する。</p> <p>② 成年後見人等の役割など相談援助活動に必要な成年後見制度について理解する。</p> <p>③ 権利擁護や成年後見制度に関連する組織や団体、専門職の役割等について理解する。</p> <p>④ 成年後見制度や日常生活自立支援事業、その他関連諸制度の実際について理解する。</p> <p>⑤ 社会的排除や虐待などの権利侵害や認知症などの日常生活の支援が必要な者に対する権利擁護活動の実際について理解する。</p>
授業計画		<p>WB Tで出題される所定の回数のエクササイズに合格の後、WB T上で行われる単位認定試験に合格することで2単位を認定します。</p> <p><自宅学習></p> <p>第1章 相談援助の活動と法</p> <p>第2章 成年後見制度</p> <p>第3章 日常生活自立支援事業</p> <p>第4章 成年後見制度利用支援事業</p> <p>第5章 権利擁護活動にかかわる組織・団体</p> <p>第6章 権利擁護活動にかかわる専門職の役割</p>

	第7章 成年後見活動の実際 第8章 権利擁護活動の実際	
成績評価の方法	単位認定試験	
実践的教育を行う 授業科目の種別	a：実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目	
	担当教員の実務経験 (経歴・資格等)	
	授業内容との関連性	
	b：企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目	
	学外講師の経歴・資格等	
	授業内容	
	c：企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、 研修を行う授業科目	
	実習先・実習の目的	
備考		

科目名		司法福祉	
担当教員		金子 毅司	
授業方法		講義	
科目の概要	到達目標	罪を犯した者にまつわる統計等について適切に把握し説明することができる。 ・司法福祉制度における用語、制度の概要等について具体的に説明することができる。 ・制度にかかわる機関や人々（専門職等）について説明することができる。 ・ソーシャルワークの視点から罪を犯した者の支援について検討することができる。	
	テキストの概要	なし	
授業計画		本校（東京都西東京市）で行われるスクーリング（全7コマ）に出席し、スクーリング期間中に行う2回の小テストと授業内容により評価を行い、合格することで1単位が認定されます。 <スクーリング> 第1回 ガイダンス・更生保護を学ぶ意義 第2回 更生保護の制度① 第3回 更生保護の制度② 第4回 要保護児童の自立支援(視聴覚教材使用) 第5回 更生保護制度の担い手 第6回 医療観察制度の概要① 第7回 医療観察制度の概要②	
成績評価の方法		単位認定試験	
実践的教育を行う授業科目の種別	a：実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目		
	担当教員の実務経験 (経歴・資格等)		
	授業内容との関連性		
	b：企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目		
	学外講師の経歴・資格等		
	授業内容		
	c：企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、研修を行う授業科目		
	実習先・実習の目的		
備考			

科目名		ソーシャルワークの倫理と実践
担当教員		本多 勇・前廣 美保
授業方法		講義
科目の概要	到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ソーシャルワーカーの倫理綱領を、その背景も含めて理解することができる。 ・ソーシャルワーカーの倫理綱領に謳われている文言を、実践の場面と関連付けて説明することができる。 ・ソーシャルワーカーとしての専門的価値と、個人的な価値観との相違に気づくことができる。 ・ソーシャルワーク実践において経験する倫理ジレンマに適切に対応することができる。
	テキストの概要	清水教恵・朴光駿（編）『よくわかる社会福祉の歴史』（ミネルヴァ出版 2011）
授業計画		<p>スクーリング（1単位）とWBTによる学習（1単位）の計2単位の科目です。</p> <p>WBTで出題される所定の回数のエクササイズに合格の後、WBT上で提出する単位認定レポートに合格することで1単位を認定します。</p> <p>また、本校（東京都西東京市）で行われるスクーリング（全4コマ）および半日「施設見学」に出席し、WBT上に単位認定試験（課題レポート）を提出し、合格することで1単位を認定します。</p> <p>今年度（2022年度）のメインテーマは、「貧困と社会経済」です。</p> <p>この科目は、受講する年度ごとに、取り上げるテーマを変えて、ソーシャルワークに関わる人の暮らしの多様な場面、サービス種別などについて、具体的に理解を深めます。</p> <p>テキスト『よくわかる社会福祉の歴史』と参考資料「ソーシャルワーカーの倫理綱領」（日本ソーシャルワーカー協会）と、その他、必要な参考文献を用いて、各自で学びを進めてください。エクササイズを解きながら、参考資料に戻って理解を定着させてゆく方法も良いでしょう。</p> <p>スクーリング2（施設見学）は、履修者数が確定してから調整が必要になるため、施設の決定などの詳細については、スクーリング1でお伝えします。</p> <p>スクーリング終了後に、レポート課題が提示されます。そのレポートをWBTに「単位認定試験」として提出し、合格すると、2単位習得できます。</p> <p><スクーリング></p> <p>①スクーリング1（講義）</p> <p>第1講 科目のねらい、自己紹介</p> <p>第2講 ゲスト講師等によるソーシャルワーク実践経験</p> <p>第3講 グループディスカッション</p> <p>第4講 ふりかえり、施設見学オリエンテーション（説明）</p> <p>②スクーリング2（施設見学）</p>

成績評価の方法	単位認定試験	
実践的教育を行う 授業科目の種別	a：実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目	
	担当教員の実務経験 (経歴・資格等)	
	授業内容との関連性	
	b：企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目	
	学外講師の経歴・資格等	
	授業内容	
	c：企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、 研修を行う授業科目	
	実習先・実習の目的	
備考		

科目名		社会福祉演習 1	
担当教員		大井 純・齋藤 正・西田 ちゆき・本多 勇・星野 弘美・前廣 美保・山田 真由美・米澤 直美	
授業方法		講義	
科目の概要	到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・各福祉領域の課題と利用者の特徴、支援方法について理解を深め、相談援助活動の基盤となる専門的知識・技術・倫理を理解している。 ・地域福祉基盤整備に係る基礎的援助技術の知識を習得している。 	
	テキストの概要	<p>相談援助のプロセスとそこで求められる基本的な技術についての知識を確認した上で、既習の専門科目と関連づけながら各福祉領域にごとの問題の歴史的背景(経緯)、現代の課題(社会的背景)、基本となる法律・関係法令、利用者像、支援の特徴等についての知識を補完しつつ、具体的な相談援助の事例検討を行う。地域福祉基盤整備に係る基本的な知識や技術について資料(事例)を活用して学ぶ。</p>	
授業計画		<p>WBTで出題される2回のレポートを提出して合格することによって4単位を認定します。</p> <p><自宅学習></p> <p>①第1部(第1・2章)の面接場面等の記述について、「自分ならどうするか」と置き換えながら、読み進めてみてください。</p> <p>②第2部(第3～6章)の各事例については、現代社会における社会福祉に関連する諸課題を、具体的にイメージしながら読み進めてください。</p> <p>③相談援助のプロセス(インテーク・アセスメントから始まり、終結まで)については、特に「相談援助の理論と方法I」のテキスト第5・6章に詳しく解説されています。これを参考にしながら、この科目のテキスト第2章を読み返すと理解が深まります。</p> <p>④現代社会においてソーシャルワーカーは、社会的排除・虐待・家庭内暴力・低所得者・ホームレス等の現代的課題と無関係ではいられず、自ずと関心を持つ必要があります。テキスト第5・6章にいくつかの事例が掲載されており、理解を深めてください。</p> <p>⑤地域におけるネットワークづくりについては、テキストの第3章にいくつかの事例が掲載されています。また他の関連科目のテキストも参考にしてください。</p>	
成績評価の方法		単位認定試験	
実践的教育を行う授業科目の種別		a: 実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目	○
		担当教員の实務経験(経歴・資格等) <p>(本多 勇先生 職歴) 社会福祉法人徳心会総合福祉施設いずみえん 介護事業部長 医療法人社団充会介護老人保健施設太郎 相談室長・支援相談員 (前廣 美保先生 職歴) 社会福祉法人京福会 特別養護老人ホームほのぼの園在宅介護支援センター ソーシャルワーカー</p>	

2022 武蔵野大学 通信教育部 シラバス

	医療法人社団曙光会コンフォガーデンクリニック ソーシャル ワーカー NPO 法人自然育児友の会事務局・子育てひろば担当スタッフ 調布市福祉健康部障害福祉課 障害福祉相談員”
授業内容との関連性	社会福祉法人にて臨床経験のある教員が、現場での実践経験か ら得た知見を基に、社会福祉士として活動するにあたり必要な 事項を指導する。
b：企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目	
学外講師の経歴・資格等	
授業内容	
c：企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、 研修を行う授業科目	
実習先・実習の目的	
備考	

科目名		社会福祉演習 2
担当教員		大井 純・齋藤 正・西田 ちゆき・本多 勇・星野 弘美・前廣 美保・山田 真由美・米澤 直美
授業方法		講義
科目の概要	到達目標	<ul style="list-style-type: none"> 自己理解・他者理解ができるようになり、ソーシャルワーカーの倫理を基盤において基本的コミュニケーション技術と基本的な面接技術を習得する。 相談支援のプロセスに沿った支援の基本と地域基盤とした支援の基本を涵養する。
	テキストの概要	<ul style="list-style-type: none"> 対人援助に求められる自己理解・他者理解を演習によって習得し、対人関係を形成する基本的なコミュニケーション技術・面接技術など相談援助技術を、ロールプレイなどを用いて具体的に体験的に学習する。また相談援助実践の基盤である価値・倫理について事例を通して具体的に学ぶ。 相談援助のプロセスに添った支援の方法を具体的な事例を通して学ぶ。地域を基盤とした支援と開発方法について事例をもとに学ぶとともに、社会資源活用等を含め地域支援計画を立てる。
授業計画		<p>スクーリングとWBTによるエクササイズ学習による、計3単位の科目です。</p> <p><スクーリング></p> <p>【第1ユニット】</p> <p>第01回 イン트로ダクション</p> <p>第02回 ソーシャルワーカーとしての自己理解 ―自己理解の重要性―</p> <p>第03回 ソーシャルワーカーとしての自己理解 ―自己の価値への気づき―</p> <p>第04回 コミュニケーション技術 (1) ―コミュニケーションスキルの基本―</p> <p>第05回 コミュニケーション技術 (2) ―言語・非言語コミュニケーション―</p> <p>第06回 相談援助場面における基本的態度の原則 ―倫理(倫理的ジレンマを含む)―</p> <p>第07回 基本的な面接技術の習得―援助関係の理解(信頼関係の形成)を基盤とした面接、面接の基本―</p> <p>*第1ユニットでは、ロールプレイやグループワーク等を通して実践的に理解する。</p> <p>【第2ユニット】</p> <p>第08回 相談援助技法の習得 (1) ―インテークの留意点と実際―</p> <p>第09回 相談援助技法の習得 (2) ―アセスメントの実際―</p> <p>第10回 相談援助技法の習得 (3) ―プランニングの実際―</p> <p>第11回 相談援助技法の習得 (4) ―支援の実施―</p> <p>第12回 相談援助技法の習得 (5) ―モニタリングと効果測定―</p> <p>第13回 相談援助技法の習得 (6) ―終結とアフターケア、事後評価―</p> <p>*第2ユニットでは、一つの事例を相談援助プロセスに沿って考察分析することで事例及び相談援助の全体像を包括的に理解できるようにする。</p> <p>【第3ユニット】</p>

	<p>第14回 相談援助プロセスで活用する技法の習得 (1) -アウトリーチの重要性-</p> <p>第15回 相談援助プロセスで活用する技法の習得 (2) -チームアプローチの留意点と実際-</p> <p>第16回 相談援助プロセスで活用する技法の習得 (3) -ネットワークング (社会資源の活用・調整及び関係機関との連携)-</p> <p>第17回 地域福祉基盤整備と開発に関する技術 (1) -アウトリーチとニーズ把握-</p> <p>第18回 地域福祉基盤整備と開発に関する技術 (2) -地域福祉計画の実際-</p> <p>第19回 地域福祉基盤整備と開発に関する技術 (3)</p> <p><自宅学習> スクーリングで示した内容について、教材等を活用した自宅学習により知識の補填を行う。</p>	
成績評価の方法	単位認定試験	
実践的教育を行う 授業科目の種別	a: 実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目	
	担当教員の实務経験 (経歴・資格等)	<p>(本多 勇先生 職歴) 社会福祉法人徳心会総合福祉施設いずみえん 介護事業部長 医療法人社団充会介護老人保健施設太郎 相談室長・支援相談員 (前廣 美保先生 職歴) 社会福祉法人京福会 特別養護老人ホームほのぼの園在宅介護支援センター ソーシャルワーカー 医療法人社団曙光会コンフォガーデンクリニック ソーシャルワーカー NPO 法人自然育児友の会事務局・子育てひろば担当スタッフ 調布市福祉健康部障害福祉課 障害福祉相談員”</p>
	授業内容との関連性	社会福祉法人にて臨床経験のある教員が、現場での実践経験から得た知見を基に、社会福祉士として活動するにあたり必要な事項を指導する。
	b: 企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目	
	学外講師の経歴・資格等	
	授業内容	
	c: 企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、研修を行う授業科目	
	実習先・実習の目的	
備考		

科目名		社会福祉演習 3	
担当教員		大井 純・齋藤 正・西田 ちゆき・本多 勇・星野 弘美・前廣 美保・山田 真由美・米澤 直美	
授業方法		講義	
科目の概要	到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・相談援助活動における様々な課題に対して総合的かつ包括的援助の視点をもって実際に行動しようとする態度の基盤を形成する。 	
	テキストの概要	<ul style="list-style-type: none"> ・学生の個別的な実習体験を、K J 法等を用いてカテゴリー化し、既習の知識と照らしあわせることにより、知識と実践とを結びつけて考える。 ・実習体験や職場での相談援助体験を事例として取り上げ、ミクロ（利用者及び家族等への働きかけ）、メゾ（組織や所属集団等への働きかけ）、マクロ（地域の社会資源への働きかけ）それぞれのレベルでの援助実践を視野にいれた支援計画の作成を意図し、様々なアプローチと援助技術を検討する。 	
授業計画		<p>スクーリングとWBTによる学習の計3単位の科目です。</p> <p><スクーリング></p> <p>第1回 相談援助実習における個別的な体験の一般化 第2回 実習事例を活用した実践的技能の習得</p> <p>*上記の内容を、グループワークを含めた集団指導並びに個別指導によって実技指導を行う。</p> <p><自宅学習></p> <p>テキストその他の資料で専門的知識を補填しながら、相談援助実習で体験した事例をとりあげて支援計画の作成(事例検討)を行い、支援経過をまとめる。</p> <p>※実習免除者は、これまでの相談援助事を使って、守秘義務に十分配慮してまとめること。</p>	
成績評価の方法		単位認定試験	
実践的教育を行う授業科目の種別		a：実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目	○
		担当教員の実務経験 (経歴・資格等)	(本多 勇先生 職歴) 社会福祉法人徳心会総合福祉施設いずみえん 介護事業部長 医療法人社団充会介護老人保健施設太郎 相談室長・支援相談員 (前廣 美保先生 職歴) 社会福祉法人京福会 特別養護老人ホームほのぼの園在宅介護支援センター ソーシャルワーカー 医療法人社団曙光会コンフォガーデンクリニック ソーシャルワーカー NPO 法人自然育児友の会事務局・子育てひろば担当スタッフ 調布市福祉健康部障害福祉課 障害福祉相談員”

2022 武蔵野大学 通信教育部 シラバス

	授業内容との関連性	社会福祉法人にて臨床経験のある教員が、現場での実践経験から得た知見を基に、社会福祉士として活動するにあたり必要な事項を指導する。
	b：企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目	
	学外講師の経歴・資格等	
	授業内容	
	c：企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、研修を行う授業科目	
	実習先・実習の目的	
備考		

科目名		社会福祉実習指導 1
担当教員		大井 純・加藤 歩・齋藤 正・中條 桂子・西田 ちゆき・本多 勇・星野 弘美・前廣 美保・山田 真由美
授業方法		講義
科目の概要	到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・相談援助に関わる知識と技術及び倫理等について具体的かつ实际的に理解している。 ・社会福祉実習に臨む準備状況に到達している。
	テキストの概要	<ul style="list-style-type: none"> ・面接授業及び印刷教材を用いた学習に加え、社会福祉施設見学等の現場体験により、利用者及び施設・事業者・機関・団体・地域社会についての基礎的知識を理解する。 ・同様の方法により、社会福祉実習に求められる相談援助に関する知識・技術及び関連業務(他の専門職)及び連携についての基礎的知識を習得する。 ・社会福祉士倫理綱領等を活用して相談援助実習に求められる倫理的態度について理解する。 ・社会福祉実習に目標の設定、実習計画の作成を行うとともに、実習記録ノートの記録内容及び記録方法について理解する。
授業計画		<p>スクーリングとWBTによる学習の計4単位の科目です。</p> <p><スクーリング></p> <p>【第1ユニット】</p> <p>第1回 相談援助実習の目的 資料・文献を使用し講義及びグループワークにて行う</p> <p>第2回 相談援助実習の意義 資料・文献を使用し講義及びグループワークにて行う</p> <p>第3回 実践現場の理解 資料・文献を使用し講義及びグループワークにて行う</p> <p>【第2ユニット】</p> <p>第4回 施設見学実習（6～8月予定）施設見学実習を通して福祉現場への理解を深める</p> <p>【第3ユニット】</p> <p>第5回 実習目標設定（7～8月予定）個別スーパービジョン等により実習課題を整理し、目標を設定する</p> <p>【第4ユニット】</p> <p>第6回 実習記録の書き方 実習記録の内容・方法について講義及び練習を行う</p> <p>第7回 守秘義務の理解 個人のプライバシー保護及び守秘義務(秘密保持の原則)について講義を行う</p> <p>第8回 実習直前オリエンテーション 実習の手引き等を活用し、事前準備の最終確認を行う</p> <p><自宅学習></p>

	1. 相談援助実習と相談援助実習における個別指導及び集団指導の意義の理解 2. 実際に実習を行う実習分野(利用者理解を含む。)と施設・事業者・機関・団体・地域社会等に関する基本的な理解 3. 実習先で行われる介護や保育、生活支援等の関連業務に関する基本的な理解 4. 実際の介護サービスをはじめとする各種サービスの理解 5. 実習先で必要とされる相談援助に係る知識と技術に関する理解 6. 個人情報保護法を踏まえた実習における個人のプライバシーの保護と守秘義務の理解 7. 「実習記録ノート」への記録内容及び記録方法に関する理解 8. 実習生自身が自己の問題意識・課題等を把握し、実習担当教員、実習先の実習指導者との三者協議を踏まえた実習目標の設定と実習計画等の作成	
成績評価の方法	単位認定試験	
実践的教育を行う 授業科目の種別	a：実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目	
	担当教員の实務経験 (経歴・資格等)	(本多 勇先生 職歴) 社会福祉法人徳心会総合福祉施設いずみえん 介護事業部長 医療法人社団充会介護老人保健施設太郎 相談室長・支援相談員 (前廣 美保先生 職歴) 社会福祉法人京福会 特別養護老人ホームほのぼの園在宅介護支援センター ソーシャルワーカー 医療法人社団曙光会コンフォガーデンクリニック ソーシャルワーカー NPO 法人自然育児友の会事務局・子育てひろば担当スタッフ 調布市福祉健康部障害福祉課 障害福祉相談員
	授業内容との関連性	社会福祉法人にて臨床経験のある教員が、現場での実践経験から得た知見を基に、社会福祉士として活動するにあたり必要な事項を指導する。
	b：企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目	
	学外講師の経歴・資格等	
	授業内容	
	c：企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、研修を行う授業科目	
実習先・実習の目的		
備考		

科目名		社会福祉実習指導 2	
担当教員		大井 純・加藤 歩・齋藤 正・中條 桂子・西田 ちゆき・本多 勇・星野 弘美・前廣 美保・山田 真由美	
授業方法		講義	
科目の概要	到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・相談援助の専門職に求められる知識・技術・倫理等を実践に反映させようとする基本的姿勢が身についている。 ・自らの実践を評価(考察・分析)することで、課題や問題点・疑問点に気づき、その解決を図るための具体的かつ実践的方法を考えられる。 	
	テキストの概要	<ul style="list-style-type: none"> ・相談援助実習中に行う実習スーパービジョン及び実習記録ノートを活用した振り返りを通して自己評価を行うと共に、自己の課題や問題点や疑問点などについて整理し、これらの解決を図る。 	
授業計画		<p>スクーリングとWBTによる学習の計1単位の科目です。</p> <p><スクーリング></p> <p>【実習中毎週1回以上：第1～第4ユニット】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実習記録や実習体験を踏まえた課題の整理（1）実習体験の振り返りによる自己覚知 ・実習記録や実習体験を踏まえた課題の整理（2）実習における自己の課題や問題点・疑問点等の整理と解決のための具体的対応の検討 <p>*上記の内容を「授業の目的・ねらい」に照らしつつ、相談援助実習期間中に実施する実習スーパービジョン（個別指導もしくは集団指導）を通して行う。</p> <p><自宅学習></p> <p>実習記録や実習体験を踏まえた課題の整理</p>	
成績評価の方法		単位認定試験	
実践的教育を行う授業科目の種別		a：実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目	○
		担当教員の実務経験（経歴・資格等）	<p>（本多 勇先生 職歴）社会福祉法人徳心会総合福祉施設いずみえん 介護事業部長</p> <p>医療法人社団充会介護老人保健施設太郎 相談室長・支援相談員</p> <p>（前廣 美保先生 職歴）社会福祉法人京福会 特別養護老人ホームほのぼの園在宅介護支援センター ソーシャルワーカー</p> <p>医療法人社団曙光会コンフォガーデンクリニック ソーシャルワーカー</p> <p>NPO 法人自然育児友の会事務局・子育てひろば担当スタッフ</p> <p>調布市福祉健康部障害福祉課 障害福祉相談員”</p>
		授業内容との関連性	社会福祉法人にて臨床経験のある教員が、現場での実践経験から得た知見を基に、社会福祉士として活動するにあたり必要な事項を指導する。

2022 武蔵野大学 通信教育部 シラバス

	b: 企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目	
	学外講師の経歴・資格等	
	授業内容	
	c: 企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、研修を行う授業科目	
	実習先・実習の目的	
備考		

科目名		社会福祉実習指導 3	
担当教員		大井 純・加藤 歩・齋藤 正・中條 桂子・西田 ちゆき・本多 勇・星野 弘美・前廣 美保・山田 真由美	
授業方法		講義	
科目の概要	到達目標	・実習中の具体的体験や相談活動を、専門的援助技術として概念化・理論化し、体系立てていくことができる能力を身につける。	
	テキストの概要	・相談援助実習を振り返り、自己評価を行うと共に、実習中に発生した問題点や疑問点などについて整理し、課題解消を図る。	
授業計画		<p>スクーリングとWBTによる学習の計1単位の科目です。</p> <p><スクーリング></p> <p>【第1ユニット】</p> <p>第1回 実習スーパービジョン 実習内容について、実習生自身が自己評価を行い、さらに、実習施設の評価とあわせた達成度を評価する</p> <p>【第2ユニット】</p> <p>第2回 実習報告会（1） 実習の成果(評価)について報告し、全体総括を行う</p> <p>第3回 実習報告会（2） 実習の成果(評価)について報告し、全体総括を行う</p> <p>第4回 実習報告会（3） 実習の成果(評価)について報告し、全体総括を行う</p> <p><自宅学習></p> <p>1.「実習記録ノート」を活用した課題の整理</p> <p>2. 実習生自身の実習に対する自己評価及び実習施設の評価との突合せ</p> <p>3. 実習総括レポートの作成（実習報告書）</p>	
成績評価の方法		単位認定試験	
実践的教育を行う授業科目の種別		a：実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目	○
		担当教員の实務経験（経歴・資格等）	<p>（本多 勇先生 職歴）社会福祉法人徳心会総合福祉施設いずみえん 介護事業部長</p> <p>医療法人社団充会介護老人保健施設太郎 相談室長・支援相談員</p> <p>（前廣 美保先生 職歴）社会福祉法人京福会 特別養護老人ホームほのぼの園在宅介護支援センター ソーシャルワーカー</p> <p>医療法人社団曙光会コンフォガーデンクリニック ソーシャルワーカー</p> <p>NPO 法人自然育児友の会事務局・子育てひろば担当スタッフ</p> <p>調布市福祉健康部障害福祉課 障害福祉相談員”</p>
		授業内容との関連性	社会福祉法人にて臨床経験のある教員が、現場での実践経験から得た知見を基に、社会福祉士として活動するにあたり必要な事項を指導する。

2022 武蔵野大学 通信教育部 シラバス

	b：企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目	
	学外講師の経歴・資格等	
	授業内容	
	c：企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、研修を行う授業科目	
	実習先・実習の目的	
備考		

科目名		社会福祉実習	
担当教員		大井 純・加藤 歩・齋藤 正・中條 桂子・西田 ちゆき・本多 勇・星野 弘美・前廣 美保・山田 真由美	
授業方法		講義	
科目の概要	到達目標	・社会福祉士として求められる資質・技能・倫理、自己に求められる課題把握等、総合的に対応できる能力を習得する。	
	テキストの概要	・理論学習により習得した知識・技術を、180時間（23日間）の実習を通して身につける。実習期間に合わせ、実習先担当者と連携し巡回訪問等の個別指導を受ける。	
授業計画		<p>スクーリングによる学習の計4単位の科目です。 <スクーリング></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 利用者やその関係者、施設・事業者・機関・団体等の職員、地域住民やボランティア等との基本的コミュニケーションや人との付き合い方などの円滑な人間関係の形成 2. 利用者理解とその需要の把握及び支援計画の作成 3. 利用者やその関係者(家族・親族・友人等)との援助関係の形成 4. 利用者やその関係者(家族・親族・友人等)への権利擁護及び支援(エンパワメントを含む。)とその評価 5. 多職種連携をはじめとする支援におけるチームアプローチの実際 6. 社会福祉士としての職業倫理、施設・事業者・機関・団体等の職員の就業などに関する規定への理解と組織の一員としての役割と責任への理解 7. 施設・事業者・機関・団体等の経営やサービスの管理運営の実際 8. 当該実習先が地域社会の中の施設・事業者・機関・団体等であることへの理解と具体的な地域社会への働きかけとしてのアウトリーチ、ネットワーク、社会資源の活用・調整・開発に関する理解 	
成績評価の方法		単位認定試験	
実践的教育を行う授業科目の種別		a: 実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目	○
		担当教員の実務経験 (経歴・資格等)	(本多 勇先生 職歴) 社会福祉法人徳心会総合福祉施設いずみえん 介護事業部長 医療法人社団充会介護老人保健施設太郎 相談室長・支援相談員 (前廣 美保先生 職歴) 社会福祉法人京福会 特別養護老人ホームほのぼの園在宅介護支援センター ソーシャルワーカー 医療法人社団曙光会コンフォガーデンクリニック ソーシャルワーカー NPO 法人自然育児友の会事務局・子育てひろば担当スタッフ 調布市福祉健康部障害福祉課 障害福祉相談員”

2022 武蔵野大学 通信教育部 シラバス

	授業内容との関連性	社会福祉法人にて臨床経験のある教員が、現場での実践経験から得た知見を基に、社会福祉士として活動するにあたり必要な事項を指導する。
	b：企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目	
	学外講師の経歴・資格等	
	授業内容	
	c：企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、研修を行う授業科目	
	実習先・実習の目的	
備考		

科目名		医学一般	
担当教員		菊地 ひとみ	
授業方法		講義	
科目の概要	到達目標	本科目では、何らかの理由により日常生活で援助を必要とする人を多職種と連携して支援するために、人の成長と発達、心身の構造と機能、主な疾病や障害の概要、リハビリテーションや国際生活機能分類（ICF）、健康の概念など、社会福祉士として必要な医学知識を身につけることを目的とします。	
	テキストの概要	この科目で使用する『新・社会福祉士養成講座〈1〉人体の構造と機能及び疾病—医学一般』（中央法規出版）は、人体の解剖・生理学に関する基本的な知識や、社会福祉士として関わることの多い疾患や障害について、分かりやすくまとめられたテキストです。また、平成21年度より導入された新カリキュラムにも対応しています。	
授業計画		<p>WB Tで出題される所定の回数のエクササイズに合格の後、WB T上で行われる単位認定試験に合格することで2単位を認定します。</p> <p><自宅学習></p> <p>第1章 人の成長・発達と老化</p> <p>第2章 身体構造と心身の機能</p> <p>第3章 疾病の概要</p> <p>第4章 障害の概要</p> <p>（視覚障害、聴覚障害、平衡機能障害、肢体不自由、内部障害、知的障害、発達障害、認知症、高次機能障害、精神障害）</p> <p>第5章 リハビリテーションの概要</p> <p>（リハビリテーションの概念や対象、リハビリテーションの諸段階、リハビリテーションに関わる職業など）</p> <p>第6章 国際生活機能分類（ICF）の基本的考え方と概要</p> <p>第7章 健康のとらえ方</p> <p>（健康の概念、プライマリヘルスケア、日本の人口統計、国民健康づくり対策、感染症対策、産業保健など）</p>	
成績評価の方法		単位認定試験	
実践的教育を行う授業科目の種別		a：実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目	
		○	
		担当教員の実務経験 (経歴・資格等)	(菊地 ひとみ先生 職歴) 国立がんセンター中央病院 脳外科・整形外科病棟、計画治療病棟看護師長 独立行政法人国立病院横浜医療センター 副看護部長
		授業内容との関連性	病院にて臨床経験のある教員が、現場での実践経験から得た知見を基に、社会福祉士として活動するにあたり必要な事項を指導する。
		b：企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目	

2022 武蔵野大学 通信教育部 シラバス

	学外講師の経歴・資格等	
	授業内容	
	c：企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、 研修を行う授業科目	
	実習先・実習の目的	
備考		

科目名		医学概論（自己育成）	
担当教員		菊地 ひとみ	
授業方法		講義	
科目の概要	到達目標	<p>社会福祉専門職が対象とする支援対象者を保健医療の視点から理解し、対処するための基礎的知識を学ぶ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人のライフステージにおける心身の変化と健康課題について理解する。 ・健康と疾病、障害の捉え方について理解する。 ・人体の構造と機能を理解する。 ・疾病と障害の成り立ち及び回復過程について理解する。 ・公衆衛生の観点から、人々の健康に影響を及ぼす要因や健康問題を解決するための対策を理解する。 	
	テキストの概要	<p>この科目で使用する『最新 社会福祉士養成講座 精神保健福祉士養成講座 医学概論』（中央法規出版）は、新カリキュラムに対応した社会福祉士と精神保健福祉士養成の教科書シリーズとして刊行されました。</p> <p>人体の解剖・生理学に関する基本的な知識や、社会福祉士や精神保健福祉士として関わる支援対象者を理解するために必要な疾患や障害について、分かりやすくまとめられたテキストです。</p>	
授業計画		<p>WB Tで出題される所定の回数のエクササイズに合格の後、WB T上で行われる単位認定試験に合格することで2単位を認定します。</p> <p><自宅学習></p> <p>第1章 ライフステージにおける心身の変化と健康問題 第2章 健康および疾病の捉え方 第3章 身体構造と心身機能 第4章 疾病と障害の成り立ちおよび回復過程 第5章 リハビリテーションの概要と範囲 第6章 疾病と障害およびその予防・治療・予後・リハビリテーション 第7章 公衆衛生</p>	
成績評価の方法		単位認定試験	
実践的教育を行う授業科目の種別		a：実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目	
		担当教員の実務経験 (経歴・資格等)	
		授業内容との関連性	
		b：企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目	

2022 武蔵野大学 通信教育部 シラバス

	学外講師の経歴・資格等	
	授業内容	
	c：企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、 研修を行う授業科目	
	実習先・実習の目的	
備考		

科目名		社会福祉
担当教員		本多 勇
授業方法		講義
科目の概要	到達目標	この科目では、現代社会における社会福祉の理念・理論・歴史・思想・政策・制度について学習する。社会福祉の基本構造をとらえながら、全般的な理解を深めていく。国家試験の対応と実践分野の応用にその目標を置く。
	テキストの概要	社会福祉を学ぶためのいわば原論・概論的な内容が含まれている。その内容は多岐にわたっている。社会福祉を学ぶための基礎的な知識、ソーシャルワーカーとして必要な基礎的な知識が盛り込まれている。 各章のタイトルを概観すれば、①社会福祉を学ぶ視点と枠組み、②社会の変化と福祉、③福祉と福祉政策、④福祉の思想と哲学、⑤社会政策と福祉政策、⑥福祉政策の発展過程（歴史）、⑦少子高齢化時代の福祉政策、⑧福祉政策における必要と資源、⑨福祉政策の理念・主体・手法、⑩福祉政策の関連領域、⑪社会福祉制度の体系、⑫福祉サービスの提供、⑬福祉サービスと援助活動、⑭福祉政策の国際比較、⑮福祉政策の課題と展望、から構成されている。
授業計画		<p>WB Tで出題される所定の回数のエクササイズに合格の後、WB T上で行われる単位認定試験に合格することで4単位を認定します。</p> <p><自宅学習></p> <p>序章 視点と枠組み</p> <p>第1章 社会の変化と福祉</p> <p>第2章 福祉と福祉政策</p> <p>第3章 福祉の思想と哲学</p> <p>第4章 社会政策と福祉政策</p> <p>第5章 福祉政策の発展過程</p> <p>第6章 少子高齢化時代の福祉政策</p> <p>第7章 福祉政策における必要と資源</p> <p>第8章 福祉政策の理念・主体・手法</p> <p>第9章 福祉政策の関連領域</p> <p>第10章 社会福祉制度の体系</p> <p>第11章 福祉サービスの提供</p> <p>第12章 福祉サービス援助活動</p> <p>第13章 福祉政策の国際比較</p> <p>第14章 福祉政策の課題と展望</p>
成績評価の方法		単位認定試験
		a：実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目 ○

2022 武蔵野大学 通信教育部 シラバス

実践的教育を行う 授業科目の種別	担当教員の実務経験 (経歴・資格等)	(本多 勇先生 職歴) 社会福祉法人徳心会総合福祉施設いずみえん 介護事業部長 医療法人社団充会介護老人保健施設太郎 相談室長・支援相談員	
	授業内容との関連性	社会福祉法人にて臨床経験のある教員が、現場での実践経験から得た知見を基に、社会福祉士として活動するにあたり必要な事項を指導する。	
	b: 企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目		
	学外講師の経歴・資格等		
	授業内容		
	c: 企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、研修を行う授業科目		
	実習先・実習の目的		
備考			

科目名	社会福祉の原理と政策（自己育成）	
担当教員	本多 勇	
授業方法	講義	
科目の概要	到達目標	<p>本科目の「達成課題（到達目標）」は、次の通り設定します。</p> <p>①社会福祉の原理をめぐる思想・哲学と理論を理解する。</p> <p>②社会福祉の歴史的展開の過程と社会福祉の理論を踏まえ、欧米との比較によって日本の社会福祉の特性を理解する。</p> <p>③社会問題と社会構造の関係の視点から、現代の社会問題について理解する。</p> <p>④福祉政策を捉える基本的な視点として、概念や理念を理解するとともに、人々の生活上のニーズと福祉政策の過程を結びつけて理解する。</p> <p>⑤福祉政策の動向と課題を踏まえた上で、関連施策や包括的支援について理解する。</p> <p>⑥福祉サービスの供給と利用の過程について理解する。</p> <p>⑦福祉政策の国際比較の視点から、日本の福祉政策の特性について理解する。</p> <p>到達目標は、ソーシャルワーカー（社会福祉士）として必要な社会福祉学の基本的な視座を持ち、社会構造およびそこから生じる社会問題についての知識として修得することです。</p>
	テキストの概要	<p>社会福祉を学ぶためのいわば原論・概論的な内容が含まれています。その内容は多岐にわたっています。社会福祉を学ぶための基礎的な知識、ソーシャルワーカーとして必要な基礎的な知識が盛り込まれています。</p>
授業計画	<p>WB Tで出題される所定の回数のエクササイズに合格の後、WB T上で行われる単位認定試験に合格することで4単位を認定します。</p> <p><自宅学習></p> <p>序章 社会福祉の原理 ―その意味と展開―</p> <p>第1章 社会福祉の歴史</p> <p>(1) 社会福祉の歴史を学ぶ支店</p> <p>(2) 欧米の社会福祉の歴史的展開</p> <p>(3) 日本の社会福祉の歴史的展開</p> <p>第2章 社会福祉の思想・哲学・理論</p> <p>(1) 社会福祉の思想・哲学</p> <p>(2) 社会福祉の理論</p> <p>(3) 社会福祉の論点</p> <p>(4) 社会福祉の対象とニーズ</p> <p>第3章 社会問題と社会構造</p> <p>(1) 現代における社会問題</p> <p>(2) 社会問題の構造的背景</p> <p>第4章 福祉政策の基本的な視点</p>	

	<p>(1) 福祉政策とは何か</p> <p>(2) 福祉政策において重要な概念・理念</p> <p>第5章 福祉政策におけるニーズと資源</p> <p>(1) ニーズ (必要)</p> <p>(2) 資源 (リソース)</p> <p>第6章 福祉政策の構成要素と過程</p> <p>(1) 福祉政策の構成要素</p> <p>(2) 福祉政策の過程と評価</p> <p>第7章 福祉政策の動向と過程</p> <p>(1) 福祉政策と包括的支援の現状</p> <p>(2) 福祉政策と包括的支援の課題</p> <p>第8章 福祉政策と関連施策</p> <p>(1) 保健医療政策</p> <p>(2) 教育政策</p> <p>(3) 住宅政策</p> <p>(4) 労働政策</p> <p>(5) 災害政策</p> <p>第9章 福祉サービスの供給と利用の過程</p> <p>(1) 福祉供給部門</p> <p>(2) 福祉供給過程</p> <p>第10章 福祉政策の国際比較</p> <p>(1) 国際比較の視点と方法</p> <p>(2) 福祉政策の動向：欧米</p> <p>(3) 福祉政策の動向：東アジア</p> <p>(4) 福祉政策の新しい潮流と国際比較の新しい課題</p> <p>終章 これからの社会福祉 一出発点・到達点・展望一</p>	
成績評価の方法	単位認定試験	
実践的教育を行う 授業科目の種別	a：実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目	
	担当教員の実務経験 (経歴・資格等)	
	授業内容との関連性	
	b：企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目	
	学外講師の経歴・資格等	
	授業内容	
	c：企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、研修を行う授業科目	

2022 武蔵野大学 通信教育部 シラバス

	実習先・実習の目的	
備考		

科目名		社会調査	
担当教員		渡辺 成彦	
授業方法		講義	
科目の概要	到達目標	社会調査の基礎は、社会福祉実践において、政策・施策と制度運用の基準を量的調査結果から得られる統計数値から読み解く側面と日常生活のケア実践から把握される個別ケース中心の社会福祉ニーズ記録という質的調査の側面の両輪をつなぐ軸の形成を理解することが目標となります	
	テキストの概要	このテキストは、7章立て、6章までの節、項と第7章の項で構成されています。戦後の日本国憲法の制定・発布による民主主義国家として再出発した現代日本社会が市民社会として再出発するにあたり、様々な民主主義法制度の制定・施行を推進してきました。焼け野が原からの再出発として国民の生活を担保する社会保障制度の策定がなされました。	
授業計画		<p>WB Tで出題される所定の回数のエクササイズに合格の後、WB T上で行われる単位認定試験に合格することで2単位を認定します。</p> <p><自宅学習></p> <p>はじめに 社会調査の基礎が独立科目として採用された意義の認識</p> <p>第1章 社会福祉と社会調査</p> <p>第2章 社会調査の概要</p> <p>第3章 量的調査の方法</p> <p>第4章 質的調査の方法</p> <p>第5章 社会調査における倫理と個人情報保護</p> <p>第6章 社会調査の実施にあたっての IT の活用法</p> <p>第7章 社会科学としての社会福祉</p>	
成績評価の方法		単位認定試験	
実践的教育を行う授業科目の種別	a：実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目		
	担当教員の実務経験（経歴・資格等）		
	授業内容との関連性		
	b：企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目		
	学外講師の経歴・資格等		
	授業内容		
	c：企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、研修を行う授業科目		
実習先・実習の目的			

備考

科目名	社会福祉調査の基礎（自己育成）
担当教員	牧野 修也
授業方法	講義
科目の概要	<p>1. はじめにの地域特性、マクロ、メゾレベルの実践基礎としての量的調査と複数の利害関係者が絡む複雑な事例に対応する質的な調査の手法を理解し、社会調査を福祉実践現場で活用し、福祉活動からの地域共生社会の実現に向かうソーシャルワーク活動に資するプロセスを社会調査の企画立案=調査テーマの設定～調査対象者の選定サンプリング～調査項目、調査票作成～予備調査実施～調査票内容修正～実査(調査実施方法の選定～調査協力依頼状作成送付, 直接渡し, 伝言等)～調査票の回収～有効票確定～データ点検～入力～分析/検定(信頼度)～報告書作成のプロセスを福祉専門職の活動関心から学習理解し、ソーシャルワークにおける評価の内容から社会調査全般への理解をしてもらいます。</p> <p>専門職の活動する地域社会(含, 施設)でふれあう直接の要支援者との職務上の役割を遂行するためには、CSW, PSW 自身が専門職で在ると同時に被支援者と同じ日常生活者としての共同生活を職務を介して過ごすという認識を持つことの大切さを学ぶことが求められていると捉えて下さい。</p> <p>テキスト学習を進めるにあたって、テキストにマークをして、そこを覚えるという学習方法ではなく、テキストを読みながら、内容を、自分自身の言葉に置き換えて、記述することをお勧めします。読む・考えまとめる・記述するという作業が、記憶の定着を図るだけでなく、理解が曖昧なところを浮き彫りします。うまくまとめられないということは、どこかに「理解しきれていない」箇所があることとなります。「理解する」とは覚えることではなく、自分の言葉で説明し、現実の生活の事例に適応させることができることを意味します。そして、それは記述することで明瞭になります。</p> <p>1つの手がかりとして、テキストの巻末にあるキーワードを説明するだけでなく、それぞれの用語の関連性を図示することができることも目指して下さい。</p>
	テキストの概要

	<p>④情報の公開と個人情報の関係</p> <p>⑤社会調査協会が提示する社会調査の倫理規定</p> <p>4. 3章は「社会福祉調査のデザイン」となります。ここでのポイントは、次の通りになります。</p> <p>①社会調査の目的と方法の関係。目的の設定と調査方法の関係</p> <p>②調査の目的と分析単位の設定</p> <p>③全数調査(悉皆調査)と標本調査の関係、および、標本抽出の方法</p> <p>④量的データと質的データの違い</p> <p>⑤1次分析と2次分析の違い</p> <p>5. 4章は「量的調査の方法」となります。ここでのポイントは、次の通りになります。</p> <p>①量的調査の認識論。演繹的思考とは何かを押さえることが重要です。</p> <p>②量的調査の方法。母集団・標本・標本誤差・非標本誤差・横断調査・縦断調査という用語を押さえてください</p> <p>③調査票の作成。調査票作成で行ってはいけないことを押さえてください。</p> <p>④③とも関連しますが、ワーディングについて押さえてください</p> <p>⑤回答の仕方と尺度の関係を押さえてください。</p> <p>⑥調査票の配票方法とそれぞれの方法の長所短所を押さえてください。</p> <p>⑦集計方法と分析方法についてまとめる。単純集計・クロス集計</p> <p>⑧分析手法と検定</p> <p>⑨統計用語の意味の確認</p> <p>6. 5章は「質的調査の概要と方法」となります。ここでのポイントは、次の通りになります。</p> <p>①質的調査の認識論。帰納的思考とは何かを押さえることが重要です。</p> <p>②質的調査の方法。それぞれの方法の特徴と限界。</p> <p>③量的調査と質的調査の方法的連携のあり方。</p> <p>④観察の方法</p> <p>⑤インタビューの方法。インタビューと面接の差異を意識してください。</p> <p>⑥エスノグラフィーの方法と多様性。</p> <p>⑦記録の取り方</p> <p>⑧質的調査の分析方法。ナラティブアプローチ・グランデッドセオリーアプローチ。</p> <p>7. 7章は「ソーシャルワークにおける評価の意義」です。この点は、「社会調査の基礎」では、あまり取り上げられなかった領域です。ここでのポイントは、次の通りになります。</p> <p>①ミクロ・メゾ・マクロレベルの実践評価の意義</p> <p>②実践のあり方の分類</p> <p>③評価の方法</p>
<p>授業計画</p>	<p>WB Tで出題される所定の回数のエクササイズに合格の後、WB T上で行われる単位認定試験に合格することで2単位を認定します。</p> <p><自宅学習></p>

	1. 社会福祉と社会調査 2. 社会調査の基本的認識 3. 認識としての社会調査 4. 社会調査の概要 5. 既存統計資料の利用と社会調査の倫理 6. 量的調査 7. 標本抽出 (サンプリング) 8. 調査票 (質問紙) 9. 欠損値 10. 文献のリサーチ 11. 質的調査 12. 厚い記述 13. ドキュメント分析 14. フィールドノート 15. ドキュメント分析 17. KJ法とグラウンデッド・セオリー	
成績評価の方法	単位認定試験	
実践的教育を行う 授業科目の種別	a: 実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目	
	担当教員の实務経験 (経歴・資格等)	
	授業内容との関連性	
	b: 企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目	
	学外講師の経歴・資格等	
	授業内容	
	c: 企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、 研修を行う授業科目	
	実習先・実習の目的	
備考		

科目名		ソーシャルワーク	
担当教員		本多 勇・前廣 美保	
授業方法		講義	
科目の概要	到達目標	この科目は、社会福祉士の業務である相談援助の基礎を学ぶいわば入門的な要素を含む科目である。社会福祉士の役割、社会福祉の目的や概念、相談援助の理念などの基礎的な知識を幅広く身につけることを目的とする。	
	テキストの概要	このテキストは、第1章 社会福祉士・精神保健福祉士の役割と意義、第2章 相談援助の理念と範囲、第3章 ソーシャルワークの歴史、第4章 相談援助の理念、第5章 相談援助の位置づけと構造、第6章 相談援助における権利擁護、第7章 相談援助専門職の概念と範囲、第8章 相談援助専門職の倫理、第9章 ホリスティック（包括的）な援助活動、第10章 医療における相談援助、第11章 精神保健福祉における相談援助、第12章 教育における相談援助、第13章 司法における相談援助、第14章 臨床的なソーシャルワーカーになること、と全14章から構成されています。	
授業計画		<p>WB Tで出題される所定の回数のエクササイズに合格の後、WB T上で行われる単位認定試験に合格することで4単位を認定します。</p> <p><自宅学習></p> <p>序章 相談援助と臨床</p> <p>第1章 社会福祉士・精神保健福祉士の役割と意義</p> <p>第2章 相談援助の概念と範囲</p> <p>第3章 ソーシャルワークの歴史</p> <p>第4章 相談援助の理念</p> <p>第5章 相談援助の位置づけと構造</p> <p>第6章 相談援助における権利擁護</p> <p>第7章 相談援助専門職の概念と範囲</p> <p>第8章 相談援助専門職の倫理</p> <p>第9章 ホリスティック（包括的）な援助活動</p> <p>第10章 医療における相談援助</p> <p>第11章 精神保健福祉における相談援助</p> <p>第12章 教育における相談援助</p> <p>第13章 司法福祉における相談援助</p>	
成績評価の方法		単位認定試験	
実践的教育を行う授業科目の種別		a：実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目	○
		担当教員の実務経験 （経歴・資格等）	（前廣 美保先生 職歴）社会福祉法人京福会 特別養護老人ホームほのぼの園在宅介護支援センター ソーシャルワーカー 医療法人社団曙光会コンフォガーデンクリニック ソーシャルワーカー NPO 法人自然育児友の会事務局・子育てひろば担当スタッフ

2022 武蔵野大学 通信教育部 シラバス

		調布市福祉健康部障害福祉課 障害福祉相談員
	授業内容との関連性	社会福祉法人にて臨床経験のある教員が、現場での実践経験から得た知見を基に、社会福祉士として活動するにあたり必要な事項を指導する。
	b：企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目	
	学外講師の経歴・資格等	
	授業内容	
	c：企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、研修を行う授業科目	
	実習先・実習の目的	
備考		

科目名		ソーシャルワークの基盤と専門職 1 (自己育成)	
担当教員		前廣 美保	
授業方法		講義	
科目の概要	到達目標	<p>本科目の「達成課題（到達目標）」は、次の通り設定します。</p> <p>①社会福祉士（ソーシャルワーカー）の職域と求められる役割について理解する。</p> <p>②ソーシャルワークに係る専門職の概念と範囲について理解する。</p> <p>③ミクロ・メゾ・マクロレベルにおけるソーシャルワークの対象と関連性について理解する。</p> <p>④総合的かつ包括的な支援と多職種連携の意義と内容について理解する。</p>	
	テキストの概要	<p>本科目「ソーシャルワークの基盤と専門職 1」のテキストは、「ソーシャルワークの基盤と専門職 2」のテキストと共通です。〔社会福祉士・精神保健福祉士共通科目、社会福祉士専門科目〕の『ソーシャルワークの基盤と専門職』です（※テキストにある〔共通〕は、通信教育部の「共通科目」とは異なりますのでご注意ください）。</p> <p>ソーシャルワーク初学者が身に着けておく必要がある基本的な知識や考え方を学びます。日本のソーシャルワーカーの国家資格の位置づけ、ソーシャルワークの概念、基盤となる考え方を理解したうえで、歴史的な形成過程、倫理を確実に自分のものにして、より専門的な学びへ進む準備をしましょう。</p>	
授業計画		<p>WB Tで出題される所定の回数のエクササイズに合格の後、WB T上で行われる単位認定試験に合格することで2単位を認定します。</p> <p><自宅学習></p> <p>第1章 ソーシャルワーク専門職である社会福祉士および精神保健福祉士の法的な位置づけ</p> <p>第2章 ソーシャルワークの概念</p> <p>第3章 ソーシャルワークの基盤となる考え方</p> <p>第4章 ソーシャルワークの形成過程</p> <p>第5章 ソーシャルワークの倫理</p>	
成績評価の方法		単位認定試験	
実践的教育を行う授業科目の種別		a : 実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目	○
		<p>担当教員の実務経験（経歴・資格等）</p> <p>（本多 勇先生 職歴）社会福祉法人徳心会総合福祉施設いずみえん 介護事業部長</p> <p>医療法人社団充会介護老人保健施設太郎 相談室長・支援相談員</p> <p>（前廣 美保先生 職歴）社会福祉法人京福会 特別養護老人ホームほのぼの園在宅介護支援センター ソーシャルワーカー</p> <p>医療法人社団曙光会コンフォガーデンクリニック ソーシャルワーカー</p>	

2022 武蔵野大学 通信教育部 シラバス

	NPO 法人自然育児友の会事務局・子育てひろば担当スタッフ 調布市福祉健康部障害福祉課 障害福祉相談員
授業内容との関連性	社会福祉法人にて臨床経験のある教員が、現場での実践経験から得た知見を基に、社会福祉士として活動するにあたり必要な事項を指導する。
b：企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目	
学外講師の経歴・資格等	
授業内容	
c：企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、研修を行う授業科目	
実習先・実習の目的	
備考	

科目名		ソーシャルワークの基盤と専門職2（自己育成）
担当教員		本多 勇
授業方法		講義
科目の概要	到達目標	<p>本科目の「達成課題（到達目標）」は、次の通り設定します。</p> <p>①社会福祉士（ソーシャルワーカー）の職域と求められる役割について理解する。</p> <p>②ソーシャルワークに係る専門職の概念と範囲について理解する。</p> <p>③ミクロ・メゾ・マクロレベルにおけるソーシャルワークの対象と関連性について理解する。</p> <p>④総合的かつ包括的な支援と多職種連携の意義と内容について理解する。</p>
	テキストの概要	<p>本科目「ソーシャルワークの基盤と専門職2」のテキストは、「ソーシャルワークの基盤と専門職1」のテキストと共通です。〔社会福祉士・精神保健福祉士共通科目、社会福祉士専門科目〕の『ソーシャルワークの基盤と専門職』です（※テキストにある〔共通〕は、通信教育部の「共通科目」とは異なりますのでご注意ください）。おもに社会福祉士を中心としたソーシャルワーク専門職の概念・範囲・職域、諸外国の動向、ミクロ・メゾ・マクロレベルにおけるソーシャルワーク、ジェネラリストソーシャルワークの視点等について学んでいきます。</p>
授業計画		<p>WB Tで出題される所定の回数のエクササイズに合格の後、WB T上で行われる単位認定試験に合格することで2単位を認定します。</p> <p><自宅学習></p> <p>第6章 ソーシャルワークにかかる専門職の概念と範囲</p> <p>（1）ソーシャルワーク専門職の概念と範囲</p> <p>（2）社会福祉士の職域と役割</p> <p>（3）多様な組織・機関・団体における専門職</p> <p>（4）諸外国の動向</p> <p>第7章 ミクロ・メゾ・マクロレベルにおけるソーシャルワーク</p> <p>（1）ミクロ・メゾ・マクロレベルにおけるソーシャルワークの対象</p> <p>（2）ミクロ・メゾ・マクロレベルにおけるソーシャルワークの展開</p> <p>第8章 総合的かつ包括的な支援と多職種連携の意義と内容</p> <p>（1）総合的かつ包括的な支援におけるジェネラリストの視点</p> <p>（2）ジェネラリストの視点に基づく総合的かつ包括的な支援の意義と内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多機関・多職種連携 ・ソーシャルサポートネットワーク <p>（3）多職種連携およびチームアプローチの意義と内容</p>
成績評価の方法		単位認定試験
		a：実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目 ○

2022 武蔵野大学 通信教育部 シラバス

実践的教育を行う 授業科目の種別	担当教員の実務経験 (経歴・資格等)	(本多 勇先生 職歴) 社会福祉法人徳心会総合福祉施設いずみえん 介護事業部長 医療法人社団充会介護老人保健施設太郎 相談室長・支援相談員	
	授業内容との関連性	社会福祉法人にて臨床経験のある教員が、現場での実践経験から得た知見を基に、社会福祉士として活動するにあたり必要な事項を指導する。	
	b: 企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目		
	学外講師の経歴・資格等		
	授業内容		
	c: 企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、研修を行う授業科目		
	実習先・実習の目的		
備考			

科目名		社会福祉援助技術 1	
担当教員		本多 勇	
授業方法		講義	
科目の概要	到達目標	ソーシャルワーカー（社会福祉士）の相談援助は、社会福祉サービス利用者（クライアント）の相談に応じ、助言、指導、連絡、調整、その他の援助を行うこととされています。この科目では、ソーシャルワーカーの行う業務内容つまり相談援助についての理論およびその具体的な方法について学びます。到達目標は、社会福祉士として必要な相談援助の理論と方法を知識として修得することとなります。	
	テキストの概要	このテキスト『相談援助の理論と方法Ⅰ』では、まず相談援助とは何か、その構造と機能、特にソーシャルワーク援助では重要な人と環境の相互作用について学びます。その上で、ソーシャルワーク援助のプロセスについて丁寧に学びます。後半は、アウトリーチ、契約、アセスメント、モニタリング、そして面接や記録、交渉についての技術を学んでいきます。	
授業計画		<p>WB Tで出題される所定の回数のエクササイズに合格の後、WB T上で行われる単位認定試験に合格することで4単位を認定します。</p> <p><自宅学習></p> <p>第1章 相談援助とは</p> <p>第2章 相談援助の機能と構造</p> <p>第3章 人と環境の相互作用</p> <p>第4章 相談援助における援助関係</p> <p>第5章 相談援助の展開過程Ⅰ</p> <p>第6章 相談援助の展開過程Ⅱ</p> <p>第7章 相談援助のためのアウトリーチの技術</p> <p>第8章 相談援助のための契約の技術</p> <p>第9章 相談援助のためのアセスメントの技術</p> <p>第10章 相談援助のための介入の技術</p> <p>第11章 相談援助のための経過観察（モニタリング）、再アセスメント、効果測定、評価の技術</p> <p>第12章 相談援助のための面接の技術</p> <p>第13章 相談援助のための記録の技術</p> <p>第14章 相談援助のための交渉の技術</p>	
成績評価の方法		単位認定試験	
実践的教育を行う授業科目の種別		a：実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目	○
		担当教員の実務経験 （経歴・資格等）	（本多 勇先生 職歴）社会福祉法人徳心会総合福祉施設いずみえん 介護事業部長 医療法人社団充会介護老人保健施設太郎 相談室長・支援相談員

2022 武蔵野大学 通信教育部 シラバス

	授業内容との関連性	社会福祉法人にて臨床経験のある教員が、現場での実践経験から得た知見を基に、社会福祉士として活動するにあたり必要な事項を指導する。	
	b：企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目		
	学外講師の経歴・資格等		
	授業内容		
	c：企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、研修を行う授業科目		
	実習先・実習の目的		
備考			

科目名		ソーシャルワークの理論と方法1（自己育成）
担当教員		本多 勇
授業方法		講義
科目の概要	到達目標	<p>本科目の「達成課題（到達目標）」は、次の通り設定します。</p> <p>①人と環境との相互作用に関する理論とマイクロ・メゾ・マクロレベルにおけるソーシャルワークについて理解する。</p> <p>②ソーシャルワークの様々な実践モデルとアプローチについて理解する。</p> <p>③ソーシャルワークの過程とそれに係る知識と技術について理解する。</p> <p>④コミュニティワークの概念とその展開について理解する。</p> <p>⑤ソーシャルワークにおけるスーパービジョンについて理解する。</p>
	テキストの概要	<p>本科目「ソーシャルワークの理論と方法1」のテキストは、[社会福祉士・精神保健福祉士共通科目]の『ソーシャルワークの理論と方法』です（※テキストにある[共通科目]は、通信教育部の「共通科目」とは異なりますのでご注意ください）。</p> <p>「人と環境の相互作用」、ソーシャルワーク支援の一連のプロセス（過程）、実践モデルとアプローチ、ソーシャルワーク面接、記録、ケアマネジメント、グループワークおよびコミュニティワーク、社会福祉運営（ソーシャルアドミニストレーション）、ソーシャルアクション、スーパービジョン、などソーシャルワーク実践の技術にかんする基本的な知識を概観していきます。</p>
授業計画		<p>WB Tで出題される所定の回数のエクササイズに合格の後、WB T上で行われる単位認定試験に合格することで4単位を認定します。</p> <p><自宅学習></p> <p>第1章 人と環境の相互作用に関する理論とソーシャルワーク</p> <p>(1) ソーシャルワーカーが学ぶ理論</p> <p>(2) システム理論</p> <p>(3) 生態学理論</p> <p>(4) バイオ・サイコ・ソーシャルモデル</p> <p>(5) ミクロ・メゾ・マクロレベルにおけるソーシャルワーク</p> <p>(6) ソーシャルワークの目標と展開過程</p> <p>第2章 ソーシャルワークの過程①：ケースの発見とエンゲージメント（インテーク）</p> <p>(1) ケースの発見</p> <p>(2) エンゲージメント（インテーク）</p> <p>第3章 ソーシャルワークの過程②：アセスメント</p> <p>(1) アセスメントの意義と目的</p> <p>(2) アセスメントの方法</p> <p>(3) アセスメントの留意点</p> <p>第4章 ソーシャルワークの過程③：プランニング</p>

- (1) プランニングの意義と目的
- (2) プランニングのプロセスと方法
- (3) プランニングにおける留意点

第5章 ソーシャルワークの過程③：支援の実施とモニタリング

- (1) 支援の実施
- (2) モニタリング
- (3) 効果測定

第6章 ソーシャルワークの過程④：支援の終結と結果評価、アフターケア

- (1) 支援の終結
- (2) 支援の結果評価

第7章 ソーシャルワークの実践モデルとアプローチ

- (1) ソーシャルワークの実践モデルとアプローチの考え方
- (2) ソーシャルワークのさまざまな実践モデルとアプローチ

- ・治療モデル
- ・ストレングスモデル
- ・生活モデル
- ・心理社会的アプローチ
- ・機能的アプローチ
- ・問題解決アプローチ
- ・課題中心アプローチ
- ・行動変容アプローチ
- ・認知アプローチ
- ・危機介入アプローチ
- ・エンパワメントアプローチ
- ・ナラティブアプローチ
- ・解決志向アプローチ
- ・さまざまなアプローチ

第8章 ソーシャルワークの面接

- (1) 面接の意義と目的
- (2) 面接の方法と実際

第9章 ソーシャルワークの記録

- (1) 記録の意義と目的
- (2) 記録の内容
- (3) 記録のフォーマット

第10章 ケアマネジメント（ケースマネジメント）

- (1) ケアマネジメント（ケースマネジメント）の原則
- (2) ケアマネジメント（ケースマネジメント）の意義と方法

第11章 グループを活用した支援

- (1) グループワークの意義と目的
- (2) グループワークの展開過程
- (3) グループワークとセルフヘルプグループ

	<p>第12章 コミュニティワーク</p> <p>(1) コミュニティワークの意義と目的</p> <p>(2) コミュニティワークの展開</p> <p>(3) コミュニティワークの理論的系譜とモデル</p> <p>第13章 ソーシャルアドミニストレーション</p> <p>(1) ソーシャルアドミニストレーションの概念とその意義</p> <p>(2) 組織介入・組織改善の実践モデル</p> <p>(3) 組織運営における財源の確保</p> <p>第14章 ソーシャルアクション</p> <p>(1) ソーシャルアクションの概念とその意義</p> <p>(2) コミュニティ・オーガナイズング</p> <p>第15章 スーパービジョンとコンサルテーション</p> <p>(1) スーパービジョンの意義、目的、方法</p> <p>(2) コンサルテーションの意義、目的、方法</p>	
成績評価の方法	単位認定試験	
実践的教育を行う 授業科目の種別	a：実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目	
	担当教員の 実務経験 (経歴・資格等)	(本多 勇先生 職歴) 社会福祉法人徳心会総合福祉施設いずみえん 介護事業部長 医療法人社団充会介護老人保健施設太郎 相談室長・支援相談員
	授業内容との 関連性	社会福祉法人にて臨床経験のある教員が、現場での実践経験から得た知見を基に、社会福祉士として活動するにあたり必要な事項を指導する。
	b：企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目	
	学外講師の 経歴・資格等	
	授業内容	
	c：企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、研修を行う授業科目	
実習先・実習の 目的		
備考		

科目名		社会福祉援助技術 2	
担当教員		前廣 美保	
授業方法		講義	
科目の概要	到達目標	<p>ソーシャルワーカー（社会福祉士）による相談援助は、社会福祉サービス利用者（クライアント）の相談に応じ、助言、指導、連絡、調整、その他の援助を行うこととされています。この科目では、ソーシャルワーカーの行う仕事の一つである相談援助についての理論およびその具体的な方法について学びます。到達目標は、社会福祉士として必要な相談援助の理論と方法を知識として修得することとなります。この科目内容はボリュームが多いため、「相談援助の理論と方法 1」での学習とあわせてすすめます。</p>	
	テキストの概要	<p>このテキスト『相談援助の理論と方法Ⅱ』では、『相談援助の理論と方法Ⅰ』に続き、まず相談援助の対象つまりクライアントについての理解を深めます。そして、ケアマネジメントやグループを活用した援助、コーディネーションとネットワークング、社会資源の活用・調整・開発を学びます。また、様々な実践モデルやアプローチについて学びます。これらは、単なる暗記では理解が深まりませんが、現場の実践と結びつけて考えるとわかりやすくなります。後半では、スーパービジョン、ケースカンファレンスの方法、個人情報保護、事例検討・分析等について学んでいきます。</p>	
授業計画		<p>WB Tで出題される所定の回数のエクササイズに合格の後、WB T上で行われる単位認定試験に合格することで4単位を認定します。</p> <p><自宅学習></p> <p>第1章 相談援助における対象の理解 第2章 ケースマネジメント（ケアマネジメント） 第3章 グループを活用した相談援助 第4章 コーディネーションとネットワークング 第5章 相談援助における社会資源の活用・調整・開発 第6章 様々な実践モデルとアプローチⅠ 第7章 様々な実践モデルとアプローチⅡ 第8章 様々な実践モデルとアプローチⅢ 第9章 スーパービジョンとコンサルテーションの技術 第10章 ケースカンファレンスの技術 第11章 相談援助における個人情報の保護 第12章 相談援助における情報通信技術（ICT）の活用 第13章 事例研究・事例分析 第14章 相談援助の実際</p>	
成績評価の方法		単位認定試験	
実践的教育を行う授業科目の種別		a：実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目	○
		担当教員の実務経験（経歴・資格等）	（前廣 美保先生 職歴）社会福祉法人京福会 特別養護老人ホームほのぼの園在宅介護支援センター ソーシャルワーカー

2022 武蔵野大学 通信教育部 シラバス

	医療法人社団曙光会コンフォガーデンクリニック ソーシャル ワーカー NPO 法人自然育児友の会事務局・子育てひろば担当スタッフ 調布市福祉健康部障害福祉課 障害福祉相談員
授業内容との関連性	社会福祉法人にて臨床経験のある教員が、現場での実践経験か ら得た知見を基に、社会福祉士として活動するにあたり必要な 事項を指導する。
b：企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目	
学外講師の経歴・資格等	
授業内容	
c：企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、 研修を行う授業科目	
実習先・実習の目的	
備考	

科目名		ソーシャルワークの理論と方法2（自己育成）
担当教員		前廣 美保
授業方法		講義
科目の概要	到達目標	<p>本科目の「達成課題（到達目標）」は、次の通り設定します。</p> <p>①人と環境との相互作用に関する理論とマイクロ・メゾ・マクロレベルにおけるソーシャルワークについて理解する。</p> <p>②ソーシャルワークの様々な実践モデルとアプローチについて理解する。</p> <p>③ソーシャルワークの過程とそれに係る知識と技術について理解する。</p> <p>④コミュニティワークの概念とその展開について理解する。</p> <p>⑤ソーシャルワークにおけるスーパービジョンについて理解する。</p>
	テキストの概要	<p>本科目「ソーシャルワークの理論と方法2」のテキストは、[社会専門]の『ソーシャルワークの理論と方法』です（※テキストにある[共通科目]は、通信教育部の「共通科目」とは異なり、精神保健福祉士の受験科目との「共通」という意味です。ご注意ください）。</p> <p>「人と環境の相互作用」、ソーシャルワーク支援の一連のプロセス（過程）、実践モデルとアプローチ、ソーシャルワーク面接、記録、ケアマネジメント、グループワークおよびコミュニティワーク、社会福祉運営（ソーシャルアドミニストレーション）、ソーシャルアクション、スーパービジョン、などソーシャルワーク実践の技術にかんする基本的な知識を概観していきます。</p>
授業計画		<p>WB Tで出題される所定の回数のエクササイズに合格の後、WB T上で行われる単位認定試験に合格することで4単位を認定します。</p> <p><自宅学習></p> <p>第1章 総合的かつ包括的な支援におけるソーシャルワークの実際</p> <p>第1節 総合的かつ包括的な支援の考え方</p> <p>第2節 家族支援の実際</p> <p>第3節 地域支援の実際</p> <p>第4節 非常時や災害時支援の実際</p> <p>第2章 ソーシャルワークにおける援助関係の形成</p> <p>第1節 援助関係形成の意義と概念</p> <p>第2節 援助関係の形成方法と留意点</p> <p>第3章 ネットワークの形成</p> <p>第1節 ネットワーキング</p> <p>第2節 コーディネーション</p> <p>第4章 ソーシャルワークにおける社会資源の活用・調整・開発</p> <p>第1節 社会資源の活用・調整</p>

	第2節 ソーシャルワーク実践と社会資源 第3節 社会資源開発のさまざまな方法 第5章 カンファレンス 第1節 会議の種類と方法 第2節 ミクロ・メゾ・マクロの会議 第6章 事例分析、事例検討、事例研究 第1節 事例分析 第2節 事例検討 第3節 事例研究 第7章 ソーシャルワークに関連する技法 第1節 ネゴシエーション 第2節 コンフリクト・レゾリューション 第3節 ファシリテーション 第4節 プレゼンテーション 第5節 ソーシャル・マーケティング	
成績評価の方法	単位認定試験	
実践的教育を行う 授業科目の種別	a：実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目	
	担当教員の実務経験 (経歴・資格等)	
	授業内容との関連性	
	b：企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目	
	学外講師の経歴・資格等	
	授業内容	
	c：企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、 研修を行う授業科目	
	実習先・実習の目的	
備考		

科目名		地域福祉論	
担当教員		熊田 博喜	
授業方法		講義	
科目の概要	到達目標	この科目では、地域福祉に関する基本的知識（基本的考え方、主体と対象、組織団体及び地域住民）の習得はもとより、地域社会及び地域福祉を支える様々な諸制度を理解することによって、地域社会から社会福祉を発想する視点と思考する力を養うことを目的とする。	
	テキストの概要	このテキストでは、新しい養成カリキュラムに立脚して13章から構成されている。このうち本科目では、第1・2・3・4・6・12・13章の内容を中心に主として「地域福祉の理論」部分について取り扱うことにする。第1章では地域福祉の発達過程とその今日的意義、第2章では地域福祉の諸概念とその分野特有のターム、第3章では地域福祉の中核的主体である住民とその主体形成、第4章では地域福祉の諸担い手とその概要、第6章では地方分権と住民参加、第12章では災害支援と地域福祉、第13章では地域福祉における海外動向、についてそれぞれ解説されている。なおテキストで扱わない他章については、主として「地域福祉の方法」に関する内容が解説されている。	
授業計画		<p>WB Tで出題される所定の回数のエクササイズに合格の後、WB T上で行われる単位認定試験に合格することで2単位を認定します。</p> <p><自宅学習></p> <p>第1章 新しい社会福祉システム</p> <p>第2章 地域福祉の基本的考え方</p> <p>第3章 地域福祉の主体と福祉教育</p> <p>第4章 行政組織と民間組織の役割と実際</p> <p>第6章 住民の参加と方法</p> <p>第12章 災害支援と地域福祉</p> <p>第13章 日本の地域福祉に影響を与えた海外の考え方</p>	
成績評価の方法		単位認定試験	
実践的教育を行う授業科目の種別	a：実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目		
	担当教員の実務経験 (経歴・資格等)		
	授業内容との関連性		
	b：企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目		
	学外講師の経歴・資格等		
	授業内容		

2022 武蔵野大学 通信教育部 シラバス

	c：企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、研修を行う授業科目	
	実習先・実習の目的	
備考		

科目名		地域福祉と包括支援体制 1 (自己育成)	
担当教員		西田 ちゆき	
授業方法		講義	
科目の概要	到達目標	①地域福祉の基本的な考え方、展開、動向について理解する。 ②地域福祉における主体と対象を理解し、住民の主体形成の概念を理解する。 ③地域福祉を推進するための、福祉行財政の実施体制と果たす役割について理解する。 ④地域福祉計画をはじめとした福祉計画の意義・目的及び展開を理解する。	
	テキストの概要	市販名：一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟（編）『地域福祉と包括支援体制』（中央法規出版 2021）	
授業計画		W B T で出題される所定の回数のエクササイズに合格の後、W B T 上で行われる単位認定試験に合格することで2単位を認定します。 <自宅学習> 第1章 新しい社会福祉システム 第2章 地域福祉の基本的考え方 第3章 地域福祉の主体と福祉教育 第4章 行政組織と民間組織の役割と実際 第6章 住民の参加と方法 第12章 災害支援と地域福祉 第13章 日本の地域福祉に影響を与えた海外の考え方	
成績評価の方法		単位認定試験	
実践的教育を行う授業科目の種別	a：実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目		
	担当教員の実務経験 (経歴・資格等)		
	授業内容との関連性		
	b：企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目		
	学外講師の経歴・資格等		
	授業内容		
	c：企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、研修を行う授業科目		
	実習先・実習の目的		

備考

科目名	コミュニティーソーシャルワーク	
担当教員	竹内 もみ	
授業方法	講義	
科目の概要	到達目標	この科目では、地域福祉の実践方法であるコミュニティーワーク（コミュニティーソーシャルワーク）として、地域に暮らす人々の支援理論と、福祉ニーズの把握、社会資源の捉え方と活用法など、地域包括的支援を展開するソーシャルワーカーの働きを理解して、社会福祉の専門知識を身につけることを目標とします。
	テキストの概要	<p>このテキストは、地域福祉全般について扱っています。科目として地域福祉とコミュニティーワークの2つに分けて学習します。</p> <p>コミュニティーワークについてのテキスト分掌は第5章、第7章、第8章、第9章、第10章、第11章とします。</p> <p>第5章「コミュニティーソーシャルワークと専門職の役割」では、コミュニティーワークとコミュニティーソーシャルワークの相違とその考え方、ソーシャルワーカーと住民の役割について。</p> <p>第7章「ソーシャルサポートネットワーク」では、フォーマルサポート・インフォーマルサポート・サポートネットワークについて、それらを支援の手段とするエコロジカルアプローチについて。</p> <p>第8章「地域における社会資源の活用・調整・開発」では社会資源とはなにか、社会資源活用の方法、財源としての資源である税制度、福祉におけるまちづくりについて。</p> <p>第9章「地域における福祉ニーズの把握方法と実際」では、アウトリーチの意義と方法、福祉ニーズの把握方法について。</p> <p>第10章「地域トータルケアシステムの構築と実際」は、支援者の連携とジェネラルソーシャルワークの視点による地域トータルケアシステム（地域包括ケアシステム）の実践について。</p> <p>第11章「地域における福祉サービスの評価方法と実際」近年の福祉サービスの評価を必要とする背景について。評価される社会福祉事業の経営について。福祉サービスの評価の考え方、仕組み、実際の手順についてとなっています。</p>
授業計画	<p>WB Tで出題される所定の回数のエクササイズに合格の後、WB T上で行われる単位認定試験に合格することで2単位を認定します。</p> <p><自宅学習></p> <p>第5章 コミュニティーソーシャルワークと専門職の役割</p> <p>第7章 ソーシャルサポートネットワーク</p> <p>第8章 地域における社会資源の活用・調整・開発</p> <p>第9章 地域における福祉ニーズの把握方法と実際</p> <p>第10章 地域トータルケアシステムの構築と実際</p> <p>第11章 地域における福祉サービスの評価方法と実際</p>	
成績評価の方法	単位認定試験	

2022 武蔵野大学 通信教育部 シラバス

実践的教育を行う 授業科目の種別	a：実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目		
	担当教員の実務経験 (経歴・資格等)		
	授業内容との関連性		
	b：企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目		
	学外講師の経歴・資格等		
	授業内容		
	c：企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、 研修を行う授業科目		
	実習先・実習の目的		
備考			

科目名		社会福祉行財政と福祉計画	
担当教員		西田 ちゆき	
授業方法		講義	
科目の概要	到達目標	この科目では、福祉行財政と福祉計画という社会福祉実践を支える制度的な基盤と住民生活に最も身近な基礎的自治体である市町村を核とした福祉計画の意義や技法を中心に学習し、社会福祉援助者が福祉サービス提供体制に関して理解を深めることを目的とする。	
	テキストの概要	このテキストでは、福祉行政、福祉財政、福祉に携わる各種の専門職の役割、そして福祉計画について学ぶ。その社会の福祉の体制は歴史の進展とともにその時々の社会経済情勢等に強い影響を受けながら発展し、あるいは後退しつつ変化していくことを前提に、福祉専門職が制度的な仕組みや制度を変えていく力を持つ福祉計画の意義について大きな関心をもつことが期待される。第一線の福祉実践の多くは、直接的援助技術をもって展開されることから、福祉行財政および福祉計画については関心が薄くなりがちである。しかし、サービスが継続的に提供されるためには、公的な財源を必要としており、福祉行政や福祉計画について無関心ではいられない。テキストを学習することにより、福祉行財政および福祉計画の全体像が把握できる。	
授業計画		<p>WB Tで出題される所定の回数のエクササイズに合格の後、WB T上で行われる単位認定試験に合格することで2単位を認定します。</p> <p><自宅学習></p> <p>第1章 福祉行財政と福祉計画 第2章 福祉行政 第3章 福祉財政 第4章 福祉行政の組織・団体と専門職の役割 第5章 福祉計画の目的と意義 第6章 福祉計画の理論と技法 第7章 福祉計画の実際</p>	
成績評価の方法		単位認定試験	
実践的教育を行う授業科目の種別	a：実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目		
	担当教員の实務経験 (経歴・資格等)		
	授業内容との関連性		
	b：企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目		
	学外講師の経歴・資格等		
	授業内容		

2022 武蔵野大学 通信教育部 シラバス

	c：企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、研修を行う授業科目	
	実習先・実習の目的	
備考		

科目名		福祉運営管理	
担当教員		齋藤 正	
授業方法		講義	
科目の概要	到達目標	この科目では、大きく次の3点の目標がある。すなわち、 (1) 福祉サービスに係る組織や団体（社会福祉法人、医療法人、特定非営利活動法人、営利法人、市民団体、自治会など）について理解すること、 (2) 福祉サービスの組織と経営に係る基礎理論について理解すること、 (3) 福祉サービスの経営と管理運営について理解すること、である。	
	テキストの概要	このテキストでは、福祉サービスにおける組織と経営をどのように捉えるかを概観したのち、組織・団体の種類、また、これらの組織と経営に係る基礎理論、経営と方法、管理運営の方法と実際を学ぶよう構成されている。	
授業計画		WB Tで出題される所定の回数のエクササイズに合格の後、WB T上で行われる単位認定試験に合格することで2単位を認定します。 〈自宅学習〉 第1章 福祉サービスにおける組織と経営 第2章 福祉サービスにかかわる組織や団体 第3章 福祉サービスの組織と経営の基礎理論 第4章 福祉サービスの管理運営の方法① サービス管理 第6章 福祉サービスの管理運営の方法③ 会計管理と財務管理 第7章 福祉サービスの管理運営の方法④ 情報管理と戦略的広報	
成績評価の方法		単位認定試験	
実践的教育を行う授業科目の種別	a：実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目		
	担当教員の実務経験 (経歴・資格等)		
	授業内容との関連性		
	b：企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目		
	学外講師の経歴・資格等		
	授業内容		
	c：企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、研修を行う授業科目		
	実習先・実習の目的		
備考			

科目名		社会保障制度	
担当教員		奥西 允	
授業方法		講義	
科目の概要	到達目標	<p>この科目では、大きく次の6点の目標がある。すなわち、</p> <p>(1) 現代社会における社会保障制度の課題（少子高齢化と社会保障制度の関係を含む。）について理解すること、</p> <p>(2) 社会保障の概念や対象及びその理念等について、その発達過程も含めて理解すること、</p> <p>(3) 公的保険制度と民間保険制度の関係について理解すること、</p> <p>(4) 社会保障制度の体系と概要について理解すること、</p> <p>(5) 年金保険制度及び医療保険制度の具体的内容について理解すること</p> <p>(6) 諸外国における社会保障制度の概要について理解すること、である。</p>	
	テキストの概要	<p>このテキストでは、わが国の人口動態の変化や労働・雇用環境、政治・経済的な問題を背景に、社会保障の概念やその対象、理念、これまでの歴史、およびその財源や費用、公的保険制度と民間保険制度との関係、社会保障の体系、さらには年金保険および医療保険制度、諸外国の社会保障の概要から構成されている。</p>	
授業計画		<p>WB Tで出題される所定の回数エクササイズに合格の後、WB T上で行われる単位認定試験に合格することで4単位を認定します。</p> <p><自宅学習></p> <p>第1章 現代社会と社会保障</p> <p>第2章 社会保障の歴史</p> <p>第3章 社会保障の構造</p> <p>第4章 社会保障の財源と費用</p> <p>第5章 年金保険制度</p> <p>第6章 医療保険制度</p> <p>第7章 介護保険制度</p> <p>第8章 労働保険制度</p> <p>第9章 社会福祉制度</p> <p>第10章 社会保障と民間保険</p> <p>第11章 社会保障が当面する課題</p> <p>第12章 諸外国における社会保障制度</p>	
成績評価の方法		単位認定試験	
実践的教育を行う授業科目の種別	a：実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目		
	担当教員の実務経験 (経歴・資格等)		
	授業内容との関連性		

2022 武蔵野大学 通信教育部 シラバス

	b: 企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目	
	学外講師の経歴・資格等	
	授業内容	
	c: 企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、研修を行う授業科目	
	実習先・実習の目的	
備考		

科目名		高齢者福祉サービスと介護保険	
担当教員		菊地 ひとみ	
授業方法		講義	
科目の概要	到達目標	この科目は、社会福祉領域における専門知識を習得するための科目である。超高齢社会を迎え、高齢者を支援する制度は激しく変化している中で、現行制度と歴史的な変遷を理解するとともに、そこに通じる普遍的な要素を学び取ることにより、今後の高齢者福祉を柔軟に展望できるように学問することを目的とする。	
	テキストの概要	このテキストでは、まず基本的な高齢者の特性を知り、現今の少子高齢社会における諸問題を理解した上で、高齢者保健福祉施策の史変遷を主に制度面から学ぶ。更に、今日の高齢者福祉施策を①中心的にサービスを担っている介護保険制度とその実際、②施策に関わっている各種専門職の役割を詳細に理解し、加えて、介護の理論と具体的な手法を学ぶように構成されている。	
授業計画		<p>WB Tで出題される所定の回数のエクササイズに合格の後、WB T上で行われる単位認定試験に合格することで4単位を認定します。</p> <p><自宅学習></p> <p>第1章 高齢者の特性 第2章 少子高齢社会と高齢者 第3章 高齢者保健福祉の発展 第4章 高齢者支援の関係法規 第5章 介護保険制度の基本的枠組み 第6章 介護保険制度の仕組み 第7章 介護保険サービスの体系 第8章 高齢者を支援する組織と役割 第9章 高齢者支援の方法と実際 第10章 高齢者を支援する専門職の役割と実際 第11章 介護の概念や対象 第12章 介護過程 第13章 介護各論① 第14章 介護各論② 終章 近未来の高齢者福祉課題</p>	
成績評価の方法		単位認定試験	
実践的教育を行う授業科目の種別		a：実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目	○
		担当教員の実務経験 (経歴・資格等)	(菊地 ひとみ先生 職歴) 国立がんセンター中央病院 脳外科・整形外科病棟、計画治療病棟看護師長 独立行政法人国立病院横浜医療センター 副看護部長

2022 武蔵野大学 通信教育部 シラバス

	授業内容との関連性	病院にて臨床経験のある教員が、現場の実践と関連させながら、医学・看護学・社会福祉の基礎的分野を指導し、日常生活に活かすことを目指す。
	b：企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目	
	学外講師の経歴・資格等	
	授業内容	
	c：企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、研修を行う授業科目	
	実習先・実習の目的	
備考		

科目名		高齢者福祉（自己育成）	
担当教員		菊地 ひとみ・米澤 直美	
授業方法		講義	
科目の概要	到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の定義と特性を踏まえ、高齢者とその家族の生活とこれを取り巻く社会環境について理解する。 ・高齢者福祉の歴史と高齢者観の変遷、制度の発展過程について理解する。 ・高齢者に対する法制度と支援の仕組みについて理解する。 ・高齢者における生活課題を踏まえて、社会福祉士としての適切な支援のあり方を理解する。 	
	テキストの概要	<p>この科目で使用する一般社団法人 日本ソーシャルワーク教育学校連盟（編）『最新 社会福祉養成講座2 高齢者福祉』（中央法規出版 2021）は、新カリキュラムに対応した社会福祉士と精神保健福祉士養成の教科書シリーズとして刊行された。</p> <p>このテキストでは、最初に、高齢者の特性、高齢社会についての基本的知識を学ぶ。また、高齢者を取り巻く社会環境における諸問題を理解した上で、高齢者保健福祉施策の歴史の変遷を主に制度面から学ぶ。次いで、現行の高齢者に関連する諸制度を概観する。今日の高齢者福祉施策において中心的にサービスを担っている介護保険制度や施策に関わっている各種専門職の役割をについて学ぶ。最後に、高齢者と家族の支援におけるソーシャルワーカーの役割を学び、事例を通してソーシャルワーカーの援助の実際について考察できるようになっている。</p>	
授業計画		<p>WB Tで出題される所定の回数のエクササイズに合格の後、WB T上で行われる単位認定試験に合格することで2単位を認定します。</p> <p><自宅学習></p> <p>第1章 高齢者と少子高齢社会</p> <p>第2章 高齢者の生活実態とこれを取り巻く社会環境</p> <p>第3章 高齢者福祉の歴史と理念</p> <p>第4章 介護保険制度</p> <p>第5章 高齢者に関する関連諸制度</p> <p>第6章 高齢者と家族等の支援における関係機関と専門職の役割</p> <p>第7章 高齢者と家族等に対する支援の実際</p>	
成績評価の方法		単位認定試験	
実践的教育を行う授業科目の種別	a：実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目		
	担当教員の実務経験（経歴・資格等）		
	授業内容との関連性		

2022 武蔵野大学 通信教育部 シラバス

	b: 企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目	
	学外講師の経歴・資格等	
	授業内容	
	c: 企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、研修を行う授業科目	
	実習先・実習の目的	
備考		

科目名		障害福祉	
担当教員		大井 純	
授業方法		講義	
科目の概要	到達目標	この科目では、障害者福祉に関する基本的な事柄について理解するとともに、相談援助活動において必要となる障害者自立支援制度や障害者の福祉・介護等にかかわる法制度について理解することを目的としている。障害による生活課題を踏まえ、ソーシャルワーカーとしての適切な支援のあり方を理解する。障害者福祉の実践を通してソーシャルワークについて考える。	
	テキストの概要	テキストは社会福祉士養成カリキュラムに立脚して7章から構成され、詳細については各章のはじめに記述されている。テキストの内容は、障害者福祉に係わる法体系、障害者自立支援制度の仕組み、組織・機関の役割および専門職の役割についてなどが解説されている。社会福祉士養成の全体像をイメージし、また障害者福祉の科目の全体像をイメージしながら学習を進める。	
授業計画		<p>WB Tで出題される所定の回数のエクササイズに合格の後、WB T上で行われる単位認定試験に合格することで2単位を認定します。</p> <p><自宅学習></p> <p>第1章 障害者を取り巻く社会情勢と生活実態</p> <p>第2章 障害者にかかわる法体系</p> <p>第3章 障害者自立支援制度①</p> <p>第4章 障害者自立支援制度②</p> <p>第5章 組織・機関の役割</p> <p>第6章 専門職の役割と実際</p> <p>第7章 他職種連携・ネットワーキング</p>	
成績評価の方法		単位認定試験	
実践的教育を行う授業科目の種別	a：実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目		
	担当教員の实務経験 (経歴・資格等)		
	授業内容との関連性		
	b：企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目		
	学外講師の経歴・資格等		
	授業内容		
c：企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、研修を行う授業科目			

2022 武蔵野大学 通信教育部 シラバス

	実習先・実習の目的	
備考		

科目名		障害者福祉（自己育成）	
担当教員		大井 純	
授業方法		講義	
科目の概要	到達目標	この科目では以下の5点を到達目標とする。①障害の概念と特性を踏まえ、障害者とその家族の生活とこれを取り巻く社会環境について理解する。②障害者福祉の歴史と障害観の変遷、制度の発展過程について理解する。③障害者に対する法制度と支援の仕組みについて理解する。④障害による生活課題を踏まえ、ソーシャルワーカーとしての適切な支援のあり方を理解する。⑤障害者福祉の実践を通してソーシャルワークについて考える。	
	テキストの概要	テキストは社会福祉士カリキュラムに立脚して7章から構成され、詳細については各章のはじめに記述されている。テキストの内容は、障害概念と特性、障害者福祉の理念、障害者福祉の歴史、障害者の生活実態とこれを取り巻く社会環境と課題、障害者に対する法制度、障害者と家族等の支援における関係機関と専門職の役割、障害者と家族等に対する支援の実際などが解説されている。 テキスト冒頭にも記載されているが、社会福祉士養成の全体像をイメージし、また障害者福祉の科目の全体像をイメージしながら学習を進める。	
授業計画		<p>WB Tで出題される所定の回数のエクササイズに合格の後、WB T上で行われる単位認定試験に合格することで2単位を認定します。</p> <p><自宅学習></p> <p>第1章 障害概念と特性 第2章 障害者福祉の理念 第3章 障害者福祉の歴史 第4章 障害者の生活実態とこれを取り巻く社会環境と課題 第5章 障害者に対する法制度 第6章 障害者と家族等の支援における関係機関と専門職の役割 第7章 障害者と家族等に対する支援の実際</p>	
成績評価の方法		単位認定試験	
実践的教育を行う授業科目の種別	a：実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目		
	担当教員の实務経験（経歴・資格等）		
	授業内容との関連性		
	b：企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目		
	学外講師の経歴・資格等		
	授業内容		

2022 武蔵野大学 通信教育部 シラバス

	c：企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、研修を行う授業科目		
	実習先・実習の目的		
備考			

科目名		児童・家庭福祉制度	
担当教員		山田 勝美	
授業方法		講義	
科目の概要	到達目標	<p>この科目では、児童・家庭福祉に関する以下の内容を理解することを目的とします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 児童・家庭を取り巻く社会情勢、子育て一人親家庭、児童虐待及び家庭内暴力（DV）等の実態とそれに対するニーズについて理解する。 ・ 児童・家庭福祉制度の発展過程、児童の権利について理解する。 ・ 相談援助活動において必要となる児童・家庭福祉制度や関連する他の法制度について理解する。 	
	テキストの概要	<p>このテキストは5章から構成され、「子ども家庭福祉とは何か」「現代社会と子ども・家庭」、「子ども家庭福祉にかかわる法制度」、「子ども家庭にかかわる福祉・保健」「子ども家庭への援助活動」について解説しています。各章ごとの概要はくこの章のねらい>に記載してありますのでよく読んでください。なお、近年、児童・家庭福祉にかかわる法律や制度がめまぐるしく改正されています。制度改正の背景にある福祉ニーズとの関連で理解することが大切になります。</p>	
授業計画		<p>WB Tで出題される所定の回数のエクササイズに合格の後、WB T上で行われる単位認定試験に合格することで2単位を認定します。</p> <p><自宅学習></p> <p>第1章 子ども家庭福祉とは何か 第2章 現代社会と子ども・家庭 第3章 子ども家庭福祉にかかわる法制度 第4章 子ども家庭にかかわる福祉・保健 第5章 子ども家庭への援助活動</p>	
成績評価の方法		単位認定試験	
実践的教育を行う授業科目の種別	a：実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目		
	担当教員の实務経験 (経歴・資格等)		
	授業内容との関連性		
	b：企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目		
	学外講師の経歴・資格等		
	授業内容		
c：企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、研修を行う授業科目			

2022 武蔵野大学 通信教育部 シラバス

	実習先・実習の目的	
備考		

科目名		児童・家庭福祉（自己育成）	
担当教員		山田 勝美	
授業方法		講義	
科目の概要	到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもや家庭を取り巻く社会情勢、ひとり親家庭、子ども虐待及び家庭内暴力（DV）等の実態とそれに対するニーズについて理解する。 ・子ども家庭福祉の発展過程、特に子どもの権利について理解する。 ・相談援助活動において必要となる子ども家庭福祉制度や関連する他の法制度について理解する。 	
	テキストの概要	一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟（編）『児童・家庭福祉（最新・社会福祉士養成講座 3 ）』（中央法規 2021）	
授業計画		WBTで出題される所定の回数のエクササイズに合格の後、WBT上で行われる単位認定試験に合格することで2単位を認定します。 <自宅学習> 第1章 子ども家庭福祉とは何か 第2章 子ども家庭福祉の歴史 第3章 子ども家庭を取り巻く現代社会 第4章 子ども家庭福祉の支援の基盤 第5章 子どもの福祉課題と支援 第6章 子ども家庭福祉のソーシャルワーク実践	
成績評価の方法		単位認定試験	
実践的教育を行う授業科目の種別	a：実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目		
	担当教員の実務経験（経歴・資格等）		
	授業内容との関連性		
	b：企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目		
	学外講師の経歴・資格等		
	授業内容		
	c：企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、研修を行う授業科目		
実習先・実習の目的			
備考			

科目名		生活保護	
担当教員		加藤 歩	
授業方法		講義	
科目の概要	到達目標	<p>貧困・低所得問題は、現代社会の大きな課題であると広く認識されている。それは、現実には起こっている様々な問題が、貧困等の問題と一見無関係であるように見えても、根底には貧困問題が横たわっている場合が少なからずあること、また、その多くは社会のあり方が生み出しているという点からである。</p> <p>この科目では、現代社会における貧困・低所得問題の構造的な現状を理解し、それらに対処する制度・施策、中でも大きな役割を持つ生活保護制度について学び考えることになる。また、公的扶助の歴史的経緯や思想の変遷を把握し、今後に向けての課題を明確にすることを旨とする。</p> <p>これらの到達目標に向かって学習を進めるプロセスは、自らの考え方、社会福祉を専門的に実践していく上で大切にすべきことを確認する機会になると思われる。そして、社会のセーフティネットである公的扶助が適切に機能していくことは、一人ひとりが大切にされる社会の実現と大きくつながっているということを深く理解したい。</p>	
	テキストの概要	<p>このテキストは10章で構成されており、公的扶助の概念、貧困・低所得者問題と社会的排除、制度の歴史から始まり、生活保護制度について多角的に、詳しく学ぶことができるようになっている。さらに、相談援助活動および生活保護における自立支援の取り組みについてまとめられている。</p> <p>各章の末尾に、参考文献が紹介されているので、参考にされたい。</p>	
授業計画		<p>WB Tで出題される所定の回数のエクササイズに合格の後、WB T上で行われる単位認定試験に合格することで2単位を認定します。</p> <p><自宅学習></p> <p>第1章 公的扶助の概念 第2章 貧困・低所得者問題と社会的排除 第3章 公的扶助制度の歴史 第4章 生活保護制度の仕組み 第5章 最低生活保障水準と生活保護基準 第6章 生活保護の動向 第7章 低所得者対策の概要 第8章 生活保護の運営実施体制と関係機関・団体 第9章 貧困・低所得者に対する相談援助活動 第10章 生活保護における自立支援</p>	
成績評価の方法		単位認定試験	
実践的教育を行う授業科目の種別		a：実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目	
		担当教員の実務経験 (経歴・資格等)	

2022 武蔵野大学 通信教育部 シラバス

	授業内容との関連性	
	b：企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目	
	学外講師の経歴・資格等	
	授業内容	
	c：企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、研修を行う授業科目	
	実習先・実習の目的	
備考		

科目名		保健医療制度	
担当教員		清水 茂徳	
授業方法		講義	
科目の概要	到達目標	この科目では、保健医療サービスの分野や特徴、歴史的な発展など基本的なことから理解するとともに、相談援助において必要となる医療保険制度、診療報酬に関する内容など保健医療サービス全般にわたって理解し、保健医療サービスにおける専門職の役割と実際、多職種協働について理解することを目的とする。	
	テキストの概要	このテキストは、2007年に改正された社会福祉士及び介護福祉士法による教育カリキュラムに沿って構成されている。7章に分かれており、1章は「保健医療サービスの変化と社会福祉専門職の役割」として総論的にすべての章につながる内容のエッセンスがまとめられている。2章以下は保健医療サービスを提供する施設とシステム、保健医療サービスにおける医療ソーシャルワーカーの役割、保健医療サービスの専門職の役割、保健医療サービスの提供と経済的保障、保健医療サービスにおける専門職や地域の社会資源との連携と実践などが盛り込まれている。	
授業計画		<p>WB Tで出題される所定の回数のエクササイズに合格の後、WB T上で行われる単位認定試験に合格することで2単位を認定します。</p> <p><自宅学習></p> <p>第1章 保健医療サービスの変化と社会福祉専門職の役割</p> <p>第2章 保健医療サービスを提供する施設とシステム</p> <p>第3章 保健医療サービスにおける医療ソーシャルワーカーの役割</p> <p>第4章 保健医療サービスの専門職の役割</p> <p>第5章 保健医療サービスの提供と経済的保障</p> <p>第6章 保健医療サービスにおける専門職の連携と実践</p> <p>第7章 保健医療サービスにおける地域の社会資源との連携実践</p>	
成績評価の方法		単位認定試験	
実践的教育を行う授業科目の種別	a：実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目		
	担当教員の实務経験 (経歴・資格等)		
	授業内容との関連性		
	b：企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目		
	学外講師の経歴・資格等		
	授業内容		
c：企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、研修を行う授業科目			

2022 武蔵野大学 通信教育部 シラバス

	実習先・実習の目的	
備考		

科目名		就労支援
担当教員		渡辺 芳
授業方法		講義
科目の概要	到達目標	<p>働くことは、人々の社会における権利であり、また義務でもある。日本国憲法第 27 条にも、国民の勤労の権利と義務についての定めがある。</p> <p>社会的排除を防止するための社会的包摂策には、①働くことと社会福祉サービス受給を一体にした「ワークフェア」（「福祉から雇用へ」）、②労働者に職業訓練や職業紹介、雇用主には労働者雇用を促進する助成金支出などの労働市場に対する積極的な働きかけを行う「積極的労働市場政策」、③働くことと貨幣獲得の結びつきを切り離して、政府が全国民の最低所得保障を行う「ベーシック・インカム」（基本所得）がある。このように、働くことと社会福祉サービスを関連付けをさせようという試みは、社会福祉制度のなかに取り入れられている。</p> <p>また、働くことは、生活に必要な貨幣獲得と同時に、社会での何らかの役割を果たす方法の一つであって、働くことを通じて社会での役割や居場所を獲得しやすくなる。つまり、働くことは社会参加の一種である。</p> <p>しかし、働く意欲や希望をもちながらも、就労することや就労の継続に何らかの問題を抱えている人々がいる。そうした人々を支援する専門職に必要な知識や考え方について、次の到達目標に沿って学ぶ。</p> <p>① 働くことの意味と社会福祉士の役割について再考する。 ② 雇用・就労問題に関する動向と法律・制度を理解する。 ③ 障害者の就労支援について理解する。 ④ 低所得者の就労支援について理解する。 ⑤ 就労支援を担う専門職の役割と専門職間の連携を理解する。 ⑥ 就労支援の連携の意義を理解する</p>
	テキストの概要	<p>社会福祉士の養成カリキュラムに、平成 21 年度から「就労支援サービス」が新たに加えられた。就労と福祉の動向について、到達目標に沿った内容が理解把握しやすい章立てで構成されている。</p>
授業計画		<p>WB Tで出題される所定の回数のエクササイズに合格の後、WB T上で行われる単位認定試験に合格することで1単位を認定します。</p> <p><自宅学習></p> <p>序章 働くことの意味と社会福祉士の役割</p> <p>第1章 雇用・就労の動向と施策</p> <p>第2章 障害者と就労支援</p> <p>第3章 低所得者と就労支援</p> <p>第4章 専門職の役割と実際</p> <p>第5章 就労支援の連携と実際</p> <p>終章 さまざまな働き方の支援</p>
成績評価の方法		単位認定試験

2022 武蔵野大学 通信教育部 シラバス

実践的教育を行う 授業科目の種別	a：実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目		
	担当教員の実務経験 (経歴・資格等)		
	授業内容との関連性		
	b：企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目		
	学外講師の経歴・資格等		
	授業内容		
	c：企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、 研修を行う授業科目		
	実習先・実習の目的		
備考			

科目名	教育課程論
担当教員	山田 恵吾
授業方法	講義
到達目標	<p>この科目では、教育課程に関する基本的な知識や理論を習得するとともに、その編成の視座を獲得することを目的としています。第一に、学校教育の活動の枠組みを規定する教育課程について、その概念や編成理論を学びます。第二に近代学校の教育課程改革の経験を、その社会・政治・経済的背景と関連付けながら理解します。第三に現代的な学校教育の問題の改善に向けて、地域素材の教材化や児童・生徒の主体的学習の観点を踏まえた学習指導案作成の方法を習得します。</p>
科目の概要	<p>このテキストでは、カリキュラムに関する基礎的な事項と歴史・理論等を包括的に習得するとともに、カリキュラムの現代的な課題について理解を深めることを目的に編集されています。</p> <p>第1章では「教育課程」とは何か、基礎的な内容と教育課程を理解していく上でのポイントを示しています。</p> <p>第2章では、教育課程の構造と理論について検討します。教員採用試験でも問われる重要事項についても多く扱っています。</p> <p>第3章では、日本の教育課程行政の概要を踏まえながら、教育課程編成の原則を法制的な観点から整理するとともに、教育課程編成における学習指導要領の法規的な位置づけを現行の学習指導要領の特徴に照らして学習する構成となっています。</p> <p>第4章では教育課程編成上の留意点に基づいて、学校において教育課程がどのように編成されているのかを見るとともに、教育課程を適切に編成・実施する上で重要な教育評価に関して、基本的な考え方、種類とその特徴について整理しています。</p> <p>第5章では、「教科書」とは何かを明らかにした上で、教科書の使用義務や補助教材について説明しています。教科書制度の仕組みと沿革、戦後の教科書問題の流れを整理し、その内容や争点について述べています。</p> <p>第6章では、明治期から、大正期、昭和初期および戦前期それぞれの教育課程の特徴について見ていきます。</p> <p>第7章では、第二次世界大戦後の教育改革から1970年代の「教育の現代化」までの教育課程改革の流れをおさえます。</p> <p>第8章では、1970年代後半から2000年までの教育課程改革の流れについて、学習指導要領を中心に見ていきます。政治的な動きをおさえつつ、国の教育課程の基準である学習指導要領がどのように変遷してきたのかを捉えます。各年代の学習指導要領の内容や特徴、改訂の社会的背景について整理してあります。</p> <p>第9章は、2017年に改定された現行の学習指導要領の特徴と課題について論じています。とりわけ「特別の教科 道徳」と小学校における外国語科・外国語活動を中心に、教育-学習活動上の留意点を検討しています。</p>
テキストの概要	
授業計画	<p>WB Tで出題される所定の回数エクササイズに合格の後、WB T上で行われる単位認定試験に合格することで2単位を認定します。</p>

	<自宅学習> 第1章 教育課程とは何か 第2章 教育課程の構造と理論 第3章 教育課程行政と学習指導要領 第4章 学校における教育課程の編成と教育評価 第5章 教科書の制度と沿革 第6章 日本の教育課程改革の展開①「学制」から国民学校まで 第7章 日本の教育課程改革の展開②「墨塗り教科書」から「教育内容の現代化」まで 第8章 日本の教育課程改革の展開③「ゆとり」から「確かな学力」まで 第9章 日本の教育課程改革の展開④現代の教育課程の特質と課題	
成績評価の方法	単位認定試験	
実践的教育を行う 授業科目の種別	a：実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目	
	担当教員の 実務経験 (経歴・資格等)	(山田 恵吾先生 経歴) 小学校教員(学級担任)として児童の指導、学級経営、実務を担当した経験がある。
	授業内容との 関連性	地域や児童の実態に即した教育課程の編成、学校のある地域的環境に即した教材開発等の経験を授業内容に反映する。
	b：企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目	
	学外講師の 経歴・資格等	
	授業内容	
	c：企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、研修を行う授業科目	
実習先・実習の 目的		
備考		

科目名		特別活動及び総合的な学習の時間の指導法	
担当教員		上岡 学	
授業方法		講義	
科目の概要	到達目標	この科目では、初等教育・中等教育における特別活動ならびに総合的な学習の時間に関する内容を理解し、その理論を学び、実践に生かせるようにすることを目的とする。	
	テキストの概要	<p>特別活動に関することとしては、テキストを中心に、「特別活動の目標や内容・指導計画等」について学ぶ。</p> <p>総合的な学習の時間に関することとしては、テキストを中心に、「総合的な学習の時間の目標や内容・指導計画・単元計画・学習指導・評価・体制づくり等」について学ぶ。</p> <p>また、最新の資料としてテキスト「小学校（中学校）学習指導要領解説 特別活動」（2018）、参考文献として「みんなでよりよい学級・学校生活をつくる特別活動 小学校編（文部科学省 2018）」が必要である。</p> <p>総合的な学習の時間に関しては、テキスト「小学校（中学校）学習指導要領解説 総合的な学習の時間」（2018）を用いる。</p> <p>なお学習指導要領解説（2018）は、小学校免許取得希望者は小学校版を中高免許取得希望者は中学校版を使用すること。</p>	
授業計画		<p>スクーリング（0単位）とWBTによる学習（2単位）の計2単位の科目です。</p> <p><自宅学習></p> <p>第1章 特別活動とは何か</p> <p>第2章 教育課程と特別活動</p> <p>第3章 各活動・学校行事の目標と内容</p> <p>第4章 特別活動の指導</p> <p>第5章 特別活動の全体計画と各活動・学校行事の指導計画</p> <p>第6章 特別活動の実践</p> <p>第7章 特別活動における学校安全と危機管理</p> <p>第8章 特別活動における評価</p>	
成績評価の方法		単位認定試験	
実践的教育を行う授業科目の種別		a：実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目	
		担当教員の実務経験（経歴・資格等）	
		授業内容との関連性	
		b：企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目	

2022 武蔵野大学 通信教育部 シラバス

	学外講師の経歴・資格等	
	授業内容	
	c：企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、 研修を行う授業科目	
	実習先・実習の目的	
備考		

科目名		道徳教育の理論と方法	
担当教員		貝塚 茂樹	
授業方法		講義	
科目の概要	到達目標	この科目では、人間にとって道徳とは何かという課題を深めることで、学校における道徳教育の意義と役割、またその内容を歴史的かつ哲学的な観点から構造的に理解することを目標とします。また、学校教育における効果的で意義のある道徳教育を展開するために必要な内容を習得すると同時に、「特別の道徳 道徳」の授業展開をする上での指導法と評価の方法を理解することで教員としての基本的な資質・能力を身に付けることを目指します。	
	テキストの概要	<p>テキストは、道徳教育について理論を哲学的かつ歴史的観点から説明し、学校における道徳教育の内容と方法を構造的に学べる構成となっています。</p> <p>道徳教育の定義、道徳性の概念、道徳と宗教の関係をはじめとして、学校で道徳教育を学ぶことの意味について学びます。特に、日本の道徳教育をめぐる歴史と論争の過程を辿りながら、「特別の教科 道徳」（道徳科）の成立の意義について考察します。</p> <p>また、学校の道徳教育の目的と構造について学習指導要領を中心に学びます。具体的には、教育基本法と道徳教育の関係、「特別の教科 道徳」の目標と内容、評価、学校の教育活動全体で行う道徳教育の意味について整理し、道徳の授業における全体計画と年間指導計画の作成と学習指導案の作成方法を中心に学びます。</p> <p>さらに、道徳教育における教師の役割を検討しながら、学校と家庭・地域社会の連携のあり方や、今後の道徳教育の課題についても考察します。</p>	
授業計画		<p>スクーリング（0単位）とWBTによる学習（2単位）の計2単位の科目です。</p> <p><スクーリング> 学習指導案の作成、模擬授業など。</p> <p><自宅学習> 道徳教育の理論 道徳教育の歴史 学校教育と道徳教育</p>	
成績評価の方法		単位認定試験	
実践的教育を行う授業科目の種別		a：実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目	
		担当教員の実務経験 (経歴・資格等)	
		授業内容との関連性	
		b：企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目	

2022 武蔵野大学 通信教育部 シラバス

	学外講師の経歴・資格等	
	授業内容	
	c：企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、 研修を行う授業科目	
	実習先・実習の目的	
備考		

科目名		教育の方法と技術	
担当教員		関根 明伸	
授業方法		講義	
科目の概要	到達目標	この科目では、現代の教育政策や教科教育の原理となっている教育理論や方法、技術について理解することを目的とする。	
	テキストの概要	このテキストでは、教育の方法・技術に関わる諸概念、教育方法の理論と歴史、授業における教師の役割と指導技術、教育メディアとその活用等について学びます。教育方法に関する理論史、学説史中心ではなく、授業実践との関連から教育方法の在り方について学びます。	
授業計画		WBTで出題される所定の回数のエクササイズに合格の後、WBT上で行われる単位認定試験に合格することで2単位を認定します。 <自宅学習> 第1章 教育の方法・技術に関わる諸概念 第2章 教育方法の理論と歴史 第3章 カリキュラム開発 第4章 授業における教師の役割と指導技術 第5章 教育メディアとその活用 第6章 教授組織と学習組織 第7章 教育における評価	
成績評価の方法		単位認定試験	
実践的教育を行う授業科目の種別	a：実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目		
	担当教員の実務経験 (経歴・資格等)		
	授業内容との関連性		
	b：企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目		
	学外講師の経歴・資格等		
	授業内容		
	c：企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、研修を行う授業科目		
	実習先・実習の目的		
備考			

科目名	生徒指導・進路指導論
担当教員	中井 大介・藤田 祐介
授業方法	講義
科目の概要	到達目標
	テキストの概要
授業計画	
成績評価の方法	

この教科では、生徒指導の基礎知識を理解することによって、中等教育における生徒指導の理論と生徒指導の実践の概要についての理解を深めることを目的とする。

具体的には、生徒指導の目的と内容、生徒指導の位置づけ、生徒指導体制、法制度、教育相談、進路指導、問題行動の指導など、生徒指導についての基礎知識を習得し、生徒指導の「全体像」をつかむことを目指す。また、青年期の心身の発達を踏まえ、近年、生徒指導上の課題となっている、「いじめ」、「不登校」、「暴力行為」、「発達障害」などの諸問題についても適切な知識を学び、自分としての考えを持つことを目指す。

このテキストは、学校が社会の急激な変化に晒され、教育課題が広範かつ複雑化している現状を踏まえ、生徒指導に関する基本的事項を包括的に学び、生徒指導上の課題について理解を深めることを目的としている。各章とも文部科学省刊行の『生徒指導提要』の内容を十分に踏まえるとともに、効果的に学習に取り組めるよう、重要事項を押さえつつ、できるだけわかりやすい叙述が心がけられている。具体的には、(1) 生徒指導とは何か、(2) 教育課程全体を支える生徒指導、(3) 児童生徒の心理と児童生徒理解、(4) 生徒指導体制と教師の役割、(5) 法制度と生徒指導、(6) 児童生徒の問題行動と教師の対応、(7) 暴力行為・非行、(8) いじめ問題、(9) 不登校、(10) 生徒指導と教育相談、(11) 学校と家庭・地域・関係機関との連携、(12) 進路指導とキャリア教育、といった内容が概説されている。

WB Tで出題される所定の回数のエクササイズに合格の後、WB T上で行われる単位認定試験に合格することで2単位を認定します。

<自宅学習>

- 第1章 生徒指導とは何か
- 第2章 教育課程全体を支える生徒指導
- 第3章 児童生徒の心理と児童生徒理解
- 第4章 生徒指導体制と教師の役割
- 第5章 法制度と生徒指導
- 第6章 児童生徒の問題行動と教師の対応
- 第7章 暴力行為・非行
- 第8章 いじめ問題
- 第9章 不登校
- 第10章 生徒指導と教育相談
- 第11章 学校と家庭・地域・関係機関との連携
- 第12章 進路指導とキャリア教育

2022 武蔵野大学 通信教育部 シラバス

実践的教育を行う 授業科目の種別	a：実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目		
	担当教員の実務経験 (経歴・資格等)		
	授業内容との関連性		
	b：企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目		
	学外講師の経歴・資格等		
	授業内容		
	c：企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、 研修を行う授業科目		
	実習先・実習の目的		
備考			

科目名		教育相談
担当教員		鳥海 順子・義永 睦子
授業方法		講義
科目の概要	到達目標	<p>子どもが育つ過程で、周囲の人々（保護者・教師など）に「困ったこと」が捉えられたとき、教育の場で相談活動が必要とされます。誰が、何に困っているのか、そして困っている人々にどのような援助をしていったらいいのでしょうか。</p> <p>この科目では、学校教育におけるカウンセリングマインドを生かした子ども理解、発達課題への対応、保護者との相談活動の基本を学び、カウンセリングマインドを生かした子ども理解の視点を持つこと、子どもや保護者とのかかわる姿勢と技法を獲得することを目的とします。</p>
	テキストの概要	<p>教育カウンセリングとは、教育領域における教育活動を援助することであり、学校教育のみならず、幼児から大学生までを対象に広く教育領域で行われている教育活動に、カウンセリングの理論や技法をさまざまなかたちで活用していこうとするものです。広義の教育相談とほぼ同様の内容を含むものです。教育カウンセリングの中に、学校で行われる学校カウンセリングがあり、その中に教員主体で行われる学校教育相談と、心理職であるスクールカウンセラーによるスクールカウンセリングが位置づいていると整理することが出来ます。</p> <p>このテキストでは、教育相談について、教育カウンセリング、学校カウンセリングという、より包括的な概念を手がかりに、基礎知識、展開、実践の3ステップで、学びを進めていきます。</p> <p>第Ⅰ章では、「学校カウンセリングの基礎知識」として、「学校カウンセリング」とは何か、子どものストレスと対処、キャリアカウンセリングの基礎基本、スクールカウンセラーの役割について、学びます。</p> <p>第Ⅱ章では、「学校カウンセリングの展開」として、子ども理解の在り方、アセスメントの基礎基本、カウンセリングの進め方、カウンセリングの理論と技法、開発的・予防的カウンセリング、コンサルテーションの基礎基本、コーディネーションの基礎基本、自己研修について学びます。</p> <p>第Ⅲ章では、「実践・学校カウンセリング」として、学業困難、ADHD、高機能自閉症、集団適応、不登校、いじめ・いじめられ、非行、児童虐待、PTSD といった、学校カウンセリングで出会うさまざまな問題を取り上げ、それぞれの領域の基礎知識と事例検討を通して、実践的に学びます。</p>
授業計画		<p>WB Tで出題される所定の回数のエクササイズに合格の後、WB T上で行われる単位認定試験に合格することで2単位を認定します。</p> <p><自宅学習></p> <p>第Ⅰ章 学校カウンセリングの基礎知識 第Ⅱ章 学校カウンセリングの展開 第Ⅲ章 実践・学校カウンセリング</p>

成績評価の方法	単位認定試験	
実践的教育を行う 授業科目の種別	a：実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目	
	担当教員の実務経験 (経歴・資格等)	
	授業内容との関連性	
	b：企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目	
	学外講師の経歴・資格等	
	授業内容	
	c：企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、 研修を行う授業科目	
	実習先・実習の目的	
備考		

科目名		教育法規（日本国憲法）	
担当教員		藤田 祐介	
授業方法		講義	
科目の概要	到達目標	<p>学校の教師になることを目指している皆さんが、なぜ、「日本国憲法」・「教育法規」を学ぶ必要があるのでしょうか。</p> <p>理由はいろいろありますが、一つは、日本の公教育＝学校が日本国憲法や教育法規を中心とする各種法令に基づいて成立し、運営されているからです。学校という組織はもちろん、学校で行われる教育の形態や内容などは、教育に関する法令やその根底にある憲法などの「ルール」によって決められています。このルールに関する正しい理解が教師にないと、教育活動に支障をきたしたり、学校現場が混乱したりすることがあります。特に昨今では、子どもや保護者、社会の意識が変化し、学校でも多様な問題が発生するようになっており、こういった問題に対応できる法的知識がますます教員には求められるようになってきています。</p> <p>もう一つの理由として、そのルール、ひいては教育そのものが日々変化していくものであるから、ということが挙げられます。（学校）教育は常に変わり続け、皆さんが教師になったときに行う教育は、皆さんが受けてきた教育とは異なったものになっているはずです。「皆さんが受けてきた教育がどこまで『今』に通用するのか」、「日本の教育は何を目指しているのか」、こういったことを認識するためにも、ルールを学ぶ必要があるのです。</p> <p>上記の問題意識に基づいて、学校の教師として必要な基本的ルールを理解することを目標として、日本国憲法・教育法規を学んでください。</p>	
	テキストの概要	<p>このテキストは、「第1部 日本国憲法の基本原理」「第2部 基本的人権」「第3部 統治機構」の3部構成となっています。第1部では日本国憲法の成立過程や、国民主権、平和主義などについて、第2部では日本国憲法で規定されている様々な人権について、第3部では国家の統治組織がどのように構成されているのかを、立法・行政・司法の三権に特に着目して学ぶこととなります。</p>	
授業計画		<p>WB Tで出題される所定の回数のエクササイズに合格の後、WB T上で行われる単位認定試験に合格することで2単位を認定します。</p> <p><自宅学習></p> <p>第1部 日本国憲法の基本原理</p> <p>第2部 基本的人権</p> <p>第3部 統治機構</p>	
成績評価の方法		単位認定試験	
実践的教育を行う授業科目の種別		a：実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目	
		担当教員の実務経験（経歴・資格等）	

2022 武蔵野大学 通信教育部 シラバス

	授業内容との関連性	
	b：企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目	
	学外講師の経歴・資格等	
	授業内容	
	c：企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、研修を行う授業科目	
	実習先・実習の目的	
備考		

科目名	発達心理学（教育）	
担当教員	川島 哲	
授業方法	講義	
科目の概要	到達目標	この科目では、子どもの発達に対する心理学的アプローチを理解し、教師に必要な発達心理学の基礎的知識および子どもの心身の発達に関する知識を習得するとともに、心理学的な知見を教室に適用し考え、応用することが可能になることが目標である。
	テキストの概要	<p>このテキストは、教職課程において発達心理学を学ぶために、適した内容をしていると考えられたため採用された。本来のタイトルの通り『発達と学習』について書かれている。</p> <p>全9章からなるテキストは、発達心理学の知見をまとめた第1章から第3章、発達心理学の知見を基盤に学習の諸側面に焦点をあてた第4章から第7章、発達において定型的ではない人に対する知見をまとめた第8章、以上をすべてまとめて、どのような教室を実現すべきかを提案する第9章という構成になっている。</p> <p>内容は平易に書かれていて、重要な語には定義を書くことが共通している。また、各章において、学校教育とのつながりを意識した節が含まれており、自分がこれから教員になるという学生へ向けたテキストとなっている。</p> <p>ただ、テキストが依拠する心理学的な立場は第1章と第8章を除き、（第9章でも触れられているが）行動主義心理学ではなく認知心理学となっている。筆者も著者たちと同じく、行動主義心理学の限界を認めた上で認知心理学の立場をとる。受講生には今回学ぶ内容が認知心理学の立場に立つものであることに留意した上で、実感や考え方と合わない部分があれば行動主義心理学の立場からだとどう説明されるかについて調べてみてほしい。</p>
授業計画	<p>WB Tで出題される所定の回数のエクササイズに合格の後、WB T上で行われる単位認定試験に合格することで2単位を認定します。</p> <p><自宅学習></p> <p>第1章 発達・学習の生得的基盤</p> <p>第2章 知性の発達</p> <p>第3章 社会性の発達</p> <p>第4章 学習と思考</p> <p>第5章 動機づけと学習</p> <p>第6章 コミュニケーションと学習</p> <p>第7章 学習の評価</p> <p>第8章 発達の障害と適応</p> <p>第9章 学習と発達を促す教育環境</p>	
成績評価の方法	単位認定試験	
	a：実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目	

2022 武蔵野大学 通信教育部 シラバス

実践的教育を行う 授業科目の種別	担当教員の実務経験 (経歴・資格等)	
	授業内容との関連性	
	b: 企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目	
	学外講師の経歴・資格等	
	授業内容	
	c: 企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、 研修を行う授業科目	
	実習先・実習の目的	
備考		

科目名		教育原理
担当教員		上岡 学
授業方法		講義
科目の概要	到達目標	<p>この科目では、科目の名称「教育原理」が示すように＜教育の基本となる考え方やそれを構成する思想＞について、その概論と実践的なアプローチを学ぶことになります。</p> <p>「教育」そのものの営みは、生涯にわたる人間形成の基盤をなすことから、それぞれの学問領域をベースにして多種多義に考えられています。とりわけ学校教育においては、子ども一人一人が自らの現在と未来社会を充実して生きることができよう、指導援助することを重視します。端的に言うなら、子どもの生き方をよりよく扶ける営みが教育なのです。この科目の学修を通して、教職を目指す皆さんが＜自分なりの教育観をもてるようになること＞が到達の目標です。つねに「教育と何か」を問いつつ、自らの教育経験や学習体験を振り返りながら、また子どもたちの将来展望にも思いをはせながら学んでください。</p>
	テキストの概要	<p>このテキスト『教育の基本原則を学ぶ』は、第1章から第7章までの構成になっていますが、この科目で学修するのは第1章から第6章までの各内容です。</p> <p>教職に就くにあたって、教育の考え方やその思想、指導の原理、子ども観の形成などを中心に、理論と実践をバランスよく学ぶことを目的とした内容になっています。教育学は単なる物事の価値を教えるという技術的発想による教授法ではなく、子ども（人間）の成長に不可欠な心理学、医学、社会学、倫理学、哲学など幅広い学問の集積であるともいえます。</p> <p>今日の学校教育には、数多くの教育課題が山積しています。例えば、「学習意欲のない子の指導に戸惑う」「学級のルールづくりに苦勞する」、「個人に応じる指導がうまくできない」、「保護者との関係に悩む」、「いじめ被害の子や暴力的な子に対する指導が難しい」などです。</p> <p>本テキストは、これらの課題にいかん学ぶのか、そこにどのようにかかわるのか、それをどのように吟味するのかまた意味づけるのかなど、教育の基本原則の視点から構成されています。また、具体的な指導事例等を織り交ぜて実践的アプローチも重視しています。</p>
授業計画		<p>WB Tで出題される所定の回数エクササイズに合格の後、WB T上で行われる単位認定試験に合格することで2単位を認定します。</p> <p>＜自宅学習＞</p> <p>第1章 子どもの存在と学校教育 第2章 教育の原理 第3章 子どもとのかかわり論 — 「先生」の8つの原理 第4章 教育課程と学習指導要領 第5章 学習指導の方法 第6章 学級経営の基礎理論と実際</p>
成績評価の方法		単位認定試験

2022 武蔵野大学 通信教育部 シラバス

実践的教育を行う 授業科目の種別	a：実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目		
	担当教員の実務経験 (経歴・資格等)		
	授業内容との関連性		
	b：企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目		
	学外講師の経歴・資格等		
	授業内容		
	c：企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、 研修を行う授業科目		
	実習先・実習の目的		
備考			

科目名		教育心理学
担当教員		川島 哲
授業方法		講義
科目の概要	到達目標	<p>小学校あるいは中学校・高等学校の先生として教えるためには、子どもの心の発達に関する基礎的な知識に加え、教育・学習過程に関する基礎的な心理学的知識が必要です。教育心理学という学問は、教室の出来事を特定の理論的視座から分析し、知見を得るとともに、その知見を教室に返していくというサイクルが回ることを目指し、研究されています。この科目では、その一環として、教室での子どもの様子から得られた知見とそれを見るための理論や教育心理学の方法を学び、知見がどのように教室に活かされるかについて学びます。また、理論と方法を学ぶことによって、本科目にとどまらず、また大学に所属しているしていないに関わらず、この先も教育心理学の知見を学び活かす準備をします。教育心理学を学ぶことによって、学問的内容を理解する力とそれを教室に活かす準備をすることがこの科目の目標です。</p>
	テキストの概要	<p>テキストは、教育心理学の最近の研究動向や問題意識の変化をおさえつつ、スタンダードなテキストになることを目指して書かれている。認知心理学が、教育の諸問題に対して示した新しい理論や方法論を積極的に取り入れるとともに、従来の心理学の成果の中で重要なものをきちんと押さえるテキストとなっている。</p> <p>本書は、3つのパートから構成されている。</p> <p>第1のパートは、第1章の「教育心理学の課題」である。本書全体のイントロダクションとして教育心理学の課題や立場、およびその学び方について述べたものである。</p> <p>第2のパートは、第2章「発達過程の理解」、第3章「適応と障害の理解」、第4章「学習の基礎の理解」、第5章「新しい学習研究の理解」、第6章「学級集団の理解」の5つの章であり、発達・学習・認知・適応・障害・学級集団といった教育心理学の基礎的理論の要点をどのように理解すべきかという視点で書かれている。</p> <p>第3のパートは、第7章から第10章までの4つの章であり、第7章「授業の方法」、第8章「情報機器の活用の方法」、第9章「教育評価の方法」、第10章「教育データの分析方法」というように、教育心理学の実際の活用に当たって必要な方法論についての押さえを中心に議論が展開するものである。</p>
授業計画		<p>WB Tで出題される所定の回数エクササイズに合格の後、WB T上で行われる単位認定試験に合格することで 2単位を認定します。</p> <p><自宅学習></p> <p>第1章「教育心理学の課題」</p> <p>第2章「発達過程の理解」</p> <p>第3章「適応と障害の理解」</p> <p>第4章「学習の基礎の理解」</p> <p>第5章「新しい学習研究の理解」</p> <p>第6章「学級集団の理解」</p> <p>第7章「授業の方法」</p>

2022 武蔵野大学 通信教育部 シラバス

	第8章「情報機器の活用の方法」	
	第9章「教育評価の方法」	
	第10章「教育データの分析方法」	
成績評価の方法	単位認定試験	
実践的教育を行う 授業科目の種別	a：実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目	
	担当教員の実務経験 (経歴・資格等)	
	授業内容との関連性	
	b：企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目	
	学外講師の経歴・資格等	
	授業内容	
	c：企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、 研修を行う授業科目	
	実習先・実習の目的	
備考		

科目名		教職論（SR）	
担当教員		渡辺 裕之	
授業方法		講義	
科目の概要	到達目標	<p>この科目では、学校教育における専門職としての教師の役割や教職の意義、サービスや日常の職務内容及び研修、さらに進路選択に資する学習内容の提供を通して、教育職に関する基本的な理解を得ることを目的としています。</p> <p>具体的には、幼児期から青年期に至る子どもの成長や各段階での学校教育をめぐる諸課題をとらえ、教員としてのかかわり方を分析できる力を身に付けます。</p>	
	テキストの概要	<p>この科目で使用するテキスト『教育学の教科書－教育を考えるための12章』は、現代教育が抱える課題だけではなく、その解決に向けて必要とされる方策について学び考え、よりよい教育のあり方を教師として追究していくための入門書です。本書では、現代教育の基本的な枠組みとして「学校」「教師」「子ども」「家庭」を掲げ、これら4つの立場からそれぞれとの関係をとらえつつ、広く現代社会を捉えるために必要な知識を獲得するという構造をもっています。</p>	
授業計画		<p>スクーリング（1単位）とWBTによる学習（1単位）の計2単位の科目です。</p> <p><スクーリング></p> <p>第1講 [子どもを支える教師の専門性～子どもの発達と援助を考える基本]</p> <p>第2講 [教師に求められる資質・能力①～学校の機能と役割]</p> <p>第3講 [教師に求められる資質・能力②～教師としての身分と仕事]</p> <p>第4講 [教師に求められる資質・能力③～明治以降の教員養成の変遷]</p> <p>第5講 [教師に求められる資質・能力④～養成段階で求められる資質・能力]</p> <p>第6講 [教師に求められる資質・能力⑤～採用段階・現職研修で求められる資質・能力]</p> <p>第7講 [今日的な教育課題（チーム学校への対応を含む）]</p> <p><自宅学習></p> <p>第1回・第2回とも：テキスト第1章～第12章</p>	
成績評価の方法		単位認定試験	
実践的教育を行う授業科目の種別		a：実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目	
		担当教員の实務経験（経歴・資格等）	
		授業内容との関連性	
		b：企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目	
		学外講師の経歴・資格等	
		授業内容	

2022 武蔵野大学 通信教育部 シラバス

	c：企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、研修を行う授業科目		
	実習先・実習の目的		
備考			

科目名		教育の制度	
担当教員		植竹 丘	
授業方法		講義	
科目の概要	到達目標	この科目では、現代日本の教育制度について、法令上どのように規定されているかについての知識を得ること、どのような改革が行われてきたのかを理解すること及びどのような課題が残されているのかについての知識を得ることを目的とする。	
	テキストの概要	このテキストでは、現代日本、特に平成18年12月の教育基本法改正を踏まえた教育制度について学びます。教育の制度は、学校や教室の中で行われる教員の仕事に直接・間接に影響を与えますが、どのような制度があり、それらの制度がどのような考え方にに基づき導入されたのかを知ることは、教室の中のみ視点を置こうとする見方を客観的に観察する基礎となります。	
授業計画		<p>WB Tで出題される所定の回数のエクササイズに合格の後、WB T上で行われる単位認定試験に合格することで 2単位を認定します。</p> <p><自宅学習></p> <p>第1章 「学校」とは何か 第2章 近代公教育制度の誕生 第3章 近代日本における学校制度の展開 第4章 戦後日本における学校制度の展開 第5章 教育法制と学校 第6章 国の教育行政と学校 第7章 地方の教育行政と学校 第8章 学校の組織と運営 第9章 学校と児童生徒 第10章 学校と教職員 第11章 学校と教育課程 第12章 学校と家庭・地域</p>	
成績評価の方法		単位認定試験	
実践的教育を行う授業科目の種別	a：実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目		
	担当教員の实務経験 (経歴・資格等)		
	授業内容との関連性		
	b：企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目		
	学外講師の経歴・資格等		
	授業内容		

2022 武蔵野大学 通信教育部 シラバス

	c：企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、 研修を行う授業科目	
	実習先・実習の目的	
備考		

科目名		特別支援教育
担当教員		鳥海 順子
授業方法		講義
科目の概要	到達目標	<p>この科目では、特別支援教育についての基本的考え方を理解し、障害を持つ子どもの育ち及び学習を支援する方法についての基礎知識を習得することを目的とします。</p> <p>障害をもつ子どもに接するとき私たちが無意識にもつ考え方を意識化して捉え、障害を多面的に捉えるようにします。また、障害をもつ子どもの教育について、基礎知識を習得します。さらに、統合保育や小学校、中学校、高等学校における特別支援教育における子どもたちの育ちの様子や支援の方法、保育者・教師の在り方、他機関との連携についての理解を深めます。</p>
	テキストの概要	<p>このテキストでは、「第Ⅰ部 障害とはどういうことか」、「第Ⅱ部 障害をどのように理解し支援すればよいか」、「第Ⅲ部 障害にどのような教育的支援が必要か」の3つの大きな柱を立て、障害および障害を持つ子どもへの支援について学びます。障害を持つ子どもの幼児期から学童期以降にわたる障害児教育(保育)を見通し、個別的な対応だけでなく、集団を活かした支援や、保護者を含めた家族支援の視点をとり入れたテキストとなっています。</p> <p>「第Ⅰ部 障害とはどういうことか」では、基礎知識として、障害の捉え方、障害児教育・保育の歴史的視点について学びます。また実際に子どもの教育に当たる際に不可欠な障害児の発達とアセスメントについても理解を深めましょう。</p> <p>「第Ⅱ部 障害をどのように理解し支援すればよいか」では、障害の種別ごとに、その特徴について理解を深め、支援の留意点について学びましょう。</p> <p>「第Ⅲ部 障害にどのような教育的支援が必要か」では、幼児期から学童期以降にわたる障害児教育(保育)の実践における展開を念頭に、個別的な対応だけでなく、集団を活かした支援や、保護者を含めた家族支援にも理解を深めていきます。</p>
授業計画		<p>WB Tで出題される所定の回数のエクササイズに合格の後、WB T上で行われる単位認定試験に合格することで2単位を認定します。</p> <p><自宅学習></p> <p>第Ⅰ部 障害とはどういうことか</p> <p>第1章 障害の捉え方</p> <p>第2章 障害児教育(保育)の歴史的視点</p> <p>第3章 障害児の発達とアセスメント</p> <p>第Ⅱ部 障害をどのように理解し支援すればよいか</p> <p>第4章 視覚障害・聴覚障害の理解と支援、第5章 知的障害の理解と支援、</p> <p>第6章 肢体不自由の理解と支援、第7章 病虚弱の理解と支援、</p> <p>第8章 自閉症の理解と支援、第9章 ADHD の理解と支援</p> <p>第10章 学習障害の理解と支援</p> <p>第Ⅲ部 障害にどのような教育的支援が必要か</p>

2022 武蔵野大学 通信教育部 シラバス

	第 11 章 保育・療育機関などにおける障害児保育の展開 第 12 章 小学校・中学校などにおける特別支援教育の展開 第 13 章 特別支援学校における特別支援教育の展開 第 14 章 個別の教育支援計画などの作成と実施 第 15 章 クラスにおける障害児と保護者への支援
成績評価の方法	単位認定試験
実践的教育を行う 授業科目の種別	a：実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目
	担当教員の実務経験 (経歴・資格等)
	授業内容との関連性
	b：企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目
	学外講師の経歴・資格等
	授業内容
	c：企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、 研修を行う授業科目
	実習先・実習の目的
備考	

科目名		初等国語科指導法	
担当教員		勘米良 祐太	
授業方法		講義	
科目の概要	到達目標	この教科では、小学校の国語科教育の指導理念や内容、方法に関する理解を深め、教材化する力や実践する力の基礎を身に付けることを目標とします。	
	テキストの概要	<p>このテキストは、そのまえがきにもあるように、これから小学校の教師になろうとする人たちのために、小学校における国語科教育の内容や方法などが具体的にわかるように編集されています。</p> <p>第1章では、国語科の構造や目標、内容など、「国語」という教科の基本的なことを取り上げています。国語の学力や学習指導要領のことなど、国語科指導の前提となる内容にふれています。第2章では教材研究、指導計画、評価、指導法、主体的・対話的で深い学び、カリキュラム・マネジメントなど、国語科指導の実践上の原理的なことを取り上げています。第3章は、国語科のそれぞれの領域等に関する授業がイメージできるように、学習指導の具体的な実践について述べられています。第4章は国語科教育を進めていく教師の常識として大事なことを取り上げています。国語科の長い歴史や基礎的な日本語の知識、児童の一般的な特徴などにふれています。さらに、国語科基本用語解説や付録も大切な知識として示されています。</p>	
授業計画		<p>スクーリング（0単位）とWBTによる学習（2単位）の計2単位の科目です。</p> <p><スクーリング></p> <p>テキスト『小学校国語科授業研究(第五版)』の第1章～第4章にかかわる内容を踏まえ、小学校国語科教育の目標や指導内容に関わる講義と模擬授業を行います。</p> <p><自宅学習></p> <p>第1章 国語科の体系 第2章 実践への視点 第3章 実践の研究 第4章 国語科の基礎知識、国語科基本用語解説、付録</p>	
成績評価の方法		単位認定試験	
実践的教育を行う授業科目の種別	a：実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目		
	担当教員の実務経験（経歴・資格等）		
	授業内容との関連性		
	b：企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目		
	学外講師の経歴・資格等		
	授業内容		

2022 武蔵野大学 通信教育部 シラバス

	c：企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、 研修を行う授業科目	
	実習先・実習の目的	
備考		

科目名		初等社会科指導法
担当教員		佐藤 克士
授業方法		講義
科目の概要	到達目標	この科目では、小学校の教科の1つである社会科の授業の指導法を学びます。新学習指導要領（平成29年版）が示す小学校社会科の目標・内容・方法を理解し、実際の授業づくりに生かすことができるようになることが目標です。そのためには、小学校社会科の特質が分かり、指導内容や指導方法などの基礎的な考え方を理解するとともに、指定テキスト以外の文献で学びを深めたり、教育現場に足を運び、実際に行われている授業を見たりすることが重要です。
	テキストの概要	本テキストは、小学校学習指導要領作成協力者の協力を得て編集したものです。今回の改訂では、教育基本法や学校教育法などの規定、平成28年12月の中央教育審議会答申を踏まえて、作成されています。本科目では、テキスト『小学校学習指導要領(平成29年告示)解説 社会編』を熟読し、レポート作成やスクリーンを受講することを通して、小学校学習指導要領における社会科の理解を深めるとともに、その考え方に基づく授業づくりができるようにします。
授業計画		スクーリング（0単位）とレポートによる学習（2単位）の計2単位の科目です。 <スクーリング> 第01回 改訂の経緯と基本方針【第1章】 第02回 社会科改訂の趣旨と要点【第1章】 第03回 社会科の目標（教科の目標と学年の目標）【第2章】 第04回 社会科の内容構成【第2章】 第05回 第3学年の目標及び内容【第3章】 第06回 第4学年の目標及び内容【第3章】 第07回 第5学年の目標及び内容【第3章】 第08回 第6学年の目標及び内容【第3章】 第09回 スクーリング（小学校社会科の授業づくり・ICTの活用） 第10回 スクーリング（学習指導案の書き方） 第11回 レポート課題1 第12回 レポート課題2 第13回 スクーリング（模擬授業・授業分析） 第14回 スクーリング（模擬授業・授業分析） 第15回 単位認定試験 <自宅学習> 第1章 総説 第2章 社会科の目標及び内容 第3章 各学年の目標及び内容 第4章 指導計画の作成と内容の取扱い
成績評価の方法		単位認定試験

2022 武蔵野大学 通信教育部 シラバス

実践的教育を行う 授業科目の種別	a：実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目		
	担当教員の実務経験 (経歴・資格等)		
	授業内容との関連性		
	b：企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目		
	学外講師の経歴・資格等		
	授業内容		
	c：企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、 研修を行う授業科目		
	実習先・実習の目的		
備考			

科目名		初等算数科指導法	
担当教員		小野 健太郎	
授業方法		講義	
科目の概要	到達目標	この科目では、小学校教員養成課程における算数科指導法に関する知識の獲得を目的とします。	
	テキストの概要	このテキストでは、まず数学教育学、算数教育の歴史を学びます。次に、学習指導要領の要点を学びます。そして、算数科の4つの領域である「A数と計算」「B量と測定」「C図形」「D数量関係」について、特に今日的課題を中心に考察します。また、後半部では「集合・論理」「ICT（情報通信技術）」「評価と学力調査」「研究の手引」について学びます。	
授業計画		スクーリング（0単位）とWBTによる学習（2単位）の計2単位の科目です。 〈自宅学習〉 第1章 数学教育学とは 第2章 算数教育の歴史 第3章 学習指導要領の要点 第4章 数と計算 第5章 量と測定 第6章 図形 第7章 数量関係 第8章 集合・論理 第9章 情報通信技術を活用した算数教育 第10章 評価と学力調査 第11章 算数教育を研究するための手引き	
成績評価の方法		単位認定試験	
実践的教育を行う授業科目の種別	a：実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目		○
	担当教員の实務経験（経歴・資格等）	（小野 健太郎先生 経歴） 2007-2017年 小学校教員	
	授業内容との関連性	小学校教員の経験から、算数科の実践的な計画・指導・評価について解説する	
	b：企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目		
	学外講師の経歴・資格等		
	授業内容		
	c：企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、研修を行う授業科目		

2022 武蔵野大学 通信教育部 シラバス

	実習先・実習の目的	
備考		

科目名		初等理科指導法
担当教員		樋口 昇
授業方法		講義
科目の概要	到達目標	<p>この科目では、小学校教員として、児童を指導するために必要な基礎的な能力、その中でも「理科に関する能力」を養成することを目的としています。</p> <p>具体的には、以下の資質・能力を身に付けることを目標にします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校理科の目標や内容を理解し、教科の本質を捉えること。 ・小学校理科の指導内容、指導方法、評価の在り方について理解すること。 ・小学校理科学習指導案の作成や模擬授業の実践を通して、授業の持ち方について理解すること。
	テキストの概要	<p>このテキストは、文部科学省において、小学校学習指導要領解説理科編作成協力者の協力を得て編集したものです。大綱的な規準である学習指導要領の記述の意味や解釈などの詳細について説明するために、小学校学習指導要領第2章第4節「理科」について、その改善の趣旨や内容を解説しています。小学校学習指導要領は、これまでも何度も改訂されてきましたが、今回の改訂は、教育基本法や学校教育法等の規定、平成28年12月の中央教育審議会答申を踏まえて、これまでの我が国の学校教育の実践や蓄積を活かし、</p> <p>① 子供たちが未来社会を切り拓くための資質・能力を一層確実に育成すること。その際、子供たちに求められる資質・能力とは何かを社会と共有し、連携する「社会に開かれた教育課程」を重視すること</p> <p>② 知識及び技能の習得と思考力、判断力、表現力等の育成のバランスを重視する現行学習指導要領の枠組みや教育内容を維持した上で、知識の理解の質をさらに高め、確かな学力を育成すること</p> <p>③ 道徳教育の充実や体験活動の重視、体育・健康に関する指導の充実により、豊かな心や健やかな体を育成すること</p> <p>を基本的な考え方として行われたものです。</p> <p>このテキストを通して、小学校学習指導要領「理科」についての理解を深めるとともに、創意工夫を生かした特色ある教育課程を編成・実施できるようにします。</p>
授業計画		<p>スクーリング（0単位）とWBTによる学習（2単位）の計2単位の科目です。</p> <p>WBTで出題される所定の回数のエクササイズに合格の後、WBT上で行われる単位認定試験に合格することで2単位を認定します。</p> <p><自宅学習></p> <p>第1章 総説</p> <p>第2章 理科の目標及び内容</p>

	<p>第3章 各学年の目標及び内容</p> <p>第4章 指導計画の作成と内容の取扱い</p> <p><スクーリング></p> <p>第01講 [学習指導要領及び同解説に見る小学校理科・その変遷① (目標、内容、教育方法、問題解決の過程など)]</p> <p>第02講 [学習指導要領及び同解説に見る小学校理科・その変遷② (内容の系統性、単元構成、教材教具など)]</p> <p>第03講 [小学校理科3年生の単元構成と問題解決① (エネルギー・粒子分野)]</p> <p>第04講 [小学校理科3年生の単元構成と問題解決② (生命・地球分野)]</p> <p>第05講 [小学校理科4年生の単元構成と問題解決① (エネルギー・粒子分野)]</p> <p>第06講 [小学校理科4年生の単元構成と問題解決② (生命・地球分野)]</p> <p>第07講 [小学校理科5年生の単元構成と問題解決① (エネルギー・粒子分野)]</p> <p>第08講 [小学校理科5年生の単元構成と問題解決② (生命・地球分野)]</p> <p>第09講 [小学校理科6年生の単元構成と問題解決① (エネルギー・粒子分野)]</p> <p>第10講 [小学校理科6年生の単元構成と問題解決② (生命・地球分野)]</p> <p>第11講 [小学校理科と生活科や道徳との関連、中学校・高等学校との系統性]</p> <p>第12講 [安全指導の基本 (薬品、実験器具、野外活動) (観察・実験の指導上の留意点と教材教具の工夫) 、学習指導案作成]</p> <p>第13講 [模擬授業①・・・内容 (エネルギー・粒子分野)]</p> <p>第14講 [模擬授業②・・・内容 (生命・地球分野)]</p> <p>第15講 [単位認定試験]</p>	
成績評価の方法	単位認定試験	
実践的教育を行う 授業科目の種別	a：実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目 ○	
	担当教員の実務経験 (経歴・資格等)	<p>(樋口 昇先生 職歴)</p> <p>〈教育機関〉</p> <p>○1980-1995 小学校教員として理科の学習指導 ○</p> <p>2006-2015 小学校長として理科の学習指導を助言</p> <p>〈行政機関〉</p> <p>○1996-2011 東京都教育委員会・区市教育委員会にて理科教育に関する指導・助言</p>
	授業内容との関連性	○小学校教員・校長の経験及び教育委員会勤務の経験から、小学校理科の実践的な指導方法について解説する。
	b：企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目	
	学外講師の経歴・資格等	
	授業内容	
c：企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、研修を行う授業科目		

2022 武蔵野大学 通信教育部 シラバス

	実習先・実習の目的	
備考		

科目名	初等生活科指導法
担当教員	叶 雅之
授業方法	講義
科目の概要	到達目標
	テキストの概要
授業計画	

この科目では、小学校教員として、児童を指導するために必要な基礎的な能力、その中でも「生活科に関する能力」を養成することを目的としています。

具体的には、以下の資質・能力を身に付けることを目標にします。

- ・小学校生活科の目標や内容を理解し、教科の本質を捉えること。
- ・小学校生活科の指導内容、指導方法、評価の在り方について理解すること。
- ・小学校生活科学習指導案の作成や模擬授業の実践を通して、授業の指導法について理解すること。

このテキストは、文部科学省において、小学校学習指導要領解説生活編作成協力者の協力を得て編集したものです。大綱的な規準である学習指導要領の記述の意味や解釈などの詳細について説明するために、小学校学習指導要領第2章第5節「生活」について、その改善の趣旨や内容を解説しています。小学校学習指導要領は、これまでも何度も改訂されてきましたが、今回の改訂は、教育基本法や学校教育法等の規定に則り、平成28年12月の中央教育審議会答申を踏まえて、

- ① 教育基本法等を踏まえ、子供たちが未来社会を切り拓くための資質・能力を一層確実に育成する。その際、子供たちに求められる資質・能力とは何かを社会と共有し、連携する「社会に開かれた教育課程」を重視すること
- ② 知識・技能の習得と思考力・判断力・表現力等の育成のバランスを重視するとともに知識の理解の質を更に高め、確かな学力を育成すること
- ③ 道徳教育の充実や体験活動の重視、体育・健康に関する指導の充実により、豊かな心と健やかな体を育成すること

を基本的なねらいとして行われたものです。

このテキストを通して、小学校学習指導要領「生活」についての理解を深めるとともに、創意工夫を生かした特色ある教育課程を編成し、授業を実践できるようにします。

WB Tで出題される所定の回数エクササイズに合格し、スクーリング（模擬授業等を予定）を行い、WB T上で行われる単位認定試験に合格することで2単位を認定します。

<自宅学習>

第1章 総説
 第2章 生活科の目標
 第3章 生活科の内容
 第4章 指導計画の作成と内容の取扱い
 第5章 指導計画の作成と学習指導

<スクーリング>

各回の予定

	<p>各回で予定されている内容は以下の通りです（順番等が変更される場合があります）。</p> <p>第01講 [学習指導要領に見る小学校生活科・・・生活科の誕生、目標、内容の構成など]</p> <p>第02講 [生活科の内容とその取扱い①・・・学校と生活]</p> <p>第03講 [生活科の内容とその取扱い①・・・学校と生活]</p> <p>第04講 [生活科の内容とその取扱い②・・・家庭と生活]</p> <p>第05講 [生活科の内容とその取扱い③・・・地域と生活]</p> <p>第06講 [生活科の内容とその取扱い④・・・公共物や公共施設の利用]</p> <p>第07講 [生活科の内容とその取扱い⑤・・・季節の変化と生活、小テスト①]</p> <p>第08講 [生活科の内容とその取扱い⑥・・・自然や物を使った遊び]</p> <p>第09講 [生活科の内容とその取扱い⑦・・・動植物の飼育・栽培]</p> <p>第10講 [生活科の内容とその取扱い⑧・・・生活や出来事の交流]</p> <p>第11講 [生活科の内容とその取扱い⑨・・・自分の成長]</p> <p>第12講 [模擬授業①・・・単元指導計画作成の留意点、学習指導案作成①]</p> <p>第13講 [模擬授業②・・・単元指導計画作成の留意点、学習指導案作成②]</p> <p>第14講 [模擬授業③・・・面接授業（内容例①～④）]</p> <p>第15講 [模擬授業④・・・面接授業（内容例⑤～⑨）]</p> <p>第16講 [単位認定試験]</p>	
成績評価の方法	単位認定試験	
実践的教育を行う 授業科目の種別	a：実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目	
	担当教員の実務経験 (経歴・資格等)	
	授業内容との関連性	
	b：企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目	
	学外講師の経歴・資格等	
	授業内容	
	c：企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、研修を行う授業科目	
	実習先・実習の目的	
備考		

科目名		初等音楽科指導法（SR）	
担当教員		中村 昭彦	
授業方法		講義	
科目の概要	到達目標	この教科は、小学校教師を養成する専修のうち初等教育に関するものです。音楽科指導法では、音楽科の歴史や意義、教材研究の仕方及び指導法を学ぶことが目標です。これには、指導に必要な歌唱、楽器、指揮法などの基礎的な知識を習得することも含まれています。	
	テキストの概要	テキストは、小学校の音楽の教科書（1～6年）です。これは、子どもたちが使うものと同じもので、各講義の内容に応じた個所を、子どもの立場で用いることが主な使用用途です。講義内容に関するものは、その都度、資料を配布します。	
授業計画		<p>本校（東京都西東京市）で行われるスクーリング（全7コマ）に出席することと、その時に出される音楽通論のレポート課題を教科書を参考にしながらこなし、次回スクーリングで提出すること。最終日に教員より課される単位認定試験に合格することで2単位を認定します。</p> <p><スクーリング></p> <p>第01回 [ガイダンスと小学校音楽科について]</p> <p>第02回 [音楽科の歴史]</p> <p>第03回 [学習指導案の作成と評価について]</p> <p>第04回 [歌唱の学習と指導]</p> <p>第05回 [器楽の学習と指導]</p> <p>第06回 [鑑賞の学習と指導]</p> <p>第07回 [音楽づくりの学習と指導]</p> <p><自宅学習></p> <p>小学校音楽科について</p> <p>音楽科の歴史</p> <p>学習指導案の作成と評価について</p> <p>歌唱の学習と指導</p> <p>器楽の学習と指導</p> <p>鑑賞の学習と指導</p> <p>音楽づくりの学習と指導</p>	
成績評価の方法		単位認定試験	
実践的教育を行う授業科目の種別		a：実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目	○
		担当教員の実務経験（経歴・資格等）	<p>（中村 昭彦先生 職歴）</p> <p>港区立芝浦小学校 非常勤講師（1年7ヶ月）</p> <p>城北埼玉中学・高等学校 非常勤講師（7ヶ月）</p> <p>稲城市立第五中学校 非常勤講師（4ヶ月）</p> <p>（中村 昭彦先生 資格）</p>

2022 武蔵野大学 通信教育部 シラバス

	小学校教諭専修免許状 中学校教諭専修免許状（音楽） 高等学校教諭専修免許状（音楽）
授業内容との関連性	小学校・中学校教員の経験から、音楽科の実践的な計画・指導・評価について解説する
b：企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目	
学外講師の経歴・資格等	
授業内容	
c：企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、研修を行う授業科目	
実習先・実習の目的	
備考	

科目名		初等図画工作科指導法（S T）	
担当教員		大杉 健・生井 亮司	
授業方法		講義	
科目の概要	到達目標	<p>本科目では小学校における図画工作科の指導・運営を行えるようになることを目的としています。</p> <p>そのために図画工作科の意義や歴史を学ぶこと、また具体的な指導案の作成、評価の方法などのさまざまな事項について学ぶ必要があります。</p> <p>図画工作科は決まった解答が用意されていないため一見すると比較的容易な授業のようにもみえます。ところが決まった解答が用意されていないがゆえに難しさが潜んでいるともいえます。こうした難しさを少しでも解決するために本教科を通して図画工作科の原理性、存在意義をしっかりと理解してください。</p>	
	テキストの概要	<p>テキスト『美術科教育の基礎知識』では、第1章では美術科図画工作科の意義、その歴史、また諸外国での事例が示されています。第2章では本教科で扱われる領域、具体的な内容が示されます。第3章では学習指導要領について取り上げ法的な根拠が述べられています。第4章では実際の学校現場におけるの運営や学習環境について取り上げられています。</p> <p>さらにテキスト『小学校学習指導要領 図画工作編』についても参照してください。</p>	
授業計画		<p>スクーリングとWB Tによる学習の2単位の科目です。</p> <p><スクーリング></p> <p>第1回スクーリング</p> <p>第01講 [指導要領 図画工作概要]</p> <p>第02講 [実際の授業と指導案]</p> <p>第2回スクーリング</p> <p>第03講 [模擬授業①]</p> <p>第04講 [模擬授業② まとめ]</p>	
成績評価の方法		単位認定試験	
実践的教育を行う授業科目の種別	a：実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目		
	担当教員の実務経験 (経歴・資格等)		
	授業内容との関連性		
	b：企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目		
	学外講師の経歴・資格等		
	授業内容		

2022 武蔵野大学 通信教育部 シラバス

	c：企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、研修を行う授業科目	
	実習先・実習の目的	
備考		

科目名	初等家庭科指導法	
担当教員	佐藤 麻子	
授業方法	講義	
科目の概要	到達目標	この科目では、小学校家庭科を担当するために必要な基礎知識（教科目標、内容、学習方法等）を理解し、児童の発達段階や社会状況を考慮して学習指導案を作成できるようになることを目標としています。スクーリングでは、作成した学習指導案や教材をもとに模擬授業を行い、授業実践力を身につけます。
	テキストの概要	<p>「初等家庭科指導法」では2冊のテキストを使用します。ひとつは『小学校学習指導要領解説 家庭編』〔文部科学省 東洋館出版社〕（以下学習指導要領解説とする）、もうひとつは『小学校指導法 家庭』〔池崎喜美恵編著 玉川大学出版部〕（以下テキストとする）です。</p> <p>学習指導要領解説は、文部科学省が教育基本法や学校教育法等に基づいて、小学校家庭科の目標や内容など教育課程の基準を定めた『小学校学習指導要領』の第2章 第8節「家庭」をより詳細に記載した解説書です。学習指導要領は教科書や各学校での指導内容のもとになるものなので、この解説書を読み解き、趣旨を理解することが小学校家庭科を指導する上で必要です。</p> <p>テキストは「第I編 家庭科教育の理論と方法」、「第II編 家庭科教育の実践」に分かれています。第I編では、家庭科教育の本質、目標、内容、家庭科の歴史について概説しています。また、家庭科の学習形態や指導方法、評価について解説しています。第II編では、家族・家庭生活、食生活、衣生活、住生活、消費・環境について、指導する上で必要な事項を解説しています。また、家庭科の学習指導計画や授業実践例、家庭科の施設・設備など、指導上習得しておくべき事項も概説されています。第I編の家庭科や家庭科教育の理論を踏まえた上で、第II編で基礎的・基本的な事項をおさえることが大切です。</p>
授業計画	<p>スクーリング（0単位）とWB Tによる学習（2単位）の計2単位の科目です。</p> <p>WB Tで出題される所定の回数のレポートおよび単位認定試験レポートを提出し合格することで 単位を認定します。</p> <p><スクーリング></p> <p>スクーリングでは作成した学習指導案をもとに模擬授業を行います。</p> <p>テキスト第11章と下記を参考に、所定の形式を用いて題材案および時案（テキスト pp.173-177 参照）を作成</p> <p><自宅学習></p> <p>第1回レポート：学習指導要領解説・テキストより 第2回レポート：学習指導要領解説・テキストより 単位認定試験レポート：学習指導要領解説・テキストより</p>	
成績評価の方法	単位認定試験	
	a：実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目	○

2022 武蔵野大学 通信教育部 シラバス

実践的教育を行う 授業科目の種別	担当教員の実務経験 (経歴・資格等)	(佐藤 麻子先生 経歴) 〈教育機関〉 1977年4月-1998年3月 小学校教員(全科)、2016年4月- 2020年3月 小学校継続雇用非常勤(家庭科) 1998年4月- 2016年3月 中学校教員(技術・家庭)、2020 年5月 - 2121年3月 小学校臨時教員(家庭科)	
	授業内容との関連性	・小学校・中学校の教員経験と、附属学校での教育実習生指導 を生かして、児童の発達段階に応じた実践的な授業方法につい て、事例を示しながら解説する。	
	b: 企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目		
	学外講師の経歴・資格等		
	授業内容		
	c: 企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、 研修を行う授業科目		
	実習先・実習の目的		
備考			

科目名		初等体育科指導法（SR）	
担当教員		安達 光樹	
授業方法		講義	
科目の概要	到達目標	この科目では、生涯にわたってスポーツに親しむことの意味を考え、小学校体育の目標や内容および方法を理解し、児童の実態や発達段階を踏まえた授業が行えるようにします。	
	テキストの概要	子どもにとって運動はどのような意味をもつのか、生涯にわたってスポーツに親しむためには学校での体育で何を大切にすることがあるのか、本講座ではそういった小学校の体育授業の理論と実践を学んでいきます。理論編では「体育は何をめざすのか（目標）」「体育は何を教えるのか（内容）」「体育ではいかに教えるのか（方法）」について考えていきます。また、実践編ではスクーリングでの実技研修や模擬授業を通して、体育の指導力を高めていきます。	
授業計画		<p>スクーリング（0単位）とWBTによる学習（2単位）の計2単位の科目です。 WBTで出題される所定の回数のレポートおよび単位認定試験レポートを提出し・合格することで単位を認定します。</p> <p><自宅学習></p> <p>（第1回レポート）テキストより （第2回レポート）学習指導案作成 （単位認定試験レポート）テキストとスクーリングより</p> <p>《スクーリング》</p> <p>（第1回スクーリング） ガイダンス、体育の理論的講義、模擬授業について （第2回スクーリング） 実技研修（器械運動） （第3回スクーリング） 模擬授業と授業についての検討会 （第4回スクーリング） 模擬授業と授業についての検討会</p>	
成績評価の方法		単位認定試験	
実践的教育を行う授業科目の種別		a：実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目	
		担当教員の实務経験（経歴・資格等）	
		授業内容との関連性	
		b：企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目	
		学外講師の経歴・資格等	

2022 武蔵野大学 通信教育部 シラバス

	授業内容	
	c : 企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、研修を行う授業科目	
	実習先・実習の目的	
備考		

科目名		初等外国語（英語）指導法
担当教員		伊藤 摂子
授業方法		講義
科目の概要	到達目標	小学校における外国語活動（中学年）・外国語（高学年）の学習・指導・評価に関する基本的な知識・指導技術を身に付け、小学校外国語・外国語活動の理論と実践の理解を目的とし、現場で教えることができるための基礎作りを行う。
	テキストの概要	このテキストでは、小学校における外国語活動・外国語の授業を担当するために必要な基本的な知識、身に付けておきたい基本的な指導技術、様々な課題の理解について学ぶことができる。テキストは14章構成となっており、外国語教育のこれまでの流れや目的と合わせ、各章末の課題に取り組みながら実践的な力を身に付けることを目的としている。
授業計画		<p>スクーリング（0単位）とWBTによる学習（2単位）の計2単位の科目です。 WBTで出題される所定の回数のレポートおよび単位認定試験レポートを提出し・合格することで単位を認定します。</p> <p><スクーリング></p> <p>テキスト『小学校英語教育法入門』の第4章、第5章、第10章、第12章、第13章、巻末資料①の内容を中心に取り扱いながら模擬授業を行う。その他の章については、直接は取り上げないが、模擬授業を行うために事前に知っておくべき知識が含まれるため、スクーリング受講時にはテキストを一通り読み終えておくこと。指導案を作成するため、必ずテキストを持参すること。</p> <p><自宅学習></p> <p>第1章 外国語教育の目的と目標 第2章 関連分野から見る外国語教育の意義と方向性 第3章 指導者の役割、資質と研修 ―よりよい指導者をめざして― 第4章 教材の構成と内容 第5章 指導目標、領域別目標、年間指導計画の立て方と具体例 第6章 言語材料と4技能の指導 第7章 教材研究① ―児童が英語に楽しく触れ、慣れ親しむ活動― 第8章 教材研究② ―児童が創意工夫し、生き生き英語を使う活動― 第9章 指導法と指導技術 第10章 いろいろな教材、教具の活用法 第11章 評価のあり方、進め方 第12章 授業過程と学習指導案の作り方 第13章 授業づくり ―事前準備から振り返りまで― 第14章 豊かな小学校外国語教育をめざして ―外国語活動の成果と課題を踏まえて―</p>
成績評価の方法		単位認定試験
		a：実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目 ○

2022 武蔵野大学 通信教育部 シラバス

実践的教育を行う 授業科目の種別	担当教員の実務経験 (経歴・資格等)	(伊藤 摂子先生 経歴) 公立小学校で ALT として外国語活動を指導 (2000 年から 2015 年まで) 小学校非常勤教員 (2006 年度、2008 年度) 中学・高校の非常勤英語教員 (2010 年から 2012 年まで)	
	授業内容との関連性	実際の小学校の現場で指導していた外国語教育の状況、児童の様子を理解しているため、小学校教員として必要な英語力や英語内容を理解している。 中学高等学校の英語教員をしていたため、文法や発音を含めた英語指導ができる。	
	b: 企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目		
	学外講師の経歴・資格等		
	授業内容		
	c: 企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、研修を行う授業科目		
	実習先・実習の目的		
備考			

科目名	国語科指導法A
担当教員	初谷 和行
授業方法	講義
科目の概要 到達目標	<p>国語科教育の目的・理念を理解し、それを達成するための内容や方法を学ぶ。さらに具体的な教材づくりの発想、教材研究の方法の習得までを「国語科指導法A（旧：国語科指導法I）」の学習内容とする。</p> <p>まず、国語とは何であろうか。日本語と国語は同じなのであるか、違うのであるか。共通語がなかったという意味で明治時代以前は日本各地で様々な方言があるだけであった。明治政府は1900（明治33）年に小学校令施行規則で国語科を創設する。つまり、国語とは国家がめざした制度としての日本語である。その後の学校教育とメディアの発達、とりわけテレビの普及が共通語としての国語を定着させた。しかし、今日の国語科教育は方言を排除するのではなく、方言をも囲い込んで理念としていることも認識しておきたい。</p> <p>近年はグローバル社会の中で外国語（英語・中国語・アラビア語等）に対して、「国語」ではなく「日本語」を名称として使うべきだという議論もある。また、母語教育としての国語教育と外国人への日本語教育の使い分けもなされている。さらに外来語の日本語化もおびただしく、第2公用語としての英語も議論されている。</p> <p>以上、古語も含め日本の言語文化体系の現在を「国語」という概念は抱え込んでいるのである。言語は生き物である。私たちは生命体としての日本語文化を生きている。こう考えてくると国語科教育としての国語は、全ての国民が学ぶべき日本語・日本語文化の基礎基本を学習内容として継承し、さらなる言語文化の創造をめざすものであると言えよう。</p> <p>次に、中・高等学校での「国語」はどのような教科なのであるか。文部科学省『中学校学習指導要領 国語編』（平成29年版）では国語の時間の「教科目標」をこのように掲げている。</p> <p>言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようになる。 (2) 社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養う。 (3) 言葉がもつ価値を認識するとともに、言語感覚を豊かにし、我が国の言語文化に関わり、 <p>国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。</p> <p>このことをまず確認しておきたい。例えば「あなたは私の太陽だ」という表現を元に「〇〇は私の□□だ」という表現を作る学習があったとする。この時、国語科の目標にある「言葉による見方・考え方を働かせ」というのは、この文における「太陽」が比喩表現（隠喩・暗喩）にあたることへの理解であり、この文における「太陽」は「あなた」のどのような面を指すのかを考えることにあたる。そしてそのような理解をもとに、自分自身で比喩表現をするという言語活動を伴う学習が設定されているのだ。そしてこのようなプロセスは、上記(1)～(3)にも繋がる。</p>

	<p>「国語科指導法A」では、国語・言葉の働きについて考えるとともに、国語科の学習がどのようにあるべきかを、理論、実践の両面から考えることを目的としたい。</p>	
<p>テキストの概要</p>	<p>「国語科指導法A（旧：国語科指導法I）」では、『あたらしい国語科指導法 五訂版』（柴田 義松、阿部 昇、鶴田 清司 編著、学文社、2018年）をテキストとする。学習の範囲は1章から3章である。（4章から6章は「国語科指導法B」で学ぶ）このテキストは、抽象的な一般論に陥りやすい国語科教育学説や学習指導要領に準拠した指導内容や方法の解説にとどまることの多かったこれまでの「国語科教育法」のテキストのあり方を反省し、民間の教育研究の成果も盛り込んだ広く深いものとなっている。また、あたらしい授業方法の紹介や今日的課題である「PISA型読解力」も解説されており、これからの国語科教師には大変興味深く役立つ情報が記述されている。そうした意味で斬新なテキストである。</p> <p>これまでの国語科は学習指導要領（平成20年中学校、平成22年高等学校）における「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」を除いて、一般に〈教科内容〉（国語科として身につけるべき内容）があいまいであった。「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」に関する知識、方法、技術として何を学んだかがはっきりしないのである。このようなことや、これから求められる教育という側面から新しい学習指導要領（平成29年中学校、平成30年高等学校）では、「知識及び技能」が置かれることで身につけるべき知識・技能を明確にしようとし、また「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」においても養うべき能力を明確にしようとしている。本テキストとそのような学習指導要領の流れの両面から、国語科で身につけるべき力とは何なのかについて学んで欲しい。</p>	
<p>授業計画</p>	<p>スクーリング（0単位）とWBTによる学習（2単位）の計2単位の科目です。 WBTで出題される所定の回数のレポートを提出・合格の後、WBT上で行われる単位認定レポートに合格することで2単位を認定します。</p> <p>〈自宅学習〉 第1回レポート : テキスト第1章～第2章3節（P5～P63） 第2回レポート : テキスト第2章4節～第3章（P64～P108） 単位認定レポート：テキスト第1章1節（P5～P12）</p> <p>〈スクーリング〉 スクーリングでは、国語科という教科の教科特性について学習することを予定している。</p>	
<p>成績評価の方法</p>	<p>単位認定試験</p>	
<p>実践的教育を行う授業科目の種別</p>	<p>a：実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目</p>	<p>○</p>
	<p>担当教員の実務経験 (経歴・資格等)</p>	<p>(初谷 和行先生 経歴) 2000年 - 2003年 特別支援学校（高等部国語科）教員</p>

2022 武蔵野大学 通信教育部 シラバス

	2003年 - 2013年 高等学校国語科教員 2016年 - 2017年 学習指導要領等の改善に係る検討に必要な専門的作業等 協力者 (小学校国語)
授業内容との関連性	高等学校教員の経験や、学習指導要領作成協力者の経験から、学習指導要領に基づく授業作りやその授業の分析に関する指導・助言等を行う。
b: 企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目	
学外講師の経歴・資格等	
授業内容	
c: 企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、研修を行う授業科目	
実習先・実習の目的	
備考	

科目名	国語科指導法B
担当教員	初谷 和行
授業方法	講義
科目の概要 到達目標	<p>「国語科指導法B（旧：国語科指導法Ⅱ）」では国語科の学習指導論を柱に授業構造や授業の方法・技術、評価法などを学ぶ。さらに新しい国語科の授業実践を紹介するとともに、国語科教師としての力量形成のための研修・研究の方法を理解する。以上が学習内容である。</p> <p>これまで「国語科指導法A」で国語科教育の目的・理念を理解し、それを達成するための内容や方法を学び、さらに具体的な教材づくりの発想、教材研究の方法の習得までを学習してきた。この学習成果を生かし「国語科指導法B」を学んで欲しい。</p> <p>まず、「学習指導論」という教育用語の意味を考えてみたい。「学習」は生徒の側からとらえた学習活動である。「指導」はもちろん教師の側からとらえた教育行為である。「学習指導」は学習と指導が一体のものであることを意味している。すなわち、「学習」は生徒一人ひとりの主体的な学びであり、それを成立させる営為が教師に求められる「指導」なのである。</p> <p>また、「指導」には必ず「評価」が伴う。通常「評価」は、5，4，3，という「評定」とは区別されている。生徒の学習活動の「つまずき」を発見するのが「評価」であり、その解決の手だてが「指導」である。このことを「指導と評価の一体化」と言う。一方的な「指導」のみある授業も、「評定」でレッテルを貼るだけの授業も教育活動ではない。</p> <p>これまで研究されてきた授業構造や授業の方法技術は、生徒の「学びのつまずき」に対応するための指導法の財産である。先達が開発してきた指導法や新しい指導法を常に広く深く学び、自らも研究開発を続けることが優れた国語科教師への道である。</p> <p>最後に、「単元」という教育用語に触れておく。「単元」とはユニットの訳である。一つのまとまりとしての「源流」を意味するが、一般的に「ひとまとまりの学習活動」と定義されている。そして単元学習に必要な要素として、1 学習者が追究課題を持っていること、2 課題目標に向かって言語活動（話す・聞く、読む、書く）が組織されていること、3 文章によるまとめがあることが挙げられる。例えば、学習者が「日本人にとって桜とは何か」という追究課題を持つ。そこで、たくさんの桜にまつわる文学作品等を読んで、話し合い、書いて本にまとめるのは国語科単元学習の典型である。しかし、芥川龍之介「羅生門」の1教材だけでも単元学習は成立する。「下人はなぜ老婆から引剥ぎをしたのか？」を追究課題に、読んだり、友だちと話し合ったり、自分の考えを作品論として書いてまとめても単元学習なのである。単元学習は複数教材でなければならないという考えは誤っている。</p> <p>さて、近年「国語嫌い」の生徒が多くなっているといわれているが、その主要な原因の一つが、学ぶべき〈教科内容〉のあいまいさと、達成感、向上感の欠如があるのではないかと考える。そこで、本テキストは国語科で何を学ばせるか、何を教えるかという教科内容論の観点を大切にして編集がなされている。国語科で生徒に何を学ばせるのか、その〈教科内容〉をしっかりと自覚して学習指導を仕組める国語科教師になることが「国語科指導法B」の最も大切な到達目標である。</p>

		<p>「国語科指導法B」は引き続き『あたらしい国語科指導法 五訂版』（柴田 義松、阿部昇、鶴田 清司 編著、学文社、2018年）をテキストとする。学習の範囲は4章から6章である。</p> <p>「あたらしい」と名づけられたのは、抽象的な一般論の国語科教育学説の網羅的な内容や学習指導要領に準拠した解説にとどまることなく、民間教育の成果もふまえた理論的かつ実践的な構成・内容で構成したからである。とりわけこれまで曖昧であった国語科で何をこそ教えるのかという〈教科内容〉を明らかにする方針でこの本は貫かれている。国語科教師をめざす学生にとって国語科で育てなければならない学力が明解に学べるテキストになっている。また、あたらしい授業方法の紹介や今日的課題であるPISA[読解力]も解説されており、これからの国語科教師には大変興味深く役立つ情報が記述されている。言葉による認識力の育成をめざした国語学力を生徒に習得させるために「何をどう学ばせればいいのか」を気鋭の研究者、実践者が執筆している。授業実践を想定した現場で役立つテキストと言えよう。</p>										
<p>授業計画</p>	<p>スクーリング（0単位）とWBTによる学習（2単位）の計2単位の科目です。</p> <p>〈スクーリング〉</p> <p>スクーリングでは、各自で行った「国語科指導法B」レポート課題（課題No1、No2それぞれ3つずつのレポート課題）をもとにした演習や講義を行う。</p> <p>〈自宅学習〉</p> <p>第1回レポート : テキスト第4章（P109～P154）</p> <p>第2回レポート : テキスト第5章（P155～P180）</p> <p>単位認定レポート : テキスト第6章（P191～P211）</p>											
<p>成績評価の方法</p>	<p>単位認定試験</p>											
<p>実践的教育を行う授業科目の種別</p>	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="172 1440 1353 1518"> <p>a：実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目</p> </td> <td data-bbox="1353 1440 1544 1518"> <p>○</p> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="172 1518 722 1765"> <p>担当教員の实務経験 (経歴・資格等)</p> </td> <td data-bbox="722 1518 1544 1765"> <p>(初谷 和行先生 経歴)</p> <p>2000年 - 2003年 特別支援学校(高等部国語科) 教員</p> <p>2003年 - 2013年 高等学校国語科教員</p> <p>2016年 - 2017年 学習指導要領等の改善に係る検討に必要な専門的作業等 協力者(小学校国語)</p> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="172 1765 722 1910"> <p>授業内容との関連性</p> </td> <td data-bbox="722 1765 1544 1910"> <p>高等学校教員の経験や、学習指導要領作成協力者の経験から、学習指導要領に基づく授業作りやその授業の分析に関する指導・助言等を行う。</p> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="172 1910 1353 1989"> <p>b：企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目</p> </td> <td data-bbox="1353 1910 1544 1989"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="172 1989 722 2065"> <p>学外講師の経歴・資格等</p> </td> <td data-bbox="722 1989 1544 2065"></td> </tr> </table>		<p>a：実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目</p>	<p>○</p>	<p>担当教員の实務経験 (経歴・資格等)</p>	<p>(初谷 和行先生 経歴)</p> <p>2000年 - 2003年 特別支援学校(高等部国語科) 教員</p> <p>2003年 - 2013年 高等学校国語科教員</p> <p>2016年 - 2017年 学習指導要領等の改善に係る検討に必要な専門的作業等 協力者(小学校国語)</p>	<p>授業内容との関連性</p>	<p>高等学校教員の経験や、学習指導要領作成協力者の経験から、学習指導要領に基づく授業作りやその授業の分析に関する指導・助言等を行う。</p>	<p>b：企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目</p>		<p>学外講師の経歴・資格等</p>	
<p>a：実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目</p>	<p>○</p>											
<p>担当教員の实務経験 (経歴・資格等)</p>	<p>(初谷 和行先生 経歴)</p> <p>2000年 - 2003年 特別支援学校(高等部国語科) 教員</p> <p>2003年 - 2013年 高等学校国語科教員</p> <p>2016年 - 2017年 学習指導要領等の改善に係る検討に必要な専門的作業等 協力者(小学校国語)</p>											
<p>授業内容との関連性</p>	<p>高等学校教員の経験や、学習指導要領作成協力者の経験から、学習指導要領に基づく授業作りやその授業の分析に関する指導・助言等を行う。</p>											
<p>b：企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目</p>												
<p>学外講師の経歴・資格等</p>												

2022 武蔵野大学 通信教育部 シラバス

	授業内容	
	c：企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、研修を行う授業科目	
	実習先・実習の目的	
備考		

科目名		書道科指導法A	
担当教員		廣瀬 裕之	
授業方法		講義	
科目の概要	到達目標	この科目では、小・中学校における国語科書写、高等学校では、芸術科書道として教育の場で存在する「書」について、その意義や歴史などの触れながら教員になるにあたって身につけておかなければならない基礎知識や入門期の指導法などを身につけることを目標とする。	
	テキストの概要	このテキストは、大学における小学校・中学校教員養成課程の書写の指導のために編集されたテキストである。書道教員になるには、書写の知識は不可欠である。書写では国語の能力として「いかに伝えるか」が学習されるのに対して、芸術である書道は、「何を伝えたいか」が学習活動の起点になる。 書写学習の最終段階といえる中学校第3学年では、小学校から書写学習を総括するとともに「効果的に書く」ことの先に文字を手書きすることの新たな在り方として、「美しく書く」ことや正しく整えて書くことを越えた芸術としての「自己を表現する」こと、「美そのものを表現する」ことへの関心を高める配慮が求められるようになってくる。このテキストには、この授業で必要な、書写書道教育の指導のための基礎基本の部分と入門期の指導法について細かく記載されている。	
授業計画		スクーリング（0単位）とWBTによる学習（2単位）の計2単位の科目です。 <スクーリング> 1、 書写と習字と書道の違い 正しい鉛筆の持ち方・市政 2、 小学校で教える漢字と仮名の書き方・筆順（鉛筆・チョーク） 3、 楷書の基本点画（毛筆） 4、 許容の形 5、 水書について <自宅学習> 第1回レポート【作品提出】：テキスト 指導内容編一文字を書くことの基礎 テキスト IV資料編8 『学年別漢字配当表』、6 平仮名と片仮名の教科書体活字 第2回レポート：テキスト III指導内容編一～四 単位認定レポート：テキスト中の今回学習したところすべて	
成績評価の方法		単位認定試験	
実践的教育を行う授業科目の種別		a：実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目	○
		担当教員の実務経験（経歴・資格等）	(廣瀬 裕之先生 経歴) 中学校国語科教員（書写担当）・高等学校芸術科書道教員 中学校・高等学校の文部科学省検定済教科書の編集執筆（書写・書道）

2022 武蔵野大学 通信教育部 シラバス

	教員養成用テキストの編集・執筆 書道家
授業内容との関連性	教員経験者であり、書写・書道教育の研究者であり、硬筆・毛筆の実技指導者である。
b：企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目	
学外講師の経歴・資格等	
授業内容	
c：企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、研修を行う授業科目	
実習先・実習の目的	
備考	

科目名		書道科指導法B	
担当教員		廣瀬 裕之	
授業方法		講義	
科目の概要	到達目標	この科目では、中学における書写、高等学校における書道の授業をおこなうために必要な知識とその指導法を身につけることを目的とする。	
	テキストの概要	このテキストは、大学における小学校・中学校教員養成課程の書写の指導のために編集されたテキストである。書道教員になるには、書写の知識は不可欠である。書写では国語の能力として「いかに伝えるか」が学習されるのに対して、芸術である書道は、「何を伝えたいか」が学習活動の起点になる。 小学校から中学校までの書写学習を総括するとともに「効果的に書く」ことの先に文字を手書きすることの新たな在り方として、「美しく書く」ことや正しく整えて書くことを越えた芸術としての「自己を表現する」こと、「美そのものを表現する」ことへの関心を高める配慮が求められるようになってくる。このテキストには、この授業で必要な、書写書道教育のための基礎基本の部分と入門期の指導法について細かく記載されている。	
授業計画		スクーリング（0単位）とWBTによる学習（2単位）の計2単位の科目です。 <スクーリング> 1、楷書の指導法と行書の基本 2、評価について 3、黒板の前で、模擬授業を行います。 <自宅学習> 第1回レポート：テキストⅢ 指導内容編 四～六 第2回レポート：テキストⅡ 書写授業の理論と実際 単位認定レポート：テキスト中の今回学習したところすべて	
成績評価の方法		単位認定試験	
実践的教育を行う授業科目の種別		a：実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目	
		担当教員の実務経験 (経歴・資格等)	(廣瀬 裕之先生 経歴) 中学校国語科教員（書写担当）・高等学校芸術科書道教員 中学校・高等学校の文部科学省検定済教科書の編集執筆（書写・書道） 教員養成用テキストの編集・執筆、いろいろな研究大会の研究授業等の講師(助言者) 書道家
		授業内容との関連性	教員経験者であり、書写書道教育の研究者であり、実技指導者である。
		b：企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目	

2022 武蔵野大学 通信教育部 シラバス

	学外講師の経歴・資格等	
	授業内容	
	c：企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、 研修を行う授業科目	
	実習先・実習の目的	
備考		

科目名		英語科指導法A	
担当教員		伊東 雅人・渡辺 英雄	
授業方法		講義	
科目の概要	到達目標	この科目では、新学習指導要領に基づき、中学または高校の英語授業における学習指導案が書けるようになることを目標とします。	
	テキストの概要	中学校、高校の検定教科書です。	
授業計画		<p>スクーリング（0単位）とWBTによる学習（2単位）の計2単位の科目です。</p> <p><自宅学習></p> <p>0 1. 学習指導要領 目標 (1) 聞くこと</p> <p>0 2. 学習指導要領 目標 (2) 読むこと</p> <p>0 3. 学習指導要領 目標 (3) 話すこと [やり取り]</p> <p>0 4. 学習指導要領 目標 (4) 話すこと [発表]</p> <p>0 5. 学習指導要領 目標 (5) 書くこと</p> <p>0 6. 学習指導要領 言語活動 聞くこと</p> <p>0 7. 学習指導要領 言語活動 読むこと</p> <p>0 8. 学習指導要領 言語活動 話すこと [やりとり]</p> <p>0 9. 学習指導要領 言語活動 話すこと [発表]</p> <p>1 0. 学習指導要領 言語活動 書くこと</p> <p>1 1. 学習指導案</p> <p><スクーリング></p> <p>スクーリングでは、「第2回レポート」で提出した学習指導案を検討していきます。受講人数によっては、模擬授業を行うことも考えています。</p>	
成績評価の方法		単位認定試験	
実践的教育を行う授業科目の種別	a：実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目		
	担当教員の实務経験（経歴・資格等）		
	授業内容との関連性		
	b：企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目		
	学外講師の経歴・資格等		
	授業内容		
	c：企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、研修を行う授業科目		

2022 武蔵野大学 通信教育部 シラバス

	実習先・実習の目的	
備考		

科目名		英語科指導法B
担当教員		櫻井 千佳子・細谷 開世
授業方法		講義
科目の概要	到達目標	<p>この科目では、以下のことを目的とする。</p> <p>(1) 中学・高校の外国語科の学習指導要領を踏まえた授業における詳細な授業展開案を書ける</p> <p>(2) 教室での指導上重要な英語表現や基礎的な指導技術を使える</p>
	テキストの概要	<p>このテキストは、英語で英語の授業をする際に活用できる英語表現や授業の手順を具体的に例示しています。第1章と第2章は、英語の授業中に使える英語のさまざまな表現や対話例を場面別に提示しています。これらの表現と対話は付属CDに音声でも収録されています。第3章は、第1章と第2章で示された表現を活用した授業の例を提示しています。教員と生徒の発言例がシナリオのように記述されており、中学上級から高校初級程度の教材を使って英語で授業を進める場合に、実際にどのようなやり取りがあるかが具体的に示されています。第4章は、授業中に生徒が行う英語を使った活動（「タスク」）の例を、その手順と使用するワークシートなどと共に提示しています。</p>
授業計画		<p>スクーリング（0単位）とWBTによる学習（2単位）の計2単位の科目です。</p> <p><自宅学習></p> <p>第1章 学習計画、基礎知識の確認</p> <p>第2章 授業展開案の作成：全体の構成</p> <p>第3章 授業展開案の作成：指導手順</p> <p>第4章 授業展開案の作成：新教材の導入</p> <p>第5章 授業展開案の作成：言語活動</p> <p>第6章 授業展開案の作成：機器、板書</p> <p>第7章 授業展開案の作成：全体の再検討、完成</p> <p>第8章 指導技術（1）板書、教具</p> <p>第9章 指導技術（2）指名、発問</p> <p>第10章 音読</p> <p>第11章 授業実践（1）Greeting、Warm-up、Review</p> <p>第12章 授業実践（2）新教材の導入</p> <p>第13章 授業実践（3）言語活動</p> <p>第14章 模擬授業【オンライン授業】</p> <p>第15章 総復習</p> <p><スクーリング></p> <p>第1回、第2回のレポート内容をスクーリングで扱う予定ですので、スクーリングまでに2回分のレポート提出、合格済みである事が望ましいです。計画的に学習を進めてください。</p>
成績評価の方法		単位認定試験

2022 武蔵野大学 通信教育部 シラバス

実践的教育を行う 授業科目の種別	a：実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目		
	担当教員の実務経験 (経歴・資格等)		
	授業内容との関連性		
	b：企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目		
	学外講師の経歴・資格等		
	授業内容		
	c：企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、 研修を行う授業科目		
	実習先・実習の目的		
備考			

科目名	国語科教育法A
担当教員	初谷 和行
授業方法	講義
科目の概要	<p>「国語科教育法A」では、中学校・高等学校の国語科教師を目指す3年・4年生を対象に教育実習や教員採用試験を見据えて、具体的な授業実践につながる学習をする。学習は「学習指導要領」の内容に沿って進める。「学習指導要領」で示されている中学校・高等学校国語科の「目標と内容」である「知識及び技能」（平成29年中学校、平成30年高等学校）または「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」（平成20年中学校、平成22年高等学校）、「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の3領域1事項の学習指導のあり方である。</p> <p>グローバル社会の到来は、インターネットなどの情報通信ツールの普及を急速に進化させた。これまでの「話す・聞く、書く、読む」の基礎・基本の能力に加えて、情報活用能力が必須となっている。また、新しい学習指導要領（平成29年中学校、平成30年高等学校）では、「知識及び技能」が新設され、国語で身につけるべき知識・技能について明確化を図った。更に、外国語との比較の中で国語の特質について理解することを促す文言も見られる。このことは、グローバル社会だからこそ母語教育は極めて重要な学習内容であるという認識が表れている。</p> <p>また、ビジュアルなメディアの発展による文字離れの社会傾向が顕著である今日、文章教材重視の国語科学習は「嫌いな教科」の上位教科になっている。また、学力調査（PISA調査・教育課程実施状況調査）の結果からも読解力や論理的記述力に課題があることが報告された。これを受けて文科省は、「思考力・判断力・表現力」の育成、「言語活動の充実」を「言語教育」として全教科・領域で推進することにした。その基礎能力の育成を「国語科教育」が担うことになったのであるといえよう。ここには母語教育こそが全教育活動の基礎学力であるという認識がある。そのためには主体的な学び手を育てる単元学習も期待されている。</p>
	<p>このテキスト『新たな時代の学びを創る 中学校・高等学校国語科教育研究』（全国大学国語教育学会編、東洋館出版社、2019年）は4つの章からなる。</p> <p>第Ⅰ章は「国語科教育の意義」と題され、言葉を学ぶことの意味や意義や、言葉の学びを「資質・能力」の観点でとらえること背景・実践上の課題について述べている。</p> <p>第Ⅱ章は「国語科教育の構造」と題され、国語科教育の目標や内容、評価の仕方といった観点から国語科教育の構造について概観している。</p> <p>第Ⅲ章は「国語科授業の計画」と題され、学習者の実態把握から授業構想、授業計画の練り方までを概観している。</p> <p>第Ⅳ章は「国語科授業作りの実際」と題され、新しい学習指導要領における「知識及び技能」、「思考力・判断力・表現力」（三領域）について、学校種ごとにどのような学習・指導が考えられるのか、ポイントとなる点は何か、などについて述べている。</p> <p>第Ⅴ章は「中等国語科の歴史」と題され、中学校・高等学校の学習指導要領において、領域や科目編成がどのように変遷していったかについて概観している。</p>

	<p>第VI章は「国語教育の現代的課題」と題され、協働的な学習や情報教育等、現代的な課題に基づく国語教育の方向性について述べている。</p> <p>これらの内容は、現代社会において求められる国語力や授業・指導の在り方を考え、それに基づき実際の授業を構築していくために役立つ。テキストを通じて、学習者としての自らの経験や現在の思いだけに基づかない、国語教育観や授業・指導の在り方について考えて欲しい。</p>	
授業計画	<p>スクーリング（0単位）とWBTによる学習（2単位）の計2単位の科目です。</p> <p>WBTで出題される所定の回数のレポートおよび単位認定試験レポートを提出し・合格することで2単位を認定します。</p> <p><自宅学習></p> <p>第1回レポート：第I章「国語科教育の意義」（P8～P13）</p> <p>第2回レポート：第II章「国語科教育の構造」（P16～P35）</p> <p>単位認定レポート：第III章「国語科授業の計画」（P38～P67）</p> <p><スクーリング></p> <p>スクーリングでは、「話すこと・聞くこと」や「書くこと」の学習に焦点をあてた授業を展開する予定。</p>	
成績評価の方法	単位認定試験	
実践的教育を行う 授業科目の種別	a：実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目	○
	担当教員の実務経験 (経歴・資格等)	(初谷 和行先生 経歴) 2000年 - 2003年 特別支援学校(高等部国語科) 教員 2003年 - 2013年 高等学校国語科教員 2016年 - 2017年 学習指導要領等の改善に係る検討に必要な専門的作業等 協力者(小学校国語)
	授業内容との関連性	高等学校教員の経験や、学習指導要領作成協力者の経験から、学習指導要領に基づく授業作りやその授業の分析に関する指導・助言等を行う。
	b：企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目	
	学外講師の経歴・資格等	
	授業内容	
	c：企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、研修を行う授業科目	
実習先・実習の目的		
備考		

科目名	国語科教育法B
担当教員	初谷 和行
授業方法	講義
科目の概要	<p>この科目「国語科教育法B（旧：国語科指導法Ⅳ）」では、中学校・高等学校国語科教員を目指す3・4年生を対象に教育実習や教員採用試験を見据え具体的な学習指導の力量を高めることを目的としている。「国語科教育法A」が理論編であるのに対して「国語科教育法B」は第二部実践編である。</p> <p>学習指導計画と評価、学習指導案の作成や中学校・高等学校の「小説」、「詩歌」、「説明・論説・評論」、「古典」のジャンル別での授業づくり、学習指導の実際を解説している。受講者も教育実習に向けての学習指導案作成、授業実践を想定して学習に向かって欲しい。実際に教壇に立ち国語科の学習指導をするための基礎基本を身に付けることが、この教科の到達目標である。</p>
	<p>このテキスト『中学校・高等学校 国語科教育法研究』（田近洵一・鳴島甫 編、東洋館出版社、2013年）は一部「理論編」、第二部「実践」の二部構成になっている。「国語科教育法B」では、「第二部 実践編」を学ぶ。構成は、「国語科の実践」と「国語科指導の実際」、「単元学習の実際」となっている。「国語科の実践」では「国語科の指導計画と評価」、「学習指導案」の形式と内容が解説されている。「国語科指導の実際」では中学校・高等学校別に、「小説」、「詩歌」、「説明・論説・評論」、「古典」のジャンルに分け、各ジャンルを「①概説、②教材研究、③学習指導」の項目を立てて、実践を見据えた具体的な解説をしている。さらに、第三章「単元学習」では単元開発のための方法と実際例が示されている。</p>
授業計画	<p>スクーリング（0単位）とWBTによる学習（2単位）の計2単位の科目です。</p> <p>WBTで出題される所定の回数のレポートおよび単位認定試験レポートを提出し・合格することで2単位を認定します。</p> <p><自宅学習></p> <p>第1回レポート：テキスト 第二部 実践編 第一章「国語科の実践」中の、中学校部分 第2回レポート：テキスト 第二部 実践編 第一章「国語科の実践」中の、高等学校部分 単位認定試験レポート：第一部 第一章「国語教育を学ぶために」（P4～P15）、第二部 第三章「単元学習の実際」、「若き国語教師へのメッセージ」（P168～P183）</p> <p><スクーリング></p> <p>スクーリングでは、その場で配布された初見の教材をいかに教材分析し、指導計画を立てるかという観点で授業を行う。</p>
成績評価の方法	単位認定試験

2022 武蔵野大学 通信教育部 シラバス

実践的教育を行う 授業科目の種別	a：実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目		○
	担当教員の実務経験 (経歴・資格等)	(初谷 和行先生 経歴) 2000年 - 2003年 特別支援学校(高等部国語科) 教員 2003年 - 2013年 高等学校国語科教員 2016年 - 2017年 学習指導要領等の改善に係る検討に必要な 専門的作業等 協力者(小学校国語)	
	授業内容との関連性	高等学校教員の経験や、学習指導要領作成協力者の経験から、 学習指導要領に基づく授業作りやその授業の分析に関する指 導・助言等を行う。	
	b：企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目		
	学外講師の経歴・資格等		
	授業内容		
	c：企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、 研修を行う授業科目		
	実習先・実習の目的		
備考			

科目名		書道科教育法	
担当教員		青山 浩之	
授業方法		講義	
科目の概要	到達目標	<p>この科目では、将来、書道教育に携わろうとする者にとって必要な能力と素養を高め、教育実習に備えて、書道教育への認識を深め、実践力を身につけることを目的とします。本講では、高等学校芸術科書道への対応に主体をおきます。</p> <p>今日の教育のあり方に沿った書道教育への認識を深めて、教育実践できる知識と能力を身に付けることが「書道科教育法」の到達目標となります。</p>	
	テキストの概要	<p>まず、①『高等学校学習指導要領(平成30年告示)解説 芸術(音楽 美術 工芸 書道)編 音楽編 美術編』(教育図書 2019)では、今日の学習指導要領における改訂の趣旨や、芸術(書道)における改善の基本方針をおさえ、それらに応じた書道の目標や内容を学習します。</p> <p>また、②『高等学校芸術科書道指導資料 指導計画の作成と学習指導の工夫』(教育図書 1992)では、指導計画の種類や内容、具体例を学習します。②のテキストは、上記の「指導計画の種類や内容、具体例」など、学習指導要領が変わっても基本的には考え方が変わらない部分を学習するときに活用し、今日の学習指導要領における書道の目標や内容については、随時、①のテキストから学ぶこととします。</p>	
授業計画		<p>スクーリング(0単位)とWBTによる学習(2単位)の計2単位の科目です。</p> <p><スクーリング> 模擬授業を行います。一人25分程度を予定しています。 「書道I」の導入の授業(4月の最初の授業を想定してください)を行ってまいります。A4レポート用紙(一枚)に以下の要領で略案を作成し、当日持参してください。項目が網羅されていれば、形式は問いません。 また、模擬授業に必要と考えたもの(配付資料、書道用具、紙 など)は各自で用意し、当日持参してください。</p> <p><自宅学習> 第1回レポート:上記「学習の進め方」の(1)～(2) 第2回レポート:上記「学習の進め方」の(3)～(5)</p>	
成績評価の方法		単位認定試験	
実践的教育を行う授業科目の種別		a:実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目	
		担当教員の実務経験(経歴・資格等)	
		授業内容との関連性	
		b:企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目	

2022 武蔵野大学 通信教育部 シラバス

	学外講師の経歴・資格等	
	授業内容	
	c：企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、 研修を行う授業科目	
	実習先・実習の目的	
備考		

科目名		英語科教育法A	
担当教員		武野谷 諒・渡辺 英雄	
授業方法		講義	
科目の概要	到達目標	<p>この科目では以下のことを目標とする。</p> <p>(1) テキストを通して、外国語学習についての理解を深める。</p> <p>(2) 中学校教諭（英語）・高等学校教諭（英語）になるために必要な教科指導の知識を身につける。</p> <p>(3) (1) (2) に基づいて、中学校または高等学校の1つの単元についての指導計画と指導案を作成する。</p>	
	テキストの概要	<p>このテキストでは、日本の中学校および高等学校において英語の授業を担当する英語教師が理解しておくべき内容が、簡潔にまとめられている。第1章から第7章では英語教師として押さえておくべき基本的事項が提示され、第8章から第16章では英語学習における各スキルの習得と指導について理論に基づいて述べられている。そして、第17章から第21章では、教材研究の仕方からテストの種類など現場における指導実践について述べられ、第22章では小学校における英語教育についてふれている。</p> <p>「英語科教育法B」と同テキストを使用しており、本科目では、第1章から第7章、および第19章から第22章のより理論的な内容を学ぶことになる。</p>	
授業計画		<p>スクーリング（0単位）とWBTによる学習（2単位）の計2単位の科目です。</p> <p><スクーリング></p> <p>第01講 [英語教育の理論と実践]</p> <p>第02講 [英語教育の理論と実践]</p> <p><自宅学習></p> <p>1 英語学習の基本理念（第1章、第2章、第22章）</p> <p>2 生徒と教師（第3章、第4章）</p> <p>3 言語習得の理論上の諸問題（第5章）</p> <p>4 指導法の変遷（第6章、第7章）</p> <p>5 活用すべき教材・機器と授業の多様性（第19章、第20章）</p> <p>6 テストと評価（第21章）</p>	
成績評価の方法		単位認定試験	
実践的教育を行う授業科目の種別		a：実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目	
		担当教員の実務経験（経歴・資格等）	
		授業内容との関連性	
		b：企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目	

2022 武蔵野大学 通信教育部 シラバス

	学外講師の経歴・資格等	
	授業内容	
	c：企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、 研修を行う授業科目	
	実習先・実習の目的	
備考		

科目名		英語科教育法B	
担当教員		武野谷 諒・渡辺 英雄	
授業方法		講義	
科目の概要	到達目標	<p>この科目では、以下のことを目標とする。</p> <p>(1) テキストを通じて、外国語教育についての理解を深める。</p> <p>(2) 中学校教諭（英語）・高等学校教諭（英語）になるための必要な教科指導の知識を身につける。</p> <p>(3) (1)、(2)に基づいて指導案を作成することができるようになる。</p>	
	テキストの概要	<p>このテキストでは、日本の中学校および高等学校において英語の授業を担当する英語教師が理解しておくべき内容が、簡潔にまとめられている。第1章から第7章では英語教師として押さえておくべき基本的事項が提示され、第8章から第16章では英語学習における各スキルの習得と指導について理論に基づいて述べられている。そして、第17章から第21章では、教材研究の仕方からテストの種類など現場における指導実践について述べられ、第22章では小学校における英語教育についてふれている。</p> <p>「英語科教育法A」と同テキストを使用しており、本科目では、第8章から第18章の各スキルの指導法や指導案の作成法など実践的な内容を学ぶことになる。</p>	
授業計画		<p>スクーリング（0単位）とWBTによる学習（2単位）の計2単位の科目です。</p> <p><スクーリング></p> <p>第01講 [模擬授業と振り返り]</p> <p><自宅学習></p> <ol style="list-style-type: none"> 1 教材研究と授業の準備（第17章） 2 授業案の作成と授業の進め方（第18章） 3 発音と文字の指導（第8章、第9章） 4 語彙の指導（第10章） 5 文法の指導（第11章） 6 リスニングとスピーキングの指導（第12章、第13章） 7 リーディングとライティングの指導（第14章、第15章） 8 言語技能を統合した指導（第16章） 	
成績評価の方法		単位認定試験	
実践的教育を行う授業科目の種別		a：実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目	
		担当教員の実務経験 (経歴・資格等)	
		授業内容との関連性	
		b：企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目	

2022 武蔵野大学 通信教育部 シラバス

	学外講師の経歴・資格等	
	授業内容	
	c：企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、 研修を行う授業科目	
	実習先・実習の目的	
備考		

2022 武蔵野大学 通信教育部 シラバス

科目名		国語（書写を含む。）	
担当教員		勘米良 祐太・三浦 一朗	
授業方法		講義	
科目の概要	到達目標	この教科では、国語科教育のために必要な国語に関する知識や基礎的素養を身に付けることを目標とします。	
	テキストの概要	このテキストでは、国語に関する基礎的・基本的な知識の理解・習得のために、一般に認められている国語学の成果に基づき国語に関する項目等を重点的にとりあげて、その簡潔な説明がなされています。国語の基礎知識を得るのに都合のよい構成となっています。	
授業計画		<p>WB Tで出題される所定の回数のエクササイズに合格の後、WB T上で行われる単位認定試験に合格することで2単位を認定します。</p> <p><自宅学習></p> <p>序 説</p> <p>第1章 音 韻</p> <p>第2章 文 字</p> <p>第3章 語 彙</p> <p>第4章 文 法</p> <p>第5章 文 章</p> <p>第6章 方 言</p>	
成績評価の方法		単位認定試験	
実践的教育を行う授業科目の種別	a：実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目		
	担当教員の実務経験（経歴・資格等）		
	授業内容との関連性		
	b：企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目		
	学外講師の経歴・資格等		
	授業内容		
	c：企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、研修を行う授業科目		
	実習先・実習の目的		
備考			

科目名		社会	
担当教員		佐藤 克士	
授業方法		講義	
科目の概要	到達目標	この科目では、小学校の教科の1つである社会科を取り上げます。小学校社会科の目標、特質を理解し、事例を参考にしながら各学年に応じた指導内容及び指導方法について理解を深めることが目的です。	
	テキストの概要	<p>第1部「初等社会科教育の基盤」(第1章～第6章)では、初等社会科教育の意義、ねらい、歴史的変遷、学習指導、教科書の取り扱い、評価について説明されています。</p> <p>第2部「初等社会科教育の実践」(第7章～第13章)では、新学習指導要領を踏まえた各学年の授業計画及び授業実践が示されています。</p> <p>第3部「諸外国の初等社会科教育」では、中華人民共和国(第14章)・大韓民国(第15章)・アメリカ合衆国(第16章)における初等社会科教育の性格、現状、変遷、展望などについて説明されています。また、終章では初等社会科教育の課題と展望が示されています。</p>	
授業計画		<p>WB Tで出題される所定の回数 of エクササイズに合格の後、WB T上で行われる単位認定試験に合格することで2単位を認定します。</p> <p><自宅学習></p> <p>第1章 初等社会科教育の意義 第2章 初等社会科教育のねらい 第3章 初等社会科教育の歴史的変遷 第4章 初等社会科教育の学習指導 第5章 初等社会科教育における教科書の取扱い 第6章 初等社会科教育の評価 第7章～第12章 初等社会科教育の実践①～⑥ 第13章 初等社会科教育の指導計画 第14章 中華人民共和国の初等社会科教育 第15章 大韓民国の初等社会科教育 第16章 アメリカ合衆国の初等社会科教育 終章 初等社会科教育の課題と展望</p>	
成績評価の方法		単位認定試験	
実践的教育を行う授業科目の種別		a：実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目	
		担当教員の実務経験 (経歴・資格等)	
		授業内容との関連性	
		b：企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目	

2022 武蔵野大学 通信教育部 シラバス

	学外講師の経歴・資格等	
	授業内容	
	c：企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、 研修を行う授業科目	
	実習先・実習の目的	
備考		

科目名		算数	
担当教員		小野 健太郎	
授業方法		講義	
科目の概要	到達目標	この科目では、小学校教員養成課程における算数科教育に関する基礎的で全般的な知識の獲得を目的とします。	
	テキストの概要	<p>本科目は新旧テキスト混合で対応しています。</p> <p>以下、「新編 算数科教育研究 改訂版 (2017)」を【旧】テキスト、「新版 算数科教育研究 (2019)」を【新】テキストと呼称します。</p> <p>これらのテキストでは、まず算数科の目標を歴史、特質からとらえます。次に、【旧】テキストでは従来の算数科の4つの領域である「A数と計算」「B量と測定」「C図形」「D数量関係」に基づいて、これまでの歴史と現在の課題を踏まえて考察しています。また、【新】テキストでは再編された5つの領域である「A数と計算」「B図形」「C測定／変化と関係」「Dデータの活用」に基づいて、同様の考察がなされています。テキストの終盤では、学習指導計画や評価、今後の研究課題についても言及しています。</p>	
授業計画		<p>WBTで出題される所定の回数のエクササイズに合格の後、WBT上で行われる単位認定試験に合格することで2単位を認定します</p> <p><自宅学習></p> <p>第1章 算数科の目標</p> <p>第2章 数と計算</p> <p>第3章 量と測定</p> <p>第4章 図形</p> <p>第5章 数量関係</p> <p>第6章 算数科の学習指導計画と評価</p> <p>第7章 算数教育の研究課題</p>	
成績評価の方法		単位認定試験	
実践的教育を行う授業科目の種別	a：実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目		○
	担当教員の实務経験 (経歴・資格等)	(小野 健太郎先生 経歴) 2007-2017年 小学校教員	
	授業内容との関連性	・小学校教員の経験を活かし、算数科の教育課程について実践例を交えながら解説する	
	b：企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目		
	学外講師の経歴・資格等		
	授業内容		

2022 武蔵野大学 通信教育部 シラバス

	c：企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、研修を行う授業科目		
	実習先・実習の目的		
備考			

科目名		理科	
担当教員		樋口 昇	
授業方法		講義	
科目の概要	到達目標	この科目では、理科(小学校)の指導に必要な基礎的な知識と技能を身につけるために、自然を理解する観察や実験のありかた、身の回りの事象についての問題解決の方法、物理・化学・生物・地学等の基礎的な知識などについて理解することを目的とします。特に、2020年4月から全面実施される学習指導要領改訂の背景や、理科における改訂のポイントを理解することに重点を置きます。また、子供に「理科の学習は楽しい」と感じられる授業づくりについても考えていきます。	
	テキストの概要	このテキストでは、第1章において、今回の改訂の背景や、新しい学習指導要領の特徴である資質・能力の育成について整理しています。次に、第2章において、理科の教科目標の分析や理科で育成を目指す資質・能力の3つの柱について解説を行っています。さらに、指導計画の作成と内容の取扱いについての解説に加え、プログラミング教育などについても触れています。最後に、第3章において、4年間で学習する内容について、目標及び内容のポイントと学習指導案を示しています。	
授業計画		<p>WB Tで出題される所定の回数のレポートを提出・合格の後、WB T上から単位認定試験レポートを提出し、合格することで2単位を認定します。</p> <p><自宅学習></p> <p>第1章 第1節 学習指導要領改訂の背景(2ページ)</p> <p>第1章 第2節 学習指導要領改訂のポイント(3ページ～7ページ)</p> <p>第1章 第3節 言語活動の重視(8ページ～11ページ)</p> <p>第1章 第4節 体験活動の重視(12ページ～16ページ)</p> <p>第2章 第1節 教科の目標(18ページ～22ページ)</p> <p>第2章 第2節 指導計画の作成と内容の取扱い①(23ページ～27ページ)</p> <p>第2章 第2節 指導計画の作成と内容の取扱い②(27ページ～29ページ)</p> <p>第2章 第3節 理科における「技能」(30ページ～32ページ)</p> <p>第2章 第4節 理科におけるプログラミング教育(33ページ～35ページ)</p> <p>第2章 第5節 「ものづくり」を通して育まれるもの(36ページ～38ページ)</p> <p>第2章 第6節 評価の観点とポイント(39ページ～41ページ)</p> <p>第3章 第1～4節 各学年の目標及び内容のポイントと授業案(43ページ～224ページ)</p>	
成績評価の方法		単位認定試験	
実践的教育を行う授業科目の種別		a: 実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目	○
		担当教員の実務経験 (経歴・資格等)	(樋口 昇先生 経歴) <教育機関> ○1980-1995 小学校教員として理科の学習指導 ○ 2006-2015 小学校長として理科の学習指導を助言

2022 武蔵野大学 通信教育部 シラバス

	〈行政機関〉 ○1996-2011 東京都教育委員会・区市教育委員会にて理科教育に関する指導・助言
授業内容との関連性	○小学校教員・校長の経験及び教育委員会勤務の経験から、小学校理科の実践的な指導方法について解説する。
b：企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目	
学外講師の経歴・資格等	
授業内容	
c：企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、研修を行う授業科目	
実習先・実習の目的	
備考	

科目名		生活	
担当教員		叶 雅之	
授業方法		講義	
科目の概要	到達目標	生活科の誕生の経緯や意義、目標や内容についての基礎を理解し、生活科を学ぶ子どもたちにどのような資質・能力を育てることが求められているのか、具体的にはどのような教育活動を行うのか等の理解を深めることを目的とします。	
	テキストの概要	<p>このテキストでは、生活科改訂の経緯の理解からはじまり、平成 29 年告示の学習指導要領の趣旨や生活科教育の意義や内容、指導計画や評価、生活科教育の課題、実践事例といった生活科教育の概説について説明しています。「初等生活科指導法」と重複する内容がありますが、本テキストで基本的な内容と具体的な事例等を理解し、「初等生活科指導法」では、小学校学習指導要領解説生活の理解を基に、スクーリング等で児童や学校、地域に応じたより実践的な方策を工夫、検討して学びます。</p> <p>第 4 章は、授業の先駆的な実践事例を示しています。これは、第 2 章の「『内容』のポイントと解説」の学習をする際に生活科の内容の具体的な授業展開を関連させてさせて理解をするようにしてください。</p>	
授業計画		<p>WB T で出題される所定の回数エクササイズに合格の後、WB T 上で行われる単位認定試験に合格することで 2 単位を認定します。</p> <p><テキストの内容構成></p> <p>第 1 章「第 1 目標」のポイントと解説 第 2 章「第 2 各学年の目標及び内容」のポイントと解説 第 3 章「第 3 指導計画の作成と内容の取扱い」のポイントと解説 第 4 章「生活科の新授業プラン」 ※各内容の実際の授業展開例</p> <p><エクササイズの出題範囲と内容の構成></p> <p>第 1 回 「はじめに」、「序章」、「第 1 章」、「第 2 章「目標」のポイントと解説」 第 2 回 「第 2 章「内容」のポイントと解説」と第 4 章「生活科の新授業プラン」 ※ 内容の理解と実際の授業の実践を関係づけて理解する 第 3 回 「テキスト第 3 章 指導計画の作成と内容の取扱い」)</p> <p>単位認定試験 はじめに～第 4 章</p>	
成績評価の方法		単位認定試験	
実践的教育を行う授業科目の種別		a：実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目	
		担当教員の実務経験 (経歴・資格等)	
		授業内容との関連性	
		b：企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目	

2022 武蔵野大学 通信教育部 シラバス

	学外講師の経歴・資格等	
	授業内容	
	c：企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、 研修を行う授業科目	
	実習先・実習の目的	
備考		

科目名		音楽A	
担当教員		中村 昭彦	
授業方法		講義	
科目の概要	到達目標	この科目では、基礎的な音楽理論の習得を目的とする。パソコンの楽譜作成ソフトを使用して、楽譜を作成したり、楽曲のアレンジができるようにする。	
	テキストの概要	なし	
授業計画		<p>スクーリング（0単位）とWBTによる学習（2単位）の計2単位の科目です。 WBTで出題される所定の回数のレポートおよび単位認定試験レポートを提出し・合格することで2単位を認定します。</p> <p><スクーリング></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 全、2分、4分音符・休符について 2. 付点音符、休符・16分休符 3. 拍・タイについて 4. 楽曲アレンジ①「RPG」 5. 楽曲アレンジ②「うちで踊ろう」 6. 音階の仕組み① 7. 音階の仕組み② <p><自宅学習></p> <p>第1回レポート：スクーリング後に配布 第2回レポート：スクーリング後に配布 単位認定試験レポート：スクーリング後に配布</p>	
成績評価の方法		単位認定試験	
実践的教育を行う授業科目の種別		a：実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目	
		担当教員の実務経験 (経歴・資格等)	
		授業内容との関連性	
		b：企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目	
		学外講師の経歴・資格等	
		授業内容	
		c：企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、研修を行う授業科目	

2022 武蔵野大学 通信教育部 シラバス

	実習先・実習の目的	
備考		

科目名		音楽B	
担当教員		中村 昭彦	
授業方法		講義	
科目の概要	到達目標	<p>この科目では、音楽の基礎理論、鍵盤楽器の奏法・伴奏法、歌唱表現、器楽表現を学ぶことを目的とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・音楽の基礎理論を理解する。 ・鍵盤楽器を弾く基礎的な技術を身につける。 ・教育現場で使う共通教材を弾くことができ、歌えるようにする。 ・合唱における歌唱表現の方法、指導法を身につける。 ・教育楽器の演奏の仕方、指導法を身につける。 	
	テキストの概要	なし	
授業計画		<p>スクーリング（0単位）とWBTによる学習（2単位）の計2単位の科目です。 WBTで出題される所定の回数のレポートおよび単位認定試験レポートを提出し・合格することで2単位を認定します。</p> <p><スクーリング></p> <p>第01回 コード奏 第02回 ピアノ弾き歌い 第03回 合唱① 第04回 合唱② 第05回 器楽合奏① 第06回 器楽合奏② 第07回 発表会</p> <p><自宅学習></p> <p>第1回レポート：スクーリング後に配布 第2回レポート：スクーリング後に配布 単位認定試験レポート：スクーリング後に配布</p>	
成績評価の方法		単位認定試験	
実践的教育を行う授業科目の種別	a：実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目		
	担当教員の实務経験 (経歴・資格等)		
	授業内容との関連性		
	b：企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目		
	学外講師の経歴・資格等		

2022 武蔵野大学 通信教育部 シラバス

	授業内容	
	c : 企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、研修を行う授業科目	
	実習先・実習の目的	
備考		

科目名		図画工作B	
担当教員		大杉 健・生井 亮司	
授業方法		講義	
科目の概要	到達目標	造形表現活動を通して、表現活動のもつ意味を理解する。また、また、実際の造形表現活動のプロセスで、表現のための様々な表現方法や表現技術を学ぶ。また、鑑賞活動を通して、鑑賞の能力の育成を図る。	
	テキストの概要	なし	
授業計画		スクーリングは、WEBで行われ、1コマ100分の授業を合計7コマ受講します。加えて所定のレポート課題を提出することにより、2単位を認定します。 <スクーリング> 第1講 図画工作の概要 第2講 平面的な表現を使った作品制作 第3講 立体的な表現について 第4講 立体的な表現を使った作品制作 第5講 多様な表現①（身近なものをデザインする） 第6講 多様な表現② 表現制作 第7講 プレゼン・多様な表現（鑑賞）表現のまとめ	
成績評価の方法		単位認定試験	
実践的教育を行う授業科目の種別		a：実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目	
		担当教員の実務経験（経歴・資格等）	
		授業内容との関連性	
		b：企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目	
		学外講師の経歴・資格等	
		授業内容	
		c：企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、研修を行う授業科目	
		実習先・実習の目的	
備考			

科目名		家庭	
担当教員		和田 早苗	
授業方法		講義	
科目の概要	到達目標	この科目では、小学校家庭科を担当するために必要な基礎的・基本的な知識を習得すること、また、布を用いた小物製作を通して家庭科を体験的に理解することを目標としています。	
	テキストの概要	テキストとして小学校家庭科の教科書を指定しています。家庭科という教科は、子どもたちが日々の生活を見つめ直し、よりよくしようとすることをねらいとしています。そのためには、生活に関する知識や技能の習得だけではなく、自分と家族、地域社会、環境とのかかわりについても考えていくことが必要となってきます。したがって、衣・食・住・家族・消費・環境・・・と様々な内容にわたっています。小学校の教科書といっても、大人も含めて人々の生活にとって大切なこと・必要な内容が沢山書かれています。	
授業計画		<p>「スクーリング（1単位）」と「WBTによる学習（1単位）」の計2単位の科目です。本校（東京都西東京市）で行われる「スクーリング（全7コマ）」に出席し、「WBTで出題される所定の回数のレポート」および「単位認定試験レポート」を提出し・合格すること。</p> <p><自宅学習> 第1回レポート：テキストより 第2回レポート（単位認定レポート）：テキストより</p> <p><スクーリング> 第01講 [オリエンテーション、家族・家庭] 第02講 [住生活] 第03講 [食生活(1)食事の役割、食事と栄養] 第04講 [食生活(2)調理の基礎、衣生活、手縫いの基本] 第05講 [布を用いた小物づくり] 第06講 [消費・環境] 第07講 [総括・単位認定試験]</p>	
成績評価の方法		単位認定試験	
実践的教育を行う授業科目の種別	a：実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目		○
	担当教員の实務経験（経歴・資格等）	(和田 早苗先生 職歴) 中学校家庭科非常勤講師	
	授業内容との関連性	学校現場における教員経験を活かして、課題への具体例な対応や配慮事項等について紹介する。	
	b：企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目		

2022 武蔵野大学 通信教育部 シラバス

	学外講師の経歴・資格等	
	授業内容	
	c：企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、 研修を行う授業科目	
	実習先・実習の目的	
備考		

科目名		体育A	
担当教員		安達 光樹	
授業方法		講義	
科目の概要	到達目標	この科目では、子ども達にとって運動とは何か、どのように関わっていくべきなのかを考え、実際に経験していきます。学習指導要領で定められた運動内容をただ子どもにやらせるだけでは、主体的な学習が望めないばかりか、運動好きな子どもを育てることはできません。ここでは、子どもに人気のない運動の授業づくり、準備運動の工夫からみた授業づくり、学習の発展を視野に入れた低学年の授業づくり、個人差への対応を工夫した授業づくりについて、実際に運動を体験しながら考えていきます。そのことを通して、子ども達が夢中になって取り組む体育の授業できる教師になることを目指します。	
	テキストの概要	このテキストでは、第Ⅲ章を元に、授業をどうつくっていくかを学びます。テキストで学んだことを土台にスクーリングを行うため、第1回のレポートと第2回のレポートはスクーリング前に修了するようにしてください。なお、レポート課題は第Ⅲ章から出されますが、第1章、第Ⅱ章も読んでおくことが望ましいです。	
授業計画		<p>「スクーリング（0単位）」と「WB Tによる学習（2単位）」の計2単位の科目です。本校（東京都西東京市）で行われるスクーリング（全7コマ）に出席し、最終日に教員より課される単位認定試験に合格することおよび、WB Tで出題される所定の回数のレポートおよび単位認定試験レポートを提出し・合格することで2単位を認定します。</p> <p><自宅学習> 第1回レポート：テキスト第Ⅲ章、「はじめに」「1. 体育学習の心理学的基礎」p.132～p.144 第2回レポート：テキスト第Ⅲ章、「2. 単元計画の立案」「3. 体育の方法」p.145～p.199 単位認定試験レポート：WB T〔レポート提出〕画面で確認してください</p> <p><スクーリング> 第01講 [準備運動の工夫とマット運動①] 第02講 [マット運動②] 第03講 [跳び箱運動①] 第04講 [ボール運動①] 第05講 [跳び箱運動②] 第06講 [ボール運動②] 第07講 [まとめのレポート]</p>	
成績評価の方法		単位認定試験	
実践的教育を行う授業科目の種別		a：実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目	
		担当教員の実務経験 (経歴・資格等)	

2022 武蔵野大学 通信教育部 シラバス

	授業内容との関連性	
	b：企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目	
	学外講師の経歴・資格等	
	授業内容	
	c：企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、研修を行う授業科目	
	実習先・実習の目的	
備考		

科目名		体育B	
担当教員		鈴木 秀人	
授業方法		講義	
科目の概要	到達目標	この科目では、幼稚園や小学校で行なわれている運動の指導をめぐる諸問題について理解し、実践のよりよい在り方を、研究的に導かれた根拠をもとに考えられるようになることを目的とする。	
	テキストの概要	このテキストには、小学校の体育授業を中心に、人間と運動の関係を捉える様々な視点が紹介されている。幼稚園や小学校で行なわれる運動の指導の在り方を自身で考えていくにあたり、直接的・間接的に役立つ様々な知識をテキストから得ることができるだろう。	
授業計画		<p>「スクーリング」（1単位）と「WBTによる学習」（1単位）で、2単位の科目です。本校（東京都西東京市）で行われるスクーリング（全7コマ、第1日目4コマ、第2日目3コマの予定）に出席し、最終日に教員より課される単位認定試験に合格すること及び、WBTで出題される所定の回数のレポートと単位認定試験レポートを提出し合格することで2単位を認定します。</p> <p><自宅学習></p> <p>第1章 運動ができる人は運動を教えることができるか？ 第2章 教育や体育の過去について知る意味は何か？ 第3章 何のために跳び箱を跳ぶのか？ 第4章 最近の子どもは体力がないと言うけれど、その最近とはいつからのことか？ 第5章 運動すればするだけ体力や運動能力は高まるのか？ 第6章 運動嫌いはなぜ生まれるのか？ 第7章 運動が苦手な子どもは救えるか？ 第8章 運動の指導に体罰は必要か？</p> <p><スクーリング></p> <p>第01講 [運動ができる人は運動を教えることができるか？] 第02講 [運動を教える人が教育や体育の過去について知る意味は何か？] 第03講 [サッカーが上手な子はサッカーの授業で学ぶことはないか？] 第04講 [最近の子どもは体力がないと言うけれど、その最近とはいつからのことか？] 第05講 [運動すればするだけ体力や運動能力は高まるのか？] 第06講 [運動嫌いはなぜ生まれるのか？] 第07講 [運動の指導における体罰はなぜなくなるのか？]</p>	
成績評価の方法		単位認定試験	
実践的教育を行う授業科目の種別		a：実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目	
		担当教員の実務経験 (経歴・資格等)	

2022 武蔵野大学 通信教育部 シラバス

	授業内容との関連性	
	b：企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目	
	学外講師の経歴・資格等	
	授業内容	
	c：企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、研修を行う授業科目	
	実習先・実習の目的	
備考		

科目名	初等外国語（英語）	
担当教員	伊藤 摂子	
授業方法	講義	
科目の概要	到達目標	この科目では、小学校における外国語活動・外国語の授業実践に必要な実践的な英語運用力と、英語に関する背景的な知識を身に付けることを目的とする。
	テキストの概要	このテキストではWeb教材と合わせながら、小学校における外国語活動・外国語の授業を担当するために必要な実践的な英語運用力と英語に関する背景的な知識を、授業場面を意識しながら身に付けることができる。また、テキストの参考資料（コラム）では、小・中学校の接続も踏まえながら、小学校における外国語活動・外国語の授業を担当するために注意すべき実践的な知識を身に付けることができるようになっている。また、テキストは、主に小学校での一日（朝の打ち合わせから放課後の打ち合わせまで）を描いており、低学年・中学年・高学年の授業を扱い、英語授業の基本的な流れ（warm-up、導入、展開等）、ALTやTTを行うための打ち合わせや質問場面なども取り扱い、15ユニットを学習する内容になっている。Web教材では音声変化や第二言語習得について取りあげており、テキストと合わせて英語に関する背景的な知識と実践的な英語運用力を学習していく。
授業計画	<p>WB Tで出題される所定の回数のエクササイズに合格の後、WB T上で行われる単位認定試験に合格することで2単位を認定します。</p> <p><自宅学習></p> <p>Unit01 低学年の授業(準備編) -打ち合わせの仕方を学びましょう-</p> <p>Unit02 低学年の授業(warm-up 編) -あいさつの仕方を学びましょう-</p> <p>Unit03 低学年の授業(活動編) -数と have の扱い方を学びましょう-</p> <p>Unit04 低学年の授業(発展的な活動編) -数と have の学習の深め方、want の扱い方を学びましょう-</p> <p>Unit05 20分休み -語順・過去形の扱い方を学びましょう-</p> <p>Unit06 中学年の授業(warm-up 編) -like、言葉の並べ方を学びましょう-</p> <p>Unit07 中学年の授業(活動編) -like、単数・複数の扱い方を学びましょう-</p> <p>Unit08 中学年の授業(発展的な活動編) -he、she の扱い方を学びましょう-</p> <p>Unit09 昼休み -過去形の扱い方を学びましょう-</p> <p>Unit10 高学年の授業(warm-up と導入編) --ing 形の扱い方を学びましょう-</p> <p>Unit11 高学年の授業(活動編) -日付の扱い方を学びましょう-</p> <p>Unit12 高学年の授業(発展的な活動編) -want、can の扱い方を学びましょう-</p> <p>Unit13 授業の振り返りと次週の打ち合わせ -つなぎ言葉の扱い方を中心に学びましょう-</p> <p>Unit14 前置詞の扱い方を学びましょう</p> <p>Unit15 マザー・グース、物語を授業に取り入れましょう</p>	
成績評価の方法	単位認定試験	
	a: 実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目	○

2022 武蔵野大学 通信教育部 シラバス

実践的教育を行う 授業科目の種別	担当教員の実務経験 (経歴・資格等)	(伊藤 摂子先生 経歴) 公立小学校で ALT として外国語活動を指導 (2000 年から 2015 年まで) 小学校非常勤教員 (2006 年度、2008 年度) 中学・高校の非常勤英語教員 (2010 年から 2012 年まで)	
	授業内容との関連性	実際の小学校の現場で指導していた外国語教育の状況、児童の様子を理解しているため、小学校教員として必要な英語力や英語内容を理解している。 中学高等学校の英語教員をしていたため、文法や発音を含めた英語指導ができる。	
	b: 企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目		
	学外講師の経歴・資格等		
	授業内容		
	c: 企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、研修を行う授業科目		
	実習先・実習の目的		
備考			

科目名		日本語学概論A・B	
担当教員		浅川 哲也	
授業方法		講義	
科目の概要	到達目標	<p>日本語学（国語学）とは、「言語学」という、言語について科学的・客観的に研究する大きな学問の中の「特殊言語学」の分野に属する学問です。「特殊言語学」は、英語学・ドイツ語学・中国語学のように、個別の言語について研究する分野です。日本語学は、日本語を研究対象とした特殊言語学です。日本語学は、音声学・音韻論・文法論・語彙論など、さまざまな研究分野を抱える広大な領域の学問です。</p> <p>わたしたち日本語母語話者にとって、母語である日本語は、外国語習得のような学習過程を経ることなく、乳幼児の言語形成期に自然に習得した言語ですので、日本語を言語の一つとして客観的に意識する機会は日常生活ではあまりありません。日本語母語話者が日本語学について勉強するという事は、日本語母語話者が日本語を世界の中の言語のひとつとして客観的に捉え、また向き合うことのできる貴重な機会のひとつです。</p> <p>日本語学概論という科目は、日本語学という学問への入門の科目です。この科目では、日本語学の基礎的な知識を身につけ、母語としての日本語について論理的に考察するための方法論を学ぶことを目標とします。</p> <p>また、日本語学概論は、国語科教員免許状を取得するための教職課程での必履修科目の一つとなっています。将来、国語科の教員として教壇に立つ方々には是非とも身につけていただきたい日本語学の知識に習熟してください。</p>	
	テキストの概要	<p>このテキストは、大学・短期大学における日本語学概論のテキストとして編集されています。日本語学における各研究分野の概要を章別にまとめています。各章の見出しがそのまま研究分野の名称を表しています。</p>	
授業計画	<p>WB Tで出題される所定の回数のレポートを提出・合格の後、WB T上で行われる単位認定試験レポートに合格することで4単位を認定します。</p> <p><自宅学習></p> <p>第1回レポート：日本語の音韻史 第2回レポート：日本語の仮名遣い 第3回レポート：日本語の文法と敬語 第4回レポート：日本語の文体、語彙、方言、アクセント 第5回レポート：単位認定試験レポート</p>		
成績評価の方法	単位認定試験		
実践的教育を行う授業科目の種別	a：実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目		
	担当教員の実務経験（経歴・資格等）		
	授業内容との関連性		

2022 武蔵野大学 通信教育部 シラバス

	b：企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目	
	学外講師の経歴・資格等	
	授業内容	
	c：企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、研修を行う授業科目	
	実習先・実習の目的	
備考		

科目名		古代文学	
担当教員		渡部 修	
授業方法		講義	
科目の概要	到達目標	<p>この科目では、古代文学に関する基礎知識を習得すると共に、作品を自ら読み解く力を涵養し、合わせてその文学史上の意義を理解し、中等教育における国語教諭としての能力を身に付けることを目的とします。</p> <p>学習の進め方や授業計画に添って、自ら具体的な作品と向き合うことを通して、古代文学への理解を深めて頂きたいと思えます。</p>	
	テキストの概要	<p>このテキストは、年表編と資料編の2部構成になっています。資料編は、現存する古代の文献から、代表的な伝承や歌謡、歌などが抜粋して収められ、適宜、作品の読解に必要な最低限の解説と注釈が付けられています。掲載された作品を通読することで、古代文学作品の概要を知ることができます。また、年表編では作品を生み出した社会の動きを確認することができます。年表編には関連する古代文献からの記事も盛り込まれていますから、必要に応じて参照して下さい。</p>	
授業計画		<p>WB Tで出題される所定の回数のレポートを提出・合格の後、WB T上で行われる単位認定レポートに合格することで2単位を認定します。</p> <p><自宅学習></p> <p>第01回 古代文学の作品 第02回 『古事記』の成立とその内容 第03回 倭建命伝承①～大碓命と小碓命 第04回 倭建命伝承②～西征 第05回 倭建命伝承③～東征 第06回 倭建命伝承④～その死 第07回 倭建命伝承⑤～古代伝承に於ける歌謡の役割 第08回 古代和歌の成立とその特徴 第09回 『万葉集』の成立とその内容 第10回 『万葉集』第一期の歌人と作品 第11回 『万葉集』第二期の歌人と作品 第12回 『万葉集』第三期の歌人と作品 第13回 『万葉集』第四期の歌人と作品 第14回 東歌と防人歌 第15回 口承と記載と～古代文学への視点</p>	
成績評価の方法		単位認定試験	
実践的教育を行う授業科目の種別		a：実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目	
		担当教員の実務経験 (経歴・資格等)	

2022 武蔵野大学 通信教育部 シラバス

	授業内容との関連性	
	b：企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目	
	学外講師の経歴・資格等	
	授業内容	
	c：企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、研修を行う授業科目	
	実習先・実習の目的	
備考		

科目名		中古文学	
担当教員		深澤 瞳	
授業方法		講義	
科目の概要	到達目標	<p>平安時代の文学について、その歴史的な経緯を理解しましょう。そのうえで、取り上げる作品について考察していきましょう。そのためには、以下の三点を中心に学ぶとよいでしょう。</p> <p>(1) 平安時代における社会／文化的なことについて、知識を広げる。</p> <p>(2) 作品自体の背景を、可能な限り調べて考察する。</p> <p>(3) 上記を総合して、「特に着目した点」を掘り下げていく。</p> <p>作品を読む上で、「同時代性」を持つことは不可欠です。現代の常識から「読む」のではなく、当時の生活／環境に立ち返って「読む」ことを心がけてください。</p>	
	テキストの概要	<p>このテキストは、進学校の高校生および生涯学習等で学びを続ける社会人を対象として制作された国語便覧で、最新の研究成果も盛り込まれています。中古文学のみを対象とする本ではありませんが、中古文学の流れと個々の作品について、中学校・高等学校の教員をめざす方にとって過不足のない十分な内容が含まれています。</p>	
授業計画		<p>WB Tで出題される所定の回数のレポートを提出・合格の後、WB T上で行われる単位認定レポートに合格することで2単位を認定します。</p> <p><自宅学習></p> <p>第1回 中古文学概観</p> <p>第2回 『古今和歌集』</p> <p>第3回 『土佐日記』</p> <p>第4回 『竹取物語』</p> <p>第5回 『伊勢物語』</p> <p>第6回 『蜻蛉日記』</p> <p>第7回 『和泉式部日記』</p> <p>第8回 『枕草子』</p> <p>第9回 『紫式部日記』</p> <p>第10回 『源氏物語』①</p> <p>第11回 源氏物語②</p> <p>第12回 『栄花物語』</p> <p>第13回 『大鏡』</p> <p>第14回 『更級日記』</p> <p>第15回 『堤中納言物語』</p>	
成績評価の方法		単位認定試験	
実践的教育を行う授業科目の種別		a：実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目	
		担当教員の実務経験 (経歴・資格等)	

2022 武蔵野大学 通信教育部 シラバス

	授業内容との関連性	
	b：企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目	
	学外講師の経歴・資格等	
	授業内容	
	c：企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、研修を行う授業科目	
	実習先・実習の目的	
備考		

科目名		中世文学（SR）	
担当教員		岩城 賢太郎・船越 亮佑	
授業方法		講義	
科目の概要	到達目標	この科目では、文学や芸能等の作品の読解を通して中世文学の特質を理解し、学校教育において授業運営を行う上で必要となる教材研究の技術を身につけることを目的とします。	
	テキストの概要	このテキストは、中世文学において特に著名な作品、及び学校教育の古典（古文分野）の教科書にも採録されることの多い作品の中から、特徴的な本文の一節を抜粋するかたちで編集されています。各講義は、作品のジャンルや特徴についての簡単な説明と、本文、及び本文に関する基本的な注釈から成っており、作品理解の助けとなるよう、一覧・系図・年表、等を付録資料として収めています。	
授業計画		<p>本校（東京都西東京市）で行われるスクーリング（全2コマ）に出席し、指導を受けた上で、WB Tで出題される所定の回数のレポートを提出・合格の後、WB T上で行われる単位認定試験レポートに合格することで2単位を認定します。</p> <p><自宅学習・スクーリング></p> <p>第一講 和歌の革新と尖鋭 第二講 歌道の追究 第三講 連歌の隆盛 第四講 乱世に生きる女性 第五講 隠者の達観 第六講 移動する視点 第七講 説話の宇宙 第八講 伝承の妙 第九講 「ムサノ世」到来 第十講 無常なるもの 第十一講 日本人の精神風土 第十二講 御伽草子の世界 第十三講 王朝への憧れ 第十四講 軍記物芸能の展開 第十五講 世阿弥の芸術論</p>	
成績評価の方法		単位認定試験	
実践的教育を行う授業科目の種別		a：実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目	○
		担当教員の実務経験（経歴・資格等）	（岩城 賢太郎先生 経歴） 中学校・高等学校国語科教員免許（専修）、高等専門学校（工業高専）国語科教員（1学年～4学年、現代文・古典・日本語表現等関連科目担当）

2022 武蔵野大学 通信教育部 シラバス

	授業内容との関連性	<p>※中学校・高等学校の国語科教員の養成を意識しつつ授業運営を行う。</p> <p>※中学や高等学校の国語の時間に使用した参考書（古典文法関連の解説書、古語辞典、国語便覧、等）を随時、参照・確認して授業を進める。</p>
	b：企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目	
	学外講師の経歴・資格等	
	授業内容	
	c：企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、研修を行う授業科目	
	実習先・実習の目的	
備考		

科目名		近世文学	
担当教員		永田 英理	
授業方法		講義	
科目の概要	到達目標	江戸時代における俳文学の流行とその実態について学ぶことにより、中等教育でも扱われる「俳句」という詩の在り方について、歴史的な視座を獲得したうえで、正しい理解を深める。江戸時代の代表的な小説作品を読み解くことで、中等教育において「近世文学」全般を教授するための基礎的能力を身につける。ひいては、近世演劇（劇場）や絵画（美術館）など、江戸時代の多様な文化に積極的に触れてゆく体験へと繋げてもらいたい。	
	テキストの概要	多種多様なジャンルの近世文学作品が網羅されている本テキストを読み通すことによって、幅広く近世文学の特質や面白さを学ぶことができる。それぞれの設問には解答も備わっていることから、手軽に予復習を行うことも可能である。ただし、本書はあくまでも入門書としてのテキストであるため、レポート執筆にあたっては、必ず各巻の参考文献などを参照すること（必須条件）。 また、興味をもったジャンルについては、「解説」や「研究文献」などを読み込んで理解を深めてほしい。	
授業計画		WBTで出題される所定の回数のレポートを提出・合格の後、WBT上で行われる単位認定試験に合格することで2単位を認定します。 〈自宅学習〉 一、俳諧（季語） 二、近世小説（浮世草子・前期読本） 三、近世文学全般について（表現・内容の特質などについて）	
成績評価の方法		単位認定試験	
実践的教育を行う授業科目の種別	a：実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目		
	担当教員の実務経験（経歴・資格等）		
	授業内容との関連性		
	b：企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目		
	学外講師の経歴・資格等		
	授業内容		
	c：企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、研修を行う授業科目		
実習先・実習の目的			

備考

科目名		近代文学	
担当教員		初谷 和行	
授業方法		講義	
科目の概要	到達目標	この科目では、中学校・高校の国語科であつかわれる文学教材のうち、近代文学の各ジャンルに関する基礎知識を手に入れることを目的とします。本授業での学びは、中学校や高等学校で文学の授業を行う際の、教材研究や授業研究に活かされます。	
	テキストの概要	巻頭に本書の使い方について述べられ、その後、小説15作品と解説がセットで展開されています。解説では、各種の文学理論をもとにした文学作品を読むための視点と、その視点によって該当作品を読んでいく際の読み方が述べられています。また、実際に読む練習をするための「トレーニングシート（別冊）もあります。	
授業計画		WBTで出題される所定の回数のレポートを提出・合格の後、WBT上で行われる単位認定レポートに合格することで2単位を認定します。 〈自宅学習〉 第1章 文学理論の基礎概念 第2章 歴史のコンテキスト 第3章 活字の外側へ	
成績評価の方法		単位認定試験	
実践的教育を行う授業科目の種別	a：実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目		
	担当教員の実務経験 (経歴・資格等)		
	授業内容との関連性		
	b：企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目		
	学外講師の経歴・資格等		
	授業内容		
	c：企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、研修を行う授業科目		
	実習先・実習の目的		
備考			

科目名		現代文学	
担当教員		初谷 和行	
授業方法		講義	
科目の概要	到達目標	この科目では、戦後の現代文学を「読む」ことを通じて、「読む」ために必要な理論や技術について習得することを目的とします。本授業での学びは、中学校や高等学校で文学の授業を行う際の、教材研究や授業研究に活かされるでしょう。	
	テキストの概要	巻頭に本書の使い方について述べられ、その後、小説15作品と解説がセットで展開されています。解説では、各種の文学理論をもとにした文学作品を読むための視点と、その視点によって該当作品を読んでいく際の読み方が述べられています。また、実際に読む練習をするための「トレーニングシート（別冊）もあります。	
授業計画		WBTで出題される所定の回数のレポートを提出・合格の後、WBT上で行われる単位認定レポートに合格することで2単位を認定します。 〈自宅学習〉 第1章 戦後復興期 1945年～1955年 第2章 戦後文学の転換期 1956年～1965年 第3章 表現の時代 1966年～1975年	
成績評価の方法		単位認定試験	
実践的教育を行う授業科目の種別	a：実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目		
	担当教員の実務経験（経歴・資格等）		
	授業内容との関連性		
	b：企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目		
	学外講師の経歴・資格等		
	授業内容		
	c：企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、研修を行う授業科目		
	実習先・実習の目的		
備考			

科目名	漢文学
担当教員	宋 吟
授業方法	講義
科目の概要	<p>「漢文学」とは、単に中国古典文学を読み解くのではなく、「漢字」・「漢文」の伝来以来、日本人がこれらをどのように受容してきたかを解明する学問です。現在、小学校から高等学校までの「国語科」で扱っている「漢文」も、過去の日本人がどのように中国古典である「漢文」を日本語や日本文学に取り入れてきたかを、授業で追体験していると言えるでしょう。したがって、この科目では日本語や日本文学に多大な影響を与えた「漢文学」の基礎を学び、現代の日本社会における言語生活や、学校現場での漢字・漢文指導に役立つ知識を身に付けることを目的とします。</p> <p>近年、生徒の漢文離れという問題が顕著となり、高校生を対象とした調査では、「漢文」が嫌いな科目の第一位という結果になりました。その主たる理由は、「漢文を学ぶ意味がわからない」というものです。この科目では、そうした生徒の疑問に向き合い、「漢文を学ぶ意義」を考察していきます。</p> <p>同時に、小学校中・低学年から現れる漢字学習に対するつまずきや、「漢字嫌い」「漢字離れ」といった今日的な課題にも目を向けたいと考えています。漢字の成り立ち、日本語における漢字の受容、漢字の字体や筆順等の基本事項を学ぶことによって、「漢字指導の在り方」についての理解を深めたいと考えています。</p> <p>以上のような漢字・漢文に対する現代的なアプローチを可能とするためには、その前提として古典としての漢文の知識が必要不可欠となります。なぜならば、古来、日本人は訓読という方法で中国の古典文学（つまり漢文）を解説し、その訓読の技術を生み出す過程で、日本語そのものを発展させてきたからです。ですから、この科目でも、漢文訓読に必要な基礎知識を体系的に学んでいきます。</p> <p>近年、学習指導要領の改訂を想定して、漢文の授業においても「アクティブラーニング」の在り方が問われています。従来の、書き下し文にして現代語訳するといった指導に終始するのではなく、生徒に、漢文訓読それ自体が日本文化の一つであることを伝えられる指導法を追究していきましょう。</p>
テキストの概要	<p>このテキストは、漢文訓読に必要な知識が体系的に要領よく説明されています。さらに、「漢文とは何か」や、「訓読とは何か」といった、わかっているようで説明するとなるとなかなか難しい問題や、「音読み」と「訓読み」の違いなど自明すぎて却って見逃しやすい基礎・基本にも言及しており、多角的な視点を持ったテキストでもあります。したがって、将来、学校現場で漢文を教えようとする学習者にとっても、有益なテキストだと言えるでしょう。ちなみに、題名は『漢文訓読入門』と</p> <p>「入門」であることをうたっていますが、内容は入門にとどまらず大学で専門的に学ぶ学生にも十分使えるレベルです。</p> <p>なお、本テキストは漢文法の説明の随所に英文法との比較が出てきますが、これらはあくまでも便宜上、既習の英文法を利用して理解の一助としているにすぎません。当然ですが、漢文法は漢文法であって、英文法と同様に捉えることはできません。ですから、英語</p>

2022 武蔵野大学 通信教育部 シラバス

		に似ているという先入観を持って学習を進めていると、そのうち破綻することになるので注意が必要です。
授業計画	WBTで出題される所定の回数のレポートおよび単位認定試験レポートを提出し・合格することで2単位を認定します。 <自宅学習> 第一部 訓読の基礎 第二部 応用練習 第三部 発展練習	
成績評価の方法	単位認定試験	
実践的教育を行う 授業科目の種別	a：実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目	
	担当教員の実務経験 (経歴・資格等)	
	授業内容との関連性	
	b：企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目	
	学外講師の経歴・資格等	
	授業内容	
	c：企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、研修を行う授業科目	
	実習先・実習の目的	
備考		

科目名		書道	
担当教員		廣瀬 裕之	
授業方法		講義	
科目の概要	到達目標	この科目では、国語や書道教員となるために必要な知識や書法を身につけることを目的とする。	
	テキストの概要	このテキスト掲載の教材は、主として高等学校書道科免許状取得に必要な書道の授業科目に対応する。あわせて中学校国語科書写の授業を行うための書に関する幅広い知識を学習するために使用する。 また、解説を読みながら臨書していくと、実技力が高まるだけではなく、書道史や書を鑑賞する力が高まり、書道に関する科目（国文学・漢文学を除く）に対して、優れた知識と技能（実技と理論）およびその指導力が身につく。	
授業計画		スクーリング（1単位）とWBTによる学習（1単位）の計2単位の科目です。 〈スクーリング〉 第01講 [はじめに・姿勢と用具について] 第02講 [漢字のはじまり・象形文字の世界（甲骨・金文・篆書についてとその書法）] 第03講 [隷書についてとその書法] 第04講 [六朝時代の楷書についてとその書法] 第05講 [唐の四大家の楷書について] 第06講 [書聖・王羲之と行書・草書の古典] 第07講 [日本の三筆・三蹟とその書法について] 〈自宅学習〉 古典編	
成績評価の方法		単位認定試験	
実践的教育を行う授業科目の種別	a：実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目		○
	担当教員の実務経験 (経歴・資格等)	(廣瀬 裕之先生 経歴) 中学校国語教員・高等学校芸術科書道教員 中学校・高等学校文科省検定済教科書の編集執筆（書写・書道） 書道家（毎日書道展審査会員、パリ・東京にて個展開催）	
	授業内容との関連性	中・高の教員経験者。書道・書道史・書写書道教育の研究者であり、書作家である。	
	b：企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目		
	学外講師の経歴・資格等		
	授業内容		

2022 武蔵野大学 通信教育部 シラバス

	c：企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、 研修を行う授業科目	
	実習先・実習の目的	
備考		

科目名	書道史	
担当教員	廣瀬 裕之	
授業方法	講義	
科目の概要	到達目標	<p>この科目では、中国における太古から現代までの書道の歴史（中国書道史）を知ることによって、今日私たちが用いている漢字がどのように現れ、どのように変遷して今日の姿になるのか、古代から時代順にたどる。その各時代の書の特徴やその美について学習しながら、書体や字体の変遷を学ぶ。</p> <p>各時代特有の書風や考え方を歴史と共に学ぶことによって、書に対する理論面をさらに深化することを目的とする。</p>
	テキストの概要	<p>「書道史」専用の書籍は、いく冊か出版されているがどれも初心者が独習するには少し難しい。また、常に新しい考古学上の発掘や出土があるので、出版年の古いものつまり古くからあるものは、当然ながら新しい見解が記されていないという問題が出てくる。書道史学習は、専門用語や限りなく出てくる石碑や名筆などの固有名詞や年代を覚えるのが難関である。</p> <p>そこで私が、かつて初心者でもわかりやすいように大切な古典を全部で100点に絞りその見どころや重要な点のみをわかりやすくかつ簡潔に記した「百点でみる書道史・中国篇」を執筆したが、これを掲載した本【書道ジャーナル研究所編『よくわかる書の常識』1993年 同朋舎出版に収録】は、現在もう絶版となってしまっている。</p> <p>そこで、私がここに掲載した原稿をもとに少し修正を加え増補執筆したのが、この通信教育のスタディガイドの〈学習のポイント〉◎である。このスタディガイドには、著作権の関係上、図版が掲載できないので、書道用テキストとしては、最新の写真や理論を収録した本通信講座の書道の実技でも用いるテキスト『書の古典と理論』（全国大学書道学会編・光村図書出版）を使用し、ここに掲載された実物の美しいカラー写真（図版）をよく見ながら学習を進めていくこととする。</p>
授業計画	<p>WB Tで出題される所定の回数のエクササイズに合格の後、WB T上で行われる単位認定試験に合格することで2単位を認定します。</p> <p><自宅学習></p> <p>第01章 《中国》 殷・周・春秋戦国</p> <p>第02章 《中国》 秦</p> <p>第03章 《中国》 漢</p> <p>第04章 《中国》 三国・西晋</p> <p>第05章 《中国》 東晋</p> <p>第06章 《中国》 南北朝</p> <p>第07章 《中国》 隋</p> <p>第08章 《中国》 唐</p> <p>第09章 《中国》 五代十国・宋</p> <p>第10章 《中国》 金・元</p> <p>第11章 《中国》 明</p>	

	第12章 《中国》 清・民国	
成績評価の方法	単位認定試験	
実践的教育を行う 授業科目の種別	a: 実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目	○
	担当教員の実務経験 (経歴・資格等)	(廣瀬 裕之先生 経歴) 中学校国語教員(書写担当)・高等学校芸術科書道教員 高等学校文部科学省検定済教科書『書道ⅠⅡⅢ』編集執筆 書道雑誌等で「中国書道史」特集執筆、「中国書道の旅」 (NHK 学園) 連載 西東京市文化財保護審議会委員 書道家(毎日書道展審査会員、パリ・東京にて個展開催)
	授業内容との関連性	・ 特に中国書道史に造詣が深く、中国各地の諸碑等を実際に観察。現在は日本の奈良時代の書に注目している。 ・ 書作家で、実技およびその指導の専門家でもある。
	b: 企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目	
	学外講師の経歴・資格等	
	授業内容	
	c: 企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、研修を行う授業科目	
実習先・実習の目的		
備考		

科目名	書論・鑑賞
担当教員	廣瀬 裕之
授業方法	講義
科目の概要	<p>この科目では、書法の書美などを理論的に述べた「書論」と、書作品の見方（鑑賞の仕方）の「鑑賞法」について学ことによって、実技だけではなく、理論方面からも書について深めることを目標とする。</p> <p>飯島春敬編「書道辞典」には、「書論という言葉の本義は、書の本質を論ずることであるが、広く書の全般的な学問と同様な意味に用いられる。」と記されている。</p> <p>ここでは、第一編で、中国の代表的な書論『書譜』の冒頭部を学び、第二編で、日本の現代の書論のひとつ『刻された書と石の記憶』をもとに、身の回りの書（ここでは石碑）について考察を深める知識と鑑賞眼を養うことを目標とする。</p>
	<p>第一編用テキスト 『書譜の注釈Ⅰ』・・・このスタディガイド中に本文掲載</p> <p>まず最初に、書論とはどのようなものか知って頂くために、中国の代表的な書論として有名な『書譜』から学習しましょう。この『書譜』は、唐時代、孫過庭によって著されたもので、草書を学習するための代表的な古典としても有名なものです。この『書譜』に記述された漢文の文章をわかりやすく注釈を加え解説したものをこのスタディガイド中に、テキストとして掲載しました。これによって、中国の代表的な書論のエキスに触れてください。『書譜』は、比較的長い書論ですので、ここに記したのは、『書譜』の冒頭部のみです。この冒頭部だけ味読してみてもこの内容が、古臭い理論書ではなく、現代に生きるものであることが判ります。じっくりと書き写しながら味わって読んでみると内容がさらに深まります。</p> <p>本稿は、廣瀬裕之「『書譜』の注釈Ⅰ—王羲之を典型とする四賢の優越論について—」（『武蔵野教育学論集』第3号所収・2017年9月）を改訂増補したものです。</p> <p>第二編用テキスト 『刻された書と石の記憶』・・・単行本</p> <p>『刻された書と石の記憶』は、武蔵野にある三つの石碑を題材として、その歴史と内容について、その書と揮毫者（書者）について、その碑石について、その刻と刻者についてというように書道の分野においてとても重要な位置をしめる石碑を色々な角度から多角的に攻め、名探偵シャーロックホームズのごとく、ポイントを定めたら徹底的に考察を深め本質に迫ろうとするものです。</p> <p>石碑は書の鑑賞教材としてとても優れた教材であるといえます。また、単に鑑賞するだけではなく三つの碑の三種類の書をもとにその書美について論考している。身近なものを題材として総合的に書を考察する手法を試みました。</p> <p>書道の専門用語も多くなります。このテキストは、書論を学習した後に鑑賞法を学習するのではなく、書論および鑑賞の両者を一体化しつつ論を進めたものです。</p>

<p>授業計画</p>	<p>WBTで出題される所定の回数のレポートおよび単位認定試験レポートを提出し・合格することで2単位を認定します。</p> <p><自宅学習></p> <p>第一編 『書譜の注釈Ⅰ』—王羲之を典型とする四賢の優劣論について— 第一篇 王羲之を典型とする四賢の優劣論 第二篇 書の本質と価値 第三篇 六朝時代の書論 第四篇 執使用転の説および王書の価値 第五篇 書表現の基盤と段階 第六篇 書の妙境と批判 跋 語 「書譜」著作の趣旨</p> <p>第二編 第1章 国木田独歩・三鷹駅北口詩碑考 第2章 国木田独歩・桜橋畔文学碑考 第3章 松本訓導殉難碑考</p>											
<p>成績評価の方法</p>	<p>単位認定試験</p>											
<p>実践的教育を行う 授業科目の種別</p>	<p>a：実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目 ○</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%; padding: 5px;"> 担当教員の実務経験 (経歴・資格等) </td> <td style="padding: 5px;"> (廣瀬 裕之先生 経歴) 中学校国語教員(書写担当)・高等学校芸術科書道教員 高等学校文部科学省検定済教科書編集執筆(書道) 書道家(毎日書道展審査会員、パリ・東京にて個展開催) 西東京市文化財保護審議会委員 </td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;"> 授業内容との関連性 </td> <td style="padding: 5px;"> 書道・書道史・書写書道教育の研究者であり、書作家でもある。大学近隣の石碑等石造物銘刻の調査に携わっている。 </td> </tr> </table> <p>b：企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%; padding: 5px;"> 学外講師の経歴・資格等 </td> <td style="padding: 5px;"> </td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;"> 授業内容 </td> <td style="padding: 5px;"> </td> </tr> </table> <p>c：企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、研修を行う授業科目</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%; padding: 5px;"> 実習先・実習の目的 </td> <td style="padding: 5px;"> </td> </tr> </table>		担当教員の実務経験 (経歴・資格等)	(廣瀬 裕之先生 経歴) 中学校国語教員(書写担当)・高等学校芸術科書道教員 高等学校文部科学省検定済教科書編集執筆(書道) 書道家(毎日書道展審査会員、パリ・東京にて個展開催) 西東京市文化財保護審議会委員	授業内容との関連性	書道・書道史・書写書道教育の研究者であり、書作家でもある。大学近隣の石碑等石造物銘刻の調査に携わっている。	学外講師の経歴・資格等		授業内容		実習先・実習の目的	
担当教員の実務経験 (経歴・資格等)	(廣瀬 裕之先生 経歴) 中学校国語教員(書写担当)・高等学校芸術科書道教員 高等学校文部科学省検定済教科書編集執筆(書道) 書道家(毎日書道展審査会員、パリ・東京にて個展開催) 西東京市文化財保護審議会委員											
授業内容との関連性	書道・書道史・書写書道教育の研究者であり、書作家でもある。大学近隣の石碑等石造物銘刻の調査に携わっている。											
学外講師の経歴・資格等												
授業内容												
実習先・実習の目的												
<p>備考</p>												

科目名		英語学A・B
担当教員		和田 忍
授業方法		講義
科目の概要	到達目標	この科目では、「英語学」で扱われる諸分野の概要を学修し、英語を通じて言語をより深く理解することを目標としています。今日特に重点化されているコミュニケーションの技術の向上を考えた際にも英語学の知識は必ず役に立つものであり、これを通じて、英語のみならず言語に対しての考えを深めてください。
	テキストの概要	このテキストでは、一般的な「英語学」という学問のなかで扱う分野の内容を解説し、考察の助けを示しています。また、英語学の各分野が英語という言語に対して（また場合によっては日本語との比較、対照を行いながら）、どのような視点で学術的追求をしているのか、ということも合わせて理解できるしくみとなっています。
授業計画		<p>WB Tで出題される所定の回数のエクササイズに合格の後、WB T上で行われる単位認定試験に合格することで4単位を認定します。</p> <p><自宅学習></p> <p>第01章 ことばの起源と語族 第02章 人間のことばと言語研究 第03章 英語の発音とスペリング 第04章 英語の語彙の多様性 第05章 標準英語の成立 第06章 英語のバリエーション 第07章 ことばの変化 第08章 ことばと音声 第09章 音の組み合わせとアクセント 第10章 単語ができるしくみ 第11章 文ができるしくみ 第12章 文の内部構造 第13章 ことばの意味とは何だろう 第14章 語の間の意味関係 第15章 意味の拡張 第16章 ことばの意味に見られる主観性 第17章 ことばの意味とコンテキスト 第18章 まとまりのある文章 第19章 文章中の情報構造 第20章 ことばのやりとりにおけるルール 第21章 コミュニケーションの民俗誌 第22章 英語と文化 第23章 ことばと社会 第24章 ことばと国家</p>

	第25章 日本の英語教育と教授法	
成績評価の方法	単位認定試験	
実践的教育を行う 授業科目の種別	a：実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目	
	担当教員の実務経験 (経歴・資格等)	
	授業内容との関連性	
	b：企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目	
	学外講師の経歴・資格等	
	授業内容	
	c：企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、 研修を行う授業科目	
	実習先・実習の目的	
備考		

科目名		英米文学・文化史A・B	
担当教員		井上 亜紗	
授業方法		講義	
科目の概要	到達目標	この科目では、英米文学・文化史の流れを、「時代思潮」「ジャンル別概説」「代表的作家と作品」の三部構成のテキストに沿ってコンパクトに理解し、「代表的作品の原典」の抜粋をつうじて、時代時代の文学的特色を味わい、文学・文化史の主要テーマを理解することを目的とします。	
	テキストの概要	英米文学・文化史の基本テーマを学ぶために、テキストは時代別にプロローグ、第1章～第9章（イギリス文学）、第1章～第7章（アメリカ文学）で構成され、各章毎に「時代思潮」、詩、小説・散文、劇などの「ジャンル別概説」と「代表的作家と作品」の解説が付されています。	
授業計画		<p>WB Tで出題される所定の回数のエクササイズに合格の後、WB T上で行われる単位認定試験に合格することで4単位を認定します。</p> <p><自宅学習></p> <p>第1回（テキスト・プロローグ～第3章）</p> <p>第2回（テキスト第4章～第6章）</p> <p>第3回（テキスト第7章～第9章）</p> <p>第4回 序章 アメリカ文学の背景</p> <p style="padding-left: 40px;">第1章 植民地時代の文学</p> <p style="padding-left: 40px;">第2章 アメリカ文学の独立期</p> <p style="padding-left: 40px;">第3章 アメリカ文学の開花</p> <p style="padding-left: 40px;">第4章 リアリズムと自然主義の文学</p> <p>第5回 第5章 アメリカ文学の成熟</p> <p style="padding-left: 40px;">第6章 第二次大戦後の文学</p> <p style="padding-left: 40px;">第7章 アメリカ文学の現在</p>	
成績評価の方法		単位認定試験	
実践的教育を行う授業科目の種別	a：実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目		
	担当教員の実務経験（経歴・資格等）		
	授業内容との関連性		
	b：企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目		
	学外講師の経歴・資格等		
	授業内容		

2022 武蔵野大学 通信教育部 シラバス

	c：企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、研修を行う授業科目		
	実習先・実習の目的		
備考			

科目名		P r a c t i c a l C o m m u n i c a t i o n A ・ B
担当教員		伊藤 摂子・R. A. Paulson
授業方法		講義
科目の概要	到達目標	この科目では、アメリカやイギリスの映画とマスコミの記事の中でよく出てくる課題を紹介する趣旨で出来ています。総合的ではないけれども、16章のエッセイを読んで keyword を把握して、向こうの教養のある人物の価値観や考え方が分かれば、今まで経験の出来ない次元で英語の勉強が可能になるように、と考えてつくってみました。
	テキストの概要	このテキストでは、大まかに二つのテーマが取り上げられています。人間(市民として)と社会が面している問題、それから、個人にとっての重要な悩み事です。目次に目を通すとわかると思うが、人間と科学(テクノロジー；人間と法律(権力)；人間と自覚(個人として抱いている価値観)；人間の悩み事 PLUS 学校(いじめ問題、拒食症、幸せになるように何が必要か)；アイデンティティ；アパレルの政治的な意味；21世紀の音楽のトレンド、さまざまな課題を幅広く提供します。
授業計画		<p>WB Tで出題される所定の回数 of エクササイズに合格の後、WB T上で行われる単位認定試験に合格することで 4単位を認定します。</p> <p><自宅学習></p> <p>第01章～第16章 西洋社会でよく聞く会話</p> <p>第01章 12 Gentle Japanese (1991)</p> <p>第02章 12 Angry Men</p> <p>第03章 Capital Punishment - For…</p> <p>第04章 Capital Punishment - Against</p> <p>第05章 Genetic Engineering:</p> <p>第06章 Brave New World (すばらしい新世界)</p> <p>第07章 The Cult of Thinness</p> <p>第08章 Happiness is a Fish?</p> <p>第09章 Are Computers Putting Our Children's Education at Risk?</p> <p>第10章 How Would Marshall McLuhan Regard the Internet?</p> <p>第11章 Frivolous Lawsuits</p> <p>第12章 The Matrix and Bladerunner</p> <p>第13章 Identity</p> <p>第14章 Bullies in School</p> <p>第15章 The History of Rap</p> <p>第16章 The Blue Jean as Cultural Metaphor</p>
成績評価の方法		単位認定試験
		a：実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目 ○

2022 武蔵野大学 通信教育部 シラバス

実践的教育を行う 授業科目の種別	担当教員の実務経験 (経歴・資格等)	(伊藤 撰子先生 職歴) ゴールドマンサックス証券会社 東久留米市立第七小学校英語指導員 小学校英語スーパーバイザー 教員指導講師	
	授業内容との関連性	外資系金融企業での勤務経験及び小学校にて英語指導の経験のある教員が、アメリカ・イギリスの文化及び教養を解説しながら英語学習及び知識の定着を図る。	
	b: 企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目		
	学外講師の経歴・資格等		
	授業内容		
	c: 企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、研修を行う授業科目		
	実習先・実習の目的		
備考			

科目名		現代英米事情A・B	
担当教員		岐部 慶子・櫻井 千佳子	
授業方法		講義	
科目の概要	到達目標	この科目では、英語教育の「読む・書く・聞く・話す」の4技能を支える内容面、すなわち、英語圏の歴史・社会・制度、英米の生活・文化の実態、言語としての英語の基礎知識、英語情報の受信・発信の方法などの「現代英米事情」の主要テーマを理解することを目的とします。	
	テキストの概要	このテキストでは、第1章「英語圏の国々を知ろう」、第2章「英米の生活を知ろう」、第3章「英米の文化を知ろう」、第4章「英語の広がりを知ろう」、第5章「ことばとしての英語を学ぼう」など「現代英米事情」の基本テーマについて学びます。(第6章「英語の使い方を学ぼう」はプレゼンテーション、ディベート、エッセイの書き方などをテーマとしているため、自由研究課題とします)	
授業計画		<p>WB Tで出題される所定の回数のエクササイズに合格の後、WB T上で行われる「単位認定試験」に合格することで4単位を認定します。</p> <p><自宅学習></p> <p>第1章 英語圏の国々を知ろう 第2章 英米の生活を知ろう 第3章 英米の文化を知ろう 第4章 英語の広がりを知ろう 第5章 ことばとしての英語を学ぼう 第6章 英語の使い方を学ぼう</p>	
成績評価の方法		単位認定試験	
実践的教育を行う授業科目の種別	a：実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目		
	担当教員の実務経験 (経歴・資格等)		
	授業内容との関連性		
	b：企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目		
	学外講師の経歴・資格等		
	授業内容		
	c：企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、研修を行う授業科目		
	実習先・実習の目的		
備考			

科目名		古代・中古文学研究（SR）	
担当教員		船越 亮佑	
授業方法		講義	
科目の概要	到達目標	この科目では、中古文学の中のいわゆる王朝文学について学びます。王朝文学とは、主に平安の宮廷女性によって、和文・仮名で書かれた文学を指します。その諸作品は、後代の日本文学に絶大な影響を与え、なかには擬古物語や擬古文とってその作品世界や文体を模倣する作品まで生まれました。この点で、王朝文学は古典文学全体のメインストリームの一つであったといえます。王朝文学の作品世界を知り、その魅力を発信することができるようになることを目指します。	
	テキストの概要	このテキストは、王朝文学に位置づけられる物語・随筆・日記文学の主な作品を網羅しており、王朝文学を幅広く知る恰好のテキストとなっています。また、和歌の基礎知識を説明するコラムや王朝文化に関する小事典が添えられており、王朝文学の初学者にやさしい作りとなっています。	
授業計画		<p>WB Tで出題される所定の回数のレポートを提出・合格の後、WB T上で行われる単位認定レポートに合格することで4単位を認定します。</p> <p><自宅学習></p> <p>第1章 物語・随筆</p> <p>第2章 日記</p> <p><スクーリング></p> <p>王朝文学を筆頭に、古代・中古文学は、後代の日本文学に絶大な影響を与えました。スクーリングでは、その後代の作品について学びます。その中では、さまざまな形で古代・中古文学が模倣されたり引用されたりしています。模倣や引用というと、二流の創作手法と思うかもしれませんが、そうではありません。優れた模倣や引用というのは、書き手と読み手に豊かな知識や教養を要求し、それを理解する者には重層的で深淵な作品世界が見えてくるといってきわめて高度な文学的手法です。複数の作品世界の連なり・重なりがもたらす文学の魅力を味わいます。</p>	
成績評価の方法		単位認定試験	
実践的教育を行う授業科目の種別	a：実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目		
	担当教員の实務経験（経歴・資格等）		
	授業内容との関連性		
	b：企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目		
	学外講師の経歴・資格等		
	授業内容		

2022 武蔵野大学 通信教育部 シラバス

	c：企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、 研修を行う授業科目	
	実習先・実習の目的	
備考		

科目名		中世・近世文学研究	
担当教員		鈴木 久美	
授業方法		講義	
科目の概要	到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・中世と近世期の社会・文化についての理解を深める。 ・韻文・散文・劇文学それぞれの分野の多彩な作品に触れ、作品を鑑賞するための基礎的な知識を学ぶ。 ・各文学作品について、先入観や漠然としたイメージではなく個々の作品の具体的表現に基づき、作品への関心の幅を広げていく姿勢と意欲を身につける。 ・上記の学習成果を踏まえて作品鑑賞能力を高め、具体的な作品の読解にそれを発揮する。 	
	テキストの概要	<p>基本テキストとして、小西甚一著『日本文学史』講談社学術文庫(1993/9/6)を使用します。</p> <p>本テキストは、第一章：古代、第二章：中世第一期、第三章：中世第二期、第四章：中世第三期、第五章：近代と構成された日本文学の通史となっています。</p> <p>本講義の対象となる中世・近世文学の時代に該当するのは、第三章・第四章です。しかしながら、「中世文学・近世文学とはどのような性質のものなのか？」という問いへの答えを得るためには、全章の通読は必須となります。時代も文学もその流れは連綿と続いているのであり、前後関係を把握しそれぞれの時代の特性を理解することによって、はじめて、より正確で充実した作品の読みが可能となります。</p> <p>個々の作品を味わい理解するためには、作品が成立した時代・社会背景を理解することは極めて重要です。時代理解・作品背景を深めた上で、テキストで紹介されている重要な作品について、具体的に作品本文に触れ、読解・鑑賞を深めていただきます。</p> <p>各作品の参考書籍については、必要に応じて適宜、紹介・指定します。</p>	
授業計画		<p>WB Tで出題される所定の回数のレポートおよび単位認定試験レポートを提出し・合格すること で4単位を認定します。</p> <p><自宅学習></p> <p>第1章 概説</p> <p>第2章 韻文</p> <p>第3章 散文</p> <p>第4章 演劇</p>	
成績評価の方法		単位認定試験	
実践的教育を行う授業科目の種別		a：実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目	
		担当教員の実務経験 (経歴・資格等)	

2022 武蔵野大学 通信教育部 シラバス

	授業内容との関連性	
	b：企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目	
	学外講師の経歴・資格等	
	授業内容	
	c：企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、研修を行う授業科目	
	実習先・実習の目的	
備考		

科目名	漢文学研究
担当教員	宋 吟
授業方法	講義
到達目標	<p>日本の言語・文学は、中国や朝鮮からもたらされた漢語・漢文学の絶大な影響の元に形作られてきた。漢語・漢文学という視点を無視して日本語や日本文学について語ることはほとんど無意味だと言ってよい。漢文が国語教育の一分野となっているのも、その意味では当然かつ不可欠のことと言える。</p> <p>本科目では、和漢比較文学研究の知見を紹介しながら、日本と中国、日本と朝鮮の文学がいかに深く、切り離しがたく結びついているか、また日本人がその中から独自の文学をどのように生み出していったかを具体的に理解してゆく。そのことは偏狭なナショナリズムに惑わされることなく、世界的な視野の中で日本文学を再発見することにつながるだろう。</p> <p>また、本科目では、レポート課題によって、実際に和漢比較文学の成果に触れ、また比較文学研究の手法も体験してもらう。そうした体験を通して、「学問」とは何か、考えてもらいたい。</p> <p>すなわち、本科目の目標とするところは次の3点である。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中国・朝鮮の文学との密接な関係のもと、日本文学がどのように形作られてきたかを具体的に知る。 ・和漢比較文学研究の成果・方法に触れることにより、「学問」とは何か、考える。 ・自ら調査・学習したことを適切に記述できる。
科目の概要 テキストの概要	<p>三木雅博訳注『和漢朗詠集』は、平安中期藤原公任が和歌と唐人・邦人の漢詩佳句とを部立別に集成したアンソロジーで、当時の流行や趣向を知るだけでなく、和漢比較文学の視点からも重要な意味を持ち、文学史において大きな存在となっている。数種類がある『和漢朗詠集』の訳注の中でも、高く評価される一冊である。</p> <p>藤原克己『菅原道真と平安朝漢文学』は菅原道真に焦点を当てながら、平安貴族全体が置かれた政治社会の環境、また学問の在り方や詩人の運命について考察した論文集。平安漢文学の特質とそれを形成させた日本社会・貴族社会の基盤、また中国との相違点を綿密に論じられる、日本の漢文学研究を代表する名著である。</p> <p>大谷雅夫『歌と詩のあいだ—和漢比較文学論考』は、著者が長年発表してきた研究論文の集成である。万葉集から明治期の漢詩まで日本文学史の各時代を亘るも、一貫して日本文学における中国文学の受容と変容という問題をテーマとして、テキストの精査から緻密な実証を加えて、従来誤読されてきた文脈や懸案とされてきた難読箇所を鮮やかに解決する。所収各篇はいずれも学界に大きな反響を与えた名論文で、その視点と方法はそれぞれの時代やジャンルの文学研究に方向性を提示するだけでなく、近年の和漢比較文学研究の到達を示す著作。</p> <p>川合康三『中国のアルバ』は中国文学研究者である著者による論文六篇をまとめた小論文集である。書名は最初に収められた論文のタイトルを用いる。「アルバ」とは一夜を共に下男女が朝を迎えて別れを惜しむこと、日本語で「きぬぎぬ」と言い直せるところである。基本的に中国文学では恋愛詩は主流ではないとされるが、本書では中国の詩に「アル</p>

2022 武蔵野大学 通信教育部 シラバス

		バ」を見だし、系譜付け、また「きぬぎぬ」と異なる独自性を指摘する。他の論文（章）でも著者の卓越した知見を披露している。
授業計画	<p>スクーリング（0単位）とWBTによる学習（4単位）の計4単位の科目です。</p> <p><スクーリング></p> <p>第1回：中国文学と日本文学</p> <p>第2回：日本漢文学</p> <p><自宅学習></p> <p>三木雅博訳注『和漢朗詠集』</p> <p>藤原克己『菅原道真と平安朝漢文学』</p> <p>大谷雅夫『歌と詩のあいだ—和漢比較文学論考』</p> <p>川合康三『中国のアルバー系譜の詩学』</p> <p>単位認定試験レポート</p>	
成績評価の方法	単位認定試験	
実践的教育を行う 授業科目の種別	a：実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目	
	担当教員の実務経験 (経歴・資格等)	
	授業内容との関連性	
	b：企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目	
	学外講師の経歴・資格等	
	授業内容	
	c：企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、研修を行う授業科目	
	実習先・実習の目的	
備考		

科目名		児童文学	
担当教員		中川 理恵子	
授業方法		講義	
科目の概要	到達目標	この科目では、日本の児童文学の歴史を、作家や社会が心身の発達過程にある子どもをどのように捉えていたかという観点を含め概観し、その特徴を捉える事を目的とする。また、児童文学の周辺についての知識を得ることも目的とする。	
	テキストの概要	<p>テキストの章立ては、次のようになっています。</p> <p>I 章には、現在まとめられている近代児童文学史の紹介から、新しい児童文学史への展望が述べられています。</p> <p>II 章には、児童文学の諸分野（伝承文芸、歴史物語、冒険物語、幼年童話、少年少女小説、動物物語、戦争児童文学、絵本、ファンタジー、童謡、漫画、アニメーション）それぞれの、歴史と現状について述べられています。</p> <p>III 章には、児童文学の周辺として、わらべうた、ストーリーテリング、児童劇、児童文学とジェンダー、児童文学と教科書、についてそれぞれ解説されています。</p> <p>IV 章には、日本児童文学の代表的な作家を時代順に取り上げ、作家と作品について歴史的意義や評価の変遷などを含め解説しています。</p> <p>V 章には、児童文学研究図書館・資料館案内が、紹介されています。</p> <p>VI 章には、児童文学主要研究文献一覧が附されています。</p>	
授業計画		<p>WB Tで出題される所定の回数のレポートおよび単位認定試験レポートを提出し・合格することで4単位を認定します。</p> <p><自宅学習></p> <p>第1章 日本児童文学の創生期から大正期の日本児童文学について</p> <p>第2章 児童文学の諸分野について</p> <p>第3章 現代児童文学について</p> <p>第4章 児童文学の周辺について</p>	
成績評価の方法		単位認定試験	
実践的教育を行う授業科目の種別	a：実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目		
	担当教員の实務経験 (経歴・資格等)		
	授業内容との関連性		
	b：企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目		
	学外講師の経歴・資格等		
	授業内容		

2022 武蔵野大学 通信教育部 シラバス

	c：企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、 研修を行う授業科目	
	実習先・実習の目的	
備考		

科目名		文芸創作研究	
担当教員		辻 貴司	
授業方法		講義	
科目の概要	到達目標	この科目は中学校教諭、高等学校教諭を養成するものであり、文芸創作の基礎を学び、創作作法の技術を理解し習得し、自らも文芸作品を書き上げることができるようになることを目的とします。	
	テキストの概要	文章の基本となる書き方や構成、および魅力的な物語にするポイントを、本書の作品を通して具体的に学びます。	
授業計画		WBTで出題される所定の回数のレポートおよび単位認定試験レポートを提出し・合格することで4単位を認定します。 <自宅学習> 第1章 文体を知ろう 第2章 物語の構成を知ろう 第3章 キャラクターを設定しよう 第4章 ストーリーを面白くしよう	
成績評価の方法		単位認定試験	
実践的教育を行う授業科目の種別	a：実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目		
	担当教員の实務経験 (経歴・資格等)		
	授業内容との関連性		
	b：企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目		
	学外講師の経歴・資格等		
	授業内容		
	c：企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、研修を行う授業科目		
	実習先・実習の目的		
備考			

科目名		書道探求
担当教員		殿村 美奈子
授業方法		講義
科目の概要	到達目標	この科目は高等学校書道教諭を養成するのに必要である。 篆書の書法を学ぶことで、文字の成立を知ることを目的とする。 隷書の書法を習得し、隷書の臨書条幅作品を仕上げることを目的とする。
	テキストの概要	このテキストでは、隷書は、『乙瑛碑』『礼器碑』『曹全碑』『張遷碑』『西狭頌』の古典の一部が解説・学習のポイントとともに載っているので、解説を読んで臨書することで、隷書の書法が理解できる。 篆書は、最古の漢字『甲骨文』や『金文』『石鼓文』『泰山刻石』等古典が載っている。理論編第3章『書の変遷』を読んで、漢字のルーツをたどりながら、図版を参考に、知ることができる。解説を読んで、臨書をすることで、篆書の書法が理解できる。
授業計画		スクーリング（0単位）とWBTによる学習（4単位）の計4単位の科目です。 WBTで出題される所定の回数のレポートおよび単位認定試験レポートを提出し・合格することで4単位を認定します。 <スクーリング> おもに隷書・篆書の基本的な筆づかいを学び、練習した後、臨書をする。 隷書の臨書作品制作についての説明。 提出時の氏名の書き方等。 篆刻についての説明。 <自宅学習> 第1章 隷書について 第2章 篆書について
成績評価の方法		単位認定試験
実践的教育を行う授業科目の種別	a：実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目	
	担当教員の実務経験 (経歴・資格等)	
	授業内容との関連性	
	b：企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目	
	学外講師の経歴・資格等	
	授業内容	
c：企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、研修を行う授業科目		

2022 武蔵野大学 通信教育部 シラバス

	実習先・実習の目的	
備考		

科目名		書道各論	
担当教員		草津 祐介	
授業方法		講義	
科目の概要	到達目標	<p>中学校教諭（国語）・高等学校教諭（書道）を養成する専修科目である。</p> <p>この科目では、中国の代表的な楷書と行書の古典をもとに、様々な書式（細字の書法・条幅（じょうふく）の書法など）を幅広く修得し、さらに書道の技法の能力を高めることを目的とする。</p>	
	テキストの概要	<p>このテキストは、大学における高等学校教員養成課程の芸術科書道の指導のために編集されたテキストである。</p> <p>古典編、理論編、資料編で構成され、それぞれ解説、学習のポイント、語意、コラムを配し、必要に応じて関連する図版や臨書例を加えているので自学自習の参考として、より効果的な学習が期待できる。</p>	
授業計画		<p>スクーリング（0単位）とWBTによる学習（4単位）の計4単位の科目です。</p> <p>WBTで出題される所定の回数のレポートおよび単位認定試験レポートを提出し、合格することで4単位を認定します。</p> <p>〈スクーリング・自他学習〉</p> <p>第1部 楷書を題材にした半紙の書式研究</p> <p>第2部 条幅形式の書式研究</p> <p>第3部 創作（倣書）・半切条幅の倣書の書式研究</p>	
成績評価の方法		単位認定試験	
実践的教育を行う授業科目の種別	a：実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目		
	担当教員の実務経験（経歴・資格等）		
	授業内容との関連性		
	b：企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目		
	学外講師の経歴・資格等		
	授業内容		
	c：企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、研修を行う授業科目		
	実習先・実習の目的		
備考			

科目名		英米詩	
担当教員		水口 小百合	
授業方法		講義	
科目の概要	到達目標	この科目では、詩を通して北米の文化・歴史を学ぶことを目的とする。詩の基本は3つの“S”、すなわち、“Sight”、“Sound”、“Sense”である。初心者は特に詩の“Sound”に感動するはずだ。各詩のスタイルに着目し、何故詩がART（芸術＝技巧）なのか、深く探求して欲しい。	
	テキストの概要	巻頭の概説「はじめに——アメリカ詩について」の他は、アメリカ詩を代表する詩人と作品が、詩人の生没年順に並んでいる。アメリカン・ルネッサンス、モダニズム、ポスト・モダニズムを概観するには最適の構成である。	
授業計画		WBTで出題される所定の回数のレポートおよび単位認定試験レポートを提出し・合格することで4単位を認定します。 <自宅学習> 第1章 アメリカン・ルネッサンス期の詩を学ぶ 第2章 モダニズム期の詩を学ぶ 第3章 ポスト・モダニズム期の詩を学ぶ	
成績評価の方法		単位認定試験	
実践的教育を行う授業科目の種別	a：実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目		
	担当教員の実務経験 (経歴・資格等)		
	授業内容との関連性		
	b：企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目		
	学外講師の経歴・資格等		
	授業内容		
	c：企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、研修を行う授業科目		
	実習先・実習の目的		
備考			

科目名	英米児童文学
担当教員	山本 麻里耶
授業方法	講義
科目の概要	<p>この科目では、英米児童文学の歴史とその特徴を学んでいく。児童文学のジャンルやテーマに関する基礎知識を身につけ、主要作品を文化や社会とのかかわりに留意しながら読むことにより、「子ども」や「文学」を中心に、英語圏文化、文学の理解を深めて行くことを目標とする。</p> <p>児童文学は子どもや若者の生活、心理をテーマにすることも多く、彼らの葛藤や成長を題材にしている。このような児童文学作品に触れることは、時代や社会によって変化する子どもや若者像と共に、次世代に対する大人の期待や願望を知ることでもある。また、教科書には日本の児童文学についても解説があるが、日本と英語圏の児童文学を対比することで、英語圏の児童文学作品の特徴が際立ち、より深く理解することが可能となるだろう。本科目を通して、英語圏の文化、環境、他者との交流方法などを学び、広い視野と多様な視点から物事を考察する力を身につけてほしい。</p>
	<p>この教科書は「はじめに」、序章「児童文学とはなにか」、そして15章からなっており、第1部「児童文学の歴史」、第2部「ジャンル編」、第3部「トピック編」について設定され、英米児童文学の動向を紹介する内容となっている。</p>
授業計画	<p>WB Tで出題される所定の回数のレポートおよび単位認定試験レポートを提出し・合格することで4単位を認定します。</p> <p><自宅学習></p> <p>序章 児童文学理解の基本</p> <p>第01章 子どもの本の分類</p> <p>第02章 英米の子どもの本の歴史</p> <p>第03章 日本の子どもの本の歴史</p> <p>第04章 伝承から子どものための物語へ</p> <p>第05章 ファンタジー</p> <p>第06章 リアリズム</p> <p>第07章 冒険物語</p> <p>第08章 歴史小説</p> <p>第09章 ノンフィクション</p> <p>第10章 子どものための詩</p> <p>第11章 読んでおきたい古典</p> <p>第12章 児童文学の世界地図</p> <p>第13章 戦争と平和を考える</p> <p>第14章 絵本のいろいろ</p> <p>第15章 幼年文学とYA文学</p>
成績評価の方法	単位認定試験

2022 武蔵野大学 通信教育部 シラバス

実践的教育を行う 授業科目の種別	a：実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目		
	担当教員の実務経験 (経歴・資格等)		
	授業内容との関連性		
	b：企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目		
	学外講師の経歴・資格等		
	授業内容		
	c：企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、 研修を行う授業科目		
	実習先・実習の目的		
備考			

2022 武蔵野大学 通信教育部 シラバス

科目名		英語文化特殊講義A	
担当教員		半田 恵美	
授業方法		講義	
科目の概要	到達目標	この科目では、イギリス文化をイギリス・イギリス人、社会制度、生活、文化遺産、教育システム、余暇、都市と田園をテーマとした章ごとに理解し、55のキーワードで歴史的背景や文化を通してイギリスへの理解を深めることを目的とする。	
	テキストの概要	このテキストは、イギリス文化を学ぶために、第1章～7章までにテーマが決められており、また章とは別に全部で55のキーワードで構成されています。各章にはイントロダクションがあり、一つの章の中に、そのテーマに関連するキーワードが数種類含まれています。	
授業計画		<p>WB Tで出題される所定の回数のエクササイズに合格の後、WB T上で行われる単位認定試験に合格することで4単位を認定します。</p> <p><自宅学習></p> <p>第1回 テキスト第1章 第2回 テキスト第2章 第3回 テキスト第3章 第4回 テキスト第4章～第5章 第5回 テキスト第6章～第7章</p>	
成績評価の方法		単位認定試験	
実践的教育を行う授業科目の種別	a：実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目		
	担当教員の実務経験 (経歴・資格等)		
	授業内容との関連性		
	b：企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目		
	学外講師の経歴・資格等		
	授業内容		
	c：企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、研修を行う授業科目		
	実習先・実習の目的		
備考			

科目名		英語文化特殊講義B	
担当教員		和田 忍	
授業方法		講義	
科目の概要	到達目標	<p>「英語文化」というと、まず英語が創りあげた文化ということのを思い浮かべるであろう。確かに英語は多様な文化を創りあげてきたといえる。しかし、その文化を創りあげてきた英語自身も同時に様々な影響を受けて現在の形となっている。つまり、英語という言語自体にもその歴史を有している。そこで、この科目では、英語の歴史について理解を深めることを目的とする。そして、これまでに英語自身が受けた影響を概観することによって、英語が様々な点で影響を与えてできた「英語文化」を考え直すきっかけにしてみたい。</p>	
	テキストの概要	<p>このテキストでは、英語の歴史を概説している。英語の誕生にまつわる話から、英語が経験した盛衰の物語、そして現代の英語事情と時間軸に従って、時代ごとに英語がどのような状況であったのかについて述べられている。また、英語は時代によって、文字、音、文法などを変化させてきた。そうした変遷の様子も描かれている。このテキストは、本来テキストのはしがきにも書かれている通り、David Crystal による The Cambridge Encyclopedia of the English Language の一部を取り上げて編集されたものである。このテキストは日本人向けに編集されていることもあり、固有名詞を中心とした註が豊富である。</p>	
授業計画		<p>WB Tで出題される所定の回数のエクササイズに合格の後、WB T上で行われる単位認定試験に合格することで4単位を認定します。</p> <p><自宅学習></p> <p>第1章 The Origins of English (英語の起源)</p> <p>第2章 Old English (古英語の時代)</p> <p>第3章 Middle English (中英語の時代)</p> <p>第4章 Early Modern English (近代英語の時代)</p> <p>第5章 Modern English (現代英語の時代)</p> <p>第6章 World English (世界の英語)</p>	
成績評価の方法		単位認定試験	
実践的教育を行う授業科目の種別	a: 実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目		
	担当教員の実務経験 (経歴・資格等)		
	授業内容との関連性		
	b: 企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目		
	学外講師の経歴・資格等		

2022 武蔵野大学 通信教育部 シラバス

	授業内容	
	c：企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、研修を行う授業科目	
	実習先・実習の目的	
備考		

科目名	英語文化特殊講義C
担当教員	和田 忍
授業方法	講義
	<p>到達目標</p> <p>言語としての「英語」に対する認識が、今日大きく変化しつつある。元来、ゲルマン語族の一言語として、5世紀頃にブリテン島で発生した英語は1000年ほどイギリスの中で育まれ、その後大航海時代を経て地球規模で使用されるまでに至った。英語は、その拡散先の土地でも独自の発展を遂げ、その代表格としてアメリカが挙げられる。アメリカで発展した「アメリカ英語」は、もはや本家の「(イギリス)英語」よりも世界の人々に知られる存在となった。そして、英語を母国語として使用するイギリス、アメリカ、カナダ、オーストラリアなどの国々における英語の利用状況に加えて、インド、南アフリカ、ジャマイカなど英語を公用語として利用している国々での英語の使用状況が注目されてきた。さらに国際語である英語を外国語として、学び、利用する上記以外の国々や地域の英語も近年注目を集めている。このように、世界各地で様々な英語が使用されている状況を概観し、「英語」という言語の多様性を学習することを当講座の第一の目標としたい。そして、この学習を通じて、自身と英語とのかかわりを再考する機会となることも合わせて期待したい。</p>
科目の概要	<p>テキストの概要</p> <p>このテキストのタイトルの一部に「World Englishes」という表現がある。この語の定義は様々あるが、ここでのWorld Englishesは世界各国で使用されている様々な形態の英語の総体として認識されている。前段の到達目標でも述べたとおり、ブリテン島で発祥した英語は、その歴史の中で様々な言語と接触し、また近代以降イギリス帝国が世界各地に設立した植民地との交流を通じて、英語の言語としての特徴を大きく変化させてきた。その後、世界的な言語となった英語は、社会、文化、政治、経済、科学など様々な分野で影響を及ぼすこととなる。このテキストでは、各地で使用されている英語について、歴史的な成り立ちや独特な使用法を中心にその概要をまとめている。世界で使用されている英語を大まかに分別する手段は様々あるが、B. Kachru (1985) の「3つの円」による分類方法が代表的なものとしてよく使われている。このテキストでもその分類に従って章立てされているので、ここでも紹介しておく。三重の円の中心にある「内部円(Inner circle)」はいわゆる英語を母国語として利用する人々の国々である。アメリカ、イギリス、オーストラリアなどの国々が分別され、テキストでは第1部として扱われている。内部円の外側にくる円を「外部円(Outer circle)」と呼び、ここには主にイギリスの旧植民地であった国々であるインド、シンガポールなどや英語を第2言語、もしくは公用語として利用する国々が該当する。この国々に当たる内容がテキスト第2部で述べられている。外部円のさらに外側の円として「拡張円(Expanding circle)」があり、ここに該当するのは、英語を外国語として、また国際語として利用している国々である。その国々には我々日本を含む、アジア、ヨーロッパ各国、南米の国々などが含まれ、テキストでは第3部として記載されている。この区分はKachru本人が認めているように、明確な区分ができない部分もあるが、上記で述べたように、この分類を基に英語という言語を概観するのが現在の英語の状況を知るうえで最も便利である。また、英語に限らず、言語は刻々と(また長い年月を経て)</p>

		変化するものである。このテキストは英語の現状を示してくれているが、英語を例にとり、人々の使用する言語とはいかなるものであるのかを考えさせる機会ともなっている。																
授業計画		WBTで出題される所定の回数のエクササイズに合格の後、WBT上で行われる単位認定試験に合格することで4単位を認定します。 <自宅学習> 第1部「母語話者の英語」第1章 イギリス英語とその方言 第1部「母語話者の英語」第2章 ケルト語地域の英語 第1部「母語話者の英語」第3章 アメリカ英語とカナダ英語 第1部「母語話者の英語」第4章 オーストラリアとニュージーランドの英語 第1部「母語話者の英語」第5章 英語を母語とする、そのほかの地域 第2部「公用語 / 第2言語話者の英語」第1章 インドとその周辺の英語 第2部「公用語 / 第2言語話者の英語」第2章 東南アジアの英語 第2部「公用語 / 第2言語話者の英語」第3章 アフリカの英語 第2部「公用語 / 第2言語話者の英語」第4章 カリブ海域の英語 第2部「公用語 / 第2言語話者の英語」第5章 そのほかの地域の英語 第3部「国際語 / 共通語としての英語」第1章 ヨーロッパの英語 第3部「国際語 / 共通語としての英語」第2章 中東における英語 第3部「国際語 / 共通語としての英語」第3章 東アジアの英語																
成績評価の方法		単位認定試験																
実践的教育を行う授業科目の種別		<table border="1"> <tr> <td data-bbox="368 1144 722 1227"> a：実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目 </td> <td data-bbox="722 1144 1544 1227"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="368 1227 722 1323"> 担当教員の実務経験 (経歴・資格等) </td> <td data-bbox="722 1227 1544 1323"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="368 1323 722 1406"> 授業内容との関連性 </td> <td data-bbox="722 1323 1544 1406"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="368 1406 722 1489"> b：企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目 </td> <td data-bbox="722 1406 1544 1489"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="368 1489 722 1572"> 学外講師の経歴・資格等 </td> <td data-bbox="722 1489 1544 1572"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="368 1572 722 1655"> 授業内容 </td> <td data-bbox="722 1572 1544 1655"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="368 1655 722 1751"> c：企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、研修を行う授業科目 </td> <td data-bbox="722 1655 1544 1751"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="368 1751 722 1827"> 実習先・実習の目的 </td> <td data-bbox="722 1751 1544 1827"></td> </tr> </table>	a：実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目		担当教員の実務経験 (経歴・資格等)		授業内容との関連性		b：企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目		学外講師の経歴・資格等		授業内容		c：企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、研修を行う授業科目		実習先・実習の目的	
a：実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目																		
担当教員の実務経験 (経歴・資格等)																		
授業内容との関連性																		
b：企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目																		
学外講師の経歴・資格等																		
授業内容																		
c：企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、研修を行う授業科目																		
実習先・実習の目的																		
備考																		

科目名		英語文化特殊講義D	
担当教員		半田 恵美	
授業方法		講義	
科目の概要	到達目標	この科目では、アメリカ文化を国家の創生、アメリカ人になる、アメリカ文化の光と影、モノとイメージのアメリカ、社会と制度、自然と風景、大衆文化をテーマとした章ごとに理解し、55のキーワードでアメリカ独立、他国との関係性といった歴史的背景や文化を通してアメリカへの理解を深めることを目的とする。	
	テキストの概要	このテキストでは、アメリカ文化を学ぶために、第1章～第7章までテーマが決められており、また章とは別に55のキーワードで構成されています。各章には最初にイントロダクション、最後にコラムがあり、一つの章の中に、そのテーマに関連するキーワードが数種類含まれています。	
授業計画		WBTで出題される所定の回数のエクササイズに合格の後、WBT上で行われる単位認定試験に合格することで4単位を認定します。 <自宅学習> 第1回 テキスト第1章 第2回 テキスト第2章 第3回 テキスト第3章～第4章 第4回 テキスト第5章 第5回 テキスト第6章～第7章	
成績評価の方法		単位認定試験	
実践的教育を行う授業科目の種別	a：実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目		
	担当教員の実務経験 (経歴・資格等)		
	授業内容との関連性		
	b：企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目		
	学外講師の経歴・資格等		
	授業内容		
	c：企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、研修を行う授業科目		
	実習先・実習の目的		
備考			

科目名		教育実習指導【小学校】	
担当教員		安達 光樹・大杉 健・樋口 昇・山崎 淳・渡辺 裕之	
授業方法		講義	
科目の概要	到達目標	この科目では、小学校での教育実習にかかわる実践的な態度や具体的な指導技術を身に付け、小学校教諭として必要な資質や能力の基礎を形成することを目標とする。	
	テキストの概要	このテキストでは、教育実習の意義や課題、実習の事前学習から事後の学習にいたる教育実習全体の概要、さらには実習校での経験を有意義なものにするための具体的な工夫や留意事項などについて概説されています。また、実習中に行う授業のために、学習指導案の例なども添えられています。どれも教育実習に直結する内容となっています。	
授業計画		<p>スクーリング（0単位）とWBTによる学習（1単位）の計1単位の科目です。</p> <p><スクーリング></p> <p>第01講 [教育実習の意義と課題]</p> <p>第02講 [教育実習の流れ]</p> <p>第03講 [よい授業をするために（教育実習の実際Ⅰ）]</p> <p>第04講 [豊かな指導実践のために（教育実習の実際Ⅱ）]</p> <p>第05講 [教育実習報告と研究協議1]</p> <p>第06講 [教育実習報告と研究協議2]</p> <p>第07講 [教育実習の成果と今後の課題]</p> <p>※第01講～第04講は教育実習前、第05講～第07講は教育実習後に行います。</p> <p><自宅学習></p> <p>第1回レポート：テキスト第1章～第4章、第6章</p> <p>単位認定試験レポート：テキスト第1章～第4章、第6章</p>	
成績評価の方法		単位認定試験	
実践的教育を行う授業科目の種別		a：実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目	
		担当教員の实務経験 (経歴・資格等)	
		授業内容との関連性	
		b：企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目	
		学外講師の経歴・資格等	
		授業内容	
		c：企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、研修を行う授業科目	

2022 武蔵野大学 通信教育部 シラバス

	実習先・実習の目的	
備考		

科目名		教育実習【小学校】	
担当教員		安達 光樹・大杉 健・樋口 昇・山崎 淳・渡辺 裕之	
授業方法		講義	
科目の概要	到達目標	<p>この科目では、以下のことを目標とする。</p> <p>(1) 小学校教育の実際について、体験的、総合的な知見を得ること。</p> <p>(2) 大学において修得した教科や教職に関する専門的な知識・技能を児童の成長・発達の促進に適用する実践的能力の基礎を形成すること。</p> <p>(3) 教育実践に関する問題解決や創意工夫に必要な研究的な態度と能力の基礎を形成すること。</p> <p>(4) 教育者としての教育的愛情と使命感を深め、自己の教員としての能力や適性についての自覚を得ること。</p>	
	テキストの概要	なし	
授業計画		<p>スクーリングによる学習の計4単位の科目です。</p> <p><スクーリング></p> <p>教育委員会より指定された小学校、または直接の依頼により許可を得た小学校において、4週間の実習を行う。</p> <p>(実習前年度に実施すること)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 4月1日～4月15日に「教育実習希望調査票」を教職研究センター事務室へ提出 ・ 4月中旬～6月末にかけて、実習希望校へ訪問し内諾を得る ・ 実習前年度の成績確定後、2月14日までに「教育実習受講資格CK表」を教職研究センター事務室へ提出 ・ 2月～3月にかけて大学から送付された書類の提出等を行う <p>※スケジュールは前年度をベースとした内容ですので変更となる可能性があります。また、実習校により内諾後に独自の手続きを必要とする場合があります。</p> <p>(実習実施年度に実施すること)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 4月上旬に教育実習日誌等の書類を受取る ・ 5月1日～5月16日に教育実習費を大学へ振り込む ・ 各自決定した期間に4週間の教育実習を行う ・ 教育実習終了後、「教育実習日誌」「成績報告書」「出勤簿」を大学へ提出する 	
成績評価の方法		単位認定試験	
実践的教育を行う授業科目の種別	a: 実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目		
	担当教員の実務経験(経歴・資格等)		
	授業内容との関連性		

2022 武蔵野大学 通信教育部 シラバス

	b: 企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目	
	学外講師の経歴・資格等	
	授業内容	
	c: 企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、研修を行う授業科目	
	実習先・実習の目的	
備考		

2022 武蔵野大学 通信教育部 シラバス

科目名		教育実習【中学校・高等学校】（国語科専修）	
担当教員		初谷 和行	
授業方法		講義	
科目の概要	到達目標	この科目では、教育実習で国語の実践授業、研究授業を行うための準備の学習（教材研究や学習指導案の作成）をするとともに、教育実習後の振り返りの学習をする。	
	テキストの概要	テキストは、使用しない。学習指導要領解説（中学校は平成 20 年及び平成 29 年、高等学校は平成 22 年及び平成 30 年）を必ず準備すること。	
授業計画		<p>教育実習の単位認定を受けるためには次の三つのことが必要です。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 事前指導 7 コマのスクーリング 2 3 週間の教育実習（※1 高等学校免許状のみを取得する場合は 2 週間） 3 単位認定試験（レポート） <p>本校武蔵野キャンパス（東京都西東京市）で行われるスクーリング（事前指導 7 コマ）への出席は必須です。実習とはいえ受け入れ校の生徒にとっては大切な授業の時間であり、教育実習に参加するには一定レベル以上の指導力を身に付けておくことが求められます。また、単位認定試験（レポート）では、教育実習のふりかえりをしていただきま</p> <p><スクーリング></p> <p>第 01 講 [オリエンテーション] [国語科学習指導案の作成の仕方に関する講義]</p> <p>第 02 講 [受講生それぞれが学習指導案を作成する]</p> <p>第 03 講 [同上]</p> <p>第 04 講 [同上]</p> <p>第 05 講 [模擬授業の実施とふりかえり]</p> <p>第 06 講 [模擬授業の実施とふりかえり]</p> <p>第 07 講 [授業のまとめと実習に望むにあたっての心構え]</p> <p><自宅学習></p> <p>教育実習後単位認定レポートの提出</p>	
成績評価の方法		単位認定試験	
実践的教育を行う授業科目の種別	a：実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目		
	担当教員の实務経験（経歴・資格等）		
	授業内容との関連性		
	b：企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目		
	学外講師の経歴・資格等		
	授業内容		

2022 武蔵野大学 通信教育部 シラバス

	c：企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、研修を行う授業科目	
	実習先・実習の目的	
備考		

科目名		教育実習【中学校・高等学校】（英語科専修）	
担当教員		武野谷 諒・渡辺 英雄・新谷 なをみ	
授業方法		講義	
科目の概要	到達目標	この科目では、中学校教諭（英語）・高等学校教諭（英語）養成に必要な教育実習において英語の授業を行うための準備（教材研究や学習指導案の作成）をするとともに、教育実習後の振り返りの学習を行い、英語の授業の実践における力を養うことを目標とします。	
	テキストの概要	なし	
授業計画		<p>教育実習の単位認定を受けるためには次の三つのことが必要です。 単年度で修得してください。「履修期間の延長（成績の引継ぎ）」は行いません。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 事前指導7コマ 2 3週間の教育実習（※1 高等学校免許状のみを取得する場合は2週間） 3 第1回レポート、単位認定試験レポートの提出 <p>本校（東京都西東京市）で行われるスクーリング（事前指導7コマ）への出席は必須です。実習とはいえ受け入れ校の生徒にとっては大切な授業の時間であり、教育実習に参加するには一定レベル以上の指導力を身に付けておくことが求められます。</p> <p><スクーリング> 第01講 [オリエンテーション] 第02講 [英語の授業実践に関する講義①] 第03講 [英語の授業実践に関する講義②] 第04講 [作成した指導案をもとにした実演とディスカッション①] 第05講 [作成した指導案をもとにした実演とディスカッション②] 第06講 [作成した指導案をもとにした実演とディスカッション③] 第07講 [まとめ]</p> <p><自宅学習> <事後報告>実習での成果を2つのレポートで報告</p>	
成績評価の方法		単位認定試験	
実践的教育を行う授業科目の種別	a：実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目		
	担当教員の实務経験（経歴・資格等）		
	授業内容との関連性		
	b：企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目		
	学外講師の経歴・資格等		

2022 武蔵野大学 通信教育部 シラバス

	授業内容	
	c : 企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、研修を行う授業科目	
	実習先・実習の目的	
備考		

科目名		教育実習【中学校】（国語科専修）	
担当教員		初谷 和行	
授業方法		講義	
科目の概要	到達目標	この科目では、教育実習で国語の実践授業、研究授業を行うための準備の学習（教材研究や学習指導案の作成）をするとともに、教育実習後の振り返りの学習をする。	
	テキストの概要	テキストは、使用しない。学習指導要領解説（中学校は平成20年及び平成29年、高等学校は平成22年及び平成30年）を必ず準備すること。	
授業計画		<p>教育実習の単位認定を受けるためには次の三つのことが必要です。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 事前指導7コマのスクーリング 2 3週間の教育実習（※1 高等学校免許状のみを取得する場合は2週間） 3 単位認定試験（レポート） <p>本校武蔵野キャンパス（東京都西東京市）で行われるスクーリング（事前指導7コマ）への出席は必須です。実習とはいえ受け入れ校の生徒にとっては大切な授業の時間であり、教育実習に参加するには一定レベル以上の指導力を身に付けておくことが求められます。また、単位認定試験（レポート）では、教育実習のふりかえりをしていただき</p> <p><スクーリング></p> <p>第01講 [オリエンテーション] [国語科学習指導案の作成の仕方に関する講義]</p> <p>第02講 [受講生それぞれが学習指導案を作成する]</p> <p>第03講 [同上]</p> <p>第04講 [同上]</p> <p>第05講 [模擬授業の実施とふりかえり]</p> <p>第06講 [模擬授業の実施とふりかえり]</p> <p>第07講 [授業のまとめと実習に望むにあたっての心構え]</p> <p><自宅学習></p> <p>教育実習後単位認定レポートの提出</p>	
成績評価の方法		単位認定試験	
実践的教育を行う授業科目の種別	a：実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目		
	担当教員の实務経験（経歴・資格等）		
	授業内容との関連性		
	b：企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目		
	学外講師の経歴・資格等		
	授業内容		

2022 武蔵野大学 通信教育部 シラバス

	c：企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、 研修を行う授業科目	
	実習先・実習の目的	
備考		

科目名		教育実習【中学校】（英語科専修）	
担当教員		武野谷 諒・渡辺 英雄・新谷 なをみ	
授業方法		講義	
科目の概要	到達目標	この科目では、中学校教諭（英語）・高等学校教諭（英語）養成に必要な教育実習において英語の授業を行うための準備（教材研究や学習指導案の作成）をするとともに、教育実習後の振り返りの学習を行い、英語の授業の実践における力を養うことを目標とします。	
	テキストの概要	なし	
授業計画		<p>教育実習の単位認定を受けるためには次の三つのことが必要です。 単年度で修得してください。「履修期間の延長（成績の引継ぎ）」は行いません。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 事前指導7コマ 2 3週間の教育実習（※1 高等学校免許状のみを取得する場合は2週間） 3 第1回レポート、単位認定試験レポートの提出 <p>本校（東京都西東京市）で行われるスクーリング（事前指導7コマ）への出席は必須です。実習とはいえ受け入れ校の生徒にとっては大切な授業の時間であり、教育実習に参加するには一定レベル以上の指導力を身に付けておくことが求められます。ま くスクーリング></p> <p>第01講 [オリエンテーション] 第02講 [英語の授業実践に関する講義①] 第03講 [英語の授業実践に関する講義②] 第04講 [作成した指導案をもとにした実演とディスカッション①] 第05講 [作成した指導案をもとにした実演とディスカッション②] 第06講 [作成した指導案をもとにした実演とディスカッション③] 第07講 [まとめ]</p>	
成績評価の方法		単位認定試験	
実践的教育を行う授業科目の種別	a：実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目		
	担当教員の実務経験 （経歴・資格等）		
	授業内容との関連性		
	b：企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目		
	学外講師の経歴・資格等		
	授業内容		

2022 武蔵野大学 通信教育部 シラバス

	c：企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、 研修を行う授業科目	
	実習先・実習の目的	
備考		

科目名		教職実践演習（小・中・高）
担当教員		野中 繁・樋口 昇・森 富子・新谷 なをみ
授業方法		講義
科目の概要	到達目標	<p>この科目は、教職課程を履修する者の履修履歴とその状況を踏まえ、教師に必要とされる知識技能並びに資質・能力の修得したことを確認するものです。特に、教育の本質と目的を的確に理解し、教員に必要とされる資質・能力である「教員としての基礎的教養」「社会人としての基礎的素養」「専門職としての知識・技能」のあり方の検討を通じて、今後の教育改革と教員養成の方向性を構造的に捉える視座の育成を目指します。</p>
	テキストの概要	<p>本科目は、これまでの教職課程での学びを振り返り、教師としての資質・能力の獲得状況について成果と課題を明らかにするものです。そのため、前提となるのは、これまでの教職課程での学びの広がりを確認する上でも、教職課程にて使用してきたテキストの内容やレポート等、自らの「学びの痕跡」です。</p> <p>その上で、本科目では、1冊のテキストを指定します。このテキストは、教職実践演習導入の経緯から始まり、教職実践演習で大切な振り返り作業を支え、自らの学びと実践の評価方法および材料となる「ポートフォリオ」を中心に、自らの教職課程での振り返りを通じた成果と課題の抽出方法について述べられています。さらに、教職実践演習に含まれるべき事項としての「4つの要素」＝「使命感や責任感、教育的愛情」「教科内容に関する指導力」「子ども理解や学級経営に関する指導力」「社会性や対人関係能力」を中心に、先のポートフォリオの手法を用いつつ、教師として対応が求められる教育課題について考えを深めます。最後に、学習者によって異なるであろう成果と課題に応じて、教師となるために必要な自らの課題と向き合う必要性をそのまとめ方について述べています。</p> <p>しかし、本テキストにあげられている様々な事例は、みなさんのこれまでの学びや、教育実習やボランティアといった教育経験とは異なっているかもしれません。そのため、本科目ではテキストを、テキスト全体の理解や学習展開を示すものとして使用するのではなく、みなさん自身の教育経験を振り返り、成果と課題を自覚するための方法とその広がりを確認、参照するために用います。本科目を学ぶ上で必要としたり、参照すべき箇所は以下提示しますので、注意をお願いします。</p>
授業計画		<p>スクーリング（0単位）とWBTによる学習（2単位）の計2単位の科目です。 WBTで出題される所定の回数のレポートおよび単位認定試験レポートを提出し・合格することで 単位を認定します。</p> <p><自宅学習></p> <p>第1章 「教員に必要とされる資質・能力」とは 第2章 学級経営目標とその実現に向けた指導のあり方 第3章 模擬授業を通じた授業実践等学習指導のあり方</p> <p><スクーリング></p> <p>テキスト、「教育実習日誌」、「履修カルテ」、さらに第1回～第2回のレポート内容を踏まえて、受講者の課題意識は関心に合わせて講義を進めます。</p> <p>各回で予定されている内容は以下の通りです（変更される場合もあります）。</p>

	第01講・第02講 [学級経営目標とその実現に向けた指導のあり方に関する成果と課題をめぐって] 第03講・第04講 [授業実践等学習指導経験を通じて得られた成果と課題をめぐって] 第05講・第06講 [教師に必要とされる使命感・責任感・教育的愛情を考える]	
成績評価の方法	単位認定試験	
実践的教育を行う 授業科目の種別	a: 実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目	○
	担当教員の实務経験 (経歴・資格等)	(野中 繁先生 職歴) 国立研究開発法人 科学技術振興機構 理数学習推進部 先端学習グループ 主任調査員
	授業内容との関連性	次世代の科学技術を担う子供たちの育成を継続的・体系的に行う方策の推進に携わった教員が、教育の本質と目的を理解させ、今後の教育改革と教員養成の方向性を構造的に捉える視座を育成する。
	b: 企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目	
	学外講師の経歴・資格等	
	授業内容	
	c: 企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、研修を行う授業科目	
	実習先・実習の目的	
備考		

科目名		教育実習教科研究【小学校】	
担当教員		勘米良 祐太・佐藤 克士・中村 駿・樋口 昇	
授業方法		講義	
科目の概要	到達目標	この科目では、いくつかの教科について基礎となる考え方や技能を学ぶことを通して、小学校における教科の教材研究、学習過程、指導法等について追究するとともに、授業を省察し、よりよい授業づくりに反映する手だてを学ぶことを通して、教育実習で生かすことのできる実践力を身に付けることを目的としています。	
	テキストの概要	このテキストでは、国語科で扱う文学的な文章の教材研究の方法を学ぶことができます。テキストを活用し、国語科の指導を進めるうえで必要な能力を身に付けることができます。なお、本科目は複数の教員が担当しますが、それぞれの教員が独自のテキストあるいは自作の資料を使用することがあります。	
授業計画		<p>本校（東京都西東京市）で行われるスクーリング（全14コマ）に出席し、最終日に教員より課される単位認定試験に合格することで2単位を認定します。</p> <p><スクーリング></p> <p>第01講 [理科指導の理論と実践①]]</p> <p>第02講 [理科指導の理論と実践②]]</p> <p>第03講 [理科指導の理論と実践③]]</p> <p>第04講 [理科指導の理論と実践④]]</p> <p>第05講 [社会科指導の理論と実践①]]</p> <p>第06講 [社会科指導の理論と実践②]]</p> <p>第07講 [社会科指導の理論と実践③]]</p> <p>第08講 [社会科指導の理論と実践④]]</p> <p>第09講 [国語科指導の理論と実践①]]</p> <p>第10講 [国語科指導の理論と実践②]]</p> <p>第11講 [国語科指導の理論と実践③]]</p> <p>第12講 [国語科指導の理論と実践④]]</p> <p>第13講 [授業の省察①]]</p> <p>第14講 [授業の省察②・単位認定試験]]</p>	
成績評価の方法		単位認定試験	
実践的教育を行う授業科目の種別		a：実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目	
		担当教員の实務経験 (経歴・資格等)	
		授業内容との関連性	
		b：企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目	
		学外講師の経歴・資格等	

2022 武蔵野大学 通信教育部 シラバス

	授業内容	
	c : 企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、研修を行う授業科目	
	実習先・実習の目的	
備考		

科目名		教育実習教科研究【国語科専修】	
担当教員		初谷 和行・廣瀬 裕之	
授業方法		講義	
科目の概要	到達目標	この科目では、国語科および書道（芸術科（書道））の授業を念頭に、その基礎となる考え方や技能を学んだり、教材研究や授業作りに関する実践力を養ったりすることで、教育実習や教職に就いた際に活かすことを目的としています。	
	テキストの概要	テキストは、中学校および高等学校の学習指導要領です。国語科や書道において何を学ぶか、どのような力を養うかを考える土台となるのが学習指導要領です。その他、担当教員ごとに独自のテキストや資料を使用することがあります。	
授業計画		<p>本校（東京都西東京市）で行われるスクーリング（全14コマ）に出席し、最終日に教員より課される単位認定試験に合格することで2単位を認定します。</p> <p><スクーリング></p> <p>第01講 [国語科学習指導要領（中学校）]</p> <p>第02講 [国語科学習指導要領（高等学校）]</p> <p>第03講 [国語科学習の実際①（読む①）]</p> <p>第04講 [国語科学習の実際②（読む②）]</p> <p>第05講 [国語科学習の実際③（読む③）]</p> <p>第06講 [国語科学習の実際④（書く）]</p> <p>第07講 [国語科学習の実際⑤（話す聞く）]</p> <p>第08講 [国語科学習の実際⑥（知識・技能）]</p> <p>第09講 [書写・書道の授業のポイント]</p> <p>第10講 [芸術科書道学習指導要領（高等学校）]</p> <p>第11講 [書道の授業で扱う古典作品の指導法①漢字]</p> <p>第12講 [書道の授業で扱う古典作品の指導法②仮名]</p> <p>第13講 [書道の授業で扱う創作作品の指導法・漢字仮名交じりの書]</p> <p>第14講 [書道の授業での添削と評価について]</p>	
成績評価の方法		単位認定試験	
実践的教育を行う授業科目の種別	a：実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目		
	担当教員の实務経験（経歴・資格等）		
	授業内容との関連性		
	b：企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目		
	学外講師の経歴・資格等		
	授業内容		

2022 武蔵野大学 通信教育部 シラバス

	c：企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、 研修を行う授業科目	
	実習先・実習の目的	
備考		

科目名		教育実習教科研究【英語科専修】	
担当教員		伊藤 摂子・江原 美明・中川 洋子・渡辺 英雄	
授業方法		講義	
科目の概要	到達目標	この科目では、英語科の授業を実践するにあたり、必要となる基礎的な知識、英語力や指導力を理解し、それらの向上を目指します。また模擬授業を通して実践的な指導についての理解を深め、教育実習での指導に活かすことができるような力をつけることを目的としています。	
	テキストの概要	このテキストでは、英語科の指導の基本的な考えを理解するため、学習指導要領を用いて必要な知識を習得します。また指導を担当する教員毎に独自のテキストや資料を使用することがあります。	
授業計画		<p>本校（東京都西東京市）で行われるスクーリング（全14コマ）に出席し、最終日に教員より課される単位認定試験に合格することで2単位を認定します。</p> <p><スクーリング></p> <p>第01講 [英語科 外国語編学習指導要領（中学校）]</p> <p>第02講 [英語科 外国語編学習指導要領（高等学校）]</p> <p>第03講 [英語科 外国語教育学習指導要領（小学校）]</p> <p>第04講 [小学校における英語指導]</p> <p>第05講 [英語科における音声指導①]</p> <p>第06講 [英語科における音声指導②]</p> <p>第07講 [単元計画と指導案①]</p> <p>第08講 [単元計画と指導案②]</p> <p>第09講 [模擬授業①]</p> <p>第10講 [模擬授業②]</p> <p>第11講 [模擬授業③]</p> <p>第12講 [模擬授業④]</p> <p>第13講※ [模擬授業のフィードバック]</p> <p>第14講 [授業の評価、まとめ（課題）]</p> <p>※第13講はスクーリング受講者数により模擬授業⑤とする可能性もあります。</p>	
成績評価の方法		単位認定試験	
実践的教育を行う授業科目の種別	a：実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目		
	担当教員の实務経験（経歴・資格等）		
	授業内容との関連性		
	b：企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目		
	学外講師の経歴・資格等		

2022 武蔵野大学 通信教育部 シラバス

	授業内容	
	c：企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、研修を行う授業科目	
	実習先・実習の目的	
備考		

科目名		教育実習学校教育研究【小学校】	
担当教員		安達 光樹・上岡 学・小野 健太郎・大杉 健	
授業方法		講義	
科目の概要	到達目標	これまでの教職関連の学びを基礎に、臨床の学びとして実際に学校現場に行き、授業をはじめ、さまざまな教育活動に参加することで、教師に求められるさまざまな知識や技術を体験的に学ぶ「教育実習」について、この科目では研究的にいくつかの視点から学びを深めることを目的とする。	
	テキストの概要	このテキストでは、教育実習について、3つの観点から捉えなおします。第1章「教師の資質と教育実習の役割」では、現代社会の教員に求められる教師の資質・能力、及び教育実習の目的や意義について概説します。第2章「教育実習ガイダンス」では、実習前、実習中、実習後の3つフェーズに分け、それぞれのフェーズに求められる課題や心構えについて概説します。第3章「教育実習の実際」では、主に学習指導（授業）場面を中心に、教育実習における観察実習、授業設計、学習指導の考え方や方法について概説します。	
授業計画		<p>本校（東京都西東京市）で行われるスクーリング（全14コマ）に出席し、最終日に教員より課される単位認定試験に合格することで2単位を認定します。</p> <p><スクーリング></p> <p>第01講 [教師の資質と教育実習の役割]</p> <p>第02講 [教育実習ガイダンス（1）]</p> <p>第03講 [教育実習ガイダンス（2）]</p> <p>第04講 [教育実習ガイダンス（3）]</p> <p>第05講 [教育実習ガイダンス（4）]</p> <p>第06講 [教育実習の実際]</p> <p>第07講 [課題別レポート／プレゼンの方法]</p> <p>第08講 [課題別レポートと討論（1）]</p> <p>第09講 [課題別レポートと討論（2）]</p> <p>第10講 [課題別レポートと討論（3）]</p> <p>第11講 [課題別レポートと討論（4）]</p> <p>第12講 [課題別レポートと討論（5）]</p> <p>第13講 [課題別レポートと討論（6）]</p> <p>第14講 [課題別レポートと討論（7）]</p>	
成績評価の方法		単位認定試験	
実践的教育を行う授業科目の種別	a：実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目		
	担当教員の実務経験（経歴・資格等）		
	授業内容との関連性		

2022 武蔵野大学 通信教育部 シラバス

	b: 企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目	
	学外講師の経歴・資格等	
	授業内容	
	c: 企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、研修を行う授業科目	
	実習先・実習の目的	
備考		

科目名		教育実習学校教育研究【中学校・高等学校】（国語科専修）	
担当教員		高岡 麻美・常盤 隆・野中 繁	
授業方法		講義	
科目の概要	到達目標	教育実習の中心は授業である。しかし教育実習で学ぶのは授業だけではない。教科指導以外にも生徒指導、特別活動、学級経営など学校で学ぶべきことはたくさんある。この科目では、これから教育実習を迎える学生に必要な知識や方策について、具体的に理解し考えることができるようすること、教育実習後には、学校での学びを振り返り、実践をもとに教師に求められる力を確認すること、を目的とする。	
	テキストの概要	テキスト「生徒指導提要」は、文部科学省が著作した、小学校段階から高等学校段階までの生徒指導の理論・考え方や実際の指導方法等について、時代の変化に即して網羅的にまとめた基本書である。教育実習に臨むにあたって、必須の生徒指導の基礎をここから学び取る。	
授業計画		<p>本校（東京都西東京市）で行われるスクーリング（全14コマ）に出席し、最終日に教員より課される単位認定試験に合格することで2単位を認定します。</p> <p><スクーリング></p> <p>第01講 [教育実習が始まる前に]</p> <p>第02講 [学校ってどんなところ]</p> <p>第03講 [実習中の心得]</p> <p>第04講 [生徒指導提要をもとに学ぶ①]</p> <p>第05講 [生徒指導提要をもとに学ぶ②]</p> <p>第06講 [生徒指導提要をもとに学ぶ③]</p> <p>第07講 [生徒指導提要をもとに学ぶ④]</p> <p>第08講 [生徒指導提要をもとに学ぶ⑤]</p> <p>第09講 [生徒指導提要をもとに学ぶ⑥]</p> <p>第10講 [生徒指導提要をもとに学ぶ⑦]</p> <p>第11講 [生徒指導提要をもとに学ぶ⑧]</p> <p>第12講 [教育実習の振り返り①]</p> <p>第13講 [教育実習の振り返り②]</p> <p>第14講 [1年間の講義のまとめと単位認定試験]</p>	
成績評価の方法		単位認定試験	
実践的教育を行う授業科目の種別		a：実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目	
		担当教員の実務経験 (経歴・資格等)	
		授業内容との関連性	
		b：企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目	

2022 武蔵野大学 通信教育部 シラバス

	学外講師の経歴・資格等	
	授業内容	
	c：企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、 研修を行う授業科目	
	実習先・実習の目的	
備考		

科目名		教育実習学校教育研究【中学校・高等学校】（英語科専修）	
担当教員		高岡 麻美・常盤 隆・野中 繁	
授業方法		講義	
科目の概要	到達目標	教育実習の中心は授業である。しかし教育実習で学ぶのは授業だけではない。教科指導以外にも生徒指導、特別活動、学級経営など学校で学ぶべきことはたくさんある。この科目では、これから教育実習を迎える学生に必要な知識や方策について、具体的に理解し考えることができるようにすること、教育実習後には、学校での学びを振り返り、実践をもとに教師に求められる力を確認すること、を目的とする。	
	テキストの概要	テキスト「生徒指導提要」は、文部科学省が著作した、小学校段階から高等学校段階までの生徒指導の理論・考え方や実際の指導方法等について、時代の変化に即して網羅的にまとめた基本書である。教育実習に臨むにあたって、必須の生徒指導の基礎をここから学び取る。	
授業計画		<p>本校（東京都西東京市）で行われるスクーリング（全14コマ）に出席し、最終日に教員より課される単位認定試験に合格することで2単位を認定します。</p> <p><スクーリング></p> <p>第01講 [教育実習が始まる前に]</p> <p>第02講 [学校ってどんなところ]</p> <p>第03講 [実習中の心得]</p> <p>第04講 [生徒指導提要をもとに学ぶ①]</p> <p>第05講 [生徒指導提要をもとに学ぶ②]</p> <p>第06講 [生徒指導提要をもとに学ぶ③]</p> <p>第07講 [生徒指導提要をもとに学ぶ④]</p> <p>第08講 [生徒指導提要をもとに学ぶ⑤]</p> <p>第09講 [生徒指導提要をもとに学ぶ⑥]</p> <p>第10講 [生徒指導提要をもとに学ぶ⑦]</p> <p>第11講 [生徒指導提要をもとに学ぶ⑧]</p> <p>第12講 [教育実習の振り返り①]</p> <p>第13講 [教育実習の振り返り②]</p> <p>第14講 [1年間の講義のまとめと単位認定試験]</p>	
成績評価の方法		単位認定試験	
実践的教育を行う授業科目の種別		a：実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目	
		担当教員の実務経験 (経歴・資格等)	
		授業内容との関連性	
		b：企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目	

2022 武蔵野大学 通信教育部 シラバス

	学外講師の経歴・資格等	
	授業内容	
	c：企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、 研修を行う授業科目	
	実習先・実習の目的	
備考		

科目名		日本文学史 I (古典) (SR)
担当教員		船越 亮佑
授業方法		講義
科目の概要	到達目標	この科目では、日本文学における古典に関して幅広く学びます。が、そもそも古典とは何を指すのでしょうか。古典に近い言葉として古典文学がありますが、これは成立した年代や書かれた文体の違いによって近代文学・近現代文学と便宜的に分けるための言葉です。古典と古典文学とは同じではありません。古典といわれる作品を通して、古典というものについて考え、それを学ぶ意義を見出すことを目指します。
	テキストの概要	このテキストは、いわゆる古典文学を主に取り上げています。が、時としてその領域からは逸脱する作品も取り上げており、古典というものについて考えることを促してくれます。また、テーマごとに章立てされていることも大きな特徴です。
授業計画		スクーリング (0 単位) と WBT による学習 (2 単位) の計 2 単位の科目です。 <自宅学習> 第 1 章 生まれてくること 第 2 章 大人になること 第 3 章 教育ということ 第 4 章 働くこと 第 5 章 恋すること 第 6 章 結婚すること 第 7 章 自然と共存すること 第 8 章 名前ということ 第 9 章 理想ということ 第 10 章 美しいということ 第 11 章 差別ということ 第 12 章 旅ということ 第 13 章 祝祭ということ 第 14 章 日本ということ 第 15 章 病気ということ 第 16 章 老いること 第 17 章 死ぬこと <スクーリング> 古典とは何か、またそれを学ぶ意義とは何か。スクーリングでは、このことについて考えます。
成績評価の方法		単位認定試験
		a: 実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目

2022 武蔵野大学 通信教育部 シラバス

実践的教育を行う 授業科目の種別	担当教員の実務経験 (経歴・資格等)	
	授業内容との関連性	
	b: 企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目	
	学外講師の経歴・資格等	
	授業内容	
	c: 企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、 研修を行う授業科目	
	実習先・実習の目的	
備考		

科目名	日本文学史Ⅱ（近・現代）	
担当教員	疋田 雅昭	
授業方法	講義	
科目の概要	到達目標	この科目では、さまざまな作品の主題や表現に着目しながら、近・現代の日本文学史を理解することを目的とします。
	テキストの概要	<p>「文学史」という言葉に拒否反応をおぼえる人は多い。それはそうだと思う。読んでもいない本の名前を覚え、知っても全くおもしろいとは思えないあらすじを覚え、そんな退屈そうな作品を書いた人間の名前を覚えさせられる。おまけに、そんな人間たちの素行を聞いてもほとんど尊敬に値するとは思えない。</p> <p>だからここは少し考え方を変えなくてはいけないのだ。もちろん、考え方を変える＝自己解体だから、それを授業の前提にするのは本末転倒だろう。文学史とは、いやそもそも歴史を構築するということが私が思っているものとは違った！ っていうのは授業の「前提」ではなく「目標」だ。</p> <p>じゃあ、僕はそんな自己解体を目指して何をしようというのか。歴史の授業は嫌いでも歴史をあつかった物語は人気が高い。当然、そこにはドラマがあるからだろう。歴史で起こった出来事は一つでも、それを感じ記憶し記録するのは人間だから、そこから様々なドラマも生じる。単純にAがBを殴ったという出来事だって、殴られた人と殴った人のドラマは異なるはずだ。そう、退屈な文学史からドラマを抽出してみようと思うんだ。</p> <p>というわけで、本年度のドラマは、「恋愛」の文学史！ 文学を通じて誰（たち）と誰（たち）が、どんな定番の話形を創りあげてきたか。そして、その定番は何故必要だったのか。こんなことを好奇心で眺めて行こうと思う。たとえば、意外に思うかもしれないが、君たちが普通に抱く「恋愛」の観念はほとんど最近創られたものにすぎない。もっと言えば、僕らの多くの常識なんてほとんど、最近出来たものなんだ。果たして魅惑的な自己解体につながり得るか？ それは僕と君たちとの対決だ！</p>
授業計画	<p>「スクーリング（0単位）」と「WBTによる学習（2単位）」の計2単位の科目です。本校（東京都西東京市）で行われる「スクーリング（全2コマ）」に出席し、「WBTで出題される所定の回数のレポート」および「単位認定試験レポート」を提出し・合格すること。</p> <p><スクーリング></p> <p>第01講 [「近代」「日本」「文学」とは何か]</p> <p>第02講 [リアルとロマンの諸相] [社会と個人という諸相]</p> <p><自宅学習></p> <p>第1講 「日本」「近代」「文学」「史」を「素因数分解」してみる</p> <p>第1講～2講目 リアルとロマンの戦い</p> <p>第2講 解体と再構築—大正、昭和の文学史の諸相</p>	
成績評価の方法	単位認定試験	
	a：実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目	

2022 武蔵野大学 通信教育部 シラバス

実践的教育を行う 授業科目の種別	担当教員の実務経験 (経歴・資格等)	
	授業内容との関連性	
	b: 企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目	
	学外講師の経歴・資格等	
	授業内容	
	c: 企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、 研修を行う授業科目	
	実習先・実習の目的	
備考		

科目名		書道学特講Ⅱ（書道仮名）	
担当教員		殿村 美奈子	
授業方法		講義	
科目の概要	到達目標	この科目は高等学校書道教諭を養成するのに必要である。 仮名の成立過程を踏まえ、小筆を使って古筆を臨書することで、仮名の基本的な字形・線を体得することを目的とする。	
	テキストの概要	このテキストでは、かなの古筆を鑑賞し、解説を読んで臨書することで、仮名の実技力が高まる。 このテキストは、かなの基本を学ぶ図版が少ないので、プリントを配布する。	
授業計画		スクーリング（1単位）とWBTによる学習（1単位）の計2単位の科目です。 <スクーリング> 第01講 仮名を学ぶにあたって（用具等） 第02講 仮名の成立について・小筆の使い方（仮名の線について） 第03講 平仮名の学習（いろは歌を書く） 第04講 平仮名の学習（いろは歌を書く） 第05講 変体仮名・連綿の学習 第06講 古筆臨書（高野切第三種） 第07講 古筆臨書（高野切第一種）今後のレポート提出の仕方 <自宅学習> 2回提出（2回目は単位認定レポート）。 詳しくはスクーリングで説明。	
成績評価の方法		単位認定試験	
実践的教育を行う授業科目の種別	a：実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目		
	担当教員の実務経験 （経歴・資格等）		
	授業内容との関連性		
	b：企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目		
	学外講師の経歴・資格等		
	授業内容		
	c：企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、研修を行う授業科目		

2022 武蔵野大学 通信教育部 シラバス

	実習先・実習の目的	
備考		

科目名		書道学特講 I (書道漢字)	
担当教員		三田 広美	
授業方法		講義	
科目の概要	到達目標	<p>中学校教諭(国語)・高等学校教諭(書道)を養成する専修科目である。</p> <p>この科目では、中国と日本の代表的な楷書と行書の古典を学習しながら、いろいろな書風の楷書と行書の書法を修得するとともに、書写と書道の能力を高めることを目的とする。また、書の古典をとおり、書の美や作者について自ら探究し、心身の発達を養うことを目的とする。</p>	
	テキストの概要	<p>このテキスト掲載の教材は、主として高等学校書道科免許状取得に必要な書道の授業科目に対応する。あわせて中学校国語科書写の授業を行うための書に関する幅広い知識を学習するために使用する。</p> <p>また、解説を読みながら臨書していくと、実技力が高まるだけではなく、書道史や書を鑑賞する力が高まり、書道に関する科目(国文学・漢文学を除く)に対して、優れた知識と技能(実技と理論)およびその指導力が身につく。</p>	
授業計画		<p>スクーリング(1単位)とWBTによる学習(1単位)の計2単位の科目です。</p> <p><スクーリング></p> <p>第01講 [はじめに(文房四宝、書写と書道、六朝の楷書について)]</p> <p>第02講 [六朝の楷書—鄭義下碑・龍門造像記を半紙に書く]</p> <p>第03講 [日本への影響—多胡碑、宇治橋断碑、他]</p> <p>第04講 [東晋の行書—李柏尺牘稿を半紙に書く]</p> <p>第05講 [唐代の行書—温泉銘を半紙に書く]</p> <p>第06講 [顔真卿の行書—祭姪文稿を半紙に書く]</p> <p>第07講 半切に古典の臨書(二行書きの構成と鑑賞)</p> <p><自宅学習></p> <p>第1章 古典編</p> <p>第2章 理論編・第3章 資料編は、参考資料として使用</p>	
成績評価の方法		単位認定試験	
実践的教育を行う授業科目の種別		a: 実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目	
		担当教員の实務経験(経歴・資格等)	
		授業内容との関連性	
		b: 企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目	
		学外講師の経歴・資格等	
		授業内容	

2022 武蔵野大学 通信教育部 シラバス

	c：企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、 研修を行う授業科目	
	実習先・実習の目的	
備考		

科目名		日本文学特講Ⅴ（近代・現代の作家と作品）	
担当教員		土屋 忍・疋田 雅昭	
授業方法		講義	
科目の概要	到達目標	文学を単なる教養ではなく、社会批評の学問として再認識する視点を養い、「詩」や「物語」という概念を拡張した教材観や、より多様なニーズに対応し得る国語教育の教授法を考える基礎力を身につける。	
	テキストの概要	特別に教科書として指定する書籍はない。参考書としてあげた、疋田雅昭『接続する中也』（笠間書店）は、教員執筆のものであり、本講義における「文学」に関する基本的な考え方やその実践の参考とされたい。廣野由美子『批評理論入門 『フランケンシュタイン』解剖講義』（中公新書）およびジョナサン・カラー『文学理論』（岩波書店）は、講義で扱う方法論の簡潔にまとめた参考書として参照して頂きたい。	
授業計画		<p>「スクーリング（0単位）」と「WBTによる学習（2単位）」の計2単位の科目です。本校（東京都西東京市）で行われる「スクーリング（全2コマ）」に出席し、「WBTで出題される所定の回数のレポート」および「単位認定試験レポート」を提出し・合格すること。</p> <p><スクーリング></p> <p>第01講 [戦争と物語を考える] [社会と物語を考える]</p> <p>第02講 [消費社会と物語を考える] [ネット社会と物語を考える]</p> <p><自宅学習></p> <p>第1講目 戦争と物語を考える</p> <p>第1講目 「社会と物語を考える」</p> <p>第2講目 消費社会を考える</p> <p>第2講目 ネット社会を考える</p>	
成績評価の方法		単位認定試験	
実践的教育を行う授業科目の種別	a：実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目		○
	担当教員の実務経験（経歴・資格等）	（土屋 忍先生 職歴）株式会社電通 独立行政法人大学入試センター試験問題評価委員（国語）	
	授業内容との関連性	大手広告会社にて広告制作に携わった教員が、レポート作成を通じて文学を単なる教養ではなく、社会批評の学問として再認識する視点を養う。	
	b：企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目		
	学外講師の経歴・資格等		
	授業内容		
c：企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、研修を行う授業科目			

2022 武蔵野大学 通信教育部 シラバス

	実習先・実習の目的	
備考		

2022 武蔵野大学 通信教育部 シラバス

科目名		日本文学特講V I (戦前・戦後の作家と作品)	
担当教員		疋田 雅昭	
授業方法		講義	
科目の概要	到達目標	文学を単なる教養ではなく、社会批評の学問として再認識する視点を養い、「詩」や「物語」という概念を拡張した教材観や、より多様なニーズに対応し得る国語教育の教授法を考える基礎力を身につける。	
	テキストの概要	特別に教科書として指定する書籍はない。参考書としてあげた、疋田雅昭『接続する中也』(笠間書店)は、教員執筆のものであり、本講義における「文学」に関する基本的な考え方やその実践の参考とされたい。廣野由美子『批評理論入門 『フランケンシュタイン』解剖講義』(中公新書)およびジョナサン・カラー『文学理論』(岩波書店)は、講義で扱う方法論の簡潔にまとめた参考書として参照して頂きたい。	
授業計画		<p>「スクーリング(0単位)」と「WBTによる学習(2単位)」の計2単位の科目です。本校(東京都西東京市)で行われる「スクーリング(全2コマ)」に出席し、「WBTで出題される所定の回数のレポート」および「単位認定試験レポート」を提出し・合格すること。</p> <p><スクーリング></p> <p>第01講 [国語教育と文学と社会] [構造的に考える]</p> <p>第02講 [ナラトロジーを考える]</p> <p><自宅学習></p> <p>第1講目 社会に開かれた文学研究、国語教育を</p> <p>第1講目～2講目 構造と意匠</p> <p>第2講目 ナラトロジー</p>	
成績評価の方法		単位認定試験	
実践的教育を行う授業科目の種別	a: 実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目		
	担当教員の実務経験(経歴・資格等)		
	授業内容との関連性		
	b: 企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目		
	学外講師の経歴・資格等		
	授業内容		
	c: 企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、研修を行う授業科目		
実習先・実習の目的			

備考

科目名	Comprehensive English A (ST)	
担当教員	原田 美穂・渡辺 英雄	
授業方法	講義	
科目の概要	到達目標	この科目は、英語教員免許取得を目指す方が、文法をはじめとした自身の英語基礎力を見直し、弱点を補強したりあいまいな部分を確認したりすることで、英語教員に必要な英語力の素地を作ることを目標とします。自分がわかるだけでなく、なぜそうなるのか、生徒に説明できるよう、答えの根拠も含めて理解することを目指します。
	テキストの概要	『ゼロからスタート英文法 問題集』（Jリサーチ出版 安河内哲也著、ISBN 978-4-01-031297-1）は、時制・不定詞・関係詞・仮定法など、文法項目別に分類された計300問の選択式穴埋め問題（TOEICのPART 5と同形式）からなる文法問題集です。基礎的なもの、間違えやすいもの、試験によく出るものなど、ポイントとなる問題を解くことで、英語を理解するうえで鍵となる主要な英文法事項をマスターし、英語試験にも対応する基礎英文法力をつけるようデザインされています。各セクション30問、10セクション構成となっており、各セクションの文法テーマは以下の通りです。 SECTION 1「さまざまな文のかたち」 SECTION 2「時制と時間表現」 SECTION 3「完了形と助動詞」 SECTION 4「文型のポイントと受動態」 SECTION 5「不定詞と動名詞」 SECTION 6「分詞と分詞構文」 SECTION 7「関係詞」 SECTION 8「仮定法」 SECTION 9「形容詞と比較」 SECTION 10「接続詞とその他重要事項」 問題の解説が別冊で付属されており、解答するうえでのポイントや、問題文の文構造を学ぶことができます。すべての問題文の和訳も掲載されています。この科目の指定テキストは「問題集」の方ですが、『ゼロからスタート英文法』という、問題集と同じ文法事項を網羅した文法解説書も販売されています。文法事項の詳しい解説が必要な人はそれでひととおり学習してから、または参照しながら問題を解くことも可能です。しかし、他の文法書や教科書、辞書、スタディガイドなどを使ってポイントを学んだり調べたりできるため、そちらの購入は特に促していません。
授業計画	スクーリング（0単位）とWBTによる学習（2単位）の計2単位の科目です。 <自宅学習> SECTION 1「さまざまな文のかたち」 SECTION 2「時制と時間表現」 SECTION 3「完了形と助動詞」 SECTION 4「文型のポイントと受動態」	

2022 武蔵野大学 通信教育部 シラバス

	SECTION 5 「不定詞と動名詞」 SECTION 6 「分詞と分詞構文」 SECTION 7 「関係詞」 SECTION 8 「仮定法」 SECTION 9 「形容詞と比較」 SECTION 10 「接続詞とその他重要事項」 <スクーリング> 第1回：オリエンテーション、聞き手目線のスピーキング 第2回：発音トレーニング 第3回：テキストについての質問、ニュース記事読解 第4回：ディスカッション、ライティング 第5回：トピックスピーチ練習 第6回： ニュース読解 第7回： ディスカッション、ライティング、振り返り	
成績評価の方法	単位認定試験	
実践的教育を行う 授業科目の種別	a：実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目	
	担当教員の実務経験 (経歴・資格等)	
	授業内容との関連性	
	b：企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目	
	学外講師の経歴・資格等	
	授業内容	
	c：企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、 研修を行う授業科目	
	実習先・実習の目的	
備考		

科目名		Comprehensive English C
担当教員		江原 美明
授業方法		講義
科目の概要	到達目標	この科目では、中学校及び高等学校において、生徒の理解の程度に応じた英語で授業を行うための英語運用能力を身に付けることを目的とする。
	テキストの概要	このテキストでは、TOEIC®L&R TEST を受験するのに必要なヴォキャブラリーを身に付けながら、TOEIC®対策の学習をすることで、英語の聞く能力と読む能力を伸ばす。
授業計画		<p>WB Tで出題される所定の回数のエクササイズに合格の後、WB T上で行われる単位認定試験に合格することで2単位を認定します。</p> <p><自宅学習></p> <p>Listening Section</p> <p><Part 1 のねらいと学習のポイント・ヒント></p> <p>写真をみながら、放送される4つの選択肢を聞いて、その場面や状況を最も適切に描写している選択肢を選ぶ。写真で表されるような動作や状態を表す英語表現を学習しておくことが大切である。</p> <p><Part 2 のねらいと学習のポイント・ヒント></p> <p>英語の質問文を聞いたあと、その応答として読まれる3つの選択肢の中から最も適切なものを選ぶ。放送内容は問題用紙には印刷されていない。基本的なポイントとして、疑問詞を必ず聞き取ること、似たような発音の単語に注意をすることがある。また、依頼、謝罪、感謝、などについて、どのように返答するのが定型であるかも理解しておくとうよい。</p> <p><Part 3 のねらいと学習のポイント・ヒント></p> <p>短い会話を聞き、問題用紙に印刷されている3つの質問とそれぞれ4つの選択肢を読み、最も適切な選択肢を選ぶ。会話文に出てくる単語の意味はもちろん、発話のトーンなどを参考にしながら、会話が行われている状況を想像しながら解答することがポイントである。</p> <p><Part 4 のねらいと学習のポイント・ヒント></p> <p>あるテーマについてのやや長めの英文を聞き、問題用紙に印刷されているその内容に関する3つの質問とそれぞれ4つの選択肢を読み、最も適切な選択肢を選ぶ。英文の話し手は誰なのか、誰にどのような場において話しているのかという状況設定を把握することが重要である。そのうえで、話している内容について、頭の中で箇条書きをするようにポイントを整理しながら聞き取りを行うとよい。</p> <p>Reading Section</p> <p><Part 5 のねらいと学習のポイント・ヒント></p> <p>英文の空所に入れるのに、最も適切な選択肢を4つの中から選ぶ。問われるのは文法と語彙に関する知識である。空所に補充すべき品詞は何かを判別すると正解が導かれるタイプの問題が多いので、各ページの「最重要ヴォキャブラリー」の品詞に注目して学習するとよい。</p>

	<p><Part 6 のねらいと学習のポイント・ヒント> 英文の空所に入れるのに、最も適切な選択肢を4つの中から選ぶ。文書にスラッシュを入れながら英文の意味を理解していくスラッシュリーディングを取り入れて学習するとよい。</p> <p><Part 7 のねらいと学習のポイント・ヒント> メールや告知などの様々な内容の英文を読み、その内容に関する2~5の質問に対して、それぞれ4つの選択肢の中から最も適切なものを選ぶ。高得点をマークするためには速読できるかがポイントになるが、慣れるまでは、一文一文、わからない単語は「最重要ヴォキャブラリー」や「重要ヴォキャブラリー」の欄で確認する、辞書をひくなどしながら、精読をしていくことが重要である。</p>	
成績評価の方法	単位認定試験	
実践的教育を行う 授業科目の種別	a：実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目	
	担当教員の 実務経験 (経歴・資格等)	
	授業内容との 関連性	
	b：企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目	
	学外講師の 経歴・資格等	
	授業内容	
	c：企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、研修を行う授業科目	
	実習先・実習の 目的	
備考		

科目名		C o m p r e h e n s i v e E n g l i s h D	
担当教員		中川 洋子	
授業方法		講義	
科目の概要	到達目標	この科目では、中学校及び高等学校において、生徒の理解の程度に応じた英語で授業を行うための英語運用能力を身に付けることを目的とする。	
	テキストの概要	このテキストでは、英語による異文化コミュニケーションについての様々な話題を理解することによって、英語による聞く、読む、話す、書く能力を伸ばす。	
授業計画		<p>W B T で出題される所定の回数のエクササイズに合格の後、W B T 上で行われる単位認定試験に合格することで2単位を認定します。</p> <p><自宅学習></p> <p>第1章 今日の世界の異文化コミュニケーション 第2章 異文化コミュニケーションのための英語 第3章 人間のコミュニケーションの重要な特徴 第4章 文化という概念 第5章 言語と思考 第6章 コミュニケーション・スタイル 第7章 人間の心理とコミュニケーション 第8章 言語行為と文化 第9章 ステレオタイプと異文化コミュニケーション 第10章 異文化コミュニケーションにおける文化調整 第11章 高等教育における異文化コミュニケーション 第12章 海外留学と異文化適応 第13章 将来のための異文化能力</p>	
成績評価の方法		単位認定試験	
実践的教育を行う授業科目の種別	a : 実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目		
	担当教員の実務経験 (経歴・資格等)		
	授業内容との関連性		
	b : 企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目		
	学外講師の経歴・資格等		
	授業内容		
	c : 企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、研修を行う授業科目		

2022 武蔵野大学 通信教育部 シラバス

	実習先・実習の目的	
備考		

科目名	Comprehensive English B (ST)	
担当教員	原田 美穂・渡辺 英雄	
授業方法	講義	
科目の概要	到達目標	この科目は、英語教員免許取得を目指す方が、文法をはじめとした自身の英語基礎力を見直し、弱点を補強したりあいまいな部分を確認したりすることで、英語教員に必要な英語力の素地を作ること为目标とします。自分がわかるだけでなく、なぜそうなるのか、生徒に説明できるよう、答えの根拠も含めて理解することを目指します。Comprehensive English A と Comprehensive English B は独立した科目ですが、A (文法中心) を踏まえて B (実践問題、文法・語彙・読解など) に取り組むとより学習効果が高いでしょう。
	テキストの概要	『公式 TOEIC Listening & Reading 問題集 6』 (国際ビジネスコミュニケーション協会 (2020年2月25日発売) を使います。実際の TOEIC 試験と同じ問題数、形式のテストが2セット入っています。CD 2枚と、別冊の解答解説集、またその最後にマークシートも付属されています。
授業計画	スクーリング (0単位) と WBT による学習 (2単位) の計 2単位の科目です。 <自宅学習> エクササイズの出題範囲・出題数・解答時間 第1回: TEST 1 READING TEST (PART 5-7) 出題数: 20問 解答制限時間: 30分 第2回: TEST 2 READING TEST (PART 5-7) 出題数: 20問 解答制限時間: 30分 単位認定試験の出題範囲・出題数・解答時間 TEST 1 READING TEST (PART 5-7), TEST 2 READING TEST (PART 5-7) 出題数: 40問 解答制限時間: 60分 <スクーリング> 第1回: オリエンテーション、聞き手目線のスピーキング 第2回: テキストについての質問、トピックスピーチ練習 (シャドウイングのやり方) 第3回: ニュース記事読解 第4回: ディスカッション、ライティング 第5回: トピックスピーチ練習 第6回: ニュース読解 第7回: ディスカッション、ライティング、振り返り	
成績評価の方法	単位認定試験	
実践的教育を行う授業科目の種別	a: 実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目	
	担当教員の 実務経験 (経歴・資格等)	

2022 武蔵野大学 通信教育部 シラバス

	授業内容との関連性	
	b：企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目	
	学外講師の経歴・資格等	
	授業内容	
	c：企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、研修を行う授業科目	
	実習先・実習の目的	
備考		

科目名	異文化理解A・B	
担当教員	渡辺 英雄	
授業方法	講義	
科目の概要	到達目標	この科目では中学校教諭（英語）・高等学校教諭（英語）に必要な、青年期の心身の発達に関する科目としての異文化理解を学ぶことで、多文化社会で生きるために必要な、「異質」な他者と共に生きる意味について探り、異文化理解を目指す。
	テキストの概要	<p>このテキストでは、下記の4部にわたり、多文化社会に生きる現代の学生・社会人にとって必要な異文化コミュニケーションの知識と考え方を提供する。</p> <p>第1部 アイデンティティとコミュニケーション（自己、アンデンティティ、文化—他を知り己を知るコミュニケーションと文化—融合する文化コミュニケーションと意識構造—意識が世界を構築する）</p> <p>第2部 空間・時間・言語と「故郷」（空間の認識—その多様性を理解しよう時間の認識—計れない時の流れを理解しよう 言語の力—限界であり可能性であるもの場の形成—人は「故郷」を求める）</p> <p>第3部 異質性と向き合う（「カルチャー・ショック」—衝突から融合へ価値・規則と異文化接触—異文化衝突を引き起こすもの コミュニケーション能力と相互理解—脈絡の理解が鍵）</p> <p>第4部 マスメディア、グローバリズム、アイデンティティ（縮みゆく世界—世界を画—し二分するグローバル化、グローバル化とアイデンティティ—アイデンティティの画—化・喪失）</p>
	授業計画	<p>WB Tで出題される所定の回数のレポートおよび単位認定試験レポートを提出し・合格することで4単位を認定します。</p> <p><自宅学習></p> <p>第1部 アイデンティティとコミュニケーション（自己、アンデンティティ、文化—他を知り己を知るコミュニケーションと文化—融合する文化コミュニケーションと意識構造—意識が世界を構築する）</p> <p>第2部 空間・時間・言語と「故郷」（空間の認識—その多様性を理解しよう時間の認識—計れない時の流れを理解しよう 言語の力—限界であり可能性であるもの場の形成—人は「故郷」を求める）</p> <p>第3部 異質性と向き合う（「カルチャー・ショック」—衝突から融合へ価値・規則と異文化接触—異文化衝突を引き起こすもの コミュニケーション能力と相互理解—脈絡の理解が鍵）</p> <p>第4部 マスメディア、グローバリズム、アイデンティティ（縮みゆく世界—世界を画—し二分するグローバル化、グローバル化とアイデンティティ—アイデンティティの画—化・喪失）</p>
	成績評価の方法	単位認定試験

2022 武蔵野大学 通信教育部 シラバス

実践的教育を行う 授業科目の種別	a：実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目		
	担当教員の実務経験 (経歴・資格等)		
	授業内容との関連性		
	b：企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目		
	学外講師の経歴・資格等		
	授業内容		
	c：企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、 研修を行う授業科目		
	実習先・実習の目的		
備考			